

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年6月29日

【事業年度】 自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日

【会社名】 ディー・エヌ・ビー・バンク エイ・エス・エイ
(DNB Bank ASA)

【代表者の役職氏名】 レイダー・ボルム
エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント

【本店の所在の場所】 ノルウェー王国 オスロ市 ドロニング・ユーフェミアス・ゲート30
(Dronning Eufemias gate 30, Oslo, Norway)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 多賀 大輔

【代理人の住所又は所在地】 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6888-1181

【事務連絡者氏名】 弁護士 林 達朗
弁護士 寺尾 裕真
弁護士 奥田 美希

【連絡場所】 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6888-4753
03-6888-5827
03-6894-4061

【縦覧に供する場所】 該当なし

注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除き、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、ディー・エヌ・ピー・バンク エイ・エス・エイをいう。
「当行グループ」とは、ディー・エヌ・ピー・バンク エイ・エス・エイ及びその子会社をいう。
「DNB」、「当グループ」又は「DNBグループ」とは、ディー・エヌ・ピー エイ・エス・エイ及びその子会社をいう。
「ノルウェー」とは、ノルウェー王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、本書に記載のすべての「米ドル」「US\$」及び「\$」はアメリカ合衆国ドルを、「CHF」はスイス・フランを、「NOK」はノルウェー・クローネを、「円」は日本円を、「ポンド」及び「£」は英貨ポンドを、「ユーロ」、「EUR」及び「€」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき欧州経済通貨統合の第3段階の開始時に導入された通貨を指す。2017年6月1日現在(日本時間)、株式会社三菱東京UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1ノルウェー・クローネ＝13.15円であった。本書におけるノルウェー・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、ノルウェー・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「見込みである」、「目指す」、「見積もっている」、「予想している」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、「対処すべき課題」、「事業等のリスク」、「経営上の重要な契約等」並びに「財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」において言及される記載を含む(これらに限られない。)本書の複数箇所に登場する。このような将来の見通しに関する記述により、以下を含む事項が記載される。

- ・ 当行の事業戦略及び財務目標
- ・ 金融市場の業績
- ・ 当行の成長率予測、コスト計画に基づくコストの動向、将来の貸出金評価損等、将来の予想値
- ・ 信用リスク、市場リスク、流動性リスク及びその他のリスクの将来のエクスポージャー

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行は誠実に、かつ当行が合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

当行は、2005年ノルウェー民事訴訟法第4-6条に基づき、日本の裁判所の管轄に服することを選択できる。ノルウェーの裁判所は、2005年ノルウェー民事訴訟法第19-16条に基づき、日本の裁判所で下された一定の金額の支払いを命ずる最終確定判決を有効とみなし、かつその執行を承認する。ただし、その結果がノルウェーの公序に違反しないか又はこれを損うことはないかという検討を常に条件とする。

1【会社制度等の概要】

(1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

(i)概要

当行は銀行であり、公開有限責任会社として組織されている。ノルウェー法に基づき、銀行は公開有限責任会社又は非公開有限責任会社として組織されなければならない。

公開有限責任会社として、当行は1997年ノルウェー公開有限責任会社法(以下「PLCA」という。)に定める規制に服する。同法は、当行の組織、株式の譲渡、定款の要件、配当、議決権、増資等に関する規則を定めている。

銀行は、その設立、定款の要件、運営機関等に関し、2016年1月1日付で施行され、銀行及びその他の金融機関に関する一部の従前の法律を統合しかつ置き換える2015年金融機関・金融グループ法(以下「FEA」という。)に定められた追加的な規則に服する。当行の法的枠組みに関する詳細は、「()ノルウェーにおける規制の枠組み」を参照のこと。

また、当行の事業は定款により規律されている。定款は、当行を統治する基本的な規則について定めており、FEA及びPLCAの規定する銀行に関する強行規定により補完されているので、定款を読む場合には、かかる点に留意する必要がある。

会社組織

PLCAに基づき、公開有限責任会社は取締役会(以下「取締役会」という。)及び最高経営責任者(以下「最高経営責任者」という。)を設けなければならない。詳細は下記及び「(2)提出会社の定款等に規定する制度」を参照のこと。

株主資本

公開有限責任会社である銀行に要求される最低株主資本は、5百万ユーロである。当行の株主資本は、18,314,311,000ノルウェー・クローネである。

株式

当行のすべての株式(以下「当行株式」という。)には、すべての点で平等かつ完全な株主の権利が付帯しており、当行株式で異なる権利が付帯するものはない。当行株式は一種類のみである。

当行株式は自由に譲渡できる。当行の定款には、当行株式の所有に制限を課す条項は含まれず、また、ノルウェー法において、非居住者又は外国人保有者が当行株式を保有する権利又は当行株式の議決権を行使する権利に関する制限は存在しない。しかし、FEAには無差別の所有制限規則が含まれている。かかる規則に基づき、当行株式又は当行株式に対する権利の10%以上の取得にあたっては、ノルウェー規制当局による事前の許可が必要である。

議決権

当行株式1株につき、株主総会における議決権1個が付帯する。

一般に、株主がノルウェー法又は当行の定款に基づき行うことのできる決議には、投票数の過半数が必要である。しかし、以下のいずれかに関する決議を含む一定の決定のためには、株主総会において出席した投票数及び株主資本の3分の2以上の承認を得なければならない。

- () 株式、転換社債又は新株引受権の発行に際しての先買権の排除
- () 合併又は分割の承認
- () 定款の変更
- () 増資又は減資の承認
- () 転換権付ローン又は新株引受権の発行の承認
- () 取締役会が当行のために当行株式の買戻しを行うことの承認
- () 当行の解散

当行の定款の一定の変更(当行の増資又は減資を含むが、これらに限られない。)には、ノルウェー金融監督庁の承認も必要である。

() 配当の支払い若しくはその他の当行の資産に対する権利に関し、既存の株主の権利を縮小することになる決定、又は() 譲渡にあたっての同意要件、第一先買権若しくは株主となるための一定の資格要件の導入により当行株式の譲渡を制限することになる決定には、定款の変更のための要件としての過半数とともに、株主総会において代表される株主資本の90%以上にあたる賛成票が必要である。その他、発行済株式の地位の根本的な変更(株主の義務の増加、上記以外の譲渡制限及び強制償還の導入を含むが、これらに限られない。)を伴う一定の決定には、当行の定款の変更のための要件としての過半数とともに、かかる決定により影響を受けるすべての株主の同意が必要である。

この点につき、当行の定款には、PLCAと異なる条項は含まれていない。

株主総会において議決権を行使する資格を得るためには、一般的に、株主は、ノルウェー中央証券預託機関(VPS)が保管する当行の株主名簿に当行株式の保有者として登録されなければならない。

株主総会

株主総会は、ノルウェーの公開有限責任会社の最高機関である。当行は、定款に従い、各年の4月末以前に年次株主総会を開催する義務がある。かかる年次株主総会においては、特に、年次会計書類の承認及び取締役報告の承認を行う。臨時株主総会は、取締役会の決議又は監査人若しくは当行の株主資本を合計5%以上保有する株主の要求により招集される。

当行のすべての株主は、本人又は代理人により株主総会に出席し議決権を行使する権利を有する。

取締役会

取締役会の構成員は、FEAに基づき3名を下限、当行の定款に基づき4名を上限とし、うち1名は当行の従業員でなければならない。従業員以外取締役会の構成員は、株主総会により選任される。

取締役会の主たる任務は、当行の経営及び当行の業務の監督ガイドラインの制定である。また、取締役会は最高経営責任者及び最高経営責任者による日常業務運営並びに事業活動全般を監督する。

取締役会会長及び副会長は、株主総会により個別に選任される。

定足数を満たすため、取締役会の構成員の過半数が会議に出席しなければならない。取締役会の決議は、単純多数決により可決される。

業務執行取締役/最高経営責任者

最高経営責任者は、取締役会により選任される。最高経営責任者の主要任務は、当行の日常業務を取締役会の指示に従い運営することである。

取締役及び最高経営責任者の責任

取締役会及び当行の最高経営責任者は、当行に対し忠実義務を負い、したがって当行の株主に対しても忠実義務を負う。かかる忠実義務により、取締役会の構成員及び最高経営責任者は任務を遂行するにあたり当行の最善の利益になるよう行為すること、及び当行に対し善管注意義務を果たすことが要求される。取締役会の構成員及び最高経営責任者の主たる任務は、当行の利益を保護することである。

取締役会の構成員及び最高経営責任者は、過失又は故意により当行に与えた損害に関し、個別に責任を問われる場合がある。

ノルウェー法は、かかる者の責任を株主総会において免責することを認めているが、この免責は、当該決議を可決する株主総会に対し実質的に正確かつ完全な情報が提供されない限り、拘束力を持たない。

取締役又は最高経営責任者の責任を免除する株主総会の決議によって、当該取締役又は最高経営責任者は、株主以外の第三者(債権者等)が提起した請求又は訴訟から保護されない。

配当

配当は、取締役会による提案を受けて株主総会により決定され、現金又は現物により支払われる。PLCA及びFEAには、当行による配当の分配に関し、下記のとおりいくつかの制限が規定されている。

- ・ PLCA第8-1条は、会社は配当の分配後に会社の株式資本並びにPLCA第3-2条(未実現利益のための資金)及び第3-3条(評価差額のための資金)に基づくその他の制限資本をカバーする純資産を保有する範囲でのみ、配当を行うことができると定めている。かかる計算は、直近で承認された会社の財務書類の貸借対照表に基づき行われ、決定時の登記済株式資本が適用される。
- ・ 配当金は、前年度末後に生じた可能性があるか又は将来生じる見込みの損失及び資本に対する当行の必要性を勘案し、分配後に当行が健全な資本及び流動性を有する限りにおいて分配することができる。FEA第10-6条を参照のこと。

配当の分配は、取締役会からの株主総会に対する提案に基づき決議される。株主総会は、配当を分配すべきか否かを決定するが、取締役会の提案より高額な配当金を決議することはできない。ノルウェー金融監督庁は、配当の分配に関しさらなる制限を課することができる。

残余財産の分配

PLCAに基づき、会社の年次株主総会において定款の修正に必要な投票数と同じ投票数をもって株主により会社を清算する旨が決議されることにより、当該会社を清算することができる。清算の場合又はその他の事由を問わず、当該会社の資本の払戻しにおける株式の優先順位は同じである。

当行の清算決議が可決された場合、当行の資産は、当行の債務を返済するため及び現物による分配にすべての株主の賛成が得られなかった範囲での株主への分配のため、現金に変換される。当行はノルウェー金融監督庁の同意を得ずに清算することはできない。FEAを参照のこと。下記の銀行行政に関する情報も参照のこと。

流動性及び自己資本要件の問題並びに決済及び信頼性の問題に関する規制については、下記「() ノルウェーにおける規制の枠組み - 自己資本要件」も参照のこと。

() ノルウェーにおける規制の枠組み

概観

当行は、イェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイとデン・ノルスク・バンク・エイ・エス・エイがイェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイを買収者として合併したことにより誕生し、当該合併は、2004年1月19日付で企業登記所に登記された。イェーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイは後にその名称をDnB NORバンク エイ・エス・エイに変更し、さらに2011年11月にDNBバンク エイ・エス・エイに変更した。

ノルウェーの銀行に適用されるノルウェーの法律のうち最も重要なものは、以下のとおりである。

- ・ PLCA
- ・ 金融機関(ノルウェー語で *finansforetak*)の承認、組織的規制、金融活動及び自己資本規制要件について規定するFEA並びに預金を保護する銀行保護基金並びに財務的困難に直面している銀行及び一部のその他の金融機関の公的管理に関する規則
- ・ ノルウェー金融監督庁による金融機関及び投資会社の監督について規定する1956年ノルウェー金融監督法

当行及び当行の子会社は、ノルウェー金融監督庁の監督に服するものである。ノルウェー金融監督庁は、規制を整備及び/又は公布し、かつノルウェーの金融機関の事業(とりわけ自己資本規制、会計、ガバナンス構造、リスク管理及びリスク処理手順に関する事項)を監督している。ノルウェー金融監督庁は、査察を実施する権利、ノルウェー金融監督庁の監督下の金融機関の従業員を尋問する権利並びに当該金融機関が所有する帳簿及び記録について検査を行う権利等、監督を促進するための様々な手段を有している。ノルウェー金融監督庁により金融機関の業務が健全でないとみなされる場合、又は当該金融機関がノルウェー金融監督庁管轄の適用法令に違反している場合、当該金融機関に対し行政処分を課し、かつ当該金融機関の免許を剥奪することもできる。

ノルウェーは、EU加盟国ではないものの、欧州経済領域の加盟国として、金融サービス関連の当該EU指令及びEU規制のほぼすべてをノルウェー国内の法律に組み入れている。ノルウェーは、CRD の枠組みによる規則に対応する規則を実施した(詳細については、下記「第3 - 3 対処すべき課題」及び「第3 - 4 事業等のリスク」を参照のこと。)。

免許

()一般公衆からの預金の受入れと()信用供与の両方を行う場合、ノルウェー法の下での銀行業免許が必要となる。当行は当初、貯蓄銀行として、1961年5月24日ノルウェー貯蓄銀行法第1号(現在は廃止され、FEAに置き換えられた。)に基づく免許が与えられていた。しかしながら、公開有限責任会社への組織変更後、2006年1月1日から、当行はノルウェー商業銀行法(同法もまたFEAに置き換えられた。)に基づく商業銀行として免許が与えられた。ノルウェーの銀行である当行は、現行のFEAにおける規制要件に従っている。

銀行業務の規制

FEAには、とりわけ、銀行の設立、定款、株主資本、運営機関、事業及び解散・清算に関する規則が含まれている。また、FEAにおいては、預金に関する規則並びに不動産で構成される資産合計(不動産を所有又は開発する目的で設立された会社の株式を含む。)の比率並びにその他の株式及び持分で構成される資産合計の比率に関する規定も定められている。

銀行は、慣行的又は通常の銀行の事業及びサービスのすべてを実施することができる。銀行は、貿易、工業、輸送、保険又はその他の商業活動の運営に関し、かかる事業が銀行により行われることが慣行的又は通常である場合を除き、主たる参加者又は主たる共同所有者として引受け又は参加することができない。しかしながら、銀行は、銀行が債権を回収するのに必要な範囲で、かかる事業を一時的に運営すること又は一時的にかかる事業に参加することができる。

当行は、銀行として、FEAに基づく多数の具体的規則に従っている。かかる規則に基づき、当行の定款はノルウェー金融監督庁による承認を得なければならない。その後の当該定款の変更についても同様である。さらに、ノルウェー金融監督庁により承認されない限り、留保利益を通じた方法以外で当行の資本を増やすことはできない。減資に関する決議はノルウェー金融監督庁により承認された場合のみ有効であり、当行は劣後ローンを借り入れるにあたりノルウェー金融監督庁の同意を得る必要がある。

自己資本要件

ノルウェーの銀行は現行の自己資本規制要件に従っているが、かかる自己資本規制要件はバーゼル 体制に基づきEU指令を実施するものである。バーゼル銀行監督委員会(以下「バーゼル委員会」という。)の提言に従い、FEAにおける規制方法は以下の3つの柱に分類されている。

- ・第1の柱-最低所要自己資本の計算：銀行は、信用リスク、オペレーショナル・リスク及び市場リスクを反映した自己資本規制要件を常に満たしていなければならない。現在、かかるリスクを反映した計算基準の8%以上は自己資本で構成されなければならない。株主資本の形式は、中核的自己資本と補完的自己資本に分類される。一般に、中核的自己資本は株式資本で構成され、補完的自己資本は劣後債で構成されている。さらに、銀行は普通株式等Tier 1資本で構成される様々なバッファーを保有しなければならない。かかる自己資本要件は常に満たしていなければならない。銀行は、要件の達成につき四半期毎にノルウェー金融監督庁に報告することにより、かかる要件の達成を証拠化することを義務付けられている。

- ・第2の柱-必要資本全般及び個別の監督上の検証：当行は、自己資本水準を維持するためのリスク・プロファイル及び戦略に関連して、自己資本規制全般について評価する手続を特に有していなければならない。ノルウェー金融監督庁は、かかる内部の自己資本規制の評価及び戦略につき審査及び評価を行い、評価手続の結果に満足しない場合は監督措置を採ることができる。
- ・第3の柱-情報開示：銀行は、事業活動、リスク・プロファイル及び資本状況に関する情報を開示することを義務付けられている。

金融機関における支払い及び自己資本規制に関する問題

FEAは、一部の金融機関(銀行を含む。)の流動性及び自己資本規制に関する問題について規制している。ノルウェーに設立されているすべての銀行は、FEAによりノルウェー銀行保証基金に加盟するよう義務付けられている。加盟金融機関又は当行が債務を履行できない場合、ノルウェー銀行保証基金は、各銀行に対し1預金者当たり2百万ノルウェー・クローネの預金保証を供与する。EEAに含まれる予定の銀行保証基金に係るEU指令は、保証金の水準に制限を課す。指令に基づき、2018年から合計額は100,000ユーロを超えることはできない。

FEA第21章 は、問題となっている銀行の支払い及び堅実性に関する問題の深刻さの度合いによって、それぞれの特徴に合わせて強化される様々な通知規則及び介入規則を定めている。

金融機関の取締役会及び最高経営責任者はそれぞれ、下記の事項に関して懸念する理由がある場合にはノルウェー金融監督庁に通知を行うよう義務付けられている。

- () 当該金融機関が満期を迎える債務を履行できないこと、
- () 当該金融機関が最低自己資本要件若しくは法律若しくは規制により定められるその他の堅実性及び健全性の要件を満たすことができないこと、又は
- () 当該金融機関の堅実性を著しく弱める若しくは脅かす深刻な信用毀損若しくは損失をもたらし得る状況の発生。

ノルウェー金融監督庁は、かかる場合(通知がなされたかどうかを問わない。)において速やかに必要と考える措置を採れるよう、比較的広範な権限を与えられている。上記()の場合は、当該金融機関自身がかかる方策に参加するものとされている。ノルウェー金融監督庁の政策手段の一つに、金融機関による「監査済財政状態報告書」の提供を確保することが挙げられるが、これは金融機関の財政状態を見極めるのに不可欠な手段となっている。

監査済財政状態報告書において自己資本の「多くの部分」及び/又は株主資本の25%が失われたことが示される場合、取締役会は直ちに株主総会を招集する義務を負う。これに関して「自己資本」とは中核的自己資本及び追加資本の総額を意味する。「多くの」とはどの程度を指すかについては、裁量的評価により決定される。株主総会においては、金融機関が継続的かつ満足できる事業を行うための十分な自己資本を有しているか否かについての決定がなされ、十分な自己資本を有していると決定された場合、かかる事業を継続すべきか否かについても決定がなされる。かかる決定は3分の2以上の多数決によりなされる。かかる事業を継続すべきでないとして決定された場合、株主総会は単純多数決により、当該金融機関の事業全体を他の金融機関に移転することを決議する。かかる決議が採択されない場合、株主総会は当該金融機関を清算する決議を採択するものとされている。株主総会においてかかる決議が採択されない場合(又はノルウェー金融監督庁が承認しない決議が採択された場合)、ノルウェー金融監督庁は、当該金融機関を清算するために清算委員会を任命するものとされている。かかる場合、下記の公的管理に関する規則が適用される。

監査済財政状態報告書が株主資本の75%以上が失われたことを示す場合、取締役会は、被った損失に相当する額の株主資本を消却することを株主総会において提案するものとする。この旨の決議が株主総会において採択されない場合、ノルウェー財務省は、監査済財政状態報告書における自己資本の損失額と同額の株主資本の消却を決定することができる。劣後債の消却に関し、同様の決議を採択することができる(ただし貸出契約において別段の定めがある場合を除く。)。さらに、継続的かつ満足できる事業を確保するために必要な場合、ノルウェー財務省は、株主資本の増額を決定することができる。これに関連し、ノルウェー財務省は引受条件を指定し、既存株主の先買権を排除することを決定できる。株主資本の増額は、株式発行において民間資本及び公的資本が利用可能であることを前提とする。民間資本及び公的資本が利用可能でない場合、下記に詳述される公的管理がその代替となる。かかる過程により、1990年代初頭に、国が多数のノルウェーの銀行について持分権を取得した。

公的管理及び清算

ノルウェーの銀行は通常の破産手続(すなわち、通常の破産法制に基づいて開始される債務整理手続及び/又は倒産手続)に従うものではない。その代わりとして、FEA第21章 において規定されるとおり、ノルウェーの銀行には特別な手続の枠組み(公的管理)が適用される。

流動性を喪失した場合又は自己資本要件を達成できない場合、ノルウェー金融監督庁は直ちにノルウェー財務省に通知を行う。銀行が満期を迎える債務を履行することができない場合、また、継続的かつ満足できる事業のための十分な財政基盤が確保されない場合、ノルウェー財務省は、銀行を公的管理下に置くことを決定することができる。ノルウェー金融監督庁により自己資本規制要件が免除されない限り、銀行が自己資本規制要件を達成することができない場合についても同様である。金融グループの親会社が公的管理下に置かれた場合、ノルウェー財務省は、当該グループのすべて又は一部を公的管理下に置くことを決定することもできる。ノルウェー財務省の決定はその裁量により行われる。ノルウェー財務省が銀行を公的管理下に置かないと決定する場合、上記のFEA第21章の規定が適用される。

(2) 【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は当行の定款の規定の一部の概要であり、上記では言及されていない事項も含まれている。

目的

当行の目的は、定款の第1条の2に従い、その時々において有効なノルウェーの法律の範囲内で、銀行が従事する事業として慣例的又は一般的なあらゆる種類の事業及びサービスを行うことである。

取締役会

取締役会は、最長2年の任期で選任され、最大4名の取締役に構成される。取締役のうち1名は当行の従業員の中から選任されるものとする。この取締役に加え、当行の従業員は取締役会のオブザーバー1名を任命することができる。従業員の中から選任される取締役及びオブザーバーには、当行の従業員の中から代理人が選任される。

取締役会の会長及び副会長の選任並びに4人目の取締役は従業員により又は従業員から選任されてはならず、選任委員会により準備され、株主総会により選任されるものとする。

選任委員会

選任委員会は最大5名の委員で構成され、その各々が2年を任期として株主総会で選任される。選任委員会は、取締役会会長、取締役会副会長及びその他の取締役会のメンバー(当行の従業員から選任される取締役を含まない。)の選任の準備を行う。選任委員会は、選任委員会の委員の選任の準備も行う。

2【外国為替管理制度】

一定の国家的危機状態にある場合を除き、現在、ノルウェーにおいて、ノルウェー国外の当行が発行した社債(日本で発行した社債を含む。)(以下「本社債」という。)(の保有者への元本の支払い又は利息の支払いを制限する外国為替管理制限は存在しない。また、現在、ノルウェー国外に居住する本社債の保有者(以下「本社債権者」という。)(が保有する本社債を処分し、ノルウェー国外における本社債の処分からの対価を受領する権利に影響を与える制限は存在しない。

ノルウェーへ移転できる額又はノルウェーから移転できる額の上限は存在しない。しかし、銀行は、ノルウェーへの支払い又はノルウェーからの支払いについてノルウェーの税務当局に報告するよう義務付けられている。かかる情報は、本社債権者が居住する国の当局にも伝達される場合がある。

3【課税上の取扱い】

(1)ノルウェーにおける課税上の取扱い

当行により発行される本社債を保有しているという事情以外にノルウェーとの関連を有しない者に対する本社債の元本及び利息の支払いには、現行のノルウェー法の下では、ノルウェーの租税は課せられず、したがって、いかなるノルウェーの税金、賦課金又は公租公課のための源泉徴収又は控除も行われぬ。しかし、ノルウェー財務省は2017年夏又は秋の間に、利息に係る源泉徴収に関する諮問文書が協議のため提出されると発表した。かかる内部の法的規則は、早ければ2018年度から施行されると見込まれている。ただし、ノルウェーが利息の支払いに係る源泉徴収を有効に行う権限は、ノルウェーと本社債権者が属する租税法域との間で締結された租税条約に基づく制限に服する。多数の租税条約の下では、条約の再交渉が行われぬ限り、ノルウェーは配当に係る源泉徴収を課することができない可能性がある。しかし、ノルウェーが租税条約を締結していない国については、施行された場合には、源泉徴収の効力が完全に生じる。

本社債を保有しているという事情以外にノルウェーとの関連を有しない者による本社債の売却、処分又は償還により実現した譲渡益又は収益には、現行のノルウェー法の下では、ノルウェーの租税は課せられない。

現行のノルウェー法の下では、本社債の発行に関して、支払われるべきノルウェーの発行税又は印紙税は存在せず、本社債には、ノルウェーのいかなる相続税も課せられない。

税務上ノルウェーに居住しているとみなされる者(法人及び自然人)は、本社債に関して受領する利息に対して一律24%(2017年度)のノルウェーの所得税が課せられる。ノルウェー政府と野党との間の2016年5月4日付の税金に関する合意において、法人所得税率を2018年度までに23%へ引き下げることが合意された。同様に、かかる者による本社債の売却、処分又は償還により実現した譲渡益又は収益は、ノルウェーの課税対象となる。

(2)日本における課税上の取扱い

日本の居住者が支払いを受ける本社債の利息は、日本の租税に関する現行法令(以下「日本の税法」という。)上20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の源泉所得税を課される。さらに、日本の居住者は、()申告不要制度又は()申告分離課税を選択することができ、申告分離課税を選択した場合、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率が適用される。日本の内国法人が支払いを受ける本社債の利息は、日本の税法上15.315%(所得税及び復興特別所得税の合計)の源泉所得税を課される。当該利息は当該法人の課税所得に含められ、日本の所得に関する租税の課税対象となる。ただし、当該法人は当該源泉所得税額を、一定の制限の下で、日本の所得に関する租税から控除することができる。

本社債の譲渡又は償還による損益のうち、日本の居住者に帰属する譲渡益又は償還差益は、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率による申告分離課税の対象となる。ただし、特定口座のうち当該口座内で生じる所得に対する源泉徴収を日本の居住者が選択したものにおける本社債の譲渡又は償還による所得は、確定申告を不要とすることができ、その場合の源泉徴収税率は、申告分離課税における税率と同じである。日本の内国法人に帰属する譲渡損益又は償還差損益は当該法人のその事業年度の日本の租税の課税対象となる所得の金額を構成する。

日本の居住者は、本社債の利息、譲渡損益及び償還差損益について、一定の条件で、他の債券や上場株式等の譲渡所得、利子所得及び配当所得と損益通算及び繰越控除を行うことができる。

本社債に係る利息及び償還差益並びに本社債の譲渡により生ずる所得で、日本に恒久的施設を持たない日本の非居住者及び外国法人に帰属するものは、日本の所得に関する租税は課されない。

4【法律意見】

当行の法律顧問であるアドヴォカトフィルマ・ヴィエルスホルム・エイ・エスより、大要、以下の趣旨の法律意見書が出されている。

(イ)当行は、ノルウェー法に基づく公開有限責任会社として適法に設立され、かつ有効に存続しており、本書に記載された事業を営み、その財産を所有及び運用するすべての権限及び権能を与えられている。

(ロ)本書中の当行の設立及び法的地位並びにノルウェーの法令に関するすべての記述は、すべての重要な点において真実かつ正確である。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

当行グループ¹⁾

	12月31日現在及び同日に終了した事業年度 (別途記載する場合を除き百万ノルウェー・クローネ)				
	2012年 ²⁾	2013年	2014年	2015年	2016年
純利息収入	27,557	30,379	32,607	35,535	34,517
収益合計	39,404	43,535	46,729	52,444	49,833
当期利益	12,593	15,692	19,110	23,222	17,914
1株当たり利益/希薄化後利益 ³⁾ (ノルウェー・クローネ)	68.76	85.68	104.34	126.79	97.81
資産合計	2,068,884	2,130,779	2,361,990	2,315,603	2,348,272
顧客預金	819,945	891,256	951,049	957,322	945,694
顧客向貸出金	1,308,864	1,350,656	1,447,465	1,531,932	1,492,268
株主資本合計	116,190	126,407	141,309	173,412	190,078
Tier 1資本	106,209	118,285	133,944	161,156	180,860
移行ルールに基づくTier 1資本比率(%)	10.8	11.8	12.9	15.3	17.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,100	(95,274)	(142,368)	(40,387)	214,042
投資活動によるキャッシュ・フロー	(3,484)	(581)	(989)	1,062	(1,206)
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,943	(50,430)	16,629	(16,415)	(20,928)
ネット・キャッシュ・フロー	75,090	(132,350)	(107,460)	(41,118)	191,596
従業員数(名)	12,655	11,601	11,257	11,047 ⁴⁾	10,801 ⁵⁾

1) ノルウェー会計法セクション3-9に基づき、当行グループはEUにより採用された国際財務報告基準(IFRS)に準拠した年次連結財務書類を作成する。

2) 2013年度から発効した会計原則の変更により、一部の比較数値が修正再表示された。

3) 当期利益を期末現在の株式数で除した額。

4) 2014年度から2015年度にかけての従業員数の減少は、当行グループのリストラクチャリング措置を反映している。

5) 2015年度からの従業員数及び常勤ベースで算定した従業員数の減少は、当行グループのリストラクチャリング措置を反映している。2016年12月末現在、バルト諸国における1,796名の従業員が当行グループに含まれていた。

当行¹⁾

	12月31日現在及び同日に終了した事業年度 (別途記載する場合を除き百万ノルウェー・クローネ)				
	2012年 ²⁾	2013年	2014年	2015年	2016年
純利息収入	22,170	21,378	21,859	24,215	23,608
収益合計	37,636	38,917	40,558	41,509	42,094
当期利益	13,423	14,472	18,458	20,638	14,789
1株当たり利益/希薄化後利益 ³⁾ (ノルウェー・クローネ)	73.29	79.02	100.78	112.69	80.75
資産合計	1,792,280	1,825,656	1,997,646	1,965,419	2,003,906
顧客預金	787,245	849,137	903,033	896,488	920,664
顧客向貸出金	713,743	680,114	723,456	705,532	690,060
株主資本合計	105,094	114,591	127,720	151,533	168,104
Tier 1資本	103,439	109,677	125,430	146,766	164,938
移行ルールに基づくTier 1資本比率(%)	11.8	11.7	13.6	16.2	21.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,889	(49,076)	(102,423)	25,723	195,401
投資活動によるキャッシュ・フロー	(19,596)	(19,670)	(5,105)	(34,662)	(4,408)
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,033	(79,271)	(18,891)	(42,529)	2,555
ネット・キャッシュ・フロー	70,364	(134,538)	(108,601)	(37,921)	191,884
従業員数(名)	8,338	8,123	8,084	7,898 ⁴⁾	7,618 ⁵⁾

- 1) 当行の法定財務書類は、ノルウェー財務省の年次財務書類に関する規則の、IFRSの適用に関するセクション1-5に準拠して作成されている。
- 2) 2013年度から発効した会計原則の変更により、一部の比較数値が修正再表示された。
- 3) 当期利益を期末現在の株式数で除した額。
- 4) 2014年度から2015年度にかけての従業員数の減少は、当行グループのリストラクチャリング措置を反映している。
- 5) 2015年度からの従業員数及び常勤ベースで算定した従業員数の減少は、当行グループのリストラクチャリング措置を反映している。2016年12月末現在、バルト諸国における1,796名の従業員が当行グループに含まれていた。

2【沿革】

DnBホールディング・エイ・エス・エイ及びイエーンシディーゲNORエイ・エス・エイの合併は、2003年12月4日付で企業登記所に登記され、DnB NORエイ・エス・エイが新たな持株会社の名称となった。DnBホールディング・エイ・エス・エイが買収側の持株会社であった。

2つの銀行子会社であった、デン・ノルスク・バンク・エイ・エス・エイ及びイエーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイの合併は、2004年1月19日付で企業登記所に登記された。イエーンシディーゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイが買収側の銀行であった。当行は様々な合併を行ってきたが、その起源はノルウェーの最初の貯蓄銀行であるクリスティアナ・スパーレバンクが設立された1822年まで遡ることができる。合併後、銀行の名称は、DnB NORバンク エイ・エス・エイとなった。

2002年9月10日、イエーンシディエゲNORスパーレバンク・エイ・エス・エイは、その形態を自己所有機関から公開有限責任会社へと変更し、1961年5月24日第2号ノルウェー商業銀行法に基づく登録番号984,851,006を持つ公開有限責任会社として法人化した。

2011年11月11日に、当行は名称をDnB NORバンク エイ・エス・エイからDNBバンク エイ・エス・エイに変更した。DNBグループのその他のいくつかの会社も同日付で名称を変更し、その中には持株会社のDnB NORエイ・エス・エイからDNBエイ・エス・エイへの名称変更も含まれる。

ノルドランズ・バンケンは、2012年10月1日付で当行に正式に統合されたが、最大2年間の移行期間は、当行グループの別ブランドとして存続する予定である。

当行の本店の所在地は、ノルウェー王国 オスロ市 N-0191 ドロニング・ユーフェミアス・ゲート30に所在し、電話番号は+47 915 03000である。

3【事業の内容】

概観

当行グループは、当行及びその子会社を含み、総資産で測定するとノルウェー最大の銀行グループである。当行は、ノルウェー及び海外において、顧客に対しコーポレート・バンキング、リテール・バンキング及び投資銀行のサービス及び商品を提供する。当行は、DNBグループ内で最大の会社である。2017年3月31日現在、当行グループの総資産は2,549十億ノルウェー・クローネ、顧客向貸出金は1,515十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して2016年12月31日現在の総資産は2,348十億ノルウェー・クローネ、顧客向貸出金は1,492十億ノルウェー・クローネであった。当行グループの利益は、2017年3月31日に終了した3ヶ月間において4.2十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して2016年度同期は4.9十億ノルウェー・クローネであった。2016年12月31日に終了した事業年度における利益は17.9十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して前年度は23.2十億ノルウェー・クローネであった。

当行グループの本店はオスロに所在する。当行は、DNBグループの持株会社であるDNBエイ・エス・エイの100%子会社である。DNBグループは、その総資産においてノルウェー最大の金融サービス・グループであり、2017年3月31日現在の総資産は2,870十億ノルウェー・クローネである(出典：DNB)。下記「*DNBグループの組織体系*」に記載のとおり、DNBエイ・エス・エイは、当行を通じて銀行業務を行っており、100%子会社であるDNBリフスフォルシクリン・エイ・エス(以下「DNBリフスフォルシクリン」という。)、DNBフォルシクリン・エイ・エス及びDNBアセット・マネジメント・ホールディング・エイ・エスを通じて生命保険商品及び年金貯蓄商品、損害保険商品並びに資産運用サービスを提供している。

2017年3月31日現在、DNBグループは約2.1百万名の個人顧客、約230,000の法人顧客並びに約1.2百万名の生命保険及び年金保険の顧客をノルウェー国内に有している。

当行は、住宅用不動産を担保とする融資をかかる不動産評価額の最大75%で提供する会社であるDNBボーリ・クレジット・エイ・エス(以下「DNBボーリ・クレジット」という。)を完全所有している。DNBボーリ・クレジットは、カバード・ボンドを発行する権利を持つ抵当ローン機関としての営業許可を有しており、DNBグループの長期資金調達を確実にするための重要な役割を果たしている。

DNBグループ及び当行グループの運営体系

当行グループの中核事業は、パーソナル・バンキング部、コーポレート・バンキング部及び大企業・国際部門のそれぞれの事業分野を通じて運営する、リテール・バンキング及びコーポレート・バンキングである。

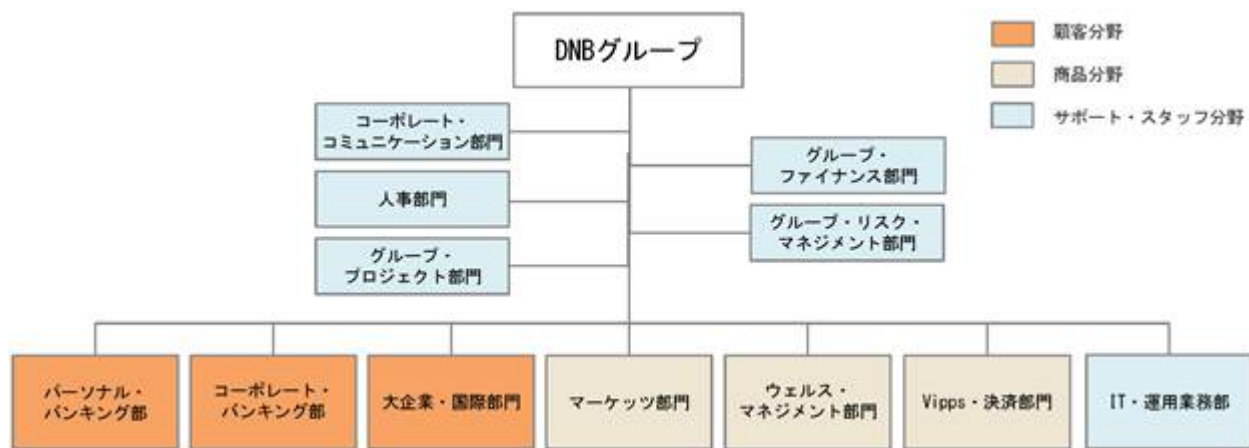
当行グループはまた、DNBマーケットを通じて投資銀行サービスを提供し、保険及び資産運用会社が提供する一定の資産運用商品及び生命保険商品のクロス販売を行い、当行グループが手数料等を受け取っている。当行は、ノルウェーにおける大規模民間決済銀行でもある。新たに設けられた商品分野は、Vipps¹⁾・決済部門である。Vipps・決済部門は、DNBグループにおける将来の決済ソリューションに関する戦略の立案及び調整に責任を負う。これには、モバイル決済ソリューションのVippsに対する責任も含まれる。

1) 2015年6月初め、DNBはVippsと呼ばれる全く新しい決済ソリューションを開始した。アプリケーションをダウンロードすると、自身のスマートフォン及び支払先の携帯電話番号を使って個人が互いに送金することができる。利用する銀行を問わず送金が可能である。

2016年12月31日現在、当行グループの総資産は、DNBグループの総資産の89%を占めており、当行グループの当期利益は、DNBグループの当期利益の93%を占めていた。

DNBグループの運営体系は、組織体系とは異なる。運営体系は、DNBグループの事業運営に適応されており、質の高い顧客サービス及び商品並びに効率的な運営を確実にすることを目的としている。

以下の図は、本書の日付現在のDNBグループの運営体系を示したものである。



報告体系 - 事業セグメント

DNBの財務ガバナンスは、異なる顧客セグメントに適応している。セグメントの損益計算書及び貸借対照表は、内部の財務報告原則に従って表示されており、これにより収益、費用及び自己資本要件が多くの前提に基づきセグメントに割り当てられる。したがって、異なるセグメントに関する報告数値は、当該セグメントに対する当グループの商品及びサービスの売上合計を反映している。全体的な顧客関係及びセグメントの利益性の追跡調査は、戦略的優先事項の決定及び当グループの資源をどこに配分するか決定における2つの重要な側面である。

以下は、本書の日付現在の当行グループの財務報告上の事業セグメントに関する記載である。

個人顧客部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける2.1百万名の個人顧客が含まれる。支店、24時間年中無休のテレフォン・バンキング、デジタル・バンキング、モバイル・バンキング・ソリューション、不動産仲介並びに郵便局及び店内郵便局等の外部チャネルから成るノルウェー最大の販売網を通じて、顧客に対して広範囲のサービスが提供される。

個人顧客部門には、DNBグループのノルウェーにおける個人顧客に対するすべてのデジタル及び実物の形態による商品及びサービスの売上合計が含まれる。ただし、収益が保険契約者のものとなる従来型の年金商品に基づき計上された住宅ローンを除く。スウェーデンにおけるクレジット・カード及び消費者金融もまた、この事業分野に含まれる。

2017年3月31日に終了した3ヶ月間において、個人顧客部門は2,129百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2016年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は2,221百万ノルウェー・クローネであった。2015年度の9,979百万ノルウェー・クローネと比較して、2016年12月31日に終了した事業年度において、個人顧客部門は9,008百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2016年度及び2015年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ41.2%及び32.2%にあたる。2016年12月31日現在、顧客向貸出金は718十億ノルウェー・クローネとなった一方、顧客預金は合計397十億ノルウェー・クローネとなった。

顧客によるデジタル・サービスの利用は増加しており、DNBは引続き商品及びサービスのデジタル化を進めている。さらに、セルフ・サービス比率の上昇に対応し、過去数年間で多くの支店が閉鎖された。2017年3月31日現在、当行が有する国内の支店は、57を残すのみである。

当行グループの連結財務書類において、DNBボーリ・クレジットの住宅ローン・ポートフォリオは個人顧客部門の一部として報告されている。DNBボーリ・クレジットの事業の残りの部分は、その他の事業の一部として報告されている。2017年3月31日現在、DNBボーリ・クレジットに計上された貸出金合計は、610十億ノルウェー・クローネとなった。約24十億ノルウェー・クローネの固定金利貸出金のポートフォリオは、過去数年間でDNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリンに売却された。

DNBアイェンダム・エイ・エス(以下「DNBアイェンダム」という。)はノルウェー最大の不動産仲介業者であり、個人顧客部門に含まれて報告される。同社は、住宅用不動産及び別荘の販売並びに住宅開発プロジェクトに関連するサービス並びにその他の不動産の売却に関するアドバイザリー・サービスを提供している。近年、DNBアイェンダムの市場シェア及び売上高は堅調に伸びており、2017年3月31日現在、ノルウェーに136のオフィスを有していた。

中小企業部門

この部門は、ノルウェーの中小企業向けの商品販売及びアドバイザリー・サービスに責任を負う。この部門の顧客は、小企業及び新興企業から比較的大規模な法人顧客に及び、顧客の様々なニーズに合わせた商品提供が行われる。中小企業は、デジタル・バンキング及び24時間年中無休のテレフォン・バンキングに加え、ノルウェー中の当行グループの大規模な物理的販売網を通じてサービス提供を受ける。企業のニーズは、急速にデジタル化している。過去数年間において、多くの手作業による法人向サービスが支店から削減され、当行のカスタマー・サービス・センターへのすべての問い合わせの大半が、現在デジタルなプラットフォームから行われている。顧客の行動の変化及びデジタル化の加速は、単純なニーズを持つ顧客に対しては、当行のデジタル・チャネルを通じて十分かつより効率的にサービスを提供できるということを意味している。

報告上、この部門には当行グループのノルウェーにおける中小企業向けの商品及びサービスの売上合計が含まれている。スウェーデン及びデンマークにおける中小企業向けのファクタリング、リーシング及びアセット・ファイナンスもまた、この事業分野に含まれる。

2017年3月31日に終了した3ヶ月間において、中小企業部門は1,362百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2016年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は1,065百万ノルウェー・クローネであった。2015年度の3,414百万ノルウェー・クローネと比較して、2016年12月31日に終了した事業年度において、中小企業部門は3,599百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2016年度及び2015年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ16.5%及び11.0%にあたる。2016年12月31日現在、顧客向貸出金は233十億ノルウェー・クローネとなった一方、顧客預金は190十億ノルウェー・クローネとなった。

大企業・国際部門

この部門には、当行におけるノルウェーの大企業顧客、公共部門並びにバルト諸国及びポーランドにおけるすべての顧客セグメントを含む海外の顧客が含まれる。

2017年3月31日に終了した3ヶ月間において、大企業・国際部門は1,888百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2016年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は1,360百万ノルウェー・クローネであった。2015年度の10,829百万ノルウェー・クローネと比較して、2016年12月31日に終了した事業年度において、大企業・国際部門は5,570百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2016年度及び2015年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ25.5%及び34.9%にあたる。2016年12月31日現在、顧客向貸出金は521十億ノルウェー・クローネとなった一方、顧客預金は379十億ノルウェー・クローネとなった。

大企業・国際部門は、ノルウェーの大企業顧客にサービスを提供し、バルト諸国及びポーランドの現地顧客へのサービス提供を含む当行グループの国際事業に責任を負う。業界及び商品についての適切な専門知識に基づく長期的な顧客関係は、この事業分野での成功の鍵である。国際的な取組みは、事業分野の戦略的な優先分野である海運、エネルギー及び水産の専門知識に基づいている。

DNBナールिंगス・クレジットは、当行の100%子会社である。この抵当ローン機関は、商業用不動産から成るカバー・プールによる担保が付されたカバード・ボンドの発行のために設立された。DNBナールिंगス・クレジットは、大規模な商業用不動産のアドバイザー及び仲介業者であり、カバード・ボンドの発行を通じて当行グループのための長期資金調達に利用されるポートフォリオを管理する。

大企業・国際部門は、中央の顧客サービス部門、金融サービス・センター及び事業センター並びにノルウェーの地域オフィスを通じて、また当行グループのテレフォン・バンキング及びインターネット・バンキングを通じて、ノルウェーの顧客にサービスを提供している。さらに、当行グループの法人顧客に対しては、世界中のいくつかの国のオフィス及び支店を通じて国際的にサービスを提供する。

トレーディング部門

この部門は、顧客取引に固有の市場リスクのヘッジを含む債券、外国為替及びコモディティ商品並びにエクイティのマーケット・メイキング及び自己勘定取引で構成される。顧客活動は、トレーディング活動によって支えられている。

2017年3月31日に終了した3ヶ月間において、トレーディング部門は621百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上し、これと比較して2016年3月31日に終了した3ヶ月間における税引前営業利益は211百万ノルウェー・クローネであった。2015年度の1,087百万ノルウェー・クローネと比較して、2016年12月31日に終了した事業年度において、トレーディング部門は2,455百万ノルウェー・クローネの税引前営業利益を計上したが、これは2016年度及び2015年度における当行グループの税引前営業利益のそれぞれ11.2%及び3.5%にあたる。

中央銀行が実施した様々な措置及び予期できない国際政治の出来事により、2016年は市場が不安定化した。健全なリスク管理により、マーケット・メイキング及び自己勘定取引からの高い収益を確保した。

競争

当行グループは、特にパーソナル・バンキング部の事業分野の主要商品である住宅ローンについて、競争の激しい市場で事業を行っている。当行グループの競合他社には、ノルデア・バンク・アクツィエボラゲのノルウェー支店、スパーレバンク1、ダンスケ・バンク及びハンデルスバンケンが含まれる。「第3-4 事業等のリスク-当行グループの事業に関するその他のリスク-当行グループが事業を行うノルウェー及び海外の市場における競争が、当行グループの事業にマイナスの影響を及ぼす可能性がある」も参照のこと。

以下の表は、2016年、2015年及び2014年12月31日現在の当行グループのノルウェーにおける貸出金及び預金の市場シェアを示したものである。

12月31日現在

2016年	2015年	2014年
-------	-------	-------

(単位：％)

リテール顧客

一般家庭向貸出金合計 ^{1) 2)}	25.0	25.4	26.0
一般家庭預金 ^{2) 3)}	30.0	30.6	30.9

法人顧客

法人顧客向貸出金合計 ⁴⁾	10.8	10.9	11.3
法人顧客預金 ⁵⁾	37.6	38.3	38.1

額面金額に基づく。

出典：スタティスティクス・ノルウェー及びDNB

- 1)一般家庭とは、従業員、財産所得、年金及び社会保険の受取人、学生等、住宅協同組合等、一般家庭内の非法人事業者並びに一般家庭にサービスを提供する非営利機関をいう。
- 2)貸出金合計には、国内の商業銀行及び貯蓄銀行、国営銀行、保険会社並びに金融会社によるノルウェーの顧客へのあらゆる貸付が含まれる。
- 3)国内の商業銀行及び貯蓄銀行。
- 4)貸出金合計には、国内の商業銀行及び貯蓄銀行、国営銀行、保険会社、金融会社並びに国外機関によるノルウェーの顧客へのあらゆる貸付に加え、債券及びコマーシャル・ペーパーが含まれる。金融機関、中央政府及び社会保障サービスへの貸付を除く。
- 5)金融機関、中央政府及び社会保障サービスからの預金を除く。

情報技術

IT・運用業務部は、DNBグループ内のサポート部である。IT・運用業務部は、ノルウェー及び海外のすべての事業部門及びサポート部の従業員向けにツールを提供し、また当行の顧客に対し使い勝手の良いソリューションを提供している。同部は、コーポレート・バンキング部、パーソナル・バンキング部及び大企業・国際部門に財務、与信及び決済のサービスを提供している。IT・運用業務部は、当グループの調達、建物及びセキュリティ・サービスにも責任を負う。

ITグループ理事会を含む多数の諮問機関が、DNBグループ内に設置されている。同理事会は、当行の戦略的目標の達成を確実にすることを目的とした当行のIT開発プロジェクトの優先順位の決定、意思決定及び追跡調査に関するIT・運用業務部部長のための諮問機関である。

保険

当行グループの保険プログラムは、オペレーショナル・リスク管理の不可分の要素である。当行グループは、既存の内部統制慣行及びその他のリスクの低減措置にも関わらず発生する好ましくない事象による財政面への影響を制限するため、保険契約を締結している。当行グループは幅広い保険プログラムを有しており、その中には、特に専門職業賠償責任(PI)、役員責任(D&O)並びに財産侵害及び犯罪的攻撃(「銀行包括保証及びコンピューター犯罪/サイバー・リスク」を含む内部及び外部の不正行為及び犯罪)に係るカバレッジが含まれる。

不動産

当行の本店はノルウェーのオスロ市に所在する。当行はまた、北欧市場、バルト諸国市場及びその他の海外に所在する数々のその他オフィス及び支店を通じて事業を行っている。当行は、重要な不動産を所有していない。

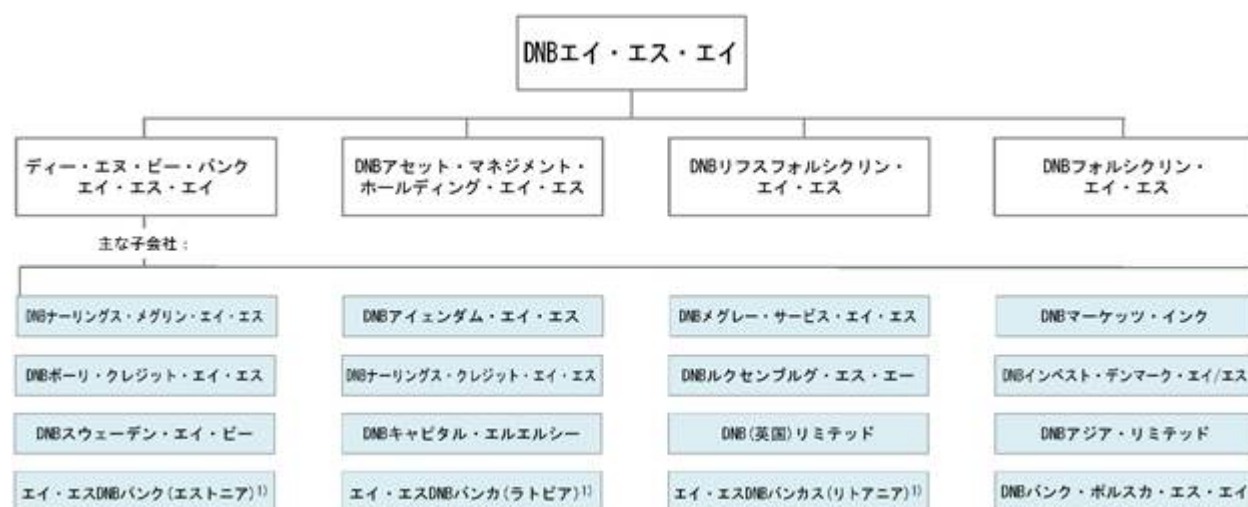
4【関係会社の状況】

DNBグループ 本書の日付現在の組織体系

DNBグループの組織体系

ノルウェーの規制当局の要件に従い、DNBグループの銀行業務、資産運用業務及び保険業務は、持株会社であるDNBエイ・エス・エイの下で別個の有限責任会社として組織されている。銀行業務は、当行及びその子会社により運営されている。すべての資産運用業務は、共通の持株会社であるDNBアセット・マネジメント・ホールディング・エイ・エスの下で組織されている。DNBリフスフォルシクリン・エイ・エスは、生命保険商品及び年金貯蓄商品について、利回り保証型商品及び投資特性選択型商品の双方を提供している。DNBフォルシクリン・エイ・エスは、個人顧客及び中小企業向けの包括的な商品パッケージの一部として、損害(物損及び人身)保険商品を提供している。

以下の図は、2017年3月31日現在のDNBグループの組織体系(主な子会社)を示したものである。



1)2016年8月25日、DNB及びノルデアは、エストニア、ラトビア及びリトアニアにおける業務を統合することに合意したと発表した。かかる取引は、規制当局の承認待ちであり、2017年度下半期中に完了する予定である。

当行の親会社であるDNBエイ・エス・エイは、DNBグループの持株会社である。当行は、DNBエイ・エス・エイの完全所有子会社である。DNBエイ・エス・エイは、オスロ証券取引所に上場しており、ノルウェー王国 オスロ市 ドロニング・ユーフェミアス・ゲート30に所在している。

以下の表は、2016年12月31日現在の当行の重要な子会社及び関連会社を示している。

千ノルウェー・クローネ単位(別途記載する場合を除きノルウェー・クローネ)

(単位: 1,000)

通貨: 別段の指示がない限り、

ノルウェー・クローネ)	株主資本	株式数	額面金額	株式所有 割合(%)	帳簿価額
海外子会社					
DNBインベスト・デンマーク	12,765,228	12,765,228,468	12,765,228	100	10,143,138
	デンマーク・ クローネ		デンマーク・ クローネ		
DNBバンカス	190,205ユーロ	5,710,134	190,205ユーロ	100	3,358,534
DNBバンカ	191,178ユーロ	191,178,337	191,178ユーロ	100	2,133,505
DNBバンク	9,376ユーロ	937,643	9,376ユーロ	100	912,919
DNBバンク・ボルスカ	1,257,200	1,257,200,000	1,257,200	100	1,773,560
	ポーランド・ ズロチ		ポーランド・ ズロチ		
DNBアジア ¹⁾	1,500,000米ドル	150,000,000	1,500,000米ドル	100	12,913,800
DNBアジア ¹⁾	20,000	20,000,000	20,000	100	100,768
	シンガポール・ド ル		シンガポール・ ドル		
DNBブラジル	600ブラジル・ レアル	599,999	600ブラジル・ レアル	100	2,669
DNBキャピタル ²⁾				100	20,662,080
DNBルクセンブルグ	70,000ユーロ	70,000	70,000ユーロ	100	635,798
DNBマーケット・インク	1米ドル	1,000	1米ドル	100	3,155
DNBスウェーデン	100,000	100,000,000	100,000	100	13,785,672
	スウェーデン・ク ローナ		スウェーデン・ クローナ		
DNB(英国)リミテッド	200英ポンド	200,000	200英ポンド	100	12,307,645
国内子会社					
アクシエ・オ・アイェンダムス・インベスト	100	100,000	100	100	38,721
ブリゲットルゲット・ホールディング	3,250	2,500	3,250	100	63,230
デジタル・ウォレット	297	2,971	297	100	7,500
DNBボーリ・クレジット	3,857,000	38,570,000	3,857,000	100	33,384,000
DNBアイェンダム	10,003	100,033	10,003	100	158,021
DNBアイェンドムストヴィクリング	91,000	91,000,000	91,000	100	253,731
DNBヤンスタンドスアドミニストラション	3,000	30	3,000	100	3,000
DNBインベスト・ホールディング	100,000	200,000	100,000	100	172,000
DNBメグレー・サービス	1,200	12	1,200	100	10,221
DNBナーリングス・クレジット	550,000	550,000	550,000	100	5,240,942
DNBナーリングス・メグリン	1,000	10,000	1,000	100	24,000
DNBボーシッシュ・プロパティーズ	1,200	1,200	1,200	100	35,113
ゴッドフェレット	8,030	8,030	8,030	100	27,600
ゴッドフォルデン	1,000	10,000	1,000	100	72,000
コングスバルグ・インダストリエイェンドム	100	1,000	100	100	10,000
子会社への投資合計					118,233,322

注記:

- 1) DNBアジア・リミテッドは、株主資本の一部をシンガポール・ドル(現地の規制による。)、一部を米ドルで保有している。
- 2) 有限責任会社であるDNBキャピタル・エルエルシーの払込資本は、2.4十億米ドルである。

DNBボーリ・クレジット

DNBボーリ・クレジットは、当行グループの住宅用不動産に基づくカバード・ボンドの発行を担っている。

2016年度におけるDNBボーリ・クレジットの収益合計は、3,495百万ノルウェー・クローネであり、同期間における当行グループの収益合計の約7%となった。2016年度におけるDNBボーリ・クレジットの当期純利益は、815百万

ノルウェー・クローネであった。2016年12月31日現在の資産合計は681,264百万ノルウェー・クローネであり、株主資本合計は39,592百万ノルウェー・クローネであった。

ノルウェー輸出金融公社

当行は、現在、ノルウェー輸出金融公社の40%の所有持分を有している。ノルウェー輸出金融公社の他の大株主は、ノルデア・バンク・ノルゲ エイ・エス・エイ、ノルウェー政府及びダンスケ・バンク エイ/エスである。当行グループの会計において、ノルウェー輸出金融公社に対する投資は、持分法で計上されている。2016年12月31日現在、当行グループの貸借対照表に反映されたノルウェー輸出金融公社に対する株式投資は、約3,219百万ノルウェー・クローネであった。

当行グループは、ノルウェー輸出金融公社の経営に関与していないが、当行の最高投資責任者であるビョルン・ベルグ氏は、ノルウェー輸出金融公社の取締役会構成員であり、監査委員会及びリスク委員会双方の会長である。ゲイル・ベルグボル氏は、2014年11月に最高経営責任者に任命された。任命前、同氏は2008年からノルウェー輸出金融公社の取締役会会長を、また2007年から2014年まで当行の合併・買収部門部長を務めていた。

5【従業員の状況】

当行グループの最も重要なリソースは、常に従業員である。顧客へのサービス提供能力を通じた価値を創造しているのは、DNBの人材である。

より厳格な自己資本規制要件及び顧客の行動の急速な変化を伴う銀行を取り巻く新たな現実への適応の特徴は、2016年度における組織及びリーダーシップの構築であった。特に、顧客の行動の変化にDNBが対応するための準備が重点的に行われた。

2016年12月31日現在、当行グループは常勤ベースで算定すると10,366名の従業員を有しており、そのうち3,166名はノルウェー国外で勤務していた。2015年12月31日現在の10,608名(そのうち3,079名は海外で勤務)から減少した。

2016年12月31日現在、常勤相当のベースで算定した当行の従業員は7,301名であり、そのうち980名は海外で勤務していた。2016年12月31日現在、当行グループの従業員は10,801名であり、そのうち3,205名は海外で勤務しており、また2016年12月末現在、バルト諸国における1,796名の従業員が当行グループに含まれていた。

顧客行動の急速な変化を伴う銀行が直面する新たな現実への適応、デジタル化及びより厳格な自己資本規制要件が、2016年度の組織及びリーダーシップの動向を特徴付けていた。当行グループが確実に適切な能力を有するようにし、また変化する能力及び従業員の貢献を促進するための組織的な取り組みが行われた。

従業員に関する詳細は、「第6 - 1 - (1) 2016年12月31日に終了した事業年度の財務書類 - 注21」も参照のこと。

第3【事業の状況】

1【業績等の概要】

「7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

2【生産、受注及び販売の状況】

「7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

3【対処すべき課題】

戦略、ビジョン及び価値

当行はDNBグループの主要子会社であるため、当行の戦略はDNBグループ全体の戦略と連動する。

DNBの戦略的プラットフォームは、当グループのビジョン、価値及び共有された顧客への価値提案で構成される。かかるプラットフォームは、当グループの特徴を示し、共通の目標を設定する。

DNBのビジョン、価値観及び顧客への価値提案は、顧客を重視するものである。DNBは、顧客が必要とする金融サービスを適切に提供し、顧客を満足させることにより、ノルウェーにおける主要な銀行であり、また選別した顧客セグメント、商品及び地域における主要な世界的企業となることを目指している。

DNBのビジョン：顧客へのサービス提供能力を通じた価値の創造 DNBは、顧客、事業主、従業員及び社会全般にとっての価値を創造する。

DNBの価値：有用で、専門的かつ自発性があること この価値は、DNBの特徴を反映している。有用で専門的かつ自発的な従業員により、DNBは、顧客がDNBに関わる際に常に良い経験ができるように期している。

DNBの顧客への価値提案：顧客のため、毎日、最も重要な時に これは、DNBがいつ、どこで、どのように顧客のために存在するかということにほかならない。そこに存在することとは、最善のソリューションを提供できるようにするため、顧客のニーズを特定することである。

DNBは、株主のための長期的な価値創造を優先し、北欧の同業者に対し競争力の高い株主資本利益率、成長率及び時価総額の達成を目指している。

DNBは、当行の業界についての専門知識を活用すること並びに顧客の全体的な金融ニーズに商品及びサービスを適応させることにより、より多くの顧客にとっての戦略アドバイザーとなることを目指している。主要銀行としての魅力ある地位を築くため、DNBはあらゆる金融サービスが競争力を持つようにしなければならない。

リスク管理

リスク管理能力は、金融サービス業界において非常に重要であり、長期的な価値創造に必要な不可欠な条件である。当行は、低リスク・プロファイルを維持することを目指し、また、認識されかつ監視することのできるリスクのみを負担する。リスク管理とは、当グループが意図しないリスクから保護されるようにする一方、リスクに対する収益性が考慮されることを意味する。健全なリスク管理は、強固なリスク文化に基づき、組織内のリスク及びリスク管理に対する高い意識に特徴付けられる。DNBグループのリスク管理方針は、すべてのDNBグループのリスク管理活動に関する原則を定めており、リスク管理に係る目標、姿勢及び組織について規定している。

すべてのマネージャーは、自身の責任分野におけるリスクに責任を負う。リスクは、個人の承認及びリスク限度枠を通じて管理される。リスク管理機能及びリスク管理ツールの開発は、個々の事業分野における業務から独立した部門が請け負う。

DNBグループの不可分の要素として、当行グループは本項に概説されるDNBグループのリスク管理方針に服する。

責務及び組織

DNBグループのリスク管理は、3つの防衛線のモデルに基づいている。主なリスク管理の原則は、明確な目標及び戦略、方針及び指針並びに効果的な運営体系及び透明性のある報告である。

第1の防衛線は、運営の効率性に関して定められた目標達成のためのプロセス及び活動を含む、運営管理のガバナンス及び内部統制、信頼性のある財務報告並びに法律及び規制の遵守である。運営管理は、各分野における事業部の活動及びプロセスに関連するすべてのリスクに責任を負う。事業部は、リスク管理及びリスク・エクスポージャーが、常に取締役会により決定された限度枠及び包括的原則の枠内に確実に収まるようにする。

第2の防衛線は、運営管理のガバナンス及び内部統制を監視及び追跡調査する独立した機能を表している。かかる機能は、第1の防衛線が適切に設計され、かつ意図したとおりに機能することを確実にするために設定される。第2の防衛線は、リスク管理、組織間の調整及びリスクの報告のための前提を置くことに責任を負う。

第3の防衛線は、グループ経営陣の全体的なガバナンス及び内部統制を審査及び評価するグループ監査部門である。グループ監査部門は、第1及び第2の防衛線におけるリスク管理を審査し、リスク管理及び内部監査の評価により事業の潜在的な改善点を特定する。グループ監査部門は、当グループの上級経営陣から独立しており、DNBエイ・エス・エイの取締役会に直属する。

取締役会

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、リスク及び事業範囲に対し適切な自己資本が当グループに備わっていること並びに法律及び規制に定められた自己資本要件を充足していることを確実にすることに責任を負う。DNBエイ・エス・エイの取締役会は、リスク選好度の枠組みを通じてDNBグループのリスク・プロファイルの長期目標を設定する。取締役会は、DNBグループの資本状況を継続的に監視する。

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、DNBグループの主要なリスク分野及び内部統制を毎年審査する。かかる審査は、グループ最高経営責任者からの報告に基づき行われ、主要なリスク分野で行われた作業の質を検証し、弱点及び改善の必要性を特定することを目的としている。

リスク管理委員会は、DNBグループの内部統制体制及びリスク管理体制を監視し、これらが有効に機能していることを確認する。さらに、同委員会は、現在及び将来のリスク選好度及びリスク戦略を含む、当グループのリスク・プロファイルに関して取締役会に助言を行う。取締役会への助言には、資本管理及び流動性管理、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク、コンプライアンス及びレピュテーションに関するリスク並びにDNBグループにおけるその他のリスクに関する戦略が含まれる場合がある。同委員会は、取締役会がDNBグループにおけるリスク管理を監視するための準備を行い、かかる準備にはグループ経営陣のリスク報告の審査及び評価が含まれる。

監査委員会は、DNBグループ監査部門及び監査役が行った作業の質を評価し、当グループの外部及び内部の監査手続が独立かつ効果的であること、並びに財務報告が法律及び規制を十分に遵守していることを確実にする。監査委員会は、当グループの監査役の人選及び監査役の報酬に関して検討し、提言を提出する。同委員会は、監査役の独立性を評価及び監視する。また、同委員会は、財務報告のプロセスを監視し、年次財務書類及び連結財務書類の法定監査を審査する。同委員会は、取締役会が財務報告のプロセスを監視するための準備を行い、また当グループの財務報告の審査及び評価も行う。

グループ最高経営責任者及び執行機関

グループ最高経営責任者は、効果的な管理体制及び内部統制の構築を含む、DNBエイ・エス・エイの取締役会が設定した事業目標の達成に役立つリスク管理措置の実施に責任を負う。グループ経営陣の会議は、グループ・レベルの経営に関するグループ最高経営責任者の合議体である。リスク管理及び資本管理に関するすべての重要な決定は、通常、グループ経営陣チームと協議した上でなされる。与信供与並びにすべての重要な財務分野におけるポジション及び取引の限度枠について、承認が必要である。承認は、すべて個別のものである。承認は、全体的な限度

枠と併せてDNBエイ・エス・エイ及び当行の取締役会により決定され、組織に委任されるが、追加の委任には、当該個人の直属の上司による承認及び追跡調査が必要となる。

様々な専門分野における書類作成並びに監視及び統制の実施を補佐するため、多くの諮問機関が設置されている。

グループ・リスク管理部

グループ・リスク管理部は、DNBグループ内の中核かつ独立したリスク管理部である。同組織は、DNBグループの最高リスク管理責任者が率い、最高リスク管理責任者はグループ最高経営責任者に直属する。グループ最高経営責任者は、リスク負担及び内部統制のための前提を置き、DNBグループのリスク状況の評価及び報告を行う。DNBグループのリスク関連組織の大半は、グループ・リスク管理部内に組織されるが、運営上のリスク管理の一部は事業分野において組織される。

コンプライアンス

コンプライアンス機能は、DNBグループのコンプライアンス・リスクの特定、評価、助言、監視及び報告を行う独立した機能である。かかる機能はDNBのグループ・コンプライアンス・オフィサーが率い、グループ・コンプライアンス・オフィサーは、グループ最高経営責任者を通じて取締役会に直属する。すべて事業部門及びサポート部並びに大規模な子会社及び海外の事業体には、関連する規制の確実な遵守に責任を負うコンプライアンス機能がある。海外の事業体並びにバルト諸国及びポーランドにおける当グループの事業におけるコンプライアンス機能は、グループ・コンプライアンス・オフィサーに直属する。DNBグループにおける倫理責任についても、コンプライアンス機能の下に組織される。

自己資本管理

リスク・プロファイルの評価及び自己資本要件

ノルウェー公開有限責任会社法に従い、すべての会社は、常に、会社の活動及び関与するリスクの範囲を考慮した適正な株主資本を保たないといけない。自己資本規制では、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクを含む最低第一次資本要件が定められている。DNBグループは、当該最低要件を満たすとともに、様々なバッファ要件を満たさなければならない。バッファ要件と最低要件との違いは、遵守しなかった場合の結果による。最低要件を遵守しなかった場合、当該銀行の再編又は清算につながる可能性がある一方、バッファ要件を遵守しなかった場合は、自己資本を強化するための措置が行われなければならない。バッファ要件を遵守しなかった場合、配当金の支払い、ハイブリッド証券の利息の支払い及び従業員に対する様々な報酬の支払いが制限されることになる。ノルウェー金融監督庁は、個々の金融機関における最低要件及び一般的な自己資本要件(第1の柱)の算定基準で十分にカバーされないリスク要素の有無を評価する。これらは、第2の柱に基づく要件といわれる。

当グループは、DNBグループの資本戦略及び配当方針に従い、同等の自己資本原則に基づく北欧地域における最良の自己資本を有する金融サービスグループの一つになることを目指している。配当は、十分な財務力を維持する必要性及び外部パラメータの変動などの要因に基づき決定される。当行の自己資本指針では、目標とする自己資本水準、当行の自己資本の状況の見直しの頻度並びにリスク調整後自己資本及びストレステストの使用といった使用される評価方法が示されている。自己資本指針は、内部自己資本充実度評価プロセス(以下「ICAAP」という。)及び監督上の検証・評価プロセス(以下「SREP」という。)を通じた当局からのフィードバックに基づいて毎年見直される。

ストレステスト

ストレステストは、当グループの自己資本の評価において重要な手段であり、また、財政計画にも使用される。ストレステストは、マクロ経済環境の変化が自己資本の必要性にどのような影響を与えるかを判断するための自己資本計画の過程で使用される。当グループの管理チームは、ストレステストの改良に関わり、その結果に基づく措置及び戦略を検討している。

当行は、2011年及び2014年に、欧州銀行監督機構が取りまとめた欧州銀行のストレステストに参加した。当該ストレステストは、貸付損失、市場リスク及び純利息収入の減少などの深刻な衝撃及び損失に対する欧州の銀行の回復力並びにその結果が当行の普通株式等Tier 1資本の比率に与える影響を評価するものである。当行はまた、2015年度末の数値に基づくEBA2016年度ストレステストにも参加した。当行グループの悪化シナリオに基づくストレステストの結果によると、普通株式等Tier 1比率は14.30%(0.01%の減少)と、ほぼ横ばいであった。当行は、ストレステスト期間(2016年～2018年)において好調な配当前業績を維持し、これはEBAの方法論によると、資本基盤を安定させる。リスク・エクスポージャーの額もまた、リスクの影響を受けにくいバーゼル 制度に基づくノルウェーの移行ルールの効果により変動がなかった。

ICAAPのストレステストは、マクロ経済状況の著しい悪化を仮定し、変化した状況が当グループの全体的なリスク状況、収益性及び自己資本にどのような影響を与える可能性があるかを示す。該当するリスク要因に基づくストレステストシナリオが毎年策定される。かかるシナリオは、資産負債委員会(以下「ALCO」という。)により検討され、最高リスク管理責任者により承認される。当該ストレステストは、DNBの損失見積りのためのリスク調整後自己資本のモデルを使用している。

リスク選好度

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、リスク選好度の枠組みを通じ、DNBグループのリスク・プロファイルの長期目標を設定する。リスク選好度の枠組みは、リスクが管理され、DNBグループのガバナンスのプロセスに実践的

に、体系的に、透明性があり、かつ同期的な方法で統合されていることを確実にすることを意図している。リスク選好度の枠組みによって、全体的かつバランスのとれたビジネス上のリスクについての見方が提供されなければならない。かかる枠組みを支えるため、一連のガバナンスの原則及び運営手順並びにDNBグループ内の責任が定められた。目標とするリスク・プロファイルも、承認及び事業限度枠の設定を含むリスク管理の枠組みのその他の部分に反映される。リスク選好度の枠組みは、少なくとも年1回見直される。また、取締役会も定期的にリスク水準、枠組みの構造及び当該リスク・カテゴリーの報告を審査する。

DNBグループのリスク選好度に基づき決定される限度枠は、事業部門及びサポート部において運用される。DNBグループのガバナンス体制において、リスク選好度は選ばれた指標の目標数値の形で示される。カバーする業務を反映するリスク指標を監視することにより、DNBグループはリスクが目標とする水準にとどまっているかどうかを確認することができる。リスク指標は、一般に(定量化可能なリスクについては)リスク水準の限度枠又は定性的評価により表示される。これらは同様のリスク・トピック及びリスク・トレンドを裏付けるが、必ずしもDNBグループと同じ測定のパラメータを使用して表示されとは限らない。これらの目標数値を継続的に監視することにより、最重要と定義されるリスクもまた、確実に組織の業務範囲内で監視されかつ議論される。

リスク・カテゴリー

リスク管理の目的上、当行グループは、リスク・カテゴリーを以下のとおり区別している。

信用リスク

信用リスク(又はカウンターパーティ・リスク)とは、DNBグループの顧客(取引先)側がDNBグループに対する支払債務を履行できないことに起因する財務上の損失のリスクをいう。信用リスクは主として貸出金等顧客/取引先に対するすべての債権のみならず、その他の承認済みの信用供与、保証、債券、未使用の与信枠及び銀行間預金に係る債務並びに通貨デリバティブ取引及び金利デリバティブ取引に関して生じるカウンターパーティ・リスクを含む。

DNBグループの与信プロセスは、取締役会によって承認されるDNBグループの与信方針に基づくものである。与信業務の主たる目的は、当行の短期的及び長期的収益性を確保できる構成及び質の与信ポートフォリオを維持することである。与信ポートフォリオの質は、DNBグループの低リスク・プロファイル目標に合致しなければならない。

DNBグループは、単一の顧客又は顧客グループに対する多額のエクスポージャー、並びに高リスクのカテゴリー、産業及び地域に係る多数の融資契約等、大規模なリスクの集中を回避することを目指している。リスクの集中動向は金額、リスク・カテゴリー及びリスク調整後(所要)自己資本に関して厳重に監視されている。大口の顧客及び顧客グループに対するエクスポージャーは、リスク・カテゴリー及びリスク調整後(所要)自己資本に基づき追跡調査される。

リスク分類システムは意思決定支援として利用され、また、継続的なリスク監視及び報告のため利用されている。個別毎及びポートフォリオ毎の融資契約のデフォルト確率、予想損失及びリスク調整後(所要)自己資本は、与信戦略の進捗管理を含む与信プロセス及び継続的モニタリングの一環として組み込まれている。

市場リスク

市場リスクとは、外国為替、金利、コモディティ及び資本市場においてヘッジされていないポジションをとる結果生じる損失のリスクをいう。市場リスクは、市場価格又は為替レートの変動による利益の変動の結果生じる。市場リスクには、通常のトレーディング活動を通じて生じるリスク並びに銀行活動及びその他の業務の一部として生じるリスクの双方が含まれる。

流動性リスク

流動性リスクとは、DNBグループが支払期限の到来した債務を履行できなくなるリスク及びDNBグループが付随する費用を大幅に増加させなくては流動性債務を履行できなくなるリスクをいう。このリスク・カテゴリーは、他の事象によりDNBグループの債務履行能力に関心が生じるまで実体化しないという点で、しばしば条件付とされるが、流動性は金融事業にとって極めて重要である。流動性リスクは、リスク調整後(所要)自己資本の形で数値化されてはいないが、限度枠管理及びストレス・テストを通じて追跡調査される。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、内部のプロセス及びシステムの不備若しくは誤謬、人為的過失、又は外部の事由に起因する損失のリスクをいう。また、オペレーショナル・リスクには、コンプライアンス・リスク、法的リスク、実施リスク及びITリスクも含まれる。コンプライアンス・リスクとは、法律及び規制又は類似の義務の違反による損失のリスクであり、法的リスクとは、契約書の作成及び解釈並びにDNBグループが事業を行う地域における異なる法的慣行に関連してしばしば生じるリスクである。

事業リスク

事業リスクは、市況、政府の規制又はレピュテーションの低下による収益の喪失等の外的要因の変化に起因する利益の変動に関連している。レピュテーション・リスクは、他のリスク・カテゴリーによる結果であることが多い。DNBグループの事業リスクには、主に戦略プロセス及びDNBグループのレピュテーションを守り、向上させる継続的な努力を通じて対処する。DNBグループのリスク選好度を決定し追跡調査する際には、レピュテーション・リスクは個別のリスク要因として定義される。

以上に記載したリスクのほか、DNBグループは戦略リスクにもさらされており、かかるリスクはDNBグループが既存の戦略的機会を生かせなかった場合に利益が減少するリスクと定義できる。DNBグループの戦略リスクについて個別の測定又は報告はなされていないが、年間の戦略プロセスの一部として議論される。

新たな規制の枠組み

金融サービス業界の規制は、一連の規制要因に基づいている。過去数年にわたり、金融サービス業界についてより厳格な要件を定めた多くの新たな規制が導入又は発表された。ノルウェー当局は、EUと比較してより厳格な自己資本規制要件を導入し、より早期に実施した。

新たな自己資本及び流動性の要件

銀行の自己資本規制要件

CRR/CRD 規制と呼ばれるEUの自己資本要件の規制は、2014年1月1日付で施行された。CRRは規則であり、CRDは指令である。これらの規制は、自己資本及び流動性の基準についてのバーゼル委員会による2010年12月の提言であるバーゼル IIIに基づいている。CRR/CRD 規制には、自己資本、長期資金調達及び流動性準備に関する要件が含まれる。これらの規制は、EEA内のすべての銀行及び投資会社に適用され、2019年度まで段階的に実施される。

第1の柱

銀行の自己資本規制要件は、2つの柱で構成される。第1の柱には、政治上の権限者が決定する最低要件及びバッファ要件が含まれる。2016年7月1日現在、ノルウェー当局が国内のシステム上重要な銀行(以下「O-SIIs」という。)であると定義したDNB、ノルデア・バンク・ノルゲ及びノルウェー地方金融公社の3つの銀行の普通株式等Tier 1資本合計の要件は13.5%であり、その他の銀行については11.5%であった。これには、1.5%のカウンターシクリカルなバッファが含まれる。現行のカウンターシクリカルな資本バッファ要件は0.5パーセント・ポイント上昇し、2017年12月31日現在では2.0%になる。

バーゼル のフロア

EUと同様、ノルウェー当局は、銀行の自己資本水準が低くなりすぎることのないようにするため、セキュリティ・メカニズムとしていわゆるバーゼル のフロアを保持することを選択した。CRR/CRD 規制において、ノルウェー財務省は、ノルウェーにおけるバーゼル のフロアはリスク加重資産を算定するためのフロアであると規定している。しかし、EUの規制においては、バーゼル のフロアは自己資本の最低水準と曖昧に定義されており、かかる定義はEU/EEAにおける銀行に関する欧州委員会の共通の報告基準にも反映されている。この監督上の慣行は、バーゼル のフロアについてEUの定義が使用された場合、ノルウェーの銀行の自己資本が、より弱く見えることを示唆している。

リスクに基づかない自己資本要件であるレバレッジ比率

リスク加重自己資本要件の補足並びに規制の調整及び乖離への対応措置として、リスクに基づかない自己資本要件であるレバレッジ比率も導入される予定である。2018年度からレバレッジ比率の要件を最低3%とすることをバーゼル委員会が提言し、欧州委員会が提案した。

ノルウェーでは、ノルウェー財務省はレバレッジ比率の最低要件を2017年6月30日現在で3%と設定した。すべてのノルウェーの銀行が、最低2%の最低要件に加え、バッファータを持たなくてはならない。システム上重要な銀行は、最低1%の追加のバッファータを持たなくてはならない。したがって、ノルウェーのシステム上重要な銀行として、DNBの要件合計は6%となる。2016年度末現在、DNBのレバレッジ比率は7.3%であり、導入予定の要件を十分上回っていた。

第2の柱

第2の柱に基づく要件は、その他の要件を補完するものであり、第1の柱ではカバーされないか又は一部しかカバーされないリスクに関する金融機関固有の自己資本要件を反映することを企図している。この要件は、個々の銀行のリスク要因に基づくため、銀行によって異なる可能性がある。DNBの第2の柱に基づく要件は、普通株式等Tier 1資本の1.5%に設定されている。カウンターシクリカルな資本バッファータの算定に関する新たな規則が、2016年10月1日付で施行された。DNBにとって、これはカウンターシクリカルな資本バッファータ要件が、銀行が信用エクスポージャーを有する国のバッファータ・レートの加重平均になることを意味する。2016年度末現在、第1の柱及び第2の柱に基づく普通株式等Tier 1資本要件は、14.7%であった。



為替レート及び市場価格が変動する可能性を勘案し、普通株式等Tier 1資本要件の合計を上回るマージンを有する必要がある。ノルウェー金融監督庁の見解によると、DNBは約1パーセント・ポイントのマージンを有する必要がある、これは当グループが2016年度末現在で約15.7%の普通株式等Tier 1資本比率を有する必要があったことを意味する。ノルウェー金融監督庁がこのマージンを設定した理由は、厳しい市場環境においても当グループの自己資本の強化が資本市場へのアクセス確保に役立たなければならない一方、DNBが低迷期においても通常の貸出金の伸びを保持できなければならないためである。DNBグループの普通株式等Tier 1資本比率は、2016年12月31日現在で16.0%であった。

14.7%の普通株式等Tier 1資本合計の要件を遵守できない場合も、配当、変動報酬及び追加的Tier 1資本に係る利息の支払い等の銀行の利益の分配に自動的に制限が課されるわけではない。しかし、銀行はかかる状況の理由を書面により説明すること並びに自己資本の強化及びリスク水準の低下のための行動計画を提出することが求められる。これは、他の国々における規制とも一致している。ノルウェー金融監督庁による制限導入の決定は、いずれも損失を補填する際の資本及び追加的Tier 1資本の異なる優先順位に基づいており、これは追加的Tier 1資本に係る利息の支払いが削減される前に変動報酬及び配当の支払いに関する制限が導入されることを意味している。

ノルウェー財務省は、2016年1月31日付で施行された銀行及び保険会社の自己資本要件の統合に関する規制を明確化する規制の変更を承認した。これは、保険会社に対する持分を有するIRB銀行(IRB銀行は、信用リスクの算定及び報告に内部モデルを使用している。)がノルウェー固有のバーゼル のフロアを算定する方法を示唆している。規制の変更は、2017年1月1日付で施行され、DNBグループの普通株式等Tier 1資本比率は約20ベシス・ポイント低下する。

バーゼル委員会は、特に銀行の報告済みの自己資本数値と自己資本要件の比較を容易にするため、自己資本算定に関するバーゼル 基準の一部を変更することを提案した。IRB銀行の新たな自己資本のフロアの導入と共に、標準化された手法及びIRB手法の変更が提案された。基準の修正は、EU及びノルウェーにおける将来の自己資本規制に影響を及ぼす可能性がある。

銀行の流動性要件

EUの自己資本要件の規制には、流動性カバレッジ比率(LCR)及び安定調達比率(NSFR)の2つの定量的な流動性要件に関する規定が含まれている。

LCRは、銀行に対し、ストレス下において正味支払額合計を最低30日間カバーするのに十分な適格流動資産を保有するよう求めている。そのため、正味支払額は、顧客、公共団体及び中央銀行からの預け金の損失の可能性を反映する。この要件は2015年10月1日付でEUにおいて導入され、2018年1月1日付で完全に施行されるまで、段階的に引き上げられる。

ノルウェーでは、EUの予定より前にLCRが導入された。0-SIIsは、早くも2015年12月31日からすべての通貨の合計についてLCR要件を100%充足する必要があった。その他の銀行については、かかる要件は2015年12月31日現在で70%、2016年12月31日現在で80%、2017年12月31日現在で100%と段階的に引き上げられる。すべての通貨の合計に関するLCR要件に加え、ノルウェー財務省は、重要な各通貨(銀行の債務総額の5%超を構成する各通貨)に関する100%のLCR要件を導入した。多額のユーロ又は米ドルを保有する銀行は、すべての通貨の合計に関するLCR要件に加え、ノルウェー・クローネによりLCR要件の最低50%を遵守しなければならない。重要な通貨に関するLCR要件は、2017年9月30日から適用される。

NSFRは、銀行に対し、いわゆる「所要安定調達額」に対応する最低限の安定調達額を保有するよう求めている。そのため、銀行は貸出金及び有価証券等の資産を調達するために安定的な調達を利用することが求められる。安定的な調達とは、残存満期が最低12ヶ月以上の預金及び資金調達をいう。項目の流動性の特性を反映した、資産及び預金の双方に関する調整規則がある。

バーゼル委員会の提言に従い、2018年1月1日までにNSFR要件を充足しなければならない。2016年11月23日、欧州委員会は最低要件を100%とする提言を提出した。銀行には、規制の施行後、要件を充足するため2年の期間が与えられる。ノルウェーでは、ノルウェー金融監督庁がノルウェー財務省に対し、0-SIIs及び資産合計が20十億ノルウェー・クローネを超えるその他の企業の最低要件として、EUにおいてNSFRについての最終決定がなされた後直ちにNSFRを導入するべきである旨の提言を行った。ノルウェーにおいてNSFRが導入されるまで、ノルウェー金融監督庁は、銀行の長期資金調達の監視に際し流動性指標1を引続き使用する予定である。流動性指標1は、NSFRに類似している。

預金保険及び危機管理に関する新たな規則

2015年1月、EUは、この分野に広範な規制である銀行再建・破綻処理に関する指令(BRRD)を導入した。

かかる指令の目的は、危機を予防しかつ初期段階で対処するために必要な手段を銀行及び当局に提供することにより、金融の安定性を確保する危機管理システムを構築することである。危機管理システムにより、預金及び公共資金が保護される一方、金融の安定性を脅かすことなく大規模銀行の清算又は財政の立て直しが可能になった。

破綻処理基金及び預金保険基金

BRRDに基づき、各国は危機管理の手段として破綻処理当局が利用する国営の破綻処理基金を設立する。修正版預金保険指令に従い、各国は預金保険基金も設立しなければならない。ノルウェーには、欧州において最も資本を十分に備えた預金保険基金の一つがあり、その資本合計は、2024年度における保証対象の預金の1.8%という預金保険基金及び破綻処理基金に関するEUの統合された要件を大きく上回っている。

ベイルイン

BRRDの主な要素は、銀行の清算又は資本構成の変更に関するいかなる損失も銀行の投資家が負担し、納税者は負担しないということである。そのため、指令は銀行の負債のいわゆる「ベイルイン」を可能としたが、これは危機解決の一環として、無担保債権者が、債権の減額及び/又は資本への転換を経験する可能性があることを意味している。ベイルインの規則は、2016年1月1日付でEUにおいて施行された。その目的は、最も重要な銀行の機能について業務を確実に継続することである。このような状況では、投資家は、銀行に通常の清算規則に基づく清算を要求

することができないため、銀行の業務継続が金融の安定性及び経済にとって重要とみなされた場合、当局に対する影響力を失う。

BRRDによると、ペイルインは最後の選択肢であり、銀行がほぼ支払不能となるまで開始されてはならない措置である。投資家は最低限、通常の破産手続に基づき銀行が清算された場合と同様の金銭的リターンを得るべきである、というのが基本的な原則である。預金保険により保護される預金は、通常損失から保護される。

EUにおけるすべての銀行は、銀行が清算寸前となった場合に減額するか又は資本に転換(ペイルイン)することのできる、最低限度の自己資本及び適格債務(自己資本及び適格債務の最低基準(MREL))を保有しなければならない。金融安定理事会(FSB)は、グローバルなシステム上重要な金融機関であるG-SIIsについて、損失を吸収できるか又は資本に転換できるような最低限度の資本及びその他の手段を保有しなければならない旨の類似の要件を過去に提案している。2016年11月26日、欧州委員会は、総損失吸収力(TLAC)として知られるこの要件を、MRELに統合することを提案した。

危機プラン

BRRDは、金融機関に対しその他数々の要件を定めている。特に、財政が著しく減損している場合、銀行は自己資本規制の強化方法並びに流動性及び資金繰りの改善方法について記載した再建計画を作成しなくてはならない。かかる計画は、国の監督当局により承認されなければならない。一方、当局は、銀行の破綻処理計画を作成しなければならない。この計画は金融業界のために資源を多く割かなければならず、監督当局は新たに膨大な手続が必要となる。

ノルウェーのEU金融監督制度への参加

国際機関への権限委譲を制限するノルウェー憲法の規定により、2016年秋まで欧州監督当局について定めたEU規制をEEA協定に盛り込むことはできなかった。

EFTA監視機構(ESA)は、ノルウェー、リヒテンシュタイン及びアイスランドから各国の国家監督当局及び個々の金融機関に対し法的拘束力を有する決定を下す権限を付与された。決定は、関連するEUの監督当局が作成した草案に基づく。EEA/EFTAの加盟3ヶ国におけるESA及び国家監督当局は、EUの3つの欧州監督当局である欧州銀行監督機構(以下「EBA」という。)、欧州証券市場監督局及び欧州保険・企業年金監督局に議決権を持たずに参加する。また、EUの監督当局は、この分野に関するESAの取組みにも議決権を持たずに参加しなければならない。同様の扱いは、準備機関にも適用される。EUの監督当局は、EEA/EFTAの国家機関及び企業に対し、拘束力のない決定である提言を行う権限を付与される。

ノルウェー政府は、EEA共同委員会に蓄積した残る数百の金融サービスに関する法令を、EEA協定及びノルウェーに法律へ組み込む取り組みを行っている。重要な法令には、銀行の自己資本規制要件(CRR/CRD)、銀行の危機管理規制(BRRD)、修正版預金保険指令(DGS)及び保険会社の自己資本規制(オムニバス)が含まれる。

ノルウェーにおけるBRRD及び預金保険制度に係る修正版指令の実施

BRRD及び預金保険制度に係る修正版指令の実施には、行政に関する規則及びノルウェー銀行保険基金の役割を含む、ノルウェーの危機解決システムの大幅な変更が必要となる。

2016年秋にノルウェー銀行法委員会が提出した法案の公開審議後、公聴会及びノルウェー金融監督庁との協議で得られた意見に基づき、ノルウェー財務省は、2017年6月21日、BRRD及び預金保険制度に係る修正版指令に伴う法律を施行するための法案を公表した。

かかる法案には、BRRDを完全実施するための再建・破綻処理計画、早期介入措置及び破綻処理ツールに関する包括的な新規則が盛り込まれている。法案ではノルウェー金融庁が破綻処理当局に指定されているが、金融機関が破綻処理の条件を満たすか否かを判断する権限はノルウェー財務省に委ねられている。現在のノルウェーの法律は、銀行再建・破綻処理指令と同じ原則の多くに基づいており、かかる指令の破綻処理ツールは、ノルウェー当局

が現在利用可能な措置と大きく相違するものではない。しかし、破綻処理ツールとしてのバйлインの導入は、重要な新要素である。

ノルウェーの預金保険制度は、現在2百万ノルウェー・クローネをカバーしている。修正版預金保険指令により、ノルウェーは保証額を100,000ユーロに引き下げなければならない。保証範囲の水準が高い国々については、2018年度末までの移行期間が設けられており、ノルウェー財務省は、預金保険指令がEEA協定に組み込まれた場合において2百万ノルウェー・クローネの保証水準を維持するため、ノルウェー政府が欧州委員会と引き続き協議していると発表した。

ノルウェー財務省は、ノルウェー銀行預金保険基金に預託された既存の資金を、預金保険基金及び破綻処理基金の2つの新たな基金に移転することを提案した。さらに、ノルウェー財務省は、預金保険基金及び破綻処理基金について、それぞれ保証対象の預金の0.08%及び0.1%に相当する年間拠出要件を提案している。これらの拠出要件は、現在の拠出水準よりいくぶん高いが、銀行部門の規模と比べると、2010年度に支払われた拠出金と同水準である。指令に基づき、同省は、各金融機関のリスク・プロファイルに応じて拠出金を調整することも提案している。ノルウェー財務省は、提案に基づき預金保険制度の実施を継続し、また新たな預金保険基金及び破綻処理基金を運営する。銀行預金保険基金に関する新たな任務及び責任を反映するため、ノルウェー財務省は、運営を規制しノルウェー財務省により選任される監督委員会の要件を含む、別個の銀行保険基金法の可決を提案している。

負債記録簿及び消費者ローンの販売

負債記録簿及び消費者ローンの販売

クレジット・カード及び消費者ローンは、金融機関の商品販売全体の重要な一部である。しかし、個人が自分で対処できる水準を超えた負債を負う場合、これらの商品が課題をもたらす可能性もある。したがって、商品及び適時に負債の返済ができない場合に発生する結果について、消費者が十分かつ正確な情報を得ることが重要である。

ノルウェー政府は、個人が自らの能力以上の個人負債及び債務を負うことを防ぐための記録簿を作成したいと考えており、個人負債の記録に関する法案を作成した。消費者ローンやクレジット・カードといった無担保の消費者与信を付与するすべての金融機関は、非公式に管理される負債記録簿にかかる負債について報告する義務を負うものとする。政府は、ノルウェー議会による審議のため、2017年4月5日に負債記録簿に関する法案を提出し、2017年11月にかかる記録簿を整えることを目指している。

計画では、記録簿は、公共機関が承認した負債記録簿会社を1つ又は複数設立することにより、民間組織により管理されるものとする。金融機関は、与信の申込みに関し記録簿から情報を得ることができ、これにより信用評価の基盤を向上させ、支払いに関する個人間の問題を減らすことに寄与する。

クレジット・カード及び消費者ローンの販売に関する制限案

ノルウェー消費者審議会は、特に郵送による勧誘、電話による勧誘、訪問販売及び売り場の形式でのクレジット・カード及び消費者に対する無担保与信の直接販売の禁止の導入を提案した。また、販売では与信の申込みに対する回答がいかにか早く得られるか、又はいかにか容易に金銭が利用可能かを強調してはならないことも提案されている。さらに、消費者審議会は、この種類の与信契約に関連した割引及び特典の禁止並びに与信の引受けを促進する競争の禁止を求めている。政府は、これらの提案を規制の形で追求すべきか否かについて検討している。

新たな住宅ローン規制

ノルウェー財務省は、特にオスロにおける住宅価格及び家計債務の力強い伸びへの措置として、2017年1月1日付で新たな住宅ローン規制を採用した。かかる規制では、住宅ローン顧客に対し15%の頭金を要求している。オスロの自治体に2つ目の住宅用不動産を購入しようとする顧客は、40%の頭金を支払わなければならない。

従前に適用されていたように、借手は5パーセント・ポイントの金利引上げに耐えられなければならない、この要件は顧客の返済負担率に関する新たな規定を補完するものである。顧客の負債合計が年収総額の5倍を超える場

合、貸出しを行ってはならない。インタレスト・オンリー・ローン(住宅を担保とした与信枠を含む。)は、不動産評価額の60%を超えてはならない。

金融機関は、承認されたローン合計の価値の最大10%まで、規制の基準のうち1つ又は複数を満たさないローンを提供することができるが、オスロの自治体においては8%のみである。金融サービス業界にとって、要件をすべては満たしていない顧客にローンを提供することができるよう、この柔軟性を維持することが重要である。

かかる規制は、2018年6月30日まで引続き有効である。

EUの修正版決済サービス指令(PSD2)

PSD2は、2018年1月13日付でEUにおいて施行され、EEA協定を通じてノルウェーに導入される。かかる指令は、決済サービス市場の規制の枠組みに大きな影響を及ぼすことが予想される。

かかる指令は、オンライン決済を含む決済全般について規制しており、決済サービス業者の業務の新たな規則の制定に大きな役割を果たしている。特に、銀行は第三者の業者に対し、顧客の承認に基づき、顧客の口座残高及び取引履歴を直接利用できるようにしなければならず、また口座から又は口座への送金機会を提供しなければならない。かかる第三者の業者は、独自の口座の提供を行わない他の銀行、リテール業界のプレーヤー、純粋な決済サービス業者、大手のデジタル企業又はフィンテック企業などの可能性がある。銀行は、最終顧客に課す通常の価格より高い価格を課すことはできない。

第三者による口座情報の利用及び決済をできるようにすることは、スウェーデン、英国、中国及び米国等のノルウェー以外の国々でより一般的である。これらの市場での経験を踏まえ、規制がなされ、欧州経済領域を通じて一般に利用可能となれば、多くの顧客がかかるサービスの利用を希望するであろうと考えるに足る理由がある。

また、かかる指令では、消費者の権利向上及び不正に対する保護に加え、かかるアクセスの認証に関する厳しいセキュリティ規則も導入されている。EBAは、顧客が第三者の業者を通じて決済を行う場合のセキュリティ措置に関する指針を策定する予定である。これらの指針の最終文言は、決済サービス及び顧客口座の資金の安全性に対する国民の信頼に大きな影響を及ぼす可能性がある。

PSD2は、銀行のバリュー・チェーン及び顧客基盤が新たなプレーヤーに開かれるため、従来の銀行にとって脅威となる。しかし、この変化は、銀行にとって新たな商品、サービス及びビジネス・モデルを開発する機会にもなる。テクノロジーは業界を急速に変化させており、顧客の期待はより急速に変化している。

ノルウェー金融監督庁は、PSD2をノルウェー法で施行する方法について検討する権限を与えられている。提言は、2017年4月28日にパブリック・コメントを求めて回覧され、審議期間は2017年8月18日に終了する。ノルウェー金融監督庁は、EEA協定におけるPSD2の施行が遅れる可能性があるか否かにかかわらず、PSD2をノルウェー法で施行するよう提案している。また、PSD2に規定される柔軟性措置をノルウェーが一定程度適用することも提案されている。

重要なIFRSの変更

過去数年間で、新たな国際財務報告基準(IFRS)が数多く提案されている。いくつかの基準は、すでに基準設定機関である国際会計基準審議会(IASB)により承認されており、そのうち銀行業界にとって最も重要な基準はIFRS第9号「金融商品」である。まだ施行されていない承認済みの基準及び解釈については、「第6-1-(1) 2016年12月31日に終了した事業年度の財務書類-注1」を参照のこと。上場社債を発行する会社を含むノルウェーの上場企業については、欧州委員会及びノルウェー当局による承認後に変更が適用される。

金融サービス業界の税金及び手数料

BEPS

BEPS(税源浸食と利益移転)は、多国籍企業の世界的な構造についての理解を深め、利益が生じた場所で税金が支払われるようにするための、OECD(経済協力開発機構)が主導する政治的プロジェクトである。特に移転価格に関し、国内法、租税条約及びOECDの指針において施行が推奨される措置は、2015年10月5日に発表された。

推奨される措置は、DNBが事業を行ういくつかの国の国内法で施行されている。ノルウェーでは、いくつかの措置がすでに開始されており、その他の措置についても今後施行が予定されている。2016年11月24日に発表された多国間条約では、二国間租税条約への変更を可能にすることが取り決められた。BEPSプロジェクトは、国際課税に大きな変化をもたらす。DNBは、BEPS導入時に多くの変更に対処する必要がある。さらに、国ごとの報告要件にも一部起因して、BEPSはさらに膨大な文書化要件及びより厳格な監督制御を必要としている。国内法及び租税条約双方の大幅な変更により、二重課税のリスクが増大する。

法人税率

2017年度より、法人税率は24%に引き下げられた。ノルウェー議会が妥協案に達した後、通常の収益に係る税率は、2018年度までに23%に引き下げられる。金融活動税の対象となる企業については、2016年度の現行税率である25%が維持される。併せて下記の金融活動税に関する段落を参照のこと。

金融活動税

金融サービスは、付加価値税が免除されている。2017年度から金融活動税が導入された。この税金は、付加価値税を免除されているという事実を埋め合わせることを目的の一部として導入された。金融活動税は、以下の2つの要素で構成される。

- ・ 金融業界の雇用主は、人件費に対する5%の追加課税の対象となる。DNBにとっては、この税金は毎年税引前で約400百万ノルウェー・クローネと見積もられる。
- ・ 金融活動税の対象でない企業の法人所得税率は24%である一方、25%の法人所得税率が継続される。

金融活動税は、雇用主の国民保険拠出額の対象である企業の人件費合計に基づき決定される。そのため、金融活動税の税基盤は、雇用主の国民保険拠出額の算定基準と同等である。給与に対する金融活動税は、その他の賃金費用と同様に控除可能である。25%の法人所得税率は、追加の給与税の適用を受けるすべての企業に適用される。金融活動税は、金融部門及び保険部門の従業員を擁するすべての企業に課税される。

しかし、以下の企業については、金融活動税は課されない。

- ・ 雇用主の金融活動に関連する人件費の割合が、当該企業の申告すべき人件費全体の30%を超えない企業
- ・ 付加価値税の対象である金融活動に関連する人件費が、当該企業の申告すべき人件費全体の70%を超える企業

デンマークには、以前から金融活動税(以下「給与税」という。)の制度があり、同様の税金はスウェーデンでも導入されようとしている。

ノルウェー国外で支払われる利息に係る源泉税

政府は、クロスボーダーな利息の支払いに係る源泉税の導入に関する提言を検討し、2017年度に諮問文書を提出することを目指すとして発表した。クロスボーダーな利息の支払いに係る源泉税は、海外の債権者に対するノルウェーの税金となる。

4【事業等のリスク】

当行に関するリスク

マクロ経済情勢に関するリスク

世界の金融市場の混乱及び変動は、当行グループに悪影響を及ぼす可能性がある。

近年の世界の資本市場及び信用市場は、変動により特徴付けられた。厳しい市場環境により、ボラティリティが上昇しただけでなく流動性が低下し、信用スプレッドが拡大し、信用市場における価格の透明性が失われてきている。世界の市場環境及び経済情勢は、ギリシア、アイルランド、イタリア、ポルトガル及びスペインを含む一部のEU加盟国のソブリン債務の返済能力についての市場認識を含む様々な要因により、数年間にわたってマイナスの影響を受けてきた。信用リスク(政府の信用リスクを含む。)に関する懸念は、世界経済全般についての市場認識及び欧州の銀行部門の強さについての認識に影響される。欧州、中国及びその他の経済大国における予想を上回る成長の鈍化及び失業率の上昇は、金融市場の信用リスクの増大をもたらす可能性がある。

ノルウェーは欧州連合の一員ではないが、欧州連合はノルウェーの主要な貿易相手の一つであり、またノルウェーはより広範な欧州経済領域の一員であることから、欧州連合の経済動向はノルウェー及び当行グループに大きな影響を及ぼす。欧州連合の経済情勢は、欧州連合離脱に関する2016年6月23日の英国国民投票をめぐる非常に不確実な状況や、かかる離脱が欧州市場にもマイナスの影響を及ぼすか否か、及びその程度が不確実であることにより、後退及び変動のリスクにさらされている。

世界経済の見通しの結果、DNBが直面するすべてのリスク及び不確定要素の性質を正確に特定することはできず、これらのリスクの多くはDNBに制御できる範囲を超えている。いずれの市場における将来の経済情勢又はいずれの市場における発展の持続可能性についても、保証することはできない。

信用市場又はその他の市場のさらなる混乱は、とりわけ、許容範囲内の金銭的条件で当行グループが資本及び流動性を利用する能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。上記の要因のいずれも、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループが事業を行う市場における好ましくない経済動向及び経済情勢は、当行グループの事業及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性があり、それらの状況が継続又は再発した場合、悪影響が継続する可能性がある。

当行グループの事業活動は、顧客から要求される銀行取引、資金調達及び金融サービスの水準に依存している。特に、借入れの水準は、顧客の信用、雇用傾向、経済情勢及び随時の市場金利に大きく依存している。当行グループの業績は、ノルウェーの経済情勢全般により大きく影響され、またこの影響に比べると程度は小さいものの、事業を行うその他の国々の経済情勢及び当行グループの事業にとって重要な特定の経済分野に影響を及ぼす可能性のある世界の経済情勢全般にも影響を受ける。当行グループは現在、事業の大部分をノルウェーにおいて運営しているため、当行グループの業績はノルウェーにおける事業活動の水準及びその周期性に影響され、それらは、上記「 - 世界の金融市場の混乱及び変動は、当行グループに悪影響を及ぼす可能性がある。」に記載の世界の金融市場にマイナスの影響を及ぼすものを含む、(例えば、石油価格及びガス価格の変動といった)国内及び国際的な経済的要因及び政治事象に影響される。

2014年度末にかけて石油価格が下落した結果、大幅なノルウェー・クローネ安が進み、信用スプレッドが拡大した。2015年度中、主に供給過剰及び将来の需要の不確実性から石油価格は引続き下落し、ノルウェー・クローネ安がさらに進んだ。主要な産油国は、今後数年間の投資計画を大幅に見直し、顧客の信用は悪影響を受けた。2016年度において、石油価格はいくぶん上昇したが、石油投資の価値と共に、依然としてピークだった2014年度を大きく下回っている。石油価格の安値及び石油関連投資の減少が継続すると、ノルウェー経済及びDNBグループの顧客に悪影響を及ぼす可能性がある。これらの状況は、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

金利の大幅な引下げにより、ノルウェーの住宅価格は2009年度初め頃から上昇し始めた。2013年度に緩やかに下落した後、2014年度から2016年度にかけて大幅に上昇した。リアルエステート・ノルウェーによると、ノルウェーの住宅価格は2016年12月31日に終了した3年間で約28%上昇した。2016年度の平均価格水準は、2015年度の価格水準より8.3%高かった。オスロでは、住宅価格の上昇が特に顕著で、これはノルウェー財務省が2017年1月1日付で住宅ローン貸付の規制を強化したことの主な理由であった。建設活動の高まり及び家計収入の緩やかな成長に加え、住宅価格水準が高いことにより、住宅価格の伸びは今後低迷するとみられる。金利は下がりきった可能性が高く、これ以上住宅市場を刺激する可能性は低く、また住宅ローンの規制強化も、住宅価格の上昇を抑制する可能性がある。住宅価格の調整は、経済情勢の後退及び/又は失業率の上昇と同時に生じると、ノルウェー経済に重大な悪影響を及ぼし、また当行グループの財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

ノルウェーの失業率は、欧州において記録的な低水準であった。2008年12月31日現在のノルウェーの失業率は、2.9%であった(労働力調査に基づく。出典：スタティスティクス・ノルウェー及びノルウェー中央銀行)。しかし、失業率は過去数年にわたり上昇しており、2016年12月31日現在は4.8%であった(労働力調査に基づく。出典：スタティスティクス・ノルウェー及びノルウェー中央銀行)。失業率の上昇といった労働市場の動向は、石油業界の活動の低下及びノルウェー経済の成長の弱まりを反映している。

上記のような経済動向の悪化に加え、特に欧州諸国における市場の混乱及び経済情勢の後退は、当行グループの事業に多くの点で影響を及ぼし、かかる動向は、特に当行グループの顧客の収益、財産、流動性、事業及び/又は財政状態に引続き影響を及ぼす可能性があり、その結果、今度は当行グループの貸出金ポートフォリオの信用の質が低下し、当行グループの金融商品及び金融サービスへの需要がさらに減少する可能性がある。さらに、市場の混乱が継続し、経済情勢が後退しかつ消費者支出の減少を伴って失業率が上昇する状況において、当行グループの担保付貸出金を担保する資産の価値が大幅に下落し、減損が増加する可能性がある。「 - 当行グループは、貸出金ポートフォリオの質が著しく悪化するリスクにさらされており、減損が生じる可能性がある。」を参照のこと。

上記の状況のいずれか又はすべてが、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性があり、当行グループが実施する措置が信用リスク、市場リスク及び流動性リスクの低減のために十分でない可能性がある。

当行グループの貸出金ポートフォリオに関するリスク

当行グループの事業は、信用リスクの影響を大きく受ける。

当行グループは、信用リスク、すなわち当行グループの借手及びその他の相手方当事者が支払義務を履行できないリスクにさらされている。当行グループの借手若しくは相手方当事者の信用の質の悪化、若しくはノルウェー、米国、欧州若しくは世界の経済情勢全般の悪化又は世界の金融システムのシステムミック・リスクに起因する悪化は、当行グループの資産の復元可能性及び価値に影響を及ぼし、当行グループの減損の増加が必要となる可能性がある。当行グループの信用リスクの大幅な高まりは、当行グループの経営成績、財政状態又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、貸出金ポートフォリオの質が著しく悪化するリスクにさらされており、減損が生じる可能性がある。

当行グループは、IFRSに基づき貸出金及び保証に係る減損を計上しているが、減損は利用可能な情報、見積り及び仮定に基づいており、不確実なものであるため、損失が発生した際に実際の損失額を網羅するために十分な金額であるという保証はない。当行グループの借手及び相手方当事者の信用の質の悪化又は担保価値の減少により、個別減損及び/又は集散的減損の増加が必要となる可能性があり、その結果当行グループの業績が悪化する可能性がある。

当行グループの法人顧客に対するエクスポージャーは、特に当行グループの市場における現在の経済情勢における信用の質の悪化にさらされている。さらに、実際の貸倒損失及びその他の約定に係る損失は、景気循環にわたり変化する。例えば、当行グループが事業を行う市場の経済の一部が過去3年にわたり悪化しており、これらの市場の一部の借手及び相手方当事者に関連する信用リスクは増大している。当行グループの減損規模又は減損でカバーされない貸出金及び保証の償却の大幅な増加は、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

石油関連のエクスポージャー

2014年度下半期以降の大幅な石油価格の下落により、このポートフォリオに関連するリスクが高まっている。深海掘削の日量平均は、それ以降下落しており、掘削利用も同様である。全体的な市場のバランスが、今後数年間改善されないリスクがある。掘削活動の低下は、OSV(海洋補給船)への需要の減少にもつながり、係船中の船団が増加している。石油価格の下落は、石油関連業界に影響を与えており、この業界で事業を行う企業のキャッシュ・フローに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。これにより、石油、ガス及びオフショアの企業の収益性、また結果的にそれらの各企業の信用の質に重大な影響を与え、貸出金ポートフォリオに係る当行グループの減損及び/又は損失の大幅な増加につながる可能性がある。当行グループの貸出金及び保証の減損は、2016年度において7.4十億ノルウェー・クローネとなり、2015年度の2.3十億ノルウェー・クローネから大幅に増加した。かかる増加は、主に石油関連のポートフォリオにおいて減損が増加したことによるものであった。

海運業界

当行グループは、海運業界に対する主要な与信の供給者である。海運業界は、特に国際貿易の成長が推進力である。近年の世界経済の後退は国際貿易にマイナスの影響を及ぼし、その結果海運業界の貨物量及び船舶運賃が大幅に減少し、またこれに付随する海運業界の事業収益も大幅に減少した。タンカー業界、ドライ・バルク業界及びコンテナ業界は、特に影響を受けた。当行グループの海運業界に関する内部の与信分析は、低水準の予想運賃の見積りに基づいているが、近年、船舶運賃は著しい下落圧力を示しており、DNBグループの海運業界に対する実際の運賃は今までになく不安定で、予想を下回る可能性がある。経済情勢の悪化が引続き海運業界に影響を及ぼし、その結果この業界で事業を行う企業のキャッシュ・フロー並びに船舶価値及びこの業界内で貸手に提供される与信の担保となるその他の資産の価値に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。これらの悪影響のいずれかが、海運企業の収益性、また結果的にそれぞれの信用の質に重大な影響を及ぼし、貸出金ポートフォリオについて当行グループが計上する減損及び損失の大幅な増加につながる可能性がある。

不動産市場

当行グループは、リテール市場及び法人市場の双方に抵当貸付を提供している。当行グループの貸出金エクスポージャー合計の半分超は、不動産(商業用不動産及び住宅ローン)に対するものであった。したがって、不動産価値の下落は、より広範な経済動向、与信の利用可能性の減少又はその他の要因によるものであるか否かを問わず、これらの貸出金のための担保価値を大幅に減少させ、経済情勢の後退及び/又は失業率の上昇が伴った場合、当行グループの不動産貸付の質に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。その結果、この部門において貸出金ポートフォリオについて当行グループが計上する減損が大幅に増加する可能性がある。

相手方当事者の債務不履行が、当行グループに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、ブローカー及びディーラー、商業銀行、投資銀行、ファンド並びにその他の機関顧客及び法人顧客を含む金融サービス業界の相手方当事者と日常的に取引を行っている。これらの取引の多くにより、当行グループは、外国為替、金利、コモディティ、株式又はクレジット・デリバティブ契約において、当行グループが相

手方当事者に対し未決済の債権を有している場合、相手方当事者が満期到来前に債務不履行に陥るリスクにさらされている。外国為替市場及びフィックス・インカム市場が2007年以降不安定であるため、世界的な金融及び経済危機の前の期間と比較して、このリスクは高水準にとどまっている。このカウンターパーティ・リスクは、当行グループが保有する担保が現金化できないか、又はカウンターパーティ・エクスポージャーの全額を回収するのに不十分な価格でしか清算できない場合にも、悪化する可能性がある。前述のいずれの要因も、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。外国為替レート及びデリバティブ契約を含む金融商品の取引の結果、当行グループは決済リスク及び送金リスクにもさらされている。決済リスクは、相手方当事者の債務不履行により、又は当行グループが取消不能の元本若しくは有価証券の移転指示を出した後かつ対応する支払い若しくは有価証券の受取りが最終的に確認される前に、金融取引契約の元本を失うリスクである。送金リスクは、借手の居住国以外の国からの送金が、当該国の経済情勢及び政治情勢の変化の影響を受けていることに起因するリスクである。

当行グループは、部門別及び個人の借手の与信集中リスクにさらされている。

当行グループは、一部の部門に対し多額の信用エクスポージャーを有している。その最大部門は住宅ローンで、次いでこれより小さな程度ではあるものの、商業用不動産、石油、ガス及びオフショア並びに海運と続く。これらの部門のいずれかの事業状況又は経営状況が悪化した場合に、当行グループの資産の質及び経営成績、財政状態又は見通しに重大な影響を及ぼす可能性がある。

さらに、当行グループは、一部の個人の借手に対し多額の信用エクスポージャーを有している。これらのうちいずれかの借手の事業状況又は経営状況が悪化した場合に、当行グループの経営成績に重大な影響を及ぼす可能性がある。

市場エクスポージャーに関するリスク

当行グループの事業は、金利のボラティリティ、並びに当行グループの貸出金スプレッド及び預金スプレッドに影響する競争環境の変化の影響を受ける。

当行グループは、金利の変動等、銀行業務に特有のリスクにさらされている。金利水準、イールド・カーブ及びスプレッドの変動は、当行グループの貸出金スプレッド及び預金スプレッドに影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、預金に対して支払う金利又はホールセールに係る資金調達コストと、顧客向貸出金及びその他の銀行向けの貸出金に課す金利との間のスプレッドの変動にさらされている。当行グループが預金に対して支払う金利並びに顧客向貸出金及び金融機関向貸出金に課す金利はいずれも、主として変動金利であるか又は変動金利にスワップされるものであるが、当行グループは、その変動金利資産及び負債について金利改定を同時に行うことができず、短期又は長期的に金利改定ギャップが生じるリスクがある。いくつかの預金の適用金利はほぼゼロであるため、将来において、顧客向貸出金の金利低下分の全部又は一部を、預金の金利を同様に引き下げることにより相殺することができない可能性がある。

また、当行グループは顧客預金に関して競争の激化にさらされており、現行の低金利環境も当行グループの預金スプレッドに圧力をかけている。当行グループは、その有利子資産の金利低下に見合う水準へ、(預金に関するか又はホールセール資金調達に関するかを問わず)資金調達コストを削減することができない可能性がある。

金利は、政府及び中央銀行の財政政策及び金融政策並びに国内外の政治情勢等、当行グループの支配の及ばない様々な要因の影響を受ける。金利が上昇した場合、信用への需要が減少し、また当行グループの顧客の債務不履行が増加する可能性がある。逆に、金利水準が低下した場合、当行グループは、とりわけ、預金需要の減少並びに預金受入及び顧客向貸出金における競争の激化により、悪影響を受ける可能性がある。これらの要因に起因して、金利の大幅な変動又はボラティリティは、当行グループの事業、財政状態又は経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、これらの市場リスク及びその他の市場リスクを緩和し、管理するリスクマネジメント手法を導入しており、エクスポージャーは常に測定及び監視されている。しかし、経済情勢及び市場環境の変動を予測すること、並びにかかる変動が当行グループの業績及び経営成績に対して与え得る影響について予想することは困難である。当行グループは、金利リスクに対するエクスポージャーを軽減する目的でヘッジ取引を行っているが、すべてのリスクに対するエクスポージャーをヘッジするものではないため、そのヘッジ戦略が成功裡に遂行されるという保証はない。当行グループが預金に対して支払う金利を、貸出金について受け取る市場金利の変動に合わせて調整することができない場合、又は当行グループの監視手続により金利リスクを適切に管理することができない場合、受取利息はあまり増加しないか又は支払利息を下回る可能性があり、その場合、当行グループの経営成績及び財政状態又は見通しに悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループは、為替リスク及び当行グループが事業を行う通貨の切下げ又は下落のリスクにさらされている。

為替レート(特にノルウェー・クローネ/米ドル間及びノルウェー・クローネ/ユーロ間)の変動は、外貨建ての資産及び負債の評価額に影響し、また、外国為替貸出金及び取引による収入に影響を及ぼす可能性がある。2014年度末にかけて石油価格が下落した結果、ノルウェー・クローネは大幅安となった。2015年度中、石油価格は引続き下落し、ノルウェー・クローネ安がさらに進んだ。2016年度において、石油価格はいくぶん上昇したが、それに応じてノルウェー・クローネ高になることはなかった。当行グループの報告通貨は、ノルウェー・クローネである。しかし、その資産及び負債の大部分は、ノルウェー・クローネ以外の通貨建てであるため、換算リスクが生じる。ノルウェー・クローネ以外の通貨による海外支店及び子会社の貸借対照表項目(貨幣性資産及び負債を含む。)については、貸借対照表日の実勢為替レートでノルウェー・クローネに換算され、損益項目については、取引日の為替レートで換算される。為替レートの変動により生じる純資産の変動は、損益計算書において認識される。当行グループが事業を行う(又は信用エクスポージャーを有する)他通貨の切下げ又は下落により、当行グループは多額の損失を被る可能性がある。さらに、顧客向貸出金が他通貨による場合、当該他通貨に対するノルウェー・クローネの下落により、当行グループの貸出金ポートフォリオは増加し、その結果、リスク加重資産が増加し、自己資本比率に悪影響が及ぶ可能性がある。かかる換算リスクを軽減する目的で、当行グループは、資産の通貨とその調達源泉である負債の通貨をマッチングさせることにより、為替リスクのヘッジを図っている。しかし、かかるヘッジ活動の全部又は一部が有効となるという保証はなく、ヘッジ・カウンターパーティは信用リスクにさらされている。

当行グループは、市場価格リスクにさらされている。

市場リスクには、通常のトレーディング活動により生じるリスク並びに銀行業務及びその他の営業活動により生じるリスクの両方が含まれる。当行のトレーディング活動には、主にマーケット・メイキング、企業金融の促進及び自己勘定取引が含まれる。銀行業務における市場リスクは、株式投資の運用に関連するリスク及びグループ・トレジャリーから生じるリスクに大別することができる。グループ・トレジャリーは、資金調達活動、流動性管理及び資産負債管理から生じる市場リスクの管理を担っている。最も重要な市場リスク要因は、金利リスク、債券ポートフォリオにおいて生じる信用スプレッド・リスク、及び外貨での資金調達に関連する為替リスクのヘッジにより生じるベース・スワップ・スプレッド・リスクである。当行グループが保有する金融商品(債券(国債、社債及び担保付債券)、株式、各種通貨による現金、プライベート・エクイティ・ファンド、ヘッジ・ファンド及びクレジット・ファンドへの投資、コモディティ並びにデリバティブ(クレジット・デリバティブを含む。)等)の公正価値は、様々な市場変数(金利、信用スプレッド、株価及び為替レート等)のボラティリティ及び相関関係の影響を受ける。変動の激しい市況が持続するか又は繰り返される限り、当行グループの債券ポートフォリオ、デリバティブ・ポートフォリオ及びストラクチャード・クレジット・ポートフォリオ並びに他の種類の資産の公正価値は、予想を超えて下落する可能性があり、その結果として、当行グループは時価評価損を計上することとなる。当行グループが時価評価損の計上又は見積りを既に行った資産について、将来においてその時点の実勢市況を反映した評

価が行われた場合、当該資産の公正価値は著しく変動する可能性がある。また、特定の金融商品は公正価値で計上されるが、かかる公正価値は、不確実性が内在する仮定、判断及び見積りを盛り込んだ財務モデルを用いて決定され、時の経過とともに変動するか又は最終的に不正確となる可能性がある。これらの要因が生じた場合、当行グループは追加で時価評価損を認識しなければならない可能性があり、その場合、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。また、当行グループのトレーディング収益及び投資収益が金融市場の業績に大きく左右されることから、変動の激しい市況によって、当行グループのトレーディング収益及び投資収益が著しく減少するか又はトレーディング損失が生じる可能性があり、その結果、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に悪影響が及ぶ可能性がある。

また、特定の資産クラスについて市況が流動性を欠いたため、当行グループのエクスポージャーの一部については公正価値を見積ることが困難な可能性がある。将来においてその時点の実勢市況を反映した評価が行われた場合、当行グループのエクスポージャーの公正価値は著しく変動する可能性があり、当行グループが評価損を既に計上した信用市場エクスポージャー等のエクスポージャーについても同様である。さらに、金融商品の価値は、見積り、仮定及び入手可能な情報に基づいているため、不確実性を伴う。その結果、公正価値の見積りは、他の金融機関による見積り及び当該資産について容易に利用可能な市場が存在していたならば使用されたと想定される価値の両方と大きく乖離する可能性がある。したがって、当行グループが最終的に実現する価値は、現行の公正価値又は見積公正価値と大きく乖離する可能性がある。かかる乖離により、当行グループの財政状態及び/又は流動性に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループは、その資産の一部について市場原理による価格設定のボラティリティに対するエクスポージャーを軽減する目的で、長期借入金に係る金利リスクを管理するために公正価値ヘッジを行う。混乱した市場においては、ヘッジ・カウンターパーティ(クレジット・デリバティブ商品会社等)の信用力の低下も一因となって、ヘッジ戦略及びその他のリスク管理戦略は通常の市況における場合ほど有効ではないことが証明されている。経済情勢及び金融市場の状況が悪化した場合、減損損失及び評価減が生じる可能性があり、また、金融商品について流動性を欠く市況は、スプレッドを拡大させ、金融商品の価格設定に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、当行グループがさらされているこれらの市場リスク及びその他の市場リスクを緩和し、管理するリスクマネジメント手法を導入しており、エクスポージャーは常に測定及び監視されている。しかし、経済情勢及び市場環境の変動を予測すること、並びにかかる変動が当行グループの業績及び事業運営に対して与え得る影響について予想することは困難である。

流動性及び資金調達に関するリスク

流動性リスクは、当行グループの事業に内在している。かかるリスクは、世界の金融市場の現況により高まる。

当行グループは、その債務を期日に履行するにあたり、許容可能な条件で十分な流動性を確保することに依存している。この流動性リスクは、銀行業務に特有のものであり、特定の資金調達源(例えば、短期資金調達及び翌日返済資金調達等)への過度の依存を含む、いくつかの企業固有の要因、信用格付の変更又は市場全体の現象(市場の混乱及び大規模災害等)により高まる可能性がある。

当行グループは、その貸出業務を遂行するにあたり、十分な資金調達の確保に依存している。当行の資金調達所要額は、大半の商業銀行と同様に、主として顧客預金により賄われている。預金は、当行グループの支配の及ばない一定の要因(例えば、競争圧力、顧客の信用の喪失、景気全般、金融サービス業界又は特に当行グループに関する預金者の懸念、格付の格下げ、経済情勢の悪化、並びに預金保証(ノルウェー法において、現行では、2百万ノルウェー・クローネを上限として預金に適用されているが、2018年度末までに100,000ユーロに引き下げられる。)の存在及び範囲)により増減する。これらの要因が単独で又組み合わせあって生じた場合、将来において許容可能な条件で顧客預金による資金調達を確保する当行グループの能力が低下し、短期間での継続的な預金流出を生じさせる可能性がある(いずれも、当行グループが事業資金を調達しかつ流動性の最低所要額を満たすことができるか否か

に影響することがある。)。さらに、当行グループの財政状態に対する不安により預金が引き出される可能性があり、その場合、当行グループは資金不足に陥る。

当行グループの流動性所要額及び資金調達所要額の大部分は、ホールセール貸出市場を継続的に利用すること(カバード・ボンド等の長期債券市場商品の発行を含む。)により賄われている。特に長期の資金調達に関して、これらの資金調達源は、流動性の減少時に制限されることがある。また、金融機関がより大きな流動性リスクに直面しているとの認識が市場参加者間で生じた場合も、当該金融機関に重大な損害が及ぶ可能性がある。

当行グループがその資産を売却又は投資を回収することができない場合、その他現金が流出した場合又はその担保価値が下落した場合にも、当行グループの流動性が損なわれる可能性がある。これらの状況は、当行グループの支配の及ばない状況(例えば、市場全般の混乱、金融市場における信用喪失、市場参加者の支払能力に関する不安及び憶測、信用格付の格下げ、又は第三者に影響する業務上の問題)に起因して生じることがある。当行グループは流動性リスクの管理に莫大な労力を費やし、短期的には流動性余剰の維持に取り組んでいるものの、当行グループは、流動性不足の一般的なリスクにさらされており、かかるリスクを管理するために実施している手続が流動性リスクの解消に適していると保証することはできない。世界の金融市場及び経済に混乱が生じた場合、当行グループの流動性、並びに特定の取引先及び顧客の当行グループと取引を行う意欲に悪影響が及ぶ可能性があり、さらに、当行グループが想定外の資金調達源の減少又は変動を予測できず、また、それに備えることができない場合、当行グループの事業、経営成績、財政状態又は見通しに重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループの資金調達コスト及び債券発行市場へのアクセスは、信用格付に大きく左右される。

本書の日付現在、当行は、ムーディーズから「Aa2」、スタンダード＆プアーズから「A+」及びDBRSレーティング・リミテッド(以下「DBRS」という。)から「AA(下位)」の格付を付与されている。ムーディーズからの格付はネガティブな見通しを示しているが、スタンダード＆プアーズ及びDBRSからの格付は安定的な見通しを示している。2016年3月、見通しがネガティブに変更されたのと同時に、当行の無担保優先債務の格付は、ムーディーズにより1段階引き上げられた。ネガティブな見通しは、低い石油価格及び石油投資の減少に起因するノルウェーの景気減速は時間とともに当行の業績に悪影響を及ぼすであろうとのムーディーズの予想を反映している。ムーディーズは、これが利益に悪影響を及ぼし、また、オフショア、海運及び商業用不動産に関連するエクスポージャーの信用力を低下させるものであると予想している。さらに、ムーディーズは、油田サービス及びオフショアに対する当行のエクスポージャーについて、短中期的に損失が増大すると予想している。2017年3月29日、スタンダード＆プアーズは、DNBの見通しをネガティブから安定的に変更した。変更後の見通しは、当行の自己資本及び効率性が強化されたことを反映しており、スタンダード＆プアーズの見解では、これによりノルウェーの経済情勢が弱体化した際の当行の回復力が強化された。さらに、スタンダード＆プアーズは、ノルウェーの破綻処理及び再建体制が将来実施されること並びにDNBがベイルインに対し大幅なバッファを設けていると推定されることについても、ネガティブな格付を相殺できる要因とみなした。また、当行グループの事業は、当行の子会社であるDNBボーリ・クレジットの信用格付によっても大きく左右される。2017年3月31日現在、DNBボーリ・クレジットの発行済カバード・ボンドは、ムーディーズから「Aaa」及びスタンダード＆プアーズから「AAA」の格付を付与された。当行グループ若しくはDNBボーリ・クレジットの財政状態又はムーディーズ及びスタンダード＆プアーズ並びにその他の関連する格付機関が使用する格付方法の変化により、格付機関が当行又は当行若しくはDNBボーリ・クレジットの債券(本社債を含む。)の格付を格下げしないという保証はない。格付機関による当行グループ又はDNBボーリ・クレジットの評価は、金融サービス業一般に影響を与える事象等、当行グループ又はDNBボーリ・クレジットが完全には管理できない多数の要因にも基づいている可能性がある。当行又は当行若しくはDNBボーリ・クレジットの債券の格付の格下げは、当行グループの流動性及び競争上の地位に悪影響を及ぼし、当行グループに対する信頼を揺るがし、当行グループの借入費用を増加させ、当行グループの資本市場へのアクセスを制限し、また、当行グループとの取引を

行う意思のある取引先の範囲を限定する可能性がある。かかる事態は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループの事業に関するその他のリスク

当行グループの成功は、顧客基盤をいかに維持できるかに左右される。

当行グループの成功は、いかに顧客基盤を維持し、またいかに顧客が質の高い競争力のある多様な商品(かかる商品は顧客が利用可能なチャネルを通じて販売される。)、及び一貫してレベルの高いサービスを顧客に提供できるかに左右される。当行グループは、業種により異なる様々なニーズへの対応の質を高めるため、ほとんど利用されていない支店を閉鎖する一方で、支店網のセグメント化、特にマーケティング及び販売のネットワークを通じた当グループの子会社の商品及びサービスのクロス販売並びにデジタル上の販売チャネルへの投資により、かかる目的の達成を目指してきた。当行グループが顧客基盤を維持できず又は当行グループの顧客に広範な質の高い競争力のある商品若しくは一貫してレベルの高いサービスを提供できない場合には、当行グループの経営成績、財政状態又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、システミック・リスクにさらされている。

金融機関の間では相互依存の度合いが高いことを考慮すると、当行グループは、他の金融機関の経営及び財務の健全性、すなわち認識可能な健全性の低下のリスクにさらされており、また、さらされ続ける。金融サービス業界では、1社のデフォルトが、他社のデフォルトに繋がりがねない。多数の金融機関の経営及び財務の健全性は、信用、取引、決済又は他の関係性により、密接な関連性を有する可能性があるため、1社についての懸念又はそのデフォルトは、他社の重大な流動性に関する問題、損失又はデフォルトに繋がりがねないのである。取引先の信用度が足りないことが認識されたか、又は取引先について懸念がある場合でさえ、当行グループ又は他の機関の市場規模の流動性に関する問題及び損失又はデフォルトが生じる可能性がある。かかるリスクは、「システミック・リスク」と称されることがあり、日常的に当行グループと関わりのある決済機関、手形交換所、銀行、証券会社及び取引所等の金融仲介機関に悪影響を及ぼす可能性がある。システミック・リスクは、当行グループが新規に資金調達を行う能力、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、オペレーショナル・リスク(ネットワーク障害並びにその他のリスク管理及び内部統制手続の不備又は不完全性を含む。)にさらされる。

当行グループの事業は、いかに極めて大量の取引を効率良く正確に処理できるかに左右される。業務は、多数の事業体及びインターネット・バンキング・プラットフォームを通じて遂行される。金銭的損害、風評被害、費用並びに財務上の損失及び/又は減損(直接間接を問わない。)を含むオペレーショナル・リスク及び損失は、詐欺又はその他の犯罪行為、従業員による過失、外部に委託したサービスの不履行、顧客、ベンダー、下請業者、提携関係にある会社及びその他の第三者との間の取引若しくは契約に関して適切に文書化できなかったこと、又は適切な承認を取得若しくは維持できなかったこと、適切な認可の取得又は維持ができなかったこと、顧客からの苦情、規制上の要件(マネー・ロンダリング禁止、データ処理及び反トラストに関する規制、又は業務規則の遂行を含むが、これらに限られない。)を遵守できなかったこと、設備の不備、当行グループの資産(知的財産権及び担保を含む。)を保全できなかったこと、身体及び安全を保護できなかったこと、天災又は外部システム(当行グループのサプライヤー又は取引先のシステムを含む。)の欠陥、当行グループに課された義務の履行懈怠(契約に基づく義務か否かを問わない。)といった内部プロセス、システム(情報技術システム等)又は外部から取得した免許の不完全性又は欠陥といった多様な事由に起因しうる。特に、当行グループ及び顧客は、近年多数の深刻なネットワーク上の問題の影響を受けており、また今後も受け続ける可能性があるが、この問題は当行グループのインターネット・バ

ンキング及び現金払出機の特定の機能に影響を与え、これにより断続的なサービスの障害が生じている。「 - 当行グループは、情報技術システム(かかるシステムは、正常に機能しない可能性があるか、職務に適しない可能性があるか、又はもはや利用できない可能性がある。)にますます左右される。」も参照のこと。

当行グループは、リスク管理及び損失軽減予防を実施し、相当量の資源が効率的な手続の開発及び従業員研修に投入されたものの、オペレーショナル・リスクの管理において十分に効率的な手続を実施することは可能ではない。当行グループが利用するリスク軽減措置の中には過去の情報に基づくものがあり、当行グループの現行方針は、金融危機又はその他の予測不能な状況による影響のすべてに対して包括的には対処できない可能性がある。したがって、将来の展開はこれまでに見られた展開と著しく異なる可能性があるため、かかる手続は将来のリスク・エクスポージャーの予測において不十分であるというリスクが存する。さらに、リスク管理手法は、予測、仮定及び正確でない又は更新されていない可能性のある入手可能な情報に依存する可能性がある。当行グループのオペレーショナル・リスクの管理及び統制方針を首尾よく実施できなかった場合、当行グループの財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、情報技術システム(かかるシステムは、正常に機能しない可能性があるか、職務に適しない可能性があるか、又はもはや利用できない可能性がある。)にますます左右される。

銀行及びそれらの事業活動は、高性能の情報通信技術(以下「ICT」という。)システムにますます依存するようになってきており、かかるシステムは、インターネット・ウェブサイト並びにスマートフォンの新アプリケーションの開発及び利用に対する依存度を増してきている。ICTシステムは、ソフトウェア又はハードウェアの機能不全、悪質なハッキング、きわめて重要なICTセンターへの物理的損傷及びコンピュータ・ウイルスといった多くの問題に対して脆弱である。一貫性のあるICTアーキテクチャの構築を目的として、当行グループ全体でICTシステムの整合性を図ることが、重大な課題として課されている。

ICTシステムは、変わりゆく事業及び規制要求のニーズを満たし、また、新規市場への参入の可能性、並びに情報通信技術のより一層の利用、開発及びこれへの依存により幅広く対応するため、定期的にアップグレードすることが必要である。当行グループは、適時に必要なアップグレードを実行できない可能性があり、また、アップグレードは計画どおりに機能しない可能性がある。ICTシステムのアップグレードに一般的にかかる費用及びICTシステムの不備又はICTシステムのアップグレードに関連する技術的問題を解決できないことにより発生する可能性がある費用に加えて、当行グループが、ICTシステムのために、適用される銀行業又は報告に関する規則(データ保護に関する規則を含む。)を遵守できなかった場合、銀行規制当局から罰金を課されることもあり得る。

当行グループは、業務目的のバックアップ・システムを維持しているが、そのうちの一つは敷地外のノルウェーに存在する。しかしながら、当行グループが、例えば、ノルウェー国内業務について直近の入力済データの一部を消失するか又は海外業務について大部分を超える部分のデータを消失するといった、情報システムに不備が生じた結果として大惨事となるような事態は限定的である。

当行グループは、ICTシステムの維持及び運用に関して、契約に基づく外注に頼っている。万一、これらの外注先が当該外注契約に基づく義務を履行する意思がないか、又は履行できなかった場合、当行グループは、ICTシステムの重要な機能の危機に直面する。特に、当行グループ及び顧客は、ネットワーク上の問題(かかる問題は、第三者である外注先に関連があり、また、当行グループのインターネット・バンキング及び現金払出機の機能のいくつかに影響を与えており、又は将来影響を与えかねないが、かかる影響のためサービス障害が引き起こされる。)の影響を受けており、また、将来影響を受けることとなる可能性がある。当行グループのICTシステムに対する重大な障害は、上記事態又はその他の事態のいずれに基づくにせよ、当行グループの事業の通常業務、ひいては財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

サイバー犯罪

すべての主要金融機関と同様、当行グループの業務は、トロイの木馬型及びサービス拒否攻撃型のICT犯罪のリスクの増加にさらされており、また、さらされ続けることが予測され、その性質は今なお複雑化し続けている。サイバーセキュリティ・リスクは、当行グループのインターネット・バンクユーザーに最も関係あるものであり、これには部外秘の慎重に扱うべき顧客情報(インターネット・バンキングの資格審査並びに口座及びクレジットカードの情報を含む。)に対して権限なくアクセスが行われる可能性が含まれる。当行グループは、サイバー攻撃からの脅威に対処するために、投資を行っている。しかしながら、かかる投資の一部若しくは全部が成功するか、又は多額の追加費用を要しないという保証はない。当行グループは、セキュリティ上の侵害や、システム及びサービスの想定外の混乱を将来経験する可能性があり、これにより今度は当行グループ、顧客及び/又は第三者に負債又は損失を負わせ、また、当行グループの事業、評判及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、ノルウェーの国外市場における事業により、多様なリスクにさらされる。

当行グループのノルウェーの国外市場(ポーランド、バルト海沿岸諸国、インド及び中国等)での事業は、様々な新興国市場のリスク(ノルウェーの国内市場における事業への適用されないか、適用されるとしても低い程度で適

用される。)を生じさせている。特に、当行グループは、経済リスク及び政治リスク(政情不安、モラトリアム、為替管理の実施、特定国への制裁、収用、国有化、現契約の再交渉又は解除、ソブリン・デフォルト及び法律又は租税政策の変更だけでなく、経済変動、一時的景気後退、インフレ圧力、為替変動リスク及び事業の中断を含む。)の増加という問題を抱えている。

当行グループが事業を行うノルウェー及び海外の市場における競争が、当行グループの事業にマイナスの影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、当行グループが事業を行っているノルウェーの国内市場及び海外市場の両方で、すべての業務分野(とりわけ、コーポレート・バンキング及びパーソナル・バンキング、投資銀行及び不動産仲介業務を含む。)において、熾烈な競争に直面している。顧客向け貸付及び預金に関する競争は、顧客による需要、技術進歩、銀行業界における再編の影響、規制措置及びその他の要因により影響を受けている。当行グループの競合他社は、主に商業銀行及び投資銀行である。金融危機が再び起きれば、かかる危機の間、多くの中央政府は、様々な形での支援をその法域で設立された銀行に提供しようと努力するため、さらなる競争上の課題を生じかねない。政府支援及び該当する銀行の財務力のレベルに応じて、かかる支援は、これらの銀行の競争力を強化し、また、当行グループが直面する競争を激化させることがある。ノルウェーの大手銀行が関わった合併買収により、市場シェアの著しい集中が生じており、この傾向は今後も継続する可能性がある。競争は、インターネット・バンキング及び携帯によるテレフォン・バンキング等の販売チャネルのさらなる出現により、より一層激しさを増している。仮に当行グループが競合力のある商品及びサービスを提供できない場合には、当行グループは、新規顧客を開拓し、かつ/又は既存顧客を引き留め、利息収入並びに手数料収入及び/又は市場シェアの減少を経験する可能性があり、このうちの一つでも起きた場合、事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、有能な上級経営陣又はその他の重要な従業員を惹きつけ、又は引き留めることができない可能性がある。

当行グループの業績は、相当程度まで、高度な特殊技能を持つ個人の資質及び努力に左右され、また、当行グループが継続的に、競争で優位に立ち、かつ、戦略を遂行できるかは、当行グループが、新入社員を惹きつけ、また、現従業員を引き留め、かつ、その士気を高められるかに左右される。重要な従業員が関わる金融サービス業以外の事業だけでなく、他の金融機関を含む金融サービス業内の競争は、熾烈を極めていく。(特に競合先への移籍により)重要な従業員による役務の提供がなくなるか、又は将来高度な特殊技能を持つ人材を惹きつけ、引き留めることができないか、又は当行グループの経営上の失策(それを認識しているか否かを問わない。)による上級経営陣の刷新の必要性が存在することは、当行グループの事業に悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループが事業を行う法律環境及び規制環境に関するリスク

金融サービス業界は自己資本規制を含む厳しい規制に服しており、規制の枠組みに対し主要な変更が加えられている。

当行グループの事業は、現行の規制及びこれに関連するリスクによる影響を受ける。当行グループは、ノルウェー及び当行グループが事業を行うその他の各法域における金融サービスに関する法令(自己資本規制、事業経営、マネー・ロンダリング防止、支払い、消費者金融、報告及びコーポレート・ガバナンスに関するものを含むがこれらに限られない。)、並びに行政処分及び政策に従っている。当行グループは、その支店及び営業所が所在する、ポーランド及びバルト海沿岸諸国を含む各国の規制当局の監督にも服しているが、ノルウェー金融監督庁が当行グループの主たる監督当局である。

2016年、ノルウェー議会は欧州経済領域の金融監督当局に関する法律を可決し、2010年に設立された欧州の監督当局が、EU加盟国において有するのと同様の直接の権限をノルウェーにおいて有することができないという問題を

解決した。ノルウェー議会は現在、金融サービスに関する残りの法律を組み込む作業に取り組んでいるが、審理中のEUの指令及び規則は500を超えるため、予定は依然として不確定である。

当行グループは、ノルウェーの法令において施行されているバーゼル 規制(バーゼル の資本フロアに係る移行ルールを含む。)に基づき計算される一定の自己資本比率を維持しなくてはならない。とりわけ貸付先の内部信用格付の引下げ、市場のボラティリティ、信用スプレッドの拡大、為替レートの変動、担保価値の低下又は経済環境のさらなる悪化に起因する当行グループのリスク加重資産の増加は、当行グループの自己資本比率を低下させる潜在的可能性がある。(規制上の資本の枠組みの変更に起因する場合を含め)理由のいかんを問わず、当行グループの自己資本比率が低下するような事態になれば、当行グループは、貸出金若しくは他の事業に対する投資を削減するか、又はより深刻な状況下では追加の資本調達を行わなければならない可能性がある。

金融機関に対する監督及び規制の変更は、特にノルウェーにおいては、当行グループの事業、提供する商品及びサービス又は資産価値に重大な影響を及ぼす可能性がある。規制及び/又は監督の変更若しくは強化が悪影響を及ぼす可能性のある分野には、()投資家の判断に重大な影響を及ぼすか、又は北欧市場及びその他のヨーロッパ市場並びに当行グループが事業を行うその他の市場における事業運営コストを増加させる可能性のある、政府及び規制上の政策若しくは体制に係る全般的な変更、()自己資本規制の枠組みの変更及び負担の重いコンプライアンス義務の強制、()競争環境及び価格環境の変化、()顧客の預金に対する保証の供与及びかかる保証の条件に関する、政府による金融機関の分類、並びに()法的な不確定要因を生じさせ、ひいては当行グループの商品及びサービスに対する需要に影響を及ぼす可能性のある、資産の収用、国有化及び没収並びに外国資本の保有比率に係る法律の改正が含まれるがこれらに限られない。

自己資本規制及び流動性規制

国際的なレベルでは、近年、銀行部門において自己資本要件を引き上げ、資本の量及び質を引き上げ、流動性水準を高めるために、多くの規制及び監督に係る取組みが実施されてきた。かかる取組みには、バーゼル銀行監督委員会(以下「バーゼル委員会」という。)により提案され、CRD (以下に定義される。)に基づきEUにおいて実施されている多くの具体策がある。

ノルウェーは、ノルウェー金融機関法(1988年6月10日付第40号)(同法はその後廃止され、金融機関・金融グループ法(2015年4月10日付第17号)(以下「金融機関法」という。)に置き換えられた。)の修正により、2013年7月1日付で新たな自己資本規制要件を導入した。金融機関法は、金融機関及び投資会社向けのEUの自己資本要件に関する規制である「CRR/CRD 」適用の第一段階として、銀行等の金融機関に関連するいくつかの法律を統合し、2016年1月1日から発効した。

銀行の自己資本要件は、2つの柱で構成される。第1の柱には、政治上の権限者が決定する最低自己資本要件が含まれている。金融機関法の規定により、銀行はリスク加重資産の少なくとも8%に相当する自己資本を保有しなければならない。そのうち少なくとも4.5%は普通株式等Tier 1資本、かつ少なくとも6%はTier 1資本でなければならない。

これに加え、金融機関法はノルウェーの金融機関が満たさなくてはならない様々な資本バッファー要件を課しており、そのすべてが普通株式等Tier 1で構成されている。2016年7月1日現在、資本バッファー要件は、()リスク加重資産の2.5%の保全バッファー、()リスク加重資産の3%のシステムミック・リスク・バッファー及び()リスク加重資産の1.5%のカウンターシクリカルなバッファー(2017年12月31日から2%に引上げ予定)で構成されている。ノルウェー当局がO-SIIに指定した金融機関(全体としてのDNBグループ及び当行を含む。)は、リスクを軽減するため、リスク加重資産の2%のシステム上重要な金融機関(以下「SIFI」という。)のバッファーも満たさなければならない。

したがって、2016年12月31日現在、バッファー要件を含む普通株式等Tier 1資本の最低要件は、ノルウェーのO-SIIsについてはリスク加重資産の13.5%、その他のノルウェーの銀行についてはリスク加重資産の11.5%に設定された。

CRD に基づき、各EU加盟国はその法域におけるエクスポージャーに適用されるカウンターシクリカルなバッファ・レートを設定する責任を負う。他のEU加盟国の関連当局は、それぞれが規制する銀行の当該法域におけるエクスポージャーにかかるレートを適用しなければならない(リスク加重資産の2.5%を超えるレートについては、承認するか否かの裁量を有する。)。ある銀行に適用されるカウンターシクリカルなバッファ・レートは、かかる銀行がその時々においてエクスポージャーを有する法域におけるカウンターシクリカルなバッファ・レートの加重平均である(銀行の本国の関連当局が、EU圏外の法域又は関連当局がカウンターシクリカルなバッファ・レートを設定していないEUの法域におけるエクスポージャーに適用されるカウンターシクリカルなバッファ・レートを決定する。)。2016年9月28日、ノルウェー財務省は、バッファ要件に関する規制を修正し、ノルウェー国内及びカウンターシクリカルなバッファ・レートが設定されていないIEEAの法域又はその他の法域におけるノルウェーの銀行のエクスポージャーには、ノルウェーのカウンターシクリカルなバッファ・レートが適用されること、並びに現地の関連当局がカウンターシクリカルなバッファ・レートを設定しているEEAの法域又はその他の法域における銀行のエクスポージャーには、ノルウェー財務省が別段の決定を下さない限り、かかるレートが適用されることを規定した、ノルウェー金融監督庁による規制案を承認した。かかる規制は、2016年10月1日付で発効し、当行の有効なカウンターシクリカルなバッファ・レートが約1.2%に引き下げられた。かかる当行の有効なカウンターシクリカルなバッファ・レートの引下げにより、全体的な普通株式等Tier 1要件が引き下げられる(すなわち、リスク加重資産の13.5%を保有するというノルウェーの0-SIIsに対する2016年7月1日現在の要件に基づき、当行の有効なカウンターシクリカルなバッファ・レートの約0.3パーセント・ポイントの引下げにより、普通株式等Tier 1要件はリスク加重資産の約13.2%に引き下げられた。)。カウンターシクリカルなバッファの水準は、ノルウェー財務省及びその他の加盟各国の関連当局により四半期毎に再評価され、その結果レートの引上げ又は引下げが行われる可能性がある。要件の引上げ決定は、通常かかる決定から発効までに12ヶ月以上を要する。2016年12月15日、ノルウェー財務省は、2017年12月31日からカウンターシクリカルなバッファ・レートを2.0%に引き上げると発表した。

CRD では、規制当局は規制対象の銀行に対し、「第2の柱」自己資本要件とよばれる追加の自己資本を保有するように要求することができる。ノルウェー金融監督庁の第2の柱要件は、第1の柱要件に加えて、第1の柱でカバーされていないか又は一部しかカバーされていないリスクに関する金融機関固有の自己資本要件が反映される予定である。ノルウェー金融監督庁の2016年度の監督上の検証・評価プロセスに関連して、当行、当行グループ及びDNBグループの第2の柱要件はリスク加重資産の1.5%に設定されており、普通株式等Tier 1資本で充足しなければならない。そのため、普通株式等Tier 1資本合計の要件は、2016年度末現在で約14.7%であった。2017年3月31日現在、当行、当行グループ及びDNBグループは、これらの要件を遵守している。第2の柱要件は、数々の要素についての任意の時点における監督当局の評価であり、規制対象の金融機関の特定のリスク・プロファイルに対処するため、継続的に上方又は下方に修正される可能性がある。当行、当行グループ及びDNBグループに対する2016年度の監督上の検証・評価プロセスに関するレターにおいて、ノルウェー金融監督庁は、当行、当行グループ及びDNBグループに対し普通株式等Tier 1合計の要件に加え、約1.0%の普通株式等Tier 1バッファを保有することも勧告した。

2016年12月21日、ノルウェー財務省は、ノルウェーのバーゼル のフロア規制に関し、保険会社の子会社に対する投資の取扱いに関する規制の変更を発表した。かかる変更は、2017年1月1日付で発効した。これらの変更による当行グループの移行ルールに基づく普通株式等Tier 1比率(2017年3月31日現在で15.7%)への影響はない。DNBグループにとって、この変更は、2017年3月31日現在の普通株式等Tier 1比率が0.2パーセント・ポイント低下することを意味していた。2017年3月31日現在、DNBグループの普通株式等Tier 1比率は15.8%であった。

当行は、2011年及び2014年にEBAが行った欧州の銀行のストレス・テストに参加した。このストレス・テストでは、貸出損失、市場リスク及び純利息収入の減少といった深刻な打撃及び損失からの欧州の銀行の回復力並びに結果として生じる銀行の普通株式等Tier 1資本比率への影響を評価する。当行はまた、2015年度末の数値に基づく

EBA2016年ストレス・テストにも参加した。当行グループの悪化シナリオにおけるストレス・テストの結果によると、普通株式等Tier 1比率は14.30%と大きな変動はなかった(0.01%の低下)。当行は、ストレス・テスト期間中(2016年～2018年)、EBAの方法論によると安定した資本基盤をもたらす良好な配当前業績を維持している。また、リスクの影響を受けないバーゼル 制度に基づくノルウェーの移行ルールの効果により、リスク・エクスポージャーの額にも変動はなかった。

バーゼル の枠組みは、レバレッジ比率要件とよばれる(リスク加重されていない)資産合計に基づく自己資本要件についても規定している。2016年12月20日、ノルウェー財務省は、銀行に対する2%の一般的なバッファ要件及びシステム上重要な銀行に対する1%の追加のバッファ要件に加え、銀行、金融企業、金融グループの持株会社及び特定の投資サービスを提供する投資会社に対し、3%のレバレッジ比率の要件を課すことを決議した。レバレッジ比率の要件を遵守しない企業は、必要なレバレッジ比率の引上げに関する予定表を付した計画書を、5営業日以内にノルウェー金融監督庁に提出しなければならない。ノルウェー金融監督庁がかかる計画書が不十分であると判断した場合、当該企業に対し状況を是正するための様々な措置を実施するよう命令することができる。レバレッジ比率の要件について定めた規制は2017年1月1日付で発効し、かかる要件は2017年6月30日から適用される。新たな要件に基づき、DNBエイ・エス・エイ及び(連結ベースでの)当行グループは、6%のレバレッジ比率を保有しなければならない。当行及び(連結ベースでの)DNBグループは、6%のレバレッジ比率を保有しなければならない。2017年3月31日現在、DNBグループのレバレッジ比率は6.7%(2016年12月31日現在は7.3%)であった。

当行グループの事業の性質及び外部状況は、常に変化している。その結果として、また、変化する規制情勢に確実に適合できるようにするため、当行グループは、将来的に、貸出金若しくはその他の事業に対する投資の削減又は追加の資金調達により、自己資本比率を引き上げなくてはならない可能性がある。かかる資本は、デット・ファイナンス、ハイブリッド・キャピタル又は追加資本の形であるかを問わず、魅力的な条件で利用可能とはならないか、又は全く利用できない可能性がある。さらに、将来どのような資本に関する規制要件が課されるかを予想すること又は現在提案されている規制の変更が、当行グループが提供する事業、商品及びサービス並びにそれらの資産価値に与える影響を正確に見積ることは困難である。例えば、金融機関の規制強化への取組みの結果、当行グループの企業が追加の引当金の計上、準備金若しくは資本の強化又は特定の事業へのアプローチの終了若しくは変更を求められた場合、当行グループ及び/又はDNBグループの業績又は財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

また、バーゼル の枠組みは、銀行部門の流動性水準の引上げも目的としている。CRD にはLCRに関する要件が含まれる。ノルウェー財務省は、EUが企図した日程に先立ちLCRを導入することを決定した。当行、当行グループ及びDNBグループを含む、ノルウェー国内のシステム上重要な銀行は、2015年12月31日現在、すべての通貨の合計についてLCR要件を100%充足することを要求されていた。LCR要件は、様々な通貨の合計で遵守しなければならない。通貨の合計に関するLCR要件に加え、ノルウェー財務省は、重要な各通貨(銀行の債務総額の5%超を構成する各通貨)に関する100%のLCR要件を導入した。多額のユーロ又は米ドルを保有する銀行は、すべての通貨の合計に関するLCR要件に加え、ノルウェー・クローネによりLCR要件の最低50%を遵守しなければならない。重要な通貨に関するLCR要件は、2017年9月30日から適用される。その結果として、また、当該規則の変更に確実に適合できるようにするため、当行グループ及びDNBグループは、追加の流動資産を保有しなければならない可能性がある。このことはその業績又は財政状態に悪影響を及ぼす可能性がある。

NSFRもまた、バーゼル の枠組みで提案されている。この調達比率は、長期の安定した調達により資金調達された長期資産の割合を算定するものである。ノルウェーはこれまでのところ、NSFR流動性規則を実施しておらず、NSFRを規定するEUの規則にさらなる進展を待っている。

2016年11月23日、欧州委員会は、CRR、CRD 、BRRD及び銀行同盟に係る単一破綻処理メカニズムを設定する規則(EU)806/2014を変更するための法案を公表し、「非優先」シニア債務という新たな資産クラスの創設を促進するための修正指令(以下「本提案」という。)を提案した。本提案は、第2の柱の枠組み、レバレッジ比率、分配に関する強制制限、自己資本及び適格債務の削減許可、マクロ・ブレードンスなツール、「非優先」シニア債務という

新たな分類、MRELの枠組み及び金融安定理事会の最低総損失吸収力に関する提案のEUの法律への統合を含む、複数の分野にわたっている。本提案は、欧州議会及び欧州連合理事会で審議される予定であるため、変更される可能性がある。新たな法律の最終案には、本提案の要素がすべては含まれない可能性があり、また立法の過程で新たな要素又は変更された要素が導入される可能性がある。本提案が最終版となるまで、また法律がノルウェー法において施行されるまで、本提案が当行、当行グループ、DNBグループ又は本社債の保有者に与える影響は不確定である。

銀行の清算及び危機管理

2014年7月2日、金融機関及び投資会社の再建と破綻処理のためにEU域内共通の枠組みを構築することを定めた指令2014/59/EUが施行された。BRRDは、該当企業(「該当企業」とは、信用供与機関、投資会社、一定の金融機関及び一定の持株会社をいう。)の破綻が経済及び金融システムに及ぼす影響を最小化しつつ、該当企業の重要な財務上及び経済上の機能が継続することを確保するため、不健全又は破綻している該当企業に十分に早期かつ迅速に介入するための信頼できる一連の手段を当局に与えることを目的として策定されている。

BRRDは、その規定により、2016年1月1日から適用が求められた一般的ペイルイン・ツール(以下を参照のこと。)を除き、2015年1月1日からEU加盟国への適用が求められていた。ノルウェーは、1994年1月1日に発効した欧州経済領域に関する協定(以下「EEA協定」という。)において実施されるよりも前にBRRDに直接拘束されることはない(BRRDのノルウェーにおける実施過程に関する情報は、下記のBRRDの記載を参照のこと。)。

BRRDには、(a)該当企業が破綻しているか、破綻する可能性があり、(b)民間部門の代替措置がかかる該当企業の破綻を合理的な時間の枠内で防ぐという合理的な見込みがなく、かつ(c)破綻処理が公共の利益になると当該破綻処理当局が判断した場合に、単独で又は組み合わせて使用される以下の4つの破綻処理ツール及び権限が含まれる。

- () 事業の売却 - これにより、破綻処理当局は、商業上の条件で該当企業又はその事業の全部若しくは一部の売却を指示することができる。
- () 承継金融機関 - これにより、破綻処理当局は、該当企業の事業の全部又は一部を(かかる目的のために設立され、完全に又は部分的に公的支配の下にある)「承継金融機関」に移転することができる。これは、該当企業の債務返済能力を制限する可能性がある。
- () 資産の分離 - これにより、破綻処理当局は、最終的な売却又は秩序だった業務縮小を通じて減損した資産又は問題のある資産の価値を最大化する目的で、1つ又は複数の公営資産運用ビークルに管理を委ねるためかかる資産を移転することができる(これは、他の破綻処理ツールとの併用でのみ使用される。)。
- () ペイルイン - これは、破綻処理当局に、破綻している該当企業の無担保債権者の一定の債権(債券/社債(日本で発行した社債を含む。))(以下「本社債」という。)等の有価証券に係る債権を含む場合がある。)を減額する権限及び/又は本社債等の有価証券を含む一定の無担保債権を資本に転換する権限(以下「一般的ペイルイン・ツール」という。)を付与する。かかる資本もまた、一般的ペイルイン・ツールの将来の適用対象である。

BRRDはまた、上記の破綻処理ツールのみでは財務上の安定性を維持するために不十分である場合、追加の財務安定化ツールを通じて、加盟国が臨時の公的財務支援を提供できると規定している。これは、パブリックエクイティ・サポート及び一時的な公的所有ツールで構成される。かかる臨時の財務支援は、EU加盟国の救済枠組みに基づき提供されなければならない。

認可継続の要件に違反しているか、近い将来に違反する可能性がある場合、資産が負債を下回っているか、近い将来に下回る可能性がある場合、支払期限が到来する債務が支払えないか、近い将来支払えなくなる可能性がある場合、又は(限られた状況を除き、)臨時の公的財務支援を必要とする場合、該当企業は、破綻しているか、破綻する可能性があると思なされる。

一般的ベイルイン・ツールに加え、BRRDは破綻処理当局に対し、実質的な破綻状態において、他の破綻処理措置が採られる前に、(劣後社債及び本社債等の)資本商品を恒久的に債務減額し又は資本へ転換する追加の権限を付与している(以下「実質破綻時損失吸収」という。)。かかる資本への転換に際し劣後社債及び本社債の保有者に対し発行された株式もまた、一般的ベイルイン・ツール又はBRRDに基づくその他の権限の適用対象である。

実質的な破綻状態における損失吸収措置の適用において、BRRDに基づく実質的な破綻状態とは、()該企業が破綻処理条件を満たしている(が、いかなる破綻処理措置も採られていない)と関係当局が判断した場合、()(劣後社債及び本社債等の)関連資本商品が債務減額若しくは転換されない限り該企業若しくはそのグループが存続できないと関係当局が判断した場合、又は()該企業が臨時の公的財政支援を求めている場合(ただし、かかる企業が金融機関の場合、EEA加盟国の経済の深刻な混乱を是正し、金融の安定性を保つための支援を除く。)をいう。

BRRDは、現行のノルウェーの金融法及び金融機関法第21章に規定された支払不能及び行政に関する規制の枠組みからかなり大きく逸脱する形で策定されている。

2016年10月、ノルウェー銀行法委員会はBRRDを実施するための法律を提出し、公聴期間は2017年1月9日に終了した。ノルウェー銀行法委員会の提案並びに公聴会及びノルウェー金融監督庁との協議で得られた意見に基づき、ノルウェー財務省は、2017年6月21日、金融機関法の修正によりBRRDを実施する法案を公表した。かかる法案には、BRRDを完全に実施するための再建・破綻処理計画、早期介入措置及び破綻処理ツールに関する包括的な新規則が盛り込まれている。現在のノルウェーの法律は、銀行再建・破綻処理指令と同じ原則の多くに基づいており、かかる指令の破綻処理ツールは、ノルウェー当局が現在利用可能な措置と大きく相違するものではない。しかし、破綻処理ツールとしてのベイルインの導入は、重要な新要素である。しかし、一般的なベイルイン・ツールは、ノルウェー債権者回収法(1984年6月8日付第59号)の規則と大部分が一致する優先規則に従って実施される。法案ではノルウェー金融庁が破綻処理当局に指定されているが、金融機関が破綻処理の条件を満たすか否かを判断する権限はノルウェー財務省に委ねられている。

BRRDに規定された権限は、関連金融機関及び投資会社の運営方法並びに特定の状況における債権者の権利に影響を及ぼす。

ノルウェー財務省の提言どおりにEUの法律に沿ってノルウェーにおいてBRRDが実施された場合、当行、当行グループ及びDNBグループは、破綻処理ツール及び権限の対象となり、本社債の所有者は、一般的ベイルイン・ツールの適用又は(劣後社債の場合は)実質破綻時損失吸収措置の適用に際し、減額又は株式資本への転換に服する場合があります。結果的に、かかる所有者は本社債に対する投資の全部若しくは一部を失う可能性がある。かかる適用は、本社債の元本若しくは未払利息の変更、満期日若しくは支払期限が到来するその他の日の変更及び一定期間にわたる支払停止を含む本社債の要項の規定の修正又は適用除外を伴う可能性もある。その結果、ノルウェーにおける実施後、BRRDに基づく権限が行使されるか、又はかかる行使が提案された場合、本社債権者の権利に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

また、本社債の市場価格は、ノルウェーにおけるBRRDの実施若しくは実施予定により、及び/又は、かかる実施後、BRRDに基づく当行、当行グループ、DNBグループ及び/若しくは本社債に係る権限の現実の若しくは想定される行使により、悪影響を受ける可能性がある。かかる法律に基づき当行、当行グループ又はDNBグループに関し採られる措置もまた、当行が本社債に基づく義務を履行する能力に影響を及ぼす可能性がある。

BRRDに基づき、EUの金融機関に対し、破綻している銀行の救済若しくは破綻処理に充当するために、減額若しくはベイルインの対象として利用できるよう一定の最低基準の自己資本及びその他の適格債務の維持を求める規制も存在する。かかる規制は、EUにおいて2016年1月1日に(経過規則に従い)施行された。欧州議会及び理事会の指令2014/59/EUを補完する2016年5月23日付規則(EU)2016/1450は、自己資本及び適格債務の最低要件の設定方法に関する基準を定めた規制の技術基準案が記載されている。規制の技術基準は、BRRDに定められたMRELの設定基準を規定することを目的としている。規制の技術基準は、金融機関の自己資本要件を損失吸収及び(必要な場合には)破綻処

理後の金融機関の資本構成の変更のために必要なMRELと関連付ける方法を規定している。最後に、規制の技術基準は、システム上重要な金融機関に関して破綻処理当局が、金融機関の自己資金のみで破綻処理を行うことが不可能な場合、破綻処理融資契約を利用できるようにすること、またかかる契約の利用に関しMRELがBRRDに定められた前提条件の充足に十分であるか否かを評価する必要性について検討することを提案している。

ノルウェー財務省が提出した法案では、各金融機関の破綻処理計画における破綻処理当局としてのノルウェー金融監督庁が定める水準でMRELの最低要件を実施することが提案されている。MRELの最低要件に関する規則案には、テクニカルな基準の実施に関する規制及びBRRD法に基づき承認されたテクニカルな基準に法律を適合させる規制を採択するノルウェー財務省の権限が含まれている。

いつ、どのようにBRRDがノルウェーにおいて実施されるのかがやや不確定であり、いずれにしてもノルウェー当局がEUの法律よりもより負担の重い規定を採択する可能性もあるため、当行又は本社債に対する潜在的影響を予測するのは困難である。

金融機関に対する監督及び規制の変更又は今後のその他の変更は、当行グループの事業及び運営、流動性、業績並びに財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、規制当局と密接に連携し、規制の枠組み及びコンプライアンスを継続的に監視しているが、今後の規制の変更の時期及び態様は予測不可能であり、当行グループには管理できない事項である。法令法規が、当行グループの事業、財政状態、業績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼさないような形で採択、施行又は解釈されるという保証はない。

また、債券及び株式への投資家、アナリスト及びその他の市場の専門家が、より高い資本バッファを期待せず、かかる市場の期待が当行グループの借入コストを増加させず、その資本市場へのアクセスを制限せず、又はその格付けの引下げにつながらないという保証はない。

ドッド＝フランク法

米国において、2010年米国ドッド＝フランク・ウォールストリート改革・消費者保護法(以下「ドッド＝フランク法」という。)は、とりわけ、システミック・リスクの監督、銀行の自己資本比率、破綻しているシステム上重要な金融機関の適切な破綻処理及び店頭デリバティブに関する取組みにより、米国外の銀行を含め、金融サービス業界に影響を与える重大な構造改革をもたらした。ドッド＝フランク法には、当行及びその世界中の全関係会社を含む銀行業者に対し、ヘッジ・ファンド、プライベート・エクイティ・ファンドその他類似のファンドの自己勘定取引及びそれらに対する投資又は保証の供与を(多くの例外を除き)大幅に禁止する、ボルカー・ルールも含まれる。

財務省、金融安定監督評議会、証券取引委員会、商品先物取引委員会(以下「CFTC」という。)、連邦準備制度理事会、通貨監督庁(以下「OCC」という。)及び連邦預金保険公社(以下「FDIC」という。)が、ドッド＝フランク法により義務付けられる広範な規則制定に取り組んでいる。ドッド＝フランク法に基づく多くの規則は確定しているか、又は提案済みであるが、ドッド＝フランク法が当行又は金融サービス業会全体に及ぼす可能性のある全般的影響については重大な不確定要因が残存している。

ドッド＝フランク法及び関連規則又はその他新たに施行される法改正が、当行に重大な影響を及ぼさないという保証はない。

最近の市場の混乱に対する政府の対応は不十分であり、予期せぬ結果が生じる可能性がある。

当行グループは、事業を行う国々における最近の市場の混乱に対する政府の対応により悪影響を受ける可能性がある。世界的な金融危機及びその後の政府の介入の結果、財政支出の削減及びさらなる財政緊縮策の強制、並びに金融政策及び金利政策の変更を含め、最近の市場の混乱に対する政策による対応が大幅に増加しており、今後も増加し続ける可能性がある。

当行グループは、政府の政策変更又は税務当局による財政法の解釈変更を制御することはできない。とりわけ、最近の銀行救済策及び緊縮策を含め、経済を刺激し、かつ/又は銀行制度を支援するために、ヨーロッパ諸国の政府により採られている措置は、税負担の増加又は優遇税制措置の縮小につながる可能性がある。ノルウェー又は当行グループが事業を行うその他の国々における政策による対応の重大な変更、又はかかる対応実施の難しさ若しくはかかる対応の影響の種類及び効果毎の難しさは、それぞれに当行グループの事業活動、財政状態及び業績にそれぞれ悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、とりわけ新興国市場における事業運営について、贈収賄、マネー・ロンダリング活動及び制裁措置違反に関するリスクにさらされており、マネー・ロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の遵守には、重大なコスト及び努力を要する。

当行グループは、腐敗防止、マネー・ロンダリング防止、テロ資金供与防止及び経済制裁に関する規則及び規制に服している。一般的に、銀行が、贈収賄又はマネー・ロンダリングに関して負う若しくはそれらに利用されるリスクは、世界的に増大している。かかるリスクは、ノルウェー及び当行グループが事業を行っているその他の先進国市場よりも、バルト海沿岸諸国等の新興国市場において高い。新興国市場における従業員の高い離職率、関連する政策及び技術システムを一貫して実施することの難しさ、並びに全般的な事業状況は、マネー・ロンダリングの発生リスクがかかる国々においてより高いことを意味している。マネー・ロンダリング防止及びテロ資金供与防止規則の遵守の監視は、銀行及びその他の金融機関に対し重大な財務負担及び重大な技術的問題を強いる可能性がある。当行グループは、その現行の方針及び手続きが適用規則及び規制の遵守に十分であると判断しているが、グループ全体で、マネー・ロンダリング防止及びテロ資金供与防止に係る方針及び手続きが、マネー・ロンダリング又はテロ資金供与の事例を防止すると保証することはできない。マネー・ロンダリング防止規則の違反、又はかかる違反の示唆でさえ、当行グループにとり深刻な法的効果及び風評に関わる影響を及ぼす可能性があり、結果として、当行グループの財政状態及び業績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。当行グループは、上記の理由により、その新興国市場における事業運営において、増大するコンプライアンス・リスク及びオペレーショナル・リスクにも直面している。

当行グループとその顧客との法的関係は、多数の商業契約のために作成された標準契約及びその書式に基づいている。このため、かかる書類中の条件に関する問題又はかかる書類中の誤記は、多数の顧客契約に影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、多数の顧客との間で契約関係を維持している。当行グループは、多数の事業分野及び部門において、契約及びその書式に関し、一般的な約款及び標準書式を使用している。標準契約及びその書式の使用は、契約数の多さから重大なリスクを包含している。日常的な法改正及び新たな法制上の決定、並びに増大するヨーロッパの法律の国内法に対する影響の結果、当行グループが使用する一般的な約款、標準契約及びその書式のすべてが、常に適用ある法律上の要件を遵守しているとは限らない。書類作成時の誤謬若しくは解釈上の問題があったり、又は個別の約款若しくは契約につきその全部若しくは一部が無効であるとみなされたりする場合、多数の顧客関係が悪影響を受ける可能性があり、当行グループの財政状態及び業績に悪影響を及ぼす可能性のある、損害賠償請求又はその他の法的効果につながる可能性がある。

当行グループの事業の実施に法的及び規制上の請求が発生する。

通常の業務において、当行グループは規制上の監視及び責任リスクにさらされている。当行グループは、事業を行う各法域の規制に服する。規制及び規制上の要件は継続的に修正され、当行グループに新たな要件(事業の実施、マネー・ロンダリング防止、支払い、消費者金融、自己資本要件、報告及びコーポレート・ガバナンスについての規制を含むが、これらに限定されない。)が課される。

さらに、銀行業務の一環として、当行グループは顧客に投資アドバイス、その他の投資サービス及び投資商品並びに内部及び外部の運用資金へのアクセスを提供しており、第三者の資金の管理人の役割を果たしている。当行グループの投資アドバイス、その他のサービス若しくは商品又は投資サービスの提供、投資商品の販売若しくはその他に関連した不正行為若しくは違法行為により顧客が損失を被った場合、当行グループの顧客は当行グループに対し補償を要求するか、又は法的措置をとる可能性がある。「第6-3-(1) 訴訟及び規制手続」を参照のこと。場合によって、当グループがかかるリスクに対し直接のエクスポージャーを有していない場合又は顧客に対しかかる相手方当事者を勧めていない場合であっても、当行グループが補償を要求される可能性がある。

当行グループは、事業を行う法域において、様々な訴訟、紛争、法的手続及び政府調査の対象となっている。「第6-3-(1) 訴訟及び規制手続」を参照のこと。かかる訴訟、紛争及び法的手続は多くの不確定要素にさらされており、これらの結果及び最終的な結論は、特に訴訟又は調査の初期段階においては予想が困難であることが多い。これらの種類の訴訟及び手続により、当行グループは、金銭的損害、直接若しくは間接の費用(訴訟費用を含む。)、直接若しくは間接の財務損失、民事上及び刑事上の罰則、許認可若しくは承認の喪失、レピュテーション(評判)の喪失並びに事業に対する規制上の制限の可能性にさらされており、これらのいずれかが当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

特に、2016年6月、ノルウェー消費者審議会は、DNBエイ・エス・エイの100%子会社であり資産運用サービスを提供するDNBアセット・マネジメント・エイ・エス(以下「DNBアセット・マネジメント」という。)に対し集団訴訟を起こした。同審議会は、ファンドが実際は単に指数を追跡しているだけにもかかわらず、積極的な運用のための高額な手数料を課しているとの主張に基づき、DNBアセット・マネジメントが運用する3つのファンドの180,000名の投資家に対する補償を求めている。DNBアセット・マネジメントは、かかる主張を否定している。かかる集団訴訟が認められた場合、DNBグループは潜在的な債務にさらされる可能性及び/又は評判を損なう可能性がある。

当行グループは、訴訟、裁判及びその他の手続に関する偶発債務への備えを適切に行っていると考えているが、かかる訴訟、裁判又は手続のいずれかの結果が経営陣の予想と異なり、当行グループは予期しない費用及び損失、評判及びその他財務面以外の影響並びに経営陣の注力の転換にさらされる可能性がある。

上記の要因のいずれか又は金融機関の事業に対するその他の制限若しくは制約は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループは、税金及び付加価値税に関する法律並びにかかる法律の解釈の変更並びにかかる税率の変更のリスクにさらされている。

当行グループの活動は、事業を行う法域において、現地の法律及び慣行に従って算出される様々な税率の税金及び付加価値税の対象となっている。ノルウェー政府又はその他の政府が、将来、税率若しくは付加価値税率を引き上げるか、又は追加の税金若しくは負担を課した場合、当行グループの収益性が減少する。税金若しくは付加価値税に関する法律の改正又はその解釈の変更及び当行グループと課税当局との間の当該法律の解釈に関する意見の相違は、当行グループの将来の財政状態にも影響を及ぼす可能性がある。税金及び付加価値税に関する法律についての当行グループの解釈が課税当局により異議を呈され場合、かかる変更及び継続中の手続の結果が当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。さらに、かかる税金及び付加価値税に関する法律の変更又は税金及び付加価値税に関する法律の解釈の変更が、当行グループの事業、財政状態、経営成績、流動性及び/又は見通しに遡及効を有さないという保証はない。

当行グループは、会計方針又は会計基準の変更並びにかかる方針及び基準の解釈の変更により影響を受ける可能性がある。

国際会計基準審議会(以下「IASB」という。)は、当行グループの財務書類の作成に影響を与える財務会計基準及び財務報告基準を随時変更する。さらに、変更はかかる基準の解釈の変更によりなされる可能性があり、又は当行

グループと管轄当局との間にかかる基準の適用に関し意見の相違が生じる可能性がある。これらの変更は予想が困難であり、当行グループの財政状態及び経営成績の計上及び報告の方法に重大な影響を及ぼす可能性がある。場合によって、当行グループは、新たな基準若しくは修正された基準の適用又は現行基準の適用の変更を求められる可能性があり、遡及的に過去期間の財務書類に必要な修正再表示を行う可能性がある。当行グループの会計方針又は適用ある会計基準のかかる変更は、報告済みの財政状態及び/又は経営成績に重大な影響を及ぼす可能性がある。

実際に利益相反である事態又は利益相反と解釈される事態により、当行グループがマイナスの影響を受ける可能性がある。

当行グループは事業の範囲及び顧客基盤を拡大しているため、コーポレート・ガバナンス方針をグループ全体で実施し、当行グループによる特定の顧客へのサービス提供若しくは自己勘定投資若しくはその他の利益が、別の顧客の利益に反するか又は反すると解釈される状況及び当行グループの事業の1つ又は複数が当行グループ内のその他の事業と共有してはならない重要な非公開情報にアクセスする状況を含む、潜在的な利益相反に対処する必要性がますます高まっている。内部の方針違反は発見が困難なこともあり、利益相反の適切な特定及び対処は複雑である。当行グループが利益相反を適切に特定しかつ取り扱うことができないか又はできないように見える場合、当行グループのレピュテーションは損なわれ、利益相反が生じる可能性がある取引を行う顧客の意欲に影響を及ぼす可能性がある。

金融サービス事業には、固有のレピュテーション・リスクが伴う。

当行グループのレピュテーション(評判)は、最も重要な資産の一つである。レピュテーション・リスクは、否定的な世論による利益及び資本に対するリスクを含み、金融サービス事業に固有のリスクである。否定的な世論は、従業員による不正行為、当行グループの構成員による適用ある内部の方針及び規制への違反、当行グループの制御が限られているか若しくは制御できない事業の相手方の活動、深刻な若しくは長引く金融損失、当行グループの財務面の健全性若しくは信頼性(インターネット・バンキングのプラットフォームの信頼性を含む。)の不確実性又は当行グループの事業の遂行を含む、様々な要因が原因となって生じる。否定的な世論は、顧客、預金者及び投資家を維持しかつ惹きつける当行グループの能力並びに規制当局及び一般公衆との関係に悪影響を及ぼす可能性がある。

5【経営上の重要な契約等】

2016年8月25日、DNB及びノルデアは、エストニア、ラトビア及びリトアニアにおける業務を統合することに合意したと発表した。かかる取引は、規制当局の承認待ちであり、2017年度下半期中に完了する予定である。ノルデア及びDNBは、統合後の銀行において同等の議決権を持つ一方、経済的な所有持分の水準は、クロージング時点における統合後の銀行への拠出の相対的な持分価値を反映して異なっている。

取引が完了すると、当行はエストニア、ラトビア及びリトアニアの子会社に対する完全な支配権がなくなるが、ノルデアと共同で設立する新会社の財政方針及び事業方針の決定には関与する。2016年12月末現在、DNBのバルト諸国事業に関連するすべての資産及び負債が売却目的で保有するものとして表示された一方、損益計算書上の表示に変更はなかった。自己資本規制に関する報告には影響がなかった。再分類により損益計算書に認識された減損損失はなかった。子会社は、DNBの大企業・国際顧客部門の一部である。取引の完了後、DNBの所有持分は持分法に基づき財務書類上で1つに統合された。

以下の表は、2016年12月末現在、売却可能目的で保有される資産及び負債として再分類された連結貸借対照表の金額を示している。

(単位：百万ノルウェー・クローネ)

2016年度

資産	
現金及び中央銀行預け金	3,645
金融機関向貸出金及び預金	229
顧客向貸出金	45,007
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	1,713
持分保有	47
デリバティブ	72
投資不動産	607
無形資産	78
繰延税金資産	124
固定資産	406
その他資産	375
資産合計	52,303
負債	
金融機関からの借入金及び預金	3,834
顧客預金	36,464
デリバティブ	402
未払法人税	21
その他負債	439
引当金	4
負債合計	41,165

6【研究開発活動】

通常の事業活動の一環としてのIT開発を除き、当行グループは研究開発活動を行っていない。

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

2016年度の業績

当行グループは、2016年度において17,914百万ノルウェー・クローネの当期利益を計上し、2015年度から5,308百万ノルウェー・クローネ減少した。

主に石油関連業界及び海運業界において減損損失が多かったにもかかわらず、当行グループは堅調な当期利益を達成した。

普通株式等Tier 1資本比率は、前年度の14.3%と比較して2016年度末現在は15.7%であった。普通株式等Tier 1資本は、当年度中に12.5十億ノルウェー・クローネ増加した。当年度中に生じた当期利益及び利益性の低い大口の国際企業に対する貸出金の戦略的な削減により、普通株式等Tier 1資本比率が上昇した。

株主資本利益率は10.4%で、2015年度の15.1%から低下した。当行グループは、資本増強、減損損失の増加及び支店の閉鎖にもかかわらず二桁の株主資本利益率を達成した。

資金調達費用の増加並びに償却及び手数料の減少は、2016年度の純利息収入にマイナスの影響を及ぼした。顧客がローンのリファイナンスする傾向が弱まったため、顧客行動が変化し、償却期間が増加した。出来高加重スプレッドは、わずかに縮小した。2016年度第4四半期に実施された個人顧客向けの金利調整は、2017年1月初めから完全に有効となる。大企業及び国際顧客向けのセグメントにおける利益性の低いエクスポージャーを戦略的に削減したことを反映し、貸出高は2016年度において減少した。

その他の営業収益は、主にベシス・スワップの影響により、2015年度から1,593百万ノルウェー・クローネ減少した。

営業費用は、2015年度から1,325百万ノルウェー・クローネ増加したが、これは主に2015年度第4四半期における確定給付型年金制度から確定拠出型年金制度への移行によるものであった。非経常効果を調整後の営業費用は、383百万ノルウェー・クローネ(1.9%)の減少であった。DNBは、将来の競争に備えるため、2016年度においてITインフラへの投資を継続した。

貸出金及び保証に係る減損損失は、海運セグメント及びオフショア・セグメントにおける個別減損の増加により、当年度中に5,154百万ノルウェー・クローネ増加した。集合的減損も増加したが、これは一部の業界における経済情勢の後退を反映していた。2015年度及び2016年度中の延滞したポートフォリオの売却を除く減損損失は、約4,750百万ノルウェー・クローネ増加した。

2016年度は、金融サービス業界のデジタル化の拡大及び顧客行動の急速な変化に特徴付けられた。顧客によるセルフ・サービス・ソリューションの利用の加速に伴い、2016年度上半期中に59の支店が閉鎖された。これと並行して、当グループは、引続き新たなデジタル・サービスを開発した。

2016年度末現在、Vipps決済アプリは約2.1百万人のノルウェー人にダウンロードされている。このアプリはさらに開発され、2016年度にはVippsインボイス及びVipps SMEが開始された。さらに、DNB、ネット及びベリフォンは、顧客が店舗での決済方法としてVippsを利用することを可能とする契約に署名した。DNBはまた、大手企業とも契約を締結した。

10月、ノルデアとDNBは、強固な北欧ルーツを持つ主要銀行をバルト諸国に創設するため、エストニア、ラトビア及びリトアニアにおける事業を統合することに合意したと発表した。かかる取引は規制当局の承認待ちであり、2017年度第2四半期に完了する予定である。

4月に発覚したパナマ文書問題を受けて、法律事務所のヨルトは、この問題へのDNBの関与についての外部調査を行った。報告書は9月半ばに提出され、DNBは法律に違反していないと結論付けた。その一方、DNBの内部指針の違反があり、措置が決定された。

11月、NXTカンファレンスがオスロのDNB本社で開催された。このカンファレンスはオスロ・イノベーション・ウィークの一環であり、起業家及び投資家にネットワーキング、ナレッジ・シェアリング及びインスピレーションのためのデジタル及び物理的な会議スペースを創設することを目的としていた。カンファレンス後、DNBとスター

トアップラボは、有望なスタートアップのテクノロジー企業の急速な拡大を支援し、パートナーシップを構築し、かつ企業自体及びDNBの双方に商機を生み出すプログラムである、NXTアクセラレーターを立ち上げた。

第4四半期において、DNBは、物議を呼んでいる米国ノースダコタ州における新たな石油パイプライン建設への資金提供に関与する多くの銀行の一つであることが知られるようになった。DNBは、銀行がプロジェクト・ファイナンスにおける役割について確実に応答できるようにし、パイプライン・プロジェクトにおけるエクスポージャーを再検討する可能性がある。第4四半期中、DNBの投資信託は、パイプラインを建設する会社における保有持分を売却した。

競争環境及び市場金利の上昇の結果、DNBは2016年度に2度の住宅ローン金利の引上げを決定した。

DNBは、Prospera、Universum及びキャリア・バロメーターが当年度中に行った数々の調査で良好な結果を残した。さらに、DNBは消費者調査のサステナブル・ブランド・インデックスにおいて、年金サービスがノルウェー企業の中で首位に、またノルウェーの銀行でトップクラスにランク付けされた。

10月、DNBは男女間の給与差の均等化に対する取組みにより、職業組合連合(YS)の機会均等賞を受賞した。11月、DNBはノルウェーの金融機関で初めて、気候変動に関する取組みでカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)によりA-の格付を付与された。

従業員調査のエンゲージメント指数は、84ポイントと高い水準を維持した。これは、大幅なリストラクチャリングを通じて巧みに対処した健全な組織という実態を表しているが、組織再編プロセスにより必然的に影響を受けている。当行の事業における病気休暇は2016年度において4.5%と、2015年度から横ばいであった。病気休暇率の高い部門への特別なフォローアップは継続された。

欧州銀行監督機構(ESA)が行ったストレス・テストにおいて、DNBは、経済危機からの回復力がテスト対象となった銀行の中で最も高いと評された。

年度末にかけて、ノルウェー財務省は、新たな住宅ローン規制を採用した。同時に、ノルウェー議会が金融活動税の導入に向けた政府の提言を支持していることが明らかになった。ノルウェー財務省はまた、2017年度末から効力を有するカウンターシクリカルなバッファー要件を1.5%から2.0%に引き上げた。

年次決算の概要

ノルウェー会計法の規定に基づき、取締役会は、財務書類が継続企業の基準で作成されたこと及び継続企業の前提が適用されることを確認している。

ノルウェー会計法セクション3-9に基づき、当行グループはEUにより承認されている国際財務報告基準(IFRS)に準拠した年次連結財務書類を作成する。当行の法定財務書類は、ノルウェーのIFRS規制に準拠して作成された。

純利息収入

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	変動	2015年度
純利息収入	34,517	(1,018)	35,535
為替レートの変動		480	
その他の純利息収入		133	
エクイティ及び無利子商品		(93)	
顧客セグメントの貸出金スプレッド及び預金スプレッド		(100)	
長期資金調達費用		(329)	
顧客セグメントの貸出高及び預金高		(464)	
償却効果及び手数料		(644)	

純利息収入は、2015年度から1,018百万ノルウェー・クローネ減少した。かかる減少は、主に償却及び手数料が2015年度と比較して644百万ノルウェー・クローネ減少したこと並びに長期資金調達費用が増加したことに起因していた。顧客行動の変化により、償却期間は長期化し、顧客はローンをリファイナンスする傾向が弱くなった。貸出高は2015年度から減少したが、為替レートの影響により相殺された。平均貸出金スプレッドは、2015年度から0.14パーセント・ポイント縮小した一方、預金スプレッドは0.20パーセント・ポイント拡大した。延滞していない貸出金ポートフォリオは、平均で0.2十億ノルウェー・クローネ増加した一方、預金の平均残高は2015年度と比較して9.2十億ノルウェー・クローネ増加した。

その他の営業収益純額

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	変動	2015年度
その他の営業収益純額	15,316	(1,593)	16,909
ビザにおける保有持分		1,128	
その他の金融商品に係る純利得		1,028	
ローンの売却に係る純利得		258	
関連会社からの収益		133	
その他の営業収益		(147)	
正味手数料		(322)	
2015年度におけるコペンハーゲン・アインドームの 投資用物件からの実現利得及び賃料		(444)	
ベースス・スワップ		(3,227)	

その他の営業収益純額は、2015年度から1,593百万ノルウェー・クローネ減少した。エクイティ市場、外国為替市場及び金利市場の活動水準が高まったことにより、その他の金融商品に係る純利得は堅調に増加した。ビザ・ヨーロッパにおけるビザ・ノルウェーの保有持分の売却からの収益により、2016年度の収益は1,128百万ノルウェー・クローネ増加した。ベースス・スワップにより、利益は3,227百万ノルウェー・クローネ減少した。

営業費用合計

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	変動	2015年度
調整後営業費用合計	(19,892)	383	(20,275)

業務関連費用

その他の費用		393	
給与その他の人件費		117	
(年金及びリストラクチャリング費用を除く。)			
IT費用		107	
年金費用		(103)	
金融活動税引当金		(131)	
非経常効果	(624)	(1,708)	1,084
ITリストラクチャリング		234	(234)
その他のリストラクチャリング費用	(831)	(389)	(442)
その他の非経常効果	207	(1,553)	1,760
営業費用合計	(20,516)	(1,325)	(19,191)
うち：			
ノルウェー国外の部門に対する為替変動の影響		(102)	
通貨調整後の営業費用	(19,790)	486	(20,275)

営業費用合計は、2015年度から6.9%増加した。非経常効果を調整後の費用は1.9%の減少であった。大規模な非経常効果がマイナスの影響を及ぼし、費用は1,708百万ノルウェー・クローネ増加した。主な要因は、確定給付型年金制度を確定拠出型年金制度に移行したことによる2015年度における人件費の低下であった

為替変動の影響により、費用は102百万ノルウェー・クローネ増加した。金融活動税引当金は、131百万ノルウェー・クローネに相当した。

貸出金及び保証に係る減損

貸出金及び保証に係る減損は、2016年度には合計7,424百万ノルウェー・クローネとなり、2015年度から5,154百万ノルウェー・クローネ増加した。

2016年度の減損損失は、主に大企業・国際顧客部門の海運、オフショア及びエネルギーに関連していた。個別減損損失は、主に少数の大口顧客に起因していた。延滞したポートフォリオの売却により回収が進み、再評価された減損は、2015年度の1,067百万ノルウェー・クローネと比較して2016年度において合計668百万ノルウェー・クローネとなった。

集散的減損の増加は、主に貸出金のリスク分類におけるマイナスの増加及び先述の業界における経済情勢の悪化に関連していた。その他の与信ポートフォリオは依然として質が高く、石油関連業界の厳しい状況はこれらのポートフォリオに重大な影響を及ぼさなかった。

延滞並びに貸倒懸念のある貸出金及び保証の正味金額は、2016年12月末現在で25.7十億ノルウェー・クローネとなり、2015年度末現在の14.0十億ノルウェー・クローネから増加した。延滞並びに貸倒懸念のある貸出金及び保証の正味金額は、貸出金ポートフォリオの1.49%に相当し、2015年12月末現在から0.73パーセント・ポイント増加した。延滞並びに貸倒懸念のある貸出金及び保証の増加は、大企業・国際顧客部門における海運、オフショア及びエネルギーに関連していた。

法人税

2016年度における当行グループの税金費用は3,964百万ノルウェー・クローネであり、税引前営業利益の18%であった。税率は、2015年度から7パーセント・ポイント低下し、予想税率の22%を下回ったが、これは主に税が免

除される方法によるエクイティの売却、ノルウェー国外の事業体における法人所得税費用の減少及びノルウェーと米国との間の支払利息の分配に関するノルウェーの課税規則によるものであった。

資金調達、流動性及び貸借対照表

年間を通じて、短期資金調達市場は、米国マネー・マーケット・ファンドの新たな規制改革の影響に関連した不確実性により特徴付けられた。長期債の利用可能性が限られていたこと及び需要の増加により、スプレッドが拡大した。DNBは、年間を通じて短期資金調達を十分に利用することができた。

長期資金調達市場は、2016年度において規制上及び政治上の不確実性により特徴付けられた。中国経済に関する懸念及び欧州の銀行の成長見通しの弱まりにより、年初にスプレッドが拡大し、活動が低下した。スプレッドは、とりわけ資産買入プログラムが一層拡大された3月の欧州中央銀行会議後に大幅に縮小した。活動水準は、EU離脱をめぐる英国の国民投票が近づくにつれ、夏にかけて低下した。投票後は、市場は正常化し、スプレッドは縮小した。活動水準は米国大統領選を前に再度低下したが、その後大幅に上昇した。欧州中央銀行の資産買入プログラムが削減される可能性についての懸念から、年末にかけてスプレッドが拡大した。

DNBは2016年度において長期資金調達を十分に利用でき、カバード・ボンド及び通常の優先債務に係るスプレッドは年間を通じて大幅に縮小した。

当行グループの発行済長期負債証券の額面金額は、2016年12月末現在で581十億ノルウェー・クローネであり、これと比較して前年度末は608十億ノルウェー・クローネであった。これらの負債証券の満期までの平均残存期間は2016年12月末現在で3.9年であり、これと比較して2015年度末現在は3.8年であった。

短期流動性要件である流動性カバレッジ比率(LCR)は、年間を通じて安定しており、100%を上回った。2016年12月末現在、LCR合計は138%であった。

当行グループの貸借対照表上の資産合計は、2016年12月31日現在2,348十億ノルウェー・クローネであり、前年同日現在は2,316十億ノルウェー・クローネであった。

顧客向貸出金は、2015年12月末から40十億ノルウェー・クローネ(2.6%)減少した。顧客預金は、同期間中に12十億ノルウェー・クローネ(1.2%)減少した。当行グループにとって、正味顧客向貸出金に対する顧客預金の比率は、2015年12月末現在の62.5%から1年後には63.4%へと上昇した。目標は、正味顧客向貸出金に対する顧客預金の比率を60%以上とすることである。

リスク及び自己資本規制

組織及び監視

取締役会は、当行グループの資本状況を継続的に監視しており、当行が普通長期債務のAA水準の格付を維持することを目指している。

DNBのリスク管理方針は、当行グループ全体のリスク管理の指針として機能し、リスクに対する目標、態度及び取組みについて定めている。当グループは、リスク・プロファイルを低く維持することを目指し、理解及び追跡調査が可能でレピュレーションを害さないリスクのみを引き受ける。当行グループの企業文化は、健全なリスク管理を促進する透明性のある方法及びプロセスにより特徴付けられる。すべての経営陣が、各自の担当分野におけるリスクについて責任を負う。当行グループにとってリスクを伴う契約の締結に関する責任は、個人の授權及び制限を通じて組織に委任される。リスク管理機能及びリスク管理ツールの開発は、事業運営に携わる部門から独立した部門で編成される。

リスク選好度の概念は金融サービス業界においてベスト・プラクティスとなり、金融機関はリスクを戦略及び計画プロセスの不可分の要素とすることが容易になり、その結果、変化する環境により迅速に対応することが可能となる。DNBのリスク選好度の枠組みは、リスクが管理され、かつ当行グループのその他の統制プロセスに確実に統合されるようにするための当行グループのリスク政策及びリスク指針の運用を表している。かかる枠組みは、取締

役会が主体となり、少なくとも1年に1度見直される。枠組みに基づき測定される実際のリスク水準は、月次で報告される。

DNBグループのリスク管理指針並びに流動性リスク及び市場リスクの年間限度枠は、DNBエイ・エス・エイ及び当行の取締役会の共同会合により承認される。市場リスクは、エクイティ、不動産、通貨、金利及びコモディティのエクスポージャーを反映している。DNBエイ・エス・エイの取締役会は、個別のリスク管理委員会を設置している。DNBのその他の事業会社の取締役会は、それぞれの事業に関する関連リスクについて、限度枠を設けている。

DNBグループのグループ経営陣会議には、事業部門及びサポート・スタッフ分野のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントが出席する。様々な専門分野における書類作成並びに追跡調査及び管理の実施を支援するため、数々の諮問機関が設置されている。

資産負債委員会(ALCO)は、最高財務責任者及び最高リスク管理責任者のための諮問機関であり、市場リスク及び資金調達リスク、リスクモデリング、資本構成並びに収益目標の管理に係る事項を扱う。

リスク管理における当グループの専門部門が、グループ・リスク管理部門というサポート部に編成されている。この部門は最高リスク管理責任者が率い、最高リスク管理責任者はグループ最高経営責任者に直属する。下部部門は、信用リスク、市場及び流動性リスク、オペレーショナル・リスク、リスクの数値化、検証、リスクの報告及び分析並びに遵守について、グループ全体の責任を負う。DNBがマネー・ロンダリングの防止及び制裁に関する規制を確実に遵守するため、マネー・ロンダリング防止に関する制裁措置部門が設置された。

グループ与信諮問委員会は、金額の大きい個別の与信提案及びその他の特別な与信に関し、グループ最高経営責任者及び取締役会に助言し、複数の事業分野の顧客である借手に対する金額の大きい与信を承認する。

オペレーショナル・リスク諮問グループは、最高リスク管理責任者のための諮問委員会である。オペレーショナル・リスク諮問グループは、グループ全体に対する権限を有し、オペレーショナル・リスクの管理における当グループの取組み及びソリューションの開発を担っている。

マネー・ロンダリング防止及び国際的制裁措置に関するフォーラムは、最高リスク管理責任者が率いる諮問機関である。マネー・ロンダリング防止及び制裁措置の遵守に関するDNBの取組みへの幅広い支持を確保するため、数名のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及びグループ・ジェネラル・カウンセルがフォーラムに出席する。

2016年度の展開

当行グループは、経済資本を算定することにより、リスクを定量化している。経済資本は、2015年度末から1.3十億ノルウェー・クローネ減少し、2016年度末現在で67.2十億ノルウェー・クローネとなった。

当行グループの経済資本

	2016年	2015年
(単位：十億ノルウェー・クローネ)	12月31日現在	12月31日現在
信用リスク	54.4	55.5
市場リスク	6.9	6.9
オペレーショナル・リスク	8.6	8.4
事業リスク	6.4	6.2
経済資本総額	76.4	77.0
分散化効果 ¹⁾	(9.2)	(8.5)
経済資本純額	67.2	68.5
経済資本総額の分散化効果比率 ¹⁾	12.0	11.1

(注1)分散化効果とは、想定外の損失が同時に発生する可能性が低い異なる種類のリスクに影響を受ける事業を行うことにより当行グループが得られるリスクの低減効果をいう。

与信に係る経済資本は、大企業向けのポートフォリオにおける与信額がデフォルト時エクスポージャー(EAD)について約90十億ノルウェー・クローネ減少したことを反映し、2016年度を通じて1.1十億ノルウェー・クローネ減少した。大半のポートフォリオに係る与信は、引続き質的に健全で安定していたが、一部の部門は、2016年度において非常に厳しい状況に直面した。石油及びガスへの投資の減少により、石油サービス及びオフショアの会社は最も顕著に影響を受け、これらの部門においては2016年度にいくつかの大規模なリストラクチャリングが行われた。当行グループは、これらのプロセスに相当な資源及び専門知識を投入しており、2017年度も継続する見込みである。

伝統的な海運会社の状況は厳しいが、石油関連業界より遥かに劇的ではなかった。ドライ・バルク市場の運賃は2016年度において改善したが、記録的な低水準からの回復であった。タンカー部門の運賃は上半期において堅調であったが、当年度下半期において下落した。その一方、コンテナ部門の運賃は、年間を通じて低迷した。これらの部門についても、会社の再編が必要となる可能性がある。

2016年度における事業リスクの状況は良好であり、損失は低水準であった。機密情報の保護及びサイバー攻撃に関する脅威の高まりに対応するため、当行グループにおいて情報セキュリティ強化のための取組みが強化された。全般に、DNBのITシステムの運用上の安定性は2016年度中により安定したが、これは主に2015年度に当行グループのデータ処理センターが1箇所に移行されたことに関連するITインフラのアップグレードによるものであった。8月、DNBのメインフレーム・コンピューターの障害復旧ソリューションの実規模試験が実施され成功を収めた。かかる試験により、当行グループのソリューションは堅固で信頼性が高いことが確認された。

移行ルールに基づき算出されたリスク加重資産は、2015年度末から15.8十億ノルウェー・クローネ減少し、1,041十億ノルウェー・クローネとなった。自己資本比率が20.0%であった一方、普通株式等Tier 1資本比率は15.7%であった。

セグメント

当行グループの財務ガバナンスは、異なる顧客セグメントに合わせて構成されている。全体的な顧客関係及びセグメントの利益性の追跡調査は、戦略的優先事項の決定及び資源をどこに配分するか決定における重要な側面である。報告数値は、該当するセグメントに対する当行グループの商品及びサービスの売上合計を反映する。

個人顧客部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける2百万名超の個人顧客が含まれる。個人顧客部門は、2016年度に堅調な収益水準を記録し、配賦資本に対するリターンは17.7%となった。スプレッドへの圧迫に一部起因して収益がいくぶん減少し、利益に影響を及ぼした。収益の減少は、費用の減少により一部相殺された。延滞した貸出金ポートフォリオの売却に関連した貸出金に係る減損損失の戻入は、2015年度及び2016年度双方の会計数値に影響を及ぼした。

増減

損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度	百万ノル ウェー・ クローネ	%
純利息収入	13,223	13,655	(432)	(3.2)
その他の営業収益純額	3,567	3,691	(124)	(3.4)
収益合計	16,790	17,346	(556)	(3.2)
営業費用合計	(8,174)	(8,307)	133	1.6
減損前税引前営業利益	8,616	9,039	(423)	(4.7)
固定資産及び無形資産に係る純利得	0	0	0	
貸出金及び保証に係る減損	392	939	(547)	
税引前営業利益	9,008	9,979	(970)	(9.7)
税金費用	(2,252)	(2,694)	442	16.4
売却目的で保有する事業からの利益、税引後	(1)	2	(3)	
当期利益	6,755	7,286	(531)	(7.3)

平均貸借対照表項目(単位：十億ノルウェー・クローネ)

正味顧客向貸出金	701.7	690.5	11.2	1.6
顧客預金	400.5	381.6	18.8	4.9

主要な数値(%)

貸出金スプレッド ¹⁾	1.74	2.08
預金スプレッド ¹⁾	0.38	0.01
配賦資本に対するリターン ²⁾	17.7	22.7
費用/収益の比率	48.7	47.9
預貸率	57.1	55.3

(注1)3ヶ月物市場金利に対して計算されている。

(注2)DNBグループが満たすべき外部の自己資本規制要件に対応した配賦資本に基づき算出されている。

正味顧客向貸出金は良好に推移し、2015年度が20十億ノルウェー・クローネ、2016年度が5十億ノルウェー・クローネに相当する固定金利貸出金のDNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリンへの売却を調整後、2015年度から2016年度にかけて平均で4.0%増加した。貸出金はDNBリフスフォルシクリンのポートフォリオに含まれるが、顧客には、依然として銀行がサービスを提供している。

貸出高が増加したものの、純利息収入は2015年度から2016年度にかけて3.2%減少した。金利水準の低下及び激しい競争により貸出金スプレッドが圧迫された一方、預金スプレッドは拡大した。出来高加重金利スプレッドは、前年度から0.10パーセント・ポイント縮小した。

その他の営業収益は、2015年度からわずかに減少した。デジタル化の加速、カードの利用に関連する割引制度及び2016年9月からのインターチェンジ手数料の引下げは、支払送金からの収益にマイナスの影響を及ぼした。決済サービスからの収益の減少は、とりわけ貯蓄商品、エクイティ及び外国為替商品からの収益の増加により和らいだ一方、居住用不動産の販売数がいくぶん減少したにもかかわらず、不動産仲介からの収益水準は安定していた。

支店網のリストラクチャリングの結果、早期退職金パッケージ引当金及び不動産の空気が増加したにもかかわらず、費用は2015年度から1.6%減少した。実施されたリストラクチャリング措置により、個人顧客部門の基礎的な費用基盤が減少し、その結果当行グループは、将来銀行が直面する現実によりよく備えることができた。

貸出金に係る正味減損損失は、延滞した貸出金のポートフォリオの売却を反映しており、これにより2015年度及び2016年度の2年間について、それぞれ990百万ノルウェー・クローネ及び654百万ノルウェー・クローネの正味戻入が生じた。かかる戻入を調整後の正味減損損失は、2015年度における平均貸出金の0.01%から増加し、2016年度においては0.04%となった。住宅ローン・ポートフォリオのリスクは低く、消費者ローンに係る減損の水準も年間を通じて安定していた。

一般家庭向貸出金の市場シェアは、2015年12月末現在の25.4%から減少し、2016年11月末現在で25.1%であった。一般家庭貯蓄合計の市場シェアは、31.8%であった。DNBアイェンダムは、当年度中に約19%の安定した市場シェアを有していた。

DNBは、個人顧客部門における継続的な利益の成長の達成を目指しており、商品、サービスのコンセプト及び費用水準を、将来の銀行市場に適応させるよう十分に取り組んでいる。セルフ・サービスの比率が上昇した結果、個人顧客にサービスを提供する支店の数は、2016年度上半期中に116名から57名へと削減された。これと並行して、Vippsといった新たなデジタル・サービスの革新が強化されている。2016年度中、ノルウェーの成人人口の50%がVippsをダウンロードした。貸出金に係る減損損失は、引続き低水準で安定すると見込まれる。

中小企業部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける中小企業顧客に対する商品販売及びアドバイザリーサービスが含まれる。純利息収入及び営業収益がいずれも堅調に増加したことにより、税引前営業利益は、2015年度から5.4%増加した。

損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度	増減	
			百万ノル ウェー・ クローネ	%
純利息収入	6,358	6,131	227	3.7
その他の営業収益純額	1,418	1,190	227	19.1
収益合計	7,776	7,322	454	6.2
営業費用合計	(3,102)	(2,840)	(262)	(9.2)
減損前税引前営業利益	4,674	4,481	192	4.3
固定資産及び無形資産に係る純利得	2	(2)	3	
貸出金及び保証に係る減損	(1,082)	(1,068)	(14)	(1.3)
再取得した業務からの利益	6	3	3	
税引前営業利益	3,599	3,414	185	5.4
税金費用	(900)	(922)	22	2.4
当期利益	2,699	2,492	207	8.3

平均貸借対照表項目(単位：十億ノルウェー・クローネ)

正味顧客向貸出金	226.0	216.0	10.0	4.6
顧客預金	177.3	171.4	5.9	3.4

主要な数値(%)

貸出金スプレッド ¹⁾	2.47	2.43
預金スプレッド ¹⁾	0.42	0.27
配賦資本に対するリターン ²⁾	11.2	12.0
費用/収益の比率	39.9	38.8
預貸率	78.4	79.3

(注1)3ヶ月物市場金利に対して計算されている。

(注2)DNBグループが満たすべき外部の自己資本規制要件に対応した配賦資本に基づき算出されている。

正味顧客向貸出金の平均残高は、2015年度から4.6%増加した一方、預金は同期間中に3.4%増加した。貸出高の増加並びに貸出金スプレッド及び預金スプレッドの拡大により、純利息収入は2015年度と比較して3.7%増加した。

その他の営業収益純額は、2015年度から堅調に推移し、19.1%増加した。通貨ヘッジ商品及び金利ヘッジ商品の需要は、いずれも収益の増加に寄与した。決済サービスもまた、好ましい傾向を示した。

営業費用は、IT開発費用及びリストラクチャリング費用の増加を反映し、2015年度から9.2%増加した。さらに、堅調な活動水準及び商品販売の増加により、商品供給による費用が増加した。

貸出金に係る正味減損は、前年度と同水準であった。減損損失は、2016年度において平均正味貸出金の0.48%となり、これは主に様々な部門にわたる少数のエクスポージャー・スプレッドによるものであった。これまでのところ、貸出金ポートフォリオの質には全般的に悪化は見られず、満足できるものであるとみなされている。顧客に関する綿密な追跡調査及び予防措置は、質の水準を維持するために不可欠である。最も深刻な影響を受ける石油関連の部門及び地域の動向は、注意深く監視されている。

大企業・国際顧客部門

この部門には、当行グループのノルウェーにおける大企業顧客並びにバルト諸国及びポーランドにおけるすべての顧客セグメントを含む海外の顧客が含まれる。貸出高の減少及び貸出金に係る減損損失の増加により、税引前利益は2015年度と比較して減少した。

損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度	増減	
			百万ノル ウェー・ クローネ	%
純利息収入	14,300	15,196	(896)	(5.9)
その他の営業収益純額	5,381	5,232	149	2.9
収益合計	19,681	20,427	(747)	(3.7)
営業費用合計	(7,408)	(7,476)	68	0.9
減損前税引前営業利益	12,272	12,951	(679)	(5.2)
固定資産及び無形資産に係る純利得	24	53	(30)	(56.0)
貸出金及び保証に係る減損	(6,734)	(2,108)	(4,626)	
再取得した業務からの利益	8	(67)	75	
税引前営業利益	5,570	10,829	(5,259)	(48.6)
税金費用	(1,504)	(3,140)	1,636	52.1
売却目的で保有する事業からの利益、税引後	3		3	
当期利益	4,070	7,689	(3,619)	(47.1)

平均貸借対照表項目

(単位：十億ノルウェー・クローネ)

正味顧客向貸出金	550.4	568.1	(17.7)	(3.1)
顧客預金	375.8	393.0	(17.2)	(4.4)

主要な数値(%)

貸出金スプレッド ¹⁾	2.23	2.18
預金スプレッド ¹⁾	(0.06)	(0.09)
配賦資本に対するリターン ²⁾	5.0	11.1
費用/収益の比率	38.4	37.8
預貸率	68.3	69.2

(注1)3ヶ月物市場金利に対して計算されている。

(注2)DNBグループが満たすべき外部の自己資本規制要件に対応した配賦資本に基づき算出されている。

貸出高は、ポートフォリオのリストラクチャリング並びに海運、石油及びオフショア関連のセグメント内のエクスポージャーの削減を含む業務の再調整措置により影響を受けた。

顧客向貸出金の平均残高は2015年度から3.1%減少した一方、顧客預金の平均残高は2015年度末から2016年度末にかけて4.4%減少した。自己資本比率を強化するため、一部のセグメントにおけるリストラクチャリングに加え、当行グループは一部のローンを売却し、その他のエクスポージャーに係る保証契約を締結した。特に、合計6.2十億ノルウェー・クローネの商業用不動産ローンのポートフォリオが、2016年度末にかけてDNBリフスフォルシクリンに対し売却された。今後は、最もリターンの高いセグメントに資本が再配分されるため、ポートフォリオ管理もまた利益性の向上に役立つと見込まれる。顧客預金の平均残高は2015年度から4.4%減少した一方、預金高は2015年度末から2016年度末にかけて実質的に変動がなかった。

貸出高が減少したため、スプレッドが拡大したにもかかわらず純利息収入は減少した。出来高加重スプレッドは、2015年度から0.05パーセント・ポイント拡大し、2016年度には1.29%となった。活動水準の低下及び手数料の減少は、純利息収入が減少したその他の要因であった。

2015年度と比較して、その他の営業収益純額はわずかに増加した。2016年度を通じてボラティリティの高い状態が続いた結果、通貨ヘッジ、金利ヘッジ商品並びにコモディティ・ヘッジ商品への需要は堅調で、収益の増加につながった。その一方、債券発行のアレンジ業務及びシンジケーション業務からの収益は、ある程度減少した。さらに、利益分配契約からの利得がプラスの影響を及ぼした一方、リスク加重資産の削減措置に係る費用は、年度末にかけて収益にマイナスの効果をもたらした。

営業費用は、2015年度から0.9%減少した。常勤従業員数は2015年12月末から74名減少した。期限付開発プロジェクトに取り組む従業員数を調整後の実際の常勤従業員数は、2016年度中に約150名減少した。かかる減少は、ノルウェー国内外双方の業務で生じた。

貸出金及に係る正味減損損失は、2015年度と比較して増加したが、これは石油関連業界並びにオフショア市場及び海運市場に対するエクスポージャーに一部起因していた。2016年度の正味減損は平均貸出金の1.22%に相当し、前年度から0.85パーセント・ポイント増加した。個別減損損失は0.50パーセント・ポイント増加し、2016年度において0.83%となった。経済情勢の後退を反映し、集合的減損損失の増加は残りの増加分の原因となった。延滞並びに貸倒懸念のある貸出金及び保証の正味金額は、前年度末の9.5十億ノルウェー・クローネと比較して、2016年12月末現在20.2十億ノルウェー・クローネとなった。

DNBは、非常に競争が激しい市場で事業を行っており、銀行向けの異なる自己資本規制は、当行グループが直面する困難の一つである。ノルウェーの厳格な自己資本規制及び減損損失の増加の結果、2016年度は当行の大企業部門にとって厳しい年であった。大企業・国際事業分野の主な目的は、利益性を強化し、DNBの長期的な目標の実現に寄与することである。2017年度を通じた大企業へのエクスポージャーの削減及び再調整は、ポートフォリオにおける出来高の増加に重点を置いており、当行グループの帳簿上での最終的な保有額を確実に減少させ、付随する収益を増加させる。金利スプレッドはいくぶん増加することが見込まれ、新規取引はより長期的にはプラスに寄与すると予想される。当行グループは、引続き優先順位の高い顧客に対する深い専門知識の活用、幅広い商品群の提供及び技術的なソリューションの更新に注力する。主要企業との緊密な関係を通じ、当行グループは、顧客の幅広い金融ニーズを網羅し、投資銀行、貿易金融、リース及びファクタリングといった貸付以外の商品による寄与を増加させる体制を整えている。

トレーディング部門

この部門は、顧客取引に固有の市場リスクのヘッジを含む外国為替、債券、エクイティ及びコモディティ商品のマーケット・メイキング及び自己勘定取引で構成される。顧客活動は、トレーディング活動によって支えられている。

増減

百万ノル
ウェー・

損益計算書(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度	クローネ	%
収益合計	3,004	1,592	1,412	88.7
営業費用合計	(548)	(505)	(43)	(8.5)
税引前営業利益	2,455	1,087	1,369	125.9
当期利益	1,841	804	1,037	129.0

主要な数値(%)

配賦資本に対するリターン ¹⁾	25.4	11.2
----------------------------	------	------

(注1)DNBグループが満たすべき外部の自己資本規制要件に対応した配賦資本に基づき算出されている。

中央銀行が実施した様々な措置及び予期しない国際的政治の出来事により、2016年度の市場は不安定であった。健全なリスク管理により、高水準のマーケット・メイキング及び自己勘定取引からの収益を確保した。収益合計は、2015年度と比較して90%近く増加した。年度末にかけてイールド・カーブが急になったことから、ノルウェー・クローネ建ての確定収益商品からの収益が増加した一方、海外の確定収益商品及び金融市場の活動からの収益は引続き高水準であった。債券からの収益は増加したが、これは一部には、ノルウェーが通貨取引から堅調な収益水準を上げる自国通貨を有していた一方、信用スプレッドが縮小したことを原因として生じたものであった。

第４【設備の状況】

１【設備投資等の概要】

該当事項なし。

２【主要な設備の状況】

該当事項なし。

３【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第５【提出会社の状況】

１【株式等の状況】

（１）【株式の総数等】

【株式の総数】

(2017年6月23日現在)

授權株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
該当なし	183,143,110	該当なし

ノルウェー法及び当行には、授權資本の概念が存在しない。

【発行済株式】

(2017年6月23日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名
記名式 額面価額：100ノルウェー・クローネ	普通株式	183,143,110	該当なし
計	-	183,143,110	-

（２）【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

（３）【発行済株式総数及び資本金の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (ノルウェー・クローネ)	株式資本残高 (ノルウェー・クローネ)
2011年12月16日	8,000,000	183,143,110	800,000,000	18,314,311,000

(注)上記の発行済株式総数及び株式資本の増加は、既存株主に対する株式の割当によるものである。

(4) 【所有者別状況】

当行の株主はDNBエイ・エス・エイのみである。

(5) 【大株主の状況】

当行は、DNBエイ・エス・エイにより100%所有されている。下記の表は、2017年3月31日現在のDNBエイ・エス・エイの上位20位までの株主、かかる各株主により所有されている株式数及び発行済株式総数に対する各株主の所有株式数の割合を示している。

	所有株式数(千株)	持分割合(%)
ノルウェー政府/通商産業省	553,792	34.0
DNB貯蓄銀行基金	142,541	8.8
フォルケトリドフォンデト	105,090	6.5
フィデリティ・インターナショナル・リミテッド(FIL)	34,960	2.1
ブラックロック	33,199	2.0
T.ロウ・プライス・グループ	26,580	1.6
ヴァンガード・グループ	25,374	1.6
MFSインベストメント・マネジメント	23,903	1.5
シュローダー・インベストメント	23,860	1.5
ニュートン・インベストメント・マネジメント/BNYメロン	22,056	1.4
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	21,811	1.3
ドイチェ・アセット・マネジメント	21,588	1.3
キャピタル・グループ・カンパニーズ	17,359	1.1
ダンスケ・キャピタル	16,834	1.0
ストアブランド・アセット・マネジメント	16,761	1.0
DNBアセット・マネジメント	16,166	1.0
KLPアセット・マネジメント	15,954	1.0
BNPパリバ・インベストメント/アルフレッド・ベルグ	15,448	0.9
AXA/アライアンス・バーンスタイン	14,983	0.9
SAFEインベストメント・カンパニー	13,912	0.9
大株主による所有株式総数	1,162,172	71.4
その他	466,627	28.6
合計	1,628,799	100.0

1) 名義人口座における株式の所有者は、第三者の分析に基づき決定される。

2【配当政策】

配当政策 DNBグループ

当グループは、2017年度から50%を超える配当性向を目指している。株式買戻プログラムが年次株主総会で承認され、発行済株式の最大1.5%を占める。2017年6月14日、ノルウェー金融監督庁は、買戻後に目標資本水準を満たすこと、並びに配当及び株式の買戻しに費やされた金額が2016年度の年間利益の75%を越えないことが条件として、かかる承認を認可した。

利益の配分 当行グループ

2016年度の当行の当期利益は、2015年度の20,638百万ノルウェー・クローネと比較して、14,789百万ノルウェー・クローネであった。取締役会は、当行からDNBエイ・エス・エイに対して9,183百万ノルウェー・クローネの配当及び101百万ノルウェー・クローネ(税引後)のグループ寄与をすることを提案し、総額は9,284百万ノルウェー・クローネとなった。さらに、子会社のロイストン・ノルウェー・エイ・エスに対する、405百万ノルウェー・クローネ(税引後)に相当する540百万ノルウェー・クローネのグループ寄与が提案された。残りの利益は、その他の株主資本に配分される。

2016年12月31日現在、当行グループの自己資本比率は20.0%であり、普通株式等Tier 1資本比率は15.7%であった。これに対し、当行の自己資本比率は24.8%であり、普通株式等Tier 1資本比率は19.1%であった。

3【株価の推移】

該当事項なし。

4【役員の状況】

取締役会

責務及び組織

取締役会は、当行の事業に関する計画及び予算を設定し、当行の財政状態についての情報を常に入手し、かつ当行の事業、会計及び資産及び負債の運用が十分な管理の対象となるようにする。上記の責務を遂行するため、取締役会は必要と考える場合に調査を行わなければならない。また、当行及びその業務全般の日々の運営も監督しなければならない。当行の定款に従い、取締役会は、最大4名の取締役で構成されなければならない。そのうち3名は株主総会により選任され、そのうち2名は従業員代表である。さらに、従業員は取締役会のオブザーバー1名を任命する権利を有する。取締役会の構成員は、最長2年の任期で選出される。取締役会の会長及び副会長は、最長2年を任期として定時株主総会により個別に選任される。現会長はアンネ・カリーネ・タヌム、現副会長はグロ・バクスタッドである。2016年度において取締役会に支払われた報酬総額は、3,000,000ノルウェー・クローネであった。

当行の取締役会の構成は、以下のとおりである。

本書の日付現在、当行の取締役会は4名で構成され、女性の割合は75%である。

名前	職務上の住所	役職	任期	2016年度の報酬
アンネ・カリーネ・タヌム (女性)	ノルウェー王国 オスロ市 NO-0021	会長	2018年	987,000 ノルウェー・ クローネ
グロ・バクスタッド(女性)	ノルウェー王国 オスロ市 NO-0021	副会長	2019年	717,000 ノルウェー・ クローネ
リリアン・ハットレム(女 性)	ランガス2 1405 オデガルドスヴィンゲン2	取締役	2017年	977,000 ノルウェー・ クローネ
キム・ワール(男性)	オスロ市 0111 ヴィカ 私書箱1273 オラフ フス ガテ 5(9階)	取締役	2017年	319,000 ノルウェー・ クローネ

当行は、上記の表に記載されている者の当行以外での主要な活動は、当行にとって重要なものであるとは考えていない。

当行はDNBエイ・エス・エイの100%子会社であるため、当行の取締役会の構成員はいずれも当行の株式を保有していない。

株主により選任されたメンバー

アンネ・カリーネ・タヌム女史(1954年11月27日生まれ)は、1999年からDNBエイ・エス・エイの取締役である。同女史は以前、DnBホールディング、デン・ノルスク・バンク及びヴィタル・フォルシクリンの取締役であった。同女史は、ハウス・オブ・リトレチャー・ファウンデーション、キルデンIKS及びオスロ・キノ・エイ・エスの取締役会会長である。同女史は、東南ノルウェー地域保健局、カッペレン・ダム・エイ・エス、Tryエイ・エス、ヘニー・オNSTAD・アート・センター及びIRISの取締役である。

以前、同女史はノルウェー放送協会(NRK)の取締役会会長であり、ノルウェー国立オペラの取締役会副会長であり、また長年にわたってタヌム・エイ・エスのマネージング・ディレクター及びオーナーであった。

タヌム女史は、オスロ大学の法学位を取得している。

グロ・バクスタッド女史(1966年生まれ)は、ノルウェー経済大学を卒業した国家資格を有する公認会計士であり、財務報告、ファイナンス及び戦略立案における幅広い経験を有している。同女史は、現在ポステン・ノルゲ・エイ・エスの郵便部門のエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントであり、以前は同社の最高財務責任者を務めていた。また、バクスタッド女史は、非公開会社及び上場会社双方の取締役も務めている。

キム・ワール氏(1960年生まれ)は、未公開株式投資会社ストロムスタンゲン・エイ・エスの取締役会会長であり、同社の経営者である。同氏は創設者の一人であり、20年にわたって欧州の株式投資会社であるIKインベストメント・パートナーズのパートナーであった。ワール氏はまた、ロンドン及びニューヨークにおいて、米国の投資銀行であるゴールドマン・サックスでの経験も有している。

ワール氏は、異なる支店においていくつかの取締役会の構成員であった。同氏は、2008年に設立された基金であるヴォクストラの取締役会会長である。ヴォクストラは、東アフリカにおいて地域への投資を行い、地域開発を支援している。同氏はまた、UPMキミン・コーポレーション、インターメディエイト・キャピタル・グループ・ピーエルシー及びカヴリフォンデットの取締役でもある。ワール氏は、ハーバード大学でMBAを取得している。

リリアン・クリスチャン・ハットレム女史(1972年生まれ)は、BIの経済学、会計学及びプロジェクト・マネジメントの学位を取得している。同女史は、1999年にスパーレバンケンNORのリテール・マーケット部門に顧客担当として入社し、2003年以降は常勤の管財人を務めている。2006年以降、同女史はDNBの組合代表を務めている。

グループ経営陣

最近の変更

2016年1月1日から、ノルウェーにおいて金融機関に関する新規制であり、とりわけ統治機関の変更を示唆する金融機関・金融グループ法が施行された。かかる規制に基づき、監督委員会及び管理委員会は廃止された。管理委員会の任務は内部監査機関及びその他の統治機関に移管された。監督委員会に替わる機関として、新規制ではコーポレート集会を設置する可能性が提供されている。コーポレート集会の設置の要否は、経営陣と従業員がともに決定する。DNBは、コーポレート集会を設置しないことを決定した。

新規制では、取締役会及びその構成員数に関する変更も示唆されている。法律の改正を受けて、DNB エイ・エス・エイの取締役会は、当行の取締役の人数を4名(そのうち1名は従業員代表)に削減することを決定した。さらに、DNB エイ・エス・エイの取締役会の構成員数は7名に削減され、そのうち5名は株主代表、2名は従業員代表である。

2015年12月31日まで、DNBグループ及び当行グループは、管理委員会及び監督委員会をいずれも設置していた。管理委員会の主な任務は、当行の活動がすべての適用ある法律、規制及び許認可並びに当行の定款及び当行の意思決定機関が採択した決議を確実に遵守するよう監視することであった。監督委員会の主な任務は、当行の取締役会及び最高経営責任者の管理を監督することであった。

責任及び組織

当行の経営管理チームは、13名で構成される。最高経営責任者は、取締役会の会議において選任され、当行の日々の経営について責任を負う。当行の経営に対する責任は、事業部門毎に割り当てられている。以下の表は、経営管理チームの各構成員について、氏名、現在の役職、任命年度及び職務上の住所を示している。

名前	役職	任命年度	当行グループにおける職務
ルネ・ビエルク	グループ最高経営責任者	2007年	グループ最高経営責任者
オッター・エルツァイド	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2003年	マーケティング部門部長
ハラルド・サーク ハンセン	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	大企業・国際部門部長
リフ・フィクスダール	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	IT・運用業務部門部長
ソルヴァイ・ヘレブスト	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2009年	人事部門部長
カリ・オールド・モーエン	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	グループ・プロジェクト部門部長
トマス・ミドテイド	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	コーポレート・コミュニケーション部門部長
シェルスティン・ブローテン	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2008年	グループ・ファイナンス部門部長
ベント・オラヴ・ルン	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	ウェルス・マネジメント部門部長
トロンド・ベンテスチェン	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	パーソナル・バンキング部部長
ベネディクト・シルブレッド・ファスマー	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2013年	コーポレート・バンキング部部長
テリエ・テュルネス	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2015年	リスク・マネジメント部門部長
ルネ・ガルボルグ	グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント	2016年	Vipps・決済部門部長

当行の経営管理チームの各構成員の職務上の住所は、ノルウェー王国 オスロ市 N-0191 ドロニング・ユーフエミアス・ゲート30、DNBエイ・エス・エイである。

グループ経営陣には、固定の任期はない。

当行の経営陣の略歴

以下は、関連する経営陣としての専門知識及び経験並びに過去5年間において当行の経営陣が運営、経営若しくは監督の機関若しくはパートナーの構成員であるか又は構成員であった企業及びパートナーシップの名称を含む、当行の経営陣の略歴である(当行の子会社における取締役及び経営陣の役職は含まない。)。

ルネ・ビェルク グループ最高経営責任者(1960年生まれ)

ビェルク氏は、2007年からグループ最高経営責任者を務めている。

ビェルク氏は、ハフスルンド・エイ・エス・エイの元社長兼最高経営責任者であり、またスキャンセム・インターナショナルの社長兼最高経営責任者を務めていた。同氏は、大企業において取締役職を歴任した。同氏は、オスロ市議会の財務理事及びノルウェーの石油エネルギー省の政務アドバイザーを務めた。

ビェルク氏は、オスロ大学から経済学学位及びハーバード大学から行政学修士号を取得している。

ハラルド・サーク-ハンセン グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント 大企業・国際部門(1965年生まれ)

サーク-ハンセン氏は、2013年から大企業・国際部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

サーク-ハンセン氏は、海運・オフショア・物流部門(以下「SOL部門」という。)の元部長であり、1998年にDNBに入社した。同氏は、これまでストルト-ニールセン・海運及びオドフェル・グループにおける経験を有している。

サーク-ハンセン氏は、スターリング大学から経営学の学位(優等学位)を取得し、またINSEADフロンティアプログラムの上級経営プログラムを修了している。

オッター・エルツァイド グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント DNBマーケッツ部門(1965年生まれ)

エルツァイド氏は、2003年からマーケッツ部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

エルツァイド氏は、DNBマーケッツ部門の元部長及び元副部長であった。同氏は、為替/財務の分野で様々な役職を歴任していた。同氏は、DnBボーリ・クレジットの元最高財務責任者であり、リアル・クレジットの財務部長を務めた。1989年にDNBに入社した。

エルツァイド氏は、ノルウェー銀行保証基金の議長、ノルウェー投資家補償制度の副議長、オスロ証券取引所グループ及びオスロ証券取引所の取締役等を務めている。

エルツァイド氏は、BI ノルウェー・ビジネス・スクールを卒業している。

ソルヴァイ・ヘレブスト グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント 人事部門(1967年生まれ)

ヘレブスト女史は、2009年から人事部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ヘレブスト女史は、プロノバ・バイオフィーマ・エイ・エス・エイの人事・広報部門の元ヴァイス・プレジデントであった。同女史は、テレノールの人事部門及びBI ノルウェー・ビジネス・スクールで経済学准教授として数年間の経験を有する。

ヘレブスト女史は、ノルウェー生命科学大学から国際経済学博士号を、イリノイ大学から農業経済学修士号(マスター・オブ・サイエンス)を、BI ノルウェー・ビジネス・スクールから経営学及び経済学の修士号(マスター・オブ・サイエンス)を取得している。

シェルスティン・ブローテン グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント グループ・ファイナンス部門

(1970年生まれ)

ブローテン女史は、2017年3月から最高財務責任者を務めている。

ブローテン女史は、コーポレート・バンキング・ノルウェー部の元グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントであった。同女史は、オスロのSOL部門において長年の経験を有している。1999年にDNBに入社した。同女史は、これまでハイドロ・アグリ・インターナショナルにおける職務経験を有している。

ブローテン女史は、ニース・ソフィア・アンティボリス高等商業学校から経営学の修士号を取得している。

リフ・フィクスダール グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント IT・運用業務部門(1965年生まれ)

フィクスダール女史は、2013年からIT・運用業務部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

フィクスダール女史は、2007年から運用業務部門の部長を務め、運用業務及び総務において様々な重役の地位を歴任した。同女史は、コーポレート・バンキング及び決済サービス部門の部長を務めていた。ヤンシディエNORスパーレバンクにおいて顧客を対象とする役職を務め、1998年にDNBに入社した。同女史は、これまでハンデルスバンケン及びフォクス・バンクにおいて顧客を対象とする役職を歴任している。

フィクスダール女史は、トロンハイム・ビジネス・スクールで学んだ。

トロンド・ベンテスチェン グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント パーソナル・バンキング部

(1970年生まれ)

ベンテスチェン氏は、2013年からパーソナル・バンキング部のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ベンテスチェン氏は、マーケティング・広報及びeビジネス部門の元部長であった。2008年にDNBに入社した。同氏は、これまでエキスパート及びテレノールでの職務経験を有している。

ベンテスチェン氏は、カリフォルニア州のテンプル大学からジャーナリズム及び政治学の文学士号を取得し、国防軍の訓練を受けている。

カリ・オールド・モーエン グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント グループ・プロジェクト部門

(1969年生まれ)

オールド・モーエン女史は、2016年9月からグループ・プロジェクト部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

オールド・モーエン女史は、プロダクト部門及びコーポレート・センターの元部長であった。同女史は、2005年にDNBに入社した。財務省の元副大臣であり、マッキンゼー・アンド・カンパニーにおいてコンサルタントとして、また保守党会派のアドバイザー及び財務省予算局のコンサルタントとして勤務していた。

オールド・モーエン女史は、ノルウェー経済大学を卒業し、カリフォルニア大学バークレー校から経営学修士号を取得している。

トマス・ミドテイド グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント コーポレート・コミュニケーション部門(1974年生まれ)

ミドテイド氏は、2013年からコーポレート・コミュニケーション部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ミドテイド氏は、外部コミュニケーション部門の元エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントであった。2009年にDNBに入社した。同氏は、これまでスカンジナビア航空のコミュニケーション部門の部長、VISAノルウェーのコミュニケーション責任者、またノルウェー放送協会(NRK)のテレビ・レポーター兼プレゼンターとして勤務していた。

ミドテイド氏は、オスロ・ユニバーシティ・カレッジでジャーナリストの学位を取得している。また、オスロ大学で政治学及び犯罪学を副専攻していた。

テリエ・テュルネス グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント 最高リスク管理責任者(1963年生まれ)

テュルネス氏は、2015年から最高リスク責任者を務めている。

テュルネス氏は、DNBのバルト諸国事業の元部長及びDNBロンドン支店の元責任者であり、それ以前はコーポレート・バンキング部の製造業セクション及びエネルギー・セクションの双方を率いていた。1989年にDNBに入社した。同氏は、これまでスウェディッシュ・マッチ及びSTORAで事業管理者としての経験を有している。

テュルネス氏は、トロンドハイム・ビジネス・スクール及びノルウェー経営大学で学んだ。

ベネディクト・シルブレッド・ファスマー グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント コーポレート・バンキング部(1965年生まれ)

ファスマー女史は、2016年9月からコーポレート・バンキング部のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ファスマー女史は、ベルゲンにおけるDNBの事業の元責任者であり、ノルウェー西部におけるコーポレート・バンキング部の元部長である。2005年にDNBに入社した。同女史は、これまでスパーレバンケン・ヴェスト、リエベール・アンド・サン、アルゲンタム・アセット・マネジメント及びシティバンクにおいて重役の地位を歴任している。オスロ証券取引所グループ及びオスロ証券取引所の取締役会会長を務めている。同女史は、長年にわたり様々な業界で取締役の地位を歴任している。

ファスマー女史は、ノルウェー経済大学を卒業した。

ルネ・ガルボルグ グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント Vipps・決済部門(1969年生まれ)

ガルボルグ氏は、2016年9月からVipps・決済部門のグループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントを務めている。

ガルボルグ氏は、DNBのマーケティング及びカテゴリー管理の元責任者であり、DNBアイェンダムのマーケティング部門部長を務めていた。同氏は、DNBのデジタル決済ソリューションであるVippsの責任者である。1995年にDNBに入社した。

ガルボルグ氏は、ノルウェー・マーケティング・カレッジを卒業した。

**ベント・オラヴ・ルン グループ・エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント ウェルス・マネジメント部門
(1965年生まれ)**

ルン氏は、2011年からウェルス・マネジメント部門の年金の元責任者であった。同氏は、これまでマーサー及びストアブランドにおいて重役の地位を歴任し、起業家としての経験も有する。

ルン氏は、BIノルウェー・ビジネス・スクールからビジネス及びマーケティングの修士号を取得している。

当行グループのいずれの会社も、取締役会又は当行グループの従業員にとって通常の条件ではない当行の経営陣のいかなる構成員に対しても貸付又は有価証券の発行を行っていない。

当行グループは、上記「取締役会」、「当行の経営陣」の項目に挙げた各関係者の当行グループに対する義務と、それぞれの私益やその他の義務との間のいかなる利益相反の可能性も認識していない。

5【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

コーポレート・ガバナンス

2016年度中、当行の取締役会は数回開催された。当行グループの資本増強及び金融サービス業界における外部パラメータの変動に関する議題に加え、当行グループの戦略、金融発展及びリスク管理に関する議題が主要議題であった。

DNBエイ・エス・エイの取締役会の分科委員会である監査委員会及びリスク管理委員会は、当行及び当行グループの年次決算及び報告書を審査した。

取締役に対する報酬に関する詳細は、下記「第6 - 1 - (1) 2016年12月31日に終了した事業年度の財務書類 - 注47」を参照のこと。

取締役会委員会

DNBエイ・エス・エイの取締役会は、監査委員会、リスク管理委員会及び報酬委員会を設置した。当行グループの事業は、これらの委員会により管轄される。

監査委員会

監査委員会は、とりわけ当行の財務報告プロセスの監視、当行の取締役会、最高経営責任者及び当行の経営陣により設立された内部統制体制及びリスク管理体制の有効性の監視、並びに当行の内部監査機能の効率性の監視により、当行の取締役会の監督責任の遂行を補佐する。さらに、監査委員会は、年次連結財務書類の法定監査の把握、外部監査役の公平性及び独立性の審査及び監視、並びにとりわけ追加的業務の提供について責任を有する。また、監査委員会は、当行の内部監査機能に関する指導及び評価についても責任を有する。現在の監査委員会の委員は、トーレ・オラフ・リメレイド、ベーリット・スヴェンセン及びヤーン・イーヴァル・セムリッチである。最高経営責任者及び監査執行役員は会合に出席し、議論に参加する権利を有するが、議決権は有しない。監査委員会の委員は、当行、当行の上級経営陣及び当行の主要株主から独立している。

リスク管理委員会

リスク管理委員会は、当行の内部統制体制及びリスク管理体制並びに内部監査を監視し、これらが有効に機能していることを確認する。さらに、同委員会は、当行の現在及び将来のリスク選好度及びリスク戦略を含む、当行のリスク・プロファイルに関して取締役会に助言を行う。取締役会への助言には、資本管理及び流動性管理、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク並びにコンプライアンス及びレピュテーションに関するリスク、並びに当行におけるその他のリスクに関する戦略が含まれる場合がある。同委員会は、取締役会による、当行のリスクの監視及び管理(経営陣によるリスク報告の審査及び評価を含む。)を補佐する。同委員会は、特に、自己資本構成(ICAAP)、リスク調整後(所要)自己資本及びリスク調整後利益の算定モデルの大幅な変更、並びにリスク限度枠及びリスク戦略の監視に重点を置いている。同委員会は、取締役会により選任された4名の委員から成り、その任期は最長で2年である。現在のリスク管理委員会の委員は、トーレ・オラフ・リメレイド、ベーリット・スヴェンセン及びヤーン・イーヴァル・セムリッチである。

報酬委員会

報酬委員会は、報酬に関する問題について取締役会に対する提案の作成及び提示に責任を負う。かかる提案を作成する際、報酬委員会は、当グループの株主、投資家及びその他の利害関係者の長期的な利益を考慮する。報酬委員会の職務には、当行の報酬方針並びに年次株主総会で決定される執行役員の報酬の基本的な指示及び指針に関する提案の作成が含まれる。さらに、報酬委員会は最高経営責任者、当行のその他の経営陣及び監査執行役員の報酬に関する提案を作成し、また最高経営責任者による提案に基づき、グループ・コンプライアンス・オフィサー及びグループ与信管理部門部長の報酬に関する提案を作成する。報酬委員会は、当行の報酬方針及び基本的な指示の適用について、グループ内部監査役による独立した審査並びに適切なグループ管理機能が参加する当行の報酬方針及び報酬制度の評価を通じて、少なくとも年1回追跡調査を行う。報酬委員会はまた、当行の経営陣の変動報酬プログラムについて及び執行役員の報酬に関する指針の適用について、毎年監視し、評価しかつ取締役会に報告する義務も負う。取締役会の要請により、報酬委員会はまた、取締役会が検討するためのその他の議題についても準備する。現在の報酬委員会の委員は、アンネ・カリーネ・タヌム、トーレ・オラフ・リメレイド、ビグジス・マーティンセン及びベーリット・スヴェンセンである。最高経営責任者は会合に出席するが、議決権は有しない。さらに、最高経営責任者は、自身の雇用条件の検討には参加しない。報酬委員会の委員は、当行及び当行の上級経営陣から独立している。すべての委員は、当行の主要株主から独立している。

(2) 【監査報酬の内容等】

下記「第6 - 1 - (1) 2016年12月31日に終了した事業年度の財務書類 - 注47」を参照のこと。

第6【経理の状況】

- a. 本書記載の当行グループ及び当行の邦文の財務書類(以下「邦文の財務書類」という。)は、本書記載の2016年12月31日に終了した事業年度の原文の財務書類(英語)を翻訳したものである。本書記載の原文の財務書類は、当行グループの監査済連結財務書類及び当行の監査済個別財務書類で構成されている。当行グループの連結財務書類は、EUにより採用された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)に準拠して作成されている。当行の個別財務書類は、ノルウェー財務省の年次計算書類に関する規則の、IFRSの使用に関する第1条の6の規定(以下「ノルウェーIFRS規則」という。)に準拠して作成されている。また、DNBグループ及び当行の財務書類の日本における開示については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第131条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、ノルウェーIFRS規則と日本の相違点については、下記「第6-4 ノルウェーと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

- b. 当行グループと当行の原文の財務書類は、ノルウェーにおける独立監査人であるアーンスト・アンド・ヤング・エイ・エス(Ernst & Young AS)の監査を受けており、独立監査人の2017年3月8日付の監査報告書の原文及び日本語訳は本書に掲載されている。

なお、原文の財務書類は、上記のとおりアーンスト・アンド・ヤング・エイ・エスの監査を受けており、これによって「財務諸表等の監査証明に関する内閣府令」(昭和32年大蔵省令第12号)第1条の2の規定に基づく監査証明に相当する証明を受けたとみなされるため、金融商品取引法第193条の2第1項第1号の規定に基づく日本の公認会計士又は監査法人による監査は受けていない。

- c. 日本円への換算及び「第6-2 主な資産・負債及び収支の内容」から「第6-4 ノルウェーと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違」までの事項は原文の財務書類には記載されておらず、当該事項における原文の財務書類への参照事項を除き、上記b.の監査の対象になっていない。

- d. 邦文の財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2017年6月1日(日本時間)現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1ノルウェー・クローネ＝13.15円のノルウェー・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているノルウェー・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、ノルウェー・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

1【財務書類】

(1)【年次財務書類】

2016年12月31日に終了した事業年度の財務書類

損益計算書

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年度	2016年度	(単位 : 百万ノルウェー・クローネ)	注	2016年度	2015年度
38,287	35,163	受取利息合計	17	52,887	57,793
(14,072)	(11,555)	支払利息合計	17	(18,369)	(22,258)
24,215	23,608	純利息収入	17	34,517	35,535
6,220	6,739	受取手数料等	19	8,628	8,694
(2,676)	(2,924)	支払手数料等	19	(2,994)	(2,737)
3,964	8,834	公正価値で測定される金融商品に係る純利得	20	6,506	8,704
		持分法による投資からの利益	35	1,189	(72)
		投資不動産に係る純利得		(35)	269
9,786	5,837	その他の収益		2,023	2,051
17,294	18,486	その他の営業収益純額		15,316	16,909
41,509	42,094	収益合計		49,833	52,444
(7,245)	(9,248)	給与その他の人件費	21	(11,206)	(9,140)
(6,591)	(6,118)	その他の費用	22	(7,207)	(7,892)
(2,035)	(2,050)	固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損	23	(2,103)	(2,159)
(15,871)	(17,417)	営業費用合計		(20,516)	(19,191)
25,638	24,677	減損前の税引前営業利益		29,317	33,253
91	14	固定資産及び無形資産に係る純利得		(19)	45
(1,638)	(4,679)	貸出金及び保証に係る減損	9, 10	(7,424)	(2,270)
24,090	20,012	税引前営業利益		21,874	31,028
(3,452)	(5,223)	法人所得税費用	25	(3,964)	(7,755)
		売却目的保有の事業による利益 (税引後)		4	(51)
20,638	14,789	当期利益		17,914	23,222
20,264	14,193	株主帰属分		17,319	22,848
374	595	その他Tier1資本の所有者帰属分		595	374
20,638	14,789	当期利益		17,914	23,222
112.69	80.75	1株当たり利益/希薄化後利益 (ノルウェー・クローネ)		97.81	126.79
		売却目的保有の事業に対する1株当たり利益 (ノルウェー・クローネ)		0.02	(0.28)
112.69	80.75	売却目的保有の事業を除いた1株当たり利益 (ノルウェー・クローネ)		97.79	127.07

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年度	2016年度	(単位：百万円)	注	2016年度	2015年度
503,474	462,393	受取利息合計	17	695,464	759,978
(185,047)	(151,948)	支払利息合計	17	(241,552)	(292,693)
318,427	310,445	純利息収入	17	453,899	467,285
81,793	88,618	受取手数料等	19	113,458	114,326
(35,189)	(38,451)	支払手数料等	19	(39,371)	(35,992)
52,127	116,167	公正価値で測定される金融商品に係る純利得	20	85,554	114,458
		持分法による投資からの利益	35	15,635	(947)
		投資不動産に係る純利得		(460)	3,537
128,686	76,757	その他の収益		26,602	26,971
227,416	243,091	その他の営業収益純額		201,405	222,353
545,843	553,536	収益合計		655,304	689,639
(95,272)	(121,611)	給与その他の人件費	21	(147,359)	(120,191)
(86,672)	(80,452)	その他の費用	22	(94,772)	(103,780)
(26,760)	(26,958)	固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損	23	(27,654)	(28,391)
(208,704)	(229,034)	営業費用合計		(269,785)	(252,362)
337,140	324,503	減損前の税引前営業利益		385,519	437,277
1,197	184	固定資産及び無形資産に係る純利得		(250)	592
(21,540)	(61,529)	貸出金及び保証に係る減損	9, 10	(97,626)	(29,851)
316,784	263,158	税引前営業利益		287,643	408,018
(45,394)	(68,682)	法人所得税費用	25	(52,127)	(101,978)
		売却目的保有の事業による利益（税引後）		53	(671)
271,390	194,475	当期利益		235,569	305,369
266,472	186,638	株主帰属分		227,745	300,451
4,918	7,824	その他Tier1資本の所有者帰属分		7,824	4,918
271,390	194,475	当期利益		235,569	305,369
1,481.87	1,061.86	1株当たり利益/希薄化後利益（円）		1,286.20	1,667.29
		売却目的保有の事業に対する1株当たり利益（円）		0.26	(3.68)
1,481.87	1,061.86	売却目的保有の事業を除いた1株当たり利益（円）		1,285.94	1,670.97

包括利益計算書

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年度	2016年度	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
20,638	14,789	当期利益	17,914	23,222
615	(166)	数理計算上の差異	(179)	592
615	(166)	純損益に組替調整されない項目	(179)	592
238	(135)	在外営業活動体の活動から生ずる換算差額 ¹⁾	(6,478)	9,618
		純損益に組替調整された外貨換算準備金	(43)	
		純投資ヘッジ ²⁾	4,346	(6,203)
		持分法による投資 ³⁾	(25)	889
		純損益に組替調整された持分法による投資 ³⁾	(855)	
238	(135)	後に純損益に組替調整される可能性がある項目	(3,055)	4,304
853	(301)	当期その他の包括利益(税引後)	(3,233)	4,896
21,492	14,487	当期包括利益	14,680	28,118

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年度	2016年度	(単位: 百万円)	2016年度	2015年度
271,390	194,475	当期利益	235,569	305,369
8,087	(2,183)	数理計算上の差異	(2,354)	7,785
8,087	(2,183)	純損益に組替調整されない項目	(2,354)	7,785
3,130	(1,775)	在外営業活動体の活動から生ずる換算差額 ¹⁾	(85,186)	126,477
		純損益に組替調整された外貨換算準備金	(565)	
		純投資ヘッジ ²⁾	57,150	(81,569)
		持分法による投資 ³⁾	(329)	11,690
		純損益に組替調整された持分法による投資 ³⁾	(11,243)	
3,130	(1,775)	後に純損益に組替調整される可能性がある項目	(40,173)	56,598
11,217	(3,958)	当期その他の包括利益(税引後)	(42,514)	64,382
282,620	190,504	当期包括利益	193,042	369,752

- 1) 2016年度のバルト諸国に関連する外貨換算による影響額は、449百万ノルウェー・クローネの損失となった。
- 2) 2016年度のバルト諸国に係る純投資ヘッジは、税引後で275百万ノルウェー・クローネであった。
- 3) DNBは、Visa Norgeへの加盟を通じて Visa Europe の間接的な所有持分を有していた。2016年3月31日現在のVisa Europeの持分の評価に関連し、855百万ノルウェー・クローネの累積利得がその他の包括利益に認識されていた。2016年度第2四半期に行われたVisa Inc によるVisa Europe の買収完了を受けて、この金額は利益に組替調整され、利得合計額である1,128百万ノルウェー・クローネは、損益計算書上の「持分法による投資からの利益」に認識された。

貸借対照表

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年 12月31日 現在	2016年 12月31日 現在	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	注	2016年 12月31日 現在	2015年 12月31日 現在
資産					
16,004	207,934	現金及び中央銀行預け金	26, 27, 28	208,263	19,317
630,700	549,093	金融機関向貸出金及び預け金	6, 7, 26, 27, 28	174,908	297,457
705,532	690,060	顧客向貸出金	6, 7, 26, 27, 28	1,492,268	1,531,932
210,062	223,360	公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	26, 28, 30	217,887	207,063
7,504	5,178	株式	26, 28, 30, 31	6,200	8,794
213,797	170,317	デリバティブ	15, 26, 28	157,957	203,273
19,162	12,760	満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券	26, 27, 33	12,760	19,162
		投資不動産	34	1,175	2,333
975	995	持分法による投資	35	3,570	4,091
120,473	118,233	子会社への投資	36	0	0
3,675	3,598	無形資産	37	3,981	4,176
6,320	1,882	繰延税金資産	25	1,392	1,138
7,480	7,034	固定資産	38	7,117	8,059
		売却目的保有の資産	39	52,541	200
23,735	13,462	その他資産	40	8,255	8,608
1,965,419	2,003,906	資産合計		2,348,272	2,315,603
負債及び資本					
262,330	338,731	金融機関からの借入金及び預金	26, 27, 28	211,606	161,267
896,488	920,664	顧客預金	26, 27, 28, 42	945,694	957,322
240,518	181,794	デリバティブ	15, 26, 28	130,990	154,878
340,099	336,941	発行済負債証券	26, 27, 28, 43	767,750	806,810
703	4	未払法人税	25	8,847	2,493
12	56	繰延税金	25	2,382	6,461
39,438	23,893	その他負債	26, 45	15,781	18,409
		売却目的保有の負債	39	41,243	71
1,101	1,916	引当金		2,038	1,225
2,246	2,454	年金債務	24	2,516	2,301
30,953	29,347	劣後債	26, 27, 28, 44	29,347	30,953
1,813,886	1,835,802	負債合計		2,158,194	2,142,191
18,314	18,314	株主資本		18,314	18,314
19,895	19,895	資本剰余金		20,611	20,611
8,353	15,952	その他Tier 1 資本		15,952	8,353
104,970	113,942	その他の資本		135,200	126,133
151,533	168,104	資本合計	46	190,078	173,412
1,965,419	2,003,906	負債及び資本合計		2,348,272	2,315,603

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年 12月31日 現在	2016年 12月31日 現在	(単位: 百万円)	注	2016年 12月31日 現在	2015年 12月31日 現在
資産					
210,453	2,734,332	現金及び中央銀行預け金	26, 27, 28	2,738,658	254,019
8,293,705	7,220,573	金融機関向貸出金及び預け金	6, 7, 26, 27, 28	2,300,040	3,911,560
9,277,746	9,074,289	顧客向貸出金	6, 7, 26, 27, 28	19,623,324	20,144,906
2,762,315	2,937,184	公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	26, 28, 30	2,865,214	2,722,878
98,678	68,091	株式	26, 28, 30, 31	81,530	115,641
2,811,431	2,239,669	デリバティブ	15, 26, 28	2,077,135	2,673,040
251,980	167,794	満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券	26, 27, 33	167,794	251,980
		投資不動産	34	15,451	30,679
12,821	13,084	持分法による投資	35	46,946	53,797
1,584,220	1,554,764	子会社への投資	36	0	0
48,326	47,314	無形資産	37	52,350	54,914
83,108	24,748	繰延税金資産	25	18,305	14,965
98,362	92,497	固定資産	38	93,589	105,976
		売却目的保有の資産	39	690,914	2,630
312,115	177,025	その他資産	40	108,553	113,195
25,845,260	26,351,364	資産合計		30,879,777	30,450,179
負債及び資本					
3,449,640	4,454,313	金融機関からの借入金及び預金	26, 27, 28	2,782,619	2,120,661
11,788,817	12,106,732	顧客預金	26, 27, 28, 42	12,435,876	12,588,784
3,162,812	2,390,591	デリバティブ	15, 26, 28	1,722,519	2,036,646
4,472,302	4,430,774	発行済負債証券	26, 27, 28, 43	10,095,913	10,609,552
9,244	53	未払法人税	25	116,338	32,783
158	736	繰延税金	25	31,323	84,962
518,610	314,193	その他負債	26, 45	207,520	242,078
		売却目的保有の負債	39	542,345	934
14,478	25,195	引当金		26,800	16,109
29,535	32,270	年金債務	24	33,085	30,258
407,032	385,913	劣後債	26, 27, 28, 44	385,913	407,032
23,852,601	24,140,796	負債合計		28,380,251	28,169,812
240,829	240,829	株主資本		240,829	240,829
261,619	261,619	資本剰余金		271,035	271,035
109,842	209,769	その他Tier 1 資本		209,769	109,842
1,380,356	1,498,337	その他の資本		1,777,880	1,658,649
1,992,659	2,210,568	資本合計	46	2,499,526	2,280,368
25,845,260	26,351,364	負債及び資本合計		30,879,777	30,450,179

持分変動計算書

D N B バンク エイ・エス・エイ

(単位:百万ノルウェー・クローネ)	株主 資本	資本 剰余金	その他 Tier 1 資本	数理計算上 の差異	外貨換算 準備金	その他の 資本	資本 合計
2014年12月31日現在の残高	18,314	19,895		(2,741)	414	91,838	127,720
当期利益			374			20,264	20,638
その他の包括利益(税引後)				615	238		853
当期包括利益			374	615	238	20,264	21,492
廃止された確定給付年金				1,667		(1,667)	
その他Tier 1 資本の発行			8,053			(31)	8,023
その他Tier 1 資本に係る利払			(75)				(75)
貸出ポートフォリオの子会社への 譲渡(継続)						(627)	(627)
DNBエイ・エス・エイに対する 2015年度のグループ配当						(5,000)	(5,000)
2015年12月31日現在の残高	18,314	19,895	8,353	(459)	652	104,777	151,533
当期利益			595			14,193	14,789
その他の包括利益(税引後)				(166)	(135)		(301)
当期包括利益			595	(166)	(135)	14,193	14,487
その他Tier 1 資本の発行			7,520			(43)	7,477
その他Tier 1 資本に係る利払			(505)				(505)
収益に計上された外貨換算準備金			(11)			11	
廃止された確定給付年金				6		(6)	
貸出ポートフォリオの子会社への 譲渡(継続)						195	195
DNBエイ・エス・エイに対する 2016年度のグループ配当						(9,284)	(9,284)
DNBエイ・エス・エイからの 2016年度のグループ配当						4,200	4,200
2016年12月31日現在の残高	18,314	19,895	15,952	(619)	517	114,045	168,104

D N B バンク グループ

(単位:百万ノルウェー・クローネ)	株主 資本	資本 剰余金	その他 Tier 1 資本	数理計算上 の差異	外貨換算 準備金 ¹⁾	純投資 ヘッジ 準備金 ¹⁾	その他の 資本	資本 合計 ¹⁾
2014年12月31日現在の残高	18,314	20,611		(2,834)	8,637	(5,645)	102,226	141,309
当期利益			374				22,848	23,222
その他の包括利益(税引後)				592	9,618	(6,203)	889	4,896
当期包括利益			374	592	9,618	(6,203)	23,736	28,118
廃止された確定給付年金				1,763			(1,763)	
収益に計上された外貨換算準備金					34		4	38
その他Tier 1 資本の発行			8,053				(31)	8,023
その他Tier 1 資本に係る利払			(75)					(75)
DNBエイ・エス・エイに対する 2014年度のグループ配当							(4,001)	(4,001)
2015年12月31日現在の残高	18,314	20,611	8,353	(479)	18,289	(11,848)	120,171	173,412
当期利益			595				17,319	17,914
その他の包括利益(税引後)				(179)	(6,521)	4,346	(880)	(3,233)
当期包括利益			595	(179)	(6,521)	4,346	16,438	14,680
その他Tier 1 資本の発行			7,520				(43)	7,477
その他Tier 1 資本に係る利払			(505)					(505)
収益に計上された外貨換算準備金			(11)				11	
廃止された確定給付年金				16			(16)	
資本に組替調整された ルクセンブルグのAGDL引当金							13	13
DNBエイ・エス・エイに対する 2015年度のグループ配当							(5,000)	(5,000)
2016年12月31日現在の残高	18,314	20,611	15,952	(641)	11,768	(7,502)	131,575	190,078

1) うち、バルト諸国に関連するOCI

2015年12月31日現在の残高	1,465	(987)	478
その他の包括利益	(449)	275	(174)
2016年12月31日現在の残高	1,015	(712)	304

バルト諸国に関連する外貨換算準備金及び純投資ヘッジ準備金は、2016年12月31日現在で304百万ノルウェー・クローネであり、そのうち280百万ノルウェー・クローネがヘッジ手段に係る累積税額であった。

D N B バンク エイ・エス・エイ

(単位: 百万円)	株主 資本	資本 剰余金	その他 Tier 1 資本	数理計算上 の差異	外貨換算 準備金	その他の 資本	資本 合計
2014年12月31日現在の残高	240,829	261,619		(36,044)	5,444	1,207,670	1,679,518
当期利益			4,918			266,472	271,390
その他の包括利益(税引後)				8,087	3,130		11,217
当期包括利益			4,918	8,087	3,130	266,472	282,620
廃止された確定給付年金				21,921		(21,921)	
その他Tier 1 資本の発行			105,897			(408)	105,502
その他Tier 1 資本に係る利払			(986)				(986)
貸出ポートフォリオの子会社への 譲渡(継続)						(8,245)	(8,245)
DNBエイ・エス・エイに対する 2015年度のグループ配当						(65,750)	(65,750)
2015年12月31日現在の残高	240,829	261,619	109,842	(6,036)	8,574	1,377,818	1,992,659
当期利益			7,824			186,638	194,475
その他の包括利益(税引後)				(2,183)	(1,775)		(3,958)
当期包括利益			7,824	(2,183)	(1,775)	186,638	190,504
その他Tier 1 資本の発行			98,888			(565)	98,323
その他Tier 1 資本に係る利払			(6,641)				(6,641)
収益に計上された外貨換算準備金			(145)			145	
廃止された確定給付年金				79		(79)	
貸出ポートフォリオの子会社への 譲渡(継続)						2,564	2,564
DNBエイ・エス・エイに対する 2016年度のグループ配当						(122,085)	(122,085)
DNBエイ・エス・エイからの 2016年度のグループ配当						55,230	55,230
2016年12月31日現在の残高	240,829	261,619	209,769	(8,140)	6,799	1,499,692	2,210,568

D N B バンク グループ

(単位: 百万円)	株主 資本	資本 剰余金	その他 Tier 1 資本	数理計算上 の差異	外貨換算 準備金 ¹⁾	純投資 ヘッジ 準備金 ¹⁾	その他の 資本	資本 合計 ¹⁾
2014年12月31日現在の残高	240,829	271,035		(37,267)	113,577	(74,232)	1,344,272	1,858,213
当期利益			4,918				300,451	305,369
その他の包括利益(税引後)				7,785	126,477	(81,569)	11,690	64,382
当期包括利益			4,918	7,785	126,477	(81,569)	312,128	369,752
廃止された確定給付年金 ¹⁾				23,183			(23,183)	
収益に計上された外貨換算準備金					447		53	500
その他Tier 1 資本の発行			105,897				(408)	105,502
その他Tier 1 資本に係る利払			(986)					(986)
DNBエイ・エス・エイに対する 2014年度のグループ配当							(52,613)	(52,613)
2015年12月31日現在の残高	240,829	271,035	109,842	(6,299)	240,500	(155,801)	1,580,249	2,280,368
当期利益			7,824				227,745	235,569
その他の包括利益(税引後)				(2,354)	(85,751)	57,150	(11,572)	(42,514)
当期包括利益			7,824	(2,354)	(85,751)	57,150	216,160	193,042
その他Tier 1 資本の発行			98,888				(565)	98,323
その他Tier 1 資本に係る利払			(6,641)					(6,641)
収益に計上された外貨換算準備金			(145)				145	
廃止された確定給付年金				210			(210)	
資本に組替調整された ルクセンブルグのAGDL引当金							171	171
DNBエイ・エス・エイに対する 2016年度のグループ配当							(65,750)	(65,750)
2016年12月31日現在の残高	240,829	271,035	209,769	(8,429)	154,749	(98,651)	1,730,211	2,499,526

1) うち、バルト諸国に関連するOCI

2015年12月31日現在の残高	19,265	(12,979)	6,286
その他の包括利益	(5,904)	3,616	(2,288)
2016年12月31日現在の残高	13,347	(9,363)	3,998

バルト諸国に関連する外貨換算準備金及び純投資ヘッジ準備金は、2016年12月31日現在で304
 百万ノルウェー・クローネであり、そのうち280百万ノルウェー・クローネがヘッジ手段に係
 る累積税額であった。

キャッシュ・フロー計算書

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年度	2016年度	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
営業活動				
50,461	(1,193)	顧客向貸出金に係る純受取/支払額	(35,187)	(32,213)
30,885	26,974	顧客からの利息の受取額	47,420	51,863
(44,221)	37,498	顧客預金の純受取/支払額	40,724	(34,447)
(10,485)	(5,219)	顧客に対する利息の支払額	(3,711)	(7,475)
(20,697)	144,571	金融機関向貸出金に係る純受取/支払額	163,235	3,917
3,870	3,774	金融機関からの利息の受取額	1,261	1,617
(1,558)	(1,975)	金融機関に対する利息の支払額	(1,661)	(1,355)
16,386	(8,655)	投資又はトレーディング目的で保有する金融資産の売却代金の純受取/支払額	4,076	(16,600)
5,080	4,327	債券及びコマーシャル・ペーパーに関する利息の受取額	4,271	4,592
3,553	3,998	手数料の純受取額	5,757	5,965
(16,346)	(15,995)	営業関連の支払額	(19,014)	(19,210)
(800)	(1,268)	税金の支払額	(1,455)	(2,473)
9,595	8,563	その他の受取額	8,327	5,433
25,723	195,401	営業活動によるキャッシュ・フロー	214,042	(40,387)
投資活動				
(1,866)	(1,627)	固定資産の取得に係る純支払額	(1,529)	(1,853)
		投資不動産に係る純受取/支払額	(605)	2,833
223	861	長期投資株式の売却に係る受取額	861	76
(33,124)	(3,700)	長期投資株式の取得に係る支払額		
104	57	長期投資株式に係る配当の受取額	66	6
(34,662)	(4,408)	投資活動によるキャッシュ・フロー	(1,206)	1,062
財務活動				
3,072,165	8,943,961	債券及びコマーシャル・ペーパーの発行による収入 (注44参照)	8,995,908	3,142,451
(3,110,990)	(8,935,044)	債券及びコマーシャル・ペーパーの償還支払による支出 (注44参照)	(9,000,786)	(3,145,857)
(5,097)	(6,238)	債券及びコマーシャル・ペーパーに係る利息の支払額	(16,016)	(15,129)
3,805	738	劣後債の発行による調達 (注45参照)	738	3,805
(4,604)	(3)	劣後債の償還額 (注45参照)	(3)	(4,604)
(1,027)	(920)	劣後債に係る利息の支払額	(923)	(1,029)
8,023	7,520	その他Tier 1 資本の発行による収入	7,520	8,023
(75)	(516)	その他Tier 1 資本に係る利息の支払額	(516)	(75)
(4,729)	(6,942)	配当金/グループ配当の支払/受取額	(6,849)	(4,001)
(42,529)	2,555	財務活動によるキャッシュ・フロー	(20,928)	(16,415)
13,547	(1,663)	現金及び現金同等物に係る為替変動の影響	(312)	14,622
(37,921)	191,884	ネット・キャッシュ・フロー	191,596	(41,118)
57,805	19,884	1月1日現在の現金残高	23,194	64,312
(37,921)	191,884	現金の純支払額	191,596	(41,118)
19,884	211,768	期末現金残高*)	214,790	23,194
*) うち、				
16,004	207,934	現金及び中央銀行預け金	211,908	19,317
3,880	3,835	金融機関預け金 (要求払い) 1)	2,881	3,876

1) 貸借対照表の「金融機関向貸出金及び預け金」に計上されている。

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年度	2016年度	(単位: 百万円)	2016年度	2015年度
営業活動				
663,562	(15,688)	顧客向貸出金に係る純受取/支払額	(462,709)	(423,601)
406,138	354,708	顧客からの利息の受取額	623,573	681,998
(581,506)	493,099	顧客預金の純受取/支払額	535,521	(452,978)
(137,878)	(68,630)	顧客に対する利息の支払額	(48,800)	(98,296)
(272,166)	1,901,109	金融機関向貸出金に係る純受取/支払額	2,146,540	51,509
50,891	49,628	金融機関からの利息の受取額	16,582	21,264
(20,488)	(25,971)	金融機関に対する利息の支払額	(21,842)	(17,818)
215,476	(113,813)	投資又はトレーディング目的で保有する金融資産の売却代金の純受取/支払額	53,599	(218,290)
66,802	56,900	債券及びコマーシャル・ペーパーに関する利息の受取額	56,164	60,385
46,722	52,574	手数料の純受取額	75,705	78,440
(214,950)	(210,334)	営業関連の支払額	(250,034)	(252,612)
(10,520)	(16,674)	税金の支払額	(19,133)	(32,520)
126,174	112,603	その他の受取額	109,500	71,444
338,257	2,569,523	営業活動によるキャッシュ・フロー	2,814,652	(531,089)
投資活動				
(24,538)	(21,395)	固定資産の取得に係る純支払額	(20,106)	(24,367)
		投資不動産に係る純受取/支払額	(7,956)	37,254
2,932	11,322	長期投資株式の売却に係る受取額	11,322	999
(435,581)	(48,655)	長期投資株式の取得に係る支払額		
1,368	750	長期投資株式に係る配当の受取額	868	79
(455,805)	(57,965)	投資活動によるキャッシュ・フロー	(15,859)	13,965
財務活動				
40,398,970	117,613,087	債券及びコマーシャル・ペーパーの発行による収入 (注44参照)	118,296,190	41,323,231
(40,909,519)	(117,495,829)	債券及びコマーシャル・ペーパーの償還支払による支出 (注44参照)	(118,360,336)	(41,368,020)
(67,026)	(82,030)	債券及びコマーシャル・ペーパーに係る利息の支払額	(210,610)	(198,946)
50,036	9,705	劣後債の発行による調達 (注45参照)	9,705	50,036
(60,543)	(39)	劣後債の償還額 (注45参照)	(39)	(60,543)
(13,505)	(12,098)	劣後債に係る利息の支払額	(12,137)	(13,531)
105,502	98,888	その他Tier 1 資本の発行による収入	98,888	105,502
(986)	(6,785)	その他Tier 1 資本に係る利息の支払額	(6,785)	(986)
(62,186)	(91,287)	配当金/グループ配当の支払/受取額	(90,064)	(52,613)
(559,256)	33,598	財務活動によるキャッシュ・フロー	(275,203)	(215,857)
178,143	(21,868)	現金及び現金同等物に係る為替変動の影響	(4,103)	192,279
(498,661)	2,523,275	ネット・キャッシュ・フロー	2,519,487	(540,702)
760,136	261,475	1月1日現在の現金残高	305,001	845,703
(498,661)	2,523,275	現金の純支払額	2,519,487	(540,702)
261,475	2,784,749	期末現金残高 ^{*)}	2,824,489	305,001
*) うち、				
210,453	2,734,332	現金及び中央銀行預け金	2,786,590	254,019
51,022	50,430	金融機関預け金 (要求払い) ¹⁾	37,885	50,969

1) 貸借対照表の「金融機関向貸出金及び預け金」に計上されている。

キャッシュ・フロー計算書は、期中における現金及び現金同等物の受取と支払を示している。この計算書は、直接法に準拠して作成している。キャッシュ・フローは、営業活動、投資活動及び財務活動に分類されている。貸借対照表の項目は為替変動の影響が調整されている。現金は、現金及び中央銀行預け金、並びに金融機関向預け金 (要求払い) と定義されている。

[次へ](#)

注 1 会計方針

1 . 会社情報

DNBバンク エイ・エス・エイはDNBエイ・エス・エイの子会社で、DNBエイ・エス・エイはオスロ証券取引所（Oslo Børs）に上場しているノルウェーの公開有限責任会社である。2016年度の連結財務諸表は2017年3月8日に取締役会により承認された。

当行グループは、ノルウェー国内外のリテール市場及びコーポレート市場において、銀行業務及び証券業務と投資業務を行っている。

当行グループ本店の住所は、Dronning Eufemias gate 30, Bjørvika, Oslo, Norwayである。

2 . 作成基準

DNBバンク グループは、国際会計基準審議会（「IASB」）によって公表され、欧州連合（「EU」）により承認された国際財務報告基準（「IFRSs」）に準拠して、2016年度連結財務諸表を作成している。

DNBバンク エイ・エス・エイは、ノルウェー財務省の年次計算書類に関する規則の、IFRSの使用に関する第1条の6の規定（「ノルウェーIFRS規則」）に準拠して個別財務諸表を作成した。これは、認識と測定がIFRSに準拠していることを意味している。唯一の例外は、ノルウェーIFRS規則では、子会社における予定配当金額及び予定グループ配当金額を収益として認識し、取締役会の予定配当金額と予定グループ配当金額を貸借対照表日現在の負債として認識することが認められているという点である。IFRSに従った場合には、株主総会で承認されるまでは、配当金は株主資本として表示されなければならない。DNBバンク エイ・エス・エイは、IFRSに従って開示情報を表示している。

連結財務諸表は取得原価主義に基づいているが、公正価値で測定される金融資産及び金融負債及び投資不動産に関しては、例外として除外されている。連結財務諸表はノルウェー・クロネ建てで表示されている。別途指定がある場合を除き、すべての金額は百万単位に四捨五入されている。

当行グループの連結貸借対照表は、主として資産及び負債の流動性評価に基づく配列で表示されている。

3 . 連結

DNBバンク エイ・エス・エイ（以下「DNBバンク」又は「当行グループ」という。）の連結財務諸表には、DNBバンク及び子会社が含まれている。

子会社の所有持分を連結する場合には首尾一貫した会計方針が適用されており、連結財務諸表は親会社で使用されているものと同じ報告期間をベースにしている。

連結財務諸表を作成する場合、グループ内の内部取引及び関連残高は、グループの事業ユニット間取引に係る損益とともに消去される。

子会社

子会社とは、DNBバンクが直接的又は間接的に支配する会社をいう。会社に対する支配は、当該会社への関与により当行グループがさらされている変動リターンに影響を及ぼす目的でパワーを行使する当行グループの能力により裏付けされる。会社を子会社として連結するか否かを評価する際、当行グループは以下を含む支配に関する様々な要素を評価している。

会社の目的と概要

関連する事業活動、並びにそれらがどのように決定されるか

当グループの権利が関連する事業活動を指図する能力をもたらすかどうか

当グループが変動リターンに対するエクスポージャー又は権利を有しているか

当グループがリターンに影響を及ぼすべく自らのパワーを行使できるか

議決権に関する場合、当行グループは、契約により、関連する意思決定機関に対応する議決権を有していない場合を除き、当行グループによる直接的又は間接的な所有が会社の議決権の50%を上回る場合に、支配しているとみなしている。当行グループの所有が議決権の50%未満である会社の場合、他に事実上の支配を示す要因があるか否かの評価を行う。子会社は、支配が獲得された日から支配が終了する日まで連結される。

関連会社

関連会社とはDNBバンクが重要な影響力を保有する会社をいう。この重要な影響力とは、会社の財務方針及び営業方針の決定に加わる権限があっても、その会社を支配又は共同支配しないものをいう。当行グループが他の会社の議決権株式又は第一次自己資本の20%から50%を保有する場合、DNBバンクには重要な影響力があるとみなしている。

連結財務諸表において、関連会社は持分法により認識されている。投資は取得時には取得原価で認識され、その後の変動については当行グループが所有する関連会社の持分割合に従って調整される。のれんは取得原価に含まれる。当行グループの損益割合は損益計算書において認識され、損益計算書に反映されていない持分のその他の変動と併せて貸借対照表の投資の取得原価に加算される。当該投資の帳簿価額がマイナスとなる場合は、損失に対する当行グループの割合は損益計算書に反映されない。但し、当行グループが関連会社の債務の引受又は保証の発行を行っている場合はその限りではない。

各報告期間末に、当行グループは減損の兆候の有無を検討する。かかる兆候がある場合には、当該投資の減損テストを実施する。当該投資の帳簿価額は回収可能価額（売却費用を差し引いた公正価値と、使用価値のいずれか高い価額）と比較される。必要に応じ、帳簿価額は回収可能価額まで評価減が行われることになる。

当行グループと関連会社の間で行われた取引に係る未実現利益に対する当行グループの持分は消去される。当該取引が譲渡資産の減損を示していない場合に限り、同じことが未実現損失にも適用される。

外貨建取引の換算

当行グループの連結財務諸表における表示通貨は、ノルウェー・クローネである。当行グループの親会社であるDNBバンク エイ・エス・エイの機能通貨は、ノルウェー・クローネである。他の機能通貨を使用している海外支店及び子会社の貸借対照表項目については、貸借対照表日の実勢為替レートで表示通貨であるノルウェー・クローネに換算され、損益項目については取引日の為替レートで換算される。為替レートの変動により生じた純資産の変動は、その他の包括利益に認識される。

外貨建ての貨幣性資産及び負債は、貸借対照表日の実勢為替レートで当該事業体の機能通貨に換算される。取引日と貸借対照表日の為替レート変動により生じたそれらの資産の帳簿価額の変動は、損益計算書において認識される。

4．売却目的で保有する事業

当行グループは、帳簿価額が売却により回収される場合は、事業を売却目的保有に分類している。事業は、経営者が、現在の形態で事業を売却する具体的な計画を承認し売却が近いうちにほぼ確実となる時点から、売却目的保有に分類される。

貸出条件緩和等の一環として買収された企業を含む売却目的で購入された子会社は、当行グループが当該子会社を売却する意図がある場合は、直ちに売却目的保有資産に分類される。

売却目的で保有する事業は、帳簿価額と売却費用控除後の公正価値のいずれか低い金額で測定される。直ちに売却目的保有に分類される被取得事業は、当初認識時に売却費用控除後の公正価値で計上される。

IFRS第5号における「非継続事業」の要件を満たす当該事業の税引後利益は、連結財務諸表の「売却目的で保有する事業からの利益、税引後」として個別に表示される。これらの事業からの資産及び負債の総計は、当行グループの貸借対照表において「売却目的保有の資産」及び「売却目的保有の負債」として個別に表示されている。

5．セグメント情報

DNBバンクにおける財務ガバナンスは異なる顧客セグメントごとに対応している。顧客関係とセグメント別の利益率をフォローアップすることは、戦略上の優先順位を定め、当行グループの経営資源の配分を決定するに当たって重要な二大要素である。さまざまなセグメントに関して報告された計数は、個別のセグメントに対する、当行グループの商品及びサービスの売上総額を反映している。

セグメント情報は、経営動向を評価しリソースの配分を決定するために当行グループ経営陣（最高経営意思決定機関）への内部財務報告に基づいて作成されている。事業セグメントに関する計数は、DNBバンクの管理モデルと当行グループの会計方針に基づいている。計数の決定には、多数の仮定、見積り及び判断が充てられている。

DNBの管理モデルによれば、事業セグメントは独立したプロフィット・センターとして、割り当てられた資本に求められる税引後利益及び収益目標の達成に全面的な責任を負っている。当行グ

グループのすべての顧客向業務は、関連する貸借対照表項目、収益及び費用とともに、事業セグメントごとに配賦されている。

事業セグメントの過剰流動性及び流動性不足については、市場並みの条件で銀行の資金部門に対する預託又は資金部門からの借入で対応している。この場合の金利は、期間及び当行グループの財政状態に基づいて決定される。

複数の事業セグメントが協力して顧客に金融サービスを提供する場合、社内間の授受は市場価格に基づいて行われる。

グループ・サービス及びスタッフ部門により提供されたサービスは、サービス契約に従って事業セグメントに費用が計上される。事業セグメントの活動に間接的に連動している共通費用は、配賦算式に基づいて当該事業セグメントの勘定に計上される。

事業セグメントの戦略的業務に関係ないいくつかの重要な職務とその活動から生ずる利益が、グループユニットに表示されている。この項目は、当行グループの流動性管理に関する収益と費用、トレーディング目的ポートフォリオに含まれていない資本性金融商品への投資による収益、当行グループの非配賦資本に割当てられた受取利息、当行の不動産ポートフォリオ管理から生ずる所有権関連の費用と収益が含まれる。

当行グループに全部連結される再取得された業務からの純利益は、セグメント報告の中では、「再取得した業務からの利益」として表示されている。再取得した企業の連結による影響はグループユニットに表示されている。

自己資本利益率は、リスク調整後所要自己資本の社内測定に基づいて推定される。資本配賦に関する方針の詳細に関しては、（注２）「セグメント」を参照のこと。

６．損益計算書及びその他の包括利益における認識

受取利息は実効金利法を使用して認識される。これは利息が発生主義で認識され、フロントエンド・フィーと実効金利に欠かせない部分とみなされる他の手数料の償却額が加算されて認識されることを意味する。

実効金利は、契約上のキャッシュ・フローを当該資産の予想残存期間に基づいて割り引くことにより設定される。キャッシュ・フローは、フロントエンド・フィー及び顧客により直接支払われない直接取引費用を含んでいる。

償却原価で計上される貸借対照表項目及び公正価値で計上される貸借対照表項目に関する利息は、いずれも実効金利法により損益計算書に認識される。但し、公正価値で計上される貸出金に係るフロントエンド・フィーは例外で、これは稼得時に認識される。減損が生じた貸出金に関する利息は、減損控除後の帳簿価額に係る実効金利に対応している。

貸出金として表示された金融商品に係る利息は「純利息収入」に認識される。

「その他の営業収益純額」は、主に送金、成功報酬、信用仲介、不動産仲介、コーポレート・ファイナンス及び証券サービス等に関するその他手数料を含んでいる。信用仲介手数料は、DNBバンクが幹事行としてシンジケート・ローンをその一部を保有せず組成した場合、又は他の参加行が受け取る実効金利を上回る報酬を稼得した場合に、当該取引から得られる手数料であるシンジケート・ローン収益を含んでいる。手数料に加え、実効金利の算定に含まれない手数料は、役務の提供があった時又は取引の完了した期間の損益計算書に認識される。

成功報酬は、その手数料が高い確実性をもって稼得され、信頼できる方法で測定できる場合に認識される。

金融保証を行った際に発生した手数料は、「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の中で、当該契約期間にわたって認識される。

投資に係る配当は、その配当が株主総会で承認された日に認識される。

純損益を通じて公正価値で測定される金融商品から得られる収益については「金融商品」に、投資不動産から得られる純益については「投資不動産及び固定資産」に記載されている。

その他の包括利益の中の利益及び費用項目は、将来的に損益計算書の純損益に振り替え可能であるかどうかに基づいて分類される。

7. 金融商品

認識と認識中止

資産及び負債の認識

金融資産及び負債は、取引日、すなわち当行グループが金融商品に係る契約上の規定の当事者となった日に、貸借対照表に認識される。

金融資産の認識中止

金融資産は、当該資産からのキャッシュ・フローを受領し保持する権利が消滅又は移転した時点で、認識が中止される。当行グループは、貸借対照表において認識されている資産がカウンター・パーティに移転されるものの、その移転された資産のリスクと経済価値の全部又は一部が当行グループに保持されるような契約を締結している。リスクと経済価値のすべて又は大半が保持されている場合、貸借対照表におけるその移転された金融資産の認識は中止されず、当該移転により生じた又は保有された権利及び義務を反映する個別の資産又は負債に振り替えられる。そのような取引には、移転された貸出金ポートフォリオに関するすべてのリスクを当行グループが保証するか、又はトータル・リターン・スワップ契約を締結することにより、当行グループがそのポートフォリオに関するリスクとリターンを保持するような貸出ポートフォリオの移転の場合がある。

金融負債の認識中止

金融負債は、契約上の債務が支払われた、若しくは取り消された、又は消失となった時点で、その認識が中止される。

レポ取引及びリバース・レポ取引

売戻し条件付で買い入れられた有価証券は、通常当行グループによるリスクとリターンの引受がないため、財務諸表上認識されないのが通例である。これは、当行グループがその有価証券を売却又は再担保する権利を有しているかどうかは関係ない。受領した有価証券を売却した時点で、当行グループは貸借対照表に債務を認識する。詳細については（注32）「売却又は再担保差入可能な受入有価証券」を参照。

買戻し条件付で売り渡した有価証券は、通常リスクとリターンが移転されないため、財務諸表上認識を中止されないのが通例である。これは、受け取り相手がその有価証券を売却又は再担保する権利を有しているかどうかは関係ない。これらの有価証券は当行グループの貸借対照表に有価証券として表示されており、（注31）「譲渡資産又はその他の制約を受ける資産」に詳細が記載されている。

有価証券の貸借契約

この取引を構成するのは主に株式の借入又は貸出である。有価証券の借入又は貸出に係る契約は、一般に現金又は有価証券の担保をベースにしている。

そのような取引において受領又は移転された株式は、通常その資産の所有に伴うリスクとリターンの引受又は移転が行われないため、認識も認識中止も行われない。

受領した株式（担保として受領した株式を含む）は、当行グループがその有価証券を売却又は再担保する権利を有しているか否かにかかわらず、オフ・バランス項目として計上される。受領した有価証券を売却した時点で、当行グループは貸借対照表に債務を認識する。詳細については（注32）「売却又は再担保差入可能な受入有価証券」を参照。

移転された株式又は担保で、受領者が売却や再担保の権利を有するものは、当行グループの貸借対照表に株式又は有価証券として表示されており、（注31）「譲渡資産又はその他の制約を受ける資産」に詳細が記載されている。

分類と表示

金融資産は、商品の種類及び投資の目的により、当初認識時に以下のカテゴリーのいずれか一つに分類される。

公正価値で計上され、その価値の変動が純損益で認識される、トレーディング目的で保有する金融資産及びデリバティブ（トレーディング目的ポートフォリオ）

公正価値で測定することが指定され、その価値の変動が純損益で認識される金融資産

ヘッジ手段に指定されたデリバティブ

償却原価で計上される貸出金及び債権

償却原価で計上される満期保有目的の投資

公正価値で計上され、その価値の変動がその他の包括利益で認識される、売却可能金融資産

金融負債は当初認識時に以下のカテゴリーのいずれか一つに分類される。

公正価値で計上され、その価値の変動は純損益で認識される、トレーディング目的で保有する金融負債及びデリバティブ（トレーディング目的ポートフォリオ）

公正価値で測定することが指定され、その価値の変動が純損益で認識される金融負債

ヘッジ手段に指定されたデリバティブ

償却原価で計上されるその他の金融負債

当行グループの様々なポートフォリオの分類に関するガイドラインは以下のとおり。

トレーディング目的ポートフォリオの金融資産及び負債

トレーディング目的ポートフォリオの金融商品は当初に公正価値で認識される。観察可能な市場取引に基づき別の価額がより妥当であるとされない限り、公正価値は取引価格となる。認識後の評価における公正価値の決定については下の段落を参照。

金融商品の公正価値の変動は、損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」で表示される。利付有価証券に係る受取利息及び支払利息は「純利息収入」で表示される。デリバティブは、公正価値がプラスの場合は資産として表示され、公正価値がマイナスの場合は負債として表示される。

トレーディング目的ポートフォリオは、主にマーケット部門の金融資産及び金融負債に加え、ヘッジ会計目的ではないデリバティブで構成されている。さらにこのポートフォリオには、金利と流動性の管理に積極的に使用され、かつ残存期間が短い借入有価証券及び預金が含まれている。

公正価値で測定することが指定され、その価値の変動が純損益で認識される金融資産及び負債

このポートフォリオの金融商品は公正価値で認識される。認識後の公正価値の評価の決定については下の段落を参照。以下に記載された基準のいずれか一つを満たす金融商品は、このカテゴリーに分類される。

この分類によると、異なる根拠に基づく場合の金融資産又は負債の測定や、それらの資産負債に係る損益の認識から生ずる測定上又は認識上の不整合が消滅、又は大幅に減少するもの

文書化されたリスク管理戦略又は投資戦略に従い、公正価値に基づいて管理され評価されるポートフォリオの一部である金融商品

金融商品の公正価値の変動は、損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」に表示されている。公正価値で測定する貸出金及びその他の固定金利債券に関する受取利息及び支払利息は「純利息収入」に表示されている。

このポートフォリオは、コマーシャル・ペーパー及び債券、株式、ノルウェー・クローネ建の固定金利貸出金、インデックス・リンク債及び株式リンク銀行預金のようなノルウェー・クローネ建て固定金利の債券並びにその他のノルウェー・クローネ建て固定金利預金を含んでいる。

ヘッジ手段に指定されたデリバティブ

当行グループは、外国通貨建ての長期借入金及び預金に係る金利リスクを管理するために、ヘッジ取引を締結している。これらの取引は公正価値ヘッジとして認識されている。「ヘッジ会計」参照。

償却原価で計上される貸出金及び債権

償却原価で計上される貸出金及び債権は、取引価格に直接取引費用を加えた金額で認識されている。事後測定は、実効金利法に従い減損費用を控除している。実効金利法については、「損益計算書及びその他の包括利益における認識」に記載されている。

貸出金に分類された金融商品に係る受取利息は、実効金利法により「純利息収入」の中に表示される。

償却原価で評価された貸出金の減損の客観的な兆候に基づく貸借対照表日の価値の減少、及び公正価値で測定された固定金利貸出金のポートフォリオの価値の減少は、「貸出金及び保証に係る減損」の中に表示される。

償却原価で計上される満期保有目的投資

満期保有目的投資の帳簿価額は償却原価であり、取引価格に直接取引費用を加えた金額で認識されている。事後測定は、実効金利法に従い減損費用を控除している。実効金利法については損益計算書の「損益計算書及びその他の包括利益における認識」に説明されている。

金融商品に関する受取利息は、「純利息収入」の中に表示されている。このカテゴリーに含まれるものは、主としてDNBマーケット部門の海外債券ポートフォリオである。

公正価値で計上され、その価値の変動がその他の包括利益で認識される、売却可能金融資産

売却可能に分類された金融資産は、公正価値で認識され、その後の公正価値の変動はその他の包括利益に表示される。公正価値の決定については下記を参照。公正価値の変動は、実現時に損益計算書に表示される収益に含められる。金融資産は上述されている他のどのカテゴリーに分類される条件も満たさない場合、このカテゴリーに分類される。

償却原価で計上されるその他の金融負債

償却原価で計上される金融負債は、取引価格に直接取引費用を加えた金額で認識されている。かかる金融商品に関する支払利息は、実効金利法により「純利息収入」の中に表示されている。このカテゴリーには、顧客及び金融機関からの預金、発行されたコマーシャル・ペーパー、債券、劣後債、及び永久劣後債が含まれる。

発行済金融保証

特定の債務者が期日に支払をしなかったために生じた損失を当行グループが保有者に弁済しなければならなくなるような契約は、「発行済金融保証」に分類される。

当初認識時に、発行された金融保証は保証に関して受領した対価で認識される。発行済の金融保証は、その後当該保証に関して受領した対価（損益計算書に認識された償却額を除く）と、保証を履行すると仮定した場合に支払うべき対価の最善の見積額の、いずれか高い方の金額で測定される。

金融保証を発行する場合、保証の対価は貸借対照表の「引当金」の項目に表示される。個別に減損が生じた貸出金の一部を構成する保証に関する変動を除き、金融保証の帳簿価額の変動は、「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の項目の中で認識される。かかる保証契約の価値の変動は、「貸出金及び保証に係る減損」の項目の中で認識される。

持分の性質を有する金融商品

発行されたその他Tier 1 資本調達手段は投資者に対して利息又は元本の支払いを行わない一方的な権利をDNBが有する商品である。このような条件により、当該金融商品は負債の要件を満たさないため、当グループの資本にその他Tier 1 資本として表示される。取引費用及び未払利息はその他の資本からの控除として、利息に係る税効果はその他の資本に対する加算として表示される。

外貨建ての資本は取引日の為替レートでノルウェー・クローネに換算され、その後の再評価の対象にはならない。

相殺

金融資産及び金融負債は、当行グループがそれらの認識金額を相殺する法的強制力のある権利を保有していて、かつ当行グループがその残高を純額決済する又は、同時にその資産を実現し負債を決済することに合意している場合に相殺され、貸借対照表に純額で表示される。マスターネットティング契約又は類似の契約により、債務不履行時に相殺する権利が与えられる。かかる契約は、債務不履行時に当行グループのエクスポージャーを削減するが、IFRSに従った場合、継続的に契約上のキャッシュ・フローを決済する意図を持つ必要があるため、そのみでは相殺の要件を満たさなくなる。相殺契約の対象となる金融資産及び金融負債に関する詳細については（注29）「相殺」を参照のこと。

公正価値の決定

公正価値とは、測定日現在、市場参加者間の秩序ある取引においてある資産を売却する際に受け取る又は負債を譲渡する場合に支払う金額である。活発な市場における金融資産及び負債は、測定日現在の公正価値を最もよく表すビッド・アスク・スプレッドの範囲で測定される。多くの場合、当該金融商品に関する買呼値又は売呼値は、それぞれ資産及び負債の価格を最もよく表している。純額で計上されるデリバティブは、貸借対照表日における仲値で認識されている。

公正価値で測定される金融商品は、月次又は四半期ごとに評価が行われるいくつかの金融商品を除いては、日次で評価が行われる。可能な限り、直接観察可能な市場価格が用いられている。さまざまな種類の金融商品の評価は、広く認識されている手法やモデルに基づいている。使用される価格やインプットパラメーターは、確立した業務手順と統制手続に基づいて管理され、評価されている。

金融商品の公正価値測定に係る統制環境は、当社の財務報告に欠かせない要素である。トレードポジションに係る初日損益に対する統制や、評価における重要なインプットパラメーターに対する統制など、多数の統制が日次で行われている。各月末及び四半期末には、公正価値に関する会計方針と整合するよう確実を期すために、変動分析を含めさらに多くの統制が行われている。レベル3の公正価値ヒエラルキーの評価は影響が大きい、若しくは非常に困難なため、特別な注意が払われている。

活発な市場で取引されている金融商品

活発な市場で取引されている金融商品に関する市場相場は、証券取引所、ブローカー又は価格設定業者より入手したものが使用される。

第三者間で観察可能な価格、為替レート又は金利を入手することが可能で、かつそれらの価格が現実にそして頻繁に行われる市場取引を表している場合に、市場は「活発」とみなされる。一部の株式及びコマーシャル・ペーパーへの投資及び債券は活発な市場で取引されている。

活発な市場で取引されていない金融商品

活発な市場で取引されていない金融商品は様々な評価技法によって評価されており、それらは二つのカテゴリーに分けられる。

観察可能な市場データに基づく評価

知識があり、取引を希望している独立した立場の当事者間において、最近観察された当該商品の取引

活発な市場において取引された、評価対象の金融商品と実質的に同じ金融商品
主要パラメーターが観察可能な市場データに基づいているその他の評価技法

観察可能な市場データ以外の要素に基づく評価

見積キャッシュ・フロー

複数の会社の資産及び負債の評価

主要パラメーターが観察可能な市場データに基づいていないモデル

想定される業界標準

店頭デリバティブの評価では、カウンターパーティの信用リスクに対する公正価値調整（CVA）及び当行グループ自身の信用リスクに対する公正価値調整（DVA）を行う。また、予想調達コストに対する公正価値調整（FVA）も行う。

当行グループはCVAを、シミュレートされたプラスの期待エクスポージャー、カウンターパーティのデフォルト確率及びデフォルト時損失率いかんによって変化するものと評価している。当行グループのデリバティブ・カウンターパーティの大半は、マーケットインプライドの信用スプレッドを取得しておらず、外部格付も取得していない。従って、カウンターパーティのクレジット・デフォルト・スワップ（CDS）スプレッドの見積りを行うために、現在のCDS指数と、過去のCDSのスプレッドとを組み合わせる内部格付を算定している。これは当行グループが独自の信用モデル及び特徴的な手法を使用しているものの、市場の類似の信用リスクに関するプライシング水準に対して調整を行っていることを意味している。DVAも、当行グループの信用スプレッドを評価する際に用いるのと同じアプローチに基づいて算定されている。

FVAは、無担保デリバティブ・エクスポージャーの資金調達に関連する将来の調達コストの見積り現在価値を反映している。これは、期待エクスポージャーにファンディング・スプレッドを適用し算定している。DNBが算定するDVAのポジションに対する資金調達コストの軽減は評価していない。

評価技法を用いて測定される金融商品については、見積り公正価値が実際の取引価格と異なる場合に、時として当初認識時に損益が発生する可能性もある。測定が観察不可能な入力パラメータに基づいている場合（レベル3）には、損益は繰り延べられ初日利得は認識はされない。その後の期間の公正価値の変動は、かかる変動が、市場参加者が考慮するであろうと考えられる要因によって生じた範囲でのみ認識される。

金融資産の減損

各報告期間末に、当行グループは、当初認識後に発生した一つ又は複数の事象（損失事象）の結果として減損の客観的証拠が存在しているか否か、及び当該損失事象が見積将来キャッシュ・フローに影響を及ぼしているか否かを検討する。減損の客観的証拠がある場合には、金融資産又は金融資産グループの減損が行われる。減損の客観的兆候には、以下の損失事象の評価が含まれる。

債務者の財務上の深刻な問題

不払い、又はその他の重大な契約違反

債務者が貸出条件の緩和等を求める可能性があること

その他特別な状況の発生

債務者が置かれている状況を緩和するための貸出条件の再交渉も、損失事象とされる。

貸出金に係る個別減損

減損の客観的証拠がある場合、貸出金の減損は、帳簿価額と、当初の実効金利で割り引かれた見積将来キャッシュ・フローの正味現在価値との差額として、計算される。

事業部門は、エクスポージャーの推移、債務者の過去の実績、交渉の起こりうる結末及び顧客のキャッシュフローに影響を与えるマクロ経済の動向に基づき、見積将来キャッシュ・フローを計算する。さらに、担保として提供された資産の担保権が実行される可能性を含む、債務整理手続及び破産の可能性が考慮される。担保を評価する場合には、原資産の評価に広く認められている手法が使用される。

貸出金の個別減損は、貸出金及び保証の帳簿価額を減少させる。期中の減損は、純損益の中の「貸出金及び保証に係る減損」として認識される。

貸出金の集合的減損

個別に減損が行われなかった貸出金は、集合的に減損のための評価が行われる。評価は、金融資産のグループに関連する可能性がある減損の客観的証拠があるかどうかに基づいて行われる。

貸出金は、信用リスクの特性の類似性を基準として、顧客のセクター別又は業種別区分とリスク・カテゴリーに従ってグループ分けされる。減損は、一般経済状況の判断と各グループの既損失実績に基づいて、金融資産のグループ毎に判断される。

集合的減損は貸借対照表の「顧客向貸出金」の項目の帳簿価額を減少させる。期中に生じた変動は純損益計算書の「貸出金及び保証に係る減損」の項目の中で認識される。個別の減損同様、集合的減損も割り引かれる。割引ファクターは個別の減損から導き出された統計値に基づいている。

資産の回収

不良債権化し減損が生じた貸出金の管理の一環として回収された資産は、取得時の公正価値で認識される。かかる資産は、その資産の性質に応じて貸借対照表に認識されている。当該貸出金の帳簿価額と当該資産の公正価値との差額は、損益計算書の中で「貸出金及び保証に係る減損」の項目の中に表示されている。また以後の損益計算書に与える影響の評価と表示は、関連する貸借対照表項目に関する原則に従って行われる。

ヘッジ会計

金融商品が個別にヘッジされる場合、ヘッジ対象リスクから生ずるヘッジ対象の価値の変動と、そのデリバティブ（ヘッジ手段）の価値変動との間には、明確で、直接の、そして文書化された相関関係がある。

ヘッジ関係が成立した時点で、ヘッジ対象とヘッジ手段の間の相関関係は文書化される。さらに、ヘッジ取引の裏付けとなるリスク管理目標と戦略も文書化される。ヘッジ対象リスクに関連したヘッジ対象とヘッジ手段の公正価値変動は、必要なヘッジ効果を確認するため定期的に評価される。ヘッジ手段は公正価値で財務諸表上認識され、公正価値の変動は損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の中に表示される。

公正価値ヘッジでは、ヘッジ対象リスクに起因するヘッジ対象の公正価値の変動は、貸借対照表の金融負債及び資産の価値に対する加算又は控除として認識され、損益計算書の「公正価値で測定される金融商品に係る純利得」の中に表示される。

ヘッジ関係が終了した場合、又は十分なヘッジ効果が確認されなかった場合、ヘッジ対象の公正価値の累積変動額は残存期間にわたって償却される。

当行グループは海外子会社に投資した金額に係る為替リスクをヘッジするため、海外子会社に対する投資のヘッジを行っている。ヘッジ取引は、通貨スワップ又は長期の外貨借入の形で行われている。連結財務諸表では、ヘッジ関係は在外営業体に対する純投資のヘッジとして表示されている。

８．投資不動産及び固定資産

賃貸収入又は値上がりにより利益を得る目的で保有されている不動産は、貸借対照表上投資不動産に表示されている。その他の有形資産は貸借対照表上固定資産に表示されている。

投資不動産は、当初の認識時に取得費用を含む取得原価で測定される。

以後の期間において、投資不動産は公正価値で測定される。従って、投資不動産には毎年の減価償却が適用されない。公正価値は、広く認められている評価手法を用いて決定される。評価には社内及び社外の専門家の見解が活用される。統制上、いくつかの社外評価が入手され、社内の評価と比較される。評価の実施者は、個々の不動産の評価に関する対話や質問を通じて、継続的にフォローアップを行っている。投資不動産の公正価値の変動は、損益計算書の「投資不動産に係る純利得」の項目の中で認識される。

その他の有形資産は、取得原価から減価償却累計額及び減損額を控除した金額で測定される。取得原価には、資産の取得に直接関連した費用が含まれる。以後の費用は、その支出に関連した将来の経済的便益がDNBバンクに流入する可能性がありかつ信頼できる測定が可能であれば、関連資産項目に資産計上される。修繕及び保守に関する費用は、発生時に損益計算書に認識される。

資産の残存価額及び耐用年数は毎年見直しを行い、必要があれば調整を行う。固定資産の売却に係る損益は、損益計算書の「固定資産及び無形資産に係る純利得」の項目の中で認識される。

9．無形資産

のれん

のれんは、譲渡対価と非支配持分の認識額の合計が企業結合による識別可能な取得資産及び引受負債の公正価値を上回る場合に、その差額として当初に取得日に測定される。取得したのれんは、当該事業結合によるシナジーからの便益が見込まれる各資金生成単位、又はその単位グループに配分される。当初認識後、のれんは減損損失累計額控除後の取得価額で測定される。

ITシステム及びソフトウェアの開発

取得したソフトウェアは、取得原価にソフトウェアを使用可能にするために生じた費用を加算して認識される。当行グループにより管理されている社内開発ソフトウェアは、その経済的便益が貸借対照表日時点でソフトウェアの開発費をカバーする可能性が高い場合、識別可能な原価が無形資産に認識される。貸借対照表の価額を評価する場合、経済的便益は収益性分析に基づいて評価する。開発費には、プロジェクトに直接関与した従業員の給与、資材及び直接関係する間接費などが費用として含まれる。ソフトウェア及びITシステムの保守に関する費用は、発生都度損益計算書に費用認識される。貸借対照表に計上されたソフトウェア費用は、見積耐用年数（通常は5年）にわたり定額法で償却される。減損の必要性の評価は、下記の原則に従って検討される。

10．固定資産及び無形資産の減損

各報告期間末に当行グループは、固定資産又は無形資産の減損の兆候があるかどうかを検討する。かかる兆候がある場合には、生ずる可能性のある減損損失を見積るため当該資産の回収可能価額を算定する。のれん及び耐用年数が確定できない無形資産に関しては、当該資産の減損の兆候がない場合にも、少なくとも年に一度は減損テストが行われている。DNBはこの年次のテストを第4四半期に実施することを選択している。

回収可能価額とは、資産の売却コスト控除後公正価値と使用価値の、いずれか高い方を意味する。資産の帳簿価額が予想回収可能価額を上回る場合、その資産は評価損を計上して帳簿価額を回収可能価額に引き下げる。減損テストの説明については、（注37）「無形資産」を参照。

減損を示す兆候の有無を検討する際には、以下の関連する基準が検討されている。

資産の市場価値の低下

資産の使用価値計算に使用される割引率に影響する可能性がある長期期待収益率の変動

資産を再構築又は清算する計画

資産の生み出す収益が予定を下回る場合

使用価値の算定は、過去の結果、及び経営陣が承認した計画値に基づいて行われる。資金生成単位に関する計画値に基づいて将来キャッシュ・フローが見積もられ、株主に対する潜在的なリターンであると定義される。このリターンには、将来見込まれる所要自己資本を充足するために十分な自己資本を調達する必要性を考慮した調整後の資金生成単位からの利益が含まれる。事業拡大に伴う所要自己資本の増加が求められる際に、資金生成単位からの利益では必要な自己資本の確保が不十分となる場合には、業務からの利益が一部留保されたり、株主からの追加の資本注入が求められる可能性がある。キャッシュ・フローの推移は、計画期間である3年間を超えた期間にわたり、資金生成単位によって遂行される業務の種類に対する市場の期待を反映させるものと考えられている。予想将来キャッシュ・フローは、含められるターミナルバリューの見積りにゴードン成長モデルが使用される場合に、10年の期間について決定される。

要求収益率は、資金生成単位によって遂行される業務の種類に対して市場が求める収益率の評価に基づいている。要求収益率は当該業務のリスクを反映している。外国通貨建てのキャッシュ・フローを生成する企業の取得から生じるのれんは、貸借対照日現在の為替レートで換算される。

11. 年金

確定給付年金制度

2016年度末現在、当行グループの確定給付型年金制度は原則として確定拠出型年金制度に変更された。

当行グループの年金費用計算の基礎は、退職時の見積累積債務に対して測定された年金受給権の線型分布である。

年金債務は貸借対照表日現在見積将来年金支払額の現在価値に基づいて見積もられている。年金債務の計算は、平均寿命、昇給及び早期退職に関する保険数理上及び経済的な仮定に基づいている。使用される割引率は、貸借対照表日のカバード・ボンドの利回りを参照し、関連する年金債務のデュレーションを反映したアドオンを加えて決定される。

年金制度の変更が及ぼす財務的影響は、以下のうちいずれか早いほうの時点で費用認識される。

制度の改正や縮小が発生した時点

関連する再編費用又は解雇給付がある場合には、事業体が当該費用を認識した時点

年金費用を算定する際には、正味の年金債務に対して割引率が使用される。

会社負担分の国民保険の拠出金は、年金費用及び年金債務に含まれている。

2015年度から2016年度にかけて確定給付型年金制度が移行された際、当該制度の加入者であった従業員には払込済保険が割り当てられた。さらに、まだ受給権がない従業員に向け補償制度が設けられた。この制度は非積立型である。補償は継続に得られるが、当行グループは支払額及び見積利息額を超える債務は有していない。従って、当該補償制度は以下の通り、確定拠出型年金制度と同様の方法で測定される。

詳細については（注24）「年金」を参照のこと。

確定拠出年金制度

確定拠出年金制度の下では、当行グループは所定の将来年金給付の支払いを約束していないが、従業員の年金財形に対しては毎年拠出を行っている。将来の年金は、年間拠出額の規模と年金積立金の年間収益によって決まる。年間拠出額の支払後は、当行グループは従業員の勤務成績と連動したいかなる債務も負わない。確定拠出年金制度から生じる費用は損益計算書に認識される。

12. 法人所得税

当期法人所得税は、当事業年度の未払法人所得税と前事業年度の未払法人所得税及び一時差異に係る繰延税金の変動で構成される。一時差異とは、資産又は負債に関する帳簿価額と課税価額との差異を意味する。最も重要な一時差異は、金融資産及び金融負債の公正価値の変動、年金債務、固定資産及び不動産の減価償却、並びにのれんの減損損失に関するものである。繰延税金は、貸借対照表日に適用されているか又は承認される可能性が高く、かつ繰延税金資産の回収時又は繰延税金負債の決済時に適用されると予想される税率及び課税規則に基づいて計算される。

繰延税金資産は、将来利用できる課税所得が生ずる可能性が高い範囲内で、貸借対照表に認識される。同一の納税グループにおける繰延税金及び繰延税金資産は貸借対照表に純額で表示される。

その他の包括利益の要素に関連した未払税金及び繰延税金は、包括利益計算書の中で、関連する利益又は費用と合わせ、純額で表示されている。

13. 組織再編

当行グループの事業の範囲や業務遂行方法を変更する事業再編計画が承認され、影響を受ける従業員に対して周知された場合は、事業再編引当金の必要性が検討される。これには、従業員との特別退職金に関する合意が組織再編の一部として用いられる場合、当該合意に係る引当金が含まれる。引当金は各報告日に見直しを行い、費用が発生した時には取り崩される。

14. リース

リースは、所有権に係るすべてのリスクと経済価値が実質的に移転する場合に、ファイナンス・リースに分類される。その他のリースはオペレーティング・リースに分類される。

DNBバンクが貸手の場合

オペレーティング・リース

リース期間の満了時に、リース対象物への投資に関するリスクと経済価値のわずかとはいえない持分がDNBバンクに帰属するリースが、オペレーティング・リースである。オペレーティング・リースに供している資産は、貸借対照表では固定資産として認識される。オペレーティング・リースによる収益はリース期間にわたり定額法で認識される。当該固定資産の減価償却は、損益計算書上通常の減価償却として表示される。

ファイナンス・リース

ファイナンス・リースは貸借対照表において貸出金として表示され、リースは開始時に当該リースに対する純投資額に等しい金額で測定される。純投資額は、最低支払リース料、無保証残存価額及びリースの交渉において貸手が負担した直接費用を、内在する金利（内部収益率）で割り引いたものに相当する金額である。リース収益は年金法で損益計算書に認識されて金利部分が「純利息収入」の項目に認識され、毎月の分割払金により貸借対照表の貸出金額が減少する。

DNBバンクが借手の場合

オペレーティング・リース

リース支払額は、リース期間にわたり定額法で費用として損益計算書上に認識される。但し、他の体系的基準がDNBバンクによる資産使用の時間的パターンをよりよく表している場合はこの限りではない。

15. キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、源泉と用途によりグループ分けされたキャッシュ・フローを示している。キャッシュ・フローは、営業活動によるもの、投資活動によるもの及び財務活動によるものに分けて表示されている。キャッシュとは、現金、中央銀行預け金及び金融機関向預け金（要求払い）と定義されている。キャッシュ・フロー計算書は直接法により作成されている。

16. 配当

予定配当は、株主総会で承認されるまでは株主資本の一部である。この時点では、配当は財務諸表上負債に表示されている。予定配当は自己資本比率の計算に含まれない。

17. 承認されたがまだ効力を発していない基準と解釈指針

2016年の年末までにIASBは、現行規則に対する多数の改訂を公表しているが、それらはまだ効力を発していない。下記は、当行グループの将来の財務報告に影響を及ぼす可能性がある改訂の詳細である。

IFRS第9号「金融商品」

2014年7月にIASBは、現行のIAS第39号に差し替わるIFRS第9号「金融商品」という、金融商品に関する新基準を公表した。新基準は金融資産の分類に関する事業モデル志向型のアプローチ、減損に関する予想損失モデルに加え、新しい一般的なヘッジ会計モデルを導入している。IASBは、依然としてマクロヘッジ会計に関する新しい要求事項について検討中である。この作業は別個のプロジェクトとして設立され、今後最終決定される見込みである。

IFRS第9号は2018年1月1日から適用開始となる。本基準は2016年11月にEUにより承認を受けた。

新規則の概要

IFRS第9号では、金融資産はその資産を管理するためのビジネスモデルと、契約上のキャッシュ・フローの性質に基づいて分類される。単に元本及び利息の支払いのみからなる、契約上のキャッシュ・フローの回収を目的に保有される資産は、償却原価で測定される。契約上のキャッシュ・フローの回収及び売却の両方を目的として保有され、同時に元本及び利息のみとなる契約上のキャッシュ・フローを有している資産は、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される。この結果、資産は貸借対照表上では公正価値で認識され、損益計算書上では償却原価ベースで認識されることになる。その他の金融資産は純損益を通じて公正価値で測定される。特定の要件を充足した場合に純損益を通じて公正価値で保有するものとして指定する、IAS第39号に規定されている選択肢については、新基準の中でも引き継がれている。

金融負債に関する要求事項は、現行のIAS第39号と比較して概ね変更はない。主な規則として、公正価値で測定されるデリバティブ、トレーディング目的ポートフォリオの一部を成す金融商品及び純損益を通じて公正価値で保有される金融負債を例外として、金融負債は依然として償却原価で測定される。ただし、純損益を通じて公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の、当社自身の信用リスクに関連した公正価値の変動は、その他の包括利益で認識されている。

現行の規則では、当初認識後に発生した一つ又は複数の事象（損失事象）に起因する減損損失の客観的証拠が存在し、かつ当該損失事象が見積将来キャッシュ・フローにマイナスの影響を及ぼす場合にのみ、信用損失の減損は認識される。金融危機の影響を受けて、このモデルでは減損損失の認識が遅過ぎ、かつ少な過ぎると批判されてきた。IFRS第9号に基づく減損引当金は予想損失モデルを用いて測定され、その場合、報告日現在の信用リスクの識別の程度はより大きくなる。IFRS第9号における減損の規則は、償却原価で測定される金融資産又はその他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産全てに適用される。ローン・コミットメント、金融保証契約及びリース債権もこの基準の対象となる。

IFRS第9号における金融資産に対する予想信用損失の引当金の測定は、当該信用リスクが当初認識以降に著しく増大したかどうかによって決まる。この測定には3つのステージによるアプローチが導入された。当初認識時及び当初認識時から当該信用リスクが著しく増大していない場合には、引当金は12カ月間の予想信用損失額に等しくする必要がある（ステージ1）。当該信用リスクが著しく増大していた場合には、引当金は全期間の予想信用損失額に等しくする必要がある（ステージ2）。この二段階のアプローチは現在の集会的減損モデルに置き替わるものである。個別減損については現行の規則と比べて大きな変更はない。個別減損は今後、ステージ3と称される。

当行グループへの影響

IFRS第9号で導入された新規則と概念により、当行のモデルとITシステムには相当程度の開発が必要となる。新規則を導入した結果、2015年度に当行グループは、当行のモデルとITシステムの変更の必要性を分析し特定する手続に着手した。2016年中にこの作業が進められ、継続して2017年も行われており、分析とマッピングが主眼点であった初期段階と比べ、選択した対応策の実施と完了に焦点が置かれている。

2016年にDNBは、実施を徹底するために、グループ・ファイナンスとグループ・リスク・マネジメントの密接な協力関係を得て、独自のプロジェクト組織を立ち上げた。この作業は、(1)分類と測定、(2)減損、(3)当行グループの報告プロセスと内部統制のフレームワークというサブプロジェクトにそれぞれ分けられた。当該プロジェクトは、CFOが率いる独自の運営委員会の直属である。

導入の一環として、当行グループでは以下の会計方針の選択がなされた。

ヘッジ会計に対するIAS第39号の規定は維持される。

その他の包括利益における金融負債の信用リスクの変動に起因する、当該金融負債の公正価値の変動の認識を目的とした本規制の早期導入の機会には使用しない。

当行グループは、比較数値を修正再表示しない。これは、2018年度の財務報告における過年度の数値が現行のIAS第39号の規則に従っていることを意味する。

分類と測定

当行グループは、IFRS第9号に基づく分類に関する分析の大部分を完了した。このプロセスの過程で、当行グループは、契約上のキャッシュ・フローの特徴を評価するために、事業の異なる部分のビジネスモデル分析及び関連する貸付条件のマッピングに焦点を当てた。この分析により、分類と測定にいくつかの変更がなされたが、現行規則と比較して重要ではない。最終評価は2017年度上半期中に完了予定である。

減損

当行グループは、新規則に従いデフォルト時エクスポージャー (EAD) の現在価値にデフォルト確率 (PD) とデフォルト時損失率 (LGD) を乗じて、減損引当金を計算する。

当行グループは、現在のIRBのフレームワークに従い、当行グループが現在適用しているモデル及びパラメーターを、新モデル開発の基礎に選択した。これにより、当行のリスク管理と損失計算の整合性が確保される。

最善の見積りを確実にするには、例えば、IRBのPDをスルー・ザ・サイクル (through the cycle) からポイント・イン・タイム (point in time) に変更する必要がある。これは、標準化されたPD水準ではなく、報告日現在のPDに基づいて測定すべきであるという事実による。当行グループは、こうした変更一般に広く認められたモデルを採用する。EADとLGDについても同様の変更が必要となるが、これはIFRS第9号に従いより将来予測的なものになると考えらえる。

予想損失モデルへ移行することによる他の直接的な影響は、損失引当金に当行グループの将来予測的な検討 (マクロシナリオ) の影響が含まれることである。モデルの異なるパラメータには、将来予測的な情報の影響への調整を含める必要がある。当行グループには、本プロジェクトに対応する別のワーキンググループが存在し、それぞれ信用リスクの特徴が同様の金融商品のグループ化や損失計算の基礎とすべきマクロシナリオの数や関連するリスク要因の特定に注力している。この手続は、2017年度上半期中に完了予定である。マクロシナリオを使用することで、見積りプロセスはより複雑になり、専門的判断が利用される。

新規則に従い損失引当金に影響を及ぼす最重要要因の一つは、12ヶ月間の予想損失の計算 (ステージ1) から全期間予想損失の計算 (ステージ2) への変更である。当初認識以降、債務の信用リスクが著しく増大している場合は、ステージ2への移行が行われる。当行グループは、信用リスクの著しい変動とみなされるものを評価する際、以下の3つの要因に基づくアプローチを採用している。

1) 定量的要件

- 絶対的変動と併せた、金融商品の全期間に対する予想デフォルト確率（「Lifetime PD」）の相対的水準の変動

2) バックストップ

- 条件緩和
- 30日超延滞

3) 顧客がウォッチリストに乗せられる理由など、定量的要件又はバックストップで捕捉されない事象に関連する定性的評価

定量的要件（「Lifetime PD」の変動）の閾値は、当行グループのリスク管理及び顧客フォローアップにおいて、何が信用リスクの著しい変動とみなされるかに関する評価によって決まる。この手続の大部分は終了しているが、一部の分析は最終的な判断基準が決定されるまで終了しない。

現時点では、当行グループの財務諸表に見込まれる影響を合理的に見積もるにはまだ時期尚早である。IFRS第9号の導入によって、発生損失モデルから予想損失モデルへと変更されることにより、信用損失の引当金が増加する可能性があることはすでに予想されている。導入の影響として、導入時に当行グループの株式資本を減少させる可能性がある。また、今後、損益計算書のボラティリティが増加することが見込まれる。所要自己資本への影響は、導入時に予想される経過措置を含め、バーゼル委員会の最終規則次第である。市中協議のため規則案が公表されているものの、最終版はまだ公表されていない。

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」

IFRS第15号は、2014年5月にIASBによって公表され、顧客との契約から生じる収益に対して適用されることになる、新しい5つのステップのモデルが定められている。IFRS第15号のもとでは、収益は、事業体が顧客に対する財又はサービスの移転と交換に受け取ると見込まれる対価を反映した金額で認識される。IFRS第15号の原則は、収益の測定と認識に対し、より体系立ったアプローチを設けている。

新しい収益基準はすべての事業体に適用され、IFRS下の現行のすべての収益認識要件に差し替わるものとなる。IFRS第9号「金融商品」に従って会計処理されることになる顧客との契約は、IFRS第15号の対象範囲からは除外されるため、IFRS第9号の要件に従うことになる。

IFRS第15号は2018年1月1日から適用される予定であり、2016年9月にEUにより承認された。当行グループは新規則の影響を分析するプロセスに着手した。当行グループの収益認識方法に重要な変更はないと見込んでいる。当行グループは、2018年よりこの基準を適用予定である。

IFRS第16号「リース」

2016年1月、IASBは新標準であるIFRS第16号「リース」を公表した。この新基準では、全てのリース（短期リース及び少額資産リースを除く）が対応する債務とあわせて使用权資産として貸借対照表で認識されるため、借手に大きな影響を与える。リース負債及び使用权資産は、当初認識時に将来支払リース料の現在価値で測定される。リース料は、利息費用と償却費として認識される。貸手の会計処理に変更はない。

IFRS第16号はまだEUによる承認を受けていないが、2019年1月1日より適用される予定である。当行グループは新基準の影響の分析に着手した。借手として、当行グループの財務諸表に見込ま

れる影響を合理的に見積もるにはまだ時期尚早である。当行グループは、2019年よりこの基準を適用予定である。

18. 重要な会計上の見積り、判断及び仮定

当行及び当行グループの連結財務諸表を作成する場合、経営陣は、会計方針の適用に加え、資産及び負債の帳簿価額、収益及び費用に影響を与える見積り、判断及び仮定を行う。見積りと仮定は継続的評価を前提にしており、過去の実績及び貸借対照表日時点で発生が見込まれる将来事象の予想を含めたその他の要因に基づいている。

貸出金の減損

将来キャッシュ・フローの見積りは、経験的データ及びマクロ経済の今後の成長や実際の貸出金の履行状況、貸借対照表日現在の状況に関する経営陣の判断に基づいて行われる。見積りは、事業部門及び本部の与信部門が関与したプロセスの結果であり、経営陣による最善の見積りである。貸出金の減損を検討する場合には、担保評価を含め、減損の客観的な証拠の識別、将来キャッシュ・フローの金額及びタイミングの見積り等の、複数の不確実な要素が存在する。信用リスクの管理及びフォローアップの詳細については（注5）「信用リスク」を参照のこと。

個別減損

個別の貸出金及び保証に関する減損を見積る場合は、顧客の現在及び将来の財政状態が検討される。法人顧客に関しては、顧客の債務弁済能力に影響を与えうる関連業界の市場環境及び一般市場環境とともに、市場全体の状況もレビューされる。さらに、貸出条件の緩和、リファイナンス、及び資本再編成の可能性と結果、並びに破産の可能性と担保として供された資産に対する担保権実行の可能性も考慮される。観察可能な市場データが入手できない担保の評価に関しては、不確実性が存在する。これらの要因の総合評価が将来キャッシュ・フロー見積りの根拠となる。特定の産業及び／又は地域において経済の低迷が長期化した場合、判断及び見積りの適用はより厳しいものとなる。割引期間は個別に推定されるか、又は減損の客観的な兆候を引き起こした問題の解決に至るまでに通常要する期間に関する経験的データに基づいて、推定される。

集合的減損

予想将来キャッシュ・フローは、グループ毎の予想損失及び予想される経済状況に基づいて見積りが行われる。予想損失は、関連するグループの過去の損失実績に基づいて算出される。経済状況は、当該市場についての外部情報に基づき、各グループに関する経済指標を使用して推定される。対象のグループに応じて、様々なパラメーターが使用される。主なパラメーターは、経済における設備稼働率を示す生産ギャップ、住宅価格、原油価格、サーモンの価格及び海上輸送費である。用いられた経済指標と過去の減損との間には高い相関がみられる。集合的減損の貸出金に関する予想将来キャッシュ・フローの正味現在価値を見積るために、個別評価の貸出金において観察された経験的データに基づいた割引係数が使用される。

デリバティブ及びその他金融商品の公正価値

活発な市場で取引されていない金融商品の公正価値は、種々の評価技法を使用して決定される。当行グループは、可能な限り貸借対照表日の市場環境を表す観察可能な市場データに基づいた技法と仮定を考慮して選択する。観察可能な市場データが入手できない金融商品を測定する場合、当行グループは、市場参加者が類似した金融商品の評価基準として使用すると予想されるものについて、仮定を行う。中でも流動性リスク、信用リスク及びボラティリティを計算する場合には、その評価にはかなりの判断が必要となる。これらの要因が変動した場合は、当行グループが保有する金融商品の見積り公正価値が影響を受ける。詳細については（注28）「公正価値で測定される金融商品」を参照のこと。

繰延税金資産及び不確実な税金負債を含む、法人税

当行グループは多くの法域において法人税の課税対象となっている。当行グループの連結財務諸表において、繰延税金資産及び不確実な税金負債の認識に関する評価を含む法人税を決定する時には、かなりの判断が必要となる。

繰延税金資産は当行グループが将来の課税所得を利用できる可能性が高い範囲で認識できる。認識可能な金額を決定するためには、利用可能と見込まれる期間、税務目的で算定される利益の水準に加え、タックスプランニング戦略や将来加算一時差異の有無など、広範な評価が必要となる。多くの取引に関する最終的な税金負債額とその算定には不確実性が伴っている。当行グループは、税の不服審査に係る将来の結果に関する債務を、法人所得税の変動の見積りに基づいて認識している。貸借対照表に認識される不確実な税金債務の評価を行う場合は、当該債務の発生する蓋然性が検討される。税の不服審査の最終結果が貸借対照表に認識されていた金額と乖離していた場合には、その乖離は当該期間の損益計算書に計上された法人所得税費用に影響を与えることになる。

注2 セグメント

DNBにおける財務ガバナンスは異なる顧客セグメントに適応している。全体的な顧客関係とセグメント別の利益率の追及は、戦略上の優先順位を定め、当行グループの経営資源の配分を決定するに当たって重要な二大要素である。特殊商品部門には当該分野の商品の組成と開発に加え、当行グループが多様な顧客セグメントのニーズを満たすよう確実に期す責任がある。セグメント毎に報告された数値は、当該顧客セグメントに対する、当行グループの商品及びサービスの売上総額を反映している。

個人顧客部門	電子的なチャネル及び対面のチャネルの両方を含むすべてのチャネルを通じた、個人顧客向けの当行グループの全商品及びサービスを含む。DNBは、外部チャネル（郵便局や店舗内の郵便及び銀行業務）に加え、支店、テレフォンバンキング（年中無休）、デジタルバンキング、不動産売買仲介などから成るノルウェー最大の流通網を通じて、多様な商品を展開している。
中小企業部門	ノルウェー国内の中小企業に向けて、商品販売と助言業務を行っている。このセグメントの顧客は、小企業や設立間もない企業から比較的大規模な法人顧客まで多岐にわたっており、展開している商品も顧客のさまざまなニーズに応じて柔軟に対応している。中小企業に対しては、デジタルとテレフォンバンキング（年中無休）に加え、ノルウェー全土にわたる当行グループの物流ネットワークを通じてサービスを提供している。
大企業・国際部門	ノルウェー国内外の大手法人企業のみならず、バルト諸国やポーランドにあるDNBの子会社銀行のすべての顧客を対象としている。業務は十分な金融業界の専門知識と長期的な顧客関係の維持に基づいて行われている。
トレーディング部門	マーケット・メイキングのほか、顧客取引に内在するリスクのリスク管理を含む株式、債券、通貨及びコモディティ（FICC）に関するその他のトレーディング業務が含まれている。マーケット部門のトレーディング業務は顧客の活動をサポートするものである。

各セグメントに関する損益計算書及び貸借対照表は、現在の事業展開の評価及び資源配分のため、グループ経営陣（最高経営意思決定機関）向けに報告される、DNBバンクグループの機能組織別のセグメントに関する内部財務報告に基づいて作成されている。各セグメントの数値は、当行グループの会計方針及びDNBの管理モデルに基づいている。当行グループのセグメント間の費用及び資本の配賦には、多くの仮定、見積り及び裁量的な配分が関わっている。

各セグメントに配賦された資本は、当行グループの普通株式等Tier 1資本及び長期的な資本構成目標に基づいて算定される。保険事業に対しては特別な自己資本規制があり、これらの会社においては、配賦資本額は資本計上額に対応する。当グループのその他の事業に関しては、すべてのユニットへの資本配賦は、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに対する所要自己資本を伴う、当行グループによるバーゼルIIIへの準拠に基づいて行われている。信用リスクの配賦は、当行グループの、信用に係るリスク調整後所要資本の内部測定に基づいている。市場リスクに対する所要自己資本は、加重リスク量に従って直接配賦され、オペレーショナル・リスクは個々のユニットの収益合計に基づいて配賦されている。

損益計算書

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	個人顧客部門		中小企業部門		大企業・国際部門		トレーディング 部門		その他の事業/ 消去1)		DNBバンク グループ	
	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度
純利息収入	13,223	13,655	6,358	6,131	14,300	15,196	28	89	609	464	34,517	35,535
その他の営業収益純額	3,567	3,691	1,418	1,190	5,381	5,232	2,976	1,503	1,974	5,292	15,316	16,909
収益合計	16,790	17,346	7,776	7,322	19,681	20,427	3,004	1,592	2,582	5,756	49,833	52,444
営業費用	(8,025)	(8,176)	(2,777)	(2,521)	(6,364)	(6,341)	(547)	(504)	(699)	510	(18,413)	(17,032)
固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損	(149)	(131)	(326)	(320)	(1,044)	(1,135)	(1)	(2)	(583)	(572)	(2,103)	(2,159)
営業費用合計	(8,174)	(8,307)	(3,102)	(2,840)	(7,408)	(7,476)	(548)	(505)	(1,283)	(62)	(20,516)	(19,191)
減損前の税引前営業利益	8,616	9,039	4,674	4,481	12,272	12,951	2,455	1,087	1,300	5,694	29,317	33,253
固定資産及び無形資産に係る純利得	0	0	2	(2)	24	53			(44)	(7)	(19)	45
貸出金及び保証に係る減損2)	392	939	(1,082)	(1,068)	(6,734)	(2,108)			(0)	(33)	(7,424)	(2,270)
再取得した業務からの利益			6	3	8	(67)			(14)	64		
税引前営業利益	9,008	9,979	3,599	3,414	5,570	10,829	2,455	1,087	1,241	5,719	21,874	31,028
法人所得税費用	(2,252)	(2,694)	(900)	(922)	(1,504)	(3,140)	(614)	(283)	1,306	(716)	(3,964)	(7,755)
売却目的保有の事業による利益(税引後)	(1)	2			3				2	(53)	4	(51)
当期利益	6,755	7,286	2,699	2,492	4,070	7,689	1,841	804	2,549	4,951	17,914	23,222

- 1) その他の事業/消去に関する詳細については、下記の表を参照。
2) 当行グループの減損の総変動額の分析については、(注10)「主要顧客グループ別の貸出金及び保証に係る減損」を参照。

貸借対照表

DNBバンク グループ

(単位：十億ノルウェー・クローネ)	個人顧客部門		中小企業部門		大企業・国際部門		トレーディング 部門		その他の事業/ 消去		DNBバンク グループ	
	2016年 12月31日	2015年 12月31日	2016年 12月31日	2015年 12月31日	2016年 12月31日	2015年 12月31日	2016年 12月31日	2015年 12月31日	2016年 12月31日	2015年 12月31日	2016年 12月31日	2015年 12月31日
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在
顧客向貸出金1)2)	718	685	233	220	521	570	30	33	(9)	24	1,492	1,532
売却目的保有の資産		0			0	0			52	0	53	0
その他の資産	28	27	5	7	138	125	1,240	1,241	(608)	(617)	803	783
資産合計	746	713	238	227	659	695	1,270	1,274	(565)	(593)	2,348	2,316
顧客預金1)2)	397	393	190	167	379	380	14	13	(34)	4	946	957
売却目的保有の負債						(0)			41	0	41	0
その他の負債	311	289	25	40	195	246	1,249	1,253	(608)	(644)	1,171	1,185
負債合計	708	682	214	207	574	626	1,263	1,266	(601)	(640)	2,158	2,142
配賦資本3)	37	31	24	20	85	69	7	7	36	47	190	173
負債及び資本合計	746	713	238	227	659	695	1,270	1,274	(565)	(593)	2,348	2,316

- 1) バルト諸国の顧客向貸付金及び顧客預金は、2016年8月に売却目的保有の資産及び負債に分類されたにもかかわらず、大企業・国際部門に含まれている。この分類変更は、その他の事業/消去に反映されている。分類変更された貸付金は45十億ノルウェー・クローネ、分類変更された預金は36.5十億ノルウェー・クローネであった。
2) 顧客向貸出金には、未收利息、減損及び評価調整を含んでいる。同時に顧客預金には未払利息及び評価調整を含んでいる。2015年11月に合計約20十億ノルウェー・クローネ、2016年11月に追加で5十億ノルウェー・クローネの住宅ローンのポートフォリオが、DNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリンに売却された。2016年の第4四半期に、2.6十億ノルウェー・クローネ及び4.5十億ノルウェー・クローネの商業用不動産担保ローンが、DNBナエリングスクレディット及びDNBバンクからDNBエイ・エス・エイが保有する生命保険会社であるDNBリフスフォルシクリンにそれぞれ売却された。
3) セグメントに対する配賦資本は、当行グループが充足しなければならない外部の自己資本適正要件(バーゼルIII)に基づき算出している。2016年に配賦された資本は、普通株式Tier 1資本比率17.2%であり、2015年は14.5%であった。計上された資本は当行グループのために使用される。

主要な数値

DNBバンク グループ

(単位：％)	個人顧客部門		中小企業部門		大企業・国際部門		トレーディング部門		その他の事業／消去		DNBバンクグループ	
	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度
収益に対する費用の比率1)	48.7	47.9	39.9	38.8	37.6	36.6	18.3	31.7			41.2	36.6
12月31日現在の預金の貸出に対する比率2)	55.4	57.3	81.4	75.8	72.9	66.8					63.4	62.5
配賦資本に対するリターン3)	17.7	22.7	11.2	12.0	4.7	10.9	25.4	11.2			10.3	15.1

- 1) 収益合計に対する営業費用合計。
- 2) 顧客向貸出金に対する顧客預金。
- 3) セグメントに対する配賦資本は、当行グループが充足しなければならない外部の自己資本適正要件（バーゼルIII）に基づいて算出されている。計上された資本は当行グループのために使用される。

その他の事業／消去

その他の事業／消去には、IT、オペレーション、HR（人事）、グループ・トレジャリーを含むグループ・ファイナンス、リスク管理、コーポレートコミュニケーション、部分保有している会社であるノルウェー輸出金融公社、ITインフラへの投資並びに株主関連費用が含まれる。それに加え、その他の事業／消去には、セグメントには配賦されない当行グループの資本の一部が含まれている。DNBバンクグループに全部連結されている再取得した業務からの利益は、当社の内部報告セグメントの中に「再取得した業務からの利益」として純額表示されている。取得した企業及びすべてのグループ内の消去はその他の事業／消去に含められている。

税引前営業利益

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
未配賦の受取利息	190	138
持分投資による利益 (注20を参照のこと。)	44	126
金融商品に係る時価調整 (注20を参照のこと。)	436	1,000
ベシス・スワップ (注20を参照のこと。)	(542)	2,685
関連会社からの収益	1,190	(45)
投資不動産に係る純利得	34	312
再取得した業務からの利益	(14)	64
未配賦の人件費 (注21を参照のこと。)1)	(136)	1,450
未配賦のIT及びオペレーション費用	205	278
ITリストラクチャリング費用		(234)
引当金の戻入れ (注22を参照のこと。)	24	46
固定資産の減損及び投資不動産に係る評価調整	34	(60)
その他	(223)	(42)
税引前営業利益	1,241	5,719

- 1) 2015年度における、1,778百万ノルウェー・クローネの年金費用に対する未配賦の非経常費用が含まれている。

地域別

損益計算書

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	国際業務		ノルウェー		DNBバンク グループ	
	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度
純利息収入	7,863	8,321	26,654	27,214	34,517	35,535
その他の営業収益純額	2,687	3,885	12,629	13,024	15,316	16,909
収益合計	10,550	12,206	39,283	40,237	49,833	52,444

貸借対照表

DNBバンク グループ

(単位：十億ノルウェー・クローネ)	国際業務		ノルウェー		DNBバンク グループ	
	2016年 12月31日	2015年 12月31日	2016年 12月31日	2015年 12月31日	2016年 12月31日	2015年 12月31日
	現在	現在	現在	現在	現在	現在
顧客向貸出金	224	299	1,268	1,233	1,492	1,532
資産合計	314	340	2,034	1,975	2,348	2,316
保証	35	37	63	74	99	110

プロダクト情報

プロダクトの詳細については、(注17)「純利息収入」、(注18)「貸借対照表項目(抜粋)に係る金利」、並びに(注19)「正味手数料」を参照のこと。

注3 自己資本対策及び自己資本規制

DNBグループは、規制による普通株式等Tier1(以下、「CET1」という。)資本比率合計に加え、約1.0%の経営上のバッファを維持することを目指している。経営上のバッファの目的は、例えば、為替レートの動向や信用スプレッドの変動等の結果として生じるリスク加重資産や収益の変動を吸収することにある。これにより当グループは貸付の正常な成長並びに予測可能な配当政策を維持することが可能になる。2016年度末現在、規制CET1資本比率の合計は14.7%であった。DNBの内部目標値は15.7%であった。資本構成の目標値は常に、当グループのリスク加重資産を踏まえたものである。ノルウェーの銀行は、自己資本規制計算の移行ルールの対象となり、リスク加重資産合計はバーゼル 規制に従い計算された対応数値の80%を下回らないと規定されている。

2016年度末現在、DNBバンク グループのCET1資本比率は15.7%、自己資本規制比率は20.0%であり、前年度はそれぞれ14.3%及び17.9%であった。リスク加重資産は、2016年度末は1,041十億ノルウェー・クローネであり、前年度は1,057十億ノルウェー・クローネであった。リスク加重資産に関するバーゼルIのフロア(下限)がDNBバンク グループに適用され、2016年度末現在、バーゼル 規則に基づき算出した比率と比べCET1資本比率が2.0ポイント低下した。

2016年度末現在、DNBバンク エイ・エス・エイのCET1資本比率は19.1%、前年度末は15.1%であった。2016年度末現在、自己資本規制比率は24.8%、前年度末は19.3%であった。

2016年度末現在、リスク加重資産の移行ルールに従い算出されたDNBボーリ・クレジット エイ・エスのCET1資本比率は16.0%、自己資本規制比率は18.0%であった。移行ルールが適用されなかった場合、2016年度末現在のDNBボーリ・クレジットのCET1資本比率及び自己資本規制比率は、それぞれ19.6%及び22.1%となる。

リスク加重自己資本規制制度の補足として、バーゼル委員会は新たな自己資本測定「レバレッジ比率」又はノンリスクベースCET 1 資本比率を導入した。バーゼル委員会は、2015年からの同比率の開示を義務付け、2018年からの最低レバレッジ比率規制の導入を提言した。バーゼル委員会の提言に従い、欧州委員会は3 %の最低レバレッジ比率規制の導入を提言した。

ノルウェー財務省は、ノルウェーの金融機関及び投資会社向けのレバレッジ比率の最低要件を設定した。レバレッジ比率の最低要件は、その他Tier 1 資本を含むCET 1 資本に基づき計算され、2017年6月30日から発効される。算出基準は、通常の自己資本比率を算出するための標準的手法で使用される掛目で算定された資産及びオフバランスシート項目で構成されている。さらに、デリバティブ及びレポ取引に対し特別な調整が行われる。保険業務は含まれていない。資本の定義と算出基準は国際規則に準拠している。ノルウェーのレバレッジ比率要件は、全金融機関に適用される3 %の最低要件、銀行に強制適用される2 %のバッファ、システム上重要な銀行に強制適用される1 %の追加バッファからなる。DNBはノルウェーで唯一、6 %のレバレッジ比率が要求される金融機関である。

当行グループは、CRR第429条（改訂）及び2015年1月18日に発効した欧州委員会規則に従いレバレッジ比率を算出している。2016年度末現在、当行グループのレバレッジ比率は7.1% であり、前年度の6.4%から増加した。DNBは最低要件である6 %を大幅に上回っている。

自己資本規制

適正自己資本は銀行及び投資会社に対するEUの新たな自己資本規制（CRD / CRR）に従って報告されている。法定財務諸表に適用される評価規則は、連結規則により定められている特別な連結規則に従う連結会計の基礎を成すものである。

DNBバンク エイ・エス・エイ 第一次自己資本			DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
151,533	168,104	資本合計	190,078	173,412
		規制上の連結による影響	(181)	(541)
(8,053)	(15,574)	資本合計に含まれるその他Tier 1 資本調達手段	(15,574)	(8,053)
(219)	(284)	その他Tier 1 資本調達手段に係る正味未払利息	(284)	(219)
143,261	152,246	普通株式等Tier 1 資本調達手段	174,039	164,599
		控除		
(38)		年金債務を上回る年金基金		(38)
(3,012)	(2,900)	のれん	(2,951)	(3,029)
(195)	(224)	一時差異に係るものを除く繰延税金資産	(482)	(640)
(663)	(699)	その他の無形資産	(946)	(1,075)
		グループ配当（未払）	(5,084)	(5,000)
(1,383)	(6)	IRBポートフォリオの実損失を上回る予想損失	(153)	(2,309)
(671)	(479)	慎重な価値評価の要件に基づく評価調整(AVA)	(786)	(1,055)
(15)	107	公正価値で計上された負債に係る未実現損失 / (利得) に対する調整	(90)	(412)
(785)	(580)	デリバティブ負債に係る当該機関の自己の信用リスクから生じる未実現損失 / (利得) に対する調整(DVA)	(159)	(150)
136,499	147,467	普通株式等Tier1資本	163,388	150,889
10,267	17,471	その他Tier 1 資本調達手段	17,471	10,267
146,766	164,938	Tier1資本	180,860	161,156
5,702	5,602	永久劣後債	5,602	5,702
22,185	21,249	期限付劣後債	21,249	22,185
27,887	26,851	Tier2資本	26,851	27,887
174,653	191,789	適格自己資本合計	207,711	189,043
906,084	773,244	リスク加重資産、移行ルール	1,040,888	1,056,731
72,487	61,860	最低所要自己資本、移行ルール	83,271	84,539
15.1	19.1	普通株式等Tier1資本比率、移行ルール(%)	15.7	14.3
16.2	21.3	Tier1資本比率、移行ルール(%)	17.4	15.3
19.3	24.8	自己資本比率、移行ルール(%)	20.0	17.9

パーゼル

信用ポートフォリオの大半はIRB手法に従って報告されている。ただし、銀行及び金融機関（DNBバンク）という一つのポートフォリオについては依然として、IRBに関するFinanstilsynetからの最終的な承認を待っている状況にある。シミュレーションモデルで格付けした大手法人顧客(DNBバンク)ポートフォリオは2015年12月に承認されている。

リスク加重資産及び所要自己資本の詳細

DNBバンク エイ・エス・エイ

	名目エクスポージャー 2016年 12月31日 現在	EAD ¹⁾ 2016年 12月31日 現在	平均リスク 加重 (%) 2016年 12月31日 現在	リスク加重 資産 2016年 12月31日 現在	所要 自己資本 2016年 12月31日 現在	所要 自己資本 2015年 12月31日 現在
(単位 : 百万ノルウェー・クローネ)						
IRB手法						
事業法人	753,590	600,034	48.8	292,590	23,407	24,752
特別貸出 (SL)	7,742	7,482	52.0	3,891	311	396
リテール - 住宅ローン	79,758	79,758	25.0	19,910	1,593	2,045
リテール - その他のエクスポージャー	112,484	92,484	25.7	23,759	1,901	1,965
証券化	12,760	12,760	91.8	11,718	937	1,201
信用リスク合計、IRB手法	966,334	792,518	44.4	351,868	28,149	30,359
標準的手法						
中央政府	42,948	55,454	0.1	79	6	30
金融機関	429,144	352,369	22.0	77,428	6,194	13,545
事業法人	102,181	80,795	93.0	75,109	6,009	6,713
リテール - 住宅ローン	7,152	6,650	39.4	2,619	210	177
リテール - その他のエクスポージャー	104,855	33,820	74.6	25,228	2,018	1,587
株式	120,148	120,148	100.3	120,482	9,639	9,807
その他の資産	11,584	11,584	88.5	10,249	820	1,704
信用リスク合計、標準的手法	818,012	660,820	47.1	311,195	24,896	33,563
信用リスク合計	1,784,346	1,453,338	45.6	663,063	53,045	63,922
市場リスク						
ポジション・リスク - 負債性金融商品				23,189	1,855	1,849
ポジション・リスク - 資本性金融商品				310	25	19
為替リスク						
コモディティ・リスク				72	6	3
信用評価調整リスク (CVA)				12,179	974	947
市場リスク合計				35,749	2,860	2,818
オペレーショナル・リスク				74,433	5,955	5,747
移行ルール適用前のリスク加重資産及び所要自己資本合計				773,244	61,860	72,487
移行ルール適用による追加の所要自己資本						
リスク加重資産及び所要自己資本合計				773,244	61,860	72,487

1) EAD (デフォルト時のエクスポージャー)

リスク加重資産及び所要自己資本の詳細

DNBバンク グループ

	名目エクスポージャー	EAD ¹⁾	平均リスク加重 (%)	リスク加重資産	所要自己資本	所要自己資本
	2016年 12月31日 現在	2016年 12月31日 現在	2016年 12月31日 現在	2016年 12月31日 現在	2016年 12月31日 現在	2015年 12月31日 現在
(単位：百万ノルウェー・クローネ)						
IRB手法						
事業法人	1,039,384	842,921	48.4	407,740	32,619	33,421
特別貸出 (SL)	8,825	8,517	52.3	4,456	356	468
リテール - 住宅ローン	706,195	706,195	22.1	155,814	12,465	12,241
リテール - その他のエクスポージャー	112,484	92,484	25.7	23,759	1,901	1,965
証券化	12,760	12,760	91.8	11,718	937	1,201
信用リスク合計、IRB手法	1,879,648	1,662,878	36.3	603,487	48,279	49,295
標準的手法						
中央政府	55,426	69,760	0.1	84	7	33
金融機関	163,442	115,757	24.2	28,036	2,243	2,390
事業法人	161,010	127,939	86.0	109,983	8,799	10,164
リテール - 住宅ローン	51,665	49,631	45.5	22,559	1,805	1,764
リテール - その他のエクスポージャー	122,926	48,737	75.4	36,742	2,939	2,642
株式	8,278	8,277	106.1	8,783	703	263
証券化	1,760	1,160	44.6	518	41	60
その他の資産	13,639	13,639	78.7	10,733	859	763
信用リスク合計、標準的手法	578,145	434,899	50.0	217,439	17,395	18,078
信用リスク合計	2,457,793	2,097,777	39.1	820,926	65,674	67,373
市場リスク						
ポジション・リスク - 負債性商品				14,615	1,169	1,141
ポジション・リスク - 資本性商品				310	25	36
為替リスク						
コモディティ・リスク				72	6	3
信用評価調整リスク (CVA)				6,156	493	514
市場リスク合計				21,153	1,692	1,695
オペレーショナル・リスク				83,440	6,675	6,742
移行ルール適用前のリスク加重資産及び所要自己資本合計				925,519	74,042	75,810
移行ルール適用による追加の所要自己資本 ²⁾				115,368	9,229	8,728
リスク加重資産及び所要自己資本合計				1,040,888	83,271	84,539

1) EAD (デフォルト時のエクスポージャー)

2) 移行ルールのため、最低所要自己資本は、バーゼルIに則って算出した所要自己資本の80%を下回ることはできない。

[次へ](#)

注4 リスク管理

DNBにおけるリスク管理

DNB エイ・エス・エイの取締役会は、全般的にリスク・プロファイルに対しては保守的な姿勢を維持し、並びに通常の長期負債に関してAAレベルの格付を維持するという目標を明確に掲げている。DNBの収益性は、金融サービスに伴い生ずるリスクを特定し、管理し、正確にプライシングをすることができるかどうかという能力に掛かっている。

組織体制及び承認手順

取締役会。DNB エイ・エス・エイの取締役会は、当グループのリスク・プロファイルに関して長期目標を設定している。リスク・プロファイルは、承認の設定を含むリスク管理の枠組みの中で管理される。リスク・テイキングは、決められた限度内にとどめなければならない。

承認。信用供与並びにすべての重要な金融分野におけるポジション及びトレーディングの限度枠に関して承認を受けなければならない。

すべての承認は個々に行われる。承認及びグループの限度枠は取締役会が決定し、組織内で委任されるが、さらに他に委任する際には直属の上司の承認を必要とする。

限度枠の年次見直し。リスク限度枠は、予算策定及び計画立案のプロセスに関連して年に最低でも一回見直される。

独立したリスク管理機能。リスク管理機能及びリスク管理ツールの開発は、個々の事業部門の業務からは独立した部門によって行われる。

リスク情報のモニタリング及び利用

説明責任。すべての役員は、自身の担当分野のリスクに関して責任を負い、常に最新のリスク状況を完全に把握していなければならない。

リスクに関する報告。当グループのリスクに関する報告は、すべての役員が現在のリスク水準及び将来の動向に関する必要な情報を持てるようにするためのものである。高品質かつ独立したリスク報告を行えるように、報告に関する責任は、事業部門からは独立した部門に課せられる。

資本評価。当グループの自己資本及びリスク状況に関する概要及び分析は、DNB エイ・エス・エイの取締役会に四半期ごとのリスク報告書で提出される。

リスク情報の利用。リスクは事業部門の管理及びモニタリングの不可欠な部分である。リスク調整後リターンは、商品の価格算定、利益の計算並びに事業部門の業績モニタリングに反映される。

関連するリスク尺度

リスク選好度。DNBは明確化された目標値並びにリミットを通じてリスクをモニタリングしている。リスク選好度フレームワークは、DNBグループにとって重要であると考えられるリスクを網羅した17のステートメントで構成され、当行のリスクの全体像が俯瞰できるようになっている。目標値に対するリスクの動向がモニタリングされ、月次で当グループの経営チームに報告され、四半期ごとにDNBの取締役会に報告されている。リスク選好度の項を参照のこと。

当グループに共通のリスク尺度。当グループのリスクは、当グループのすべての事業部門並びに流動性リスクを除く主要なリスク・カテゴリーに関して算定され、経済資本の形で測定される。経済資本の項を参照のこと。

補完的なリスク尺度。さらに、リスクは、多岐にわたる事業部門の運営に適用される補完的なリスク尺度によってフォローアップされる。この補完的なリスク尺度は、例えば、限度枠、主要数値及びポートフォリオのリスク目標値と関連したポジションのモニタリング等である。

リスク・カテゴリー

DNBではリスクは、特別な測定及びモニタリングの対象となる、6つの主要カテゴリーに分類されている。

信用リスクは、当グループの顧客が債務の支払いができなかったことによって生じる金銭上の損失リスクである。信用リスクには、貸付金を中心とする顧客に対する債権すべてのみならず、それ以外の承認済み与信、保証、固定利付債券、未実行与信残高及び銀行間預金に関する債務が含まれる。カウンターパーティー・リスクも信用リスクの一つであり、デリバティブ取引を通じて生じる。

市場リスクは、外国為替、金利、コモディティ及び株式市場における当行の未ヘッジポジションがもたらす損失のリスクである。当リスクは、市場価格及び為替相場の変動による利益の変動の結果生じる。市場リスクは、通常のトレーディング業務を通じて生じるリスク並びに銀行業務及びその他の事業運営の一環として生じるリスクの双方を含む。さらに、DNBリフスフォルシクリン エイ・エスの市場リスクは、金融資産からのリターンが保険契約に定められた債務を履行するために十分でないリスクを反映して生じる。

オペレーショナル・リスクは、内部プロセス及びシステムの不備又は誤謬、人為的エラー又は外部事象が引き起こす損失のリスクである。オペレーショナル・リスクはまたコンプライアンス・リスク、法的リスク、コンダクト・リスク及びITリスクを含む。コンプライアンス・リスクは法令違反の結果として生じる損失リスクである。法的リスクは、契約の書類作成及び解釈、銀行業務を行う法域で異なる法律実務に関連している。コンダクト・リスクは、顧客本位でない金融サービスの提供又は一般的に非難されるべき行動に起因する損失に関連する既存又は潜在的な損失リスクとして定義される。

保険リスクは、DNBリフスフォルシクリン エイ・エス及びDNBフォルシクリン・エイ・エスに生じ、将来の保険債務に関連している。生命保険では、保険リスクは保険契約者の平均余命及び就業不能率の変動を反映している。損保保険では、保険リスクは将来の保険金支払の発生頻度及び支払額に関連している。

流動性リスクは、当行グループが期限の到来した債務を履行できないリスクであるほか、当行グループが付随費用の大幅な増加なくして流動性確保義務を満たすことができなくなるリスクである。流動性は金融業に不可欠である。他の事象が当行グループの債務履行能力に関する懸念を引き起こすまで顕在化しないという点で、このリスク・カテゴリーは条件付きとなることが多い。

事業リスクは、市況又は政府の規制などの外部要因の変動による収益の変動又は風評の悪化による収益の喪失に関するものである。風評リスクは、多くの場合、その他のリスク・カテゴリーの結果として生じる。当行グループのビジネスリスクは、主として当行グループの評判を守り、高めるための戦略プロセス及び継続的取組みを通じて対処されている。当グループのリスク選好度の決定及びフォローアップを行う際に、風評リスクは独立したリスクとして定義されている。風評リスクはメディア報道をモニタリングすることにより追跡管理され、一方で、競争状況は市場動向と市場占有率の趨勢分析により追跡管理されている。

上述のリスク・カテゴリーに加え、当行グループは、既存の戦略的チャンスを有効に生かすことができなかった場合に収益が悪化するリスクとして定義される戦略リスクにさらされている。当行グループの戦略リスクは、個別に測定並びに報告はされないが、年次戦略プロセスの一環として議論されている。

リスク選好度

DNB エイ・エス・エイの取締役会は、リスク選好度フレームワークを通じて、当グループのリスク・プロファイルの長期的な目標を設定している。リスク選好度フレームワークは、当グループのガバナンスプロセスと一体化されるよう確実を期すことを目的としている。リスク選好度フレームワークは、事業におけるリスクに関して、バランスよく全体像を俯瞰できるものでなければならない。2016年には、フレームワークは、17のステートメントで構成されていた。このフレームワークを支えるために、DNBグループにおける一連のガバナンス原則、運用手続き及び責任が明確化されている。目標とするリスク・プロファイルも、権限及びビジネスリミットの策定を含め、リスク管理の他の部分に反映されている。当該リスク選好度フレームワークについては、少なくとも一年に一度は検証が行われる。また取締役会も、リスクレベル、フレームワークのありかたに加え、関連するリスク・カテゴリーの報告についても定期的に検証を行っている。

リスク選好度フレームワークのリミットは、各事業部門及びサポート部門で実際に使われている。当グループのガバナンスシステムでは、リスク選好度フレームワークは選択されたリスク指標に対する目標値として設定されている。通常、リスク指標は（定量化が可能なリスクに対する）リミット又は、リスクレベルに対する定性的な評価の形を採る。この指標は、対応すべきリスクタイプや傾向は同じであっても、必ずしもグループレベルで用いられているものと同じ測定パラメーターに基づいている必要はない。これらの目標値を継続的にモニタリングすることにより、最も重要であると考えられるリスクも、組織内のモニタリングと討議の対象となる。

DNBバンク グループの経済資本

経済資本はさまざまな事業活動から生じる損失のリスクの尺度である。経済資本により、さまざまなリスク・カテゴリーにわたってリスクを比較することが可能になる。通常のビジネスサイクルで生じる平均的な損失は、当行グループの商品に対する正しい価格設定を通じてカバーすべき期待費用を表している。経済資本は、予期せぬ損失をカバーしなければならない。経済資本の定量化は、過去のデータについての様々なリスク・カテゴリーの統計的確率計算に基づいて行われる。DNBは、経済資本は、一年内のタイム・ホライズンで潜在的な損失を99.97%カバーするものとするとして規定している。この水準は、DNBバンク エイ・エス・エイの通常の長期負債に対するAAレベルの格付に従ったものである。

DNBでは、信用リスク、市場リスク、生命保険に対する市場リスク、保険リスク、損害保険に対するリスク、オペレーショナル・リスク及び事業リスクといった各リスク・カテゴリーに対し、経済的資本を定量化している。さまざまなリスクをあわせて検討した場合、すべての損失が同時に発生する可能性は高くないため、大幅な分散化又はポートフォリオ効果が生じる。通常、景気の低迷は大半の事業部門に対しマイナスの影響を及ぼすが、分散化の影響により、すべての事業部門が同じように大きな打撃を受けるとは限らない。リスク・カテゴリーと事業部門の間にみられる分散化効果は、当グループの経済資本が、仮に事業部門が独立した企業であったと想定した場合よりも、かなり低くなっていることを意味している。

2016年12月末現在、DNBバンク グループの正味経済資本は67.2十億ノルウェー・クローネであると見積もられており、2015年12月末現在に比べ、1.3十億ノルウェー・クローネ減少している。

注5 信用リスク

信用リスク又はカウンターパーティ・リスクは、当行グループの顧客又はカウンターパーティが、当行グループに対して支払債務を履行できなくなることによる財務上の損失リスクである。信用リスクは貸出金を中心とする顧客又はカウンターパーティに対する債権すべてに関連しているだけでなく、他の幅広い信用供与、保証、利付証券、未使用の与信枠、銀行間の預け金や貸出枠という形態でのコミットメント、並びに為替及び金利デリバティブの取引を通じて生じるカウンターパーティ・リスクなどがそれに含まれる。加えてカウンターパーティ・リスクは、契約に係る支払送金や決済に関して生じる決済リスクの主要因である。

信用リスクは、ある地域や産業、あるいは同質の顧客グループに貸出金がかたまってしまう等、特定の顧客に対するエクスポージャーが大きくなっていくことに関するリスクを含む、集中リスクを含んでいる。残余リスクは、貸出金を裏付ける担保が予想よりも効果的でなくなってしまうリスクである。信用リスク管理及び測定に関しては、リスク及び自己資本管理（第3の柱）レポートの中にさらに詳細が記載されている。与信業務に係る当行グループのガイドラインは、DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会による承認を受けている。与信業務の主な目的は、貸出ポートフォリオの質と構成が、当行グループの短期及び長期の収益性の適切な基盤となるよう確実を期することである。貸出ポートフォリオの質は、リスクの低いポートフォリオを維持するというDNBの目標と整合すべきである。当行グループの信用リスクがリスク調整後自己資本として計量化されている（注4）「リスク管理」もあわせて参照されたい。

信用リスクの最大エクスポージャーには、金融資産の帳簿価額に加え、主として保証や未使用の与信枠と貸出枠等による未計上のエクスポージャーがある。保証、未使用の与信枠と貸出枠については、（注49）「オフ・バランスシート取引及び偶発事象」に記載されている。最大信用リスク・エクスポージャーとそれに関連する担保は下記の通りである。

信用エクスポージャー及び担保

DNBバンク エイ・エス・エイ

2016年12月31日現在

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	信用リスクの 最大エクスポ ージャー	不動産による 担保	有価証券による 担保	その他の担保 ¹⁾
中央銀行預け金	206,982			
金融機関向貸出金及び預け金	549,093		153,938	23
顧客向貸出金	690,060	240,109	49,187	217,055
コマーシャル・ペーパー及び債券	236,120			
デリバティブ	170,317		919	90,379
その他資産	12,726			
貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー	1,865,298	240,109	204,044	307,457
保証	88,679	8,543	162	33,410
未使用の与信枠と貸出枠	479,792	16,278	92	51,777
その他のコミットメント	3,861			
貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー	572,332	24,821	255	85,187
合計	2,437,630	264,930	204,299	392,644

信用エクスポージャー及び担保

DNBバンク エイ・エス・エイ

2015年12月31日現在

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	信用リスクの 最大エクスポ ージャー	不動産による 担保	有価証券による 担保	その他の担保 ¹⁾
中央銀行預け金	14,748			
金融機関向貸出金及び預け金	630,700		278,973	2
顧客向貸出金	705,532	239,554	43,429	238,366
コマーシャル・ペーパー及び債券	229,224			
デリバティブ	213,797		1,675	86,785
その他資産	23,209			
貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー	1,817,210	239,554	324,078	325,153
保証	95,867	10,827	227	31,498
未使用の与信枠と貸出枠	963,486	8,704	97	57,588
その他のコミットメント	4,576			
貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー	1,063,930	19,531	323	89,086
合計	2,881,140	259,085	324,401	414,239

信用エクスポージャー及び担保

DNBバンク グループ

2016年12月31日現在

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	信用リスクの 最大エクスポ ージャー	不動産による 担保	有価証券による 担保	その他の担保 ¹⁾
中央銀行預け金	207,279			
金融機関向貸出金及び預け金	174,908		153,938	23
顧客向貸出金	1,492,268	885,859	50,295	330,159
コマーシャル・ペーパー及び債券	230,647			
デリバティブ	157,957		919	90,379
その他資産	7,414			
貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー	2,270,472	885,859	205,152	420,560
保証	92,012	8,753	162	33,708
未使用の与信枠と貸出枠	606,122	79,219	92	78,869
その他のコミットメント	3,985			18
貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー	702,119	87,972	255	112,595
合計	2,972,591	973,831	205,407	533,155

信用エクスポージャー及び担保

DNBバンク グループ

2015年12月31日現在

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	信用リスクの 最大エクスポ ージャー	不動産による 担保	有価証券による 担保	その他の担保 ¹⁾
中央銀行預け金	16,911			
金融機関向貸出金及び預け金	297,457		279,056	44
顧客向貸出金	1,531,932	877,625	44,559	346,155
コマーシャル・ペーパー及び債券	226,224			331
デリバティブ	203,273		1,675	86,821
その他資産	7,920			
貸借対照表に反映される最大信用リスク・エクスポージャー	2,283,719	877,625	325,291	433,351
保証	98,595	11,077	227	31,710
未使用の与信枠と貸出枠	600,523	61,667	97	91,169
その他のコミットメント	4,841			
貸借対照表に反映されない最大信用リスク・エクスポージャー	703,959	72,745	324	122,879
合計	2,987,677	950,370	325,615	556,230

1) その他の担保には、ネットィング契約や受領した保証のようなその他の信用補完と合わせ、公正価値で評価された動産、保証、船舶、現金が含まれている。

上記の表には、信用リスク及びそれに関連した担保の評価額に係る、オンバランスシート及びオフバランスシート項目が記載されている。入手可能な場合には公正価値が表示されている。総じて公正価値は、担保の種類によって異なる評価技法を用いて見積もられている。不動産に関しては、同種の不動産に係る市場のパラメーターに基づいて、担保価値を見積もるモデルが用いられている。これに準じた手法が、その他の非金融担保で用いられている。入手可能で実効的な担保価値とするために、上記の表に含まれている担保の公正価値は、個々の貸出金又はエクスポージャーの最大信用エクスポージャーを上限としている。

2016年12月31日現在の主な項目の説明は以下の通りである。

中央銀行への預け金： 15,822百万ノルウェー・クローネにのぼるノルウェー銀行への預け金である。DNBバンクはノルウェー国外の、主としてOECD諸国の中央銀行との間で短期取引のみ行っている。

顧客向貸出金： 詳細に関しては、後述の「与信業務に係るガイドライン」を参照のこと。

コマーシャル・ペーパー及び債券： 詳細に関しては、後述の「その他の金融資産の信用エクスポージャー」を参照のこと。

デリバティブ： その他の担保は、顧客とその他の取引残高に対する相殺の機会及び受領した現金担保である。

保証： 詳細に関しては、後述の「与信業務に係るガイドライン」を参照のこと。

未使用の与信枠及び貸出枠： 110,435百万ノルウェー・クローネ及び109,819百万ノルウェー・クローネにのぼるDNBバンクグループ及びDNBバンク エイ・エス・エイにとっての貸出、与信及び与信枠の供与が最大信用エクスポージャーに含まれている。かかるエクスポージャーに対しては、正式な担保は設定されておらず、評価額も上記の表には含まれていない。いったん顧客によってかかる供与が受け入れられた場合に担保が設定される。かかる供与に関連した担保価値の評価は、後述の「与信業務に係るガイドライン」の箇所に記載されている手続及び基準に従って行われる。

貸出金及びコミットメントに係る信用リスクのエクスポージャー

(注6)及び(注7)では、主要顧客グループ別、地域別に当行グループの信用リスクのエクスポージャーが示されている。(注8)から(注11)まででは、減損した貸出金及び保証、並びに貸出金及び保証の減損が示されている。

貸出金及びコミットメントの分類

DNBの、顧客に係るリスク分類の内部モデルは、継続的に改善され吟味されている。モデルは、業界やセグメントが異なってもそれに合わせて対応できるようになっており、モデルで用いられている変数が、モデルに含まれている個々のパラメーターに対する主なリスク要因に基づいて常に高い説明力を有するよう確実を期すために、定期的に更新されている。DNBは自己資本充実度の算定にIRBAモデルを使用することに対する許可を得ている。所要自己資本の計算とリスク管理において同じ分類が使用されている。

与信が供与されているすべての法人顧客は、重要な与信への承認ごとに関連したリスクに従って、別段の定めがなされた場合を除いて、少なくとも一年に一度は分類されている。個人顧客市場では顧客の数が多いため、与信の供与の大半は自動化されたスコアリングと意思決定支援システムに基づいて行われている。リスク分類は各顧客及び当該顧客の与信コミットメントに関連した、長期リスクを反映したものでなければならない。

リスク分類システムは意思決定支援、モニタリング及び報告に用いられている。分類システムで用いられているリスク・パラメーターは与信プロセスだけでなく、与信方針のフォローアップを含めた継続的なリスクモニタリングに欠かせないものである。

質を測定するためにデフォルト確率（PD）が用いられている。当行ではポートフォリオを、各与信コミットメントのデフォルト確率に基づいて10段階のリスクレベルに分類している。

DNBのリスク分類¹⁾

リスク分類	デフォルト確率（％）		外部格付	
	から	まで	ムーディーズ	スタンダード&プアーズ
1	0.01	0.10	Aaa - A3	AAA - A-
2	0.10	0.25	Baa1 - Baa2	BBB+ - BBB
3	0.25	0.50	Baa3	BBB-
4	0.50	0.75	Ba1	BB+
5	0.75	1.25	Ba2	BB
6	1.25	2.00		
7	2.00	3.00	Ba3	BB-
8	3.00	5.00	B1	B+
9	5.00	8.00	B2	B
10	8.00	減損	B3, Caa/C	B-, CCC/C

1) DNBのリスク分類システムでは、1が最も低いリスクで10が最も高いリスクを表す。

リスク分類による貸出金及びコミットメント

DNBバンク エイ・エス・エイ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	顧客向総貸出額	保証		貸出金及びコミットメント 合計
		コミットメント	未使用の与信枠	
デフォルト確率に基づくリスク分類				
1 - 4	417,736	65,665	298,095	781,495
5 - 7	212,837	13,476	55,949	282,263
8 - 10	68,220	6,153	11,874	86,247
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証	11,972	647		12,619
2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計 ¹⁾	710,766	85,941	365,918	1,162,625
デフォルト確率に基づくリスク分類				
1 - 4	418,622	57,110	321,435	797,167
5 - 7	193,767	12,899	50,734	257,400
8 - 10	64,129	9,015	12,021	85,164
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証	22,048	1,885	1,514	25,447
2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計 ¹⁾	698,565	80,909	385,703	1,165,178

1) 額面金額に基づく。

貸倒水準¹⁾

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
受取利息の損失を含む標準化された損失（正味貸出額に対する比率％）	0.33	0.34

1) 貸倒水準の算定は、将来の損失（デフォルトの頻度）の確率、デフォルト時のエクスポージャー及び見積損失の大きさ（損失率）の評価に基づいている。なお、算定は一定の裁量及び見積りに基づいている。

リスク分類による貸出金及びコミットメント

DNBバンク グループ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	顧客向総貸出額	保証 コミットメント	未使用の与信枠	貸出金及びコ ミットメント 合計
デフォルト確率に基づくリスク分類				
1 - 4	1,014,114	68,542	458,666	1,541,321
5 - 7	411,733	14,011	79,427	505,170
8 - 10	92,148	6,251	15,748	114,147
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証	21,970	675		22,645
2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計 ¹⁾	1,539,964	89,479	553,841	2,183,284
デフォルト確率に基づくリスク分類				
1 - 4	1,016,937	58,948	469,223	1,545,108
5 - 7	367,157	14,091	70,838	452,086
8 - 10	88,700	9,946	29,563	128,209
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証	30,551	1,903	1,702	34,156
2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント合計 ¹⁾	1,503,345	84,889	571,326	2,159,559

1) 額面金額に基づく。

貸倒水準¹⁾

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
受取利息の損失を含む標準化された損失 (正味貸出額に対する比率%)	0.27	0.25

1) 貸倒水準の算出は、将来の損失 (デフォルトの頻度) の確率、デフォルトに対するエクスポージャー及び見積損失の大きさ (損失率) の評価に基いている。なお、算定は一定の裁量及び見積りに基づいている。

与信業務に係るガイドライン

与信承認に係るDNBのガイドライン及びプロセスは与信業務に係る当行グループのガイドラインに記載されている。当ガイドラインは、様々なセグメントにおいて、どのように信用が供与され、信用エクスポージャーがフォローアップされるかについて記載している。新規顧客評価、健全な信用エクスポージャーのフォローアップ、経営不振に陥った顧客のフォローアップ及び貸倒懸念並びに収益不計上貸出金の対応手続きを詳細に記載している。

DNBにおける与信供与は、認可及び承認マトリクスをもとに行われる。基本原則として、認可及び承認マトリクスに基づき、担当者一人が申請し、別の者が承認を行う。マトリクスは規模、リスク、並びに関連がある場合は、業界単位で区別されている。住宅ローンにおける低リスク・エクスポージャーの場合は、2人のみの関与(申請、承認)となるが、重要で複雑なエクスポージャーの提案は、上級審査役の承認を受けなければならない。さらに、信用調査委員会の意見が求められ、また業界専門家の関与が求められる可能性がある。

信用供与における判断要素は、稼得した収入及び融資を受けた営業活動からの収入など、継続的な将来キャッシュ・フローの形による顧客の債務返済能力である。当行は、キャッシュ・フローの将来的な減少又はデフォルトに関連する損失リスクを、担保の徴求により軽減しようと努めている。例外的なケースでのみ、顧客が担保を提供しない場合であっても、信用を供与することがある。

担保としては、現物資産、保証、現金預金又はネッティング契約などの形式が考え得る。原則として、現物による担保は付保されていなければならない。他の債権者が資産に対する抵当権の設定を行わない、ネガティブ・プレッジ（担保制限条項）も同様にリスク軽減対策として使用される。

担保に加え、法人向けの金銭消費貸借契約書の多くは、初期段階においてDNBが財務上の問題を把握し関与できるよう確実を期すための追加的なリスク緩和要素を表した財務制限条項を含む可能性がある。財務制限条項の例としては、最低限のネット・キャッシュ・フローの金額や自己資本比率要件がある。

信用リスクのモニタリング

正常先顧客

法人顧客に関する与信業務に係るガイドラインに従い、信用評価はすべての顧客に対し1年に1度は行われる。これは顧客に関してDNBが識別したすべてのリスクの徹底した見直しである。すべての差し入れられた担保の新たな評価は年次検証の不可欠な一部である。意思決定及び認可マトリクスはすべての既存の貸付金の更新にも使用される。従って大口の複雑なエクスポージャーを見直す場合、関連する専門知識を有する者が常に関与することとなる。

個人顧客は系統的なポートフォリオ管理システムを介しフォローアップされる。高リスクが識別された場合は、エクスポージャーは個別にフォローアップされる。

ウォッチリスト

ウォッチリストは、特別な監視が必要となるリスクが生じた場合の、法人顧客のフォローアップのための当グループの主要ツールとなる。顧客が財務制限条項に抵触又は特別な監視が必要となるような損失事象が発生した場合、ウォッチリストに当該エクスポージャーを含めるかの判断がなされる。損失事象とは、深刻な財務上の問題又は市況における大きな変化を含む。さらに、高リスクセグメント（リスク評価で8から10）に該当するすべての顧客はウォッチリスト候補となる。高リスクの顧客をウォッチリストに含めるかを検討することは、与信業務に不可欠な部分である。ウォッチリストに含められた顧客は特別な監視の対象となる。より頻繁な場合もあるが、多くの場合、担保の最新評価を含む、四半期のリスク評価が必要となる。加えて、生じたリスク状況から抜け出すために、アクションプランの作成が要求される。特に、大きな困難に直面した顧客の徹底的なフォローアップは、特別な監視によって損失が発生するリスクを軽減し実際に発現した損失を最小限に抑えるという、当行の経験に基づいたものである。ウォッチリストエクスポージャーの見直しを行う都度、減損損失の必要性が検討される。

顧客への譲歩措置

顧客が経営不振に陥った場合、DNBは場合によっては、財務制限条項の緩和又は金利もしくは分割払いの減免/延期の形で、任意の譲歩を行うことがある。顧客が後に債務を弁済することが見込まれる場合には、財政面で厳しい期間を通じて顧客を支援することを目的として、このような施策が当行グループの信用ガイドラインに従い提案されている。これは損失を軽減するDNBの戦略の一部である。DNBバンク エイ・エス・エイの債権放棄エクスポージャーの総計は、CRD IV の債権放棄の定義に従い、2016年度末現在、約25.8十億ノルウェー・クローネであった。

損失及び収益不計上ポーフォリオ

損失又は収益不計上の場合には、顧客は厳重に監視される。当行の経験から、この段階では、正常先顧客に対する対応以外に他の補完的手段が必要となる。当カテゴリーに分類される顧客エクスポージャーは、この分野の専門知識を持つ独立した部門へ移管されるか、又は当該部門の関係者が顧客担当チームに参加することとなる。

差し押さえ企業並びに資産

減損並びに収益不計上エクスポージャーのフォローアップに関連し、場合によっては、DNBは貸付金及び保証の担保として供された資産を継承する。債務不履行により企業や資産が差し押さえられた場合、すべての取得先は、財務リストラクチャリングを通じてDNBの株主に対する価値の保証／回復を主要目的とする、当行グループの投資ユニットによりフォローアップされる。差し押さえ資産に係る詳細は以下の段落を参照のこと。

減損の対象ではない延滞貸出金

下表は、貸出金の延滞金額及び与信／預金の貸越額及びかかる貸出金の残債合計について、顧客の支払能力の悪化又は支払う意志がないものと想定し、延滞日数別に表示している。延滞貸出金及び与信／預金の貸越額は継続的にモニタリングされている。何らかの減損の客観的証拠がみられた貸出金及び保証については、減損の可能性が評価される。かかる評価は、下表に含まれる、減損の必要性がないとみられる貸出金及び保証についても同様に実施されている。減損の対象となった延滞貸出金は下表には含まれていないが、減損貸出金及び保証に関する表に含まれている。(注8)「主要顧客グループ別の減損貸出金及び保証」を参照のこと。

DNBバンク エイ・エス・エイ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年12月31日現在		2015年12月31日現在	
	延滞/貸越	延滞貸出金残高	延滞/貸越	延滞貸出金残高
10 - 29日	723	1,933	90	2,719
30 - 59日	442	423	73	1,369
60 - 89日	11	159	7	365
90日以上	213	1,474	1,353	3,756
合計	1,389	3,989	1,523	8,208

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年12月31日現在		2015年12月31日現在	
	延滞/貸越	延滞貸出金残高	延滞/貸越	延滞貸出金残高
10 - 29日	753	7,210	129	8,278
30 - 59日	467	1,149	272	2,743
60 - 89日	14	430	32	758
90日以上	222	3,265	1,706	5,076
合計	1,456	12,054	2,139	16,855

その他の金融資産の信用エクスポージャー

コマーシャル・ペーパー及び債券を含むその他の金融資産に対する当行グループの投資は、取締役会が承認したリスクリミットの範囲におさめられている。マーケット部門の海外債券ポートフォリオの詳細については、（注33）「満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券」を参照のこと。

デリバティブのカウンターパーティ・リスク

DNBは、顧客需要に基づきデリバティブ取引を行い、またかかる取引の結果生じるポジションをヘッジするためにデリバティブ取引を行う。さらにデリバティブは、取引ポートフォリオのポジションをヘッジするために加え、金利、通貨、コモディティ及び株式市場でのポジションを取るために使用される。さらに、デリバティブは、資金調達及び貸付に関連して発生する通貨及び金利リスクをヘッジするために使用される。デリバティブは、オンバランス商品が取引されるポートフォリオで取引されている。デリバティブは、個々の契約が当事者間で合意されることを意味する、「店頭」（OTC）において一般的に取引される。

デリバティブは多数の異なるカウンターパーティとの間で取引されており、そのうちの大半は、他の種類の取引にも関わっている。デリバティブ取引に関連して生じる信用リスクは、DNBグループの信用リスク測定全体の中に含まれている。この測定及びフォローアップは日次で実施される。個々のカウンターパーティのカウンターパーティ・リスクを最小限に抑えるため、ネットティング契約又は相対の保証契約が締結されている。さらにさまざまな金利商品はLCHクリアネット社等、いわゆる清算機関で清算されている。従って、当事者個々に対するカウンターパーティ・リスクは清算機関へ移転する。

当行は、大半の大手銀行のカウンターパーティ及びその他多数のカウンターパーティとCSA（クレジット・サポート・アネックス）を締結している。これは、DNBとカウンターパーティとの間で締結されたすべてのデリバティブ取引について、その市場価値を日次又は週次で決済できることを意味しており、その結果カウンターパーティ・リスクは大幅に消去されている。国債及びカバード・ボンドも使用されるが、こうした取引は一般に現金担保により裏付けされている。担保契約には通常、格付けトリガー条項は含まれていないが、ごく少数の契約については、DNBが格下げされた場合に最低エクスポージャーレベルが引下げられることになっている。格下げの可能性による影響は極めて限定的である。個人向けの株式先物取引、証券発行及び通貨取引は日次でモニタリング並びに管理されている。

回収した不動産及びその他資産 - 帳簿価額

回収資産は、収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証の管理の一環として、当行グループ内の部門が取得した資産である。取得時点では、かかる資産は見積実現可能価値で評価される。取得時点での収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証の帳簿価額との差額は、貸出金の減損に分類される。回収資産は、資産の種類に従い、貸借対照表に計上される。株式又は投資信託の持分を取得した場合は、当該資産は（注1）「会計方針」に規定された方針に従い評価される。最終的な売却に当たり、帳簿価額との差額は資産の種類に従い損益計算書に認識される。

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年度	2016年度	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
71	50	1月1日現在の回収資産及びその他資産	2,330	5,185
	1	不動産の取得	217	620
		その他資産の取得	1	33
		売却目的保有に分類変更 ¹⁾	(1,087)	
(20)	(23)	不動産の売却	(335)	(3,426)
		その他資産の売却	(3)	(14)
		公正価値の調整から生じた純損益(投資不動産)	(1)	(68)
50	28	12月31日現在の回収した不動産及びその他資産	1,122	2,330

1) 2016年8月に、売却目的保有に分類変更されたバルト諸国の資産を含む。

公正価値で測定される貸出金及び預け金¹⁾

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年 12月31日 現在	2016年 12月31日 現在	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日 現在	2015年 12月31日 現在
48,784	20,959	公正価値で測定される貸出金及び預け金	69,487	85,779
48,784	20,959	信用リスクに対するエクスポージャー合計	69,487	85,779
185	91	信用リスクによる価額調整 ²⁾	121	231
(68)	(94)	信用リスクの変動による価額調整 ²⁾	(111)	(103)

1) 2016年11月に、約5十億ノルウェー・クローネの住宅ローンのポートフォリオがDNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリン エイ・エスに売却された。
2) 公正価値測定に反映された信用リスクは、関連ポートフォリオの標準化された損失及び標準化された損失の変動に基づく。

信用スプレッドの変動による影響

2016年度の長期資金調達市場は、規制と政治面の要因で不安定な状況が続いた。中国経済に関する懸念や欧州銀行の成長見通しの弱まりによって、年初はスプレッドの拡大と取引量の低下を招いた。とりわけ、3月に開催された欧州中央銀行（ECB）会議の後、資産購入プログラムがさらに拡大したことで、スプレッドが大幅に縮小した。EU離脱を巡る英国の国民投票が近づくに伴い、夏に向けて取引量は低下した。投票後に市場は正常化し、スプレッドは縮小した。米国大統領選を前に、取引量が再び低下したものの、その後大幅に持ち直した。ECBの資産購入プログラムの規模が縮小する可能性が生じたことで、年末にかけてスプレッドは拡大した。信用スプレッドの変動は、当行グループの貸借対照表上の多くの項目にも影響している。

流動性管理の一環として、マーケット部門は海外債券ポートフォリオに投資している。2016年度末現在のかかる投資額は総計98十億ノルウェー・クローネであった。2015年度末時点のこのポートフォリオに関する未実現損失が172百万ノルウェー・クローネであったのに対し、2016年12月末時点は45百万ノルウェー・クローネの未実現利益となった。2016年度のポートフォリオではかなりの入れ替えがあった。

流動性管理に使用されるノルウェー債のポートフォリオに係る未実現利益は、2015年12月末現在
 は8百万ノルウェー・クローネであったのに対し、2016年度末現在は310百万ノルウェー・ク
 ローネに達した。

ムーディーズとスタンダード・アンド・プアーズが2011年度第4四半期にノルウェー輸出金融
 公社の信用格付を引下げた結果、同社の長期資金調達には多額の未実現利益が生じた。この未実
 現利益がDNBの持分に及ぼした影響は、税引後で11.8十億ノルウェー・クローネとなった。決算
 に伴って同社の公正価値を見直した結果、DNBは、2011年度第4四半期にノルウェー輸出金融
 公社の自社負債に対する未実現利益に相当する金額の評価減を行った。2011年以来、市場におけ
 る期待収益率が低下し、ノルウェー輸出金融公社には自社負債に係る多額の未実現損失を計上し
 た。残り144百万ノルウェー・クローネの調整額は2016年度に戻し入れられた。2011年度の減損損
 失及びそれ以降の戻入額は、同社からの利益に対するDNBの持分に従って、「持分法による投資
 からの利益」の項目に計上されている。

ノルウェー・クローネ建ての長期借入金は、純損益を通じて公正価値で測定されている。2016年
 度にスプレッドは縮小した。2015年度末時点の長期借入金に対する未実現利益が337百万ノル
 ウェー・クローネであったのに対し、2016年12月末時点の未実現損失は317百万ノルウェー・ク
 ローネとなった。DNBバンクグループの負債に対する未実現損失は、満期までの残存期間を通じ
 解消するものと考えられる。

当行グループのノルウェー・クローネ建ての固定金利貸出と、ノルウェー・クローネ建てのスプレッド貸しの貸
 出ポートフォリオの一部は、純損益を通じて公正価値で測定されている。当該貸出金に対するスワップレートと比
 較して測定される、未実現損失は、2015年12月末時点で773百万ノルウェー・クローネであったのに対し、スプ
 レッドの縮小を反映し、2016年度末時点で144百万ノルウェー・クローネとなった。この未実現損失は、貸出金の
 信用度に変更がない限りは、満期までの残存期間を通じ解消するものと考えられる。

注 6 主要顧客グループ別の貸出金及びコミットメント

2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント¹⁾

NBバンク エイ・エス・エイ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及び コミットメント
				合計
個人	137,962	225	178,953	317,140
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	50,542	9,623	14,768	74,934
不動産	148,661	2,860	26,599	178,120
製造	46,439	22,897	32,292	101,628
サービス	64,094	5,471	21,176	90,741
貿易	32,238	4,484	21,965	58,687
石油・ガス	20,763	3,964	9,161	33,888
運輸及び通信	38,927	9,703	15,419	64,049
建設	47,964	12,724	28,932	89,619
電力及び水道	26,726	6,709	17,179	50,614
水産業	15,323	199	5,835	21,358
ホテル及びレストラン	5,713	409	1,853	7,975
農林業	4,616	58	1,067	5,741
中央及び地方政府	12,051	159	5,875	18,085
その他のセクター	40,829	898	4,628	46,354
顧客向合計（個別減損控除後の名目金額）	692,848	80,383	385,703	1,158,934
- 集合的減損、顧客	(2,787)			(2,787)
+ その他の調整	(446)			(446)
顧客向貸出金	690,060	79,937	385,703	1,155,701
金融機関向（個別減損控除後の名目金額）	549,089	8,296	94,089	651,474
+ その他の調整	4			4
金融機関向貸出金及び預け金	549,093	8,296	94,089	651,478

2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント

DNBバンク エイ・エス・エイ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及び コミットメント
				合計
個人	144,470	262	145,259	289,990
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	56,264	9,725	15,499	81,487
不動産	148,608	2,282	25,950	176,839
製造	52,129	23,736	32,578	108,443
サービス	80,280	5,370	18,382	104,032
貿易	32,542	5,025	20,278	57,845
石油・ガス	21,674	4,135	11,543	37,352
運輸及び通信	36,148	8,375	11,918	56,442
建設	44,895	12,916	24,133	81,943
電力及び水道	27,857	8,261	16,365	52,483
水産業	15,173	264	4,459	19,897
ホテル及びレストラン	6,382	408	2,343	9,134
農林業	4,961	52	2,467	7,480
中央及び地方政府	9,218	347	8,839	18,404
その他のセクター	26,642	4,607	25,907	57,155
顧客向合計（個別減損控除後の名目金額）	707,241	85,765	365,918	1,158,925
- 集合的減損、顧客	(1,709)			(1,709)
+ その他の調整	(186)			(186)
顧客向貸出金	705,532	85,579	365,918	1,157,029
金融機関向（個別減損控除後の名目金額）	630,694	9,751	597,568	1,238,013
+ その他の調整	5			5
金融機関向貸出金及び預け金	630,700	9,751	597,568	1,238,018

1) バルト諸国における貸出金及び債権は、売却目的保有の資産及び負債に分類変更されている。
(注39)「売却目的保有の資産及び負債」を参照のこと。保証及び未使用の与信枠はバルト諸国
を含んでいる。

主要顧客グループの分類は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2と一致している。

2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント¹⁾

DNBバンク グループ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及び コミットメント
				合計
個人	731,134	272	241,774	973,179
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	106,148	9,871	34,523	150,542
不動産	189,796	2,888	26,910	219,594
製造	77,520	23,413	68,529	169,462
サービス	87,293	5,688	31,325	124,305
貿易	38,442	4,928	28,283	71,652
石油・ガス	29,074	5,034	33,219	67,327
運輸及び通信	62,638	9,885	27,711	100,234
建設	52,221	13,332	31,553	97,105
電力及び水道	31,179	7,186	24,014	62,378
水産業	16,979	202	6,484	23,664
ホテル及びレストラン	7,451	420	2,178	10,049
農林業	4,869	60	2,212	7,141
中央及び地方政府	14,213	279	9,732	24,224
その他のセクター	47,795	903	2,879	51,577
顧客向合計(個別減損控除後の名目金額)	1,496,749	84,360	571,326	2,152,434
- 集会的減損、顧客	(4,481)			(4,481)
+ その他の調整	(455)			(455)
顧客向貸出金	1,492,268	83,904	571,326	2,147,498
金融機関向(個別減損控除後の名目金額)	174,897	7,653	34,796	217,347
+ その他の調整	11			11
金融機関向貸出金及び預け金	174,908	7,653	34,796	217,357

2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント

DNBバンク グループ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	貸出金及び債権	保証	未使用の与信枠	貸出金及び コミットメント
				合計
個人	725,878	284	199,188	925,350
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	126,348	9,933	42,701	178,983
不動産	197,036	2,341	26,165	225,542
製造	92,824	24,229	72,416	189,469
サービス	97,916	6,074	25,566	129,556
貿易	41,056	5,451	25,756	72,262
石油・ガス	31,898	4,554	38,117	74,569
運輸及び通信	59,312	8,555	26,733	94,601
建設	48,844	13,674	25,180	87,697
電力及び水道	33,797	8,366	23,860	66,023
水産業	16,334	266	5,075	21,675
ホテル及びレストラン	8,907	421	2,588	11,916
農林業	6,869	56	2,657	9,583
中央及び地方政府	14,454	483	10,870	25,807
その他のセクター	32,983	4,609	26,970	64,562
顧客向合計(個別減損控除後の名目金額)	1,534,456	89,297	553,841	2,177,595
- 集会的減損、顧客	(2,524)			(2,524)
+ その他の調整	(198)			(198)
顧客向貸出金	1,531,932	89,099	553,841	2,174,873
金融機関向(個別減損控除後の名目金額)	297,450	8,935	46,682	353,067
+ その他の調整	7			7
金融機関向貸出金及び預け金	297,457	8,935	46,682	353,074

1) バルト諸国における貸出金及び債権は、売却目的保有の資産及び負債に分類変更されている。
(注39)「売却目的保有の資産及び負債」を参照のこと。保証及び未使用の与信枠はバルト諸国を含んでいる。

主要顧客グループの分類は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2と一致している。

[次へ](#)

注7 地域別の貸出金及びコミットメント

2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント ¹⁾					
(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	金融機関向 貸出金及び		DNBバンク エイ・エス・エイ 貸出金及び コミットメント		
	顧客向貸出金	預け金	保証	未使用の与信枠	合計
オスロ	140,910	201,607	11,519	256,544	610,580
東部・南部ノルウェー	183,345	484	18,864	94,431	297,123
西部ノルウェー	96,868	4	8,583	43,525	148,980
北部・中部ノルウェー	108,627	107	6,984	34,925	150,645
ノルウェー合計	529,750	202,202	45,950	429,425	1,207,328
スウェーデン	53,188	38,473	6,354	11,097	109,112
英国	3,278	112,999	2,485	2,817	121,579
その他の西欧諸国	55,244	89,269	5,260	22,491	172,264
ロシア	3		4	8	15
エストニア	2	2,997		2	3,001
ラトビア	347	5,504	478	2	6,331
リトアニア	332	6,249	349	4	6,934
ポーランド	721	10,101	208	68	11,098
その他の東欧諸国	20	881	258	28	1,187
ノルウェー以外の欧州合計	113,134	266,473	15,397	36,517	431,520
米国及びカナダ	2,790	53,551	14,959	6,077	77,377
バミューダ及びパナマ ²⁾	17,149	86	3,904	2,364	23,503
その他の中南米諸国	14,526	1,565	2,288	1,815	20,194
米州合計	34,465	55,202	21,151	10,256	121,074
シンガポール ²⁾	1,742	17,686	1,021	592	21,041
香港	1,609	37		2	1,648
その他のアジア諸国	5,833	6,674	2,765	1,575	16,847
アジア合計	9,184	24,397	3,785	2,169	39,535
リベリア ²⁾	776		1,942		2,718
その他のアフリカ諸国	78	500	60	35	673
オセアニア ²⁾	4,532	27	393	1,391	6,343
コミットメント	691,919	548,801	88,679	479,792	1,809,191
- 集会的減損	(2,787)				(2,787)
+ その他の調整	929	292	(446)		775
貸出金及びコミットメントの純額	690,060	549,093	88,233	479,792	1,807,179

- 1) バルト諸国における貸出金及び債権は、売却目的保有の資産及び負債に分類変更される。(注39)「売却目的保有の資産及び負債」を参照のこと。保証及び未使用の与信枠はバルト諸国を含んでいる。
- 2) 海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。

顧客の所在地に基づく。

2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント

DNBバンク エイ・エス・エイ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	金融機関向 貸出金及び		貸出金及び コミットメント		
	顧客向貸出金	預け金	保証	未使用の与信枠	合計
オスロ	130,398	140,721	12,523	703,277	986,918
東部・南部ノルウェー	178,946	728	18,861	89,470	288,004
西部ノルウェー	102,400	2,443	8,479	43,201	156,524
北部・中部ノルウェー	112,622	40	9,085	33,033	154,781
ノルウェー合計	524,366	143,932	48,949	868,981	1,586,227
スウェーデン	55,131	8,388	7,318	17,008	87,846
英国	3,322	149,621	2,997	1,884	157,825
その他の西欧諸国	69,295	204,007	4,954	24,891	303,147
ロシア	99	85	4	5	194
エストニア	3	2,086		1	2,090
ラトビア	702	6,491	654	2	7,849
リトアニア	258	6,943	341	27	7,569
ポーランド	709	12,109	124	163	13,105
その他の東欧諸国	20	598	261	31	910
ノルウェー以外の欧州合計	129,539	390,329	16,653	44,013	580,534
米国及びカナダ	6,354	62,997	16,316	13,131	98,798
バミューダ及びパナマ ¹⁾	18,128	132	2,658	3,000	23,917
その他の中南米諸国	9,629	4,172	2,635	3,004	19,440
米州合計	34,111	67,302	21,609	19,135	142,156
シンガポール ¹⁾	2,555	22,354	1,952	27,365	54,226
香港	2,195	190		2	2,388
その他のアジア諸国	8,051	6,071	3,852	2,395	20,370
アジア合計	12,802	28,615	5,804	29,762	76,984
リベリア ¹⁾	414		2,043		2,457
その他のアフリカ諸国	12	358	89	546	1,005
オセアニア ¹⁾	4,883	22	369	1,050	6,324
コミットメント	706,126	630,558	95,516	963,486	2,395,687
- 集会的減損	(1,709)				(1,709)
+ その他の調整	1,115	141	(186)		1,070
貸出金及びコミットメントの純額	705,532	630,700	95,330	963,486	2,395,048

1) 海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。

顧客の所在地に基づく。

2016年12月31日現在の貸出金及びコミットメント¹⁾

DNBバンク グループ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	金融機関向 貸出金及び		貸出金及び コミットメント		
	顧客向貸出金	預け金	保証	未使用の与信枠	合計
オスロ	288,216	6,935	11,494	211,067	517,712
東部・南部ノルウェー	477,693	484	18,864	124,944	621,985
西部ノルウェー	191,155	10	8,588	53,872	253,625
北部・中部ノルウェー	201,374	107	6,984	42,930	251,396
ノルウェー合計	1,158,437	7,536	45,932	432,814	1,644,719
スウェーデン	82,005	5,173	6,355	34,497	128,030
英国	17,936	68,518	2,519	16,360	105,334
その他の西欧諸国	84,426	82,333	5,635	31,587	203,981
ロシア	8		4	10	22
エストニア	5		97	321	423
ラトビア	458		335	1,424	2,217
リトアニア	337		730	3,693	4,761
ポーランド	16,444	323	813	2,355	19,935
その他の東欧諸国	160	885	258	35	1,338
ノルウェー以外の欧州合計	201,779	157,232	16,747	90,282	466,040
米国及びカナダ	43,688	1,090	16,953	67,207	128,938
バミューダ及びバハマ ²⁾	26,269	86	3,904	3,629	33,887
その他の中南米諸国	18,128	1,569	2,291	4,697	26,685
米州合計	88,085	2,745	23,148	75,533	189,510
シンガポール ²⁾	8,680	39	1,021	217	9,957
香港	2,525	37		180	2,742
その他のアジア諸国	6,674	6,614	2,766	1,988	18,042
アジア合計	17,880	6,690	3,787	2,386	30,742
リベリア ²⁾	9,428		1,942	514	11,884
その他のアフリカ諸国	536	500	60	38	1,134
オセアニア ²⁾	18,634	27	397	4,556	23,614
コミットメント	1,494,779	174,729	92,012	606,122	2,367,643
- 集合的減損	(4,481)				(4,481)
+ その他の調整	1,970	179	(455)		1,694
貸出金及びコミットメントの純額	1,492,268	174,908	91,557	606,122	2,364,855

1) バルト諸国における貸出金及び債権は、売却目的保有の資産及び負債に分類変更されている。(注39)「売却目的保有の資産及び負債」を参照のこと。保証及び未使用の与信枠はバルト諸国を含んでいる。

2) 海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。

顧客の所在地に基づく。

2015年12月31日現在の貸出金及びコミットメント

DNBバンク グループ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	金融機関向 貸出金及び		貸出金及び コミットメント		
	顧客向貸出金	預け金	保証	未使用の与信枠	合計
オスロ	264,894	3,156	12,511	190,376	470,936
東部・南部ノルウェー	458,808	728	18,861	115,592	593,988
西部ノルウェー	191,433	2,443	8,489	52,410	254,775
北部・中部ノルウェー	201,222	40	9,085	39,898	250,246
ノルウェー合計	1,116,357	6,367	48,946	398,275	1,569,946
スウェーデン	78,005	137	7,319	38,139	123,601
英国	18,180	100,132	3,536	17,597	139,445
その他の西欧諸国	101,056	178,045	5,428	34,741	319,269
ロシア	816	86	4	5	912
エストニア	5,044	18	110	184	5,355
ラトビア	15,587	3	395	1,451	17,436
リトアニア	27,950	98	848	3,301	32,197
ポーランド	17,832	164	726	3,090	21,812
その他の東欧諸国	203	598	262	33	1,095
ノルウェー以外の欧州合計	264,673	279,281	18,627	98,541	661,122
米国及びカナダ	46,218	724	17,046	80,907	144,895
バミューダ及びパナマ ¹⁾	29,616	132	2,665	5,647	38,060
その他の中南米諸国	14,424	4,177	2,638	6,585	27,824
米州合計	90,258	5,033	22,349	93,139	210,779
シンガポール ¹⁾	13,607	82	1,952	505	16,146
香港	3,025	190		702	3,917
その他のアジア諸国	10,539	6,072	3,854	3,493	23,958
アジア合計	27,171	6,344	5,806	4,700	44,021
リベリア ¹⁾	9,943		2,043	601	12,588
その他のアフリカ諸国	735	358	90	551	1,733
オセアニア ¹⁾	22,276	23	372	4,715	27,386
コミットメント	1,531,480	297,406	98,233	600,523	2,527,641
- 集合的減損	(2,524)				(2,524)
+ その他の調整	2,976	51	(198)		2,829
貸出金及びコミットメントの純額	1,531,932	297,457	98,034	600,523	2,527,947

1) 海運に係る貸出金及びコミットメントを表す。

顧客の所在地に基づく。

注 8 主要顧客グループ別の減損貸出金及び保証^{1) 2)}

	DNBバンク エイ・エス・エイ					
	減損貸出金及び				減損貸出金及び	
	保証の総額		個別減損合計		保証の純額	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	現在	現在	現在	現在	現在	現在
個人	1,871	1,833	(797)	(712)	1,074	1,121
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	3,517	2,454	(1,436)	(1,075)	2,081	1,379
不動産	1,787	1,792	(564)	(656)	1,223	1,137
製造	3,586	1,298	(1,181)	(689)	2,405	609
サービス	1,453	851	(682)	(528)	771	323
貿易	1,098	747	(370)	(362)	728	385
石油・ガス	4,368		(744)		3,625	
運輸及び通信	3,341	799	(1,203)	(311)	2,138	488
建設	1,178	586	(488)	(252)	691	333
電力及び水道	23	389	(13)	(75)	10	314
水産業	61	13	(16)	(8)	44	5
ホテル及びレストラン	49	54	(22)	(17)	27	36
農林業	50	112	(28)	(44)	22	67
中央及び地方政府	0	11		(5)	0	7
その他のセクター	6	99	(2)	(81)	4	19
顧客向合計	22,389	11,038	(7,547)	(4,815)	14,843	6,223
金融機関向						
減損貸出金及び保証合計	22,389	11,038	(7,547)	(4,815)	14,843	6,223
減損対象でない収益不計上貸出金及び保証	1,953	1,582			1,953	1,582
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証合計	24,342	12,619	(7,547)	(4,815)	16,796	7,804

	DNBバンク グループ					
	減損貸出金及び				減損貸出金及び	
	保証の総額		個別減損合計		保証の純額	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	現在	現在	現在	現在	現在	現在
個人	3,898	4,502	(1,617)	(1,841)	2,281	2,661
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	4,995	3,665	(2,247)	(1,620)	2,748	2,045
不動産	2,760	3,716	(934)	(1,426)	1,826	2,289
製造	5,800	2,643	(1,814)	(1,113)	3,986	1,530
サービス	1,508	952	(712)	(593)	797	359
貿易	1,255	977	(465)	(502)	790	476
石油・ガス	4,368		(744)		3,625	

運輸及び通信	5,528	1,825	(1,623)	(726)	3,905	1,099
建設	1,446	1,020	(697)	(550)	749	470
電力及び水道	539	394	(154)	(77)	386	317
水産業	61	13	(16)	(8)	44	5
ホテル及びレストラン	104	167	(43)	(49)	61	118
農林業	157	172	(50)	(63)	107	110
中央及び地方政府	0	11	(0)	(5)	0	7
その他のセクター	29	126	(10)	(92)	19	34
顧客向合計	32,450	20,184	(11,126)	(8,665)	21,323	11,519
金融機関向						
減損貸出金及び保証合計	32,450	20,184	(11,126)	(8,665)	21,323	11,519
減損対象でない収益不計上貸出金及び保証	4,320	2,461			4,320	2,461
収益不計上若しくは減損した貸出金及び保証合計	36,770	22,645	(11,126)	(8,665)	25,644	13,980

- 1) 主要顧客グループ別の個別減損の対象である貸出金及び保証、並びに減損対象ではない収益不計上貸出金及び保証合計を含む。主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類である NACE Rev.2 に対応する。
- 2) DNBバンク グループの数値には、2016年8月に売却目的保有の資産に分類変更されたバルト諸国の数値が含まれており、12月末現在、そのうち収益不計上（純額）及び貸倒懸念のある貸出金（純額）並びに保証の総額は2,256百万ノルウェー・クローネであった。

注 9 貸出金及び保証に係る減損

DNBバンク エイ・エス・エイ						
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度			2015年度		
	貸出金 ¹⁾	保証	合計	貸出金 ¹⁾	保証	合計
償却	(873)		(873)	(1,407)		(1,407)
新規の / 増加した個別減損	(3,839)	(420)	(4,260)	(2,205)	(121)	(2,326)
新規の / 増加した個別減損総額	(4,713)	(420)	(5,133)	(3,612)	(121)	(3,733)
過年度の個別減損の再査定	540	74	614	590	82	672
以前償却された貸出金及び保証の戻入 ²⁾	957		957	1,715		1,715
個別減損純額	(3,216)	(346)	(3,562)	(1,306)	(40)	(1,346)
貸出金に係る集会的減損の変動	(1,117)		(1,117)	(292)		(292)
貸出金及び保証に係る減損	(4,333)	(346)	(4,679)	(1,599)	(40)	(1,638)
過年度に行われた個別減損でカバーされた償却	1,278		1,278	2,463		2,463

DNBバンク グループ						
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度			2015年度		
	貸出金 ¹⁾	保証	合計	貸出金 ¹⁾	保証	合計
償却	(1,359)		(1,359)	(1,446)		(1,446)
新規の / 増加した個別減損	(5,490)	(420)	(5,910)	(3,165)	(124)	(3,288)
新規の / 増加した個別減損総額	(6,849)	(420)	(7,269)	(4,611)	(124)	(4,735)
個別減損の再査定	913	76	990	890	88	978
以前償却された貸出金及び保証の戻入 ²⁾	999		999	1,742		1,742
個別減損純額	(4,937)	(344)	(5,280)	(1,979)	(36)	(2,015)
貸出金に係る集会的減損の変動	(2,144)		(2,144)	(255)		(255)
貸出金及び保証に係る減損	(7,080)	(344)	(7,424)	(2,234)	(36)	(2,270)
過年度に行われた個別減損でカバーされた償却	2,803		2,803	3,749	(0)	3,749

1) 公正価値で測定された貸出金に係る減損を含む。

2) 2015年及び2016年の回収には、主としてノルウェーの収益不計上貸出金ポートフォリオの売却に関する、Lindorff Capital AS との合意による影響が反映されている。

注10 主要顧客グループ別の貸出金及び保証に係る減損

DNBバンク エイ・エス・エイ								
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度				2015年度			
	以前				以前			
	再査定		償却された		再査定		償却された	
	新規の	された	貸出金及び		新規の	された	貸出金及び	
	個別減損	個別減損	保証の戻入 ¹⁾	純減損	個別減損	個別減損	保証の戻入 ¹⁾	純減損
個人	(581)	32	910	361	(636)	46	1,622	1,032
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	(1,000)	52	12	(936)	(856)	117	1	(737)
不動産	(144)	74	12	(57)	(237)	102	2	(132)
製造	(891)	123	1	(768)	(773)	117	12	(644)
サービス	(338)	149	1	(187)	(145)	41	17	(87)
貿易	(128)	42	8	(78)	(219)	51	8	(160)
石油・ガス	(716)	0		(716)	(0)			(0)
運輸及び通信	(1,011)	16	3	(992)	(245)	53	24	(168)
建設	(297)	42	2	(253)	(402)	71	25	(306)
電力及び水道	(2)	52	6	56	(60)	0	1	(58)
水産業	(10)	1	0	(9)	(8)	49	0	41
ホテル及びレストラン	(1)	5	1	5	(16)	7	1	(8)
農林業	(13)	24	0	11	(15)	17	2	5
中央及び地方政府	(0)	0		(0)	(0)	0	0	(0)
その他のセクター	(1)	0	0	(1)	(123)	1	0	(122)
顧客向け合計	(5,133)	614	957	(3,562)	(3,733)	672	1,715	(1,346)
金融機関向け								
貸出金に係る集約的減損の変動				(1,117)				(292)
貸出金及び保証に係る減損	(5,133)	614	957	(4,679)	(3,733)	672	1,715	(1,638)
うち保証に係る個別減損	(420)	74		(346)	(121)	82		(40)

DNBバンク グループ								
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度				2015年度			
	以前				以前			
	再査定		償却された		再査定		償却された	
	新規の	された	貸出金及び		新規の	された	貸出金及び	
	個別減損	個別減損	保証の戻入 ¹⁾	純減損	個別減損	個別減損	保証の戻入 ¹⁾	純減損
個人	(845)	210	942	308	(835)	188	1,642	995
海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	(1,555)	52	12	(1,491)	(1,027)	139	1	(886)
不動産	(227)	180	14	(33)	(344)	140	3	(202)
製造	(1,258)	153	2	(1,104)	(882)	154	12	(716)
サービス	(344)	158	5	(181)	(165)	64	19	(82)
貿易	(145)	53	10	(82)	(233)	69	10	(155)

石油・ガス	(819)	0	(819)	(0)	(0)
運輸及び通信	(1,554)	38	4	(1,512)	(588) 55 24 (509)
建設	(325)	55	4	(266)	(422) 87 27 (308)
電力及び水道	(148)	52	6	(90)	(60) 1 1 (59)
水産業	(10)	1	0	(9)	(8) 49 0 41
ホテル及びレストラン	(7)	7	1	1	(21) 9 1 (10)
農林業	(30)	27	0	(3)	(27) 22 3 (2)
中央及び地方政府	(0)	0		(0)	(0) 0 0 (0)
その他のセクター	(2)	2	0	1	(124) 2 0 (121)
顧客向け合計	(7,269)	990	999	(5,280)	(4,735) 978 1,742 (2,015)
金融機関向け					
貸出金に係る集約的減損の変動				(2,144)	(255)
貸出金及び保証に係る減損	(7,269)	990	999	(7,424)	(4,735) 978 1,742 (2,270)
うち保証に係る個別減損	(420)	76		(344)	(124) 88 (36)

1) 2015年及び2016年の回収には、主としてノルウェーの収益不計上貸出金ポートフォリオの売却に関する、Lindorff Capital AS との合意による影響が反映されている。

主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2に対応する。

[次へ](#)

注11 貸出金及び保証に係る減損の推移

					DNBバンク エイ・エス・エイ			
					2015年度			
					2016年度			
					金融機関		顧客向	
					向貸出金	貸出金	保証	合計
(単位：百万ノルウェー・クローネ)					向貸出金	貸出金	保証	合計
1月1日現在の減損						(6,779)	(176)	(6,955)
新規の減損						(2,833)	(403)	(3,236)
減損の増加						(1,006)	(17)	(1,023)
減損の再査定						540	74	614
従前の減損によりカバーされた償却						1,278		1,278
未収利息及び償却の個別減損の変動								
集合的減損の変動						(1,117)		(1,117)
為替レート変動による増減						111	(4)	107
12月31日現在の減損						(9,808)	(526)	(10,334)
内訳：個別減損						(6,646)	(526)	(7,173)
未収利息及び償却の個別減損						(374)		(374)
集合的減損						(2,787)		(2,787)

					DNBバンク グループ			
					2015年度			
					2016年度			
					金融機関		顧客向	
					向貸出金	貸出金	保証	合計
(単位：百万ノルウェー・クローネ)					向貸出金	貸出金	保証	合計
1月1日現在の減損					(1)	(12,464)	(143)	(12,608)
新規の減損						(4,012)	(403)	(4,415)
減損の増加						(1,478)	(17)	(1,495)
減損の再査定						913	76	990
従前の減損によりカバーされた償却					1	2,803		2,803
未収利息及び償却の個別減損の変動								
集合的減損の変動						(2,144)		(2,144)
売却目的保有に分類変更された、バルト諸国						1,649		1,649
為替レート変動による増減						392	(4)	388
12月31日現在の減損						(13,541)	(529)	(14,070)
内訳：個別減損						(8,566)	(529)	(9,095)
未収利息及び償却の個別減損						(494)		(494)
集合的減損						(4,481)		(4,481)

注12 市場リスク

市場リスク算定の条件

市場リスクは、市場価格及び為替レートの変動によって将来の利益が減少したり損失が生じたりすることによるリスクである。このリスクは、当行の未ヘッジ取引や、為替、資産、金利、コモディ

ティ、信用及び株式市場に対するエクスポージャーから生じる。リスクの水準は、市場価格の変動性及び当行のポジションを反映したものである。

DNBバンクグループは、個々のリスク・カテゴリー及びDNBバンクグループ全体のリスクに関する経済資本を算出することによりリスクを定量化している。(注4)リスク管理を参照のこと。市場リスクに関する経済資本は、信頼区間99.97%で、市場リスクに関するすべての潜在的な損失をカバーしたものでなければならない。当モデルのリスク評価期間は1年間である。モデルに含まれるエクスポージャーは、実際のエクスポージャー又は限度のいずれかであり、当行グループが当該期間中の市場の動きに対して、常に不正確なポジションを取ることを想定して保守的に見積られている。

リスク・カテゴリーの経済資本は、ある種類の資産の価値又はリスク要因に予想されるパフォーマンスに基づき算出される。年間損失を見積るために、各原商品の価値は1年間にわたりシミュレートされる。この後、それぞれの潜在的な実現期間における損失を算出する。

生命保険事業以外のオペレーションに係る市場リスクに対応する経済資本は、2016年度末現在、前年同期並みの6.9十億ノルウェー・クローネであった。2015年12月末と比較したさまざまな市場リスクに対するリスク・エクスポージャーは、実質的に変動はなかった。

注13 金利感応度

それぞれの期間における金利感応度

オン・バランス及びオフ・バランスシート項目の数値は、金利変動に影響される。下表はすべての金利が同時に1%増減した場合の、バルト諸国及びポーランドの事業を除いたDNBバンクグループの潜在的な損失を表す。計算は、すべての通貨の金利が当行のポジションに対しDNBバンクグループにとって不利に変動するという仮定に基づく。また、それぞれの期間内のすべての金利が当行グループに不利に変動すると想定する。従って、数値はDNBバンクグループの最大損失額を示す。

計算は、12月31日現在の当行グループのポジション及び同日の市場レートに基づく。下表は、管理上の金利リスク及び無利息型資産に関する金利リスクを含まない。

DNBバンク グループ ¹⁾						
	1ヶ月超		3ヶ月超	1年超		
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	1ヶ月以内	3ヶ月以内	1年以内	5年以内	5年超	合計
2016年12月31日現在						
ノルウェー・クローネ	494	152	227	765	653	227
米ドル	91	14	357	19	82	179
ユーロ	72	3	32	2	20	22
英ポンド	2	38	11	6	1	55
スウェーデン・クローナ	15	6	36	33	22	28
その他の通貨	8	15	35	9	16	55
2015年12月31日現在						
ノルウェー・クローネ	374	35	246	545	420	218
米ドル	1	96	78	22	3	5
ユーロ	0	59	74	30	12	32
英ポンド	8	25	20	6	2	21
スウェーデン・クローナ	89	29	121	8	1	6
その他の通貨	19	20	33	8	17	50

1) 数値にはバルト諸国及びポーランドの事業は含まれておらず、その他の地域に関するものであり、即ちDNBバンク エイ・エス・エイの数値と同じである。

注14 通貨ポジション

表は、ノルウェー中央銀行により定義されるデリバティブを含む12月31日現在の純通貨ポジションを示している。個々の通貨の純ポジションは、適格な第1次自己資本に対して最大15%までを占めることができる。通貨ポジション総額は、適格な第1次資本の30%以内でなければならない。子会社投資に関する為替リスクについては、帳簿に計上された金額によって通貨ポジションに含まれている。

DNBバンク エイ・エス・エイ

純通貨ポジション		(単位：百万ノルウェー・クローネ)	DNBバンク グループ	
2015年	2016年		純通貨ポジション	
12月31日現在	12月31日現在		2016年	2015年
			12月31日現在	12月31日現在
884	1,071	米ドル	1,068	883
(177)	(320)	ユーロ	(316)	(180)
30	(17)	英ポンド	(16)	15
(39)	20	スウェーデン・クローナ	19	(39)
(46)	20	デンマーク・クローネ	20	(45)
2	14	スイス・フラン	14	2
(10)	6	日本円	6	(10)
125	121	その他	122	141
769	914	外貨合計	916	766

注15 デリバティブ

デリバティブの適用に関する一般的な情報

デリバティブとは、一定期間における金利条件、為替レート及び資本性商品の価値といった形式で金融価値を取り決める契約である。コモディティの価格及び指数を取り決める、対応する契約もデリバティブと定義される。デリバティブには、スワップ、先渡契約及びオプション、並びに金利先渡契約（FRA）、金融先物及び証券譲渡契約を含むそれらの組み合わせが含まれる。DNBバンク グループのデリバティブは、当行グループの通常の事業活動により生ずる流動性リスク及び市場リスクを管理するために取引される。さらに、当行グループは、自己勘定取引でもデリバティブを用いている。

「店頭」（OTC）デリバティブは、取引所の外で締結する契約である。この契約は、対象商品、数量、価格、終了条件及び満期に関して投資家の必要性に応じてオーダーメイドで行われる。OTCデリバティブのメリットは、顧客が標準契約条件に制限されることなく、必要とする正確なポジションを購入できることである。デメリットは、標準化された市場と比べて契約相手を他に見つけたり、流通市場で当該契約を売却したりすることが難しいことである。

DNBバンク グループでは、以下のデリバティブを、トレーディング及びヘッジ目的で利用している。

先渡契約：金利条件、外貨金額、株式又はコモディティを将来の特定の日に、決められた価格で売買する契約。先渡契約は、店頭市場においてカウンターパーティとの間で行われるオーダーメイドの取引である。

FRA：将来のある期間について、合意した金額で金利を固定する契約。契約満了時には、合意した金利と実際の市場金利との差額だけが交換される。

金利先物：カウンターパーティ同士が特定の金利商品を決められた価格で特定の日に交換することに合意する標準化された契約。当該契約は取引所で取引される。金利先物の価値は、原資産（金融商品）の価格推移に従っている。

スワップ：契約当事者が合意した期間にわたり決められた金額でキャッシュ・フローを交換する取引。大部分のスワップはオーダーメイドであり、取引所外で取引される。DNBが取引する最も重要な種類のスワップは以下のとおりである。

金利スワップ：固定金利が変動金利と交換されるか、若しくは変動金利が固定金利と交換される

クロスカレンシー金利スワップ：契約当事者は為替及び金利の支払いの両方を交換する

株式スワップ：金利リターンが株式リターンと交換される

オプション：買い手に対し、特定の数量の金融商品又はコモディティを事前に決められた価格で、購入（コール・オプション）又は売却（プット・オプション）する権利（義務ではなく）を与える契約。買い手はこの権利に関し、売り手にプレミアムを支払う。オプションはOTC（オーダーメイド）でも標準化された契約としても取引されている。

表は、デリバティブの種類別並びにプラスマイナスの市場価値別にデリバティブの想定元本を表している。プラスの市場価値は貸借対照表で資産に計上され、マイナスの市場価値は負債として計上される。デリバティブの測定に関する詳細については、（注記１）「会計方針」を参照のこと。

	DNBバンク エイ・エス・エイ					
	2016年12月31日現在			2015年12月31日現在		
	想定元本 合計	プラスの 市場価値	マイナスの 市場価値	想定元本 合計	プラスの 市場価値	マイナスの 市場価値
（単位：百万ノルウェー・クローネ）						
金利契約						
FRA契約	868,943	415	363	2,379,037	1,310	1,282
スワップ	3,110,072	85,127	78,776	3,229,589	100,387	93,123
OTCオプション	46,508	757	725	42,729	441	634
その他のOTC契約				1,687	248	
金利契約合計	4,025,522	86,299	79,864	5,653,042	102,386	95,039
為替契約						
先渡契約	79,463	2,689	1,125	117,609	8,490	1,321
スワップ	1,699,372	41,217	60,058	2,208,817	47,976	99,501
OTCオプション	32,597	533	330	190,208	789	510
為替契約合計	1,811,431	44,439	61,513	2,516,634	57,256	101,332
株式関連契約						
先渡契約	2,057	2,156	1,528	7,896	1,586	375
OTCオプション	2,104	163	2	821	92	10
OTCデリバティブ合計	4,161	2,319	1,530	8,718	1,679	386
先物	732		0	2,897	79	108
オプション	4,573	106	77	2,795	39	67
取引所取引契約合計	5,305	106	77	5,693	118	174
株式関連契約合計	9,466	2,425	1,607	14,410	1,797	560
コモディティ関連契約						

	ディー・エヌ・ビー・バンク	エイ・エス・エイ (D N B	B a n k			
スワップ	30,682	3,542	2,738	28,485	5,542	5,375
コモディティ関連契約合計	30,682	3,542	2,738	28,485	5,542	5,375
担保の差入 / 受入						
担保の差入 / 受入合計		33,612	36,072		46,817	38,211
デリバティブ合計	5,877,101	170,317	181,794	8,212,572	213,797	240,518
内訳 : ヘッジ会計として適用	151,044	10,795	1,189	147,900	12,405	830
- 金利スワップ		10,033	541		11,610	323
- クロスカレンシー金利スワップ		762	648		795	508

DNBバンク グループ

	2016年12月31日現在			2015年12月31日現在		
	想定元本 合計	プラスの 市場価値	マイナスの 市場価値	想定元本 合計	プラスの 市場価値	マイナスの 市場価値
(単位：百万ノルウェー・クローネ)						
金利契約						
FRA契約	868,943	415	363	2,379,037	1,310	1,282
スワップ	2,777,620	83,109	39,906	2,843,591	97,540	66,703
OTCオプション	45,882	757	725	42,465	447	634
その他のOTC契約				1,687	248	
金利契約合計	3,692,446	84,280	40,994	5,266,781	99,546	68,618
為替契約						
先渡契約	80,958	2,717	1,126	118,804	8,498	1,283
スワップ	1,349,007	30,891	48,470	1,822,098	40,285	40,376
OTCオプション	32,597	533	330	190,208	789	510
為替契約合計	1,462,562	34,141	49,926	2,131,110	49,572	42,170
株式関連契約						
先渡契約	2,057	2,156	1,528	7,896	1,586	375
OTCオプション	2,104	163	2	821	92	10
OTCデリバティブ合計	4,161	2,319	1,530	8,718	1,679	386
先物	732		0	2,897	79	108
オプション	4,573	106	77	2,795	39	67
取引所取引契約合計	5,305	106	77	5,693	118	174
株式関連契約合計	9,466	2,425	1,607	14,410	1,797	560
コモディティ関連契約						
スワップ	30,473	3,541	2,707	28,486	5,542	5,375
コモディティ関連契約合計	30,473	3,541	2,707	28,486	5,542	5,375
担保の差入／受入						
担保の差入／受入合計		33,570	35,756		46,817	38,155
デリバティブ合計	5,194,946	157,957	130,990	7,440,787	203,273	154,878
内訳：ヘッジ会計として適用						
- 金利スワップ	453,134	33,038	2,195	479,261	37,408	834
- クロスカレンシー金利スワップ		32,275	1,546		36,613	327
		762	648		795	508

マーケット部門におけるデリバティブの利用

マーケット部門はマーケット・メーカーとして、特定のオプション、先渡又は先物シリーズに関して売り呼値及び買い呼値の両方、並びに売り呼値と買い呼値の価格差の最大値を、最低取引金額とともに提示する義務がある。マーケット・メーカーは常に自己の勘定で取引する。自己勘定取引の目的は、マーケット・メイキングに加え、ポジションを取ることであり、つまり価格、為替レート及び指数の有利な変動により生じる利益を獲得するために、為替、金利及び株式市場で意図的にリスクを取ることである。様々な市場での同じ商品に関する価格、為替レート及び指数の変動により利益を得る裁定取引も自己勘定取引の一部である。

顧客取引とは、顧客が既存又は予想されるリスクを移転、修正、取得又は減額できるように顧客のためにデリバティブを構築し売買することである。デリバティブ取引の大半は顧客取引に関係している。

DNBバンク グループは、外貨建ての借入金を望ましい通貨に転換するために金利及び通貨スワップを用いる。典型的な例としては、当行はユーロ建てで借入れを行い、それをベースス・スワップにより米ドルにスワップする。この場合、当行はスワップの利回りに基づく米ドル建ての金利を支払い、スプレッドを控除したユーロ建ての金利を受け取る。これらのデリバティブは公正価値で計上されている。ベースス・スワップのスプレッドの変動により、ベースス・スワップの価値は日々大幅に変動する可能性がある。このヘッジされていないリスクによって未実現損益が生じる。2016年度には、価値は542百万ノルウェー・クローネ減少した（利益にはマイナスの影響）。2015年度には、価値は2,685百万ノルウェー・クローネ増加した。

DNBボーリ・クレジットにおけるデリバティブの利用

DNBボーリ・クレジットにおけるデリバティブの利用目的は、為替及び金利リスクを明らかにし、減少させることである。

デリバティブに関するリスク

デリバティブはオンバランス商品も含むポートフォリオの中で取引される。デリバティブに係る市場リスクは、これらのポートフォリオの市場リスクの不可欠な一部として取り扱われ、監視され、管理される。（注4）「リスク管理」及び（注12）「市場リスク」を参照のこと。デリバティブは多くの異なるカウンターパーティと取引され、その大部分は別の種類のDNBとの取引にも関連している。デリバティブ取引に関連して生ずる信用リスクは、DNBバンク グループの信用リスク合計に含まれる。ネットィング契約又は担保に関する双務契約が多数のカウンターパーティと締結され、信用リスクを減少させている。金融当局の自己資本規制は、そのような契約を考慮しているため、所要自己資本の減少へつながる。カウンターパーティ・リスクの詳細については（注5）「信用リスク」を参照のこと。

注16 流動性リスク

流動性リスクは、DNBバンクグループが自己の支払義務を履行できなくなるリスクである。全体として当行グループの流動性管理は、DNBバンク エイ・エス・エイが内国子会社及び海外のグループ企業の資金調達に関して責任を負っている。流動性リスクは各種の測定方法で管理・測定されている。

取締役会は様々な時間の枠組みの中で、当行の負債の短期の満期を制限する社内限度枠を承認している。また、各満期について銀行特有のリスクやシステミック・リスクやその組み合わせによるストレス・テストを実施しており、市場イベントに対処する緊急時対応計画を定めている。加えて、構造的な流動性リスクに関して限度についても設定されており、このため顧客に対する貸出金は顧客預金、劣後債及び長期借入を通じて概ね賄わなくてはならない。長期資金は主に一般的なシニア債務とカバード・ボンドによって賄われている。当行グループの預金の貸出に対する割合は2016年12月末時点で63.4%と前期末時点の62.5%を上回っている。DNBバンク エイ・エス・エイの貸出金純額に対する預金の割合は2016年度末時点で133.4%であった。

短期資金調達市場は、2016年度を通じて、米国のマネー・マーケット・ファンドに対する新たな規制改革の影響により、不安定な状況が続いた。需要の高まりとあわせ長期物の調達が限られていたことから、スプレッドが拡大する結果となった。年間を通じてDNBの短期資金調達は潤沢であった。

2016年度の長期資金調達市場は、規制と政治面の要因で不安定な状況が続いた。中国経済に関する懸念や欧州銀行の成長見通しの弱まりによって、年初はスプレッドの拡大と取引量の低下を招いた。とりわけ、3月に開催された欧州中央銀行（ECB）会議の後、資産購入プログラムがさらに拡大したことで、スプレッドが大幅に縮小した。EU離脱を巡る英国の国民投票が近づくに伴い、夏に向けて取引量は低下した。投票後に市場は正常化し、スプレッドは縮小した。米国大統領選を前に、取引量が再び低下したものの、その後大幅に持ち直した。ECBの資産購入プログラムの規模が縮小する可能性が生じたことで、年末にかけてスプレッドは拡大した。

短期流動性要件である流動性カバレッジ比率（LCR）は、四半期を通じて100%を上回っており安定した状態であった。12月末時点、ユーロ（EUR）のLCRは562%、米ドル（USD）のLCRは190%、ノルウェー・クローネ（NOK）のLCRは59%でLCR合計は138%であった。

2016年12月末現在、シニア債務及びカバード・ボンドのポートフォリオの満期までの平均残存期間は3.9年で、これは前期末の3.8年より長くなった。DNBグループは今後5年間の資金調達に向けて健全かつ安定的な満期構成の維持を目指すつもりである。

2016年12月31日現在の残存期間¹⁾

DNBバンク エイ・エス・エイ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	1ヶ月以内	3ヶ月以内	1年以内	1年超 5年以内	5年超	満期の 定めなし	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	207,923		11				207,934
金融機関向貸出金及び預け金	203,711	79,263	18,369	240,115	7,567		549,024
顧客向貸出金	159,952	81,835	61,872	199,950	189,983	(2,787)	690,805
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	4,242	10,100	36,264	152,121	21,035		223,762
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券				928	11,831		12,760
株式						124,406	124,406
その他資産		3,217					3,217
合計	575,828	174,416	116,515	593,113	230,416	121,619	1,811,908
負債							
金融機関からの借入金及び預金	223,275	49,225	41,800	24,402	2		338,705
顧客預金	920,557						920,557
発行済負債証券	61,024	63,692	64,251	121,902	18,499		329,368
その他負債等	1,574	3,602	264				5,440
劣後債		10,898		17,467	738		29,102
合計	1,206,430	127,417	106,315	163,771	19,239		1,623,172
デリバティブ							
デリバティブ (グロス決済)							
資金流入	477,590	228,576	289,363	574,751	342,803		1,913,083
資金流出	473,816	230,783	285,192	586,500	356,709		1,933,001
デリバティブ (ネット決済)	187	1,474	(911)	4,190	805		5,745
デリバティブ合計	3,961	(733)	3,260	(7,559)	(13,101)		(14,173)

2015年12月31日現在の残存期間¹⁾

DNBバンク エイ・エス・エイ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	1ヶ月以内	3ヶ月以内	1年以内	1年超 5年以内	5年超	満期の 定めなし	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	16,004						16,004
金融機関向貸出金及び預け金	292,982	138,231	19,957	173,712	5,788		630,671
顧客向貸出金	160,149	74,634	71,842	203,994	197,268	(1,709)	706,177
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	3,009	6,424	24,005	142,556	33,723		209,718
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券				1,695	17,467		19,162
株式						130,394	130,394
その他資産		3,056					3,056
合計	472,145	222,345	115,805	521,958	254,245	128,684	1,715,182
負債							
金融機関からの借入金及び預金	181,533	32,489	8,142	39,677	474		262,315
顧客預金	896,223						896,223
発行済負債証券	38,731	100,979	37,241	153,822	65		330,838
その他負債等	805	3,471	228				4,504
劣後債				29,721	731		30,452
合計	1,117,291	136,940	45,611	223,220	1,270		1,524,332
デリバティブ							
デリバティブ (グロス決済)							
資金流入	676,392	455,976	347,524	619,816	378,367		2,478,075
資金流出	674,056	454,792	347,929	645,953	397,510		2,520,240
デリバティブ (ネット決済)	536	1,141		3,798	2,109		7,584
デリバティブ合計	2,872	2,325	(405)	(22,339)	(17,033)		(34,581)

1) 経過利息を上回る将来の名目利払金額は、貸借対照表日現在含まれていない。

与信枠、コミットメント及び信用状

DNBバンク エイ・エス・エイ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
未使用の与信枠 (1 年以内)	323,827	301,537
未使用の与信枠 (1 年超)	97,495	115,958

2016年12月31日現在の残存期間¹⁾

DNBバンク グループ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	1ヶ月以内	3ヶ月以内	1年以内	1年超 5年以内	5年超	満期の 定めなし	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	208,252		11				208,263
金融機関向貸出金及び預け金	120,011	42,484	5,270	7,116			174,881
顧客向貸出金	180,074	92,243	79,533	321,266	824,516	(4,481)	1,493,151
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	5,225	9,087	32,070	151,198	20,676		218,257
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券				928	11,831		12,760
株式						9,770	9,770
その他資産		3,217					3,217
合計	513,563	147,031	116,884	480,508	857,024	5,289	2,120,300
負債							
金融機関からの借入金及び預金	137,015	23,535	22,922	28,125			211,597
顧客預金	945,587						945,587
発行済負債証券	73,913	61,765	104,186	401,819	99,232		740,915
その他負債等	1,574	3,890	275				5,739
劣後債		10,898		17,467	738		29,102
合計	1,158,089	100,088	127,383	447,410	99,969		1,932,940
デリバティブ							
デリバティブ (グロス決済)							
資金流入	458,963	224,167	247,951	388,303	231,798		1,551,182
資金流出	456,644	226,589	248,396	404,368	238,077		1,574,076
デリバティブ (ネット決済)	1,074	2,357	3,434	20,229	9,296		36,390
デリバティブ合計	3,393	(65)	2,989	4,164	3,017		13,496

2015年12月31日現在の残存期間¹⁾

DNBバンク グループ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	1ヶ月以内	1ヶ月超 3ヶ月以内	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	満期の 定めなし	合計
資産							
現金及び中央銀行預け金	19,317						19,317
金融機関向貸出金及び預け金	184,533	102,938	4,244	2,046	3,713		297,473
顧客向貸出金	182,780	104,616	99,621	335,774	811,837	(2,524)	1,532,104
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	1,609	6,425	24,628	140,115	33,853		206,629
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券				1,695	17,467		19,162
株式						14,140	14,140
その他資産		3,056					3,056
合計	388,239	217,035	128,493	479,630	866,870	11,616	2,091,881
負債							
金融機関からの借入金及び預金	123,606	21,489	678	15,447	37		161,257
顧客預金	957,059						957,059
発行済負債証券	59,201	123,809	71,670	434,533	86,114		775,326
その他負債等	805	3,955	228				4,989
劣後債				29,722	731		30,453
合計	1,140,671	149,253	72,576	479,702	86,882		1,929,084
デリバティブ							
デリバティブ (グロス決済)							
資金流入	653,849	432,276	313,975	437,103	275,019		2,112,222
資金流出	650,951	430,079	314,828	449,945	276,924		2,122,727
デリバティブ (ネット決済)	1,797	2,195	3,607	21,652	12,437		41,687
デリバティブ合計	4,694	4,393	2,754	8,810	10,531		31,182

1) 経過利息を上回る将来の名目利払金額は含まれていない。

与信枠、コミットメント及び信用状

DNBバンク グループ

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
未使用の与信枠 (1年以内)	390,001	360,109
未使用の与信枠 (1年超)	216,295	244,267

[次へ](#)

注17 純利息収入

D N B バンク エイ・エス・エイ						
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度			2015年度		
	公正価値で 計上	償却原価で 計上 ¹⁾	合計	公正価値で 計上	償却原価で 計上 ¹⁾	合計
金融機関向貸出金及び預け金に係る利息	2,074	1,804	3,879	2,084	1,754	3,838
顧客向貸出金に係る利息	730	22,657	23,387	971	25,004	25,975
減損した貸出金及び保証に係る利息	10	612	622	17	441	459
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息	4,457		4,457	4,801		4,801
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息		173	173		314	314
フロントエンド・フィー等	1	258	260	3	290	293
その他の受取利息	(2,331)	4,715	2,385	(1,919)	4,526	2,606
受取利息合計	4,942	30,221	35,163	5,957	32,329	38,287
金融機関からの借入金及び預金に係る利息	(1,958)	(180)	(2,138)	(1,372)	(187)	(1,559)
顧客預金に係る利息	(567)	(5,805)	(6,373)	(497)	(8,795)	(9,292)
発行済負債証券に係る利息	(1,822)	(1,860)	(3,683)	(1,473)	(1,601)	(3,075)
劣後債に係る利息	(35)	(493)	(529)	(38)	(530)	(568)
保証金課税		(638)	(638)		(675)	(675)
その他の支払利息 ²⁾	2,385	(581)	1,804	1,449	(353)	1,096
支払利息合計	(1,997)	(9,558)	(11,555)	(1,932)	(12,140)	(14,072)
純利息収入	2,944	20,663	23,608	4,026	20,189	24,215

D N B バンク グループ						
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度			2015年度		
	公正価値で 計上	償却原価で 計上 ¹⁾	合計	公正価値で 計上	償却原価で 計上 ¹⁾	合計
金融機関向貸出金及び預け金に係る利息	1,105	234	1,339	1,294	314	1,608
顧客向貸出金に係る利息	2,556	42,179	44,735	3,595	45,442	49,037
減損した貸出金及び保証に係る利息		911	911		619	619
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息	4,405		4,405	4,291		4,291
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券に係る利息		173	173		314	314
フロントエンド・フィー等	5	289	294	15	323	337
その他の受取利息	(2,327)	3,356	1,029	(1,945)	3,532	1,587
受取利息合計	5,744	47,142	52,887	7,249	50,544	57,793
金融機関からの借入金及び預金に係る利息	(1,542)	(163)	(1,705)	(1,177)	(188)	(1,365)
顧客預金に係る利息	(567)	(6,135)	(6,703)	(497)	(8,986)	(9,483)
発行済負債証券に係る利息	(3,502)	(8,883)	(12,385)	(3,174)	(9,635)	(12,809)
劣後債に係る利息	(35)	(496)	(532)	(38)	(531)	(569)
保証金課税		(768)	(768)		(845)	(845)
その他の支払利息 ²⁾	3,893	(171)	3,722	3,112	(298)	2,814

支払利息合計	(1,753)	(16,616)	(18,369)	(1,775)	(20,484)	(22,258)
純利息収入	3,991	30,526	34,517	5,475	30,060	35,535

- 1) ヘッジ対象項目を含む。
- 2) その他の支払利息は金利スワップに伴う金利調整額を含む。デリバティブは公正価値で計上している。

注18 貸借対照表項目（抜粋）に係る金利

		DNBバンク エイ・エス・エイ			
		平均金利(%) ¹⁾		平均金額 (百万ノルウェー・クローネ)	
		2016年度	2015年度	2016年度	2015年度
資産					
金融機関向貸出金及び預け金		0.42	0.41	926,269	934,924
顧客向貸出金		3.48	3.68	690,265	719,069
コマーシャル・ペーパー及び債券		2.04	2.13	217,986	225,269
負債					
金融機関からの借入金及び預金		0.54	0.38	392,710	407,055
顧客預金		0.64	0.92	995,959	1,007,870
発行済負債証券		0.96	0.77	383,150	398,935

		DNBバンク グループ			
		平均金利(%) ¹⁾		平均金額 (百万ノルウェー・クローネ)	
		2016年度	2015年度	2016年度	2015年度
資産					
金融機関向貸出金及び預け金		0.23	0.25	579,604	647,358
顧客向貸出金		3.01	3.31	1,514,319	1,501,783
コマーシャル・ペーパー及び債券		2.04	2.14	216,417	200,597
負債					
金融機関からの借入金及び預金		0.60	0.41	284,899	331,697
顧客預金		0.64	0.89	1,044,615	1,062,719
発行済負債証券		1.48	1.51	834,669	847,755

1) 平均金利は付属的平均資本に対応する特定の商品のノルウェー・クローネ建ての金利合計として算定される。

注19 正味手数料

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
3,378	3,451	送金	3,731	3,596
294	342	資産運用サービス	406	351
348	319	カストディ・サービス	344	363
425	573	証券仲介	616	482
289	575	コーポレート・ファイナンス	767	609
29	23	銀行間手数料	23	29
625	494	信用仲介	491	781
366	372	保険商品販売	397	392
		不動産仲介	1,121	1,220
466	589	その他の手数料	732	870
6,220	6,739	受取手数料合計	8,628	8,694
(1,636)	(1,754)	送金	(1,795)	(1,670)
	(15)	資産運用サービス	(15)	
(172)	(170)	カストディ・サービス	(172)	(174)

(115)	(173)	証券仲介	(176)	(119)
(55)	(73)	コーポレート・ファイナンス	(73)	(55)
(61)	(57)	銀行間手数料	(57)	(61)
(83)	(87)	信用仲介	(26)	(27)
(95)	(114)	保険商品販売	(114)	(95)
(459)	(481)	その他の手数料	(567)	(537)
(2,676)	(2,924)	支払手数料合計	(2,994)	(2,737)
3,544	3,815	正味手数料	5,634	5,956

注20 公正価値で測定される金融商品に係る純利得

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	(単位:百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
5,148	8,231	外国為替及びデリバティブ	7,897	8,169
(1,543)	(1,112)	コマーシャル・ペーパー及び債券	(1,185)	(1,552)
52	440	株式	440	52
56	52	その他の金融資産	55	36
140	47	金融負債	71	164
3,853	7,658	金融商品の純利得(トレーディング目的)	7,278	6,868
(214)	74	公正価値で測定される貸出金	(465)	(894)
(1,304)	(568)	コマーシャル・ペーパー及び債券	(629)	(1,021)
(242)	761	株式	(79)	(90)
477	36	金融負債	52	1,837
(1,282)	302	(公正価値で測定される)金融商品の純利得	(1,121)	(168)
(3,255)	(2,788)	デリバティブ(ヘッジ目的)	(4,245)	(8,055)
0	0	金融資産(ヘッジ対象項目)	(1)	(2)
3,637	2,985	金融負債(ヘッジ対象項目)	3,867	9,029
382	196	ヘッジ対象項目に係る純利得 ¹⁾²⁾	(380)	972
864	554	金融保証	595	876
147	124	配当	133	156
3,964	8,834	公正価値で測定される金融商品に係る純利得	6,506	8,704

- 1) ヘッジ対象負債に係るヘッジリスクは公正価値で計上され、かかるヘッジ手段の残額は償却原価で計上される。ヘッジ目的で使用されるデリバティブは公正価値で計上される。ヘッジリスクによる公正価値の変動は「デリバティブ(ヘッジ目的)」で表示している。ヘッジ対象金融負債に係る純利得には、中止されたヘッジ関係に係る公正価値の償却が含まれている。
- 2) DNBグループはDNBボーリ・クレジットとDNBバンク エイ・エス・エイの外貨建長期借入金にヘッジ会計を適用している。貸出金は外部契約を通じて1対1でヘッジされ、かかる契約では通貨、金利の変動及びヘッジ手段に相関関係がある。貸出金が増加した場合には、マーケティング部門が当行グループの外貨ポジション及びかかる貸出金の金利エクスポージャーに基づいて、かかる貸出金についてヘッジ取引を締結するか検討する。

注21 給与及びその他の人件費

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	(単位:百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
(6,175)	(6,138)	給与 ^{*)}	(7,622)	(7,660)
(901)	(968)	従業員国民保険拠出金	(1,190)	(1,124)
823	(872)	年金費用 ¹⁾	(968)	770
(345)	(656)	組織再編費用	(693)	(352)
(647)	(614)	その他の人件費	(733)	(775)
(7,245)	(9,248)	給与及びその他の人件費合計	(11,206)	(9,140)
(5,269)	(5,206)	*) そのうち、業績連動型給与以外の給与等	(6,197)	(6,207)
(737)	(785)	業績連動型給与	(1,275)	(1,281)

- 1) 2015年度第4四半期に、DNBは当行グループの年金制度を2015年12月から確定給付型年金制度から確定拠出型年金制度へ変更することを決定した。この変更には、当行グループの廃止された確定給付型年金制度の加入者であったノルウェーの従業員の大半が対象となった。この変更により、当行グループとDNBバンク エイ・エス・エイはそれぞれ1,808百万ノルウェー・クローネ及び1,778百万ノルウェー・クローネを一括で計上したため、当期の年金費用は減少した。

従業員数 / 常勤従業員数

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度 ¹⁾		2016年度 ¹⁾	2015年度
7,898	7,618	12月31日現在の従業員数	10,801	11,047
868	998	うち海外の従業員数	3,205	3,122
7,546	7,301	12月31日現在の常勤ベースで算定した従業員数	10,366	10,608
850	980	うち常勤ベースで算定した海外の従業員数	3,166	3,079
7,943	7,674	平均従業員数	10,793	11,130
7,583	7,356	常勤ベースで算定した平均従業員数	10,372	10,707

1) 従業員数及び常勤ベースで算定した従業員数が2015年と比べて減少しているのは、当行グループのリストラ策を反映したものである。2016年12月末現在、バルト諸国の1,796名の従業員が当行グループに含まれている。

注22 その他の費用

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
(1,370)	(1,474)	手数料 ¹⁾	(1,575)	(1,497)
(2,184)	(1,886)	IT費	(2,087)	(2,397)
(223)	(179)	郵便料及び通信費	(222)	(268)
(36)	(25)	事務用消耗品費	(74)	(87)
(589)	(567)	マーケティング及び広報費	(804)	(845)
(210)	(173)	旅費	(225)	(271)
(174)	(198)	履行済みの取引に係るノルウェー・ポストへの弁済	(198)	(174)
(60)	(49)	研修費	(61)	(72)
(1,165)	(1,112)	土地及び建物に係る営業費用 ²⁾	(1,285)	(1,365)
(67)	(63)	機械、車両及びオフィス機器に係る営業費用	(92)	(100)
(513)	(391)	その他の営業費用	(585)	(817)
(6,591)	(6,118)	その他の費用合計	(7,207)	(7,892)

- 1) 2016年度のシステム開発費は、DNBバンク エイ・エス・エイで総額1,038百万ノルウェー・クローネ、DNBバンク グループで総額1,037百万ノルウェー・クローネであった。これに対して2015年度はそれぞれ990百万ノルウェー・クローネと990百万ノルウェー・クローネであった。
- 2) 2016年度の賃借建物の関連費用はそれぞれ、DNBバンク エイ・エス・エイが953百万ノルウェー・クローネ、DNBバンク グループが1,020百万ノルウェー・クローネであった。これに対して2015年度は983百万ノルウェー・クローネと1,042百万ノルウェー・クローネであった。

注23 固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
(1,418)	(1,447)	機械、車両及びオフィス機器に関する減価償却費	(1,477)	(1,453)
(375)	(335)	その他の有形資産及び無形資産の減価償却費	(470)	(522)
(66)	(11)	資産計上されたシステム開発費の減損	(11)	(66)
		のれんの減損損失	(5)	
(176)	(258)	固定資産及び無形資産に係るその他の減損	(140)	(119)
(2,035)	(2,050)	固定資産及び無形資産の減価償却費及び減損合計	(2,103)	(2,159)

(注37)「無形資産」及び(注38)「固定資産」を参照のこと。

注24 年金

年金制度の詳細

DNBバンク グループは、Norwegian Public Service Pension Fundの独立したグループ年金制度の対象となっている旧Postbankenの約400名の従業員を除き、ノルウェーにおける全従業員向けに確定給付型企業年金制度を設けている。

拠出率は以下の通り：

- ・ 給与が政府年金基準額（G）の0～7.1倍の場合：7%
- ・ 給与が7.1～12Gの場合：15%
- ・ 当行グループには、12G（廃止された制度の他に）を超す給与に対する確定拠出年金制度はない。

旧確定給付型企業年金制度（2015年12月31日に廃止）に加入していた従業員は、拠出型ベースの直接年金制度として補完的に構成された補償制度の対象となっている。補償制度の積立制度は、移行時に承認された条件に基づき、仮に確定給付型年金制度が継続していた場合に、67歳に達した時点で受け取っていたであろう金額と同額の年金額を、個々の従業員に与えることを目的としている。

当行グループはまた、一部の従業員に対し、12Gを超える給与及び早期退職契約に関する債務を有している。この年金制度は、2008年6月30日より後に当行グループに加入した従業員には適用されない。2011年4月30日にはさらなる制限が設けられた。この日現在給与が12Gを超えていない従業員は、後日給与が12Gを超えた場合でも当制度の対象にはならない。

2017年1月1日以降、12Gを超える給与及び早期退職契約に関する年金債務は、旧確定給付型企業年金制度の移行に関して適用されたものと同じの原則と条件に従って確定拠出制度に転換された。

新制度の積立制度は、移行時に承認された条件に基づき、確定給付型年金制度が継続していた場合に67歳又は合意された年齢に達した時点で受け取っていたであろう金額と同額の年金額を、個々の従業員に与えることを目的としている。12Gを超える給与及び早期退職契約に関する新確定拠出型年金債務には、事業を通じて資金が調達されている。

DNBバンク グループは、ノルウェーの全従業員向けに障害年金制度を設けている。この障害年金制度は国民保険制度の新しい障害給付に適応しており、以下のものが含まれる。

- ・ 12Gまでの場合は年金支給対象所得の3%が支給される
- ・ 12Gまでの場合は年金支給対象所得の6%を上限とするGの25%が支給される
- ・ 6～12Gの場合は年金支給対象所得の66%が支給される

当行グループに属するノルウェー企業は、民間セクター向けの年金契約(CPA)制度に加入している。また当行グループは、Public Service Pension Fundに加入する従業員に適用される公共セクターの規則に従って年金契約に係る合意を締結している。

民間CPA制度は、1Gから7.1Gの間の給与の一定割合に相当する年間保険料により積み立てられる。

雇用者による拠出額は年金費用及び年金債務に含まれる。

ノルウェー国外の子会社及び支店は、自社の従業員のために、主に確定拠出型などの年金制度を別途設けている。ノルウェー国外の従業員の年金費用は172百万ノルウェー・クローネであった。

年金費用及び年金債務の算定の際に適用される経済面での仮定

(単位：％)	DNBバンク グループ			
	費用		債務	
	2016年度	2015年度	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
割引率	2.70	2.40	2.60	2.70
予想給与増加率	2.50	2.75	2.50	2.50
予想基準額増加率	2.25	2.50	2.25	2.25
予想年金増加率	0.50	0.50	0.50	0.50
予想CPA受給率	実際の受給率		実際の受給率	
死亡率に関する人口統計上の仮定 ¹⁾	K2013	K2013	K2013	K2013

1) 当行グループの年金費用及び年金債務は、ノルウェー財務省が作成したK2013の死亡率に基づき、最善見積りである。K2013は統計上の死亡率の仮定のために更新された算定基礎である。

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	DNBバンク エイ・エス・エイ					
	2016年度			2015年度		
	積立型	非積立型	合計	積立型	非積立型	合計
年金受給権の正味現在価値	(64)	(354)	(419)	(431)	(53)	(484)
年金債務に係る利息費用	(97)	(42)	(139)	(366)	(38)	(404)
年金基金の計算上のリターン	89		89	283		283
制度の縮小	31	185	216	1,778	6	1,785
管理費	(1)		(1)	(6)		(6)
確定給付型年金制度合計	(42)	(211)	(252)	1,259	(84)	1,175
年金契約（新制度）			(84)			(92)
リスク・カバレッジ・プレミアム			(42)			(68)
確定拠出年金制度			(495)			(192)
正味年金費用			(873)			822

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	DNBバンク グループ					
	2016年度			2015年度		
	積立型	非積立型	合計	積立型	非積立型	合計
年金受給権の正味現在価値	(65)	(368)	(432)	(461)	(54)	(515)
年金債務に係る利息費用	(98)	(43)	(141)	(377)	(39)	(416)
年金基金の計算上のリターン	90	(1)	89	294		294
制度の縮小	32	188	220	1,808		1,808
管理費	(1)		(1)	(6)		(6)
確定給付型年金制度合計	(42)	(223)	(265)	1,258	(93)	1,164
年金契約（新制度）			(98)			(100)
リスク・カバレッジ・プレミアム			(45)			(75)
確定拠出年金制度			(560)			(219)
正味年金費用			(968)			770

DNBバンク エイ・エス・エイ		年金債務	DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
16,463	4,991	期首残高	5,074	16,982
484	419	年金受給権累計額	432	515
404	139	利息費用	141	416
(859)	209	数理計算上の損失 / (利得) 純額	216	(867)
(10,925)	(329)	制度の縮小	(344)	(11,381)
(733)	(236)	年金支払額	(242)	(753)
158	(155)	為替換算差額	(157)	162
4,991	5,038	期末残高	5,119	5,074

年金基金		年金基金	
2015年度	2016年度	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度 2015年度
11,150	2,798	期首残高	2,826 11,557
283	89	期待リターン	91 294
(10)	(4)	数理計算上の利得 / (損失) 純額	(15) (26)
(9,140)	(113)	制度の縮小	(124) (9,573)
	(62)	繰越不可能な年金資産超過額	(62)
877	96	保険料支払額	110 940
(494)	(114)	年金支払額	(115) (501)
(6)	(1)	管理費	(1) (6)
137	(106)	為替換算差額	(107) 142
2,798	2,584	期末残高	2,603 2,826
2,193	2,454	正味確定給付債務	2,516 2,248
2,246	2,454	うち確定給付年金債務計上額	2,516 2,301
53		うち確定給付型年金資産計上額	53

DNBバンク エイ・エス・エイ			その他の包括利益に計上される影響額	DNBバンク グループ		
積立型	非積立型	合計	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	積立型	非積立型	合計
712	(45)	667	2015年12月31日現在の数理計算上の損失 / (利得)	744	(50)	694
5	11	15	再測定 - 割引率の変動	5	13	18
110	(553)	(443)	再測定 - その他の経済的仮定の変更、年金債務	110	(573)	(463)
28	607	635	再測定 - その他の要因の変更、年金債務	31	628	659
82		82	再測定 - その他の経済的仮定の変更、年金基金	82		82
(82)		(82)	再測定 - その他の要因の変更、年金基金	(72)		(72)
6		6	投資運用費用	7		7
149	64	213	その他の包括利益における再測定による損失 / (利得) 合計	163	67	231
	(8)	(8)	廃止された確定給付型年金制度		(22)	(22)
861	11	872	2016年12月31日現在の数理計算上の損失 / (利得)	907	(4)	903

過去の推移		DNBバンク グループ				
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在	2014年 12月31日現在	2013年 12月31日現在	2012年 12月31日現在	2012年 1月1日現在
年金債務総額 ¹⁾	(5,119)	(5,074)	(16,982)	(13,991)	(13,400)	(16,312)
年金基金総額	2,603	2,826	11,557	10,339	9,959	9,362
財務諸表に計上されていない債務						
正味年金債務計上額	(2,516)	(2,248)	(5,425)	(3,652)	(3,442)	(6,950)

1) 年金債務総額は雇用者による国民保険拠出金及び金融取引税を含む。

年金の算定に係る感応度分析

以下の見積は2016年12月31日現在の事実及び条件に基づいており、その他のパラメーターはすべて不変と仮定している。実際の結果はかかる見積と大きく異なる場合がある。

DNBバンク グループ								
変動 (%)	+1%	割引率 -1%	給与 / 基準額の 年間増加率		+1%	-1%	年金の 年間増加率 規制0%	平均余命 +1年 -1年
年金の変動(%)								
年金債務	7-16	15-17	6-8	6-9	10-11	5-8	2	2
当期正味年金費用	10-20	22-23	13-15	10-11	10-11	5-8	2	2

年金債務はとりわけ割引率の変動に感応する。独立要因として、割引率が低下すると結果的に年金債務が増加する。割引率が1%低下すると年金債務は15%から17%増加し、年金費用も22%から23%増加する。昇給額や年金調整額の増加も年金債務及び年金費用を増加させる。

注25 税金

DNBバンク エイ・エス・エイ		税引前営業利益に係る法人所得税費用	DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
(7,002)	(695)	当期税金	(8,406)	(5,882)
3,550	(4,528)	繰延税金の変動	4,442	(1,873)
(3,452)	(5,223)	法人所得税費用	(3,964)	(7,755)

表面税率に対する法人所得税費用の調整

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)

24,090	20,012	税引前営業利益	21,874	31,028
(6,504)	(5,003)	見積法人所得税費用-表面税率25% (2015年度は27%)	(5,469)	(8,378)
(38)		国外の各税率の税効果	10	(168)
162	357	国外支店との債務利息分配に係る税効果	357	162
3,370	(1,023)	株式投資による非課税収入の税効果 ¹⁾	509	184
119	451	その他の非課税収入及び損金不算入費用の税効果	352	(35)
		貸借対照表で認識されない税務上の繰越欠損金の税効果 ²⁾	123	32
(489)		貸借対照表に計上された繰延税金に対する税率変更の税効果	18	511
(72)	(5)	過年度超過法人所得税	136	(63)
(3,452)	(5,223)	法人所得税費用	(3,964)	(7,755)
14%	26%	実効税率	18%	25%

その他の包括利益に係る法人所得税

(単位: 百万ノルウェー・クローネ)

(239)	48	年金	52	(236)
		純投資ヘッジ	(1,449)	2,294
(239)	48	その他の包括利益に係る法人所得税合計	(1,397)	2,058

- 1) ノルウェーでは、株式投資からの企業所得は通常非課税である。原則として、これはEU又はEEAに拠点を置く企業への投資に適用され、配当金及び実現利得 / (損失) 双方に対して非課税扱いとなる。ただし、非課税対象投資からの配当金のうちの3%は課税所得に含められる。
- 2) 子会社の将来減算差異(おもに繰越欠損金)に係る繰延税金は貸借対照表で認識されないが、かかるタックスポジションが将来利用されることを当行グループが立証できる場合はこの限りではない。

国外の各税率の税効果

当行グループはノルウェーの税率（25％）とは税率が異なる多数の国で事業を行っている。

国外支店との債務利息分配に係る税効果

ノルウェーの税制にしたがって、外部に対する利息費用はノルウェー及び国外支店の業務に対し、各拠点の総資産金額に基づいて分配しなければならない。この結果、ノルウェーにおける収益の増減が発生する可能性が生じる。

実効税率に関する見通し

ノルウェーの2016年度の表面税率は25％であった。ノルウェー以外の地域における事業に対する法人税率は、事業展開先の各国の現地の税制に基づいており、表面税率は12％から45％の範囲にわたっている。ノルウェー以外の地域の事業に対する実効税率は、各国の税制に加え二重課税を回避できるかどうかによって変わる。株式投資からの非課税所得により、期待される税率は25％よりも低くなる。長期的には、実効税率は約23％となることが期待されている。期間によっては、貸借対照表に認識されない繰越欠損金が原因で実効税率が変動している。また、当該資産が認識されない期間には実効税率は長期的な期待よりも高くなり、資産として認識されない欠損金を使用される期間には実効税率は低くなっている。

DNBバンク エイ・エス・エイ		繰延税金資産 / (繰延税金)	DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	すべての一時差異に係る繰延税金を25％で算定（ノルウェー） （単位：百万ノルウェー・クローネ）	2016年度	2015年度
		繰延税金資産 / (繰延税金) の年間の変動		
2,970	6,308	1月1日現在の繰延税金資産 / (繰延税金)	(5,323)	(3,340)
3,550	(4,528)	利益に対して計上された変動	4,442	(1,873)
(238)	47	包括利益に対して計上された変動	52	(236)
26	(1)	繰延税金に係る為替換算差額	(28)	126
		売却目的保有資産に振替	(133)	
6,308	1,826	12月31日現在の繰延税金資産 / (繰延税金)	(990)	(5,323)

貸借対照表の繰延税金資産及び繰延税金は以下

2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	下の一時差異に関連 （単位：百万ノルウェー・クローネ）	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
		繰延税金資産		
(952)	(814)	固定資産及び無形資産	(2)	(26)
(5,652)	(2,964)	コマーシャル・ペーパー及び債券		
2,507	1,988	発行済負債証券		
9,818	3,046	デリバティブ	(31)	(16)
1	(16)	その他の金融商品	(8)	(6)
610	663	年金負債純額	94	102
(207)	(245)	その他の正味将来減算一時差異	857	443
195	224	繰越欠損金及び繰越税額控除	482	641
6,320	1,882	繰延税金資産合計	1,392	1,138
		繰延税金		
11	54	固定資産及び無形資産	853	950
1	2	コマーシャル・ペーパー及び債券	2,964	5,650
		発行済負債証券	(6,937)	(8,226)
		デリバティブ	5,702	8,203
		その他の金融商品	102	264
		年金負債純額	(585)	(522)
		その他の正味将来加算一時差異	419	327
		繰越欠損金及び繰越税額控除	(136)	(185)
12	56	繰延税金合計	2,382	6,461

損益計算書の繰延税金は以下の一時差異に
関連

2015年度	2016年度	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
(298)	95	固定資産及び無形資産	97	(300)
197	2,686	コマーシャル・ペーパー及び債券 ¹⁾²⁾	2,686	215
(673)	(519)	発行済負債証券 ¹⁾²⁾	(1,290)	(2,430)
5,100	(6,772)	デリバティブ ¹⁾²⁾	2,485	6,925
53	(17)	その他の金融商品 ¹⁾²⁾	161	454
(652)	8	年金	3	(668)
(290)	(38)	その他の一時差異	319	(355)
113	29	繰越欠損金及び繰越税額控除 ²⁾	(19)	(5,714)
3,550	(4,528)	繰延税金費用	4,442	(1,873)

- 1) 金融商品の大半は財務諸表において公正価値で計上されるが、税務上、同じ金融商品が実現主義に従って発生基準で計上される。これにより、各会計年度、とりわけ金利と為替レートが大幅に変動した会計年度において財務諸表に記載される利益と税務上算定される利益に大きな差異が生じる。かかる差異は長期的には相殺される。
- 2) 2015年度及び2016年度の大幅な為替相場変動により、当行グループの通貨リスク及び金利リスクの管理に使用している金融商品の未実現損益に大幅な変動があった。金融商品は実現主義に従って計上されており、一方で決算日レート法は外貨建の債権債務に使用されている。一連の差額は短期間のうちに戻し入れされる見込みである。

繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産の概要

DNBバンク エイ・エス・エイ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年12月31日現在			2015年12月31日現在		
	そのうち			そのうち		
	税金資産の			税金資産の		
	繰越欠損金	基礎となる	認識された税	繰越欠損金	基礎となる	認識された
繰越欠損金	合計	もの	金資産	合計	もの	税金資産
シンガポール	351	351	88	236	236	59
欠損金及び税金資産合計	351	351	88	236	236	59
繰越税額控除 ¹⁾			136			136
繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産合計			224			195

1) すべての繰越税額控除は、ノルウェーにおける納税者に関連している。

繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産の概要

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年12月31日現在			2015年12月31日現在		
	そのうち			そのうち		
	税金資産の			税金資産の		
	繰越欠損金	基礎となる	認識された税	繰越欠損金	基礎となる	認識された
繰越欠損金	合計	もの	金資産	合計	もの	税金資産
ノルウェー				194	194	49
シンガポール	351	351	88	236	236	59
ラトビア				1,797	655	98
リトアニア				420	372	63
デンマーク	2,311	1,577	394	2,461	1,681	420
欠損金及び税金資産合計	2,662	1,928	482	5,108	3,138	689

繰越税額控除 ¹⁾	136	136
繰越欠損金及び繰越税額控除から生じる繰延税金資産合計	618	825

1) すべての繰越税額控除は、ノルウェーにおける納税者に関連している。

繰延税金の認識

繰延税金資産は、一時差異を利用できる課税所得をDNBバンクグループが計上すると見込まれる範囲で資産計上される。同じ納税グループ内の一時差異に係る正味繰延税金が評価され、純額で財務諸表に計上される。

[次へ](#)

注26 金融商品の分類

2016年12月31日現在

DNBバンク エイ・エス・エイ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	純損益を通じて公正価値 で測定される金融商品					満期保有 目的の投資	合計
	公正						
	価値で測定		ヘッジ手段				
	されるもの		として指定	償却原価で			
	トレーディ ング目的	として指定 されたもの	されたデリ バティブ	計上される 金融商品 ¹⁾			
現金及び中央銀行預け金	187,462	15,824		4,648		207,934	
金融機関向貸出金及び預け金	340,736	4,907		203,450		549,093	
顧客向貸出金	42,974	16,052		631,034		690,060	
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	150,169	73,191				223,360	
株式	4,297	881				5,178	
デリバティブ	159,522		10,795			170,317	
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券					12,760	12,760	
関連会社への投資				995		995	
子会社への投資				118,233		118,233	
その他資産				13,462		13,462	
金融資産合計	885,161	110,855	10,795	971,822	12,760	1,991,392	
金融機関からの借入金及び預金	299,432	1,196		38,104		338,731	
顧客預金	43,210	11,599		865,855		920,664	
デリバティブ	180,605		1,189			181,794	
発行済負債証券	153,485	12,925		170,531		336,941	
その他負債	516			23,377		23,893	
劣後債		1,254		28,093		29,347	
金融負債合計 ²⁾	677,247	26,975	1,189	1,125,960		1,831,371	

- 1) ヘッジ負債を含む。
- 2) 公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額26,362百万ノルウェー・クローネに上る。

2015年12月31日現在

DNBバンク エイ・エス・エイ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	純損益を通じて公正価値 で測定される金融商品					満期保有 目的の投資	合計
	公正						
	価値で測定 されるもの	ヘッジ手段 として指定	償却原価で 計上される				
	トレーディ ング目的	として指定 されたもの	されたデリ バティブ	金融商品 ¹⁾			
現金及び中央銀行預け金	1,097	12,557		2,350		16,004	
金融機関向貸出金及び預け金	478,799	23,929		127,972		630,700	
顧客向貸出金	37,640	24,855		643,036		705,532	
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	126,930	83,132				210,062	

株式	6,724	781				7,504
デリバティブ	201,393		12,405			213,797
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券					19,162	19,162
関連会社への投資				975		975
子会社への投資				120,473		120,473
その他資産				23,735		23,735
金融資産合計	852,583	145,254	12,405	918,541	19,162	1,947,944
金融機関からの借入金及び預金	233,605	2,449		26,275		262,330
顧客預金	42,176	2,060		852,252		896,488
デリバティブ	239,687		830			240,518
発行済負債証券	159,932	18,258		161,909		340,099
その他負債	5,359			34,079		39,438
劣後債		1,241		29,712		30,953
金融負債合計 ²⁾	680,760	24,008	830	1,104,226		1,809,825

1) ヘッジ負債を含む。

2) 公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額23,342百万ノルウェー・クローネに上る。

2016年12月31日現在

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	純損益を通じて公正価値 で測定される金融商品					合計
	公正		ヘッジ手段			
	価値で測定	されるもの	として指定	償却原価で	満期保有	
	トレーディ	として指定	されたデリ	計上される		
	ング目的	されたもの	バティブ	金融商品 ¹⁾		
現金及び中央銀行預け金	187,462	15,824		4,977		208,263
金融機関向貸出金及び預け金	160,828	45		14,035		174,908
顧客向貸出金	42,974	69,442		1,379,852		1,492,268
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	148,026	69,862				217,887
株式	5,158	1,042				6,200
デリバティブ	124,919		33,038			157,957
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券					12,760	12,760
その他資産				8,255		8,255
金融資産合計	669,366	156,215	33,038	1,407,119	12,760	2,278,497
金融機関からの借入金及び預金	178,047	1,196		32,363		211,606
顧客預金	43,210	11,599		890,885		945,694
デリバティブ	128,796		2,195			130,990
発行済負債証券	153,485	87,402		526,863		767,750
その他負債	516			15,265		15,781
劣後債		1,254		28,093		29,347
金融負債合計 ²⁾	504,053	101,451	2,195	1,493,470		2,101,169

- 1) ヘッジ負債を含む。
- 2) 公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額99,238百万ノルウェー・クローネに上る。

2015年12月31日現在

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	純損益を通じて公正価値 で測定される金融商品					満期保有 目的の投資	合計
	公正		ヘッジ手段		償却原価で 計上される		
	価値で測定 されるもの	として指定	されたデリ	バティブ			
	トレーディ ング目的	されたもの	バティブ	金融商品 ¹⁾			
	現金及び中央銀行預け金	1,097	12,557				
金融機関向貸出金及び預け金	282,854	2		14,602	297,457		
顧客向貸出金	37,640	85,777		1,408,515	1,531,932		
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	125,580	81,482			207,063		
株式	7,603	1,190			8,794		
デリバティブ	165,866		37,408		203,273		
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券					19,162	19,162	

その他資産				8,608		8,608
金融資産合計	620,641	181,008	37,408	1,437,388	19,162	2,295,606
金融機関からの借入金及び預金	129,082	2,449		29,735		161,267
顧客預金	42,176	2,060		913,086		957,322
デリバティブ	154,044		834			154,878
発行済負債証券	159,932	88,490		558,388		806,810
その他負債	5,359			13,050		18,409
劣後債		1,241		29,712		30,953
金融負債合計 ²⁾	490,594	94,240	834	1,543,971		2,129,640

1) ヘッジ負債を含む。

2) 公正価値で測定されるものとして指定された金融負債の約定債務は総額91,948百万ノルウェー・クローネに上る。

注27 償却原価で測定される金融商品の公正価値

D N B バンク エイ・エス・エイ				
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年12月31日現在		2015年12月31日現在	
	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
現金及び中央銀行預け金	4,648	4,648	2,350	2,350
金融機関向貸出金及び預け金	203,450	203,450	127,972	127,972
顧客向貸出金	631,034	634,571	643,036	636,275
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券	12,760	12,406	19,162	18,463
金融資産合計	851,891	855,075	792,520	785,059
金融機関からの借入金及び預金	38,104	38,104	26,275	26,275
顧客預金	865,855	865,855	852,252	852,252
発行済証券	170,531	173,788	161,909	164,603
劣後債	28,093	28,065	29,712	29,711
金融負債合計	1,102,583	1,105,812	1,070,147	1,072,841

D N B バンク グループ				
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年12月31日現在		2015年12月31日現在	
	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
現金及び中央銀行預け金	4,977	4,977	5,663	5,663
金融機関向貸出金及び預け金	14,035	14,035	14,602	14,602
顧客向貸出金	1,379,852	1,383,679	1,408,515	1,401,036
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券	12,760	12,406	19,162	18,463
金融資産合計	1,411,623	1,415,097	1,447,942	1,439,763
金融機関からの借入金及び預金	32,363	32,363	29,735	29,735
顧客預金	890,885	890,885	913,086	913,086
発行済証券	526,863	533,874	558,388	562,620
劣後債	28,093	28,065	29,712	29,711
金融負債合計	1,478,205	1,485,187	1,530,921	1,535,153

D N B バンク エイ・エス・エイ				
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	観察可能な			
	活発な市場に	観察可能な 市場データ以外		
	おける相場価格	市場データに のインプットに		
	に基づく評価	に基づく評価	に基づく評価	
	レベル 1 ¹⁾	レベル 2 ¹⁾	レベル 3 ¹⁾	合計
2016年12月31日現在の資産				
現金及び中央銀行預け金		4,648		4,648
金融機関向貸出金及び預け金		203,450		203,450
顧客向貸出金			634,571	634,571
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券			12,406	12,406
2016年12月31日現在の負債				
金融機関からの借入金及び預金		38,104		38,104
顧客預金		865,855		865,855
発行済証券		171,840	1,949	173,788

劣後債	22,787	5,278	28,065
-----	--------	-------	--------

DNBバンク グループ

観察可能な

活発な市場に 観察可能な 市場データ以外
おける相場価格 市場データに のインプットに
に基づく評価 基づく評価 基づく評価

(単位：百万ノルウェー・クローネ)

	レベル 1 ¹⁾	レベル 2 ¹⁾	レベル 3 ¹⁾	合計
2016年12月31日現在の資産				
現金及び中央銀行預け金		4,977		4,977
金融機関向貸出金及び預け金		14,035		14,035
顧客向貸出金			1,383,679	1,383,679
満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券			12,406	12,406
2016年12月31日現在の負債				
金融機関からの借入金及び預金		32,363		32,363
顧客預金		890,885		890,885
発行済証券		499,379	34,495	533,874
劣後債		17,937	10,128	28,065

1) 各レベルの定義に関しては、(注28)「公正価値で測定される金融商品」を参照のこと。

償却原価で測定される金融商品

DNBバンク グループの貸借対照表上の、大半の資産及び負債は償却原価で計上されている。このことは主に当行グループの貸借対照表上の貸出金、預け金（預金）、及び借入金だけでなく、満期保有目的の債券への投資等にも適用されている。ノルウェー・クローネ建ての長期借入金は公正価値で計上されているが、その他の通貨建ての長期借入金は償却原価で計上されている。ヘッジ会計が適用される場合もある。

償却原価で貸借対照表項目を計上するのは、減損のために調整される可能性があることや、当初認められたキャッシュ・フローが使われることを意味する。このような評価額は必ずしも同じ金融商品の市場評価額と常に合致するものではない。かかる不一致はマクロ経済の見通し、市況、リスク面、リターン要件に関する見解の相違並びに正確な情報の入手方法の違いによるものである。上記の表は、償却原価で計上された項目の見積公正価値を表示している。

評価額は各金融商品の特性と貸借対照表日の価値に基づいている。しかし、かかる評価額は顧客関係、市場へのアクセス、ブランド、組織面、従業員、及び資本構成といった価値をすべて含んだものではない。結果として、そのような無形資産は普通、財務諸表に計上されない。加えて顧客との取引の大半は、複数の商品に対し集合的に評価され、値付けされるものであり、貸借対照表に計上される商品は顧客が利用するその他の商品及びサービスと合わせて考慮されている。そのため、貸借対照表に計上される個々の資産及び負債は当行グループの事業の全体価値を反映しつくすものではない。

金融機関向貸出金及び預け金並びに顧客向貸出金

貸出金を評価する際、貸出金ポートフォリオは次のカテゴリー、すなわち個人顧客、中小企業、北欧企業、国外の事業法人、海運／オフショア／物流及びエネルギーに分けられている。また、DNB Finans及びポーランド事業部に関しては別途算定が行われている。

評価額は12月の平均スプレッドに基づいたもので、その平均スプレッドは2016年度末に貸出が実行された場合に事業部門が必要と見込む潜在スプレッドの最善の見積と比較し考慮されている。貸出に関連する見積費用に基づき、分化した必要スプレッドが上記のカテゴリー別に算定されている。必要スプレッドは標準損失額をカバーする費用を含んでいる。標準損失額は年次財務諸表に計上される減損額とは対照的に、損失水準の長期評価額を表している。

償却原価で計上されるリテールローンは、大半が変動金利による貸出である。かかるリテールローンの公正価値は償却原価で計上されている。

減損した貸出金については、減損していない類似の貸出金に関する市況変動調整後の実効金利で割り引かれた潜在キャッシュ・フローの評価が行われている。引当金設定前の貸出金利は負債の信用リスクの上昇を反映している。公正価値の測定における一般的な不確実性を踏まえると、減損後の価値は、かかる貸出金の公正価値を適切に反映していると評価される。

顧客は、一部が償却原価、また一部が公正価値で計上されるような貸出商品をしばしば利用するのである。顧客取引関係の収益性は総額に基づいて考察され、価値は全体的な評価に基づいて査定される。それに応じて、顧客取引関係価値の低下は商品すべての全体評価に基づく。特定の商品の価格変動以外の価値の低下は、関連する顧客取引関係の信用の全体評価に含まれる。顧客関係価値合計の低下は償却原価に基づいて測定され、貸出金の減損に基づいて計上される。

満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券

レベル2の評価は主として、債券又はコマーシャル・ペーパーの個々の信用や特徴に関連した、金利カーブ、為替レート及び信用スプレッドといった形で観察可能な市場データに基づいて行われる。レベル3に分類される債券類の評価は、モデルに基づいて行われる。詳細については（注33）「満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券」を参照のこと。

金融機関からの借入金及び預金、並びに顧客預金

金融機関からの借入金及び預金については、見積公正価値は貸借対照表価額と合致する。顧客預金については、公正価値は償却原価に合致するよう評価されている。

発行済証券及び劣後債

レベル2の評価は、入手可能な場合には、金利カーブや信用スプレッドといった形で観察可能な市場データに基づいて行われる。レベル3に分類される証券及び劣後債はモデルに基づいて評価される。これらの項目は主に外貨による資金調達で構成されている。

注28 公正価値で測定される金融商品

	DNBバンク エイ・エス・エイ			
	活発な市場 における相場 価格に 基づく評価 レベル1	観察可能な 市場データに 基づく評価 レベル2	観察可能な 市場データ 以外のイン プットに 基づく評価 レベル3	合計
(単位：百万ノルウェー・クローネ)				
2016年12月31日現在の資産				
中央銀行預け金		203,286		203,286
金融機関向貸出金及び預け金		345,643		345,643
顧客向貸出金		42,974	16,052	59,026
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	50,893	172,092	375	223,360
株式	4,140	239	799	5,178
デリバティブ	0	168,998	1,319	170,317
2016年12月31日現在の負債				
金融機関からの借入金及び預金		300,628		300,628
顧客預金		54,809		54,809
発行済負債証券		166,410		166,410
劣後債		1,254		1,254
デリバティブ	0	180,732	1,062	181,794
その他の金融負債 ¹⁾	516	0		516
2015年12月31日現在の資産				
中央銀行預け金		13,654		13,654
金融機関向貸出金及び預け金		502,727		502,727
顧客向貸出金		37,640	24,855	62,495
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	37,906	171,590	566	210,062
株式	6,675	1	828	7,504
デリバティブ	2	212,291	1,504	213,797
2015年12月31日現在の負債				
金融機関からの借入金及び預金		236,055		236,055
顧客預金		44,236		44,236
発行済負債証券		178,190		178,190
劣後債		1,241		1,241
デリバティブ	0	239,374	1,144	240,518
その他の金融負債 ¹⁾	5,285	75		5,359

1) トレーディング業務におけるショートポジション。

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	活発な市場 における 相場価格に 基づく評価 レベル 1	観察可能な 市場データに 基づく評価 レベル 2	観察可能な 市場データ 以外のイン プットに 基づく評価 レベル 3	合計
2016年12月31日現在の資産				
中央銀行預け金		203,286		203,286
金融機関向貸出金及び預け金		160,873		160,873
顧客向貸出金		42,974	69,442	112,416
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	54,988	162,524	375	217,887
株式	5,009	245	946	6,200
デリバティブ	0	156,637	1,319	157,957
2016年12月31日現在の負債				
金融機関からの借入金及び預金		179,243		179,243
顧客預金		54,809		54,809
発行済負債証券		240,887		240,887
劣後債		1,254		1,254
デリバティブ	0	129,928	1,062	130,990
その他の金融負債 ¹⁾	516	0		516
2015年12月31日現在の資産				
中央銀行預け金		13,654		13,654
金融機関向貸出金及び預け金		282,855		282,855
顧客向貸出金		37,640	85,777	123,417
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	42,335	163,994	734	207,063
株式	7,564	2	1,229	8,794
デリバティブ	2	201,767	1,504	203,273
2015年12月31日現在の負債				
金融機関からの借入金及び預金		131,532		131,532
顧客預金		44,236		44,236
発行済負債証券		248,422		248,422
劣後債		1,241		1,241
デリバティブ	0	153,734	1,144	154,878
その他の金融負債 ¹⁾	5,285	75		5,359

1) トレーディング業務におけるショートポジション。

レベル

金融商品は、その個々の金融商品に係る市場データの品質に基づいて、異なるレベルに分類される。レベル 2 に分類される金融商品に関しては、市場データの品質は当該金融商品が取引されていたかどうかによって変わる可能性がある。したがって、一部の金融商品がレベル 2 とレベル 3 との間で移動することは致し方がない。これは主としてコマーシャル・ペーパー及び債券に当てはまる。

レベル 1：活発な市場における相場価格に基づく評価

レベル 1 に分類されるのは、同一の資産又は負債に関する活発な市場の相場価格で評価される金融商品である。

このカテゴリーに分類される金融商品は、活発な市場で取引される上場株式及び投資信託、国債、並びにコマーシャル・ペーパーである。

レベル2：観察可能な市場データに基づく評価

レベル2に分類されるのは相場価格以外の情報で評価される金融商品であるが、この場合、資産若しくは負債に関する価格は、同一の資産若しくは負債に関する活発ではない市場の相場価格を含め直接又は間接に観察可能である。

このカテゴリーに含まれるのは、ロイター又はブルームバーグによる相場価格のある金利スワップ、通貨スワップ、及び先物契約といった銀行間デリバティブの他、ノルウェー・クローネ、ユーロ、米ドル、及び英ポンド間のベシス・スワップ並びに信用スプレッドの低い顧客との通貨金利デリバティブ等である。上場オプションは、内在するボラティリティが観察可能な価格に基づき調査又は補間／推定できる場合にレベル2に分類される。

レベル3：観察可能な市場データ以外に基づく評価

レベル3に分類されるものは、直接観察可能な価格に基づいて評価することができない金融商品である。これらの金融商品に対しては、企業の資産及び負債の価値、予想キャッシュ・フロー及び主なパラメータが観察可能な市場データに基づかない他のモデルといった、他の評価手法が使用されている。

このカテゴリーに含まれるのは、信用スプレッドが市場価値に対する調整の大半を占めるような顧客向けの貸出金及び金融商品である。

見積公正価値が取引価格と異なる場合に発生する損益（初日損益）は、2016年度及び2015年度の財務諸表に重要な影響を及ぼしていない。

異なるレベルに分類された金融商品

金融機関向貸出金及び預け金（レベル2）

これは、主にマーケット部門に関連するものである。金融機関との貸出金及び預け金の評価は主にスワップ・カーブで測定される合意された金利期間に基づいて行われる。固定金利期間は比較的短い。

顧客向貸出金（レベル3）

貸出金は主にノルウェー・クローネ建ての固定金利の貸出金であるが、ノルウェー・クローネ建てのスプレッド貸出ポートフォリオも一部ある。固定金利の貸出金の価値は必要スプレッドを調整した割引係数を使って、貸出期間にわたり契約で定められたキャッシュ・フローを割り引くことで算出される。必要スプレッドはスプレッド貸出に関して算定され、契約されたスプレッドと実際のスプレッドの差異はスプレッド貸出の金利改定までの予想平均期間にわたって割り引かれる。

コマーシャル・ペーパー及び債券（レベル2とレベル3）

レベル2での評価は、主に個別のクレジット又は債券若しくはコマーシャル・ペーパーの特性に関連する金利カーブ、為替レート及び信用スプレッドの形で観察可能な市場データ等に基づく。レベル3に分類されるコマーシャル・ペーパーの評価は、第三者又は比較可能なコマーシャル・ペーパーの気配値に基づく。

投資信託を含む株式（レベル2とレベル3）

レベル2の株式とは、他の小規模な投資信託や上場株式を原資産とする投資信託である。レベル3に分類される金融商品は、不動産ファンド、リミテッド・パートナーシップ・ユニット、プライベート・エクイティ投資及び非上場株式投資等である。

デリバティブ（レベル2とレベル3）

レベル2に分類されるデリバティブは、主に通貨先渡契約、並びに金利及び通貨スワップ等である。その評価はスワップ・カーブに基づいており、信用スプレッドはその価値のごく一部である。またその他、コモディティに連動するデリバティブやFRA（金利先渡契約）も含んでいる。これらは観察可能な市場価格に基づいて評価される。レベル2に分類されるデリバティブには、マーケット部門のマーケット・メイキング業務で使われるエクイティ・デリバティブも含まれる。かかるデリバティブの大半はオスロ証券取引所で活発に取引される株式に連動し、その評価は連動する／原資産である株式の価格動向、及び観察可能又は予想ボラティリティに基づいている。レベル3に分類されるデリバティブは、主にノルウェー・クローネ建ての通貨オプションと金利オプション及び指数デリバティブ等に連動し、第三者の気配値に基づいて評価される。

金融機関からの借入金及び預金（レベル2）

上記の「金融機関向貸出金及び預け金」を参照のこと。

顧客預金（レベル2）

公正価値で計上される預金は特別条件の預金を含み、スワップ・カーブに関連した測定に基づいて評価され、信用スプレッドの変動はそれほど影響を及ぼさない。

発行済負債証券（レベル2）

発行済負債証券の評価は、金利カーブや信用スプレッドの形で観察可能な市場データ等に基づいている。かかる勘定科目はノルウェー・クローネ建ての調達資金が中心である。外貨での資金調達に関しては、ヘッジが行われている場合にはヘッジ会計を適用している。その他すべての面に関して、発行済負債証券は償却原価で計上される。

劣後債（レベル2）

公正価値で計上される劣後債はノルウェー・クローネ建ての1本であり、観察可能な金利カーブ及び信用スプレッドに基づいて評価される。

公正価値で測定される金融商品（レベル3）**DNBバンク エイ・エス・エイ**

	金融資産				金融負債
	顧客向貸出金	コマーシャル・ペーパー及び債券	株式	デリバティブ	デリバティブ
(単位：百万ノルウェー・クローネ)					
2014年12月31日現在の帳簿価額	36,825	246	1,335	1,877	1,463
金融商品に係る純利得	(211)	16	48	61	(24)
追加／取得	7,388	351	241	520	467

売却	(2,131)	(340)	(796)		
決済	(17,017)	0		(981)	(777)
レベル1又はレベル2からの振替		818			
レベル1又はレベル2への振替		(462)			
その他		(62)		27	15
2015年12月31日現在の帳簿価額	24,855	566	828	1,504	1,144
金融商品に係る純利得	42	(12)	(119)	(201)	(122)
追加 / 取得	4,914	308	135	802	797
売却	(2,696)	(597)	(45)		
決済	(11,063)			(772)	(751)
レベル1又はレベル2からの振替		698			
レベル1又はレベル2への振替		(576)			
その他 ¹⁾		(13)		(14)	(6)
2016年12月31日現在の帳簿価額	16,052	375	799	1,319	1,062

公正価値で測定される金融商品（レベル3）

DNBバンク グループ

	金融資産				金融負債
	顧客向貸出金	コマーシャル・ ペーパー及び債券	株式	デリバティブ	デリバティブ
(単位：百万ノルウェー・クローネ)					
2014年12月31日現在の帳簿価額	105,429	251	1,589	1,877	1,463
金融商品に係る純利得	(896)	(9)	210	61	(24)
追加 / 取得	35,628	532	241	520	467
売却	(20,169)	(344)	(825)		
決済	(34,215)	0		(981)	(777)
レベル1又はレベル2からの振替		818			
レベル1又はレベル2への振替		(462)			
その他		(51)	14	27	15
2015年12月31日現在の帳簿価額	85,777	734	1,229	1,504	1,144
金融商品に係る純利得	(519)	(97)	(120)	(201)	(122)
追加 / 取得	13,818	308	156	802	797
売却 ²⁾	(5,146)	(657)	(283)		
決済	(24,489)	0		(772)	(751)
レベル1又はレベル2からの振替		698			
レベル1又はレベル2への振替		(576)			
その他 ¹⁾		(35)	(36)	(14)	(6)
2016年12月31日現在の帳簿価額	69,442	375	946	1,319	1,062

- 1) 2016年11月に、約5十億ノルウェー・クローネに上る住宅ローンポートフォリオは、DNBボーリ・クレジットからDNBリフスフォルシクリンに売却された。
- 2) 2016年8月に、売却目的保有に分類変更されたバルト諸国の資産及び負債を含む。

顧客向貸出金

公正価値で計上される貸出金ポートフォリオは、主にノルウェー・クローネ建ての固定金利貸出金やノルウェー・クローネ建てのスプレッド貸出金の一部等である。

固定金利貸出金

固定金利貸出金の評価は必要スプレッドを調整した割引係数を用いて、貸出期間にわたり契約で定められた利息額を割り引くことにより算出される。使用する割引係数は、関連する固定金利貸出金の平均残存固定期間（lock-in period）に等しいデューレーションに基づいたスワップレートを起点としている。貸出金の必要スプレッドの算出の基礎となる仮定は、貸借対照表日現在の市況のレビューに加え、同様のポートフォリオに投資する際に外部の投資家が行った審議の評価に基づいている。公正価値で計上される固定金利貸出金は2016年度末時点で総額57,430百万ノルウェー・クローネに上る。

公正価値で計上されるスプレッド貸出金

スプレッド貸出金は参照金利とスプレッドから成る契約金利による貸出金である。参照金利は通常3ヶ月毎に設定されるが、スプレッドはかなり長い期間にわたって定められる。金利の変動が激しく、市場の流動性が乏しい時期には、金融危機の場合と同様、長期の資金調達コストが増加する。かかるコストはその算定時に銀行が使用する必要スプレッドにとって重要である。必要スプレッドは契約スプレッドに対して測定され、その差分が予想スプレッドの調整までの平均期間にわたって割り引かれる。かかる平均期間は当行グループの事業部門からの査定に基づいているが、過去の経験に基づいて重要な判断を下す必要がある。スプレッドの実際の調整までの期間がかかる計算における不確実性の最大の要素である。公正価値で計上されるスプレッド貸出金は2016年度末時点で総額12,012百万ノルウェー・クローネに上る。

コマーシャル・ペーパー及び債券

レベル3に分類される投資は、主に、流動性が低いコーポレートハイイールド債である。

投資信託を含むエクイティ

レベル3に分類される投資は、プライベート・エクイティ・ファンド、リミテッド・パートナーシップ及び非上場株式である。かかる投資に関する共通点は各部門からの情報の取得に遅れがあるということである。金融市場が混乱している時期には、かかる投資の評価に関わる不確実性が非常に大きい可能性がある。

デリバティブ、資産及び負債

レベル3に分類される金融商品は、通貨オプション、ノルウェー・クローネ建ての金利オプション、消費者物価指数に連動するデリバティブ等である。

DNBバンク エイ・エス・エイ 公正価値の内訳 (レベル3)				DNBバンク グループ			
2016年12月31日現在				2016年12月31日現在			
株式	コマーシャル・ペーパー及び債券	顧客向貸出金		顧客向貸出金	コマーシャル・ペーパー及び債券	株式	
660	412	15,984	元本金額 / 購入価額	68,789	412	770	
138	(37)	24	公正価値の調整 ¹⁾	521	(37)	176	
		44	未収利息	131			
799	375	16,052	帳簿価額	69,442	375	946	

1) 顧客向貸出金の公正価値の変動は、主としてスワップレートの変動に起因する。対応するマイナスの調整は、経済的ヘッジに使用される金融商品の公正価値の中で行われる。

DNBバンク エイ・エス・エイ 株式の内訳 (レベル3)				DNBバンク グループ			
合計	その他	プライベート・エクイティ (PE)・ファンド	非上場株式	非上場株式	プライベート・エクイティ (PE)・ファンド	その他	合計
799	24	226	549	696	226	24	946
2016年12月31日現在の帳簿価額							

DNBバンク エイ・エス・エイ 感応度分析 (レベル3)			DNBバンク グループ		
合理的に発生の可能性のある代替的仮定の影響	2016年12月31日現在の帳簿価額		2016年12月31日現在の帳簿価額	合理的に発生の可能性のある代替的仮定の影響	
(28)	16,052	顧客向貸出金	69,442	(149)	
(1)	375	コマーシャル・ペーパー及び債券	375	(1)	
	799	株式	946		
	257	デリバティブ (正味)	257		

貸出金ポートフォリオの感応度を表示するため、固定金利の貸出金の割引率とスプレッド・ベースの貸出金の必要スプレッドを10ベーシスポイント引き上げた。

レベル3に分類される債券は主に、ノルウェーの産業及び電力会社への投資に関するものである。割引率が10ベーシスポイント上昇した場合の影響は僅少である。

[次へ](#)

注29 相殺

下記の表は、金融資産と金融負債に対する当行グループのネットティング契約による潜在的な影響を示したものである。詳細な情報については（注１）「会計方針」を参照のこと。

		D N B バンク エイ・エス・エイ			
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	総額	財政状態 計算書で相殺 される金額	帳簿価額	ネットティング 契約	可能な ネットティング 後の金額
2016年12月31日現在の資産					
金融機関向貸出金及び預け金 ²⁾	153,938		153,938		153,938
顧客向貸出金 ²⁾	43,496		43,496		43,496
デリバティブ ³⁾	136,705		136,705	54,580	45,407
2016年12月31日現在の負債					
金融機関からの借入金及び預金 ²⁾	50,018		50,018		50,018
顧客預金 ²⁾	1,185		1,185		1,185
デリバティブ ³⁾	145,722		145,722	54,580	68,648

		D N B バンク エイ・エス・エイ			
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	総額	財政状態 計算書で相殺 される金額	帳簿価額	ネットティング 契約	可能な ネットティング 後の金額
2015年12月31日現在の資産					
金融機関向貸出金及び預け金 ²⁾	279,255		279,255		279,254
顧客向貸出金 ²⁾	38,545		38,545		38,545
デリバティブ ³⁾	166,980		166,980	57,498	69,950
2015年12月31日現在の負債					
金融機関からの借入金及び預金 ²⁾	22,001		22,001		22,001
顧客預金 ²⁾					
デリバティブ ³⁾	202,307		202,307	57,498	98,174

		D N B バンク グループ			
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	総額	財政状態 計算書で相殺 される金額	帳簿価額	ネットティング 契約	可能な ネットティング 後の金額
2016年12月31日現在の資産					
金融機関向貸出金及び預け金 ²⁾	153,938		153,938		153,938
顧客向貸出金 ²⁾	43,496		43,496		43,496
デリバティブ ³⁾	124,387		124,387	54,603	33,066
2016年12月31日現在の負債					
金融機関からの借入金及び預金 ²⁾	20,375		20,375		20,375
顧客預金 ²⁾	1,185		1,185		1,185
デリバティブ ³⁾	95,234		95,234	54,603	18,137

		D N B バンク グループ			
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	総額	財政状態 計算書で相殺 される金額	帳簿価額	ネットティング 契約	可能な ネットティング 後の金額
2015年12月31日現在の資産					
金融機関向貸出金及び預け金 ²⁾	279,338		279,338		279,337
顧客向貸出金 ²⁾	38,546		38,546		38,546
デリバティブ ³⁾	156,456		156,456	57,533	59,391
2015年12月31日現在の負債					
金融機関からの借入金及び預金 ²⁾	22,001		22,001		22,001
顧客預金 ²⁾					
デリバティブ ³⁾	116,723		116,723	57,533	12,610

- 1) 取引相手との間で受払いされた担保金及び証券、並びにクリアストリーム又はユーロクリアといった預託機関の担保として受け入れあるいは差し入れた証券が含まれている。
- 2) レボ及びリバース・レボ取引、証券貸借取引が含まれている。
- 3) 総額は、マスターネットティング契約の対象となっている、又はクレジット・サポート・アネックスに基づいて現金もしくは証券によって担保されているデリバティブの市場価値を表している。

注30 株式

株式、投資信託及びエクイティ証券への投資¹⁾

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
7,504	5,178	株式、投資信託及びエクイティ証券への投資合計	6,200	8,794

2016年12月31日現在の株式、投資信託及びエクイティ証券への主要投資の内訳

DNBバンク エイ・エス・エイ				DNBバンク グループ			
(帳簿価額 単位: 千ノルウェー・クローネ)	株式数	持株比率 (%) ²⁾	帳簿価額	(帳簿価額 単位: 千ノルウェー・クローネ)	株式数	持株比率 (%) ²⁾	帳簿価額
金融機関				金融機関			
Gjensidige Forsikring ³⁾	66,343		9,089	Bank of New York	100,000		860,920
Storebrand ³⁾	9,788,630	2.2	449,494	Storebrand ³⁾	9,788,630	2.2	449,494
その他の金融機関			39,019	その他の金融機関			60,875
金融機関合計			497,602	金融機関合計			1,371,289
ノルウェー企業				ノルウェー企業			
American Shipping Company ³⁾	9,506,257	15.7	231,002	Alpinco	347,043	19.9	56,161
DNO ³⁾	6,957,991	0.6	59,004	American Shipping Company ³⁾	9,506,257	15.7	231,002
Eiendomsverdi	353,269	18.8	50,577	DNO	6,957,991	0.6	59,004
Koksa Eiendom	16,198,752	12.6	189,000	Eiendomsverdi	353,269	18.8	50,577
Marine Harvest ³⁾	338,400	0.1	52,689	Finn Eiendom	755	7.6	91,338
Nordic Semiconductor ³⁾	2,150,829	1.3	75,494	Koksa Eiendom	16,198,752	12.6	189,000
Norsk Hydro ³⁾	1,111,404	0.1	45,901	Marine Harvest ³⁾	338,400	0.1	52,689
Norway Royal Salmon ³⁾	2,371,819	5.4	490,967	Nordic Semiconductor ³⁾	2,150,829	1.3	75,494
Norwegian Air Shuttle ³⁾	222,917	0.6	63,977	Norway Royal Salmon ³⁾	2,371,819	5.4	490,967
NRC Group ³⁾	2,081,301	5.4	141,528	Norwegian Air Shuttle ³⁾	222,917	0.6	63,977
Olav Thon Eiendomselskap ³⁾	286,622	0.3	45,860	NRC Group ³⁾	2,081,301	5.4	141,528
Opera Software ³⁾	2,034,900	1.4	75,902	Opera Software ³⁾	2,034,900	1.4	75,902
Orkla ³⁾	1,190,432	0.1	93,092	Orkla ³⁾	1,190,432	0.1	93,092
Telenor ³⁾	1,521,397	0.1	196,260	Telenor ³⁾	1,521,397	0.1	196,260
Thin Film Electronics ³⁾	13,807,200	1.7	50,534	Thin Film Electronics ³⁾	13,807,200	1.7	50,534
その他のノルウェー企業			609,800	その他のノルウェー企業			702,166
ノルウェー企業合計			2,471,587	ノルウェー企業合計			2,619,691
海外企業				海外企業			
Archer ³⁾	2,902,816	5.0	36,575	Archer ³⁾	2,902,816	5.0	36,575
Cherry AB ³⁾	255,000	1.5	60,973	Cherry AB ³⁾	255,000	1.5	60,973
Deep Sea Supply ³⁾	41,120,000	14.1	57,157	Deep Sea Supply ³⁾	41,120,000	14.1	57,157
Golar LNG ³⁾	4,162,765	4.2	836,819	Golar LNG ³⁾	4,162,765	4.2	836,819
Golden Ocean Group ³⁾	1,524,846	1.4	62,976	Golden Ocean Group ³⁾	1,524,846	1.4	62,976
Seadrill ³⁾	3,419,706	0.7	101,976	Seadrill ³⁾	3,419,706	0.7	101,976
Subsea 7 ³⁾	420,818	0.1	45,995	Subsea 7 ³⁾	420,818	0.1	45,995
Teekay Offshore Partners ³⁾	474,525	10.0	82,970	Teekay Offshore Partners ³⁾	474,525	10.0	82,970
その他の海外企業			297,897	その他の海外企業			297,897
海外企業合計			1,583,338	海外企業合計			1,583,338
投資信託				投資信託			
投資信託			140,082	投資信託			140,082
プライベート・エクイティ・ファンド			246,406	プライベート・エクイティ・ファンド			246,406
その他のファンド			239,133	その他のファンド			239,347
投資信託合計			625,621	投資信託合計			625,836
株式、投資信託及びエクイティ証券への投資合計			5,178,148	株式、投資信託及びエクイティ証券への投資合計			6,200,153

- 1) エクイティ証券は、貯蓄銀行に対する投資である。
- 2) 持株比率は企業の総株主資本に基づいており、デリバティブ契約は含まれていない。
- 3) マーケッツ部門において公正価値で計上される株式及びファンドは2016年度末現在で総額4,297百万ノルウェー・クローネであった。マーケッツ部門のエクイティ投資は、主にマーケッツ部門のマーケット・メイキング業務の中でエクイティ・デリバティブのエクスポージャーをヘッジする際の金融商品である。マーケッツ部門のエクイティ関連業務のバリュー・アット・リスクは2016年度末現在で約5.5百万ノルウェー・クローネであった。

注31 譲渡資産又はその他の制約を受ける資産

DNBバンク エイ・エス・エイ		貸借対照表で引続き認識されている 譲渡資産	DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
保証				
2,212		ノルウェー輸出金融公社へ譲渡された貸出金		2,212
レボ取引				
5,128	14,726	コマーシャル・ペーパー及び債券	14,726	5,128
有価証券貸付				
753	215	株式	215	753
8,094	14,941	レボ取引及び有価証券貸付合計	14,941	8,094

DNBバンク エイ・エス・エイ		資産に伴う負債	DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
保証				
2,212		ノルウェー輸出金融公社からの預金		2,212
レボ取引				
3,707	10,446	金融機関からの借入金及び預金	10,446	3,707
661	1,185	顧客預金	1,185	661
有価証券貸付				
618	224	金融機関からの借入金及び預金	224	618
172	2	顧客預金	2	172
7,370	11,857	負債合計	11,857	7,370

DNBバンク エイ・エス・エイは、法的契約に従ってノルウェー輸出金融公社に譲渡し、DNBバンク エイ・エス・エイが保証している貸出金を認識していた。契約に基づき、当行は譲渡した当該貸出に関し、金利リスク、決済リスク及び信用リスクにさらされていた。当該貸出は、ノルウェー輸出金融公社からの預金として認識している、対応する負債を有していた。2015年度末現在、ノルウェー輸出金融公社に譲渡された貸出ポートフォリオは2,212百万ノルウェー・クローネであったが、2016年度末現在の残高はゼロとなった。

制約を受けている資産

ローカルの法定自己資本要件により、当グループが、当グループ内の他の事業体に対して自由に資産を譲渡し又は他の事業体の資産に自由にアクセスしたり、また当グループ内で負債を清算することが制限される可能性がある。

当グループが資産を使用する際に影響を及ぼす制約

当グループは当グループの債務を担保する担保資産（担保として差し入れられている有価証券）及び発行済カバード・ボンド（カバープール）を有する。詳細については（注49）「オフバランスシート取引及び偶発事象」を参照のこと。

当グループはデリバティブに関し担保を差し入れている。詳細については（注15）「デリバティブ」を参照のこと。

注32 売却又は再担保差入可能な受入有価証券

DNBバンク エイ・エス・エイ 受入有価証券			DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
リバース・レボ取引				
310,557	190,083	コマーシャル・ペーパー及び債券	190,083	310,662
有価証券借入				
4,931	31,121	株式	31,121	4,931
315,488	221,204	受入有価証券合計	221,204	315,593
受入後、売却又は再担保差し入れを実施した 有価証券の内訳				
9,656	4,203	コマーシャル・ペーパー及び債券	4,203	9,656
3,825	10,084	株式	10,084	3,825

- 1) 売戻条件つきで購入した有価証券は、当該資産の所有に関するリスク及びリターンが通常は移転されていないため、認識されない。かかる取引は主に固定利付債券に関連している。担保として差し入れられた証券を含む受入有価証券は、グループが当該有価証券を売却又は再担保として差し入れる権利を有しているかどうかにかかわらず、オフ・バランスシート扱いされる。受入有価証券の売却後は、グループはただちに貸借対照表の中でその債務を計上することになる。

注33 満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
19,162	12,760	海外債券ポートフォリオ	12,760	19,162
19,162	12,760	満期保有目的のコマーシャル・ペーパー及び債券	12,760	19,162

日常的な流動性管理の一手法として、DNBバンクは有価証券のポートフォリオに投資を行っている。当該ポートフォリオは流動性要件に対応するために用いられるほか、様々な国での業務に対する担保提供の基礎としても利用されている。中でも、この有価証券は多数の中央銀行からの短期及び長期の借入金に対する担保の基礎として利用されているほか、規制要件を充足するための流動性バッファの基礎としても用いられている。2008年7月1日から、海外債券ポートフォリオは、「純損益を通じて公正価値で測定される」カテゴリーから、「満期保有目的投資」カテゴリーへと再分類された。再分類後の期間において、一部の追加投資は満期保有に分類された。このカテゴリーのポートフォリオは償却原価で計上され、価値の低下を示す客観的な証拠がある場合には評価減が行われる。

再分類による海外債券ポートフォリオへの影響

ポートフォリオを償却原価で測定することにより、2016年12月31日現在の当該ポートフォリオの価値は、従前の評価原則が適用されていたと仮定した場合よりも、0.3十億ノルウェー・クローネ増加している。再分類日の当該ポートフォリオの帳簿価額は88.0十億ノルウェー・クローネであり、2016年12月末現在の帳簿価額は10.4十億ノルウェー・クローネであった。当該ポートフォリオの平均残存期間は5.2年であり、1 ベーシスポイントのクレジットスプレッドの変動から生じる価値の変動は、2016年12月末現在で5.8百万ノルウェー・クローネであった。

再分類による利益への影響

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
償却効果の計上額	84	95
公正価値で評価された場合の純利得	448	(170)
再分類による利益への影響	(364)	265

再分類による貸借対照表への影響

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
未実現損失計上額	318	402
公正価値で評価された場合の未実現損失	665	1,113
再分類による貸借対照表への影響	347	711

再分類後のポートフォリオの動向

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
再分類されたポートフォリオ（帳簿価額）	10,414	14,686
再分類されたポートフォリオ（公正価値で評価された場合）	10,067	13,975
再分類による貸借対照表への影響	347	711

注34 投資不動産

損益計算書に含まれる金額	DNBバンク グループ	
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
投資不動産からの賃貸料	131	233
賃貸料収入の発生する投資不動産に関連する直接費（修繕費及び維持費を含む）	(64)	(87)
賃貸料収入の発生しない投資不動産に関連する直接費（修繕費及び維持費を含む）	(20)	(51)
合計	47	95

投資不動産は主として取得した企業に関連しており、公正価値ヒエラルキーの中ではレベル3に分類されている。

投資不動産の価値の変動	DNBバンク グループ
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	投資不動産
2014年12月31日現在の帳簿価額	4,743
追加（新しい不動産の取得）	152
追加（資産化された投資）	58
追加（被買収企業）	454
純利得	269
処分	(3,430)
為替レートの変動	87
2015年12月31日現在の帳簿価額	2,333
追加（新しい不動産の取得）	84
追加（資産化された投資）	5
追加（被買収企業）	163
純利得	(35)
処分 ¹⁾	(1,311)
為替レートの変動	(65)
2016年12月31日現在の帳簿価額	1,175

2016年12月31日時点では資産化されていない投資不動産の取得又は建設に関連して約定したコミットメント 0

¹⁾2016年8月に売却目的保有に分類変更されたバルト諸国の投資不動産622百万ノルウェー・クローネを含む。

注35 関連会社への投資

DNBバンク グループ		
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
1月1日現在の帳簿価額	4,091	3,275
税引後利益の持分	771	(288)
ノルウェー輸出金融公社に対する所有持分の減損 ¹⁾	144	199
その他の包括利益の持分 ²⁾	(880)	889
追加 / 処分	(557)	16
配当		
12月31日現在の帳簿価額 ³⁾	3,570	4,091

DNBバンク グループ							
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年	2016年			2016年	2016年	2015年
	12月31日	12月31日			12月31日	12月31日	12月31日
	現在の 資産 ⁴⁾	現在の 負債 ⁴⁾	2016年度の 収益 ⁴⁾	2016年度の 利益 ⁴⁾	現在の持株 比率(%)	現在の 帳簿価額	現在の 帳簿価額
ノルウェー輸出金融公社 ¹⁾	34,171	26,106	(0)	(0)	40	3,219	3,139
Visa Norge ²⁾						283	889
その他の関連会社						68	64
合計						3,570	4,091

DNBバンク エイ・エス・エイ				
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年	2016年	2015年	
	12月31日	12月31日	12月31日	
	2016年度の 配当金	現在の持株 比率(%)	現在の 帳簿価額	現在の 帳簿価額
ノルウェー輸出金融公社 ¹⁾	40		919	919
その他の関連会社			76	56
合計			995	975

- 1) ムーディーズとスタンダード・アンド・プアーズが2011年度第4四半期にノルウェー輸出金融公社の信用格付を引き下げた結果、同社の長期性調達資金には多額の未実現利益が発生した。DNBの持分に対するかかる未実現利益の影響は、税引後で11.8十億ノルウェー・クローネとなった。年度末決算にあたって同社の公正価値を見直した後、DNBは2011年度第4四半期に、同社の自社負債の未実現利益に相当する金額の評価減を行った。2011年度より市場の期待収益率が低下し、ノルウェー輸出金融公社は自社負債に対する多額の未実現損失を計上した。2011年度第4四半期にDNBによって計上された減損損失はこれらの未実現損失に対応した金額で戻入が行われた。残りの調整金額144百万ノルウェー・クローネは2016年に戻入れが行われた。2011年度の減損損失及びその後の戻入は、同社からの利益のうちのDNBの持分と合わせ、「持分法による投資からの利益」の項目に計上されている。

- 2) DNBは、持分法で計上されているVisa Norwayへの加入を通じて、Visa Europeの間接的な所有持分を有している。2016年3月31日現在のVisa Europeの持分評価と関連して、累積利得の855百万ノルウェー・クローネがその他の包括利益に認識されていた。2016年度第2四半期のVisa IncによるVisa Europeの買収完了時に、この金額は利益に組替調整され、利得合計1,128百万ノルウェー・クローネが損益計算書の「持分法による投資からの利益」の項目に計上された。
- 3) 当行の貸借対照表に反映されない繰延税金ポジション及び価値調整を含む。
- 4) 関連会社の財務諸表上の価値。暫定の未監査の財務書類を使用している。

注36 2016年12月31日現在の子会社への投資

D N B バンク エイ・エス・エイ							
金額：千ノルウェー・クローネ ノルウェー・クローネ建ての数値 (別途表示のある場合は除く)							
	株主資本	株式数		額面金額	持株比率 (%)	帳簿価額	
海外子会社							
D N B Invest Denmark	デンマーク・ クローネ	12,765,228	12,765,228,468	デンマーク・ クローネ	12,765,228	100	10,143,138
D N B Bankas	ユーロ	190,205	5,710,134	ユーロ	190,205	100	3,358,534
D N B Banka	ユーロ	191,178	191,178,337	ユーロ	191,178	100	2,133,505
D N B Pank	ユーロ	9,376	937,643	ユーロ	9,376	100	912,919
D N B Bank Polska	ポーランド・ ズロチ	1,257,200	1,257,200,000	ポーランド・ ズロチ	1,257,200	100	1,773,560
D N B Asia ¹⁾	米ドル	1,500,000	150,000,000	米ドル	1,500,000	100	12,913,800
D N B Asia ¹⁾	シンガポール・ ドル	20,000	20,000,000	シンガポール・ ドル	20,000	100	100,768
D N B Brasil	ブラジル・ レアル	600	599,999	ブラジル・ レアル	600	100	2,669
D N B Capital ²⁾						100	20,662,080
D N B ルクセンブルグ	ユーロ	70,000	70,000	ユーロ	70,000	100	635,798
D N B マーケッツ インク	米ドル	1	1,000	米ドル	1	100	3,155
D N B スウェーデン	スウェーデン・ クローナ	100,000	100,000,000	スウェーデン・ クローナ	100,000	100	13,785,672
D N B (UK) Limited	英ポンド	200	200,000	英ポンド	200	100	12,307,645
国内子会社							
Aksje- og Eiendomsinvest		100	100,000		100	100	38,721
Bryggetorget Holding		3,250	2,500		3,250	100	63,230
Digital Wallet		297	2,971		297	100	7,500
D N B ポーリ・クレジット		3,857,000	38,570,000		3,857,000	100	33,384,000
D N B アイエンダム		10,003	100,033		10,003	100	158,021
D N B Eiendomsutvikling		91,000	91,000,000		91,000	100	253,731
D N B Gjenstandsadministrasjon		3,000	30		3,000	100	3,000
D N B Invest Holding		100,000	200,000		100,000	100	172,000
D N B Meglerservice		1,200	12		1,200	100	10,221
D N B ナーリングス・クレジット		550,000	550,000		550,000	100	5,240,942
D N B ナーリングス・メグリン		1,000	10,000		1,000	100	24,000
D N B Polish Properties		1,200	1,200		1,200	100	35,113
Godfjellet		8,030	8,030		8,030	100	27,600
Godfjorden		1,000	10,000		1,000	100	72,000
Kongsberg Industrieiendom		100	1,000		100	100	10,000
子会社への投資合計						118,233,322	

1) D N B Asia Ltdの株式の一部はシンガポール・ドル建てであり（現地で課される要件による）、他は米ドル建てである。

2) D N B Capital LLCは有限責任会社であり、その払込資本金の額は2.4十億米ドルである。

子会社投資のヘッジ

D N B バンク エイ・エス・エイでは、外貨建子会社投資に伴う為替リスクについて公正価値ヘッジを行っている。使用しているヘッジ手段は主に、発行済負債証券である。為替レートの変動に伴う投資及びヘッジ手段の価値の変動は損益計算書に計上される。グループレベルでは、D N B バンクの子会社への純投資は、その投資額に相当する金額のキャッシュフロー・ヘッジを通じてヘッジされている。投資及びヘッジ手段の価値の変動は包括利益計算書に計上される。ヘッジ関係の非有効性は損益計算書で認識される。2016年度を通じたノルウェー・クローネの上昇により、子会社投資の価値は税効果調整後5,795百万ノルウェー・クローネ減少したが、対応するヘッジ契約の価値の増加により相殺された。2015年度には、子会社投資の価値は8,497百万ノルウェー・クローネ増加していた。

注37 無形資産

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
3,012	2,921	のれん	3,057	3,100
510	571	資産化されたシステム開発費	824	876
152	106	その他の無形資産	100	199
3,675	3,598	無形資産合計	3,981	4,176

DNBバンク エイ・エス・エイ				
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	のれん	資産化された システム開発費	その他の 無形資産	合計
2015年1月1日現在の原価	3,622	2,157	838	6,617
追加		137	0	138
他社の買収／設立による追加				
原価の増減				
処分	(1)	(810)	(22)	(833)
為替レートの変動	57	1	9	67
2015年12月31日現在の原価	3,678	1,486	825	5,988
2015年1月1日現在の減価償却及び減損合計	(659)	(1,522)	(641)	(2,822)
減価償却費		(197)	(48)	(245)
減損		(66)		(66)
処分	1	811	22	833
為替レートの変動	(7)	(1)	(5)	(14)
2015年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(665)	(975)	(672)	(2,313)
2015年12月31日現在の帳簿価額	3,012	510	152	3,675
2016年1月1日現在の原価	3,678	1,486	825	5,988
追加		266	323	589
他社の買収／設立による追加	(39)			(39)
原価の増減	(41)			(41)
処分	(0)	106	(452)	(346)
為替レートの変動	(55)	(2)	(14)	(71)
2016年12月31日現在の原価	3,543	1,857	681	6,080
2016年1月1日現在の減価償却及び減損合計	(665)	(975)	(672)	(2,313)
減価償却費		(139)	(49)	(188)
減損		(3)		(3)
処分	41	(169)	136	7
為替レートの変動	3	2	11	15
2016年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(622)	(1,286)	(575)	(2,482)
2016年12月31日現在の帳簿価額	2,921	571	106	3,598

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	のれん	資産化された システム開発費	その他の 無形資産	合計
2015年 1 月 1 日現在の原価	4,607	3,947	1,110	9,665
追加	12	142	51	204
他社の買収 / 設立による追加				
原価の増減				
処分	(11)	(811)	(119)	(941)
為替レートの変動	57	118	(64)	110
2015年12月31日現在の原価	4,665	3,395	978	9,039
2015年1月1日現在の減価償却及び減損合計	(1,560)	(2,922)	(867)	(5,349)
減価償却費		(269)	(83)	(352)
減損		(66)		(66)
処分	2	811	73	887
為替レートの変動	(7)	(73)	99	18
2015年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(1,566)	(2,519)	(778)	(4,863)
2015年12月31日現在の帳簿価額	3,100	876	199	4,176
2016年 1 月 1 日現在の原価	4,665	3,395	978	9,039
追加	19	266	346	632
他社の買収 / 設立による追加	(0)			(0)
原価の増減	(41)		(0)	(41)
処分	(3)	(367)	(444)	(813)
為替レートの変動	(56)	(55)	(40)	(150)
2016年12月31日現在の原価	4,585	3,241	841	8,666
2016年 1 月 1 日現在の減価償却及び減損合計	(1,566)	(2,519)	(778)	(4,863)
減価償却費		(241)	(43)	(284)
減損	(5)	(3)		(9)
処分	20	286	52	358
為替レートの変動	23	60	29	112
2016年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(1,528)	(2,417)	(741)	(4,685)
2016年12月31日現在の帳簿価額	3,057	824	100	3,981

のれん

無リスク金利は 3 %、市場リスク・プレミアムは 5 % に設定されており、長期成長要因はすべての資金生成単位に対し 2.5 % で設定されている。各資金生成単位については個別にベータ値が見積もられている。期待収益率は税引前である。のれんの回収可能価額の算定に関する方法と仮定の詳細に関しては、(注 1)「会計方針」を参照のこと。

計上額 (百万ノル ウェー・ク ローネ)	期待収益率 (%)	成長要因 (%)		成長要因 (%)	期待収益率 (%)	計上額 (百万ノル ウェー・ク ローネ)
982	12.4	2.5	個人顧客	2.5	12.4	982
483	12.4	2.5	中小企業	2.5	12.4	483
791	12.4	2.5	DNB Finans-自動車ローン事業	2.5	12.4	791
665	12.4	2.5	その他	2.5	12.4	801
2,921			のれん合計			3,057

DNBバンク エイ・エス・エイ 2015年12月31日現在の部門毎ののれん

DNBバンク グループ

計上額 (百万ノル ウェー・ク ローネ)	期待収益率 (%)	成長要因 (%)		成長要因 (%)	期待収益率 (%)	計上額 (百万ノル ウェー・ク ローネ)
982	11.8	2.5	個人顧客	2.5	11.8	982
483	11.8	2.5	中小企業	2.5	11.8	483
811	11.8	2.5	DNB Finans-自動車ローン事業	2.5	11.8	811
737	11.8	2.5	その他	2.5	11.8	824
3,012			のれん合計			3,100

個人顧客部門 - 親銀行

個人顧客部門は、ノルウェーの地域ネットワークの個人顧客向け銀行事業（貸出及び預金）を対象としており、主として DnB と Gjensidige NORの合併に加え Nordlandsbankenの買収から生じたのれんを計上している。それに加え、Gjensidige NORの過去に買収した事務所からの一部ののれんも含んでいる。計画期間中のキャッシュ・フローに関する主要な仮定に使われているのは貸出金のスプレッド、残高、及び減損の動向である。

中小企業部門 - 親銀行

中小企業部門は、ノルウェーの地域ネットワークの中小企業向け銀行事業（貸出及び預金）を対象としており、主として DnB と Gjensidige NOR から生じたのれんを計上している。計画期間中のキャッシュ・フローに関する主要な仮定に使われているのは貸出金のスプレッド、残高、及び減損の動向である。

DNB Finans - 自動車ローン事業

同部門はDNBのノルウェーとスウェーデンの自動車ローン事業を行っており、のれんは2008年からのDNBによるSkandiaBankenの自動車ローン事業の取得により生じたものである。計画期間中のキャッシュ・フローに関する重要な仮定は自動車販売台数、重要な自動車販売業者との取引関係維持に関するDNB Finansの能力、並びに長期的なスプレッドの動向及び貸出金の減損の水準である。

注38 固定資産

DNBバンク エイ・エス・エイ					
オペレーティング・リースに					
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	当行建物及び その他の不動産	機械、装置及び 車両	供している 固定資産	その他固定資産	合計
2015年12月31日現在の原価	200	3,101	8,648	15	11,965
再分類された固定資産	7	(7)			
追加	9	165	2,333	1	2,508
処分	(31)	(242)	(2,667)	(5)	(2,945)
為替レートの変動	(13)	(10)	(296)	(0)	(319)
2016年12月31日現在の原価	172	3,007	8,018	11	11,209
2015年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(33)	(1,523)	(2,927)	(2)	(4,485)
処分	0	188	1,583	0	1,772
減価償却費 ¹⁾	(9)	(308)	(1,252)	(1)	(1,570)
為替レートの変動	3	3	103	0	108
2016年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(39)	(1,640)	(2,493)	(2)	(4,175)
2016年12月31日現在の帳簿価額	133	1,367	5,525	9	7,034

DNBバンク グループ					
オペレーティング・リースに					
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	当行建物及び その他の不動産	機械、装置及び 車両	供している 固定資産	その他固定資産	合計
2015年12月31日現在の原価	798	3,501	8,648	174	13,122
再分類された固定資産	7	(7)			
追加	19	233	2,333	27	2,613
固定資産（売却目的保有に再分類）	(419)	(280)		(100)	(799)
処分	(198)	(286)	(2,667)	(27)	(3,179)
為替レートの変動	(35)	(24)	(296)	(7)	(363)
2016年12月31日現在の原価	173	3,136	8,018	67	11,394
2015年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(210)	(1,821)	(2,928)	(104)	(5,063)
固定資産（売却目的保有に再分類）	113	209		62	384
処分	78	230	1,584	20	1,912
減価償却費 ¹⁾	(20)	(346)	(1,252)	(13)	(1,631)
減損	(13)				(13)
為替レートの変動	12	14	103	5	133
2016年12月31日現在の減価償却費及び減損合計	(39)	(1,715)	(2,493)	(31)	(4,278)
2016年12月31日現在の帳簿価額	133	1,421	5,525	36	7,117

1) 残存価値控除後の原価に基づき、その他の資産は以下の限度内の予想耐用年数にわたって定額法が適用される。

機械設備	10年
機械	3 ～ 10年
備品及び付属品	5 ～ 10年
コンピュータ機器	3 ～ 5 年
運搬具	5 ～ 7 年

DNBバンク エイ・エス・エイは不動産を含む固定資産に関する借入 / 資金調達に担保を差し入れている。

注39 売却目的保有の資産及び負債

2016年8月25日に、DNB及びNordeaはエストニア、ラトビア及びリトアニアにおける業務を統合する合意を発表した。この取引は規制当局の承認を条件としており、2017年度第2四半期に完了する予定である。NordeaとDNBは、完了時に合併後の銀行に対する拠出分に相当する持分額を反映した異なるレベルの経済的所有権を有する一方で、合併後の銀行に対して同等の議決権を有する。

取引完了後には、DNBバンク エイ・エス・エイは子会社に対する全面的な支配権を失うこととなるが、Nordeaと共に設立された新会社の財務方針及び事業方針の決定に関与する予定である。損益計算書の表示には変更がなかったが、2016年12月末現在、DNBのバルト諸国の事業に関連する全ての資産及び負債は売却目的に表示されている。自己資本比率の報告には影響がなかった。再分類後の損益計算書には、減損損失は認識されていない。子会社は、DNBの大企業・国際部門の一部となっている。取引完了後、DNBの所有権は、持分法に従って財務諸表上一つの表示項目に統合される。

下記の表は、2016年12月末現在の、売却目的保有の資産及び負債として組替えられた連結貸借対照表の計上額を表示している。

DNBバルト諸国

(単位：百万ノルウェー・クローネ)

2016年度

資産	
現金及び中央銀行預け金	3,645
金融機関向貸出金及び預け金	229
顧客向貸出金	45,007
公正価値で測定されるコマーシャル・ペーパー及び債券	1,713
株式	47
デリバティブ	72
投資不動産	607
無形資産	78
繰延税金資産	124
固定資産	406
その他資産	375
資産合計	52,303
負債	
金融機関からの借入金及び預金	3,834
顧客預金	36,464
デリバティブ	402
未払税金	21
その他負債	439
引当金	4

負債合計	41,165
------	--------

注40 リース

DNBバンク エイ・エス・エイ		ファイナンス・リース（貸手）	DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
		リース総投資額		
11,098	12,165	1年以内に期限が到来するもの	13,472	12,292
28,599	31,348	1～5年以内に期限が到来するもの	35,624	32,324
2,988	3,275	5年を超えて期限が到来するもの	3,335	3,042
42,685	46,788	リース総投資額合計	52,431	47,659
		最低リース料支払額の現在価値		
10,754	11,788	1年以内に期限が到来するもの	12,930	11,789
23,022	25,235	1～5年以内に期限が到来するもの	28,883	26,595
1,981	2,171	5年を超えて期限が到来するもの	2,226	2,027
35,757	39,195	リース料支払額の現在価値合計	44,039	40,410
6,928	7,594	未収金融収入	8,393	7,249
128	65	貸手に生じる無保証残存価値	65	128
1,728	802	貸倒損失引当金累計額	826	1,742
46	51	期中に収益として認識された変動リース料支払額	117	119

DNBバンク エイ・エス・エイ		オペレーティング・リース（貸手）	DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
		中途解約不能リースの将来最低リース料支払額		
354	342	1年以内に期限が到来するもの	342	354
1,769	1,708	1～5年以内に期限が到来するもの	1,723	1,779
35	33	5年を超えて期限が到来するもの	33	35
2,157	2,083	中途解約不能リースの将来最低リース料支払額合計	2,098	2,167

DNBバンク エイ・エス・エイ		オペレーティング・リース（借手）	DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
		中途解約不能リースの将来最低リース料支払額		
22	81	1年以内に期限が到来するもの	93	36
593	372	1～5年以内に期限が到来するもの	449	670
6,125	5,837	5年を超えて期限が到来するもの	5,837	6,142
6,740	6,290	中途解約不能リースの将来最低リース料支払額合計	6,379	6,848
		中途解約不能サブリースの受取見込みの将来最低サブリース料支払額		
399	478		287	225

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	（単位：百万ノルウェー・クローネ）	2016年度	2015年度
		期中に費用として認識されたリース料支払額合計		
895	857	最低リース料支払額	822	843
		変動リース料支払額		
895	857	期中に費用として認識されたリース料支払額合計	822	843
(0)	(0)	リースの減損額	(0)	(0)

ファイナンス・リース（貸手）

DNBバンク グループのファイナンス・リース事業は、DNBバンク エイ・エス・エイ及びバルト諸国・ポーランドにおけるDNBの事業が該当する。

オペレーティング・リース（貸手）

主なものは、DNBバンク エイ・エス・エイのオペレーティング・リース事業である。

オペレーティング・リース（借手）

主なものは、DNBバンク エイ・エス・エイがリースした土地等である。

注41 その他資産

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
526	736	未払費用及び前受収益	841	688
1,404	1,801	信用状及びその他の決済サービスに関する残高	1,809	1,480
993	1,060	未決済の売買証書	1,197	1,148
20,812	9,865	その他の残高 ¹⁾	4,408	5,292
23,735	13,462	その他の資産合計²⁾	8,255	8,608

1) DNBバンク エイ・エス・エイは2016年12月31日現在、総額6,237百万ノルウェー・クローネのグループ配当残高がある。

2) その他の資産は通常短期のものである。

注42 主要顧客グループ別の顧客預金

DNBバンク エイ・エス・エイ			DNBバンク グループ	
2015年 12月31日現在	2016年 12月31日現在	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
334,154	344,437	個人	348,263	353,110
64,816	51,347	海上輸送及びパイプライン輸送、船舶建造	51,347	65,040
44,001	47,711	不動産	43,307	44,782
54,160	67,394	製造	68,738	57,701
131,811	128,298	サービス	129,567	137,262
30,011	27,672	貿易	28,408	32,743
23,749	27,266	石油・ガス	27,267	23,777
46,428	50,265	運輸及び通信	52,650	51,244
19,546	26,074	建設	26,435	21,023
20,049	19,023	電力及び水道	19,469	21,787
5,274	7,582	水産業	7,582	5,301
2,266	3,071	ホテル及びレストラン	3,071	2,395
2,416	2,444	農林業	2,465	4,317
48,908	57,106	中央及び地方政府	57,715	52,253
68,500	60,742	金融	79,061	84,110
896,087	920,434	顧客預金合計（額面金額）	945,344	956,846
400	230	調整	349	476
896,488	920,664	顧客預金	945,694	957,322

主要顧客グループの内訳は、EUの標準的産業分類であるNACE Rev.2に対応する。

注43 発行済負債証券

発行済負債証券の変動 DNBバンク エイ・エス・エイ

	2016年		2016年度中の		2015年	
	12月31日現在	2016年度中の	満期到来額 /	為替レートでの	2016年度中の	12月31日現在
	の貸借対照表	2016年度中の	満期到来額 /	為替レートでの	2016年度中の	12月31日現在
(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	残高	発行額	償還額	変動	その他の調整	の残高
発行済コマーシャル・ペーパー (額面金額)	153,415	8,917,217	(8,920,456)	(3,333)		159,988
債券 (額面金額) ¹⁾	173,368	26,744	(14,588)	(6,766)		167,978
調整	10,158				(1,975)	12,133
発行済負債証券合計	336,941	8,943,961	(8,935,044)	(10,099)	(1,975)	340,099

2016年12月31日現在の償却原価で計上された発行済負債証券の満期構成 ¹⁾²⁾

	DNBバンク エイ・エス・エイ		
	ノルウェー・		
(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	クローネ建て	外貨建て	合計
2017年		31,359	31,359
2018年		15,648	15,648
2019年		13,074	13,074
2020年		33,085	33,085
2021年		33,196	33,196
2022年		16,408	16,408
2023年及びそれ以降		18,408	18,408
償却原価で計上された債券合計 (額面金額)		161,178	161,178

2016年12月31日現在の公正価値で計上された発行済負債証券の満期構成 ¹⁾

	DNBバンク エイ・エス・エイ		
	ノルウェー・		
(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	クローネ建て	外貨建て	合計
2017年	63	153,352	153,415
発行済コマーシャル・ペーパー合計 (額面金額)	63	153,352	153,415
2017年	1,607		1,607
2018年	3,151		3,151
2019年	2,117		2,117
2020年	1,770		1,770
2021年	3,453		3,453
2022年			
2023年及びそれ以降	91		91
債券合計 (額面金額)	12,190		12,190
公正価値で計上された発行済負債証券合計 (額面金額)	12,253	153,352	165,605

調整	774	9,385	10,158
発行済負債証券	13,026	323,915	336,941

- 1) 自己の債券を差し引く。
- 2) ヘッジ対象項目を含む。

発行済負債証券の変動

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年					2015年 12月31日現在 の残高
	12月31日現在	2016年度中の の貸借対照表	2016年度中の 満期到来額 /	2016年度中の 為替レート の	2016年度中の その他の調整	
	残高	発行額	償還額	変動		
発行済コマーシャル・ペーパー (額面金額)	153,415	8,917,217	(8,920,456)	(3,333)		159,988
債券 (額面金額) ¹⁾	581,447	78,691	(80,330)	(24,918)		608,004
調整	32,888				(5,931)	38,819
発行済負債証券合計	767,750	8,995,908	(9,000,786)	(28,251)	(5,931)	806,810

2016年12月31日現在の償却原価で計上された発行済負債証券の満期構成 ¹⁾²⁾

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	ノルウェー・		
	クローネ建て	外貨建て	合計
2017年		79,640	79,640
2018年		72,785	72,785
2019年		52,609	52,609
2020年		67,197	67,197
2021年		80,126	80,126
2022年		47,260	47,260
2023年及びそれ以降		97,073	97,073
償却原価で計上された債券合計 (額面金額)		496,691	496,691

2016年12月31日現在の公正価値で計上された発行済負債証券の満期構成 ¹⁾

DNBバンク グループ

(単位：百万ノルウェー・クローネ)	ノルウェー・		
	クローネ建て	外貨建て	合計
2017年	63	153,352	153,415
発行済コマーシャル・ペーパー合計 (額面金額)	63	153,352	153,415
2017年	6,808		6,808
2018年	16,318		16,318
2019年	18,157		18,157
2020年	20,452		20,452
2021年	16,861		16,861
2022年	3,947		3,947
2023年及びそれ以降	2,212		2,212
債券合計 (額面金額)	84,757		84,757
公正価値で計上された発行済負債証券合計 (額面金額)	84,820	153,352	238,172
調整	2,638	30,249	32,888
発行済負債証券	87,458	680,292	767,750

- 1) 自己の債券を差し引く。DNB ボーリ・クレジットのカバー・ボンド残高の額面金額は2016年12月31日現在で総額415.8十億ノルウェー・クローネに上る。カバード・プールの市場価値は599.6十億ノルウェー・クローネである。
- 2) ヘッジ対象項目を含む。

[次へ](#)

注44 劣後債及び永久劣後証券

劣後債及び永久劣後証券の変動

DNBバンク グループ

	2016年 12月31日現在 の貸借対照表	2016年度中の 発行額	2016年度中の 満期到来額 / 償還額	2016年度中の 為替レートの変動	2015年 12月31日現在 の貸借対照表
(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	残高			その他の調整	残高
期限付劣後債 (額面金額)	19,415	738	(3)	(1,158)	19,838
永久劣後債 (額面金額)	5,602			(100)	5,702
永久劣後証券 (額面金額)	3,732			(829)	4,561
調整	599			(254)	853
劣後債及び永久劣後証券合計	29,347	738	(3)	(2,087)	30,953

DNBバンク グループ

ノルウェー・						
クローネでの						
資金調達年	外貨での帳簿価額	金利	満期	繰上償還日	帳簿価額	
期限付劣後債						
2012年	ユーロ	750	年4.75%	2022年	2017年	6,812
2013年	ノルウェー・クローネ	1,250	3ヶ月NIBOR プラス1.70%	2023年	2018年	1,250
2013年	ユーロ	750	年3.00%	2023年	2018年	6,812
2015年	スウェーデン・クローナ	1,000	年1.97%	2025年	2020年	951
2015年	スウェーデン・クローナ	3,000	3ヶ月STIBOR プラス1.40%	2025年	2020年	2,852
2016年	日本円	10,000	年1.00%	2026年	2021年	738
合計（額面金額）						19,415
永久劣後債						
1985年	米ドル	215	3ヶ月LIBOR プラス0.25%			1,851
1986年	米ドル	200	6ヶ月LIBOR プラス0.13%			1,722
1986年	米ドル	150	6ヶ月LIBOR プラス0.15%			1,291
1999年	日本円	10,000	年4.51%		2029年	738
合計（額面金額）						5,602
永久劣後証券						
2007年	英ポンド	350	年6.01%		2017年	3,732
合計（額面金額）						3,732

劣後債及び永久劣後証券はDNBバンク エイ・エス・エイによって発行されたものである。

注45 その他負債

DNBバンク エイ・エス・エイ

DNBバンク グループ

2015年	2016年		2016年	2015年
12月31日現在	12月31日現在	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	12月31日現在	12月31日現在
805	1,574	短期資金調達	1,574	805
5,359	516	ショートポジション取引	516	5,359
3,471	3,602	未払費用及び前受収益	3,890	3,955
1,599	2,810	信用状、小切手及びその他の決済業務	2,831	1,666
3,264	2,906	未決済の契約証書	2,943	3,288
22,864	9,858	グループ配当 / 配当		(0)
735	632	未払金	1,015	932
246	246	一般従業員向けボーナス	246	246
1,095	1,749	その他の負債	2,765	2,156
39,438	23,893	その他負債合計¹⁾	15,781	18,409

1) その他負債は通常、短期のものである。

注46 資本

資本金

DNBバンク エイ・エス・エイは、オスロ証券取引所(Oslo Børs) に上場しているノルウェーの公開有限責任会社であるDNBエイ・エス・エイの完全子会社である。2016年12月31日および2015年12月31日時点のDNBバンク エイ・エス・エイの資本金は183,143,110株に分割された18,314,311,000ノルウェー・クローネであり、一株当たりの額面は100ノルウェー・クローネであった。

未実現利益積立額

DNBバンク エイ・エス・エイの利益剰余金の配当制限額（未実現利益積立額）は、2016年12月31日現在で合計1,588百万ノルウェー・クローネ、2015年12月31日現在では1,036ノルウェー・クローネであった。

その他Tier 1 資本

その他Tier1資本は、DNBバンク エイ・エス・エイによって発行されたものである。

その他Tier 1 資本の変動額

	DNBバンク グループ				2015年	
					2015年	
					2015年	
					2015年	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
	12月31日現在	12月31日現在	12月31日現在	12月31日現在	12月31日現在	12月31日現在
	の貸借対照表	の貸借対照表	の貸借対照表	の貸借対照表	の貸借対照表	の貸借対照表
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	残高	発行額	支払利息	未払利息	変動	残高
その他Tier 1 資本(額面金額)	15,574	7,520				8,053
調整	379		(505)	595	(11)	299
その他Tier 1 資本	15,952	7,520	(505)	595	(11)	8,353

DNBバンク グループ				ノルウェー・	
				ノルウェー・	
				ノルウェー・	
				ノルウェー・	
資金調達年	外貨での帳簿価額	金利		帳簿価額	
2015年	ノルウェー・クローネ	2,150	3ヶ月NIBOR プラス3.25%	2,150	
2015年	米ドル	750	年5.75%	5,903	
2016年	ノルウェー・クローネ	1,400	3ヶ月NIBOR プラス5.25%	1,400	
2016年	米ドル	750	年6.50%	6,120	
合計(額面金額)				15,574	

注47 報酬等

ノルウェー公開有限責任会社法の第6-16a節に従い、取締役会は以下の報酬基準書を投票の資料として年次株主総会に提出する。

DNBの報酬制度に関する情報

2010年12月1日にノルウェー財務省が公表した金融機関等の報酬制度に関する規則及びその後の改訂に従って、企業は報酬決定に関する主な方針、変動報酬の規定に関する基準及び、経営幹部に対する報酬に関する量的情報を公表することが求められる。本注記の情報は、以下に記載されている給与の規定及び経営幹部に対して支払われる他の報酬に関する取締役会の声明書を含めて、報酬に関する規則で規定されている情報を表示するものである。

DNBグループの報酬に関するグループ・ガイドラインは、DNBグループの正社員全員に対し、その報酬全体に適用され取締役会において承認されている。当ガイドラインは、金銭的報酬（固定給、短期及び長期のインセンティブ報酬）、従業員給付関係（年金、従業員の賠償責任保険及び他の従業員給付）、従業員のキャリア形成支援策（コース及び研修育成プログラム、キャリア・プログラム及び他の非金銭的報酬）などから成る。

ガイドラインによれば、報酬額は、当該従業員が属する部門の業績及び、企業価値形成に対する個々人の貢献度だけでなく、グループの業績に関する全体的な評価に基づいている。報酬全体はグループを無用なリスクにさらすことがないように構成されていなければならない。報酬は競争力があるものであることが必要であるが、グループにとって費用効率が良いものであることが求められている。

さらに、金銭的報酬には、固定報酬部分と変動報酬部分が適宜含まれている。固定給は各ポジションに割り当てられた責任と要件の実行、及びその複雑さに対する報酬である。一方で変動報酬は優れた業績と望ましい行動の遂行を奨励するものでなければならない。

変動報酬

当グループのガイドラインは、報酬関連の規制の規定に加え、金融機関、投資企業及び投資信託運用会社における報酬制度についてのFinanstilsynetのサーキュラーを遵守して変動報酬が付与されるよう確実にしており、DNBは、2011年度に変動報酬に関する新しいグループ・ガイドラインを別個に設定した。これには経営幹部、企業のリスク・エクスポージャーに対して重大な責任を有する従業員（リスク・テイカー）及び独立した統制部門の責任者である従業員に対する変動報酬についての特別規則が盛り込まれている。

変動報酬の目的は、行動に対する見返りを与え、長期的な企業価値の創出を可能にする企業風土を整備することにある。

変動報酬は、当グループのビジョン、価値観、倫理規定及びリーダーシップ原則の遵守状況に加え、当グループ、部門及び個人に対して定められた目標領域の中での成果に対する全体的な評価に基づき決定される。変動報酬は、当グループに不要なリスクをもたらさない形で成果給でなければならない。また、変動報酬は、過剰なリスクテイキングを防ぎ、DNBの健全かつ実効的なリスク管理を後押しするものでなければならない。経営幹部に対する変動給（賞与）は固定給の50%を超えてはならないものとする。

DNBの変動報酬制度は全世界で適用されているものの、ノルウェー国外の支店及び子会社は現地の法規制やガイドラインを遵守することが求められている。ノルウェーの規則が金融機関の報酬に関する海外の現地法や規則と一致していない場合には、法的な問題に直面する可能性がある。このような場合には、当グループは、当グループの業務がノルウェー及び現地の規制の両方を確実に遵守できるよう、関連当局及び海外の専門家から助言を得る。

経営幹部の給与及びその他の報酬の規定に関する取締役会声明書

グループ最高責任者及びグループ経営陣のその他のメンバーの報酬を決定するDNBのガイドラインは、当グループの目標達成に貢献する一方で、常に、主な戦略及び価値観を裏付ける内容でなければならない。報酬は、業績及び利益の方向性に沿った望ましい企業文化を構築する行動を起こさせるものでなければならない。前年度の声明書と比較して、変動報酬規定の原則に関する変更は行われなかった。

意思決定プロセス

DNB エイ・エス・エイの取締役会は、取締役会長、副会長、取締役及び従業員から選出された取締役の計4名から構成される報酬委員会を設立した。

報酬委員会は、取締役会向けに議論が必要な資料を準備し、主に以下の責任を有する。

グループ最高責任者に支払われる報酬総額を毎年評価し、提言を行う。

グループ最高責任者への目標の提言を毎年まとめる。

グループ最高責任者の提案に基づき、グループ監査担当EVP及びグループ・リスク・マネジメント担当EVPに支払われる報酬額及びその他の主な手当を決定する。

グループ経営陣のメンバー及び、（該当者がいる場合は）グループ最高責任者の直属の部下の報酬額及びその他の主な手当について、グループ最高責任者に助言を行う。

取締役会と報酬委員会の双方又はそのいずれかが決定したその他の事項を検討する。

グループの評判に大きなリスクをもたらすと考えられるその他の人事関連の問題を検討する。

A. 次会計年度のガイドライン

グループ最高責任者の報酬

グループ最高責任者の報酬総額は、固定給（主な要素）、現物給付、変動給、年金及び保険制度から構成される。報酬総額は全体評価に基づいて決定され、報酬の変動部分は、主に、自己資本利益率、普通株式等Tier 1 資本比率及び収益に対する費用の比率に関するグループの財務目標に基づいて決定される。

財務目標に加え、グループの顧客満足度、自社の評判及び、グループのコーポレートカルチャーに関する主要業績評価指標が考慮されるほか、全体評価には、当グループのビジョン、価値観、倫理規定及びリーダーシップ原則の遵守状況が反映される。

固定給は年次評価が行われ、労働市場全般及び特に金融業界の給与水準並びに類似する役職の報酬水準に基づいて決定される。

グループ最高責任者の変動給は、定められている目標分野での成果に対する全体評価に基づき決定される。変動給は固定給の50%を超えてはならないものとする。グループ最高責任者には、既に記載した変動報酬以外の成果給は支払われないものとする。

変動報酬に加え、グループ最高責任者には、社用車、新聞／雑誌及び電話／その他の通信費といった現物給付が認められる。現物給付は、グループ最高責任者の職務に関連しているか、市場の慣行に即したものでなければならず、グループ最高責任者の固定給と比較して多額にのぼってはならないものとする。

グループ最高責任者は、ノルウェーの他のすべての従業員と同様に、ノルウェー確定拠出年金法に基づく確定拠出型年金制度に加入している。

2016年12月31日まで、グループ最高経営責任者は、退職年齢が60歳であり、固定給の70%に相当する年金を支給するという内容の契約を締結していた。60歳前に退職となった場合、年金は、60歳の誕生日までの各年について年金額の14分の1を差し引いた額が60歳から支払われることになる。2017年1月1日から、この契約は、ノルウェーの企業年金法に基づいて、2016年に当グループの確定給付企業年金制度が移行するにあたって用いられたものと同じ条件及び原則に基づいた確定拠出企業年金制度に置き換わっている。新契約に基づく、移行日現在のグループ最高責任者への給付額は、旧確定給付契約の技術的保険価値の額に相当すると見積もられている。その計算仮定に基づく、新契約は、旧確定拠出契約に基づいて退職時に支給されたであろう価額と同じになると見込まれる。将来の年金給付額は、年間の拠出額と獲得した権利に係る収益で構成されることとなる。60歳より後には、この契約では、一切の拠出はない。したがって、グループ最高経営責任者の年金給付制度は、ほぼ確定拠出原則に基づいており、当行は、当拠出で達成される収益に係るリスクを負っていない。

契約によると、60歳前に退職となった場合、グループ最高責任者は2年間にわたり退職金を受け取る権利がある。この期間中に、グループ最高責任者が他の雇用から収入を得ている場合は、当該雇用から得ている給与に相当する額を差し引いた退職金が支払われることになる。現物給付は3ヶ月間継続される。

その他の経営幹部の報酬

経営幹部の報酬は、取締役会長との合意に基づき、グループ最高責任者が決定する。取締役会は、法的効力のある既存の契約を尊重する。

経営幹部の報酬総額は、固定給（主な要素）、現物給付、変動給、年金及び保険制度から構成される。報酬総額は、多様な事業部門において競争力のある条件を提供する必要性に基づいて決定される。報酬は、関連する労働市場における当グループの競争力並びに収益と費用のバランスを含む当グループの収益力を高めるものでなければならない。報酬総額は、DNBの評判に相応しいものであり、DNBが必要とするスキルや経験を備えた経営幹部を確実に雇用し続けられる内容のものでなければならない。

固定給は年次評価が行われ、労働市場全般及び特に金融業界の給与水準に基づいて決定されるものとする。

現物給付は、当グループにおける経営幹部の職務に関連しているか、市場の慣行に即した範囲で経営幹部に支給される場合がある。現物給付は、経営幹部の固定給と比較して多額にのぼってはならないものとする。

2017年度の目標内容

報酬委員会は、変動報酬に関する主な基準、方針及び限度について承認する。報酬委員会は、当グループの自己資本利益率、普通株式等Tier1資本比率及び収益に対する費用の比率を2017年度の目標数値とすることを決定した。財務上の目標に加え、当グループの顧客満足度と自社の評判に係るスコアが、当グループのコーポレートカルチャー及びイノベーションに関する主要業績評価指標と同様に考慮される。

グループが目標とする財務上の数値は、新しい自己資本規制及び流動性規制の導入に最適対応できるよう、さまざまな事業部門、職員及びサポート部門などの関連する目標値に細分化されている。

上記の目標値は、2017年度の変動報酬の算定及び支払を行う際の重要な要素となるものである。すべての財務上の目標値は決定後、2017年度の目標値に関連する作業とフォローアップの一環として、関係する事業部門、職員及びサポート部門に通知される。

2017年度の変動報酬の決定

2017年度の変動報酬は、予め定められた業績目標への達成度に対する定量的評価と目標達成方法に対する定性的な評価を組み合わせた、全体的な業績評価によって決定される。

取締役会は、当グループの財務力とその他の重要なパラメータに対する総合的な評価を勘案しつつ、過去2年間のグループの目標に対する達成度に基づいて、DNBマーケッツ及びDNBアイエンダムを除く当グループのボーナス総額に対する上限を決定する。限度額合計は個々の部門の目標達成度及び、グループの業績に対する貢献度に基づいて各組織に配分される。DNBマーケッツに関しては、部門が稼得したリスク調整後利益と全体的な評価に基づいて、変動報酬に対する特別な上限が決定されており、これは同種の事業における市場慣行と一致している。同様にDNBアイエンダムの報酬モデルも、市場慣行と一致しており、個人の業績に基づく変動報酬の占める割合が高くなっている。

経営幹部、特定のリスク・テイカー及び独立した統制部門の責任者たる従業員に対する特別な規則

DNBは、特定のリスク・テイカー、独立した統制部門の責任者たる従業員及び経営幹部（以下「リスク・テイカー」と総称する）に対し、特別な規則を整備し導入した。この特別な規則は、報酬に関するグループの一般的な指針を補完するものであり、Finanstilsynetの報酬に関する規制及び関連するサーキュラーに準拠して整備されている。

DNBは、現行の規制に準拠して、サーキュラー及びEUの規制から生じた要件に基づきリスク・テイカーを特定するために、組織全体を対象として調査を行った。

リスク・テイカーの変動報酬に対しては、下記の原則が適用される。

2年間の期間に稼得した報酬

変動報酬は同意済の固定報酬を超えない。

稼得した変動報酬の最低50%に相当する額は、DNBの株式の形で、条件付きの繰延支払とする。株式の形で支払われる報酬には最低保有期間（条件付きの繰延支払）が設けられているほか、当該株式の3分の1ずつが毎年、3年間で3度に分けて付与される。条件付きの繰延支払という条件は、報酬に関する規則の規定に準拠したものである。

年金制度等

年金制度及び退職金等に関するあらゆる契約は、その他の報酬と比較して検討し、競争力のある条件を含むものでなければならない。年金制度及び退職手当のあらゆる要素は、単独でも総合的にも、DNBの評判を脅かす可能性のあるものであってはならない。

経営幹部は、ノルウェーの他のすべての従業員と同様に、ノルウェー確定拠出年金法に基づく確定拠出型年金制度に加入している。2016年12月31日まで、当グループのほとんどの経営幹部は、65歳から、経営幹部の報酬に対する政府のガイドラインを常時遵守して一定の調整を行った、確定給付年金を受け取る契約を締結していた。確定給付年金の支給額は固定給の70%を超えてはならず、政府年金基準額の最大12倍までとする。しかし、DNBグループは、既存の契約を尊重していた。2017年1月1日から、これらの契約は、ノルウェーの企業年金法に基づいて、2016年に当グループの確定給付企業年金制度が移行するにあたって用いられたものと同じ条件及び原則に基づいた確定拠出企業年金制度に置き換わっている。

移行日現在で計算された経営幹部の年金の支給額は、旧確定給付年金制度の技術的価値の額に相当すると見積もられている。今後、将来の年金給付額は、年間の拠出額と獲得した権利に係る収益で構成されることとなる。年間拠出額は個別に計算され、計算仮定に基づく、新契約は、旧確定拠出契約に基づいて退職時に支給されたであろう価額と同じになると見込まれる。

2011年1月1日以降に発効するグループ向けの確定拠出年金制度が設立された。この制度では、年金支給対象所得の上限は政府年金基準額（G）の12倍となる。2015年12月31日に当グループは、給与が12G未満のノルウェーの従業員向けの確定給付年金制度を廃止した。確定給付年金制度の対象であったノルウェーの従業員は、2016年1月1日付で確定拠出年金制度に移管された。

原則として、退職手当に関する契約は締結しない。しかし、当グループは既存の契約を尊重する。

新たな契約を締結する際には、一般に本ガイドラインが適用され、すべての経営幹部が対象となる。

経営幹部の報酬については、以下の表を参照のこと。

B. 次会計年度の株式、新株引受権、オプション等に関する拘束力のあるガイドライン

グループ最高責任者、経営幹部及びリスク・テイカーが稼得した変動報酬の50%に相当する額が、DNB エイ・エス・エイの株式に投資される。最低保有期間は、当該株式の3分の1については1年間、次の3分の1については2年間そして残りの3分の1については3年間である。

追加の株式、新株引受権、オプション、又は当社又は当グループ内の他の企業の株価のみに連動するその他の形態の報酬が、グループ最高責任者又は経営幹部に支給されることはない。しかし、グループ最高責任者及び経営幹部は、DNBグループの他の従業員と同じ条件下で株式取得制度に参加する機会が与えられる。

C. 前会計年度の経営幹部給与方針に関する声明書

2015年度に発効した変更を含む、2011年度に決定されたガイドラインに従っている。

D. 株式、新株引受権、オプション等の支給に関する報酬契約が当社及び株主に及ぼす影響に関する声明書

2016年度にグループ最高責任者及び経営幹部が得た変動報酬総額の50%に相当する額が、DNB エイ・エス・エイの株式に投資される。取締役会は、経営幹部に支給する株式が当社の株式総数と比較して、当社又は株主に悪影響を及ぼすことはないと考えている。

取締役会長の報酬額

Anne Carine TanumがDNBバンク エイ・エス・エイの取締役会長として2016年度に得た報酬総額は、437,000 ノルウェー・クローネ、2015年度は420,000 ノルウェー・クローネであった。また、DNB エイ・エス・エイの取締役会長として得た報酬は、2015年度が526,000 ノルウェー・クローネであったのに対し、2016年度は548,000 ノルウェー・クローネであった。

グループ最高責任者の報酬額

Rune Bjerkeが得た報酬は、2015年度が5,628,000 ノルウェー・クローネであったのに対し、2016年度は5,794,000 ノルウェー・クローネであった。また、DNB エイ・エス・エイの取締役会は、グループ最高責任者の賞与は、2015年度の2,332,000 ノルウェー・クローネに対して、2016年度は2,010,000 ノルウェー・クローネと定めた。2016年度の賞与は2017年度に支払われる。現物給付は、2015年度が349,000 ノルウェー・クローネであったのに対し、2016年度は322,000 ノルウェー・クローネと見積もられた。グループ最高責任者の年金制度に関連する費用は、2015年度の4,586,000 ノルウェー・クローネに対して、2016年度は3,871,000 ノルウェー・クローネであった。費用は、DNB エイ・エス・エイとDNBバンク エイ・エス・エイで分担する。2016年度の財務書類に計上された費用は、年度中に稼得した年金支給額（4,989,000 ノルウェー・クローネ）と、12Gを上回る給与に対して年金給付制度の改定が及ぼす影響に関する控除額（1,118,000 ノルウェー・クローネ）の2つの要素から構成されている。

以下の表では、当該年度に稼得した権利等を示すよう表示されている。

2016年度の報酬等

DNBバンク グループ

単位：千ノルウェー・クローネ	2016年 12月31日 現在の年間 固定給 ¹⁾	2016年度の 支払報酬 ²⁾	2016年度の 支払給与 ³⁾	2016年度に 稼得した 賞与 ⁴⁾	2016年度の 現物支給等	2016年度の 報酬総額	2016年 12月31日 現在の 貸出 ⁵⁾	未払年金 費用 ⁶⁾
DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会								
Anne Carine Tanum (会長)		985			2	987		
Jarle Berge (副会長)		710			6	717		
Lillian Hattrem (2016年1月1日から)	594	321	597	20	39	977	3,257	73
Kim Wahl		319				319	51	
グループ経営陣								
Rune Bjerke、最高経営責任者	5,556		5,794	2,010	322	8,126	8,845	4,989
Bjørn Erik Ness、最高財務責任者 (2017年3月1日まで)	3,880		4,071	1,520	234	5,825	956	5,224
Kjerstin Braathen、最高財務責任者 (2017年3月1日から)	3,010		3,150	1,150	234	4,534	40	619
Trond Bentestuen、グループEVP	3,560		3,204	1,290	268	4,763	6,301	706
Ottar Ertzeid、グループEVP	8,820		9,205	3,800	235	13,240	23	623
Benedicte S. Fasmer、グループEVP (2016年9月26日から)	2,950		2,383	870	205	3,459	7,476	113
Liv Fiksdahl、グループEVP	3,050		3,196	1,110	243	4,549	1,236	1,014
Rune Garborg、グループEVP (2016年9月26日から)	2,950		2,423	1,420	229	4,072	6,634	321
Solveig Hellebust、グループEVP	2,450		2,571	930	232	3,733	3	379
Thomas Midteide、グループEVP	2,500		2,098	930	259	3,287	4,482	256
Kari Olrud Moen、グループEVP	2,810		2,945	1,020	232	4,197	18	1,320
Tom Rathke、グループEVP	3,400		3,733	1,020	276	5,030	6,221	2,613
Bengt Olav Lund、EVP ⁷⁾	2,610		1,982	1,260	204	3,445	7,115	113
Harald Serch-Hanssen、グループ EVP	4,090		4,279	1,400	252	5,931	5,372	1,004
Terje Turnes、グループEVP	3,930		4,119	580	235	4,935		575
その他の従業員への貸出合計							18,112,694	

- 1) 当期における取締役会又はグループ経営陣のメンバーであった従業員向けの年度末現在の年間固定給。
- 2) 取締役会及び委員会での勤務に対してDNBグループのすべての企業から得た報酬を含む。2016年度に複数の役職について報酬を得た人物について、DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会の役職に関連する報酬額は以下のとおりである：
Anne Carine Tanum： 437,000ノルウェー・クローネ
Jarle Berge： 319,000ノルウェー・クローネ
上記のうちの一部は複数の組織で兼務している。
- 3) 通年の支払給与及び賞与に対する休日手当を含む。従業員の一部は、1年のうち一部の期間のみ取締役会及びグループ経営陣のメンバーを務めていた。
- 4) 休日手当は賞与に含まれていない。
- 5) 株主が選出した代表者への貸出は、通常の顧客との取引条件で行われる。DNBの従業員に対する貸出は、通常の顧客との取引条件に近い特別条件で行われる。
- 6) 期中に獲得した年金権（SCC）。年金受給権の計算は（注24）「年金」で使用されているものと同じの経済的仮定と年金数理的仮定に基づいている。期中に獲得した年金権は、年金制度の移行による影響を除いている。
- 7) 2016年5月以来、ウェルスマネジメントの責任者である。固定給には役職給が含まれている。

以下の表では、当該年度に稼得した権利等を示すよう表示されている。

2015年度の報酬等

DNBバンク グループ

	2015年 12月31日 現在の年間 固定給 ¹⁾	2015年度の 支払報酬 ²⁾	2015年度の 支払給与 ³⁾	2015年度に 稼得した 賞与 ⁴⁾	2015年度の 現物支給等	2015年度の 報酬総額	2015年 12月31日 現在の 貸出 ⁵⁾	未払年金 費用 ⁶⁾
単位：千ノルウェー・クローネ								
DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会								
Anne Carine Tanum (会長)		946			12	958		
Jarle Berge (副会長)		614			5	619		
Sverre Finstad	659	614	669	22	60	1,365	549	57
Vigdis Mathisen	719	614	721	22	27	1,384	3,763	82
Kai Nyland ⁷⁾		307			187	494	1	
Torill Rambjør		307			695	1,002	20	
Kim Wahl		307				307	53	
グループ経営陣								
Rune Bjerke、最高経営責任者	5,420		5,628	2,332	349	8,309	9,549	4,586
Bjørn Erik Nass、最高財務責任者	3,795		3,956	1,642	208	5,806	376	4,927
Trond Bentesturen、グループEVP	2,970		3,076	1,322	224	4,622	6,532	675
Kjerstin Braathen、グループ EVP	2,895		3,010	1,272	205	4,486	35	553
Ottar Ertzeid、グループEVP	8,620		8,972	4,012	205	13,189	37	489
Liv Fiksdahl、グループEVP	2,970		3,082	1,322	207	4,611	1,450	846
Solveig Hellebust、グループEVP	2,385		2,478	1,052	200	3,731	11	290
Kari Olrud Moen、グループEVP	2,750		2,861	1,172	201	4,235	18	1,309
Tom Rathke、グループEVP	3,325		3,610	1,502	251	5,364	6,349	2,162
Harald Serch-Hanssen、グループ EVP	4,020		4,188	1,712	245	6,144	5,478	959
Thomas Midteide、グループEVP	1,900		1,973	832	210	3,015	5,776	188
Terje Turnes、グループEVP (2015年2月7日から)	3,850		3,725	742	201	4,667	63	474
Trygve Young、グループ EVP (2015年2月7日まで) ⁷⁾			902		1,996	2,898	1	
管理委員会								
Frode Hassel (会長)		438				438		
Karl Olav Hovden (副会長) ⁷⁾		364			307	671		
Ida Helliesen		292				292		
Ida Espolin Johnson		292				292	161	
Ole Trasti		292				292	3,631	
監督委員会合計								
	5,471	703	5,663	373	223	6,962	38,349	277
その他の従業員への貸出合計							17,273,913	

- 1) 当期における取締役会又はグループ経営陣のメンバーであった従業員向けの年度末現在の年間固定給。
- 2) 取締役会及び委員会での勤務に対してDNBグループのすべての企業から得た報酬を含む。2015年度に複数の役職について報酬を得た人物について、DNBバンク エイ・エス・エイの取締役会の役職に関連する報酬額は以下のとおりである：
Anne Carine Tanum：420,000ノルウェー・クローネ
Jarle Berge：307,000ノルウェー・クローネ
Sverre Finstad：307,000ノルウェー・クローネ
Vigdis Mathisen：307,000ノルウェー・クローネ
上記のうちの一部は複数の組織で兼務している。
- 3) 通年の支払給与及び賞与に対する休日手当を含む。従業員の一部は、1年のうち一部の期間のみ取締役会及びグループ経営陣のメンバーを務めていた。
- 4) 休日手当は賞与に含まれていない。
- 5) 株主が選出した代表者への貸出は、通常の顧客との取引条件で行われる。DNBの従業員に対する貸出は、通常の顧客との取引条件に近い特別条件で行われる。
- 6) 未払年金費用には期中に獲得した年金権 (SCC) が含まれており、年金受給権の計算は (注24)「年金」で使用されているものと同一の経済的仮定と年金数理的仮定に基づいている。
- 7) 現物支給等には年金の支払が含まれている。

年金契約に関するその他の情報

2017年1月1日から、グループEVPは全員、ノルウェーの他のすべての従業員と同様に確定拠出型年金制度に加入している。

2017年1月1日から、年金に関して下記の規約と条件が適用される。

すべての経営幹部の年金制度は、下記に記載されているとおり2017年1月1日から変更された。この日をもって契約は、ノルウェーの企業年金法に基づいて2016年に行われた当グループの確定拠出企業年金制度の移行に用いられたものと同じ計算仮定及び原則に基づいた、確定拠出企業年金制度に置き換わっている。年金契約における変更は、以前に合意した年齢制限の変更を伴わない。

年金に関する下記の条件は、2016年12月31日まで適用される。

Rune Bjerkeは、60歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を保証する年金契約を締結している。Bjorn Erik Naess、Liv Fiksdahl、Kari Oirud Moen及びTom Rathkeは、62歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を得ている。Terje Turnesは、67歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を得ている。Trond Bentestuen、Kjerstin Braathen及びHarald Serck-Hanssenは、65歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を得ている。Ottar Ertzeidは、遅くとも65歳、又は62歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を保証する年金契約を締結している。Tomas Midteide 及びSolveig Hellebustは、65歳から67歳までの間の受給額削減はなく、65歳から固定給の70%を年金として受給する権利を保証する年金契約を締結している。彼らの年金支給対象所得は、政府年金基準額の12倍が上限となっている。Benedicte Fasmer 及び Rune Garborgは、2016年9月26日に当グループの経営チームのメンバーとなった。彼らの年金支給対象所得は、政府年金基準額の12倍が上限となっている。彼らは、退職年齢についていかなる契約も結んでいない。

Bjørn Erik Næssは、年金契約により62歳から年金支給対象所得の70%を年金として受給する権利を得ている。彼が合意した年齢に達した際に、彼の勤務期間は2017年3月1日まで延長された。結果として、2016年度には本契約に基づく支払はなされていない。他の経営幹部と同様の方法で、彼の年金契約も2016年12月31日から移行され、資本的価値は当初の退職日現在の技術的保険準備金残高に一致している。最終退職日までの期間に追加の権利は一切獲得されない。

未払年金費用の内訳

(単位：千ノルウェー・クローネ)	未払年金費用	年金制度移行の影響額	年金費用計上額
Rune Bjerke、最高経営責任者	4,989	(1,118)	3,871
グループ経営チームの他のメンバー	14,880	(21,778)	(6,898)
グループ経営チーム合計	19,869	(22,896)	(3,027)

従業員向新株引受権プログラム

2016年度末現在、DNBバンク グループの従業員向新株引受権プログラムは存在しない。

DNBバンク エイ・エス・エイ		法定監査人の報酬	DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	(単位：千ノルウェー・クローネ、付加価値税は除く)	2016年度	2015年度
(7,967)	(10,465)	法定監査業務 ¹⁾	(23,628)	(20,865)
(569)	(1,016)	その他証明業務	(1,731)	(1,414)
(4,959)	(12,860)	税金関連助言業務 ²⁾	(12,874)	(6,159)
(9,690)	(3,476)	その他の業務	(3,570)	(9,875)
(23,185)	(27,817)	法定監査人の報酬合計	(41,803)	(38,313)

- 1) 期中監査およびDNBが管理する基金の監査の費用が含まれている。
2) 主に、移転価格に関する業務に関連する。

注48 関連当事者に関する情報

DNBバンク エイ・エス・エイは、DNB エイ・エス・エイの完全子会社である。DNBグループの最大所有者はノルウェー政府（通商産業省）であり、親会社であるDNB エイ・エス・エイの34%の株式を所有している。

当行グループは、通常の商取引の一環として、関連当事者との間で融資、預金及び為替取引等からなる非常に多くの取引を行っている。これらの取引は、市場条件に基づいて行われている。下表は、年度末（貸借対照表日）現在における関連当事者との取引及び当該年度における関連費用及び収益をまとめたものである。表にある関連企業は、関連会社及び DNB NOR Savings Bank Foundationである。関連会社の詳細については（注35）を参照のこと。取締役、その配偶者／パートナー及び未成年である子供に対する貸出は、通常の顧客との取引条件で行われる。グループ経営陣に対する貸出は、その他のグループ従業員に対する貸出と同様、通常の顧客との取引条件に近い特別条件で行われる。他のDNBバンク グループ企業との取引は、別表に記載されている。

関連当事者との取引	DNBバンク グループ			
	グループ経営陣及び取締役会		関連企業	
(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度
1月1日現在の貸出	44	41	913	1,294
年度中の新規貸出／返済	(9)	(3)	(37)	(381)
関連当事者の変化	24	6	249	
12月31日現在の貸出	60	44	1,125	913
受取利息	1	1	24	24
1月1日現在の預金	235	105	702	3,106
年度中の預金／引出し	14	131	78	(2,363)
関連当事者の変化	5	(2)	1	(42)
12月31日現在の預金	253	235	781	702
支払利息	(0)	(1)	(8)	(16)
保証¹⁾	-	-	5,951	11,323

- 1) DNBバンク エイ・エス・エイの貸借対照表には、法的契約によってノルウェー輸出金融公社に譲渡され、DNBバンク エイ・エス・エイが保証している貸出金が含まれる。かかる契約によると、DNBバンクは、譲渡されたポートフォリオに関連する金利リスク及び信用リスクに依然としてさらされている。2015年度末における当該ポートフォリオの総額は、2,212百万ノルウェー・クローネであり、2016年度末には残高はゼロであった。当該貸出は、ノルウェー輸出金融公社からの預金／支払と相殺される。DNBバンク エイ・エス・エイは、ノルウェー輸出金融公社の他の貸出金に関する保証も行っている。

2015年度及び2016年度には、関連当事者への貸出に関する減損は計上されなかった。グループ経営陣及び取締役に対する貸出に関する情報については、（注47）で触れられている。取締役会の代理メンバーとの取引は、上表に含まれていない。一般に、DNBの従業員向貸出は、月賦払いで自動引落としにより後払いで返済が行われなければならない。従業員向貸出は、一般の顧客関係に適用される条件の範囲内で行われる。法規定に従い、従業員向貸出には担保が供与されている。

DNBバンク エイ・エス・エイ		その他のDNBグループ企業との取引 ¹⁾	DNBバンク グループ	
2015年度	2016年度	(単位：百万ノルウェー・クローネ)	2016年度	2015年度
349,169	393,832	12月31日現在の貸出金	22,059	17,608
29,784	20,250	12月31日現在のその他の未収入金 ²⁾	726	2,450
122,593	143,450	12月31日現在の預金	10,796	12,903
109,470	62,288	12月31日現在のその他の負債 ²⁾	919	411
4,360	5,387	受取利息	506	350
(1,970)	(2,897)	支払利息	(56)	(90)
10,088	6,490	その他の営業収益純額 ³⁾	1,866	1,920
(268)	(114)	営業費用	(88)	(257)

- 1) DNBバンク エイ・エス・エイに関して、上表には子会社、兄弟会社及びDNB エイ・エス・エイとの取引が含まれる。当行グループに関しては、上表には兄弟会社及びDNB エイ・エス・エイとの取引が含まれる。関連当事者により発行された債券への投資は以下に記載されており、上記の表には含まれていない。
- 2) 2015年12月31日及び2016年12月31日現在のDNBバンク エイ・エス・エイのその他の未収入金及びその他の負債は、主にDNBボーリ・クレジットをカウンターパーティーとしたデリバティブ取引及びグループ配当であった。
- 3) DNBバンク エイ・エス・エイが2016年度及び2015年度に子会社からのグループ配当として計上したのは、それぞれ1,591百万ノルウェー・クローネ及び4,571百万ノルウェー・クローネであった。

関連当事者との主な取引及び契約

DNBボーリ・クレジット

DNBボーリ・クレジットは、DNBバンク エイ・エス・エイの完全子会社である。通常の商取引の一環として、ボーリ・クレジットと当行の間で貸出、預金並びに為替リスク管理及び金利リスク管理で用いられるデリバティブをはじめとする数多くの銀行取引が行われている。取引は市場での取引条件に基づいて行われ、「当行及びDNBボーリ・クレジット エイ・エス間の貸出債権の譲渡に関する契約」（譲渡契約）及び「管理サービスの購入に関する当行とDNBボーリ・クレジット エイ・エス間の契約」（サービス契約）に則っている。

譲渡契約は、カバード・ボンド発行の際の担保となり得る貸出債権の譲渡を管理するものである。2016年度中に、19.8十億ノルウェー・クローネに上る貸出債権が当行からボーリ・クレジットに譲渡された。

管理契約に従い、ボーリ・クレジットは、事務管理、銀行プロダクト、物流、顧客対応、IT業務、財務及び流動性管理等のサービスを当行から購入する。ボーリ・クレジットは、これらのサービスに対し、管理下にある貸出債権の規模及び達成された貸出スプレッドに基づいた年間管理手数料を支払う。2016年度に支払われた管理手数料は、2.3十億ノルウェー・クローネであった。

2016年12月末現在、当行は、ボーリ・クレジットが発行したカバード・ボンドに9.0十億ノルウェー・クローネを投資していた。

2013年度第4四半期に、ボーリ・クレジットは、DNBバンク エイ・エス・エイとの間で「リボルビング・クレジット・ファシリティ契約 (RCF)」を締結した。このRCFの条件に従って、DNBバンクはボーリ・クレジットに対し、発行されたカバード・ボンド及び関連するデリバティブヘッジ契約のために今後12か月にわたってボーリ・クレジットのノルウェー・クローネでの支払債務と同額のリボルビング・クレジット・ファシリティを常に提供する。ボーリ・クレジットはこのRCFに基づいて借り入れた全額を、カバード・ボンド及び当該カバード・ボンドのヘッジのために締結した関連するデリバティブ契約に基づく支払に充てなければならない。

ボーリ・クレジットはカバード・ボンドの通常の(再)購入及び当該カバード・ボンドに関連したデリバティブ契約に関連した支払義務の履行に当該RCFを利用してはならない。RCFに基づくボーリ・クレジットに対するDNBバンクの債務は、カバード・ボンドに係る要支払額であるという点で保証には当たらない。当契約はボーリ・クレジットが主導して、2016年の第2四半期に解約された。

2016年に、ボーリ・クレジットは当行を取引相手として、リバース・レポ契約(以下「リバース・レポ」という。)を締結した。当レポ取引の総額は、2016年12月末現在、26.2十億ノルウェー・クローネであった。

ボーリ・クレジットはDNBバンク・エイ・エス・エイと長期の当座貸越契約を締結している。2016年度第4四半期に、本当座貸越契約の上限は、160十億ノルウェー・クローネから190十億ノルウェー・クローネに引き上げられた。

DNBナーリングス・クレジット エイ・エス

DNBナーリングス・クレジット(ナーリングス・クレジット)は、DNBバンク エイ・エス・エイの完全子会社である。この抵当証券機関は、商業用不動産で構成されるプールを担保とするカバード・ボンドを発行するために設立された。

2016年に、総額7.2十億ノルウェー・クローネのコミットメントが当行からナーリングス・クレジットに譲渡された。この譲渡は、顧客との同意に従い、市場での取引条件に基づいて行われる。ボーリ・クレジットと同様、ナーリングス・クレジットも、当行から管理サービス及び事務サービスを購入している。また、同社の業務に関連する事務サービスは、ボーリ・クレジットからも購入している。2016年度に当行及びボーリ・クレジットに支払われた手数料総額はそれぞれ74.1百万ノルウェー・クローネ、3.1百万ノルウェー・クローネであった。

ナーリングス・クレジットの貸借対照表の中の「金融機関向貸出金及び預け金」及び「金融機関からの借入金及び預金」は、すべてDNBバンクとの間の取引残高である。2016年12月末現在、当行は、ナーリングス・クレジットが発行したカバード・ボンドのうちの0.9十億ノルウェー・クローネに投資している。

2016年に、ナーリングス・クレジットは、当行を取引相手として、リバース・レポ契約(以下「リバース・レポ」という。)を締結した。当レポ取引の総額は、2016年12月末現在、112百万ノルウェー・クローネであった。同社は、DNBバンク・エイ・エス・エイと長期の当座貸越契約を締結している。2016年度第4四半期に、本当座貸越契約の上限は、25十億ノルウェー・クローネから30十億ノルウェー・クローネに引き上げられた。

DNBリフスフォルシクリン エイ・エス

同社の通常の投資活動の一環として、DNBリフスフォルシクリンは、ボーリ・クレジットが発行するカバード・ボンドを引き受けてきた。DNBリフスフォルシクリンが保有するボーリ・クレジットの債券総額は、2016年12月末現在で1.9十億ノルウェー・クローネであった。

2016年11月に、合計約5十億ノルウェー・クローネの住宅ローンのポートフォリオが、DNBボーリ・クレジットから、DNBリフスフォルシクリンに売却された。

2016年第4四半期に、2.6十億ノルウェー・クローネと4.5十億ノルウェー・クローネの商業用不動産ローンのポートフォリオが、それぞれナーリングス・クレジットとDNBバンクから、DNBリフスフォルシクリンに売却された。

DNBスウェーデン支店及びDNBスウェーデン エイ・ビー

2015年度第3四半期中に、DNBスウェーデン支店とDNBスウェーデン エイ・ビーの間で契約が締結された。これは、DNBスウェーデン エイ・ビーが同支店の新規及び既存顧客への貸出を行う権利を継承したことを意味する。既存の貸出金は実現可能かつ合理的とみなされる範囲でDNBスウェーデン エイ・ビーに譲渡される。2016年12月末現在、合計31.9十億スウェーデン・クローナの既存の貸出金がDNBスウェーデン エイ・ビーに譲渡された。依然としてDNBスウェーデン支店が保有する貸出金は合計5.6十億スウェーデン・クローナである。

注49 オフ・バランスシート取引及び偶発事象

DNBバンク エイ・エス・エイ		オフ・バランスシート取引及び追加情報	DNBバンク グループ	
2015年	2016年		2016年	2015年
12月31日現在	12月31日現在	(単位: 百万ノルウェー・クローネ)	12月31日現在	12月31日現在
32,568	29,930	履行保証	30,900	33,712
36,375	32,547	支払保証	34,472	37,544
16,715	17,979	貸出保証	17,898	16,629
7,253	6,535	税金等の保証	6,557	7,271
2,780	2,213	その他保証	2,714	3,258
95,692	89,205	保証合計	92,541	98,414
		支援協定	6,106	11,827
95,692	89,205	保証等合計*)	98,647	110,241
963,486	479,792	未使用の与信枠及び貸出枠 ¹⁾	606,122	600,523
4,576	3,861	信用状	3,948	4,790
		その他コミットメント	37	51
968,062	483,653	コミットメント合計	610,107	605,364
1,063,754	572,858	保証及びオフ・バランス・コミットメント合計	708,754	715,605
17,828	9,322	担保として差入れられている有価証券		
		*) そのうち、金融機関による再保証が行われているもの	326	311

- 1) DNBバンク・エイ・エス・エイの未使用の与信枠及び貸出枠の減少は、主に第2四半期に
DNBボーリ・クレジットに供与していた未使用の与信枠を解消したことによるものである。

DNBバンク エイ・エス・エイは、多通貨同時決済銀行（CLS銀行）の会員であり株主でもある。株主としてDNBバンク エイ・エス・エイは、会員銀行のためのCLS銀行の中央決済勘定に資金不足が生じた場合、他の会員銀行がデフォルトを引き起こしたとしても、当該資金不足を補填するために資金を拠出する義務がある。まず、会員銀行の中でCLS銀行の当該資金不足を引き起こすことになった銀行と取引を行った各行が当該資金不足を補填するものとされている。それだけで補填しきれない不足がある場合、当該欠損は、CLS銀行の国際規則第9条「損失配分」に従い、CLSの会員銀行が按分負担することになる。CLSと会員銀行間の契約によると、残余不足額のこうした補填に関連する按分支払いの義務は、会員銀行当たり30百万米ドルを上限とする。2016年度末現在、DNBは、CLSに関連する債務を計上していない。

DNBボーリ・クレジット エイ・エス（ボーリ・クレジット）

2016年12月末現在、ボーリ・クレジットは、額面金額が416十億ノルウェー・クローネにのぼるカバード・ボンドを発行していた。万一破産した場合は、その債券保有者は同社のカバープール（カバー担保）に対する優先権を有する。

カバード・ボンド

DNBボーリ・クレジット

	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
（単位：百万ノルウェー・クローネ）		
上場カバード・ボンド合計	355,932	386,944
債券プログラムにおける私募合計	59,859	59,419
調整		
未払利息	3,581	4,602
未実現利益／損失	19,701	22,780
発行済負債証券合計	439,072	473,745

カバープール（カバー担保）

DNBボーリ・クレジット

	2016年 12月31日現在	2015年 12月31日現在
（単位：百万ノルウェー・クローネ）		
適格貸出プール	599,579	561,517
デリバティブの時価	38,527	74,932
補足資産		
担保に差入れられている資産合計	638,106	636,449
超過担保(%)	145.4	134.2

偶発事象

ノルウェー国内外での広範囲な業務により、当行グループは、恒常的に数多くの法的手続の当事者になると考えられる。現在係争中の紛争は、いずれも当行グループの財政状態に重大な影響を及ぼすことはないと思われる。

当行グループは、仕組商品及びその他投資商品に関するいくつかの苦情及び訴訟の当事者となっている。

[次へ](#)

Income statement

DNB Bank ASA				DNB Bank Group	
2015	2016	Amounts in NOK million	Note	2016	2015
38 287	35 163	Total interest income	17	52 887	57 793
(14 072)	(11 555)	Total interest expenses	17	(18 369)	(22 258)
24 215	23 608	Net interest income	17	34 517	35 535
8 220	8 739	Commission and fee income etc.	19	8 628	8 694
(2 676)	(2 924)	Commission and fee expenses etc.	19	(2 994)	(2 737)
3 964	8 834	Net gains on financial instruments at fair value	20	6 506	8 704
		Profit from investments accounted for by the equity method	35	1 189	(72)
		Net gains on investment properties		(35)	269
9 786	5 837	Other income		2 023	2 051
17 294	18 486	Net other operating income		15 316	16 909
41 509	42 094	Total income		49 833	52 444
(7 245)	(9 248)	Salaries and other personnel expenses	21	(11 206)	(9 140)
(6 591)	(6 118)	Other expenses	22	(7 207)	(7 892)
(2 035)	(2 050)	Depreciation and impairment of fixed and intangible assets	23	(2 103)	(2 159)
(15 871)	(17 417)	Total operating expenses		(20 516)	(19 191)
25 638	24 677	Pre-tax operating profit before impairment		29 317	33 253
91	14	Net gains on fixed and intangible assets		(19)	45
(1 638)	(4 679)	Impairment of loans and guarantees	9, 10	(7 424)	(2 270)
24 090	20 012	Pre-tax operating profit		21 874	31 028
(3 452)	(5 223)	Tax expense	25	(3 964)	(7 755)
		Profit from operations held for sale, after taxes		4	(51)
20 638	14 789	Profit for the year		17 914	23 222
20 264	14 193	Portion attributes to shareholders		17 319	22 848
374	595	Portion attributable to additional Tier 1 capital holders		595	374
20 638	14 789	Profit for the year		17 914	23 222
112.69	80.75	Earnings/diluted earnings per share (NOK)		97.81	126.79
		Earnings per share for operations held for sale (NOK)		0.02	(0.28)
112.69	80.75	Earnings per share for continuing operations excluding operations held for sale (NOK)		97.79	127.07

Comprehensive income statement

DNB Bank ASA				DNB Bank Group	
2015	2016	Amounts in NOK million		2016	2015
20 638	14 789	Profit for the year		17 914	23 222
615	(166)	Actuarial gains and losses		(179)	592
615	(166)	Items that will not be reclassified to the income statement		(179)	592
238	(135)	Currency translation of foreign operations ¹⁾		(6 478)	9 618
		Currency translation reserve reclassified to the income statement		(43)	
		Hedging of net investment ²⁾		4 346	(6 203)
		Investments according to the equity method ³⁾		(25)	889
		Investments according to the equity method reclassified to the income statement ³⁾		(855)	
238	(135)	Items that may subsequently be reclassified to the income statement		(3 055)	4 304
853	(301)	Other comprehensive income for the year (net of tax)		(3 233)	4 896
21 492	14 487	Comprehensive income for the year		14 680	28 118

1) Currency translation effects related to the Baltics represented a loss of NOK 449 million in 2016.

2) Hedging of net investments in the Baltics came to NOK 275 million in 2016, net of tax.

3) DNB had indirect ownership interests in Visa Europe through its membership in Visa Norge. In connection with the valuation of the holdings in Visa Europe as at 31 March 2016 an accumulated gain of NOK 855 million was recognized in other comprehensive income. Upon the completion of the acquisition of Visa Europe by Visa Inc in the second quarter of 2016, this amount was reclassified to profit and a total gain of NOK 1 128 million was recognised as "Profit from investments accounted for by the equity method" in the income statement.

Balance sheet

DNB Bank ASA				DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	Amounts in NOK million	Note	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Assets					
16 004	207 934	Cash and deposits with central banks	26, 27, 28	209 263	19 317
630 700	549 093	Due from credit institutions	6, 7, 26, 27, 28	174 908	297 457
705 532	690 060	Loans to customers	6, 7, 26, 27, 28	1 492 268	1 531 932
210 062	223 360	Commercial paper and bonds at fair value	26, 28, 30	217 887	207 063
7 504	5 178	Shareholdings	26, 28, 30, 31	6 200	8 794
213 797	170 317	Financial derivatives	15, 26, 28	157 957	203 273
19 162	12 760	Commercial paper and bonds, held to maturity	26, 27, 33	12 760	19 162
		Investment properties	34	1 175	2 333
975	995	Investments accounted for by the equity method	35	3 570	4 091
120 473	118 233	Investments in subsidiaries	36	0	0
3 675	3 598	Intangible assets	37	3 981	4 176
6 320	1 882	Deferred tax assets	25	1 392	1 138
7 480	7 034	Fixed assets	38	7 117	8 059
		Assets held for sale	39	52 541	200
23 735	13 462	Other assets	41	8 255	8 698
1 965 419	2 003 906	Total assets		2 348 272	2 315 603
Liabilities and equity					
262 330	338 731	Due to credit institutions	26, 27, 28	211 606	161 267
896 488	920 664	Deposits from customers	26, 27, 28, 42	945 694	957 322
240 518	181 794	Financial derivatives	15, 26, 28	130 990	154 878
340 099	336 941	Debt securities issued	26, 27, 28, 43	767 750	806 810
703	4	Payable taxes	25	8 847	2 493
12	56	Deferred taxes	25	2 382	6 461
39 438	23 893	Other liabilities	26, 45	15 781	18 409
		Liabilities held for sale	39	41 243	71
1 101	1 916	Provisions		2 038	1 225
2 246	2 454	Pension commitments	24	2 516	2 301
30 953	29 347	Subordinated loan capital	26, 27, 28, 44	29 347	30 953
1 813 886	1 835 802	Total liabilities		2 158 194	2 142 191
18 314	18 314	Share capital		18 314	18 314
19 895	19 895	Share premium		20 611	20 611
8 353	15 952	Additional Tier 1 capital		15 952	8 353
104 970	113 942	Other equity		135 200	126 133
151 533	168 104	Total equity	46	190 078	173 412
1 965 419	2 003 906	Total liabilities and equity		2 348 272	2 315 603

Statement of changes in equity

DNB Bank ASA							
Amounts in NOK million	Share capital	Share premium	Additional Tier 1 capital	Actual gains and losses	Currency translation reserve	Other equity	Total equity
Balance sheet as at 31 December 2014	18 314	19 895		(2 741)	414	91 838	127 720
Profit for the year			374			20 264	20 638
Other comprehensive income (net of tax)				615	238		853
Comprehensive income for the year			374	615	238	20 264	21 492
Defined-benefit pension scheme discontinued				1 667		(1 667)	
Additional Tier 1 capital issued			8 053			(31)	8 023
Interest payments additional Tier 1 capital			(75)				(75)
Transfer of lending portfolio to subsidiary (continuity)						(627)	(627)
Group contribution for 2015 to DNB ASA						(5 000)	(5 000)
Balance sheet as at 31 December 2015	18 314	19 895	8 353	(459)	652	104 777	151 533
Profit for the year			595			14 193	14 789
Other comprehensive income (net of tax)				(166)	(135)		(301)
Comprehensive income for the year			595	(166)	(135)	14 193	14 487
Additional Tier 1 capital issued			7 520			(43)	7 477
Interest payments additional Tier 1 capital			(505)				(505)
Currency movements taken to income			(11)			11	
Defined-benefit pension scheme discontinued				6		(6)	
Transfer of lending portfolio to subsidiary (continuity)						195	195
Group contribution for 2016 to DNB ASA						(9 284)	(9 284)
Group contribution for 2016 from DNB ASA						4 200	4 200
Balance sheet as at 31 December 2016	18 314	19 895	15 952	(619)	517	114 045	168 104

	DNB Bank Group							
Amounts in NOK million	Share capital	Share premium	Additional Tier 1 capital	Actual gains and losses	Currency translation reserve ¹⁾	Net investment hedge reserve ¹⁾	Other equity	Total equity ¹⁾
Balance sheet as at 31 December 2014	18 314	20 611		(2 834)	8 637	(5 645)	102 226	141 309
Profit for the year			374				22 848	23 222
Other comprehensive income (net of tax)				592	9 618	(6 203)	889	4 896
Comprehensive income for the year			374	592	9 618	(6 203)	23 736	28 118
Defined-benefit pension scheme discontinued				1 763			(1 763)	
Currency translation reserve taken to income					34		4	38
Additional tier 1 capital issued			8 053				(31)	8 023
Interest payments additional Tier 1 capital			(75)					(75)
Group contribution to DNB ASA for 2014							(4 001)	(4 001)
Balance sheet as at 31 December 2015	18 314	20 611	8 353	(479)	18 289	(11 848)	120 171	173 412
Profit for the year			595				17 319	17 914
Other comprehensive income (net of tax)				(179)	(6 521)	4 346	(890)	(3 233)
Comprehensive income for the year			595	(179)	(6 521)	4 346	16 438	14 680
Additional tier 1 capital issued			7 520				(43)	7 477
Interest payments additional Tier 1 capital			(505)					(505)
Currency movements taken to income			(11)				11	
Defined-benefit pension scheme discontinued				16			(16)	
AGDL provision in Luxembourg reclassified to equity							13	13
Group contribution to DNB ASA for 2015							(5 000)	(5 000)
Balance sheet as at 31 December 2016	18 314	20 611	15 952	(641)	11 768	(7 502)	131 575	190 078

1) Of which OCI related to the Baticas:

Balance sheet as at 31 December 2015	1 465	(987)	478
Other comprehensive income	(449)	275	(174)
Balance sheet as at 31 December 2016	1 015	(712)	304

Currency translation reserve and net investment hedge reserve related to the Baticas totaled NOK 304 million as at 31 December 2016, of which NOK 280 million represented accumulated tax on the hedging instruments.

Cash flow statement

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2015	2016	Amounts in NOK million	2016	2015
Operating activities				
50 461	(1 193)	Net receipts/payments on loans to customers	(35 187)	(32 213)
30 885	26 974	Interest received from customers	47 420	51 863
(44 221)	37 498	Net receipts/payments on deposits from customers	40 724	(34 447)
(10 485)	(5 219)	Interest paid to customers	(3 711)	(7 475)
(20 697)	144 571	Net receipts/payments on loans to credit institutions	163 235	3 917
3 870	3 774	Interest received from credit institutions	1 261	1 617
(1 558)	(1 975)	Interest paid to credit institutions	(1 661)	(1 355)
16 386	(8 655)	Net receipts/payments on the sale of financial assets for investment or trading	4 076	(16 600)
5 080	4 327	Interest received on bonds and commercial paper	4 271	4 592
3 553	3 998	Net receipts on commissions and fees	5 757	5 985
(16 346)	(15 995)	Payments to operations	(19 014)	(19 210)
(800)	(1 268)	Taxes paid	(1 455)	(2 473)
9 595	8 563	Other receipts	8 327	5 433
25 723	195 401	Net cash flow from operating activities	214 042	(40 387)
Investment activities				
(1 866)	(1 627)	Net payments on the acquisition of fixed assets	(1 529)	(1 853)
		Net receipts/payments, investment properties	(605)	2 633
223	861	Receipts on the sale of long-term investments in shares	861	76
(33 124)	(3 700)	Payments on the acquisition of long-term investments in shares		
104	57	Dividends received on long-term investments in shares	66	6
(34 662)	(4 408)	Net cash flow from investment activities	(1 206)	1 062
Funding activities				
3 072 165	8 943 961	Receipts on issued bonds and commercial paper (see note 44)	8 995 908	3 142 451
(3 110 990)	(8 935 044)	Payments on redeemed bonds and commercial paper (see note 44)	(9 000 786)	(3 145 857)
(5 097)	(6 238)	Interest payment on issued bonds and commercial paper	(16 016)	(15 129)
3 805	738	Receipts on the raising of subordinated loan capital (see note 45)	738	3 805
(4 604)	(3)	Redemptions of subordinated loan capital (see note 45)	(3)	(4 604)
(1 027)	(920)	Interest payments on subordinated loan capital	(923)	(1 029)
8 023	7 520	Receipts on issued additional Tier 1 capital	7 520	8 023
(75)	(516)	Interest payments on additional Tier 1 capital	(516)	(75)
(4 729)	(6 942)	Dividend/group contributions payment/receipts	(6 949)	(4 001)
(42 529)	2 555	Net cash flow from funding activities	(20 928)	(16 415)
13 547	(1 663)	Effects of exchange rate changes on cash and cash equivalents	(312)	14 622
(37 921)	191 884	Net cash flow	191 596	(41 118)
57 805	19 884	Cash as at 1 January	23 194	64 312
(37 921)	191 884	Net payments of cash	191 596	(41 118)
19 884	211 768	Cash as at 31 December ¹⁾	214 790	23 194
¹⁾ Of which:				
16 004	207 934	Cash and deposits with central banks	211 908	19 317
3 880	3 835	Deposits with credit institutions with no agreed period of notice ¹⁾	2 881	3 876

1) Recorded under "Due from credit institutions" in the balance sheet.

The cash flow statement shows receipts and payments of cash and cash equivalents during the year. The statement has been prepared in accordance with the direct method. Cash flows are classified as operating activities, investment activities or funding activities. Balance sheet items are adjusted for the effects of exchange rate movements. Cash is defined as cash and deposits with central banks, and deposits with credit institutions with no agreed period of notice.

Note 1 Accounting principles

1. Corporate information
2. Basis for preparation
3. Consolidation
4. Operations presented as held for sale
5. Segment information
6. Recognition in the income statement and in other comprehensive income
7. Financial instruments
8. Investment property and fixed assets
9. Intangible assets
10. Impairment of fixed and intangible assets
11. Pensions
12. Income tax
13. Restructuring
14. Leasing
15. Cash flow statements
16. Dividends
17. Approved standards and interpretations that have not entered into force
18. Important accounting estimates, judgments and assumptions

1. Corporate information

DNB Bank ASA is a subsidiary of DNB ASA, which is a Norwegian public limited company listed on the Oslo Stock Exchange (Oslo Børs). The consolidated financial statements for 2016 were approved by the Board of Directors on 8 March 2017.

The banking group offers banking services and securities and investment services in the Norwegian and international retail and corporate markets.

The visiting address to the banking group's head office is Dronning Eufemias gate 30, Bjørvika, Oslo, Norway.

2. Basis for preparation

DNB Bank group has prepared the consolidated financial statements for 2016 in accordance with International Financial Reporting Standards (IFRSs), as issued by the International Accounting Standards Board (IASB) and endorsed by the European Union (EU).

DNB Bank ASA has prepared its stand-alone financial statements according to the Norwegian Ministry of Finance's regulations on annual accounts, Section 1-6, on the use of IFRS, hereinafter called the Norwegian IFRS regulations, which implies that recognition and measurements are in accordance with IFRS. The only exception is that the Norwegian IFRS regulations also give permission to recognise provisions for dividends and group contributions in subsidiaries as income and recognise the Board of Directors' proposed dividends and group contributions as liabilities on the balance sheet date. According to IFRS, dividends should be presented as equity until approved by the general meeting. DNB Bank ASA presents disclosure information in accordance with IFRS.

The consolidated financial statements are based on the historic cost principle, with the following exceptions: financial assets and liabilities measured at fair value and investment properties. The consolidated financial statements are presented in Norwegian kroner. Unless otherwise specified, all amounts are rounded to the nearest million.

The banking group's consolidated balance sheets are primarily based on an assessment of the liquidity of the assets and liabilities.

3. Consolidation

The consolidated financial statements for DNB Bank ASA ("DNB Bank" or "the banking group") include DNB Bank and subsidiaries.

The accounting principles are applied consistently when consolidating ownership interests in subsidiaries and are based on the same reporting periods as those used for the parent company.

When preparing the consolidated financial statements, intra-group transactions and balances, along with gains and losses on transactions between group units, are eliminated.

Subsidiaries

Subsidiaries are defined as companies in which DNB Bank, directly or indirectly, has control. Control over an entity is evidenced by the banking group's ability to exercise its power in order to affect any variable returns that the banking group is exposed to through its involvement with the entity. When assessing whether to consolidate an entity the banking group evaluates a range of control factors, including

- the purpose and design of the entity,
- the relevant activities and how these are determined,
- whether the Group's rights result in the ability to direct the relevant activities
- whether the Group has exposure or right to variable returns
- whether the Group has the ability to use its power to affect its return

Where voting rights are relevant, the banking group is deemed to have control where it holds, directly or indirectly, more than half of the voting rights in an entity, unless the banking group through agreements does not have corresponding voting rights in relevant decision-making bodies. With respect to companies where the banking group's holding represent less than half of the rights, it makes an assessment of whether other factors indicate de facto control. Subsidiaries are fully consolidated from the date on which control is obtained and until control ceases.

Associated companies

Associated companies are companies in which DNB Bank has a significant influence, that is the power to participate in the financial and operating policy decisions of the companies, but is not in control or joint control of the companies. DNB Bank assumes that significant influence exists when the banking group holds between 20 and 50 per cent of the voting share capital or primary capital in another entity.

Associated companies are recognised in the consolidated financial statements according to the equity method. The investment is recognised at cost at the time of acquisition and is adjusted for subsequent changes in the banking group's share of equity in the associated company. Any goodwill is included in the acquisition cost. The banking group's share of profits or losses is recognised in the income statement and added to the cost price of the investment along with other changes in equity which have not been reflected in the income statement. The banking group's share of losses is not reflected in the income statement if the carrying amount of the investment will be negative, unless the banking group has taken on commitments or issued guarantees for the commitments of the associated company.

At the end of each reporting period the banking group assess whether any indication of impairment exists. If such indication exists, the investment will be tested for impairment. The carrying value of the investment will be compared with the recoverable amount (the higher of fair value less costs to sell and value in use). If necessary, the carrying value will be written down to the recoverable amount.

The banking group's share of unrealised gains on transactions between the banking group and its associated companies is eliminated. The same applies to unrealised losses unless the transaction indicates an impairment of the transferred assets.

Conversion of transactions in foreign currency

The presentation currency in the banking group's consolidated financial statements is Norwegian kroner. The parent entity in the banking group, DNB Bank ASA, has Norwegian kroner as its functional currency. Balance sheet items of foreign branches and subsidiaries in other functional currencies are translated into the presentation currency, Norwegian kroner, according to the exchange rates prevailing on the balance sheet date, while profit or loss items are translated according to exchange rates on the transaction date. Changes in net assets resulting from exchange rate movements are recognised in other comprehensive income.

Monetary assets and liabilities in foreign currency are translated into the entities' functional currency at the exchange rates prevailing on the balance sheet date. Changes in the carrying amount of such assets due to exchange rate movements between the transaction date and the balance sheet date, are recognised in the income statement.

4. Operations presented as held for sale

The banking group classifies operations as held for sale when the carrying amount will be retrieved through a sale. Operations are classified as held for sale from the time management has approved a concrete plan to sell the operations in their current form and it is highly probable that the sale will take place shortly.

Subsidiaries which are acquired with a view to their subsequent sale, including companies taken over as part of loan restruc-

turing, are immediately classified as assets held for sale if the banking group intends to sell the subsidiary.

Operations held for sale are measured at the lower of their carrying amount and fair value less costs to sell. Acquired operations which are immediately classified as held for sale are recorded at fair value less costs to sell upon initial recognition.

Profits after taxes for such operations, which meet the criteria for "discontinued operations" in IFRS 5, are presented separately as "Profit from operations held for sale, after taxes" in the consolidated accounts. Total assets and liabilities from these operations are presented separately under "Assets held for sale" and "Liabilities held for sale" in the banking group's balance sheet.

5. Segment information

Financial governance in DNB Bank is adapted to the different customer segments. The follow-up of total customer relationships and segment profitability are two important dimensions when making strategic priorities and deciding where to allocate the banking group's resources. Reported figures for the various segments reflect the banking group's total sales of products and services to the specific segment.

The segment information has been prepared on the basis of internal financial reporting to the banking group management team (chief operating decision-making body) for an assessment of developments and the allocation of resources. Figures for the operating segments are based on DNB Bank's management model and the banking group's accounting principles. The figures are based on a number of assumptions, estimates and judgmental distribution.

According to DNB Bank's management model, the operating segments are independent profit centres that are fully responsible for their profit after tax and for achieving the targeted returns on allocated capital. All of the banking group's customer activities are divided among the operating segments, along with the related balance-sheet items, income and expenses.

Excess liquidity and liquidity deficits in the operating segments are placed in or borrowed from the bank's Treasury at market terms, where interest rates are based on duration and the banking group's financial position.

When operating segments cooperate on the delivery of financial services to customers, internal deliveries are based on market prices.

Services provided by group services and staff units are charged to the operating segments in accordance with service agreements. Joint expenses which are indirectly linked to activities in the operating segments, are charged to the operating segments on the basis of distribution formulas.

A number of key functions and profits from activities not related to the operating segments' strategic operations are presented within the Group units. This item comprises income and expenses relating to the banking group's liquidity management, income from investments in equity instruments not included in the trading portfolio, interest income assigned to the banking group's unallocated capital, ownership-related expenses and income from the management of the bank's real estate portfolio.

Net profits from repossessed operations which are fully consolidated in the banking group are presented as "Profit from repossessed operations" in the segment reporting. The effect of consolidation of the repossessed companies is presented within the Group units.

Return on capital is estimated on the basis of internal measurement of risk-adjusted capital requirements. See note 2 Segments for further information about the principles for allocation of capital.

6. Recognition in the income statement and in other comprehensive income

Interest income is recognised using the effective interest method. This implies that interest is recognised when incurred, with the addition of amortised front-end fees and any other fees which are regarded as an integral part of the effective interest rate.

The effective interest rate is set by discounting contractual cash flows based on the expected life of the asset. Cash flows include front-end fees and direct transaction costs which are not paid directly by the customer.

Interest is recognised according to the effective interest method with respect to both balance sheet items carried at amortised cost and balance sheet items carried at fair value in the income statement, with the exception of front-end fees on loans at fair value, which are recognised when earned. Interest on impaired loans corresponds to the effective interest rate on the book value, net of impairment.

Interest income on financial instruments presented as lending is recognised in "Net interest income".

"Net other operating income" includes, among others, fees and commissions relating to money transfers, success fees, credit broking, real estate broking, corporate finance and securities services. Credit broking commissions include syndication income in the form of fees and commissions from transactions where DNB Bank arranges the loans without retaining parts of the loan itself or participates in a loan syndicate and receives compensation in excess of the effective interest received by the other participants. Fees which are not included in effective interest rate calculations, as well as commissions, are recognised during the period when the services are rendered or the transactions are completed.

Success fees are recognised when the fees with a high degree of certainty have been earned and can be measured in a reliable manner.

Fees that are incurred when establishing financial guarantees are recognised over the term of the contract within the line item "Net gains on financial instruments at fair value".

Dividends on investments are recognised from the date the dividends are approved at the general meeting.

Income from financial instruments carried at fair value through profit or loss is described under Financial instruments, while net income from investment property is described under Investment property and fixed assets.

Items of income and expense in other comprehensive income are grouped based on whether or not they can be reclassified to the income statement at a future date.

7. Financial instruments

Recognition and derecognition

Recognition of assets and liabilities

Financial assets and liabilities are recognised in the balance sheet on the trading date, i.e. the date that the banking group becomes a party to the contractual provisions of the financial instrument.

Derecognition of financial assets

Financial assets are derecognised when the right to receive and retain cash flows from the asset has expired or been transferred. The banking group enters into certain transactions where it transfers assets recognised on its balance sheet, but retains either all or parts the risks and rewards of the transferred asset. If all or substantially all of the risks and rewards are retained, the transferred financial asset is not derecognised from the balance sheet, but reclassified to separate assets or liabilities reflecting the rights and obligations created or retained in the transfer. Such transactions could entail the transfer of a loan portfolio where the banking group retains the risks and returns associated with the transferred portfolio by guaranteeing for all risks in the portfolio or entering into a total return swap.

Derecognition of financial liabilities

Financial liabilities are derecognised when the contractual obligations have been discharged, cancelled or have expired.

Repurchase and reverse repurchase agreements

Securities purchased under agreements to resell are generally not recognised in the financial statements as the risk and returns are normally not taken over by the banking group. This is done irrespective of whether the banking group has the right to sell or repledge the securities. Upon the sale of securities received, the banking group recognises an obligation in the balance sheet. For more information, see note 32 Securities received which can be sold or repledged.

Securities sold under agreements to repurchase are generally not derecognised as the risk and returns are normally not transferred. This is done irrespective of whether the recipient is entitled to sell or repledge the securities. These securities are presented as securities in the Group's balance sheet and are specified in note 31 Transferred assets or assets with other restrictions.

Securities borrowing and lending agreements

Transactions mainly include equity borrowing or lending. Agreements on securities borrowing and lending are generally based on collateral in the form of cash or securities.

Equities which have been received or transferred in such transactions, are generally not recognised or derecognised, as risks and returns associated with ownership of the assets are normally not taken over or transferred.

Equities received, including equities received as collateral, are registered off the balance sheet irrespective of whether the banking group has the right to sell or repledge the securities. Upon the sale of securities received, the banking group will recognise an obligation in the balance sheet. For more information, see note 32 Securities received which can be sold or repledged.

Transferred equities and collateral which the recipient is entitled to sell or repledge, are presented as equities or securities in the banking group's balance sheet and are specified in note 31 Transferred assets or assets with other restrictions.

Classification and presentation

On initial recognition financial assets are classified in one of the following categories according to the type of instrument and the purpose of the investment:

- financial assets held for trading and derivatives carried at fair value with changes in value recognised in profit or loss (trading portfolio)
- financial assets designated as at fair value with changes in value recognised in profit or loss
- financial derivatives designated as hedging instruments
- loans and receivables, carried at amortised cost
- held-to-maturity investments, carried at amortised cost
- financial assets available for sale carried at fair value with changes in value recognised in other comprehensive income

On initial recognition financial liabilities are classified in one of the following categories:

- financial liabilities held for trading and derivatives carried at fair value with changes in value recognised in profit or loss (trading portfolio)
- financial liabilities designated as at fair value with changes in value recognised in profit or loss
- financial derivatives designated as hedging instruments
- other financial liabilities carried at amortised cost

Guidelines for classification in the various portfolios of the banking group are given below.

Financial assets and liabilities in the trading portfolio

Financial instruments in the trading portfolio are initially recognised at fair value. The fair value corresponds to the transaction price, unless another value can be justified based on observable market transactions. See the paragraph below on determining fair value at subsequent valuation. See the paragraph below on determining fair value at subsequent valuation.

Changes in the fair value of the financial instruments are presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement. Interest income and interest expenses from interest bearing securities are presented within "Net interest income".

Financial derivatives are presented as an asset if the fair value is positive and as a liability if the fair value is negative.

The trading portfolio mainly includes financial assets and liabilities in Markets and financial derivatives not used for hedge accounting purposes. In addition, the portfolio includes securities borrowing and deposits that are used actively in interest rate and liquidity management and have a short remaining maturity.

Financial assets and liabilities designated as at fair value with changes in value recognised in profit or loss

Financial instruments in the portfolio are recognised at fair value. See the paragraph below on determining fair value at subsequent valuation. Financial instruments are classified in this category if one of the following criteria is fulfilled:

- The classification eliminates or significantly reduces measurement or recognition inconsistency that would otherwise arise from measuring financial assets or liabilities or recognising the gains and losses on them on different bases
- The financial instruments are part of a portfolio that is managed and evaluated on a fair value basis, in accordance with a documented risk management or investment strategy

Changes in fair value of the financial instruments are presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement. Interest income and interest expenses on loans designated as at fair value and other fixed-income securities are presented within "Net interest income".

The portfolios include commercial paper, bonds, equities, fixed-rate loans in Norwegian kroner, fixed-rate securities issued in Norwegian kroner, such as index-linked bonds and equity-linked bank deposits and other fixed-rate deposits in Norwegian kroner.

Financial derivatives designated as hedging instruments

The banking group enters into hedging transactions to manage interest rate risk on long-term borrowings and deposits in foreign currencies. These transactions are recognised as fair value hedges. See item Hedge accounting.

Loans and receivables carried at amortised cost

Loans and receivables carried at amortised cost are recognised at the transaction price plus direct transaction expenses. Subsequent measurement follows the effective interest method, less any impairment charges. The effective interest method is described under Recognition in the income statement and in other comprehensive income.

Interest income on financial instruments classified as lending is presented within "Net interest income" using the effective interest method.

A decrease in value on the balance sheet date based on objective indications of impairment for loans valued at amortised cost and in the portfolios of fixed-rate loans measured at fair value, are presented within "Impairment of loans and guarantees".

Held-to-maturity investments carried at amortised cost

Held-to-maturity investments are carried at amortised cost and recognised at the transaction price plus direct transaction expenses. Subsequent measurement follows the effective interest

method, less any impairment charges. The effective interest method is described under Recognition in the income statement and in other comprehensive income.

Interest income relating to the instruments is presented within "Net interest income". This category mainly comprises the international bond portfolio in DNB Markets.

Financial assets available for sale carried at fair value with changes in value recognised in other comprehensive income

Financial assets in the available for sale category are recognised at fair value with the subsequent change in fair value presented in other comprehensive income. See below about the determination of fair value. At the time of realisation the change in fair value shall be included as a part of the gain that is presented in the income statement. Financial assets are classified in this category if they do not meet the criteria for being classified in any of the other categories presented above.

Other financial liabilities carried at amortised cost

Financial liabilities carried at amortised cost are recognised at the transaction price plus direct transaction expenses. Interest expenses on such instruments are presented within "Net interest income" using the effective interest method. This category includes deposits from customers and credit institutions, commercial paper issued, bonds, subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities.

Issued financial guarantees

Contracts resulting in the banking group having to reimburse the holder for a loss incurred because a specific debtor fails to make payment when due, are classified as issued financial guarantees.

On initial recognition, issued financial guarantees are recognised at the consideration received for the guarantee. Issued financial guarantees are subsequently measured at the higher of the consideration received for the guarantee excluding any amortised amounts recognised in the income statement and the best estimate of the payment due if the guarantee is honoured.

When issuing financial guarantees, the consideration for the guarantee is presented within the line item "Provisions" in the balance sheet. Changes in the carrying amount of financial guarantees are recognised within the line item "Net gains on financial instruments at fair value", except for changes related to guarantees which are part of loans which are individually impaired. Changes in the value of such guarantee contracts are recognised within the line item "Impairment of loans and guarantees".

Financial instruments with the characteristics of equity

Issued additional Tier 1 capital instruments are instruments where DNB has a unilateral right not to repay interest or the principal to the investors. As a consequence of these terms, the instruments do not meet the requirements for a liability and are therefore presented on the line Additional Tier 1 capital within the Group's equity. Transaction expenses and accrued interest are presented as a reduction in Other equity, while the advantage of the tax deduction for the interest will give an increase in Other equity.

Equity in foreign currency shall be converted to Norwegian kroner based on the exchange rate on the transaction date and is not subject to subsequent revaluation.

Offsetting

Financial assets and financial liabilities are offset and presented net in the balance sheet when the banking group has a legally enforceable right to offset recognised amounts and has agreed to settle the balances on a net basis or to realise the asset and settle the liability simultaneously. Master netting agreements or similar agreements give the right to offset in the event of default. Such agreements reduce the banking group's exposure in the event of default, but do not on their own qualify for offsetting in accordance with IFRS, as there also needs, to be an intention to settle the

contractual cash flows net on an ongoing basis. See note 29 Offsetting for details about the financial assets and financial liabilities subject to offsetting agreements.

Determination of fair value

Fair value is the price that would be received by selling an asset or paid to transfer a liability in an orderly transaction between market participants at the measurement date. Financial assets and liabilities in active markets are measured at the price within the bid-ask spread that is most representative of the fair value at the measurement date. In most cases bid or asking prices for these instruments are the most representative price for assets and liabilities respectively. Derivatives which are carried net are recognised at midmarket prices at the balance sheet date.

Financial instruments measured at fair value are valued on a daily basis with the exception of a few financial instruments that are valued on a monthly or quarterly basis. As far as possible, directly observable market prices are used. Valuations of the various types of financial instruments are based on well-acknowledged techniques and models. The prices and input parameters used are controlled and assessed based on established routines and control procedures.

The control environment for fair value measurement of financial instruments is an integrated part of the company's financial reporting. A number of controls are carried out on a daily basis, including controls of the day-one results on traded positions and controls of the key input parameters in the valuation. At the end of each month and quarter, extended controls are carried out to ensure that the valuations are consistent with the accounting policy for fair value including variation analyses. Special emphasis is placed on valuations in the level 3 in the valuation hierarchy, where the effects may be significant or particularly challenging.

Instruments traded in an active market

With respect to instruments traded in an active market, quoted prices are used, obtained from a stock exchange, a broker or a price-setting agency.

A market is considered active if it is possible to obtain external, observable prices, exchange rates or interest rates and these prices represent actual and frequent market transactions.

Some investments in equities and commercial paper and bonds are traded in active markets.

Instruments not traded in an active market

Financial instruments not traded in an active market are valued according to different valuation techniques and are divided into two categories:

Valuation based on observable market data:

- recently observed transactions in the relevant instrument between informed, willing and independent parties
- instruments traded in an active market which are substantially similar to the instrument that is valued
- other valuation techniques where key parameters are based on observable market data.

Valuation based on other factors than observable market data:

- estimated cash flows
- valuation of assets and liabilities in companies
- models where key parameters are not based on observable market data
- possible industry standards

In the valuation of OTC derivatives, a fair value adjustment is made for the counterparty's credit risk (CVA) and for the banking group's own credit risk (DVA). In addition, an adjustment is made for expected funding costs (FVA).

The banking group estimates CVA as a function of a simulated expected positive exposure, the counterparty's probability of default and loss given default. The majority of the banking group's derivative counterparties have no market-implied credit spread and no external rating. Internal ratings are therefore combined with historical credit default swap (CDS) spreads as well as current CDS index prices to arrive at the counterparty's estimated CDS spreads. This means that the banking group uses its own credit models and their discriminatory power, but calibrates against pricing levels for similar credit risk in the market. The DVA is based on the same approach, using an assessment of the banking group's credit spread.

FVA reflects the estimated present value of the future funding costs associated with funding uncollateralised derivative exposures. It is calculated by applying a funding spread above the expected exposure. Funding benefits are not estimated for positions for which DNB calculates DVA.

For financial instruments measured by using valuation techniques, a gain or loss might from time to time occur at initial recognition when the estimated fair value is different from the actual transaction price. When the measurement is based on non-observable input parameters (level 3), the gain or loss is deferred and therefore not recognised at day one. Fair value changes in later period are only recognised to the extent the change is caused by factors that market participants would take into account.

Impairment of financial assets

At end of each reporting period, the banking group consider whether any objective evidence of impairment exist as a result of one or more events have taken place after initial recognition (loss event) and the loss event has impact on the estimated future cash flows. A financial asset or group of financial assets is impaired if there is any objective evidence of impairment. Objective indications of impairment include an assessment of the following loss events:

- serious financial problems on the part of the debtor,
- non-payment or other serious breaches of contract,
- the probability that the debtor will enter into debt negotiations or
- other special circumstances that have occurred.

Renegotiation of loan terms to ease the position of the borrower qualifies as a loss event.

Individual impairment of loans

If objective evidence of impairment exists, impairment of loans is calculated as the difference between the carrying amount and the net present value of estimated future cash flows discounted by the original effective interest rate.

The business areas calculate estimated future cash flows based on developments in the exposure, past experience with the debtor, the probable outcome of negotiations and expected macroeconomic trends that will influence the customer's cash flow. In addition, the probability of debt settlement proceedings and bankruptcies is taken into consideration, including the probability that assets provided as collateral will be foreclosed. When measuring collaterals, recognised methods for measuring underlying assets are used.

Individual impairment of loans reduces the carrying amount of loans and guarantees. Impairment during the period is recognised as "impairment of loans and guarantees" in profit or loss.

Collective impairment of loans

Loans which are not individually impaired are assessed collectively for impairment. The assessment is based on whether objective evidence of impairment exists that can be related to a group of financial assets.

Loans are grouped on the basis of similar credit risk characteristics and in accordance with the division of customers into sectors or industries and risk categories. Impairment is estimated per group of financial assets based on estimates of the general economic situation and loss experience for the respective groups.

Collective impairment reduces the carrying amount of the line item "Loans to customers" in the balance sheet. Changes during the period are recognised within the line item "Impairment of loans and guarantees" in the income statement. Like individual impairment, collective impairment is discounted. The discount factor is based on statistics derived from individual impairment.

Repossession of assets

Assets which are repossessed as part of the management of non-performing and impaired loans are recognised at fair value at the time of acquisition. Such assets are recognised in the balance sheet according to the nature of the asset. Any difference between the carrying amount of the loan and the fair value of the asset is presented within the line item "Impairment of loans and guarantees" in the income statement. Subsequent valuations and presentation of the impact to the income statement follow the principles for the relevant balance sheet item.

Hedge accounting

When instruments are individually hedged, there is a clear, direct and documented correlation between changes in the value of the hedged item resulting from the hedged risk and changes in the value of the financial derivative (hedging instrument).

Upon entering into the hedging relationship, the correlation between the hedged item and the hedging instrument is documented. In addition, the underlying risk management objective and strategy are documented. Changes in fair value related to the hedged risk of the hedged item and instrument are evaluated periodically to ensure the necessary hedge effectiveness. Hedging instruments are recognised at fair value in the financial statements and changes in the fair value are presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement.

For fair value hedging, the changes in the fair value of the hedged item attributable to the hedged risk will be recognised as an addition to or deduction from the balance sheet value of financial liabilities and assets and presented within "Net gains on financial instruments at fair value" in the income statement.

If the hedge relationship ceases or adequate hedge effectiveness cannot be verified, the accumulated change in fair value of the hedged item is amortised over the remaining maturity.

The banking group undertakes hedging of investments in foreign subsidiaries to eliminate the currency risk on the invested amount. Hedging transactions are in the form of currency swaps or long-term borrowings in foreign currency. In the consolidated financial statement, the hedge relationships are presented as hedging of net investments in international operations.

8. Investment property and fixed assets

Properties held to generate profits through rental income or for an increase in value, are presented in the balance sheet as investment property. Other tangible assets are presented as fixed assets in the balance sheet.

On initial recognition, investment properties are measured at cost including acquisition costs.

In subsequent periods, investment properties are measured at fair value. Therefore, no annual depreciation is made on an investment property. Fair value is determined by using well-acknowledged valuation techniques. Internal and external expertise is used for valuations. A selection of external appraisals are obtained and compared with internal valuations for control purposes. Providers of valuations are also followed up on an ongoing basis through dialogue and enquiries concerning the valuation of individual properties. Changes in fair value of investment property are

recognised within the line item "Net gains on investment property" in the income statement.

Other tangible assets are measured at cost less accumulated depreciation and impairment losses. Cost includes expenses directly related to the acquisition of the asset. Subsequent expenses are capitalised on the relevant assets when it is probable that future economic benefits associated with the expenditure will flow to DNB Bank and can be measured reliably. Expenses for repairs and maintenance are recognised in the income statement as they occur.

The residual values and useful lives of the assets are reviewed annually and adjusted if required. Gains and losses on the sale of fixed assets are recognised within the line item "Net gain on fixed and intangible assets" in the income statement.

9. Intangible assets

Goodwill

Goodwill is initially measured at the acquisition date, as the excess of the aggregate of the consideration transferred and the amount recognised for any non-controlling interest over the fair value of the identifiable assets acquired and liabilities assumed in a business combination. Goodwill acquired is allocated to each cash generating unit, or group of units, expected to benefit from the combination's synergies. Following initial recognition, goodwill is measured at cost less any accumulated impairment losses.

Development of IT systems and software

Acquired software is recognised at cost with the addition of expenses incurred to make the software ready for use. Identifiable costs for internally developed software controlled by the banking group where it is probable that economic benefits will cover development expenses at the balance sheet date, are recognised as intangible assets. When assessing balance sheet values, the economic benefits are evaluated on the basis of profitability analyses. Development expenses include expenses covering pay to employees directly involved in the project, materials and a share of directly related overhead expenses. Expenses relating to maintenance of software and IT systems are charged to the income statement as they occur. Software expenses recognised in the balance sheet are depreciated according to a straight line principle over their expected useful life, usually five years. The assessment for whether there is a need for impairment is considered according to the principles described below.

10. Impairment of fixed and intangible assets

At end of each reporting period the banking group considers whether any indication of impairment of fixed or intangible assets exists. If such indication exists, the recoverable amount of the asset is calculated to estimate possible impairment. Goodwill and intangible assets with an indefinite useful life are tested for impairment minimum once a year even if no indication of impairment exists. DNB has chosen to perform this annual test in the fourth quarter.

The recoverable amount represents the higher of an asset's fair value less costs to sell and its value in use. If the asset's carrying amount exceeds the estimated recoverable amount, the asset is written down to its recoverable amount. See note 37 Intangible assets for description of impairment testing.

The following relevant criteria are considered when assessing whether indications of impairment exists:

- a decline in the asset's market value
- changes in the long-term return requirement which may affect the discount rate used in the calculation of the asset's value in use
- plans to restructure or liquidate the asset
- the asset generates less income than anticipated.

Calculations of value in use are based on historical results and plan figures approved by management. On the basis of plan figures for the cash-generating units, a future cash flow is estimated, defined as the potential return to the owner. The return includes profits from the cash-generating unit adjusted for the need to build sufficient capital to meet expected future capital adequacy requirements. Higher capital requirements due to expanded operations could make it necessary to retain part of the profits or to inject more capital from the owner, if profits from the cash-generating unit are not adequate to build the necessary capital. Beyond the plan period, which is three years, cash flow trends are assumed to reflect market expectations for the type of operations carried out by the cash-generating unit. Future expected cash flows are established for a ten year period where the Gordons growth formula is used to estimate the terminal value to be included.

The required rate of return is based on an assessment of the market's required rate of return for the type of operations carried out by the cash-generating unit. The required rate of return reflects the risk of the operations.

11. Pensions

Defined-benefit pension schemes

At year-end 2016, the defined-benefit scheme in the banking group had principally been converted to a defined-contribution scheme.

The basis for calculating the banking groups pension expenses is a linear distribution of pension entitlements measured against estimated accumulated commitments at the time of retirement.

Pension commitments are estimated based on the present value of estimated future pension payments at the balance sheet date. The calculation of the pension commitments is based on actuarial and economic assumptions about life expectancy, rise in salaries and early retirement. The discount rate used is determined by reference to the yield on covered bonds at the balance sheet date, plus an add-on that reflects the relevant duration of the pension commitments.

The financial effects of changes in pension schemes are recognised as an expense at the earlier of the following dates:

- when the plan amendment or curtailment occurs; and
- when the entity recognises related restructuring costs or termination benefits, if any

When calculating pension expenses, the discount rate is used on the net pension commitment.

Employer's national insurance contributions are included in pension expenses and pension commitments.

When the defined-benefit pension scheme was converted during 2015 and 2016, the employees in the scheme were assigned paid-up policies. In addition, a compensation scheme was established for employees who were not yet pensioners. The scheme is unfunded. Compensation is earned on an ongoing basis, and the banking group has no commitment beyond payments and estimated interest. The compensation scheme is therefore measured in the same way as the defined-contribution scheme, see below.

See note 24 Pensions for more information.

Defined-contribution pension schemes

Under defined-contribution pension schemes, the banking group does not commit itself to paying specified future pension benefits, but makes annual contributions to the employees' pension savings. Future pensions will depend on the size of annual contributions and the annual return on pension savings. After paying annual contributions, the banking group has no further commitments linked to employees' work performance. The expenses following from the defined-contribution pension schemes are recognised in the income statement.

12. Income tax

Taxes for the year comprise payable taxes for the financial year, any payable taxes for previous years and changes in deferred taxes on temporary differences. Temporary differences are differences between the carrying amount of an asset or liability and the taxable value of the asset or liability. The most significant temporary differences refer to changes in the fair value of financial assets and liabilities, pension obligations, depreciation of fixed assets and properties and impairment losses for goodwill. Deferred taxes are calculated on the basis of tax rates and tax rules that are applied on the balance sheet date or are highly likely to be approved and are expected to be applicable when the deferred tax asset is realised or the deferred tax liability settled.

Deferred tax assets are recognised in the balance sheet to the extent that it is probable that future taxable income will be available against which they can be utilised. Deferred taxes and deferred tax assets within the same tax group are presented net in the balance sheet.

Taxes payable and deferred taxes relating to elements of other comprehensive income are presented net along with the related income or cost in the comprehensive income statement.

13. Restructuring

If restructuring plans that change the scope of the banking group's operation or the way the banking group carries out its operation are approved and communicated to the affected employees, the need for restructuring provisions is considered. This includes provisions for agreements on severance packages with employees when used as part of the restructuring. The provisions are reviewed on each reporting date and are reversed as expenses are incurred.

14. Leasing

A lease is classified as a finance lease if it transfers substantially all the risks and rewards incidental to ownership. Other leases are classified as operating leases.

DNB Bank as lessor

Operating leases

Operating leases are leases where not an insignificant share of the risk and rewards relating to the investment in the leased object accrues to DNB Bank at the end of the lease period. Operating assets are recognised as fixed assets in the balance sheet. Income from operating leases is recognised over the lease term on a straight-line basis. Depreciation of the fixed assets is presented as ordinary depreciation in the income statement.

Financial leases

Financial leases are presented as lending in the balance sheet, and at inception the lease is measured at an amount equal to the net investment in the lease. The net investment represents minimum lease payments, unguaranteed residual values and any direct expenses incurred by the lessor in negotiating the lease, discounted by the implicit interest rate (internal rate of return). Leasing income is recognised in the income statement according to the annuity method, where the interest component is recognised within the line item "Net interest income" while instalments reduce the balance sheet value of the loan.

DNB Bank as lessee

Operating leases

Lease payments are recognised in the income statement as an expense on a straight-line basis over the lease term unless another systematic basis is more representative of the time pattern of DNB Bank's use of the asset.

15. Cash flow statements

The cash flow statements show cash flows grouped according to source and use. The cash flows are presented as operating activities, investment activities or funding activities. Cash is defined as cash, deposits with central banks and deposits with credit institutions with no agreed period of notice. The cash flow statement has been prepared in accordance with the direct method.

16. Dividends

Proposed dividends are part of equity until approved by the general meeting. At that time, the dividend is presented as liability in the financial statement. Proposed dividends are not included in capital adequacy calculations.

17. Approved standards and interpretations that have not entered into force

By the end of 2016 the IASB had published a number of amendments to current regulations which have not entered into force. Below is a description of the amendments which may have impact on the banking group's future reporting.

IFRS 9 Financial Instruments

In July 2014, the IASB issued the new standard for financial instruments IFRS 9 Financial Instruments, which will replace the current IAS 39. The new standard introduces a business model oriented approach for classification of financial assets, an expected loss model for impairment and a new general hedge accounting model. IASB is still working on a new requirement related to macro hedge accounting. This work has been established as a separate project and is expected to be finalised at a later point in time.

IFRS 9 is effective from 1 January 2018. The standard was endorsed by the EU in November 2016.

General description of the new rules

Under IFRS 9, financial assets are classified on the basis of the business model adopted for managing the assets and their contractual cash flow characteristics. Assets held with the objective of collecting contractual cash flows that are solely payments of principal and interest, are measured at amortised cost. Assets held with the objective of both collecting contractual cash flows and selling, which at the same time have contractual cash flows that are solely principal and interest, are measured at fair value through other comprehensive income. This result in assets recognised at fair value in the balance sheet and at amortised cost in the income statement. Other financial assets are measured at fair value through profit or loss. The option in IAS 39 to designate assets as being held at fair value through profit or loss if certain criteria are fulfilled has been retained in the new standard.

For financial liabilities the requirements are generally unchanged compared to the current IAS 39. As the main rule, financial liabilities are still to be measured at amortised cost with the exception of financial derivatives measured at fair value, financial instruments being part of the trading portfolio and financial liabilities designated as being held at fair value through profit or loss. With respect to financial liabilities designated at fair value through profit or loss changes in fair value relating to the company's own credit risk shall, however, be recognised in other comprehensive income.

According to prevailing rules, impairment for credit losses shall only be recognised if there is objective evidence of impairment losses due to one or several events that have taken place after initial recognition (loss event) and the loss event has negative impact on estimated future cash flows. This model has, in the aftermath of the financial crisis, been criticised for recognising impairments losses too late and with too small amounts. Impairment provisions according to IFRS 9 shall be measured using an expected loss model, which involves recognising the underlying

credit risk to a larger extent on the reporting date. The impairment rules in IFRS 9 will be applicable to all financial assets measured at amortised cost or at fair value through other comprehensive income. In addition, loan commitments, financial guarantee contracts and lease receivables are within the scope of the standard.

The measurement of the provision for expected credit losses on financial assets under IFRS 9 depends on whether the credit risk has increased significantly since initial recognition. In this assessment a three-stage approach is introduced. At initial recognition, as well as if the credit risk has not increased significantly since initial recognition, the provision should equal 12-month expected credit losses ("stage 1"). If the credit risk has increased significantly, the provision should equal lifetime expected credit losses ("stage 2"). This first dual approach replaces today's collective impairment model. For individual impairment there are no significant changes in the rules compared with the current rules. Individual impairment is from now on referred to as the third stage ("stage 3").

Impact for the banking group

The new rules and concepts introduced by IFRS 9 require considerable development of the bank's models and IT systems. In 2015, the banking group started the process to analyse and identify the need for changing the bank's models and IT systems as a consequence of implementing the new rules. This work proceeded in 2016 and will continue in 2017, focusing on implementing and completing chosen solutions, compared to earlier phases where the main focus was on analyses and mapping.

In 2016 DNB established its own project organisation with close co-operation between Group Finance and Group Risk Management in order to ensure the implementation. This work is divided into separate sub-projects covering (1) classification and measurement, (2) impairment and (3) the Group's reporting process and internal control framework, respectively. The project reports to its own steering committee led by the CFO.

The following choices concerning its accounting principles have been made in the banking group as part of the implementation:

- The IAS 39 rules for hedge accounting are retained
- The opportunity for early implementation of the rules for recognising the change in fair value of financial liabilities, which is attributable to changes in the credit risk of that liability in other comprehensive income will not be used
- The banking group will not restate comparative figures. For the 2018 reporting this means that the figures for earlier periods will be in accordance with the prevailing IAS 39 rules

Classification and measurement:

The banking group has principally completed analyses related to classification under IFRS 9. During this process, the banking group has focused on analysing the business models in the different parts of operations and on mapping relevant loan terms in order to assess the contractual cash flow characteristics. The study has led to some changes in classification and measurement, however, they are not considered to be significant compared to today's rules. The final assessments will be completed during the first half of 2017.

Impairment:

The banking group will calculate the loss provisions according to the new rules as the present value of exposure at default (EAD) multiplied by the probability of default (PD) multiplied by loss given default (LGD).

The banking group has chosen to base the development of the new model on the models and parameters currently applied by the banking group according to today's IRB framework. This will help to ensure consistency between the bank's risk management and loss calculations.

In order to ensure the best estimate, IRB PDs needs, for instance, to be converted from "through the cycle" to "point in time". This is due to the fact that the measurement should be based on PD at the reporting date and not a normalised PD level. The banking group will employ acknowledged models for such a conversion. A corresponding conversion needs also to be made for EAD and LGD, which will be more forward-looking according to IFRS 9.

Another direct consequence of the transition to an expected loss model is that the loss provision shall include the effect of the banking group's forward-looking view (macro scenarios). The different parameters in the model shall include adjustments for the effects of forward-looking information. In the banking group there is a separate working group handling this in the project, focusing on how instruments with identical credit risk characteristics should be grouped, the identification of relevant risk drivers and the number of macro scenarios that the loss calculation should be based on. This work is expected to be finished in the first half of 2017. By introducing the use of macro scenarios, the complexity of the estimation process increases, while professional judgment is applied.

According to the new rules one of the most significant factors affecting the loss provision will be the transfer from the calculation of 12-month expected loss ("stage 1") to the calculation of lifetime expected loss ("stage 2"). The transfer to "stage 2" will occur when the commitment has been subject to a significant increase in credit risk since initial recognition. When assessing what could be considered a significant change in credit risk, the banking group has chosen an approach based on three factors:

- 1) Quantitative criteria
 - Changes in the relative level of probability of default over the expected lifetime of the instrument ("lifetime PD"), combined with an absolute change.
- 2) Backstop
 - Forbearance
 - 30 days past due
- 3) A qualitative assessment related to events that are not captured in the quantitative criteria or in the backstop, for instance, the reason why a customer is put on the watch list.

The thresholds for quantitative criteria (change in "lifetime PD") are based on an assessments of what is considered to be a significant change in credit risk in the bank's risk management and in customer follow-up. The work is principally finished, however, some analyses remain before the final criteria can be decided upon.

At present, it is still too early to give a reliable estimate of the expected implementation effect for the group accounts. The preliminary expectations are that the implementation of IFRS 9 will lead to increased provisions for credit losses due to the change from an incurred loss model to an expected loss model. This implementation effect will reduce the banking group's equity capital at the time of implementation. In addition, increased volatility in the income statement is expected in the period ahead. The impact on capital requirements will depend on the final regulations from the Basel Committee, including the transitional rules that are expected at implementation. Proposed rules have been issued for consultation, however, no final version is available.

IFRS 15 Revenue from contracts with customers

IFRS 15 was published by the IASB in May 2014 and establishes a new five-step model that will apply to revenue arising from contracts with customers. Under IFRS 15, revenue is recognised at an amount that reflects the consideration to which an entity expects to be entitled in exchange for transferring goods or services to a customer. The principles in IFRS 15 provide a more structured approach to measuring and recognising revenue.

The new revenue standard is applicable to all entities and will supersede all current revenue recognition requirements under

IFRS. Contracts with customers that will be accounted for in accordance with the IFRS 9 Financial Instruments shall however follow the requirements in IFRS 9 as they are scoped out of IFRS 15.

IFRS 15 will be effective as of 1 January 2018 and the standard was endorsed by the EU in September 2016. The banking group has started the process to analyse the impact of the new rules. No significant changes are expected in the way the banking group recognise revenues. The banking group will apply the standard as from 2018.

IFRS 16 Leases

In January 2016, the IASB issued the new standard IFRS 16 "Leases". The new standard will have large implications for lessees, as all leases (with the exception of short-term leases and small asset leases) will be recognised in the balance sheet as a right-of-use asset with a corresponding liability. At initial recognition, the lease liability and the right-of-use asset are measured at the present value of future lease payments. Lease payments shall be recognised as interest expenses and amortisations. The accounting requirements for lessors are unchanged.

IFRS 16, which has yet to be endorsed by the EU, will be effective from 1 January 2019. The banking group has started to analyse the consequences of the new standard. It is too early to give a reliable estimate of the effects on the banking group's financial statements when the banking group acts as lessee. The banking group will apply the standard from 2019.

18. Important accounting estimates, judgments and assumptions

When preparing the consolidated financial statements, management makes estimates, judgment and assumptions that affect the application of the accounting principles and the carrying amount of assets, liabilities, income and expenses. Estimates and assumptions are subject to continual evaluation and are based on historical experience and other factors, including expectations of future events that are believed to be probable on the balance sheet date.

Impairment of loans

Estimates of future cash flows are based on empirical data and management's judgment of future macroeconomic developments and developments in the performance of the actual loans and on the situation at the balance sheet date. The estimates are the result of a process which involves the business areas and central credit units and represents management's best estimate. When considering impairment of loans, there will be several elements of uncertainty with respect to the identification of objective evidence of impairment, the estimation of amounts and the timing of future cash flows, including the valuation of collateral. See note 5 Credit risk for information about management and follow-up of credit risk.

Individual impairment

When estimating impairment of individual loans and guarantees, both the current and the future financial positions of the customer are considered. For corporate customers, the prevailing market situation is also reviewed, along with market conditions within the relevant industry and general market conditions which could affect the customers' ability to repay the loans. In addition, the probability and outcome of restructuring, refinancing and re-capitalisation are taken into account, as well as the probability of bankruptcies and the possible foreclosure of assets provided as collateral. There is uncertainty related to the valuation of collateral for which no observable market data are available. An overall assessment of these factors forms the basis for estimating the future cash flow. In the event of a prolonged weak economic trend in certain industries and/or geographical areas, the application of judgement and estimations are more demanding. The discount period is estimated on an individual basis or based on empirical data about the period it

normally takes to reach a solution to the problems that caused the objective indication of impairment.

Collective impairment

The expected future cash flow is estimated on the basis of expected losses and the anticipated economic situation for the respective groups. Expected losses are based on historical loss experience for the relevant groups. The economic situation is assessed by means of economic indicators for each group based on external information about the markets. Various parameters are used depending on the group in question. Key parameters are production gaps, which give an indication of capacity utilisation in the economy, housing prices, oil prices, salmon prices and shipping freight rates. The economic indicators that are used show a high degree of correlation with historical impairment. To estimate the net present value of expected future cash flows for loans subject to collective impairment, a discount factor based on observed empirical data from individually evaluated loans is used.

Fair value of financial derivatives and other financial instruments

The fair value of financial instruments that are not traded in an active market is determined by using different valuation techniques. The banking group considers and chooses techniques and assumptions that as far as possible are based on observable market data representing the market conditions on the balance sheet date. When measuring financial instruments for which observable market data are not available, the banking group makes assumptions regarding what market participants would use as the basis for valuing similar financial instruments. The valuations require application of significant judgment when calculating liquidity risk, credit risk and volatility among others. Changes in these factors would affect the estimated fair value of the banking group's financial instruments. For more information see note 28 Financial instruments at fair value.

Income taxes, including deferred tax assets and uncertain tax liabilities

The banking group is subject to income taxes in a number of jurisdictions. Significant judgment is required in determining the income tax in the consolidated financial statements, including assessments of recognised deferred tax assets and uncertain tax liabilities.

Deferred tax assets are recognised to the extent it is probable that the banking group will have future taxable income against which they can be utilised. Extensive assessments must be made to determine the amount which can be recognised, included the expected time of utilisation, the level of profits computed for tax purposes as well as strategies for tax planning and the existence of taxable temporary differences.

There will be uncertainty related to the final tax liability for many transactions and calculations. The banking group recognises liabilities related to the future outcome of tax disputes based on estimates of changed income taxes. When assessing the uncertain tax liabilities to be recognised in the balance sheet, the probability of the liability arising is considered. If the final outcome of the tax disputes deviates from the amounts recognised in the balance sheet, the deviations will impact the income tax expense in the income statement for the applicable period.

Note 2 Segments

Financial governance in DNB is adapted to the different customer segments. The follow-up of total customer relationships and segment profitability are two important dimensions when making strategic priorities and deciding where to allocate the banking group's resources. Special product areas are responsible for production and development for parts of the product range and for ensuring that the banking group meets the needs of the various customer segments. Reported figures for the different segments will reflect the banking group's total sales of products and services to the relevant customer segments.

- Personal customers - includes the banking group's total products and activities to private customers in all channels, both digital and physical. DNB offers a wide range of products through Norway's largest distribution network, comprising branches, telephone banking (24/7), digital banking, real estate broking as well as external channels (post offices and in-store postal and banking outlets).
- Small and medium-sized enterprises - is responsible for product sales and advisory services to small and medium-sized enterprises in Norway. Customers in this segment range from small businesses and start-up companies to relatively large corporate customers, and the product offerings are adapted to the customers' different needs. Small and medium-sized enterprises are served through the banking group's physical distribution network throughout Norway as well as digital and telephone banking (24/7).
- Large corporates and international customers - includes large Norwegian and international corporate customers and all customers served by DNB's subsidiary banks in the Baltics and Poland. Operations are based on sound industry expertise and long-term customer relationships.
- Trading - includes market making and other trading activities in fixed income, currencies and commodities (FICC) as well as equities, including risk management of the risk inherent in customer transactions. Markets' trading activities support the customer activities.

The income statement and balance sheet for the segments have been prepared on the basis of internal financial reporting for the functional organisation of the DNB Bank Group into segments, as reported to group management (chief operating decision maker) for an assessment of current developments and the allocation of resources. Figures for the segments are based on the banking group's accounting principles and DNB's management model. Allocation of costs and capital between segments and involves a number of assumptions, estimates and discretionary distributions.

Capital allocated to the segments is calculated on the basis of the banking group's common equity Tier 1 capital and long-term capitalisation ambition. There are special capital adequacy regulations for insurance operations, and in these companies, allocated capital corresponds to recorded equity. For other group operations, the allocation of capital to all units is based on the banking group's adaptation to Basel III, with capital requirement related to credit risk, markets risk and operational risk. The allocation of credit risk is based on the banking group's internal measurement of risk-adjusted capital requirements for credit. Capital requirements for market risk are allocated directly in accordance with risk-weighted volume, and operational risk is allocated based on the respective units' total income.

Income statement

DNB Bank Group

	Personal customers		Small and medium-sized enterprises		Large corporates and international customers		Trading		Other operations/eliminations ¹⁾		DNB Bank Group	
Amounts in NOK million	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Net interest income	13 223	13 055	6 358	6 131	14 300	15 196	28	89	609	464	34 517	35 535
Net other operating income	3 567	3 691	1 418	1 190	5 381	5 232	2 976	1 503	1 974	5 292	15 316	16 909
Total income	16 790	16 746	7 776	7 322	19 681	20 427	3 004	1 592	2 582	5 756	49 833	52 444
Operating expenses	(8 025)	(8 176)	(2 777)	(2 521)	(6 384)	(6 341)	(547)	(504)	(699)	510	(18 413)	(17 032)
Depreciation and impairment of fixed and intangible assets	(349)	(131)	(326)	(320)	(1 044)	(1 135)	(1)	(2)	(583)	(572)	(2 103)	(2 159)
Total operating expenses	(8 374)	(8 307)	(3 102)	(2 841)	(7 428)	(7 476)	(548)	(505)	(1 283)	(62)	(20 516)	(19 191)
Pre-tax operating profit before impairment	8 416	8 439	4 674	4 481	12 252	12 951	2 455	1 087	1 300	5 694	29 317	33 253
Net gains on fixed and intangible assets	0	0	2	(2)	24	53			(44)	(7)	(19)	45
Impairment of loans and guarantees ²⁾	392	939	(1 082)	(1 068)	(6 734)	(2 108)			(0)	(33)	(7 424)	(2 270)
Profit from repossessed operations			6	3	8	(67)			(34)	64		
Pre-tax operating profit	9 008	9 979	3 599	3 414	5 570	10 829	2 455	1 087	1 241	5 719	21 874	31 028
Tax expense	(2 252)	(2 694)	(900)	(922)	(1 504)	(3 140)	(614)	(283)	1 308	(718)	(3 964)	(7 755)
Profit from operations held for sale, after taxes	(1)	2			3				2	(53)	4	(51)
Profit for the year	6 755	7 286	2 699	2 492	4 070	7 689	1 841	804	2 549	4 951	17 914	23 222

1) See the tables below for more information about other operations/eliminations.

2) See note 10 Impairment of loans and guarantees for principal customer groups for an analysis of the gross change in impairment for the banking group.

Note 2 Segments (continued)

Balance sheets

Balance sheets											DNB Bank Group	
	Personal customers		Small and medium-sized enterprises		Large corporate and international customers		Trading		Other operations/ eliminations		DNB Bank Group	
Amounts in NOK million	2012/16	2012/15	2012/16	2012/15	2012/16	2012/15	2012/16	2012/15	2012/16	2012/15	2012/16	2012/15
Loans to customers ¹⁾²⁾	718	685	233	220	521	570	30	33	(9)	24	1 492	1 532
Assets held for sale		0			0	0			52	0	53	0
Other assets	28	27	5	7	138	125	1 240	1 241	(605)	(617)	803	783
Total assets	746	713	238	227	659	695	1 270	1 274	(565)	(593)	2 348	2 316
Deposits from customers ¹⁾²⁾	397	393	190	167	379	380	14	13	(34)	4	946	957
Liabilities held for sale						(0)			41	0	41	0
Other liabilities	311	289	25	40	195	248	1 249	1 253	(808)	(644)	1 171	1 185
Total liabilities	708	682	214	207	574	628	1 263	1 266	(601)	(640)	2 158	2 142
Allocated capital ³⁾	37	31	24	20	85	69	7	7	36	47	190	173
Total liabilities and equity	746	713	238	227	659	695	1 270	1 274	(565)	(593)	2 348	2 315

- 1) Loans to and deposits from customers in the Baltics are included under Large corporate and international customers in spite of being reclassified as assets and liabilities held for sale in August 2016. The reclassification is reflected under Other operations/eliminations. Reclassified loans amounted to NOK 45.0 billion and deposits to NOK 36.5 billion.
- 2) Loans to customers include accrued interest, impairment and value adjustments. Correspondingly, deposits from customers include accrued interest and value adjustments. In November 2015, a portfolio of home mortgages amounting to approximately NOK 20 billion was sold from DNB Boligkreditt to DNB Livsforsikring, and in November 2016, mortgages representing an additional NOK 5 billion were sold. In the fourth quarter of 2016, commercial mortgages amounting to NOK 2.6 billion and 4.5 billion, respectively, were sold from DNB Næringskreditt and DNB Bank to DNB Livsforsikring, the life insurance company owned by DNB ASA.
- 3) Allocated capital for the segments is calculated based on the external capital adequacy requirement (Basel III) which must be met by the banking group. The capital allocated in 2016 corresponds to a common equity Tier 1 capital ratio of 17.2 per cent compared to 14.5 per cent in 2015. Recorded capital is used for the banking group.

Key figures

Key figures											DNB Bank Group	
	Personal customers		Small and medium-sized enterprises		Large corporate and international customers		Trading		Other operations/ eliminations		DNB Bank Group	
Per cent	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Cost/income ratio ¹⁾	48.7	47.9	39.9	38.8	37.6	36.6	18.3	31.7			41.2	36.6
Ratio of deposits to loans as at 31 December ²⁾	55.4	57.3	81.4	75.8	73.9	86.8					63.4	62.5
Return on allocated capital ³⁾	17.7	22.7	11.2	12.0	4.7	10.9	25.4	11.2			10.3	15

- 1) Total operating expenses relative to total income.
- 2) Deposits from customers relative to loans to customers.
- 3) Allocated capital for the segments is calculated based on the external capital adequacy requirement (Basel III) which must be met by the banking group. Recorded capital is used for the banking group.

Other operations/eliminations

Other operations/eliminations include IT and Operations, HR (Human Resources), Group Finance including Group Treasury, Risk Management, Corporate Communications, the partially owned company Eksportfinans, investments in IT infrastructure and shareholder-related costs. In addition, Other operations/eliminations include that part of the banking group's equity that is not allocated to the segments. Profits from repossessed operations which are fully consolidated in the DNB Bank Group are presented net under "Profit from repossessed operations" in the internal reporting of segments. The acquired companies and all intra-group eliminations are included in Other operations/eliminations.

Pre-tax operating profit

Amounts in NOK million	DNB Bank Group	
	2016	2015
Unallocated interest income	190	138
Income from equity investments (see note 20)	44	128
Mark-to-market adjustments on financial instruments (see note 20)	436	1 000
Basis swaps (see note 20)	(542)	2 685
Profit from associated companies	1 190	(45)
Net gains on investment properties	34	312
Profit from repossessed operations	(14)	64
Unallocated personnel expenses (see note 21) ¹⁾	(136)	1 450
Unallocated IT and Operations expenses	205	278
IT restructuring		(234)
Reversal of provisions (see note 22)	24	48
Impairment of fixed assets and value adjustments on investment properties	34	(60)
Other	(223)	(42)
Pre-tax operating profit	1 241	5 779

- 1) Of which an unallocated non-recurring effect on pension expenses of NOK 1 778 million in 2015.

Note 2 Segments (continued)

Geographic areas

Income statement

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	International operations		Norway		DNB Bank Group	
	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Net interest income	7 863	8 321	26 654	27 214	34 517	35 535
Net other operating income	2 687	3 885	12 629	13 024	15 316	16 909
Total income	10 550	12 206	39 283	40 237	49 833	52 444

Balance sheet items

DNB Bank Group

Amounts in NOK billion	International operations		Norway		DNB Bank Group	
	31.12.16	31.12.15	31.12.16	31.12.15	31.12.16	31.12.15
Loans to customers	224	299	1 269	1 233	1 492	1 532
Total assets	354	340	2 034	1 975	2 348	2 316
Guarantees	35	37	63	74	99	110

Product information

See note 17 Net interest income, note 18 Interest rates on selected balance sheet items, note 19 Net commission and fee for further information on products.

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy

The DNB Group aims to maintain a management buffer of approximately 1.0 percentage point in addition to the total regulatory common equity Tier 1 (CET1) capital ratio. The object of the management buffer is to cushion against fluctuations in risk-weighted assets and earnings that can occur as a result of, for example, exchange rate movements or changes in credit spreads, and thereby enable the Group to maintain normal growth in lending and a predictable dividend policy. At year-end 2016, the total regulatory CET1 capital ratio requirement was 14.7 per cent. DNB's internal target was 15.7 per cent. The capitalisation targets relate to the Group's risk-weighted assets at any given time. Norwegian banks are subject to a transitional rule for capital adequacy calculations, which stipulates that total risk-weighted assets cannot be reduced below 80 per cent of the corresponding figure calculated according to the Basel I regulations.

At year-end 2016, the DNB Bank Group had a CET1 capital ratio of 15.7 per cent and a capital adequacy ratio of 20.0 per cent, compared with 14.3 per cent and 17.9 per cent, respectively, a year earlier. Risk-weighted assets came to NOK 1 041 billion at year-end 2016, compared with NOK 1 057 billion the year before. The Basel I floor for risk-weighted assets applies to the DNB Bank Group and reduced the CET1 capital ratio by 2.0 percentage points relative to calculations based on the Basel III rules at year-end 2016.

DNB Bank ASA had a CET1 capital ratio of 19.1 per cent at year-end 2016, compared with 15.1 per cent a year earlier. The capital adequacy ratio was 24.8 per cent at year-end 2016, compared with 19.3 per cent a year earlier.

At year-end 2016, DNB Boligkredit AS had a CET1 capital ratio of 16.0 per cent and a capital adequacy ratio of 18.0 per cent, calculated according to the transitional rules for risk-weighted assets. If the transitional rules were not applied, DNB Boligkredit's CET1 capital ratio and capital adequacy ratio would have been 19.6 and 22.1 per cent, respectively, at year-end 2016.

As a supplement to the risk-weighted capital adequacy regime, the Basel Committee introduced a new capital measure, "leverage ratio" or non-risk based CET1 capital ratio. The Basel Committee recommended mandatory disclosure of this ratio as from 2015, and a minimum leverage ratio requirement as of 2018. In line with the Basel Committee's recommendation, the European Commission has recommended the introduction of a minimum requirement of 3 per cent.

The Norwegian Ministry of Finance has set a minimum requirement for the leverage ratio in financial institutions and investment firms in Norway that will enter into effect as of 30 June 2017, calculated on the basis of CET1 capital including additional Tier 1 capital. The basis of calculation consists of assets and off-balance sheet items converted by means of the conversion factors used in the standardised approach for calculating ordinary capital adequacy. In addition, some special adjustments are made for derivatives and repo transactions. Insurance operations are not included. The definitions of capital and the basis of calculation are in conformity with international rules. The Norwegian leverage ratio requirement consists of a minimum requirement of 3 per cent that will apply to all financial institutions, a mandatory 2 per cent buffer for banks and an additional mandatory buffer of 1 per cent for systematically important banks. DNB is the only institution in Norway that will be required to have a leverage ratio of 6 per cent.

The DNB Bank Group calculates its leverage ratio in accordance with the revised article 429 of the CRR, and the European Commission Regulation that entered into force on 18 January 2015. At year-end 2016, the Bank Group's leverage ratio was 7.1 per cent, up from 6.4 per cent a year earlier. DNB meets the minimum requirement of 6 per cent by a wide margin.

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy (continued)

Capital adequacy

Capital adequacy is reported in accordance with the EU's new capital adequacy regulations for banks and investment firms (CRD IV/CRR). Valuation rules used in the statutory accounts form the basis for the consolidation, which is subject to special consolidation rules governed by the Consolidation Regulations.

DNB Bank ASA		Primary capital	DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
151 533	168 104	Total equity	190 078	173 412
		Effect from regulatory consolidation	(181)	(541)
(8 053)	(15 574)	Additional Tier 1 capital instruments included in total equity	(15 574)	(8 053)
(219)	(284)	Net accrued interest on additional Tier 1 capital instruments	(284)	(219)
143 261	152 246	Common equity Tier 1 capital instruments	174 039	164 599
		Deductions		
(38)		Pension funds above pension commitments		(38)
(3 012)	(2 900)	Goodwill	(2 951)	(3 029)
(195)	(224)	Deferred tax assets that are not due to temporary differences	(482)	(640)
(663)	(699)	Other intangible assets	(946)	(1 075)
		Group contribution, payable	(5 094)	(5 000)
(1 383)	(6)	Expected losses exceeding actual losses, IRB portfolios	(153)	(2 309)
(671)	(479)	Value adjustments due to the requirements for prudent valuation (AVA)	(786)	(1 055)
(15)	107	Adjustments for unrealised losses/(gains) on debt recorded at fair value	(90)	(412)
(785)	(580)	Adjustments for unrealised losses/(gains) arising from the institution's own credit risk related to derivative liabilities (DVA)	(159)	(150)
136 499	147 457	Common equity Tier 1 capital	163 389	150 889
10 267	17 471	Additional Tier 1 capital instruments	17 471	10 267
146 766	164 938	Tier 1 capital	180 860	161 156
5 702	5 602	Perpetual subordinated loan capital	5 602	5 702
22 185	21 249	Term subordinated loan capital	21 249	22 185
27 887	26 851	Tier 2 capital	26 851	27 887
174 653	191 789	Total eligible capital	207 711	189 043
906 084	773 244	Risk-weighted volume, transitional rules	1 040 888	1 056 731
72 487	61 860	Minimum capital requirement, transitional rules	83 271	84 539
15.1	19.1	Common equity Tier 1 capital ratio, transitional rules (%)	15.7	14.3
16.2	21.3	Tier 1 capital ratio, transitional rules (%)	17.4	15.3
19.3	24.8	Capital ratio, transitional rules (%)	20.0	17.9

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy (continued)

Basel III

The majority of the credit portfolios are reported according to the IRB approach. However, one portfolio, banks and financial institutions (DNB Bank) is still subject to final IRB approval from Finanstilsynet. The portfolio Large corporate clients rated by simulation models (DNB Bank) was approved in December 2015.

Specification of risk-weighted volume and capital requirements

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Normal exposure 31 Dec. 2016	EAD ¹⁾ 31 Dec. 2016	Average risk weights in per cent 31 Dec. 2016	Risk-weighted volume 31 Dec. 2016	Capital requirements 31 Dec. 2016	Capital requirements 31 Dec. 2015
IRB approach						
Corporate	753 590	600 034	48.8	292 590	23 407	24 752
Specialised Lending (SL)	7 742	7 482	52.0	3 891	311	396
Retail - mortgage loans	79 758	79 758	25.0	19 910	1 593	2 045
Retail - other exposures	112 484	92 484	25.7	23 759	1 901	1 985
Securitisation	12 760	12 760	91.8	11 718	937	1 201
Total credit risk, IRB approach	966 334	792 518	44.4	351 868	28 149	30 359
Standardised approach						
Central government	42 948	55 454	0.1	79	6	30
Institutions	429 144	352 369	22.0	77 428	6 194	13 545
Corporate	102 161	80 795	93.0	75 109	6 009	6 713
Retail - mortgage loans	7 152	6 650	39.4	2 619	210	177
Retail - other exposures	104 855	33 820	74.6	25 228	2 018	1 587
Equity positions	120 148	120 148	100.3	120 482	9 639	9 807
Other assets	11 584	11 584	88.5	10 249	820	1 704
Total credit risk, standardised approach	818 012	660 820	47.1	311 195	24 896	33 563
Total credit risk	1 784 346	1 453 338	45.6	663 063	53 045	63 922
Market risk						
Position risk, debt instruments				23 189	1 855	1 849
Position risk, equity instruments				310	25	19
Currency risk						
Commodity risk				72	6	3
Credit value adjustment risk (CVA)				12 179	974	947
Total market risk				35 749	2 860	2 818
Operational risk				74 433	5 955	5 747
Total risk-weighted volume and capital requirements before transitional rule				773 244	61 860	72 487
Additional capital requirements according to transitional rules						
Total risk-weighted volume and capital requirements				773 244	61 860	72 487

1) EAD, exposure at default.

Note 3 Capitalisation policy and capital adequacy (continued)

Specification of risk-weighted volume and capital requirements

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Nominal exposure 31 Dec. 2016	EAD ¹⁾ 31 Dec. 2016	Average risk weights in per cent 31 Dec. 2016	Risk-weighted volume 31 Dec. 2016	Capital requirements 31 Dec. 2016	Capital requirements 31 Dec. 2015
IRB approach						
Corporate	1 039 384	842 921	48.4	407 740	32 619	33 421
Specialised Lending (SL)	8 825	8 517	52.3	4 456	356	468
Retail - mortgage loans	706 195	706 195	22.1	155 814	12 485	12 241
Retail - other exposures	112 484	92 484	25.7	23 759	1 901	1 965
Securitisation	12 760	12 760	91.8	11 718	937	1 201
Total credit risk, IRB approach	1 879 648	1 662 878	36.3	603 487	48 279	49 295
Standardised approach						
Central government	55 426	69 760	0.1	84	7	33
Institutions	163 442	115 757	24.2	28 036	2 243	2 390
Corporate	181 010	127 939	86.0	109 983	8 799	10 164
Retail - mortgage loans	51 085	49 631	45.5	22 559	1 805	1 764
Retail - other exposures	122 926	48 737	75.4	36 742	2 939	2 642
Equity positions	8 278	8 277	106.1	8 783	703	263
Securitisation	1 780	1 160	44.6	518	41	60
Other assets	13 639	13 639	78.7	10 733	859	763
Total credit risk, standardised approach	578 145	434 889	50.0	217 439	17 395	18 078
Total credit risk	2 457 793	2 097 777	39.1	820 926	65 674	67 373
Market risk						
Position risk, debt instruments				14 615	1 169	1 141
Position risk, equity instruments				310	25	36
Currency risk						
Commodity risk				72	6	3
Credit value adjustment risk (CVA)				6 156	493	514
Total market risk				21 153	1 692	1 695
Operational risk				83 440	6 875	6 742
Total risk-weighted volume and capital requirements before transitional rule				925 519	74 042	75 810
Additional capital requirements according to transitional rules ²⁾				115 368	9 229	8 728
Total risk-weighted volume and capital requirements				1 040 888	83 271	84 539

1) EAD, exposure at default

2) Due to transitional rules, the minimum capital adequacy requirements cannot be reduced below 80 per cent of the corresponding figure calculated according to the Basel I regulations.

Note 4 Risk management

Risk management in DNB

The Board of Directors of DNB ASA has a clearly stated goal to maintain a low overall risk profile and to maintain an AA level rating for ordinary long-term debt. The profitability of DNB will depend on the ability to identify, manage and accurately price risk arising in connection with financial services.

Organisation and authorisation structure

- *Board of Directors.* The Board of Directors of DNB ASA sets long-term targets for the Group's risk profile. The risk profile is operationalised through the risk management framework, including the establishment of authorisations. Risk-taking should take place within established limits.
- *Authorisations.* Authorisations must be in place for the extension of credit and for position and trading limits in all critical financial areas.
- *All authorisations are personal.* Authorisations and group limits are determined by the Board of Directors and can be delegated in the organisation, though any further delegation requires approval by an immediate superior.
- *Annual review of limits.* Risk limits are reviewed at least annually in connection with budget and planning processes.
- *Independent risk management functions.* Risk management functions and the development of risk management tools are undertaken by units that are independent of operations in the individual business areas.

Monitoring and use

- *Accountability.* All executives are responsible for risk within their own area of responsibility and must consequently be fully updated on the risk situation at all times.
- *Risk reporting.* Risk reporting in the Group ensures that all executives have the necessary information about current risk levels and future developments. To ensure high-quality, independent risk reports, responsibility for reporting is assigned to units that are independent of the operative units.
- *Capital assessment.* A summary and analysis of the Group's capital and risk situation is presented in a quarterly risk report to DNB ASA's Board of Directors.
- *Use of risk information.* Risk is an integral part of the management and monitoring of business areas. Risk-adjusted return is reflected in product pricing, profit calculations and in monitoring performance in the business areas.

Relevant risk measures

- *Risk appetite.* DNB monitors risk through defined targets and limits. The risk appetite framework consists of 17 statements covering the risk dimensions which are considered to be significant for the DNB Group, and which added up give a good view of the total risk. Developments in the target figures are monitored and reported monthly to the group management team and quarterly to DNB's Board of Directors. See separate paragraph on risk appetite.
- *A common risk measure for the Group.* The Group's risk is measured in the form of economic capital, calculated for all of the Group's business areas and main risk categories, with the exception of liquidity risk. See separate paragraph on economic capital.
- *Supplementary risk measure.* In addition, risk is followed up through supplementary risk measures adapted to operations in the various business areas, for example monitoring of positions relative to limits, key figures and portfolio risk targets.

Risk categories

In DNB, risk is divided into six main categories which are subject to special measurement and monitoring.

- *Credit risk* is the risk of financial losses due to failure on the part of the Group's customers to meet their payment obligations. Credit risk refers to all claims against customers, principally loans, but also obligations related to other approved credits, guarantees, fixed-income securities, undrawn credits and interbank deposits. Counterparty risk is also a type of credit risk and arises through derivative trading.
- *Market risk* is the risk of losses due to unhedged positions in the foreign exchange, interest rate, commodity and equity markets. The risk arises in consequence of fluctuations in profits due to changes in market prices or exchange rates. Market risk includes both risk that arises through ordinary trading activities and risk that arises as part of banking activities and other business operations. In addition, market risk arises in DNB Livsforsikring AS, reflecting the risk that the return on financial assets will not be sufficient to meet the obligations specified in insurance policies.
- *Operational risk* is the risk of losses due to deficiencies or errors in internal processes and systems, human errors or external events. Operational risk also includes compliance risk, legal risk, conduct risk and IT risk. Compliance risk is the risk of losses in consequence of the violation of laws and regulations. Legal risk is related to the documentation and interpretation of contracts and different legal practices in countries where the bank has operations. Conduct risk is defined as the existing or potential risk of losses related to improper deliveries of financial services or losses resulting from generally reprehensible conduct.
- *Insurance risk* is incurred by DNB Livsforsikring AS and DNB Forsikring AS and is related to changes in future insurance obligations. Within life insurance, such risk reflects changes in policyholders' life expectancy and disability rates. Within non-life insurance, insurance risk is related to the frequency and size of future claims payments.
- *Liquidity risk* is the risk that the Group will be unable to meet its obligations as they fall due, and the risk that the Group will be unable to meet its liquidity obligations without a substantial rise in appurtenant costs. Liquidity is vital to financial operations. This risk category will often be conditional in the respect that it will not materialise until other events give rise to concern regarding the Group's ability to meet its obligations.

Note 4 Risk management (continued)

- *Business risk* relates to fluctuations in profits due to changes in external factors such as the market situation, government regulations or the loss of income due to a weakened reputation. Reputational risk is often a consequence of other risk categories. The Group's business risk is primarily handled through the strategy process and ongoing efforts to safeguard and improve the Group's reputation. When determining and following up the Group's risk appetite, reputational risk is defined as a separate risk dimension. Reputational risk is followed up by monitoring media coverage, while the competitive situation is followed up by analysing market trends and developments in market shares.

In addition to the above-mentioned risk categories the Group is exposed to strategic risk, which can be defined as the risk of a decline in profits if the Group fails to exploit existing strategic opportunities. The Group's strategic risk is not measured or reported individually, but is discussed as part of the annual strategy process.

Risk appetite

The Board of Directors of DNB ASA sets long-term targets for the risk profile through the risk appetite framework. The risk appetite framework aims to ensure that risk is managed and integrated with the Group's governance processes. The risk appetite framework should provide a holistic and balanced view of the risk in the business. In 2016, the framework consisted of 17 statements. To support the framework a set of governance principles and operational procedures and responsibilities within the DNB Group have been defined. The targeted risk profile will also be reflected in other parts of the risk management, including the establishment of authorisations and business limits. The risk appetite framework will be reviewed at least annually. The Board of Directors also regularly reviews risk levels, the framework structure and the reporting of relevant risk categories.

The limits in the risk appetite framework are operationalised in the business areas and support units. In the Group's governance system, the risk appetite framework is implemented in the form of target figures for selected risk indicators. The risk indicators will typically take the form of limits (for quantifiable risk) or qualitative assessments of the risk level. They do not need to be based on the same measurement parameters as the ones used at group level, though they must support the same risk types and show the same trend. Continual monitoring of these target figures will ensure that the risks that are considered to be the most significant are also subject to monitoring and discussion in operative units in the organisation.

Economic capital for the DNB Bank Group

Economic capital is a measure of the risk of losses generated by various business operations. Economic capital makes it possible to compare risk across risk categories. Average losses over a normal business cycle represent expected costs which should primarily be covered through correct pricing of the Group's products. Economic capital should cover unexpected losses. The quantification of economic capital is based on statistical probability calculations for the various risk categories on the basis of historical data. DNB has stipulated that economic capital should cover 99.97 per cent of potential losses within a one-year horizon. This level is in accordance with an AA level rating target for the ordinary long-term debt in DNB Bank ASA.

DNB quantifies economic capital for the following risk categories; credit risk, market risk, market risk in life insurance, insurance risk, risk in non-life insurance, operational risk and business risk. A significant diversification or portfolio effect arises when the various risks are considered together, as it is unlikely that all losses will occur at the same time. An economic downturn will normally have a negative effect on most areas, but there will be a diversification effect, as not all areas will be hit equally hard. The diversification effect between risk categories and business areas implies that the Group's economic capital will be much lower than if the business areas had been independent companies.

At end-December 2016, net economic capital for DNB Bank Group was estimated at NOK 67.2 billion, a reduction of NOK 1.3 billion from end-December 2015.

Note 5 Credit risk

Credit risk or counterparty risk is the risk of financial losses due to failure on the part of the banking group's customers/counterparties to meet their payment obligations towards the banking group. Credit risk refers to all claims against customers/counterparties, mainly loans, but also commitments in the form of other extended credits, guarantees, interest-bearing securities, unutilised credit lines, interbank deposits and loan offers, as well as counterparty risk arising through trading in currency and interest rate derivatives. In addition, counterparty risk is a major element of the settlement risk that arises in connection with payment transfers and the settlement of contracts.

Credit risk also includes concentration risk, including risk relating to large exposures to a particular customer, as well as clusters of loans in geographical areas or industries or to homogeneous customer groups. Residual risk is the risk that the collateral backing a loan is less effective than expected. Credit risk management and measurement is described in further detail in the Risk and Capital Management (Pillar 3) report. The banking group guidelines for credit activity are approved by the Boards of Directors of DNB Bank ASA. The principal objective of credit activity is to ensure that the quality and composition of the loan portfolio provide a good basis for the banking group's short and long-term profitability. The quality of the portfolio should be consistent with DNB's aim of maintaining a low risk profile. See also note 4 Risk management, in which credit risk for the banking group is quantified in the form of risk-adjusted capital requirements.

The maximum credit risk exposure will be the carrying amount of financial assets plus unrecorded exposure, which mainly includes guarantees, unutilised credit lines and loan offers. Guarantees, unutilised credit lines and loan offers are specified in note 49 Off-balance sheet transactions and contingencies. The maximum credit risk exposure and related collateral are shown below.

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2016

	DNB Bank ASA			
Amounts in NOK million	Maximum exposure to credit risk	Secured by real estate	Collateralised by securities	Other collateral ⁽¹⁾
Deposits with central banks	206 982			
Due from credit institutions	549 093		153 938	23
Loans to customers	690 060	240 109	49 197	217 055
Commercial paper and bonds	236 120			
Financial derivatives	170 317		919	90 379
Other assets	12 726			
Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet	1 865 298	240 109	204 044	307 457
Guarantees	88 679	8 543	162	33 410
Unutilised credit lines and loan offers	479 792	16 278	92	51 777
Other commitments	3 861			
Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet	572 332	24 821	255	85 187
Total	2 437 630	264 930	204 299	392 644

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2015

	DNB Bank ASA			
Amounts in NOK million	Maximum exposure to credit risk	Secured by real estate	Collateralised by securities	Other collateral ⁽¹⁾
Deposits with central banks	14 748			
Due from credit institutions	630 700		278 973	2
Loans to customers	705 532	239 554	43 429	238 366
Commercial paper and bonds	229 224			
Financial derivatives	213 797		1 675	95 785
Other assets	23 209			
Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet	1 817 210	239 554	324 078	325 153
Guarantees	95 867	10 827	227	31 498
Unutilised credit lines and loan offers	963 486	8 704	97	57 588
Other commitments	4 576			
Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet	1 063 930	19 531	323	101 187
Total	2 881 140	259 085	324 401	426 320

Note 5 Credit risk (continued)

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2016

Amounts in NOK million	DNB Bank Group			
	Maximum exposure to credit risk	Secured by real estate	Collateralised by securities	Other collateral ¹⁾
Deposits with central banks	207 279			
Due from credit institutions	174 908		153 838	23
Loans to customers	1 492 268	885 858	50 295	330 159
Commercial paper and bonds	230 647			
Financial derivatives	157 957		919	90 379
Other assets	7 414			
Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet	2 270 472	885 858	205 152	420 560
Guarantees	92 012	8 753	162	33 708
Unutilised credit lines and loan offers	606 122	79 219	92	78 869
Other commitments	3 985			18
Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet	702 119	87 972	255	112 595
Total	2 972 591	973 831	205 407	533 155

Credit risk exposure and collateral as at 31 December 2015

Amounts in NOK million	DNB Bank Group			
	Maximum exposure to credit risk	Secured by real estate	Collateralised by securities	Other collateral ¹⁾
Deposits with central banks	16 911			
Due from credit institutions	297 457		279 056	44
Loans to customers	1 531 932	877 625	44 559	346 155
Commercial paper and bonds	226 224			331
Financial derivatives	203 273		1 675	86 821
Other assets	7 920			
Total maximum exposure to credit risk reflected on the balance sheet	2 283 719	877 625	325 291	433 351
Guarantees	98 595	11 077	227	31 710
Unutilised credit lines and loan offers	600 523	61 667	97	91 169
Other commitments	4 841			
Total maximum exposure to credit risk not reflected on the balance sheet	703 959	72 745	324	134 960
Total	2 987 677	950 370	325 615	568 311

1) Other collateral includes the assessed fair value of movables, sureties, ships and cash as well as other credit enhancements, such as netting agreements and guarantees received.

The table above includes on and off-balance sheet items which entail credit risk and the assessed value of related collateral. If available, fair values are used. In general, fair values are estimated according to different techniques depending on the type of collateral. With respect to properties, models estimating the value of collateral based on market parameters for similar properties, are used. Corresponding techniques are used for other non-financial collateral. In order to reflect the effective available collateral value, the fair value of collateral included in the table is limited to the maximum credit exposure of the individual loan or exposure.

Comments to the main items as at 31 December 2016:

- *Deposits with central banks:* Deposits with Norges Bank totalled NOK 15 822 million. DNB engages only in short-term transactions with central banks outside Norway, mainly in OECD countries.
- *Loans to customers:* See further description under "Guidelines for credit activity".
- *Commercial paper and bonds:* See further description under "Credit exposure of other financial assets".
- *Financial derivatives:* Other collateral represents netting opportunities against other outstanding balances with customers and cash collateral received.
- *Guarantees:* See further description under "Guidelines for credit activity".
- *Unutilised credit lines and loan offers:* Offers of loans, credits and credit lines totalling NOK 110 435 million for the DNB Bank Group and 109 819 million for DNB Bank ASA were included in the maximum credit exposure. No formal collateral has been established for such exposure, and the assessed value is not included in the table. Collateral is established once the offers are accepted by the customers. The assessment of the value of any collateral established in connection with such offers follows the procedure and criteria described under "Guidelines for credit activity".

Note 5 Credit risk (continued)

Credit risk exposure of loans and commitments

Notes 6 and 7 show the banking group's credit risk exposure for principal customer groups and according to geographic location. Notes 8 through 11 show impaired loans and guarantees and impairment of loans and guarantees.

Classification of loans and commitments

DNB's internal models for risk classification of customers are subject to continual improvement and testing. The models are adapted to different industries and segments and are regularly upgraded to ensure that the variables used in the models have high explanatory power at all times based on key risk drivers for the individual parameters included in the models. DNB has been granted permission to use IRBA models in capital adequacy calculations. The same classifications are used in calculations of capital requirements and in risk management.

All corporate customers granted credit must be classified according to risk in connection with every significant credit approval and, unless otherwise decided, at least once a year. In the personal banking market, where there is a large number of customers, the majority of credit decisions should be made on the basis of automated scoring and decision support systems. Risk classification should reflect long-term risk associated with each customer and the customer's credit commitment.

The risk classification systems are used as decision support, monitoring and reporting. The risk parameters used in the classification systems are an integrated part of the credit process and ongoing risk monitoring, including the follow-up of credit strategies.

Probability of default, PD, is used to measure quality. The bank divides its portfolio into ten risk classes based on the probability of default for each credit commitment.

DNB's risk classification ¹⁾

Risk class	Probability of default (per cent)		External rating	
	As from	Up to	Moody's	Standard & Poor's
1	0.01	0.10	Aaa – A3	AAA – A-
2	0.10	0.25	Baa1 – Baa2	BBB+ – BBB
3	0.25	0.50	Baa3	BBB-
4	0.50	0.75	Ba1	BB+
5	0.75	1.25	Ba2	BB
6	1.25	2.00		
7	2.00	3.00	Ba3	BB-
8	3.00	5.00	B1	B+
9	5.00	8.00	B2	B
10	8.00	impaired	B3, Caa/C	B-, CCC/C

1) DNB's risk classification system, where 1 represents the lowest risk and 10 the highest risk.

Loans and commitments according to risk classification

Amounts in NOK million	DNB Bank ASA			
	Gross loans to customers	Guarantee commitments	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Risk category based on probability of default				
1 - 4	417 736	65 665	298 095	781 496
5 - 7	212 837	13 476	55 949	282 263
8 - 10	68 220	6 153	11 874	86 247
Non-performing and impaired loans and guarantees	11 972	647		12 619
Total loans and commitments as at 31 December 2015 ¹⁾	710 766	85 941	365 918	1 162 625
Risk category based on probability of default				
1 - 4	418 622	57 110	321 435	797 167
5 - 7	193 767	12 899	50 734	257 400
8 - 10	64 129	9 015	12 021	85 164
Non-performing and impaired loans and guarantees	22 048	1 885	1 514	25 447
Total loans and commitments as at 31 December 2016 ¹⁾	698 566	80 909	385 703	1 165 178

1) Based on nominal amounts.

Loan-loss level ¹⁾

Amounts in NOK million	2016	2015
Normalised losses including loss of interest income in per cent of net loans	0.33	0.34

1) The calculation of the loan-loss level is based on an evaluation of the probability of future losses (default frequency), exposure at default and the size of the estimated loss (loss ratio). Calculations are based on a certain level of discretion and estimation.

Note 5 Credit risk (continued)

Loans and commitments according to risk classification

Amounts in NOK million	DNB Bank Group			
	Gross loans to customers	Guarantee commitments	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Risk category based on probability of default				
1 - 4	1 014 114	68 542	458 686	1 541 321
5 - 7	411 733	14 011	79 427	505 170
8 - 10	92 148	6 251	15 748	114 147
Non-performing and impaired loans and guarantees	21 970	675		22 645
Total loans and commitments as at 31 December 2015 ¹⁾	1 539 964	89 479	553 841	2 183 284
Risk category based on probability of default				
1 - 4	1 016 937	58 948	469 223	1 545 108
5 - 7	367 157	14 091	70 838	452 086
8 - 10	88 700	9 946	29 563	128 209
Non-performing and impaired loans and guarantees	30 551	1 903	1 702	34 156
Total loans and commitments as at 31 December 2016 ¹⁾	1 503 345	84 889	571 326	2 159 559

1) Based on nominal amounts.

Loan-loss level ¹⁾

Amounts in NOK million	2016	2015
Normalised losses including loss of interest income in per cent of net loans	0.27	0.25

1) The calculation of the loan-loss level is based on an evaluation of the probability of future losses (default frequency), exposure at default and the size of the estimated loss (loss ratio). Calculations are based on a certain level of discretion and estimation.

Guidelines for credit activity

DNB's guidelines and processes for approving credits are described in the group guidelines for credit activity. The guidelines describe how DNB shall grant and follow up credit exposures in the various segments. Detailed descriptions are given of the assessment of new customers, follow-up of healthy credit exposures, follow-up of customers in financial difficulty and procedures for handling doubtful and non-performing loans.

The granting of credit in DNB is based on authorisation and approval matrices. As a fundamental principle, one person makes a recommendation and another one approves it, which takes place through the authorisation and approval matrices. The matrices are differentiated on the basis of volume, risk and, if relevant, industry. While only two persons may be involved in (recommending and approving) a low-risk exposure in the form of a home mortgage, recommendations for large/complex exposures must be endorsed by a senior credit officer. In addition, advice will be sought from credit committees, and the involvement of industry specialists may be required.

A decisive element when granting credit is the customers' debt servicing capacity in the form of ongoing future cash flows, such as earned income or income from the business operations which are being financed. The bank seeks to further mitigate the risk of losses in connection with a possible future reduction in cash flows or default by requiring that collateral be furnished. Only in exceptional cases will credit be granted if the customer has provided no collateral.

Collateral can be in the form of physical assets, guarantees, cash deposits or netting agreements. As a rule, physical collateral shall be insured. Negative pledges, whereby customers undertake to keep their assets free from encumbrances vis-à-vis other lenders, are also used as a risk-mitigating measure.

In addition to collateral, most corporate credit agreements will include financial covenants, which represent an additional risk-mitigating element to ensure that DNB becomes aware of and involved in any financial challenges at an early stage. Examples of financial covenants are minimum net cash flow and equity ratio requirements.

Monitoring credit risk

Performing customers

According to the guidelines for credit activity for corporate customers, a credit assessment shall be made of all customers at least once a year. This is a complete review of all risks identified by DNB relating to the customer. A new evaluation of all collateral (provided) is an integral part of the annual review. The decision-making and authorisation matrices shall also be used in connection with the renewal of all existing credits and thus ensure that persons with relevant expertise are always involved when considering large and complicated exposures.

Personal customers are followed up through a systematic portfolio management system. Exposures are followed up individually if heightened risk has been identified.

Watchlist

The watchlist is the Group's primary tool for following up corporate customers when a risk has arisen which requires special monitoring. If customers breach financial covenants or a loss event requiring special monitoring has occurred, it will be considered whether to place the exposure on the watchlist. Loss events include serious financial problems or major changes in market conditions. In addition, all customers in the high-risk segment (risk grades 8-10) will be watchlist candidates. It is an integral part of credit activity to consider whether to place high-risk customers on the watchlist. Watchlisted customers are subject to special monitoring. More frequent, often quarterly risk assessments are required, including an updated valuation of collateral. In addition, an action plan must be prepared to get out of the risk situation that has arisen. The particularly close follow-up of customers facing greater challenges is based on the bank's experience that special monitoring both reduces the risk that losses will occur and minimises the losses that actually materialise. Each time watchlisted exposures are reviewed, the need for impairment losses will be considered.

Note 5 Credit risk (continued)*Granting concessionary treatment of customers*

If a customer gets into financial difficulties, DNB may in some cases grant voluntary concessions in the form of less stringent financial covenants or reduced/deferred interest and instalment payments. Such measures are offered in accordance with the Group's credit guidelines, thus aiming to help customers through a tough financial period when it is expected that they will meet their obligations on a later date. This is part of DNB's strategy to reduce losses. DNB Bank ASA's total forbearance exposures, in accordance with the definition of forbearance in CRD IV, totalled approximately NOK 25.8 billion at year-end 2016.

Loss and non-performing portfolio

In the event of losses or non-performance, customers are closely monitored. In the bank's experience, other supplementary resources are required during this stage than for performing customers. Customer exposures which fall into this category will either be transferred in their entirety to a separate unit with special expertise in this field, or persons from this unit will join the customer team.

Reposessed companies and assets

In connection with the follow-up of impaired and non-performing exposures, DNB will in some cases take over assets provided as collateral for loans and guarantees. All acquired companies are followed up by the Group Investment unit, whose main target is to secure/recover values for DNB's shareholders through financial restructuring when companies and properties are reposessed due to default. See separate paragraph below for details on reposessed assets.

Past due loans not subject to impairment

The table below shows overdue amounts on loans and overdrafts on credits/deposits and the total residual debt for these loans broken down on the number of days after the due date, assuming a deterioration of customer solvency or unwillingness to pay. Past due loans and overdrafts on credits/deposits are subject to continual monitoring. Loans and guarantees where any objective evidence of impairment exists are reviewed for impairment. Such reviews have also been carried out for the loans and guarantees included in the table for which no need for impairment has been identified. Past due loans subject to impairment are not included in the table but are included in tables showing impaired loans and guarantees, see note 8 Impaired loans and guarantees for principal customer groups.

Amounts in NOK million	DNB Bank ASA			
	31 December 2016		31 December 2015	
	Past due/ overdrawn	Outstanding balance on past due loans	Past due/ overdrawn	Outstanding balance on past due loans
10-29 days	723	1 933	90	2 719
30-59 days	442	423	73	1 369
60-89 days	11	159	7	365
> 90 days	213	1 474	1 353	3 756
Total	1 389	3 989	1 523	8 208

Amounts in NOK million	DNB Bank Group			
	31 December 2016		31 December 2015	
	Past due/ overdrawn	Outstanding balance on past due loans	Past due/ overdrawn	Outstanding balance on past due loans
10-29 days	753	7 210	129	8 278
30-59 days	467	1 149	272	2 743
60-89 days	14	430	32	758
> 90 days	222	3 265	1 706	5 076
Total	1 456	12 054	2 139	16 855

Credit exposure of other financial assets

The Group's investments in other financial assets, including commercial paper and bonds, are within risk limits approved by the Board of Directors. See note 33 Commercial paper and bonds, held to maturity, for a description of Markets' international bond portfolio.

Note 5 Credit risk (continued)

Counterparty risk for derivatives

DNB enters into derivative transactions on the basis of customer demand and to hedge positions resulting from such activity. In addition, derivatives are used to hedge positions in the trading portfolio and take positions in the interest rate, currency, commodity and equity markets. In addition, derivatives are used to hedge currency and interest rate risk arising in connection with funding and lending. Derivatives are traded in portfolios where balance sheet products are also traded. Derivatives are generally traded "over the counter" (OTC), which means that individual contracts are agreed upon by the parties.

Derivatives are traded with a number of different counterparties, and most of these are also engaged in other types of business. The credit risk that arises in connection with derivative trading is included in the DNB Group's overall credit risk measurement. Such measurement and follow-ups take place on a daily basis. In order to minimise counterparty risk for individual counterparties, netting agreements and bilateral guarantee agreements have been entered into. In addition, various interest rate products are cleared via so-called clearing houses, such as LCH Clearnet. The counterparty risk for an individual party is thus transferred to the clearinghouse.

CSA agreements (Credit Support Annex) have been entered into with most major bank counterparties and a large number of other counterparties. This means that the market value of all derivatives entered into between DNB and the counterparty is settled either daily or weekly, whereby counterparty risk is largely eliminated. These transactions are generally backed by cash collateral, though treasury bills and covered bonds are also used. The collateral agreements are normally not based on rating triggers, but for a few agreements, the minimum exposure level will be reduced if DNB is downgraded. The effects of a possible downgrade are very limited. Equity forward contracts, securities issues and currency trading for private individuals are monitored and margined on a daily basis.

Reposessed properties and other assets – carrying amount

Reposessed assets are assets acquired by units within the banking group as part of the management of non-performing and impaired loans and guarantees. At the time of acquisition, such assets are valued at their estimated realisable value. Any deviation from the carrying amount of non-performing and impaired loans and guarantees at the time of acquisition is classified as impairment on loans. Reposessed assets are recorded in the balance sheet according to the type of asset. When acquiring shares or mutual fund holdings, the assets are evaluated according to the principles described in note 1 Accounting principles. Upon final sale, the difference relative to carrying amount is recognised in the income statement according to the type of asset.

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2015	2016	Amounts in NOK million	2016	2015
71	50	Reposessed properties and other reposessed assets as at 1 January	2 330	5 185
	1	Property additions	217	620
		Other asset additions	1	33
		Reclassified as held for sale ¹⁾	(1 087)	
(20)	(23)	Property disposals	(335)	(3 426)
		Other asset disposals	(3)	(14)
		Net gains/losses resulting from adjustment to fair value (investment properties)	(1)	(68)
50	28	Reposessed properties and other reposessed assets as at 31 December	1 122	2 330

1) Includes assets in the Baltics, reclassified as held for sale in August 2016.

Note 5 Credit risk (continued)

Loans and deposits designated as at fair value ¹⁾

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
48 784	20 959	Loans and deposits designated as at fair value	69 487	85 779
48 784	20 959	Total exposure to credit risk	69 487	85 779
185	91	Value adjustment from credit risk ²⁾	121	231
(68)	(94)	Value adjustment from change in credit risk ²⁾	(111)	(103)

1) In November 2016, a portfolio of home mortgages amounting to approximately NOK 5 billion was sold from DNB Boligkredit AS to DNB Livsforsikring AS.

2) Credit risk reflected in fair value measurement is based on normalised losses and changes in normalised losses in the relevant portfolio.

Effects of changes in credit margins

The long-term funding markets were characterised by regulatory and political uncertainty in 2016. Concerns related to the Chinese economy and a weaker growth outlook for European banks led to higher spreads and lower activity at the beginning of the year. Spreads were markedly reduced after the European Central Bank (ECB) meeting in March, where, among other things, the asset purchase programme was further expanded. The level of activity declined towards the summer as the EU referendum in the UK was approaching. After the vote markets normalised and spreads decreased. The activity level was once again down ahead of the US presidential election, but increased markedly afterwards. Concerns related to a potential reduction in the ECB's asset purchase programme resulted in wider spreads towards the end of the year. DNB had good access to long-term funding in 2016 and spreads on covered bonds and ordinary senior debt decreased markedly throughout the year. Changes in credit margins affected a number of items in the DNB Bank Group's balance sheet:

As part of ongoing liquidity management, Markets invests in an international bond portfolio. The holding of such bonds totaled NOK 98 billion end-December 2016. Unrealised gains in this portfolio amounted to NOK 45 million at end-December 2016, compared with unrealised losses of NOK 172 million at year-end 2015. There was considerable turnover in the portfolio in 2016.

Unrealized gain on the portfolio of Norwegian bonds used for liquidity management came to NOK 310 million at year-end 2016 compared with an unrealized gain of NOK 8 million at end-December 2015.

Moody's and Standard & Poor's downgrades of Eksportfinans' credit rating in the fourth quarter of 2011 resulted in sizeable unrealised gains on the company's long-term funding. The effect of these unrealised gains on DNB's holding, after tax, represented NOK 11.8 billion. After reviewing the fair value of the company in connection with the closing of the annual accounts, DNB wrote down the value by an amount corresponding to unrealised gains on Eksportfinans' own debt in the fourth quarter of 2011. Since 2011 the required rate of return in the market has been reduced, and Eksportfinans has reported sizeable unrealised losses on own debt. The impairment loss recorded by DNB in the fourth quarter of 2011 has been reversed by an amount corresponding to these unrealised losses. The remaining adjustment amounting to NOK 144 million was reversed in 2016. The impairment loss in 2011 and subsequent reversals have been reported on the line "Profit from investments accounted for by the equity method" along with DNB's share of profits from the company.

The DNB Bank Group's long-term borrowings in Norwegian kroner are carried at fair value through profit or loss. Margin requirements were reduced in 2016. At end-December 2016, there were unrealised losses of NOK 317 million on long-term borrowings, compared with unrealised gains of NOK 337 million at year-end 2015. Unrealised losses on the DNB Bank Group's liabilities will be reversed over the remaining term to maturity.

The banking group's fixed-rate loans in Norwegian kroner and parts of the portfolio of margin loans in Norwegian kroner are carried at fair value through profit or loss. Unrealised losses, measured relative to swap rates on these loans, came to NOK 144 million at year-end 2016, compared with unrealised losses of NOK 773 million at end-December 2015 reflecting reduced margin requirements. The unrealised losses will be reversed over the remaining term to maturity, provided that there are no changes in the credit status of the loans.

Note 6 Loans and commitments for principal customer groups

Loans and commitments as at 31 December 2016 ¹⁾

<i>Amounts in NOK million</i>	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	DNB Bank ASA Total loans and commitments
Private individuals	137 962	225	178 953	317 140
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	50 542	9 623	14 768	74 934
Real estate	148 661	2 860	26 599	178 120
Manufacturing	46 439	22 897	32 292	101 628
Services	84 084	5 471	21 176	90 741
Trade	32 238	4 484	21 965	58 687
Oil and gas	20 763	3 964	9 161	33 888
Transportation and communication	38 927	9 703	15 419	64 049
Building and construction	47 964	12 724	28 932	89 619
Power and water supply	26 726	6 709	17 179	50 614
Seafood	15 323	199	5 835	21 358
Hotels and restaurants	5 713	409	1 853	7 975
Agriculture and forestry	4 616	58	1 067	5 741
Central and local government	12 051	159	5 875	18 085
Other sectors	40 829	898	4 628	46 354
Total customers, nominal amount after individual impairment	692 848	80 383	385 703	1 158 934
- Collective impairment, customers	(2 787)			(2 787)
+ Other adjustments		(446)		(446)
Loans to customers	690 060	79 937	385 703	1 155 701
Credit institutions, nominal amount after individual impairment	549 089	8 296	94 089	651 474
+ Other adjustments	4			4
Loans to and due from credit institutions	549 093	8 296	94 089	651 478

Loans and commitments as at 31 December 2015

<i>Amounts in NOK million</i>	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	DNB Bank ASA Total loans and commitments
Private individuals	144 470	262	145 259	289 990
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	56 264	9 725	15 499	81 487
Real estate	148 608	2 282	25 950	176 839
Manufacturing	52 129	23 736	32 578	108 443
Services	80 280	5 370	18 382	104 032
Trade	32 542	5 025	20 278	57 845
Oil and gas	21 674	4 135	11 543	37 352
Transportation and communication	36 148	9 375	11 918	56 442
Building and construction	44 895	12 916	24 133	81 943
Power and water supply	27 857	8 261	16 365	52 483
Seafood	15 173	264	4 459	19 897
Hotels and restaurants	6 382	408	2 343	9 134
Agriculture and forestry	4 961	52	2 467	7 480
Central and local government	9 218	347	8 839	18 404
Other sectors	26 642	4 607	25 907	57 155
Total customers, nominal amount after individual impairment	707 241	85 765	365 918	1 158 925
- Collective impairment, customers	(1 709)			(1 709)
+ Other adjustments		(186)		(186)
Loans to customers	705 532	85 579	365 918	1 157 029
Credit institutions, nominal amount after individual impairment	630 694	9 751	597 568	1 238 013
+ Other adjustments	5			5
Loans to and due from credit institutions	630 700	9 751	597 568	1 238 018

1) Loans and receivables in the Baltics are reclassified to assets and liabilities held for sale. See note 39 Assets and liabilities held for sale. Guarantees and unutilised credit lines include the Baltics.

The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

Note 6 Loans and commitments for principal customer groups (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2016¹⁾

Amounts in NOK million	DNB Bank Group			
	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Private individuals	731 134	272	241 774	973 179
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	106 148	9 871	34 523	150 542
Real estate	189 796	2 888	26 910	219 594
Manufacturing	77 520	23 413	68 529	169 462
Services	87 293	5 688	31 325	124 305
Trade	38 442	4 928	28 283	71 652
Oil and gas	29 074	5 034	33 219	67 327
Transportation and communication	62 638	9 885	27 711	100 234
Building and construction	52 221	13 332	31 553	97 105
Power and water supply	31 179	7 186	24 014	62 378
Seafood	16 979	202	6 484	23 664
Hotels and restaurants	7 451	420	2 178	10 049
Agriculture and forestry	4 889	60	2 212	7 141
Central and local government	14 213	279	9 732	24 224
Other sectors	47 795	903	2 879	51 577
Total customers, nominal amount after individual impairment	1 496 749	84 360	571 326	2 152 434
– Collective impairment, customers	(4 481)			(4 481)
+ Other adjustments		(455)		(455)
Loans to customers	1 492 268	83 904	571 326	2 147 498
Credit institutions, nominal amount after individual impairment	174 897	7 653	34 796	217 347
+ Other adjustments	11			11
Loans to and due from credit institutions	174 908	7 653	34 796	217 357

Loans and commitments as at 31 December 2015

Amounts in NOK million	DNB Bank Group			
	Loans and receivables	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Private individuals	725 878	284	199 188	925 350
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	126 348	9 933	42 701	178 983
Real estate	197 036	2 341	26 165	225 542
Manufacturing	92 824	24 229	72 416	189 469
Services	97 916	6 074	25 566	129 556
Trade	41 056	5 451	25 756	72 262
Oil and gas	31 898	4 554	38 117	74 569
Transportation and communication	59 312	8 555	26 733	94 601
Building and construction	48 944	13 674	25 180	87 697
Power and water supply	33 797	8 366	23 860	66 023
Seafood	16 334	266	5 075	21 675
Hotels and restaurants	8 907	421	2 588	11 916
Agriculture and forestry	6 989	56	2 657	9 583
Central and local government	14 454	483	10 870	25 807
Other sectors	32 983	4 609	26 970	64 562
Total customers, nominal amount after individual impairment	1 534 456	89 297	553 841	2 177 595
– Collective impairment, customers	(2 524)			(2 524)
+ Other adjustments		(198)		(198)
Loans to customers	1 531 932	89 099	553 841	2 174 873
Credit institutions, nominal amount after individual impairment	297 450	8 935	46 682	353 067
+ Other adjustments	7			7
Loans to and due from credit institutions	297 457	8 935	46 682	353 074

1) Loans and receivables in the Baltics are reclassified to assets and liabilities held for sale. See note 39 Assets and liabilities held for sale. Guarantees and unutilised credit lines include the Baltics.

The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

Note 7 Loans and commitments according to geographical locationLoans and commitments as at 31 December 2016 ¹⁾

DNB Bank ASA

<i>Amounts in NOK million</i>	Loans to customers	Loans to and receivables from credit institutions	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Oslo	140 810	201 607	11 519	256 544	610 580
Eastern and southern Norway	183 345	484	18 864	94 431	297 123
Western Norway	96 868	4	8 583	43 525	148 980
Northern and central Norway	108 627	107	6 984	34 925	150 645
Total Norway	529 750	202 202	45 950	429 425	1 207 328
Sweden	53 188	38 473	6 354	11 097	109 112
United Kingdom	3 278	112 999	2 485	2 817	121 579
Other Western European countries	55 244	89 269	5 260	22 491	172 264
Russia	3		4	8	15
Estonia	2	2 997		2	3 001
Latvia	347	5 504	478	2	6 331
Lithuania	332	6 249	349	4	6 934
Poland	721	10 101	208	68	11 098
Other Eastern European countries	20	881	258	29	1 187
Total Europe outside Norway	113 134	266 473	15 387	36 517	431 520
USA and Canada	2 790	53 551	14 959	6 077	77 377
Bermuda and Panama ²⁾	17 149	86	3 904	2 364	23 503
Other South and Central American countries	14 526	1 565	2 288	1 815	20 194
Total America	34 465	55 202	21 151	10 256	121 074
Singapore ²⁾	1 742	17 686	1 021	592	21 041
Hong Kong	1 609	37		2	1 648
Other Asian countries	5 833	6 674	2 765	1 575	16 847
Total Asia	9 184	24 397	3 785	2 169	39 535
Liberia ²⁾	776		1 942		2 718
Other African countries	78	500	60	35	673
Oceania ²⁾	4 532	27	393	1 391	6 343
Commitments	691 919	548 801	88 679	479 792	1 809 191
– Collective impairment	(2 787)				(2 787)
+ Other adjustments	929	292	(446)		775
Net loans and commitments	690 060	549 093	88 233	479 792	1 807 179

1) Loans and receivables in the Baltics are reclassified to assets and liabilities held for sale. See note 39 Assets and liabilities held for sale. Guarantees and unutilised credit lines include the Baltics.

2) Represents shipping loans and commitments.

Based on the customer's address.

Note 7 Loans and commitments according to geographical location (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2015

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Loans to customers	Loans to and receivables from credit institutions	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Oslo	130 398	140 721	12 523	703 277	986 918
Eastern and southern Norway	178 946	728	18 861	89 470	288 004
Western Norway	102 400	2 443	8 479	43 201	156 524
Northern and central Norway	112 622	40	9 085	33 033	154 781
Total Norway	524 366	143 932	48 949	868 981	1 586 227
Sweden	55 131	8 388	7 318	17 008	87 846
United Kingdom	3 322	149 621	2 997	1 884	157 825
Other Western European countries	69 295	204 007	4 954	24 891	303 147
Russia	99	85	4	5	194
Estonia	3	2 086		1	2 090
Latvia	702	6 491	654	2	7 849
Lithuania	258	6 943	341	27	7 569
Poland	709	12 109	124	163	13 105
Other Eastern European countries	20	588	261	31	910
Total Europe outside Norway	129 539	380 329	16 653	44 013	580 534
USA and Canada	6 354	62 997	16 316	13 131	98 798
Bermuda and Panama ¹⁾	18 128	132	2 658	3 000	23 917
Other South and Central American countries	9 629	4 172	2 635	3 004	19 440
Total America	34 111	67 302	21 609	19 135	142 156
Singapore ¹⁾	2 555	22 354	1 952	27 365	54 226
Hong Kong	2 195	190		2	2 388
Other Asian countries	8 051	6 071	3 852	2 395	20 370
Total Asia	12 802	28 615	5 804	29 762	76 984
Liberia ¹⁾	414		2 043		2 457
Other African countries	12	358	89	546	1 005
Oceania ¹⁾	4 883	22	369	1 050	6 324
Commitments	706 126	630 558	95 516	963 486	2 395 687
– Collective impairment	(1 709)				(1 709)
+ Other adjustments	1 115	141	(186)		1 070
Net loans and commitments	705 532	630 700	95 330	963 486	2 395 048

1) Represents shipping loans and commitments.

Based on the customer's address.

Note 7 Loans and commitments according to geographical location (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2016 ¹⁾

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Loans to customers	Loans to and receivables from credit institutions	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Oslo	288 216	6 935	11 494	211 067	517 712
Eastern and southern Norway	477 693	484	18 884	124 944	621 985
Western Norway	191 155	10	8 588	53 872	253 625
Northern and central Norway	201 374	107	6 984	42 930	251 396
Total Norway	1 158 437	7 536	45 932	432 814	1 644 719
Sweden	82 005	5 173	6 355	34 497	128 030
United Kingdom	17 936	68 518	2 519	16 360	105 334
Other Western European countries	84 426	82 333	5 635	31 587	203 981
Russia	8		4	10	22
Estonia	5		97	321	423
Latvia	458		335	1 424	2 217
Lithuania	337		730	3 693	4 761
Poland	16 444	323	813	2 355	19 935
Other Eastern European countries	160	885	258	35	1 338
Total Europe outside Norway	201 779	157 232	16 747	90 282	466 040
USA and Canada	43 688	1 090	16 953	67 207	128 938
Bermuda and Panama ²⁾	26 269	86	3 904	3 629	33 887
Other South and Central American countries	18 128	1 589	2 291	4 697	26 685
Total America	88 085	2 745	23 148	75 533	189 510
Singapore ²⁾	8 680	39	1 021	217	9 957
Hong Kong	2 625	37		180	2 742
Other Asian countries	6 674	6 614	2 766	1 988	18 042
Total Asia	17 880	6 690	3 787	2 386	30 742
Liberia ²⁾	9 428		1 942	514	11 884
Other Asian countries	536	500	60	38	1 134
Oceania ²⁾	18 634	27	397	4 556	23 614
Commitments	1 494 779	174 729	92 012	606 122	2 367 643
- Collective impairment	(4 481)				(4 481)
+ Other adjustments	1 970	179	(455)		1 694
Net loans and commitments	1 492 268	174 908	91 557	606 122	2 364 855

1) Loans and receivables in the Baltics are reclassified to assets and liabilities held for sale. See note 39 Assets and liabilities held for sale. Guarantees and unutilised credit lines include the Baltics.

2) Represents shipping loans and commitments.

Based on the customer's address.

Note 7 Loans and commitments according to geographical location (continued)

Loans and commitments as at 31 December 2015

DNB Bank Group

Amounts in NOK million	Loans to customers	Loans to and receivables from credit institutions	Guarantees	Unutilised credit lines	Total loans and commitments
Oslo	264 894	3 156	12 511	190 376	470 936
Eastern and southern Norway	458 808	728	18 861	115 592	593 988
Western Norway	191 433	2 443	8 489	52 410	254 775
Northern and central Norway	201 222	40	9 085	39 898	250 246
Total Norway	1 116 357	6 367	48 946	398 275	1 569 946
Sweden	78 005	137	7 319	38 139	123 601
United Kingdom	18 180	100 132	3 536	17 597	139 445
Other Western European countries	101 056	178 045	5 428	34 741	319 268
Russia	816	86	4	5	912
Estonia	5 044	18	110	184	5 356
Latvia	15 587	3	395	1 451	17 436
Lithuania	27 950	98	848	3 301	32 197
Poland	17 832	184	726	3 090	21 812
Other Eastern European countries	203	598	262	33	1 096
Total Europe outside Norway	264 673	279 281	18 627	98 541	661 122
USA and Canada	46 218	724	17 046	80 907	144 895
Bermuda and Panama ¹⁾	29 616	132	2 665	5 647	38 060
Other South and Central American countries	14 424	4 177	2 638	6 585	27 824
Total America	90 258	5 033	22 349	93 139	210 779
Singapore ¹⁾	13 607	82	1 952	505	16 146
Hong Kong	3 025	190		702	3 917
Other Asian countries	10 539	6 072	3 854	3 493	23 958
Total Asia	27 171	6 344	5 806	4 700	44 021
Liberia ¹⁾	9 943		2 043	601	12 588
Other Asian countries	735	358	90	551	1 733
Oceania ¹⁾	22 276	23	372	4 715	27 386
Commitments	1 531 480	297 406	98 233	600 523	2 527 641
– Collective impairment	(2 524)				(2 524)
+ Other adjustments	2 976	51	(198)		2 829
Net loans and commitments	1 531 932	297 457	98 034	600 523	2 527 947

1) Represents shipping loans and commitments.

Based on the customer's address.

Note 8 Impaired loans and guarantees for principal customer groups ^{1) 2)}

Amounts in NOK million	Gross impaired loans and guarantees		Total individual impairment		DNB Bank ASA Net impaired loans and guarantees	
	31 Dec.	31 Dec.	31 Dec.	31 Dec.	31 Dec.	31 Dec.
	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Private individuals	1 871	1 833	(797)	(712)	1 074	1 121
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	3 517	2 454	(1 436)	(1 075)	2 081	1 379
Real estate	1 787	1 792	(584)	(656)	1 223	1 137
Manufacturing	3 596	1 298	(1 181)	(689)	2 405	609
Services	1 453	851	(682)	(528)	771	323
Trade	1 099	747	(370)	(362)	728	385
Oil and gas	4 368		(744)		3 625	
Transportation and communication	3 341	799	(1 203)	(311)	2 138	488
Building and construction	1 178	586	(468)	(252)	691	333
Power and water supply	23	389	(13)	(75)	10	314
Seafood	61	13	(16)	(8)	44	5
Hotels and restaurants	49	54	(22)	(17)	27	36
Agriculture and forestry	50	112	(28)	(44)	22	67
Central and local government	0	11		(5)	0	7
Other sectors	6	99	(2)	(81)	4	19
Total customers	22 389	11 038	(7 547)	(4 815)	14 843	6 223
Credit institutions						
Total impaired loans and guarantees	22 389	11 038	(7 547)	(4 815)	14 843	6 223
Non-performing loans and guarantees not subject to impairment	1 953	1 582			1 953	1 582
Total non-performing and impaired loans and guarantees	24 342	12 619	(7 547)	(4 815)	16 796	7 804

Amounts in NOK million	Gross impaired loans and guarantees		Total individual impairment		DNB Bank Group Net impaired loans and guarantees	
	31 Dec.	31 Dec.	31 Dec.	31 Dec.	31 Dec.	31 Dec.
	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Private individuals	3 898	4 502	(1 617)	(1 841)	2 281	2 661
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	4 995	3 685	(2 247)	(1 620)	2 748	2 065
Real estate	2 780	3 716	(934)	(1 426)	1 826	2 289
Manufacturing	5 800	2 643	(1 814)	(1 113)	3 986	1 530
Services	1 508	952	(712)	(593)	797	359
Trade	1 255	977	(465)	(502)	790	476
Oil and gas	4 368		(744)		3 625	
Transportation and communication	5 528	1 825	(1 623)	(726)	3 905	1 099
Building and construction	1 446	1 020	(697)	(550)	749	470
Power and water supply	539	394	(154)	(77)	386	317
Seafood	61	13	(16)	(8)	44	5
Hotels and restaurants	104	167	(43)	(49)	61	118
Agriculture and forestry	157	172	(50)	(63)	107	110
Central and local government	0	11	(0)	(5)	0	7
Other sectors	29	128	(10)	(92)	19	34
Total customers	32 450	20 184	(11 126)	(8 665)	21 323	11 519
Credit institutions						
Total impaired loans and guarantees	32 450	20 184	(11 126)	(8 665)	21 323	11 519
Non-performing loans and guarantees not subject to impairment	4 320	2 461			4 320	2 461
Total non-performing and impaired loans and guarantees	36 770	22 645	(11 126)	(8 665)	25 644	13 980

1) Includes loans and guarantees subject to individual impairment and total non-performing loans and guarantees not subject to impairment. The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2

2) The DNB Bank Group figure includes volumes in the Baltics, reclassified as assets held for sale in August 2016, of which net non-performing and net doubtful loans and guarantees totalled NOK 2 256 million at end-December.

Note 9 Impairment of loans and guarantees

Amounts in NOK million	2016			2015		
	Loans ¹⁾	Guarantees	Total	Loans ¹⁾	Guarantees	Total
Write-offs	(873)		(873)	(1 407)		(1 407)
New/increased individual impairment	(3 839)	(420)	(4 260)	(2 205)	(121)	(2 326)
Total new/increased individual impairment	(4 713)	(420)	(5 133)	(3 612)	(121)	(3 733)
Reassessed individual impairment previous years	540	74	614	590	82	672
Recoveries on loans and guarantees previously written off ²⁾	957		957	1 715		1 715
Net individual impairment	(3 216)	(346)	(3 562)	(1 306)	(40)	(1 346)
Changes in collective impairment of loans	(1 117)		(1 117)	(292)		(292)
Impairment of loans and guarantees	(4 333)	(346)	(4 679)	(1 599)	(40)	(1 638)
Write-offs covered by individual impairment made in previous years	1 278		1 278	2 463		2 463

Amounts in NOK million	2016			2015		
	Loans ¹⁾	Guarantees	Total	Loans ¹⁾	Guarantees	Total
Write-offs	(1 359)		(1 359)	(1 446)		(1 446)
New/increased individual impairment	(5 490)	(420)	(5 910)	(3 165)	(124)	(3 289)
Total new/increased individual impairment	(6 849)	(420)	(7 269)	(4 611)	(124)	(4 735)
Reassessed individual impairment	913	76	990	890	88	978
Recoveries on loans and guarantees previously written off ²⁾	999		999	1 742		1 742
Net individual impairment	(4 937)	(344)	(5 280)	(1 979)	(36)	(2 015)
Changes in collective impairment of loans	(2 144)		(2 144)	(255)		(255)
Impairment of loans and guarantees	(7 080)	(344)	(7 424)	(2 234)	(36)	(2 270)
Write-offs covered by individual impairment made in previous years	2 803		2 803	3 749	(0)	3 749

1) Including impairment of loans at fair value.

2) Recoveries in 2015 and 2016 largely reflected the effects of the agreement with Lindorff Capital AS on the sale of portfolios of non-performing loans in Norway.

Note 10 Impairment of loans and guarantees for principal customer groups

DNB Bank ASA								
Amounts in NOK million	2016				2015			
	New individual impairment	Reassessed individual impairment	Recoveries on loans and guarantees previously written off ¹⁾	Net impairment	New individual impairment	Reassessed individual impairment	Recoveries on loans and guarantees previously written off ¹⁾	Net impairment
Private individuals	(581)	32	910	361	(636)	46	1 622	1 032
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	(1 000)	52	12	(936)	(856)	117	1	(737)
Real estate	(144)	74	12	(57)	(237)	102	2	(132)
Manufacturing	(891)	123	1	(768)	(773)	117	12	(644)
Services	(338)	149	1	(187)	(145)	41	17	(87)
Trade	(128)	42	8	(78)	(219)	51	8	(160)
Oil and gas	(716)	0		(716)	(0)			(0)
Transportation and communication	(1 011)	16	3	(992)	(245)	53	24	(168)
Building and construction	(297)	42	2	(253)	(402)	71	25	(306)
Power and water supply	(2)	52	6	56	(60)	0	1	(58)
Seafood	(10)	1	0	(9)	(8)	49	0	41
Hotels and restaurants	(1)	5	1	5	(16)	7	1	(8)
Agriculture and forestry	(13)	24	0	11	(15)	17	2	5
Central and local government	(0)	0		(0)	(0)	0	0	(0)
Other sectors	(1)	0	0	(1)	(123)	1	0	(122)
Total customers	(5 133)	614	957	(3 562)	(3 733)	672	1 715	(1 346)
Credit institutions				(1 117)				(292)
Changes in collective impairment of loans				(1 117)				(292)
Impairment of loans and guarantees	(5 133)	614	957	(4 679)	(3 733)	672	1 715	(1 638)
Of which individual impairment of guarantees	(420)	74		(346)	(121)	82		(40)

DNB Bank Group								
Amounts in NOK million	2016				2015			
	New individual impairment	Reassessed individual impairment	Recoveries on loans and guarantees previously written off ¹⁾	Net impairment	New individual impairment	Reassessed individual impairment	Recoveries on loans and guarantees previously written off ¹⁾	Net impairment
Private individuals	(845)	210	942	308	(835)	188	1 642	995
Transportation by sea and pipelines and vessel construction	(1 565)	52	12	(1 491)	(1 027)	139	1	(886)
Real estate	(227)	180	14	(33)	(344)	140	3	(202)
Manufacturing	(1 258)	153	2	(1 104)	(892)	154	12	(716)
Services	(344)	158	5	(181)	(165)	64	19	(82)
Trade	(145)	53	10	(82)	(233)	69	10	(155)
Oil and gas	(819)	0		(819)	(0)			(0)
Transportation and communication	(1 554)	38	4	(1 512)	(588)	55	24	(509)
Building and construction	(325)	55	4	(266)	(422)	87	27	(308)
Power and water supply	(148)	52	6	(90)	(60)	1	1	(59)
Seafood	(10)	1	0	(9)	(8)	49	0	41
Hotels and restaurants	(7)	7	1	1	(21)	9	1	(10)
Agriculture and forestry	(30)	27	0	(3)	(27)	22	3	(2)
Central and local government	(0)	0		(0)	(0)	0	0	(0)
Other sectors	(2)	2	0	1	(124)	2	0	(121)
Total customers	(7 269)	890	999	(5 280)	(4 735)	978	1 742	(2 015)
Credit institutions				(2 144)				(255)
Changes in collective impairment of loans				(2 144)				(255)
Impairment of loans and guarantees	(7 269)	890	999	(7 424)	(4 735)	978	1 742	(2 270)
Of which individual impairment of guarantees	(420)	76		(344)	(124)	88		(36)

1) Recoveries in 2015 and 2016 largely reflected the effects of the agreement with Lindorff Capital AS on the sale of portfolios of non-performing loans in Norway.

The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

Note 11 Developments in impairment of loans and guarantees

DNB Bank ASA								
Amounts in NOK million	2016				2015			
	Loans to credit institutions	Loans to customers	Guarantees	Total	Loans to credit institutions	Loans to customers	Guarantees	Total
Impairment as at 1 January		(6 779)	(176)	(6 955)		(7 652)	(134)	(7 785)
New impairment		(2 833)	(403)	(3 236)		(1 550)	(121)	(1 671)
Increased impairment		(1 006)	(17)	(1 023)		(654)	0	(654)
Reassessed impairment		540	74	614		590	82	672
Write-offs covered by previous impairment		1 278		1 278		2 463		2 463
Changes in individual impairment of accrued interest and amortisation						39		39
Changes in collective impairment		(1 117)		(1 117)		(292)		(292)
Changes due to exchange rate movement		111	(4)	107		277	(3)	274
Impairment as at 31 December		(9 808)	(526)	(10 334)		(6 779)	(176)	(6 955)
Of which: Individual impairment		(6 646)	(526)	(7 173)		(4 639)	(176)	(4 815)
Individual impairment of accrued interest and amortisation		(374)		(374)		(430)		(430)
Collective impairment		(2 787)		(2 787)		(1 708)		(1 708)

DNB Bank Group								
Amounts in NOK million	2016				2015			
	Loans to credit institutions	Loans to customers	Guarantees	Total	Loans to credit institutions	Loans to customers	Guarantees	Total
Impairment as at 1 January		(11 664)	(181)	(11 845)	(1)	(12 464)	(143)	(12 608)
New impairment		(4 012)	(403)	(4 415)		(1 870)	(124)	(1 994)
Increased impairment		(1 478)	(17)	(1 495)		(1 295)	0	(1 295)
Reassessed impairment		913	76	990		890	88	978
Write-offs covered by previous impairment		2 803		2 803	1	3 748	0	3 749
Changes in individual impairment of accrued interest and amortisation						24		24
Changes in collective impairment		(2 144)		(2 144)		(255)		(255)
Baltics, reclassified as assets held for sale		1 649		1 649				
Changes due to exchange rate movement		392	(4)	388		(442)	(2)	(444)
Impairment as at 31 December		(13 541)	(529)	(14 070)		(11 664)	(181)	(11 845)
Of which: Individual impairment		(8 566)	(529)	(9 095)		(8 484)	(181)	(8 665)
Individual impairment of accrued interest and amortisation		(484)		(484)		(656)		(656)
Collective impairment		(4 481)		(4 481)		(2 524)		(2 524)

Note 12 Market risk

Conditions for calculating market risk

Market risk is the risk of losses or reduced future income due to fluctuations in market prices or exchange rates. The risk arises as a consequence of the bank's unhedged transactions and exposure in the foreign exchange, property, interest rate, commodity, credit and equity markets. The risk level reflects market price volatility and the positions taken.

The DNB Bank Group quantifies risk by calculating economic capital for individual risk categories and for the DNB Bank Group's overall risk, see note 4 Risk management. Economic capital for market risk should, at a confidence level of 99.97 per cent, cover all potential losses related to market risk. The model has a one-year time horizon. Exposure included in the model could be either actual exposure or limits and is a conservative estimate where the Group is assumed to be incorrectly positioned relative to market developments.

Economic capital for the risk categories is calculated on the basis of expected developments in the value of an asset class or risk factor. To estimate annual losses, the value of each underlying instrument is simulated over a period of one year. Subsequent to this, losses for each potential realisation period are estimated.

Economic capital for market risk in operations other than life insurance was NOK 6.9 billion at year-end 2016, on a level with a year earlier. Risk exposure for the various market risk categories was virtually unchanged compared with end-December 2015.

Note 13 Interest rate sensitivity

Interest rate sensitivity for different time intervals

The value of items on and off the balance sheet is affected by interest rate movements. The table shows potential losses for the DNB Bank Group excluding Baltics and Poland resulting from parallel one percentage point changes in all interest rates. The calculations are based on a hypothetical situation where interest rate movements in all currencies are unfavourable for the DNB Bank Group relative to the bank's positions. Also, all interest rate movements within the same interval will be unfavourable for the banking group. The figures will thus reflect maximum losses for the DNB Bank Group.

The calculations are based on the banking group's positions as at 31 December and market rates on the same date. The table does not include administrative interest rate risk and interest rate risk tied to non-interest-earning assets.

Amounts in NOK million	DNB Bank Group ¹⁾					
	Up to 1 month	From 1 months to 3 months	From 3 months to 1 year	From 1 year to 5 years	Over 5 years	Total
31 December 2016						
NOK	494	152	227	765	653	227
USD	91	14	357	19	82	179
EUR	72	3	32	2	20	22
GBP	2	38	11	6	1	55
SEK	15	6	36	33	22	28
Other currencies	8	15	35	9	16	55
31 December 2015						
NOK	374	35	246	545	420	218
USD	1	96	78	22	3	5
EUR	0	59	74	30	12	32
GBP	8	25	20	6	2	21
SEK	89	29	121	8	1	6
Other currencies	19	20	33	8	17	50

1) The figures do not include the operations in Baltics and Poland, and are for the rest identical for DNB Bank ASA.

Note 14 Currency positions

The table shows net currency positions as at 31 December, including financial derivatives as defined by Norges Bank. Net positions in individual currencies may represent up to 15 per cent of eligible primary capital. Aggregate currency positions must be within 30 per cent of eligible primary capital. Foreign exchange risk related to investments in subsidiaries is included in the currency position by the amount recorded in the accounts.

DNB Bank ASA			DNB Bank Group		
Net currency positions		Amounts in NOK million	Net currency positions		
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016		31 Dec. 2016	31 Dec. 2015	
884	1 071	USD	1 068	883	
(177)	(320)	EUR	(316)	(180)	
30	(17)	GBP	(16)	15	
(39)	20	SEK	19	(39)	
(46)	20	DKK	20	(45)	
2	14	CHF	14	2	
(10)	6	JPY	6	(10)	
125	121	Other	122	141	
769	914	Total foreign currencies	916	766	

Note 15 Financial derivatives

General information on application of financial derivatives

Financial derivatives are contracts stipulating financial values in the form of interest rate terms, exchange rates and the value of equity instruments for fixed periods of time. Corresponding contracts stipulating prices on commodities and indexes are also defined as financial derivatives. Derivatives include swaps, forward contracts and options as well as combinations thereof, including forward rate agreements (FRAs), financial futures and agreements on the transfer of securities. Financial derivatives in the DNB Bank Group are traded to manage liquidity and market risk arising from the banking group's ordinary operations. In addition, the banking group employs financial derivatives in its own account trading.

"Over the counter" (OTC) derivatives are contracts entered into outside an exchange. The contracts are tailor-made according to investor requirements with respect to the underlying object, quantity, price, expiration terms and maturity. The advantage of OTC derivatives is that customers are not limited to standardised contracts and can buy the precise position they wish. The disadvantage compared with the standardised market is that it can be difficult to find other contracting parties and to sell the contracts in the secondary market.

The following derivatives are employed for both trading and hedging purposes in the DNB Bank Group:

- **Forward contracts:** a contract to buy or sell interest rate terms, amounts in foreign currencies, shares or commodities on a specified future date at a fixed price. Forward contracts are tailor-made contracts traded between counterparties in the OTC market.
- **FRAs:** agreements that fix the interest rate for a future period for an agreed amount. When the contract matures, only the difference between the agreed interest rate and the actual market interest rate is exchanged.
- **Interest rate futures:** standardised contracts where the counterparties agree to exchange specific interest rate instruments at a fixed price on a specified date. The contracts are traded on an exchange. The value of interest rate futures follows the price trend on underlying interest rate instruments.
- **Swaps:** transactions where two parties exchange cash flows on a fixed amount over an agreed period. The majority of swaps are tailor-made and traded outside exchanges. The most important types of swaps traded by DNB are:
 - interest rate swaps in which fixed interest rates are exchanged for floating rates or floating rates are exchanged for fixed rates
 - cross-currency interest rate swaps in which parties exchange both currency and interest payments
 - equity swaps in which interest rate returns are exchanged for equity returns
- **Options:** agreements giving the buyer the right, but not the obligation, to either buy (call option) or sell (put option) a specific quantity of a financial instrument or commodity at a predetermined and fixed price. The buyer pays a premium to the seller for this right. Options are traded both as OTCs (tailor-made) and as standardised contracts.

Note 15 Financial derivatives (continued)

The tables show nominal values on financial derivatives according to type of derivative as well as positive and negative market values. Positive market values are entered as assets in the balance sheet, whereas negative market values are entered as liabilities. See note 1 Accounting principles for a more detailed description of measurement of financial derivatives.

	31 December 2016			31 December 2015		
	Total nominal values	Positive market value	Negative market value	Total nominal values	Positive market value	Negative market value
<i>Amounts in NOK million</i>						
Interest rate contracts						
FRA-contracts	868 943	415	363	2 379 037	1 310	1 282
Swaps	3 110 072	85 127	78 776	3 229 589	100 387	93 123
OTC options	46 508	757	725	42 729	441	634
Other OTC contracts				1 687	248	
Total interest rate contracts	4 025 522	86 299	79 864	5 653 042	102 386	96 039
Foreign exchange contracts						
Forward contracts	79 463	2 689	1 125	117 609	8 490	1 321
Swaps	1 699 372	41 217	60 058	2 208 817	47 976	99 501
OTC options	32 587	533	330	190 208	789	510
Total foreign exchange contracts	1 811 431	44 439	61 513	2 516 634	57 256	101 332
Equity-related contracts						
Forward contracts	2 057	2 156	1 528	7 896	1 586	375
OTC options	2 104	163	2	821	92	10
Total OTC derivatives	4 161	2 319	1 530	8 718	1 679	386
Futures	732		0	2 897	79	108
Options	4 573	106	77	2 795	39	67
Total exchange-traded contracts	5 305	106	77	5 693	118	174
Total equity-related contracts	9 466	2 425	1 607	14 410	1 797	560
Commodity-related contracts						
Swaps	30 682	3 542	2 738	28 485	5 542	5 375
Total commodity related contracts	30 682	3 542	2 738	28 485	5 542	5 375
Collateral pledged/received						
Total collateral pledged/received		33 612	36 072		46 817	38 211
Total financial derivatives	5 877 101	170 317	181 794	8 212 572	213 797	240 518
<i>Of which: Applied for hedge accounting</i>	<i>151 044</i>	<i>10 795</i>	<i>1 189</i>	<i>147 900</i>	<i>12 405</i>	<i>830</i>
- Interest rate swaps		10 033	541		11 610	323
- Cross-currency interest rate swaps		762	648		795	508

Note 15 Financial derivatives (continued)

	31 December 2016			31 December 2015		
	Total nominal values	Positive market value	Negative market value	Total nominal values	Positive market value	Negative market value
<i>Amounts in NOK million</i>						
Interest rate contracts						
FRA-contracts	868 943	415	363	2 379 037	1 310	1 282
Swaps	2 777 620	83 109	39 806	2 843 591	97 540	66 703
OTC options	45 882	757	725	42 465	447	634
Other OTC contracts				1 687	248	
Total interest rate contracts	3 692 446	84 280	40 894	5 265 781	99 545	68 618
Foreign exchange contracts						
Forward contracts	90 958	2 717	1 126	118 804	8 498	1 283
Swaps	1 349 007	30 891	48 470	1 822 098	40 285	40 376
OTC options	32 597	533	330	190 208	789	510
Total foreign exchange contracts	1 462 562	34 141	49 926	2 131 110	49 572	42 170
Equity-related contracts						
Forward contracts	2 057	2 156	1 528	7 896	1 586	375
OTC options	2 104	163	2	821	92	10
Total OTC derivatives	4 161	2 319	1 530	8 718	1 679	386
Futures	732		0	2 897	79	108
Options	4 573	106	77	2 795	39	67
Total exchange-traded contracts	5 305	106	77	5 693	118	174
Total equity-related contracts	9 466	2 425	1 607	14 410	1 797	560
Commodity-related contracts						
Swaps	30 473	3 541	2 707	28 486	5 542	5 375
Total commodity related contracts	30 473	3 541	2 707	28 486	5 542	5 375
Collateral pledged/received						
Total collateral pledged/received		33 570	35 756		48 817	38 155
Total financial derivatives	5 194 946	157 957	130 990	7 440 787	203 273	154 878
<i>Of which:</i>						
Applied for hedge accounting	453 134	33 038	2 195	479 261	37 408	834
- Interest rate swaps		32 275	1 546		36 613	327
- Cross-currency interest rate swaps		762	648		795	508

Use of financial derivatives in Markets

Markets acts as market maker and is obliged to furnish both offer and bid prices for specified option, forward or futures series with a maximum differential between the offer and bid price, together with a minimum volume. Market makers always trade for their own account. The purpose of own account trading, in addition to being a market maker, is position taking, which means intentional risk-taking within the foreign exchange, interest rate and equity markets to achieve profits arising from favourable price, exchange rate and index fluctuations. Arbitrage, that is profit taking from fluctuations in prices, exchange rates and indices for the same product in various markets, is also part of own-account trading.

Customer trading entails structuring and marketing financial derivatives for customers, enabling them to transfer, modify, take or reduce prevailing or expected risk. The majority of derivative transactions relate to customer trading.

The DNB Bank Group uses interest rate and currency swaps to convert foreign currency borrowings into the desired currency. As a typical example, the bank raises a loan in euro, which is swapped to US dollars through a basis swap. In this case, the bank will pay a US dollar interest rate based on a swap curve and receive a euro interest rate reduced or increased by a margin. These derivatives are carried at fair value. There may be significant variations in the value of the basis swaps from day to day, due to changes in basis swap spreads. This unhedged risk causes unrealised gains and losses. For the year 2016, there was a NOK 542 million decrease in value (negative effect on profits), compared with a NOK 2 685 million increase in value in 2015.

Use of financial derivatives in DNB Boligkreditt

The purpose of employing financial derivatives in DNB Boligkreditt is to uncover and reduce foreign exchange and interest rate risk.

Risk related to financial derivatives

Derivatives are traded in portfolios which also include balance sheet products. The market risk on derivatives is handled, monitored and controlled as an integral part of the market risk of these portfolios. See notes 4 Risk management and 12 Market risk. Derivatives are traded with many different counterparties and most of these are also engaged in other types of business with DNB. The credit risk arising in connection with derivatives trading is included in the total credit risk of the DNB Bank Group. Netting agreements or bilateral agreements on collateral are entered into with a number of counterparties, thus reducing credit risk. The authorities' capital adequacy requirements take into account such agreements, resulting in a reduction of capital adequacy requirements. See note 5 Credit risk for a description of counter-party risk.

Note 16 Liquidity risk

Liquidity risk is the risk that the DNB Bank Group will be unable to meet its payment obligations. Overall liquidity management in the banking group implies that DNB Bank ASA is responsible for funding domestic and international group entities. Liquidity risk is managed and measured by means of various measurement techniques.

The Board of Directors has approved internal limits which restrict the short-term maturity of liabilities within different time frames. The various maturities are subject to stress testing based on a bank-specific crisis, a systemic crisis and a combination thereof, and a contingency plan has been established to handle market events. In addition, limits have been set for structural liquidity risk, which implies that lending to customers should largely be financed through customer deposits, subordinated capital and long-term funding. Ordinary senior bond debt and covered bonds are the major sources of long-term funding. The banking group's ratio of deposits to net loans was 63.4 per cent at end-December 2016, up from 62.5 per cent a year earlier. The ratio of deposits to net loans in DNB Bank ASA was 133.4 per cent at end-December 2016.

Throughout 2016, the short-term funding markets were characterised by uncertainty related to the effects of new regulatory reforms for US money market funds. The limited availability of longer maturities in combination with increased demand led to wider spreads. DNB had ample access to short-term funding throughout the year.

The long-term funding markets were characterised by regulatory and political uncertainty in 2016. Concerns related to the Chinese economy and a weaker growth outlook for European banks led to higher spreads and lower activity at the beginning of the year. Spreads were markedly reduced after the European Central Bank meeting in March, where, among other things, the asset purchase programme was further expanded. The level of activity declined towards the summer as the EU referendum in the UK was approaching. After the vote markets normalised and spreads decreased. The activity level was once again down ahead of the US presidential election, but increased markedly afterwards. Concerns related to a potential reduction in the ECB's asset purchase programme resulted in wider spreads towards the end of the year.

The short-term liquidity requirement, Liquidity Coverage Ratio (LCR), remained stable at above 100 per cent throughout the quarter. At end-December, the total LCR was 138 per cent, with an LCR of 562 per cent for EUR, 190 per cent for USD and 59 per cent for NOK.

The average remaining term to maturity for the portfolio of senior bond debt and covered bonds was 3.9 years at end-December 2016, up from 3.8 a year earlier. The DNB Group aims to maintain a sound and stable maturity structure for funding over the next five years.

Note 16 Liquidity risk (continued)

Residual maturity as at 31 December 2016 ¹⁾

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Up to 1 month	From 1 month to 3 months	From 3 months to 1 year	From 1 year to 5 years	Over 5 years	No fixed maturity	Total
Assets							
Cash and deposits with central banks	207 923		11				207 934
Due from credit institutions	203 711	79 263	18 369	240 115	7 567		549 024
Loans to customers	159 952	81 835	61 872	199 950	189 983	(2 787)	690 805
Commercial paper and bonds at fair value	4 242	10 100	36 264	152 121	21 035		223 762
Commercial paper and bonds, held to maturity				928	11 831		12 760
Shareholdings						124 408	124 408
Other assets		3 217					3 217
Total	575 828	174 416	116 515	593 113	230 416	121 619	1 811 908
Liabilities							
Due to credit institutions	223 275	49 225	41 800	24 402	2		338 705
Deposits from customers	920 557						920 557
Debt securities issued	61 024	63 692	64 251	121 902	18 499		329 368
Other liabilities etc.	1 574	3 602	264				5 440
Subordinated loan capital		10 898		17 467	738		29 102
Total	1 206 430	127 417	106 315	163 771	19 239		1 623 172
Financial derivatives							
Financial derivatives, gross settlement							
Incoming cash flows	477 590	228 576	289 363	574 751	342 803		1 913 083
Outgoing cash flows	473 816	230 783	285 192	586 500	356 709		1 933 001
Financial derivatives, net settlement	187	1 474	(911)	4 190	805		5 745
Total financial derivatives	3 961	(733)	3 260	(7 559)	(13 101)		(14 173)

Residual maturity as at 31 December 2015 ¹⁾

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Up to 1 month	From 1 month to 3 months	From 3 months to 1 year	From 1 year to 5 years	Over 5 years	No fixed maturity	Total
Assets							
Cash and deposits with central banks	16 004						16 004
Due from credit institutions	292 982	138 231	19 957	173 712	5 788		630 671
Loans to customers	160 149	74 634	71 842	203 984	197 268	(1 709)	706 177
Commercial paper and bonds at fair value	3 009	6 424	24 005	142 556	33 723		209 718
Commercial paper and bonds, held to maturity				1 695	17 467		19 162
Shareholdings						130 394	130 394
Other assets		3 056					3 056
Total	472 145	222 345	115 805	521 958	254 245	128 684	1 715 182
Liabilities							
Due to credit institutions	181 533	32 489	8 142	39 677	474		262 315
Deposits from customers	896 223						896 223
Debt securities issued	38 731	100 979	37 241	153 822	65		330 838
Other liabilities etc.	805	3 471	228				4 504
Subordinated loan capital				29 721	731		30 452
Total	1 117 291	136 940	45 611	223 220	1 270		1 524 332
Financial derivatives							
Financial derivatives, gross settlement							
Incoming cash flows	676 382	455 976	347 524	619 816	378 367		2 478 075
Outgoing cash flows	674 056	454 792	347 929	645 953	397 510		2 520 240
Financial derivatives, net settlement	536	1 141		3 798	2 109		7 584
Total financial derivatives	2 872	2 325	(405)	(22 339)	(17 033)		(34 581)

¹⁾ Nominal future interest payments in excess of accrued interest are not included on the balance sheet date.

Credit lines, commitments and documentary credit

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Unutilised credit lines etc. under 1 year	323 827	301 537
Unutilised credit lines etc. over 1 year	97 495	115 958

Note 16 Liquidity risk (continued)

Residual maturity as at 31 December 2016 ¹⁾

Amounts in NOK million	DNB Bank Group						Total
	Up to 1 month	From 1 month to 3 months	From 3 months to 1 year	From 1 year to 5 years	Over 5 years	No fixed maturity	
Assets							
Cash and deposits with central banks	208 262		11				208 263
Due from credit institutions	120 011	42 484	5 270	7 116			174 881
Loans to customers	180 074	92 243	79 533	321 266	824 516	(4 481)	1 493 151
Commercial paper and bonds at fair value	5 225	9 087	32 070	151 198	20 676		218 257
Commercial paper and bonds, held to maturity				928	11 831		12 760
Shareholdings						9 770	9 770
Other assets		3 217					3 217
Total	513 563	147 031	116 884	480 508	857 024	5 289	2 120 300
Liabilities							
Due to credit institutions	137 015	23 535	22 922	28 125			211 597
Deposits from customers	945 587						945 587
Debt securities issued	73 913	61 785	104 186	401 819	99 232		740 915
Other liabilities etc.	1 574	3 890	275				5 739
Subordinated loan capital		10 888		17 467	738		29 102
Total	1 158 089	100 088	127 383	447 410	99 969		1 932 940
Financial derivatives							
Financial derivatives, gross settlement							
Incoming cash flows	458 963	224 167	247 951	388 303	231 798		1 551 182
Outgoing cash flows	456 644	226 589	248 396	404 368	238 077		1 574 076
Financial derivatives, net settlement	1 074	2 357	3 434	20 229	9 296		36 390
Total financial derivatives	3 393	(65)	2 989	4 164	3 017		13 496

Residual maturity as at 31 December 2015 ¹⁾

Amounts in NOK million	DNB Bank Group						Total
	Up to 1 month	From 1 month to 3 months	From 3 months to 1 year	From 1 year to 5 years	Over 5 years	No fixed maturity	
Assets							
Cash and deposits with central banks	19 317						19 317
Due from credit institutions	184 533	102 938	4 244	2 046	3 713		297 473
Loans to customers	182 780	104 616	99 621	335 774	811 837	(2 524)	1 532 104
Commercial paper and bonds at fair value	1 609	6 425	24 628	140 115	33 853		206 629
Commercial paper and bonds, held to maturity				1 695	17 467		19 162
Shareholdings						14 140	14 140
Other assets		3 056					3 056
Total	388 239	217 035	128 493	479 630	866 870	11 616	2 091 891
Liabilities							
Due to credit institutions	123 608	21 489	678	15 447	37		161 257
Deposits from customers	957 059						957 059
Debt securities issued	59 201	123 809	71 670	434 533	86 114		775 326
Other liabilities etc.	805	3 955	228				4 988
Subordinated loan capital				29 722	731		30 453
Total	1 140 671	149 253	72 576	479 702	86 882		1 929 094
Financial derivatives							
Financial derivatives, gross settlement							
Incoming cash flows	653 849	432 276	313 975	437 103	275 019		2 112 222
Outgoing cash flows	650 951	430 079	314 828	449 945	276 924		2 122 727
Financial derivatives, net settlement	1 797	2 195	3 607	21 652	12 437		41 687
Total financial derivatives	4 694	4 393	2 754	8 810	10 531		31 182

1) Nominal future interest payments in excess of accrued interest are not included.

Credit lines, commitments and documentary credit

Amounts in NOK million	DNB Bank Group	
	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Unutilised credit lines etc. under 1 year	390 001	360 109
Unutilised credit lines etc. over 1 year	216 295	244 267

Note 17 Net interest income

Amounts in NOK million	2016			2015		
	Recorded at fair value	Recorded at amortised cost ¹⁾	Total	Recorded at fair value	Recorded at amortised cost ¹⁾	Total
Interest on amounts due from credit institutions	2 074	1 804	3 879	2 084	1 754	3 838
Interest on loans to customers	730	22 657	23 387	971	25 004	25 975
Interest on impaired loans and guarantees	10	612	622	17	441	458
Interest on commercial paper and bonds at fair value	4 457		4 457	4 801		4 801
Interest on commercial paper and bonds, held to maturity		173	173		314	314
Front-end fees etc.	1	259	260	3	290	293
Other interest income	(2 331)	4 715	2 385	(1 919)	4 526	2 606
Total interest income	4 942	30 221	35 163	5 957	32 329	38 287
Interest on amounts due to credit institutions	(1 958)	(180)	(2 138)	(1 372)	(187)	(1 559)
Interest on deposits from customers	(567)	(5 805)	(6 373)	(497)	(8 786)	(9 283)
Interest on debt securities issued	(1 822)	(1 860)	(3 683)	(1 473)	(1 601)	(3 075)
Interest on subordinated loan capital	(35)	(493)	(528)	(38)	(530)	(568)
Guarantee fund levy		(638)	(638)		(675)	(675)
Other interest expenses ²⁾	2 385	(581)	1 804	1 449	(353)	1 096
Total interest expenses	(1 997)	(9 558)	(11 555)	(1 932)	(12 149)	(14 072)
Net interest income	2 944	20 663	23 608	4 026	20 180	24 215

Amounts in NOK million	2016			2015		
	Recorded at fair value	Recorded at amortised cost ¹⁾	Total	Recorded at fair value	Recorded at amortised cost ¹⁾	Total
Interest on amounts due from credit institutions	1 105	234	1 339	1 294	314	1 608
Interest on loans to customers	2 556	42 179	44 735	3 595	45 442	49 037
Interest on impaired loans and guarantees		911	911		619	619
Interest on commercial paper and bonds at fair value	4 405		4 405	4 291		4 291
Interest on commercial paper and bonds, held to maturity		173	173		314	314
Front-end fees etc.	5	289	294	15	323	337
Other interest income	(2 327)	3 356	1 029	(1 945)	3 532	1 587
Total interest income	5 744	47 142	52 887	7 249	50 544	57 793
Interest on amounts due to credit institutions	(1 542)	(163)	(1 705)	(1 177)	(188)	(1 365)
Interest on deposits from customers	(567)	(8 135)	(8 703)	(497)	(8 986)	(9 483)
Interest on debt securities issued	(3 502)	(8 983)	(12 385)	(3 174)	(9 635)	(12 809)
Interest on subordinated loan capital	(35)	(498)	(533)	(38)	(531)	(569)
Guarantee fund levy		(768)	(768)		(845)	(845)
Other interest expenses ²⁾	3 893	(171)	3 722	3 112	(298)	2 814
Total interest expenses	(1 753)	(16 616)	(18 369)	(1 775)	(20 484)	(22 258)
Net interest income	3 991	30 526	34 517	5 475	30 060	35 535

1) Includes hedged items.

2) Other interest expenses include interest rate adjustments resulting from interest rate swaps. Derivatives are recorded at fair value.

Note 18 Interest rates on selected balance sheet items

	Average interest rate in per cent ¹⁾		DNB Bank ASA Average volume in NOK million	
	2016	2015	2016	2015
Assets				
Due from credit institutions	0.42	0.41	926 268	934 924
Loans to customers	3.48	3.68	690 265	719 069
Commercial paper and bonds	2.04	2.13	217 986	225 268
Liabilities				
Due to credit institutions	0.54	0.38	392 710	407 055
Deposits from customers	0.84	0.92	995 959	1 007 870
Securities issued	0.96	0.77	383 150	388 935

	Average interest rate in per cent ¹⁾		DNB Bank Group Average volume in NOK million	
	2016	2015	2016	2015
Assets				
Due from credit institutions	0.23	0.25	579 604	647 358
Loans to customers	3.01	3.31	1 514 319	1 501 783
Commercial paper and bonds	2.04	2.14	216 417	200 587
Liabilities				
Due to credit institutions	0.60	0.41	284 899	331 697
Deposits from customers	0.84	0.89	1 044 615	1 062 719
Securities issued	1.48	1.51	834 669	847 755

1) Average interest rate in per cent is calculated as total interest in NOK for the specific products in relation to the appurtenant average capital.

Note 19 Net commission and fee income

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2015	2016	Amounts in NOK million	2016	2015
3 378	3 451	Money transfers	3 731	3 596
294	342	Asset management services	406	351
348	319	Custodial services	344	363
425	573	Securities broking	616	482
289	575	Corporate finance	767	609
29	23	Interbank fees	23	29
625	494	Credit broking	491	781
366	372	Sales of insurance products	397	382
		Real estate broking	1 121	1 220
468	589	Other commissions and fees	732	870
6 220	6 739	Total commission and fee income	8 628	8 694
(1 636)	(1 754)	Money transfers	(1 795)	(1 670)
	(15)	Asset management services	(15)	
(172)	(170)	Custodial services	(172)	(174)
(115)	(173)	Securities broking	(176)	(119)
(56)	(73)	Corporate finance	(73)	(56)
(61)	(57)	Interbank fees	(57)	(61)
(83)	(87)	Credit broking	(26)	(27)
(96)	(114)	Sale of insurance products	(114)	(96)
(459)	(481)	Other commissions and fees	(567)	(537)
(2 678)	(2 924)	Total commission and fee expenses	(2 994)	(2 737)
3 544	3 815	Net commission and fee income	5 634	5 956

Note 20 Net gains on financial instruments at fair value

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2015	2016	Amounts in NOK million	2016	2015
5 148	6 231	Foreign exchange and financial derivatives	7 897	8 169
(1 543)	(1 112)	Commercial paper and bonds	(1 185)	(1 552)
52	440	Shareholdings	440	52
56	52	Other financial assets	55	36
140	47	Financial liabilities	71	164
3 853	7 658	Net gains on financial instruments, trading	7 278	6 868
(214)	74	Loans at fair value	(465)	(894)
(1 304)	(568)	Commercial paper and bonds	(628)	(1 021)
(242)	761	Shareholdings	(79)	(90)
477	36	Financial liabilities	52	1 837
(1 282)	302	Net gains on financial instruments, designated as at fair value	(1 121)	(168)
(3 255)	(2 788)	Financial derivatives, hedging	(4 245)	(8 055)
0	0	Financial assets, hedged items	(1)	(2)
3 637	2 985	Financial liabilities, hedged items	3 867	9 029
382	196	Net gains on hedged items ¹⁾²⁾	(380)	972
864	554	Financial guarantees	595	876
147	124	Dividends	133	156
3 964	8 834	Net gains on financial instruments at fair value	6 566	8 704

1) With respect to hedged liabilities, the hedged risk is recorded at fair value, while the rest of the instrument is recorded at amortized cost. Derivatives used for hedging are recorded at fair value. Changes in fair value arising from hedged risk are presented under Financial derivatives, hedging. Net gains on hedged financial liabilities include amortization of fair values on discontinued hedging relationships.

2) The DNB Group uses hedge accounting for long-term borrowings in foreign currency in DNB Boligkredit and DNB Bank ASA. Loans are hedged 1:1 through external contracts where there is a correlation between currencies, interest rate flows and the hedging instrument. At the time the loans are raised, Markets considers whether to enter into a hedging transaction for the relevant loan based on the Group's foreign currency positions and the underlying interest rate exposure for the loan.

Note 21 Salaries and other personnel expenses

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2015	2016	Amounts in NOK million	2016	2015
(6 175)	(6 138)	Salaries ¹⁾	(7 622)	(7 660)
(901)	(968)	Employer's national insurance contributions	(1 190)	(1 124)
823	(872)	Pension expenses ¹⁾	(968)	770
(345)	(656)	Restructuring expenses	(693)	(352)
(647)	(614)	Other personnel expenses	(733)	(775)
(7 245)	(9 248)	Total salaries and other personnel expenses	(11 206)	(9 140)
(5 269)	(5 206)	¹⁾ Of which: Ordinary salaries	(6 197)	(6 207)
(737)	(785)	Performance-based pay	(1 275)	(1 281)

1) In the fourth quarter of 2015 DNB decided to change the Bank Group's pension scheme from a defined-benefit to a defined-contribution scheme with effect from December 2015. The change included the majority of its employees in Norway who were members of the Bank Group's closed defined-benefit scheme. The change resulted in a one-time effect of NOK 1 808 million and 1 778 for the Bank Group and DNB Bank ASA respectively which reduced the periods pension cost.

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2015	2015 ¹⁾	Number of employees/full-time positions	2015 ¹⁾	2015
7 898	7 618	Number of employees as at 31 December	10 801	11 047
868	998	- of which number of employees abroad	3 205	3 122
7 548	7 301	Number of employees calculated on a full-time basis as at 31 December	10 368	10 608
850	980	- of which number of employees calculated on a full-time basis abroad	3 166	3 079
7 943	7 674	Average number of employees	10 793	11 130
7 583	7 356	Average number of employees calculated on a full-time basis	10 372	10 707

1) The reduction in number of employees and number of employees calculated on a full-time basis from 2015 reflects restructuring measures in the banking group. 1 796 employees in the Baltics were included at end-December 2016 in the Bank Group.

Note 22 Other expenses

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2015	2016	Amounts in NOK million	2016	2015
(1 370)	(1 474)	Fees ¹⁾	(1 575)	(1 497)
(2 184)	(1 896)	IT expenses	(2 097)	(2 397)
(223)	(179)	Postage and telecommunications	(222)	(268)
(36)	(25)	Office supplies	(74)	(87)
(589)	(567)	Marketing and public relations	(804)	(845)
(210)	(173)	Travel expenses	(225)	(271)
(174)	(198)	Reimbursement to Norway Post for transactions executed	(198)	(174)
(80)	(49)	Training expenses	(61)	(72)
(1 165)	(1 112)	Operating expenses on properties and premises ²⁾	(1 295)	(1 365)
(67)	(63)	Operating expenses on machinery, vehicles and office equipment	(92)	(100)
(513)	(391)	Other operating expenses	(585)	(817)
(6 591)	(6 118)	Total other expenses	(7 207)	(7 892)

1) Systems development fees totalled NOK 1 038 million for DNB Bank ASA and NOK 1 037 million for the DNB Bank Group in 2016, compared with NOK 990 million and NOK 990 million, respectively, in 2015.

2) Costs relating to leased premises were NOK 953 million and NOK 1 020 million respectively for DNB Bank ASA and the DNB Bank Group in 2016, compared with NOK 983 million and NOK 1 042 million in 2015.

Note 23 Depreciation and impairment of fixed and intangible assets

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2015	2016	Amounts in NOK million	2016	2015
(1 418)	(1 447)	Depreciation of machinery, vehicles and office equipment	(1 477)	(1 453)
(375)	(335)	Other depreciation of tangible and intangible assets	(470)	(522)
(68)	(11)	Impairment of capitalised systems development	(11)	(66)
		Impairment losses for goodwill	(5)	
(176)	(258)	Other impairment of fixed and intangible assets	(140)	(119)
(2 035)	(2 050)	Total depreciation and impairment of fixed and intangible assets	(2 103)	(2 159)

See note 37 Intangible assets and note 38 Fixed assets.

Note 24 Pensions

Description of the pension schemes

The DNB Bank Group has a defined-contribution pension scheme for all employees in Norway, with the exception of around 400 employees from the former Postbanken who are covered by a closed group pension plan in the Norwegian Public Service Pension Fund.

The contribution rates are:

- Salary representing 0-7.1 times the National Insurance basic amount, G: 7 per cent
- Salary representing 7.1-12 times G: 15 per cent
- The Group has no defined-contribution pension scheme for salaries exceeding 12G (apart from the closed scheme)

The employees who were enrolled in the former defined-benefit occupational pension scheme (terminated on 31 December 2015) are also covered by a compensation scheme that is structured as a supplementary, contribution-based direct pension scheme. Based on the terms and conditions approved at the time of conversion, the savings plan in the compensation scheme aims to give the individual employee a total pension capital when reaching the age of 67 corresponding to what he or she would have received if the defined-benefit pension scheme had been retained.

The Group also has commitments to some employees related to salaries exceeding 12G and early retirement agreements. This pension scheme was closed for employees who joined the Group after 30 June 2008. Further restrictions were introduced as at 30 April 2011. Those who did not have salaries exceeding 12G on that date will not be encompassed by the scheme even if their salaries exceed 12G at a later date.

With effect from 1 January 2017, pension commitments related to salaries exceeding 12G and early retirement agreements have been converted to defined-contribution schemes according to the same principles and conditions that applied in connection with the conversion of the former defined-benefit occupational pension scheme.

Based on the terms and conditions approved at the time of conversion, the savings plan in the new schemes aim to give the individual employee a total pension capital when reaching the age of 67, or at another agreed age, corresponding to what he or she would have received if the defined-benefit pension scheme had been retained. The new defined-contribution pension commitments related to salaries exceeding 12G and early retirement agreements are funded through operations.

The DNB Bank Group has a disability pension scheme for all employees in Norway. The disability pension scheme is adapted to the new disability pension from the National Insurance Scheme and represents:

- 3 per cent of pensionable income up to 12G
- 25 per cent of G, maximum 6 per cent of pensionable income, up to 12G
- 66 per cent of pensionable income in the interval between 6G and 12G

The Norwegian companies in the Group are part of the contractual pension (CPA) scheme for the private sector. In addition, the Group has an agreement on contractual pensions according to public sector rules for employees who are members of the Public Service Pension Fund.

The private CPA scheme will be funded by an annual premium representing a percentage of salaries between 1 and 7.1G.

Employer's contributions are included in pension expenses and commitments.

Subsidiaries and branches outside Norway have separate schemes for their employees, mainly in the form of defined-contribution schemes. Pension expenses for employees outside Norway represented NOK 172 million.

Economic assumptions applied in calculating pension expenses and commitments:

Economic assumptions

Per cent	Expenses		DNB Bank Group Commitments	
	2016	2015	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Discount rate	2.70	2.40	2.60	2.70
Anticipated rise in salaries	2.50	2.75	2.50	2.50
Anticipated increase in basic amount	2.25	2.50	2.25	2.25
Anticipated rise in pensions	0.50	0.50	0.50	0.50
Anticipated CPA acceptance	Actual acceptance		Actual acceptance	
Demographic assumptions about mortality ¹⁾	K2013	K2013	K2013	K2013

1) The banking group's pension expenses and pension commitments are based on the mortality table K2013, best estimate, prepared by Finance Norway. K2013 is an updated calculation base for statistical mortality assumptions.

Note 24 Pensions (continued)

Pension expenses

Amounts in NOK million	2016			2015		
	Funded	Unfunded	Total	Funded	Unfunded	Total
Net present value of pension entitlements	(64)	(354)	(419)	(431)	(53)	(484)
Interest expenses on pension commitments	(97)	(42)	(139)	(366)	(38)	(404)
Calculated return on pension funds	89		89	283		283
Curtailment	31	185	216	1 778	6	1 785
Administrative expenses	(1)		(1)	(6)		(6)
Total defined benefit pension schemes	(42)	(211)	(252)	1 258	(84)	1 175
Contractual pensions, new scheme			(84)			(92)
Risk coverage premium			(42)			(68)
Defined contribution pension schemes			(495)			(192)
Net pension expenses			(873)			822

Pension expenses

Amounts in NOK million	2016			2015		
	Funded	Unfunded	Total	Funded	Unfunded	Total
Net present value of pension entitlements	(65)	(368)	(432)	(461)	(54)	(515)
Interest expenses on pension commitments	(98)	(43)	(141)	(377)	(39)	(416)
Calculated return on pension funds	90	(1)	89	294		294
Curtailment	32	188	220	1 808		1 808
Administrative expenses	(1)		(1)	(6)		(6)
Total defined benefit pension schemes	(42)	(223)	(265)	1 258	(93)	1 164
Contractual pensions, new scheme			(88)			(100)
Risk coverage premium			(45)			(75)
Defined contribution pension schemes			(590)			(219)
Net pension expenses			(968)			770

DNB Bank ASA

2015	2016	Pension commitments	DNB Bank Group	
Amounts in NOK million		2016	2015	
16 463	4 991	Opening balance	5 074	16 992
484	419	Accumulated pension entitlements	432	515
404	139	Interest expenses	141	416
(859)	209	Actuarial losses/(gains), net	216	(867)
(10 925)	(329)	Curtailment	(344)	(11 381)
(733)	(236)	Pension payments	(242)	(753)
158	(155)	Exchange rate differences	(157)	162
4 991	5 038	Closing balance	5 119	5 074

Pension funds

2015	2016	Amounts in NOK million	2016	2015
11 150	2 798	Opening balance	2 826	11 557
283	89	Expected return	91	294
(10)	(4)	Actuarial gains/(losses), net	(15)	(26)
(9 140)	(113)	Curtailments	(124)	(9 573)
	(62)	Excess pension funds that cannot be carried forward	(62)	
877	96	Premium paid	110	940
(494)	(114)	Pension payments	(115)	(501)
(6)	(1)	Administrative expenses	(1)	(6)
137	(106)	Exchange rate differences	(107)	142
2 798	2 584	Closing balance	2 603	2 826
2 193	2 454	Net defined benefit obligation	2 516	2 248
2 246	2 454	Of which: Recorded defined benefit pension commitments	2 516	2 301
53		Recorded defined benefit pension assets		53

Note 24 Pensions (continued)

DNB Bank ASA			Effects recorded in other comprehensive income	DNB Bank Group		
Funded	Unfunded	Total	Amounts in NOK million	Funded	Unfunded	Total
712	(45)	667	Actuarial losses/(gains) 31 December 2015	744	(50)	694
5	11	15	Remeasurement - changes in discount rate	5	13	18
110	(553)	(443)	Remeasurement - changes in other economic assumptions, pension commitments	110	(573)	(463)
28	607	635	Remeasurement - changes in other factors, pension commitments	31	628	659
82		82	Remeasurement - changes in other economic assumptions, pension funds	82		82
(82)		(82)	Remeasurement - changes in other factors, pension funds	(72)		(72)
6		6	Investment management costs	7		7
149	64	213	Total remeasurement losses/(gains) in other comprehensive income	163	67	231
	(8)	(8)	Defined benefit pension scheme discontinued		(22)	(22)
861	11	872	Actuarial losses/(gains) 31 December 2016	907	(4)	903

Past developments

			DNB Bank Group			
Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015	31 Dec. 2014	31 Dec. 2013	31 Dec. 2012	1 Jan. 2012
Gross pension commitments ¹⁾	(5 119)	(5 074)	(16 982)	(13 991)	(13 400)	(16 312)
Gross pension funds	2 603	2 826	11 557	10 339	9 959	9 362
Commitments not recorded in the accounts						
Net recorded pension commitments	(2 516)	(2 248)	(5 425)	(3 652)	(3 442)	(6 950)

1) Gross pension commitments include employer's national insurance contributions and financial activities tax.

Sensitivity analyses for pension calculations

The following estimates are based on facts and conditions prevailing on 31 December 2016, assuming that all other parameters are constant. Actual results may deviate significantly from these estimates.

			DNB Bank Group					
Change in percentage points	+1%	Discount rate -1%	Annual rise in salaries/ basic amount +1%	-1%	Annual rise in pensions 0% reg.	+1%	Life expectancy +1 year	-1 year
Percentage change in pensions								
Pension commitments	7-16	15-17	6-8	6-9	10-11	5-8	2	2
Net pension expenses for the period	10-20	22-23	13-15	10-11	10-11	5-8	2	2

Pension commitments are particularly susceptible to changes in the discount rate. A reduction in the discount rate will, as an isolated factor, result in an increase in pension commitments. A one percentage point reduction in the discount rate will cause an increase in pension commitments in the order of 15 to 17 per cent and an increase in pension costs of 22 to 23 per cent. Higher salary increases and adjustments in pensions will also cause a rise in pension commitments and pension expenses.

Note 25 Taxes

DNB Bank ASA		Tax expense on pre-tax operating profit	DNB Bank Group	
2015	2016	Amounts in NOK million	2016	2015
(7 002)	(895)	Current taxes	(8 406)	(5 882)
3 550	(4 528)	Changes in deferred taxes	4 442	(1 873)
(3 452)	(5 223)	Tax expense	(3 964)	(7 755)
Reconciliation of tax expense against nominal tax rate				
Amounts in NOK million				
24 090	20 012	Pre-tax operating profit	21 874	31 028
(6 504)	(5 003)	Estimated tax expense at nominal tax rate 25 per cent (27 per cent in 2015)	(5 469)	(8 378)
(38)		Tax effect of different tax rates in other countries	10	(168)
162	357	Tax effect of debt interest distribution with international branches	357	162
3 370	(1 023)	Tax effect of tax-exempt income from shareholdings ¹⁾	509	184
119	451	Tax effect of other tax-exempt income and non-deductible expenses	352	(35)
		Tax effect of tax losses carried forward not recognised in the balance sheet ²⁾	123	32
(489)		Tax effect of changed tax rate for deferred taxes recognised in the balance sheet	18	511
(72)	(5)	Excess tax provision previous year	136	(63)
(3 452)	(5 223)	Tax expense	(3 964)	(7 755)
14%	26%	Effective tax rate	18%	25%
Income tax on other comprehensive income				
Amounts in NOK million				
(239)	48	Pensions	52	(236)
		Hedges of net investments	(1 449)	2 294
(239)	48	Total income tax on other comprehensive income	(1 397)	2 058

1) In Norway, a company's income from share investments is normally exempt from tax. As a rule, this applies to investments in companies domiciled in the EU/EEA. The tax exemption applies to both dividends and gains/ (losses) upon realisation. However, 3 per cent of dividends from tax-exempt investments is included in taxable income.

2) Deferred taxes for tax-deductible differences (mainly losses carried forward) in subsidiaries are not recognised in the balance sheet unless the Group can prove that these tax positions will be utilised in the future.

Tax effect of different tax rates in other countries

The Group has operations in a number of countries whose tax rates are different from that in Norway (25 per cent).

Tax effect of debt interest distribution with international branches

According to Norwegian tax legislation, external interest expenses shall be distributed proportionally among operations in Norway and international branches based on the respective units' total assets. This could result in additions or deductions from income in Norway.

Expectations regarding the effective tax rate

The nominal tax rate in Norway was 25 per cent in 2016. Business operations outside Norway are subject to local tax rates in their country of operation, and nominal tax rates range from 12 to 45 per cent. The effective taxation of operations outside Norway depends on both local tax rules and on whether it is possible to avoid double taxation. Tax-exempt income from share investments contributes to a lower expected tax rate than 25 per cent. In the longer term, the effective tax rate is expected to be approximately 23 per cent. In some periods, tax losses carried forward that are not recognised in the balance sheet have caused variations in the effective tax rate. In periods when such assets have not been recognised, the effective tax rate has been higher than the long-term expectation, whereas it has been lower in periods when tax losses not recognised as assets have been utilised.

Note 25 Taxes (continued)

DNB Bank ASA		Deferred tax assets/(deferred taxes)	DNB Bank Group	
2015	2016	25 per cent deferred tax calculation on all temporary differences (Norway) Amounts in NOK million	2016	2015
The year's changes in deferred tax assets/(deferred taxes)				
2 970	6 308	Deferred tax assets/(deferred taxes) as at 1 January	(5 323)	(3 340)
3 550	(4 528)	Changes recorded against profits	4 442	(1 873)
(238)	47	Changes recorded against comprehensive income	52	(236)
26	(1)	Currency translation differences on deferred taxes	(28)	126
		Transferred to assets held for sale	(133)	
6 308	1 826	Deferred tax assets/(deferred taxes) as at 31 December	(890)	(5 323)
Deferred tax assets and deferred taxes in the balance sheet relates to the following temporary differences				
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Deferred tax assets				
(952)	(814)	Fixed assets and intangible assets	(2)	(26)
(5 652)	(2 964)	Commercial paper and bonds		
2 507	1 988	Debt securities issued		
9 818	3 046	Financial derivatives	(31)	(16)
1	(16)	Other financial instruments	(8)	(6)
610	663	Net pension liabilities	94	102
(207)	(245)	Net other tax-deductible temporary differences	857	443
195	224	Tax losses and tax credits carried forward	482	641
6 320	1 882	Total deferred tax assets	1 392	1 138
Deferred taxes				
11	54	Fixed assets and intangible assets	853	950
1	2	Commercial paper and bonds	2 964	5 650
		Debt securities issued	(6 937)	(8 226)
		Financial derivatives	5 702	8 203
		Other financial instruments	102	264
		Net pension liabilities	(585)	(522)
		Net other taxable temporary differences	419	327
		Tax losses and tax credits carried forward	(136)	(185)
12	56	Total deferred taxes	2 382	6 461
Deferred taxes in the income statement relate to the following temporary differences				
2015	2016	Amounts in NOK million	2016	2015
(298)	95	Fixed assets and intangible assets	97	(300)
187	2 686	Commercial paper and bonds ^{1) 2)}	2 686	215
(673)	(519)	Debt securities issued ^{1) 2)}	(1 290)	(2 430)
5 100	(6 772)	Financial derivatives ^{1) 2)}	2 485	6 925
53	(17)	Other financial instruments ^{1) 2)}	161	454
(652)	8	Pensions	3	(668)
(290)	(38)	Other temporary differences	319	(355)
113	29	Tax losses and tax credits carried forward ²⁾	(18)	(5 714)
3 550	(4 528)	Deferred tax expense	4 442	(1 873)

1) A significant share of the financial instruments are carried at fair value in the accounts, while for tax purposes, the same instruments are recorded on an accrual basis in accordance with the realization principle. This gives rise to large differences between profits stated in the accounts and profits computed for tax purposes for the individual accounting years, especially in years with significant fluctuations in interest rate levels and exchange rates. These differences are offset in the longer term.

2) Due to large exchange rate fluctuations in 2016 and 2015, there were significant changes in unrealised gains and losses on financial instruments used in managing the banking group's currency and interest rate risk. Financial instruments are recorded in accordance with the realisation principle, while the current rate method is used for receivables and liabilities in foreign currency. These differences are expected to be reversed within a short period of time.

Note 25 Taxes (continued)

Overview over tax assets from tax losses and tax credits carried forward

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million: Tax losses carried forward	31 December 2016			31 December 2015		
	Total tax losses carried forward	Of which as basis for tax assets	Recognised tax asset	Total tax losses carried forward	Of which as basis for assets	Recognised tax asset
Singapore	351	351	88	236	236	59
Total of tax losses and tax assets	351	351	88	236	236	59
Tax credits carried forward ¹⁾			136			136
Total of deferred tax assets from tax losses and tax credits carried forward			224			195

1) All tax credits carried forward relates to tax payers in Norway

Overview over deferred tax assets from tax losses and tax credits carried forward

DNB Bank Group

Amounts in NOK million: Tax losses carried forward	31 December 2016			31 December 2015		
	Total tax losses carried forward	Of which as basis for tax assets	Recognised tax asset	Total tax losses carried forward	Of which as basis for assets	Recognised tax asset
Norway				194	194	49
Singapore	351	351	88	236	236	59
Latvia				1 797	655	98
Lithuania				420	372	63
Denmark	2 311	1 577	394	2 451	1 681	420
Total of tax losses and tax assets	2 662	1 928	482	5 108	3 138	689
Tax credits carried forward ¹⁾			136			136
Total of deferred tax assets from tax losses and tax credits carried forward			618			825

1) All tax credits carried forward relates to tax payers in Norway

Recognition of deferred tax

Deferred tax assets are capitalised to the extent it is probable that the DNB Bank Group will have taxable income against which temporary differences can be utilised. Net deferred taxes on temporary differences within the same tax group are assessed and entered net in the accounts.

Note 26 Classification of financial instruments

As at 31 December 2016

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Financial instruments at fair value through profit and loss		Financial derivatives designated as hedging instruments	Financial instruments carried at amortised cost ¹⁾	Financial instruments held to maturity	Total
	Trading	Designated as at fair value				
Cash and deposits with central banks	187 462	15 824		4 648		207 934
Due from credit institutions	340 736	4 907		203 450		549 093
Loans to customers	42 974	16 052		631 034		690 060
Commercial paper and bonds at fair value	150 169	73 181				223 360
Shareholdings	4 297	881				5 178
Financial derivatives	159 522		10 795			170 317
Commercial paper and bonds, held to maturity					12 760	12 760
Investments in associated companies				995		995
Investments in subsidiaries				118 233		118 233
Other assets				13 462		13 462
Total financial assets	885 161	110 855	10 795	971 822	12 760	1 991 382
Due to credit institutions	299 432	1 196		38 104		338 731
Deposits from customers	43 210	11 599		865 855		920 664
Financial derivatives	180 605		1 189			181 794
Debt securities issued	153 485	12 925		170 531		336 941
Other liabilities	516			23 377		23 893
Subordinated loan capital		1 254		28 093		29 347
Total financial liabilities²⁾	677 247	26 975	1 189	1 125 960		1 831 371

1) Includes hedged liabilities.

2) Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 26 362 million.

As at 31 December 2015

DNB Bank ASA

Amounts in NOK million	Financial instruments at fair value through profit and loss		Financial derivatives designated as hedging instruments	Financial instruments carried at amortised cost ¹⁾	Financial instruments held to maturity	Total
	Trading	Designated as at fair value				
Cash and deposits with central banks	1 097	12 557		2 350		16 004
Due from credit institutions	478 799	23 929		127 972		630 700
Loans to customers	37 640	24 855		643 036		705 532
Commercial paper and bonds at fair value	126 930	83 132				210 062
Shareholdings	6 724	781				7 504
Financial derivatives	201 393		12 405			213 797
Commercial paper and bonds, held to maturity					19 162	19 162
Investments in associated companies				975		975
Investments in subsidiaries				120 473		120 473
Other assets				23 735		23 735
Total financial assets	852 583	145 254	12 405	918 541	19 162	1 947 944
Due to credit institutions	233 605	2 449		26 275		262 330
Deposits from customers	42 176	2 060		852 252		896 488
Financial derivatives	239 697		830			240 518
Debt securities issued	159 932	18 258		161 909		340 099
Other liabilities	5 359			34 079		39 438
Subordinated loan capital		1 241		29 712		30 953
Total financial liabilities²⁾	680 760	24 008	830	1 104 226		1 809 825

1) Includes hedged liabilities.

2) Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 23 342 million.

Note 26 Classification of financial instruments (continued)

As at 31 December 2016

Amounts in NOK million	Financial instruments at fair value through profit and loss		Financial derivatives designated as hedging instruments	Financial instruments carried at amortised cost ¹⁾	Financial instruments held to maturity	Total
	Trading	Designated as at fair value				
Cash and deposits with central banks	187 462	15 824		4 977		208 263
Due from credit institutions	160 828	45		14 035		174 908
Loans to customers	42 974	69 442		1 379 852		1 492 268
Commercial paper and bonds at fair value	148 026	69 862				217 887
Shareholdings	5 158	1 042				6 200
Financial derivatives	124 919		33 038			157 957
Commercial paper and bonds, held to maturity					12 760	12 760
Other assets				8 255		8 255
Total financial assets	669 366	156 215	33 038	1 407 119	12 760	2 278 497
Due to credit institutions	178 047	1 196		32 363		211 606
Deposits from customers	43 210	11 589		880 885		945 694
Financial derivatives	128 796		2 195			130 990
Debt securities issued	153 485	87 402		526 863		767 750
Other liabilities	516			15 265		15 781
Subordinated loan capital		1 254		28 093		29 347
Total financial liabilities ²⁾	504 053	101 451	2 195	1 493 470		2 101 169

1) Includes hedged liabilities.

2) Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 99 238 million.

As at 31 December 2015

Amounts in NOK million	Financial instruments at fair value through profit and loss		Financial derivatives designated as hedging instruments	Financial instruments carried at amortised cost ¹⁾	Financial instruments held to maturity	Total
	Trading	Designated as at fair value				
Cash and deposits with central banks	1 097	12 557		5 663		19 317
Due from credit institutions	282 854	2		14 602		297 457
Loans to customers	37 640	85 777		1 408 515		1 531 932
Commercial paper and bonds at fair value	125 580	81 482				207 063
Shareholdings	7 603	1 190				8 794
Financial derivatives	165 866		37 408			203 273
Commercial paper and bonds, held to maturity					19 162	19 162
Other assets				8 608		8 608
Total financial assets	620 641	181 008	37 408	1 437 388	19 162	2 295 606
Due to credit institutions	129 082	2 449		29 735		161 267
Deposits from customers	42 176	2 060		913 086		957 322
Financial derivatives	154 044		834			154 878
Debt securities issued	159 932	88 490		558 388		806 810
Other liabilities	5 359			13 050		18 409
Subordinated loan capital		1 241		29 712		30 953
Total financial liabilities ²⁾	490 594	94 240	834	1 543 971		2 129 640

1) Includes hedged liabilities.

2) Contractual obligations of financial liabilities designated as at fair value totalled NOK 91 948 million.

Note 27 Fair value of financial instruments at amortised cost

<i>Amounts in NOK million</i>	DNB Bank ASA			
	31 December 2016		31 December 2015	
	Carrying amount	Fair value	Carrying amount	Fair value
Cash and deposits with central banks	4 648	4 648	2 350	2 350
Due from credit institutions	203 450	203 450	127 972	127 972
Loans to customers	631 034	634 571	643 036	636 275
Commercial paper and bonds, held to maturity	12 760	12 406	19 162	18 463
Total financial assets	851 891	855 075	792 520	785 059
Due to credit institutions	38 104	38 104	26 275	26 275
Deposits from customers	865 855	865 855	852 252	852 252
Securities issued	170 531	173 788	161 909	164 603
Subordinated loan capital	28 093	28 065	29 712	29 711
Total financial liabilities	1 102 583	1 105 812	1 070 147	1 072 841

<i>Amounts in NOK million</i>	DNB Bank Group			
	31 December 2016		31 December 2015	
	Carrying amount	Fair value	Carrying amount	Fair value
Cash and deposits with central banks	4 977	4 977	5 863	5 863
Due from credit institutions	14 035	14 035	14 602	14 602
Loans to customers	1 379 852	1 383 679	1 408 515	1 401 036
Commercial paper and bonds, held to maturity	12 760	12 406	19 162	18 463
Total financial assets	1 411 623	1 415 097	1 447 942	1 439 763
Due to credit institutions	32 363	32 363	29 735	29 735
Deposits from customers	890 885	890 885	913 086	913 086
Securities issued	526 863	533 874	558 388	562 620
Subordinated loan capital	28 093	28 065	29 712	29 711
Total financial liabilities	1 478 205	1 485 187	1 530 821	1 535 153

<i>Amounts in NOK million</i>	DNB Bank ASA			
	Valuation based on quoted prices in an active market Level 1 ¹⁾	Valuation based on observable market data Level 2 ¹⁾	Valuation based on inputs other than observable market data Level 3 ¹⁾	Total
Assets as at 31 December 2016				
Cash and deposits with central banks		4 648		4 648
Due from credit institutions		203 450		203 450
Loans to customers			634 571	634 571
Commercial paper and bonds, held to maturity			12 406	12 406
Liabilities as at 31 December 2016				
Due to credit institutions		38 104		38 104
Deposits from customers		865 855		865 855
Securities issued		171 840	1 948	173 788
Subordinated loan capital		22 787	5 278	28 065

<i>Amounts in NOK million</i>	DNB Bank Group			
	Valuation based on quoted prices in an active market Level 1 ¹⁾	Valuation based on observable market data Level 2 ¹⁾	Valuation based on inputs other than observable market data Level 3 ¹⁾	Total
Assets as at 31 December 2016				
Cash and deposits with central banks		4 977		4 977
Due from credit institutions		14 035		14 035
Loans to customers			1 383 679	1 383 679
Commercial paper and bonds, held to maturity			12 406	12 406
Liabilities as at 31 December 2016				
Due to credit institutions		32 363		32 363
Deposits from customers		890 885		890 885
Securities issued		499 379	34 495	533 874
Subordinated loan capital		17 937	10 128	28 065

¹⁾ See note 28 Financial instruments at fair value for a definition of the levels.

Note 27 Fair value of financial instruments at amortised cost (continued)

Financial instruments at amortised cost

Most assets and liabilities in the DNB Bank Group's balance sheet are carried at amortised cost. This primarily applies to loans, deposits and borrowings in the banking group's balance sheet, but also investments in bonds held to maturity. Long-term borrowings in Norwegian kroner are carried at fair value, while long-term borrowings in other currencies are carried at amortised cost. Hedge accounting may be applied.

Recording balance sheet items at amortised cost implies that the originally agreed cash flows are used, possibly adjusted for impairment. Such valuations will not always give values which are consistent with market assessments of the same instruments. Discrepancies may be due to diverging views on macro-economic prospects, market conditions, risk aspects and return requirements, as well as varying access to accurate information. The above table shows estimated fair values of items carried at amortised cost.

Valuations are based on the individual instruments' characteristics and values on the balance sheet date. However, these values do not include the total value of customer relationships, market access, brands, organisational aspects, employees and structural capital. Consequently, such intangible assets are generally not recorded in the accounts. In addition, most transactions with customers are assessed and priced collectively for several products, and products recorded in the balance sheet are considered along with other products and services used by the customer. Individual assets and liabilities recorded in the balance sheet thus give no adequate reflection of the total value of the Bank Group's operations.

Due from credit institutions and loans to customers

When valuing loans, the loan portfolio has been divided into the following categories: personal customers, small and medium-sized enterprises, Nordic corporates, international corporates, shipping, offshore and logistics and energy. In addition, separate calculations have been made for DNB Finans and Poland.

The valuations are based on average margins in December, considered relative to the business units' best estimate of the potential margin requirement at year-end 2016 if the loans had been extended at that time. Differentiated margin requirements have been calculated for each category, as specified above, based on estimated costs related to lending. The margin requirement includes costs covering normalised losses, which, as opposed to impairment recorded in the annual accounts, represent a long-term assessment of loss levels.

Retail loans carried at amortised cost are mainly loans with floating interest rate. The fair value of the retail loans has been set at amortised cost.

With respect to impaired loans, an assessment has been made of potential cash flows for the loans discounted by the effective rate of interest adjusted for changes in market conditions for corresponding non-impaired loans. Loan rates prior to provisions being made reflect the increased credit risk of the commitment. Given the general uncertainty in fair value measurements, it is evaluated that the impaired value gives a good reflection of the fair value of these loans.

Customers will often use loan products which are carried partly at amortised cost and partly at fair value. The profitability of a customer relationship is considered on an aggregate basis, and prices are set based on an overall evaluation. Correspondingly, a possible reduction in the customer relationship value is based on an overall assessment of all products. Any decline in value apart from price changes on specific products is included in the overall assessment of credits in the relevant customer relationship. Any reduction in the total customer relationship value is measured on the basis of amortised cost and reported under impairment on loans.

Commercial paper and bonds, held to maturity

The valuation in level 2 is primarily based on observable market data in the form of interest rate curves, exchange rates and credit margins related to the individual credit and the characteristics of the bond or commercial paper. For papers classified as level 3, the valuation is based on models. See note 33 Commercial paper and bonds, held to maturity for more information.

Due to credit institutions and deposits from customers

The estimated fair value equals the balance sheet value for credit institutions. With respect to deposits from customers, fair value is assessed to equal amortised cost.

Securities issued and subordinated loan capital

The valuation in level 2 is based on observable market data in the form of interest rate curves and credit margins when available. Securities and subordinated loan capital in level 3 are valued based on models. The items consist mainly of funding in foreign currency.

Note 28 Financial instruments at fair value

DNB Bank ASA				
	Valuation based on quoted prices in an active market Level 1	Valuation based on observable market data Level 2	Valuation based on inputs other than observable market data Level 3	Total
<i>Amounts in NOK million</i>				
Assets as at 31 December 2016				
Deposits with central banks		203 286		203 286
Due from credit institutions		345 643		345 643
Loans to customers		42 974	16 052	59 026
Commercial paper and bonds at fair value	50 893	172 092	375	223 360
Shareholdings	4 140	239	799	5 178
Financial derivatives	0	168 998	1 319	170 317
Liabilities as at 31 December 2016				
Due to credit institutions		300 628		300 628
Deposits from customers		54 809		54 809
Debt securities issued		166 410		166 410
Subordinated loan capital		1 254		1 254
Financial derivatives	0	180 732	1 062	181 794
Other financial liabilities ¹⁾	516	0		516
Assets as at 31 December 2015				
Deposits with central banks		13 654		13 654
Due from credit institutions		502 727		502 727
Loans to customers		37 640	24 855	62 495
Commercial paper and bonds at fair value	37 908	171 590	566	210 062
Shareholdings	6 675	1	828	7 504
Financial derivatives	2	212 291	1 504	213 797
Liabilities as at 31 December 2015				
Due to credit institutions		236 055		236 055
Deposits from customers		44 236		44 236
Debt securities issued		178 190		178 190
Subordinated loan capital		1 241		1 241
Financial derivatives	0	239 374	1 144	240 518
Other financial liabilities ¹⁾	5 285	75		5 359

1) : Short positions, trading activities.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

DNB Bank Group				
	Valuation based on quoted prices in an active market Level 1	Valuation based on observable market data Level 2	Valuation based on inputs other than observable market data Level 3	Total
<i>Amounts in NOK million</i>				
Assets as at 31 December 2016				
Deposits with central banks		203 286		203 286
Due from credit institutions		160 873		160 873
Loans to customers		42 974	69 442	112 416
Commercial paper and bonds at fair value	54 988	162 524	375	217 887
Shareholdings	5 009	245	946	6 200
Financial derivatives	0	156 637	1 319	157 957
Liabilities as at 31 December 2016				
Due to credit institutions		179 243		179 243
Deposits from customers		54 809		54 809
Debt securities issued		240 887		240 887
Subordinated loan capital		1 254		1 254
Financial derivatives	0	129 928	1 062	130 990
Other financial liabilities ¹⁾	516	0		516
Assets as at 31 December 2015				
Deposits with central banks		13 654		13 654
Due from credit institutions		282 855		282 855
Loans to customers		37 640	85 777	123 417
Commercial paper and bonds at fair value	42 335	163 994	734	207 063
Shareholdings	7 564	2	1 229	8 794
Financial derivatives	2	201 767	1 504	203 273
Liabilities as at 31 December 2015				
Due to credit institutions		131 532		131 532
Deposits from customers		44 236		44 236
Debt securities issued		248 422		248 422
Subordinated loan capital		1 241		1 241
Financial derivatives	0	153 734	1 144	154 878
Other financial liabilities ¹⁾	5 285	75		5 359

1) Short positions, trading activities.

The levels

Financial instruments are categorised within different levels based on the quality of the market data for the individual instruments. With respect to financial instruments categorised as level 2, the quality of market data may vary depending on whether the relevant instrument has been traded. Thus, it will be natural that some instruments are moved between level 2 and level 3. This applies primarily to commercial paper and bonds.

Level 1: Valuation based on quoted prices in an active market

Classified as level 1 are financial instruments valued by using quoted prices in active markets for identical assets or liabilities.

Instruments in this category include listed shares and mutual funds, Treasury bills and commercial paper traded in active markets.

Level 2: Valuation based on observable market data

Classified as level 2 are financial instruments which are valued by using inputs other than quoted prices, but where prices are directly or indirectly observable for the assets or liabilities, including quoted prices in non-active markets for identical assets or liabilities.

Included in this category are, among others, interbank derivatives such as interest rate swaps, currency swaps and forward contracts with prices quoted on Reuters or Bloomberg, basis swaps between the currencies NOK, EUR, USD and GBP and cross-currency interest rate derivatives with customers with insignificant credit margins. Exchange-traded options are classified as level 2 if it is possible to scan or interpolate/extrapolate implicit volatility based on observable prices.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

Level 3: Valuation based on other than observable market data

Classified as level 3 are financial instruments which cannot be valued based on directly observable prices. For these instruments other valuation techniques are used, such as valuation of assets and liabilities in companies, estimated cash flows and other models where key parameters are not based on observable market data.

Included in this category are loans to customers and instruments where credit margins constitute a major part of adjustments to market value.

Gains or losses, that occur when the estimated fair value is different from the transaction price (day-one gain/loss) has not had significant impact to the financial statement neither for 2016 or 2015.

The instruments in the different levels

Due from credit institutions (level 2)

The item is primarily relevant for Markets. The valuation of loans to and deposits with credit institutions is mainly based on agreed interest rate terms measured against a swap curve. The fixed-rate period is relatively short.

Loans to customers (level 3)

Loans consist primarily of fixed-rate loans in Norwegian kroner and parts of the portfolio of margin loans in Norwegian kroner. The value of fixed-rate loans is determined by discounting agreed cash flows over the term of the loan, using a discount factor adjusted for margin requirements. A margin requirement is calculated for margin loans, and the difference between the margin requirement and the agreed margin is discounted over the average expected time to the repricing of the loan.

Commercial paper and bonds (levels 2 and 3)

The valuation in level 2 is primarily based on observable market data in the form of interest rate curves, exchange rates and credit margins related to the individual credit and the characteristics of the bond or commercial paper. For paper classified as level 3, the valuation is based on indicative prices from third parties or comparable paper.

Equities including mutual fund holdings (levels 2 and 3)

Equities in level 2 comprise mutual fund holdings where the underlying investments are quoted equities, as well as a small volume of other mutual funds. Instruments which are classified as level 3 essentially comprise property funds, limited partnership units, private equity investments and investments in unquoted equities.

Financial derivatives (levels 2 and 3)

Financial derivatives classified as level 2 are primarily currency forward contracts and interest rate and currency swaps. The valuation is based on swap curves, and credit margins constitute a minor part of the value. In addition, the item comprises derivatives related to commodities and forward rate agreements. These are valued based on observable market prices. Derivatives classified as level 2 also comprise equity derivatives used in Markets' market-making activities. Most of these derivatives are related to the most traded equities on Oslo Børs, and the valuation is based on the price development of the relevant/underlying equity and observable or estimated volatility. Financial derivatives classified as level 3 are primarily connected to currency options, interest rate options in Norwegian kroner, as well as index derivatives. The valuation is based on indicative prices from third parties.

Due to credit institutions (level 2)

See "Due from credit institutions" above.

Deposits from customers (level 2)

Deposits carried at fair value include special-term deposits. The valuation is primarily based on measurement in relation to a swap curve, and changes in credit margins have an insignificant effect.

Debt securities issued (level 2)

The valuation is primarily based on observable market data in the form of interest rate curves and credit margins. The item consists mainly of funding in Norwegian kroner. For foreign currency funding, hedge accounting is used where hedges are entered into. In all other respects, debt securities issued are carried at amortised cost.

Subordinated loan capital (level 2)

Subordinated loans carried at fair value consist of one loan in Norwegian kroner, and the valuation is based on observable interest rate curves and credit margins.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)

Financial instruments at fair value, level 3

Amounts in NOK million	Financial assets				Financial liabilities
	Loans to customers	Commercial paper and bonds	Shareholdings	Financial derivatives	Financial derivatives
Carrying amount as at 31 December 2014	36 825	246	1 335	1 877	1 463
Net gains on financial instruments	(211)	16	48	61	(24)
Additions/purchases	7 388	351	241	520	467
Sales	(2 131)	(340)	(796)		
Settled	(17 017)	0		(961)	(777)
Transferred from level 1 or level 2		818			
Transferred to level 1 or level 2		(462)			
Other		(62)		27	15
Carrying amount as at 31 December 2015	24 855	566	828	1 504	1 144
Net gains on financial instruments	42	(12)	(119)	(201)	(122)
Additions/purchases	4 914	308	135	802	797
Sales	(2 696)	(597)	(45)		
Settled	(11 063)			(772)	(751)
Transferred from level 1 or level 2		698			
Transferred to level 1 or level 2		(576)			
Other ¹⁾		(13)		(14)	(6)
Carrying amount as at 31 December 2016	16 052	375	799	1 319	1 062

Financial instruments at fair value, level 3

Amounts in NOK million	Financial assets				Financial liabilities
	Loans to customers	Commercial paper and bonds	Shareholdings	Financial derivatives	Financial derivatives
Carrying amount as at 31 December 2014	105 429	251	1 589	1 877	1 463
Net gains on financial instruments	(896)	(9)	210	61	(24)
Additions/purchases	35 628	532	241	520	467
Sales	(20 169)	(344)	(825)		
Settled	(34 215)	0		(961)	(777)
Transferred from level 1 or level 2		818			
Transferred to level 1 or level 2		(462)			
Other		(51)	14	27	15
Carrying amount as at 31 December 2015	85 777	734	1 229	1 504	1 144
Net gains on financial instruments	(519)	(97)	(120)	(201)	(122)
Additions/purchases	13 818	308	155	802	797
Sales ²⁾	(5 146)	(657)	(283)		
Settled	(24 489)	0		(772)	(751)
Transferred from level 1 or level 2		698			
Transferred to level 1 or level 2		(576)			
Other ¹⁾		(35)	(36)	(14)	(6)
Carrying amount as at 31 December 2016	69 442	375	945	1 319	1 062

1) In November 2016, a portfolio of home mortgages amounting to approximately NOK 5 billion was sold from DNB Boligkreditt to DNB Livsforsikring.

2) Includes assets and liabilities in the Baltics reclassified as assets held for sale in August 2016.

Loans to customers

The portfolio of loans carried at fair value consists primarily of fixed-rate loans in Norwegian kroner and a share of margin loans in Norwegian kroner.

Fixed-rate loans

The value of fixed-rate loans is determined by discounting agreed interest flows over the term of the loan, using a discount factor adjusted for margin requirements. The discount factor used has as a starting point a swap rate based on a duration equal to the average remaining lock-in period for the relevant fixed-rate loans. The assumptions underlying the calculation of the margin requirement are based on a review of the market conditions on the balance sheet date and on an assessment of the deliberations made by external investors when investing in a corresponding portfolio. Fixed-rate loans carried at fair value totalled NOK 57 430 million at year-end 2016.

Note 28 Financial instruments at fair value (continued)**Margin loans carried at fair value**

A margin loan has an agreed interest rate consisting of a reference interest rate and a margin add-on. Reference rates will normally be set for a period of three months, but the margin can be determined for considerably longer periods. In times of significant interest rate fluctuations and reduced liquidity in the market, as has been the case during the financial turmoil, long-term funding costs increased. This is of significance for the margin requirements used by the bank in its calculations. The margin requirements are measured against agreed margins, and discrepancies are discounted over the average period up until the expected margin adjustment. This period is based on assessments from the banking group's business areas, but will require significant judgment based on past experience. The period up until the actual adjustment of the margin represents the largest element of uncertainty in these calculations. Margin loans carried at fair value totalled NOK 12 012 million at year-end 2016.

Commercial paper and bonds

Investments classified as level 3 primarily consist of corporate high-yield bonds with limited liquidity.

Equities including mutual fund holdings

Investments classified as level 3 consist of private equity funds, limited partnerships and unquoted equities. A common denominator for these investments is that there is a lag in the access to information from the units. In times of financial market turmoil, there may be considerable uncertainty related to the valuation of these investments.

Financial derivatives, assets and liabilities

Items classified as level 3 are primarily currency options, interest rate options in Norwegian kroner and derivatives related to developments in the consumer price index.

DNB Bank ASA			Breakdown of fair value, level 3		DNB Bank Group		
31 December 2016					31 December 2016		
Shareholdings	Commercial paper and bonds	Loans to customers			Loans to customers	Commercial paper and bonds	Shareholdings
680	412	15 984	Principal amount/purchase price		68 789	412	770
138	(37)	24	Fair value adjustment ¹⁾		521	(37)	176
		44	Accrued interest		131		
799	375	16 052	Carrying amount		69 442	375	946

1) Changes in the fair value of customer loans mainly result from changes in swap rates. A corresponding negative adjustment is made in the fair value of financial instruments used for economic hedging.

DNB Bank ASA		Breakdown of shareholdings, level 3				DNB Bank Group		
Total	Other	Private Equity (PE) funds	Unquoted equities			Unquoted equities	Private Equity (PE) funds	Other
799	24	226	549	Carrying amount as at 31 December 2016		696	226	24
								946

DNB Bank ASA		Sensitivity analysis, level 3		DNB Bank Group	
Effect of reasonably possible alternative assumptions	Carrying amount 31 Dec. 2016		Carrying amount 31 Dec. 2016	Effect of reasonably possible alternative assumptions	
(28)	16 052	Loans to customers	69 442	(149)	
(1)	375	Commercial paper and bonds	375	(1)	
	799	Shareholdings	946		
	257	Financial derivatives, net	257		

In order to show the sensitivity of the loan portfolio, the discount rate on fixed-rate loans and the margin requirement on margin-based loans have been increased by 10 basis points.

Level 3 bonds mainly represent investments in Norwegian industries and power companies. A 10 basis point increase in the discount rate has had insignificant effects.

Note 29 Offsetting

The table below presents the potential effects of the banking group's netting arrangements on financial assets and financial liabilities. See note 1 Accounting principles for more information.

DNB Bank ASA						
Amounts in NOK million	Gross amount	Amounts offset in the statement of financial position	Carrying amount	Netting agreements	Other collateral ¹⁾	Amounts after possible netting
Assets as at 31 December 2016						
Due from credit institutions ²⁾	153 938		153 938		153 938	
Loans to customers ²⁾	43 496		43 496		43 496	
Financial derivatives ³⁾	136 705		136 705	54 580	36 718	45 407
Liabilities as at 31 December 2016						
Due to credit institutions ²⁾	50 018		50 018		50 018	
Deposits from customers ²⁾	1 185		1 185		1 185	
Financial derivatives ³⁾	145 722		145 722	54 580	22 494	69 648
DNB Bank ASA						
Amounts in NOK million	Gross amount	Amounts offset in the statement of financial position	Carrying amount	Netting agreements	Other collateral ¹⁾	Amounts after possible netting
Assets as at 31 December 2015						
Due from credit institutions ²⁾	279 255		279 255		279 254	
Loans to customers ²⁾	38 545		38 545		38 545	
Financial derivatives ³⁾	168 980		168 980	57 498	39 532	69 950
Liabilities as at 31 December 2015						
Due to credit institutions ²⁾	22 001		22 001		22 001	
Deposits from customers ²⁾						
Financial derivatives ³⁾	202 307		202 307	57 498	46 635	98 174
DNB Bank Group						
Amounts in NOK million	Gross amount	Amounts offset in the statement of financial position	Carrying amount	Netting agreements	Other collateral ¹⁾	Amounts after possible netting
Assets as at 31 December 2016						
Due from credit institutions ²⁾	153 938		153 938		153 938	
Loans to customers ²⁾	43 496		43 496		43 496	
Financial derivatives ³⁾	124 387		124 387	54 603	36 718	33 066
Liabilities as at 31 December 2016						
Due to credit institutions ²⁾	20 375		20 375		20 375	
Deposits from customers ²⁾	1 185		1 185		1 185	
Financial derivatives ³⁾	95 234		95 234	54 603	22 494	18 137
DNB Bank Group						
Amounts in NOK million	Gross amount	Amounts offset in the statement of financial position	Carrying amount	Netting agreements	Other collateral ¹⁾	Amounts after possible netting
Assets as at 31 December 2015						
Due from credit institutions ²⁾	279 338		279 338		279 337	
Loans to customers ²⁾	38 546		38 546		38 546	
Financial derivatives ³⁾	156 456		156 456	57 533	39 532	59 391
Liabilities as at 31 December 2015						
Due to credit institutions ²⁾	22 001		22 001		22 001	
Deposits from customers ²⁾						
Financial derivatives ³⁾	116 723		116 723	57 533	46 579	12 610

1) Includes cash collateral and securities received/transferred from/to counterparties and securities received/placed as collateral in depositories in Clearstream or Euroclear.

2) Includes repurchase and reverse repurchase agreements, securities borrowing and lending transactions.

3) Gross amounts represent the market value of the derivatives subject to master netting agreements or collateralized by cash or securities under Credit Support Annex.

Note 30 Shareholdings

Investments in shares, mutual funds and equity certificates ¹⁾

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
7 504	5 178	Total investments in shares, mutual funds and equity certificates	6 200	8 794

Specification of the largest investments in shares, mutual funds and equity certificates as at 31 December 2016

DNB Bank ASA				DNB Bank Group			
Carrying amount in NOK 1 000	Number of shares	Ownership share in per cent ²⁾	Recorded value	Carrying amount in NOK 1 000	Number of shares	Ownership share in per cent ²⁾	Recorded value
Financial institutions				Financial institutions			
Gyensidige Forsikring ³⁾	66 343		9 089	Bank of New York	100 000		860 920
Storebrand ³⁾	9 788 630	2.2	449 494	Storebrand ³⁾	9 788 630	2.2	449 494
Other financial institutions			39 019	Other financial institutions			60 875
Total financial institutions			497 602	Total financial institutions			1 371 289
Norwegian companies				Norwegian companies			
American Shipping Company ³⁾	9 506 257	15.7	231 002	Alphica	347 043	19.8	58 181
DNØ ³⁾	6 957 991	0.8	59 004	American Shipping Company ³⁾	9 506 257	15.7	231 002
Elendomsverdi	353 269	18.8	50 577	DNØ	6 957 991	0.8	59 004
Kokaa Elendom	16 198 752	12.0	189 000	Elendomsverdi	353 269	18.8	50 577
Manne Harvest ³⁾	338 400	0.1	52 889	Finn Elendom	755	7.6	91 338
Nordic Semiconductor ³⁾	2 150 829	1.3	75 494	Kokaa Elendom	16 198 752	12.0	189 000
Norsk Hydro ³⁾	1 111 404	0.1	45 901	Manne Harvest ³⁾	338 400	0.1	52 889
Norway Royal Salmon ³⁾	2 371 819	5.4	490 967	Nordic Semiconductor ³⁾	2 150 829	1.3	75 494
Norwegian Air Shuttle ³⁾	222 917	0.8	63 977	Norway Royal Salmon ³⁾	2 371 819	5.4	490 967
NRC Group ³⁾	2 081 301	5.4	141 528	Norwegian Air Shuttle ³⁾	222 917	0.8	63 977
Olav Thon Eiendomsselskap ³⁾	266 622	0.3	45 860	NRC Group ³⁾	2 081 301	5.4	141 528
Opera Software ³⁾	2 034 900	1.4	75 902	Opera Software ³⁾	2 034 900	1.4	75 902
Orkla ³⁾	1 190 432	0.1	93 092	Orkla ³⁾	1 190 432	0.1	93 092
Telenor ³⁾	1 521 397	0.1	196 260	Telenor ³⁾	1 521 397	0.1	196 260
Thin Film Electronics ³⁾	13 807 200	1.7	50 534	Thin Film Electronics ³⁾	13 807 200	1.7	50 534
Other Norwegian companies			609 800	Other Norwegian companies			702 168
Total Norwegian companies			2 471 687	Total Norwegian companies			2 619 691
Companies based abroad				Companies based abroad			
Archer ³⁾	2 902 818	5.0	36 575	Archer ³⁾	2 902 818	5.0	36 575
Cherry AB ³⁾	255 000	1.5	60 973	Cherry AB ³⁾	255 000	1.5	60 973
Deep Sea Supply ³⁾	41 120 000	14.1	57 157	Deep Sea Supply ³⁾	41 120 000	14.1	57 157
Golar LNG ³⁾	4 162 765	4.2	836 819	Golar LNG ³⁾	4 162 765	4.2	836 819
Golden Ocean Group ³⁾	1 524 846	1.4	62 976	Golden Ocean Group ³⁾	1 524 846	1.4	62 976
Seadrill ³⁾	3 419 706	0.7	101 976	Seadrill ³⁾	3 419 706	0.7	101 976
Subsea 7 ³⁾	420 818	0.1	45 995	Subsea 7 ³⁾	420 818	0.1	45 995
Teekay Offshore Partners ³⁾	474 525	10.0	62 970	Teekay Offshore Partners ³⁾	474 525	10.0	62 970
Other companies based abroad			297 897	Other companies based abroad			297 897
Total companies based abroad			1 563 338	Total companies based abroad			1 563 338
Mutual funds				Mutual funds			
Mutual funds			140 082	Mutual funds			140 082
Private equity funds			248 406	Private equity funds			248 406
Other funds			239 133	Other funds			239 347
Total mutual funds			625 621	Total mutual funds			625 836
Total investments in shares, mutual funds and equity certificates			5 178 148	Total investments in shares, mutual funds and equity certificates			6 200 153

1) Equity certificates represent investments in savings banks.

2) Ownership share in per cent is based on the company's total share capital and does not include derivative contracts.

3) Shares and funds carried at fair value in Markets totaled NOK 4 297 million at year-end 2016. Markets' equity investments are mainly an instrument in hedging its equity derivative exposure through the business area's market making activities. Value at Risk for the equity operations in Markets represented approximately NOK 5.5 million at year-end 2016.

Note 31 Transferred assets or assets with other restrictions

DNB Bank ASA		Transferred assets still recognised in the balance sheet		DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	<i>Amounts in NOK million</i>		31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
		Guarantees			
2 212		Loans transferred to Eksportfinans			2 212
		Repurchase agreements			
5 128	14 726	Commercial paper and bonds		14 726	5 128
		Securities lending			
753	215	Shares		215	753
8 094	14 941	Total repurchase agreements and securities lending		14 941	8 094
DNB Bank ASA		Liabilities associated with the assets		DNB Bank Group	
31 Dec. 2014	31 Dec. 2015	<i>Amounts in NOK million</i>		31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
		Guarantees			
2 212		Deposits from Eksportfinans			2 212
		Repurchase agreements			
3 707	10 446	Due to credit institutions		10 446	3 707
661	1 185	Deposits from customers		1 185	661
		Securities lending			
618	224	Due to credit institutions		224	618
172	2	Deposits from customers		2	172
7 370	11 857	Total liabilities		11 857	7 370

DNB Bank ASA recognised loans which according to a legal agreement have been transferred to Eksportfinans ASA and were guaranteed by DNB Bank ASA. According to the agreement, the bank carried interest rate, settlement and credit risk associated with the transferred loans. The loans had a corresponding liability recognised as deposits from Eksportfinans. At year-end 2015 the loan portfolio transferred to Eksportfinans amounted to NOK 2 212 million, at year-end 2016 the balance was zero.

Restricted assets

Local statutory capital requirements might restrict the ability of the Group to access or transfer assets freely to or from other entities within the Group and to settle liabilities within the Group.

Restrictions affecting the Group's ability to use assets:

- The Group has pledged assets to collateralise its obligations (pledged securities) and issued covered bonds (cover pool), see note 49 Off-balance sheet transactions and contingencies for further information.
- The Group has pledged collateral in connection with derivative instruments, see note 15 Financial derivatives for further information.

Note 32 Securities received which can be sold or repledged

DNB Bank ASA		Securities received	DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016		31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
		<i>Amounts in NOK million</i>		
310 557	190 083	Reverse repurchase agreements		
		Commercial paper and bonds	190 083	310 662
4 931	31 121	Securities borrowing		
		Shares	31 121	4 931
315 488	221 204	Total securities received	221 204	315 593
		<i>Of which securities received and subsequently sold or repledged:</i>		
9 656	4 203	Commercial paper and bonds	4 203	9 656
3 825	10 084	Shares	10 084	3 825

Securities which have been purchased under an agreement to resell are generally not recognised, as the risk and returns associated with ownership of the assets are normally not transferred. Such transactions primarily involve fixed-income securities. Securities received, including securities received as collateral, are registered off the balance sheet irrespective of whether the Group has the right to sell or repledge the securities. Upon the sale of securities received, the Group will record an obligation in the balance sheet.

Note 33 Commercial paper and bonds, held to maturity

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016		31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
		<i>Amounts in NOK million</i>		
19 182	12 760	International bond portfolio	12 760	19 182
19 182	12 760	Commercial paper and bonds, held to maturity	12 760	19 182

As part of ongoing liquidity management, DNB Bank has invested in a portfolio of securities. The portfolio can be used to regulate the liquidity requirement and as a basis for furnishing collateral for operations in various countries. Among other things, the securities serve as collateral for short and long-term borrowing in a number of central banks and as a basis for liquidity buffers to meet regulatory requirements. With effect from 1 July 2008, the international bond portfolio was reclassified from the category "fair value through profit or loss" to "held-to-maturity investments". In the period following the reclassification some additional investments were classified as held-to-maturity. Portfolios in this category are recorded at amortised cost and written down if there is objective evidence of a decrease in value.

Effects of the reclassifications of the international bond portfolio

By measuring the portfolio at amortised cost, the value of the portfolio as at 31 December 2016 was NOK 0.3 billion higher than if the previous valuation principle had been retained. On the reclassification date, the carrying amount of the portfolio was NOK 88.0 billion, compared with NOK 10.4 billion at end-December 2016. The average term to maturity of the portfolio was 5.2 years, and the change in value resulting from a credit spread adjustment of one basis point was NOK 5.8 million at end-December 2016.

Effects on profits of the reclassification	DNB Bank Group	
<i>Amounts in NOK million</i>	2016	2015
Recorded amortisation effect	84	95
Net gain, if valued at fair value	448	(170)
Effects of reclassification on profits	(364)	265

Effects on the balance sheet of the reclassification	DNB Bank Group	
<i>Amounts in NOK million</i>	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Recorded unrealised losses	318	402
Unrealised losses, if valued at fair value	665	1 113
Effects of reclassification on the balance sheet	347	711

Development in the portfolio after the reclassification	DNB Bank Group	
<i>Amounts in NOK million</i>	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Reclassified portfolio, carrying amount	10 414	14 696
Reclassified portfolio, if valued at fair value	10 067	13 975
Effects of reclassification on the balance sheet	347	711

Note 34 Investment properties

Amounts included in the income statement	DNB Bank Group	
<i>Amounts in NOK million</i>	2016	2015
Rental income from investment properties	131	233
Direct expenses (including repairs and maintenance) related to investment properties generating rental income	(64)	(87)
Direct expenses (including repairs and maintenance) related to investment properties not generating rental income	(20)	(51)
Total	47	95

Investment properties are mainly related to acquired companies and are classified at level 3 in the valuation hierarchy.

Changes in the value of investment properties	DNB Bank Group	
<i>Amounts in NOK million</i>	Investment properties	
Carrying amount as at 31 December 2014	4 743	
Additions, purchases of new properties	152	
Additions, capitalised investments	58	
Additions, acquired companies	454	
Net gains	269	
Disposals	(3 430)	
Exchange rate movements	87	
Carrying amount as at 31 December 2015	2 333	
Additions, purchases of new properties	84	
Additions, capitalised investments	5	
Additions, acquired companies	163	
Net gains	(36)	
Disposals ¹⁾	(1 311)	
Exchange rate movements	(65)	
Carrying amount as at 31 December 2016	1 175	

Contractual commitments related to the acquisition or construction of investment properties, not capitalised as at 31 December 2016 0

¹⁾ Includes NOK 622 million in investment properties in the Baltics, reclassified as assets held for sale in August 2016.

Note 35 Investments accounted for by the equity method

Amounts in NOK million	DNB Bank Group	
	2016	2015
Carrying amount as at 1 January	4 091	3 275
Share of profits after tax	771	(288)
Impairment of the ownership interest in Eksportfinans AS ¹⁾	144	199
Share of other comprehensive income ²⁾	(880)	889
Additions/disposals	(557)	16
Dividends		
Carrying amount as at 31 December ³⁾	3 570	4 091

Amounts in NOK million	Assets	Liabilities	Income	Profit	Ownership share (%)	Carrying amount	Carrying amount
	31 Dec. 2016 ⁴⁾	31 Dec. 2016 ⁴⁾	2016 ⁴⁾	2016 ⁴⁾	31 Dec. 2016	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Eksportfinans AS ¹⁾	34 171	26 106	(0)	(0)	40	3 219	3 139
Visa Norge ²⁾						283	889
Other associated companies						68	64
Total						3 570	4 091

Amounts in NOK million	Dividend	Ownership share (%)	Carrying amount	Carrying amount
	2016	31 Dec. 2016	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Eksportfinans AS ¹⁾		40	919	919
Other associated companies			76	66
Total			995	975

- 1) Moody's and Standard & Poor's downgrades of Eksportfinans' credit rating in the fourth quarter of 2011 resulted in sizeable unrealised gains on the company's long-term funding. The effect of these unrealised gains on DNB's holding, after tax, represented NOK 11.6 billion. After reviewing the fair value of the company in connection with the closing of the annual accounts, DNB wrote down the value by an amount corresponding to unrealised gains on Eksportfinans' own debt in the fourth quarter of 2011. Since 2011, the required rate of return in the market was reduced, and Eksportfinans had sizeable unrealised losses on own debt. The impairment loss recorded by DNB in the fourth quarter of 2011 was reversed by an amount corresponding to these unrealised losses. The remaining adjustment amounting to NOK 144 million was reversed in 2016. The impairment loss in 2011 and subsequent reversals have been reported on the line "Profit from investments accounted for by the equity method" along with DNB's share of profits from the company.
- 2) DNB has indirect ownership interests in Visa Europe through its membership in Visa Norway. In connection with the valuation of the holdings in Visa Europe as at 31 March 2016 an accumulated gain of NOK 855 million was recognized in other comprehensive income. Upon the completion of the acquisition of Visa Europe by Visa Inc in the second quarter of 2016, this amount was reclassified to profit and a total gain of NOK 1 128 million was recognized as "Profit from investments accounted for by the equity method" in the income statement.
- 3) Include deferred tax positions and value adjustments not reflected in the company's balance sheet.
- 4) Values in the accounts of associated companies. Preliminary and unaudited accounts have been used.

Note 36 Investments in subsidiaries as at 31 December 2016

						DNB Bank ASA	
Amounts in 1 000						Ownership	Carrying
Values in NOK unless otherwise indicated						share in	amount
		Share capital	Number of shares		Nominal value	per cent	
Foreign subsidiaries							
DNB Invest Denmark	DKK	12 765 228	12 765 228 468	DKK	12 765 228	100	10 143 138
DNB Bankas	EUR	180 205	5 710 134	EUR	180 205	100	3 358 534
DNB Banka	EUR	191 178	191 178 337	EUR	191 178	100	2 133 505
DNB Bank	EUR	9 376	937 643	EUR	9 376	100	912 919
DNB Bank Polska	PLN	1 257 200	1 257 200 000	PLN	1 257 200	100	1 773 560
DNB Asia ¹⁾	USD	1 500 000	150 000 000	USD	1 500 000	100	12 913 800
DNB Asia ¹⁾	SGD	20 000	20 000 000	SGD	20 000	100	100 768
DNB Brasil	BRL	600	599 999	BRL	600	100	2 689
DNB Capital ²⁾						100	20 662 080
DNB Luxembourg	EUR	70 000	70 000	EUR	70 000	100	635 798
DNB Markets Inc.	USD	1	1 000	USD	1	100	3 155
DNB Sweden	SEK	100 000	100 000 000	SEK	100 000	100	13 785 672
DNB (UK) Limited	GBP	200	200 000	GBP	200	100	12 307 645
Domestic subsidiaries							
Aksje- og Eiendomsinvest		100	100 000		100	100	38 721
Bryggetorget Holding		3 250	2 500		3 250	100	63 230
Digital Wallet		297	2 971		297	100	7 500
DNB Boligkreditt		3 857 000	38 570 000		3 857 000	100	33 384 000
DNB Eiendom		10 003	100 033		10 003	100	158 021
DNB Eiendomsutvikling		91 000	91 000 000		91 000	100	253 731
DNB Gjenstandsadministrasjon		3 000	30		3 000	100	3 000
DNB Invest Holding		100 000	200 000		100 000	100	172 000
DNB Megjerservice		1 200	12		1 200	100	10 221
DNB Næringskreditt		550 000	550 000		550 000	100	5 240 942
DNB Næringsmegling		1 000	10 000		1 000	100	24 000
DNB Polish Properties		1 200	1 200		1 200	100	35 113
Godfjellet		8 030	8 030		8 030	100	27 600
Godfjorden		1 000	10 000		1 000	100	72 000
Kongsberg Industriendom		100	1 000		100	100	10 000
Total investments in subsidiaries							118 233 322

1) DNB Asia Ltd has part of its share capital denominated in SGD (due to local requirements) and a part of its share capital denominated in USD.

2) DNB Capital LLC, a limited liability company, has paid-in capital of USD 2.4 billion.

Hedging of investments in subsidiaries

In DNB Bank ASA, currency risk associated with foreign currency investments in subsidiaries is subject to fair value hedging. The hedging instruments used are mainly debt securities issued. Changes in the value of the investments and hedging instruments resulting from exchange rate movements are recorded in the income statement. At group level, net investments in subsidiaries are hedged through cash flow hedges for an amount corresponding to DNB Bank's investments. Changes in the value of investments and hedging instruments are recorded in the comprehensive income statement. Ineffectiveness in the hedging relationship is recognised in the income statement. The strengthening of the Norwegian krone through 2016 decreased the value of investments in subsidiaries by NOK 5 795 million, which was offset by a corresponding increase in the value of hedging contracts, adjusted for tax effects. In 2015, there was an increase in the value of investments in subsidiaries by NOK 8 497 million.

Note 37 Intangible assets

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
3 012	2 921	Goodwill	3 057	3 100
510	571	Capitalised systems development	824	876
152	106	Other intangible assets	100	199
3 675	3 598	Total intangible assets	3 981	4 176

DNB Bank ASA				
Amounts in NOK million	Goodwill	Capitalised systems development	Other intangible assets	Total
Cost as at 1 January 2015	3 622	2 157	838	6 617
Additions		137	0	138
Additions from the acquisition/establishment of other companies				
Increase/reduction in cost price				
Disposals	(1)	(810)	(22)	(833)
Exchange rate movements	57	1	9	67
Cost as at 31 December 2015	3 678	1 486	825	5 989
Total depreciation and impairment as at 1 January 2015	(658)	(1 522)	(641)	(2 822)
Depreciation		(197)	(48)	(245)
Impairment		(68)		(66)
Disposals	1	811	22	833
Exchange rate movements	(7)	(1)	(5)	(14)
Total depreciation and impairment as at 31 December 2015	(665)	(976)	(672)	(2 313)
Carrying amount as at 31 December 2015	3 012	510	152	3 675
Cost as at 1 January 2016	3 678	1 486	825	5 989
Additions		266	323	589
Additions from the acquisition/establishment of other companies	(39)			(39)
Increase/reduction in cost price	(41)			(41)
Disposals	(0)	106	(452)	(346)
Exchange rate movements	(55)	(2)	(14)	(71)
Cost as at 31 December 2016	3 543	1 857	681	6 080
Total depreciation and impairment as at 1 January 2016	(685)	(976)	(672)	(2 313)
Depreciation		(139)	(49)	(188)
Impairment		(3)		(3)
Disposals	41	(169)	136	7
Exchange rate movements	3	2	11	15
Total depreciation and impairment as at 31 December 2016	(622)	(1 206)	(575)	(2 403)
Carrying amount as at 31 December 2016	2 921	571	106	3 598

Note 37 Intangible assets (continued)

	DNB Bank Group			
Amounts in NOK million	Goodwill	Capitalised systems development	Other intangible assets	Total
Cost as at 1 January 2015	4 607	3 947	1 110	9 665
Additions	12	142	51	204
Additions from the acquisition/establishment of other companies				
Increase/reduction in cost price				
Disposals	(11)	(811)	(119)	(941)
Exchange rate movements	57	118	(64)	110
Cost as at 31 December 2015	4 665	3 395	978	9 039
Total depreciation and impairment as at 1 January 2015	(1 560)	(2 922)	(867)	(5 349)
Depreciation		(269)	(83)	(352)
Impairment		(66)		(66)
Disposals	2	811	73	887
Exchange rate movements	(7)	(73)	99	19
Total depreciation and impairment as at 31 December 2015	(1 566)	(2 519)	(778)	(4 863)
Carrying amount as at 31 December 2015	3 100	876	199	4 176
Cost as at 1 January 2016	4 665	3 395	978	9 039
Additions	19	266	346	632
Additions from the acquisition/establishment of other companies	(0)			(0)
Increase/reduction in cost price	(41)		(0)	(41)
Disposals	(3)	(367)	(444)	(813)
Exchange rate movements	(56)	(55)	(40)	(150)
Cost as at 31 December 2016	4 585	3 241	841	8 668
Total depreciation and impairment as at 1 January 2016	(1 566)	(2 519)	(778)	(4 863)
Depreciation		(241)	(43)	(284)
Impairment	(5)	(3)		(8)
Disposals	20	286	52	358
Exchange rate movements	23	60	29	112
Total depreciation and impairment as at 31 December 2016	(1 528)	(2 417)	(741)	(4 686)
Carrying amount as at 31 December 2016	3 057	824	100	3 981

Goodwill

The risk-free interest rate is set at 3 per cent, the market risk premium is set at 5 per cent, and the long-term growth factor is set at 2.5 per cent for all cash-generating units. Beta values are estimated separately for each cash-generating unit. Required rate of return is before tax. For a detailed description of methods and assumptions used in the calculation of the recoverable amount for goodwill, see note 1 Accounting principles.

Note 37 Intangible assets (continued)

DNB Bank ASA			Goodwill per unit as at 31 December 2016		DNB Bank Group		
Recorded (NOK million)	Required rate of return (per cent)	Growth factor (per cent)		Growth factor (per cent)	Required rate of return (per cent)	Recorded (NOK million)	
982	12.4	2.5	Personal customers	2.5	12.4	982	
483	12.4	2.5	Small and medium sized enterprises	2.5	12.4	483	
791	12.4	2.5	DNB Finans - car financing	2.5	12.4	791	
665	12.4	2.5	Other	2.5	12.4	801	
2 921			Total goodwill			3 057	

DNB Bank ASA			Goodwill per unit as at 31 December 2015		DNB Bank Group		
Recorded (NOK million)	Required rate of return (per cent)	Growth factor (per cent)		Growth factor (per cent)	Required rate of return (per cent)	Recorded (NOK million)	
982	11.8	2.5	Personal customers	2.5	11.8	982	
483	11.8	2.5	Small and medium sized enterprises	2.5	11.8	483	
811	11.8	2.5	DNB Finans - car financing	2.5	11.8	811	
737	11.8	2.5	Other	2.5	11.8	824	
3 012			Total goodwill			3 100	

Personal customers – parent bank

This unit encompasses banking operations (loans and deposits) for personal customers in the regional network in Norway, and recorded goodwill mainly stems from the merger between DnB and Gjensidige NOR and the acquisition of Nordlandsbanken. In addition, some goodwill remains from previously acquired offices in Gjensidige NOR. Key assumptions for cash flows during the plan period are developments in margins, volumes and impairment of loans.

Small and medium sized enterprises – parent bank

This unit encompasses banking operations (loans and deposits) for corporate customers in the regional network in Norway, and recorded goodwill mainly stems from the merger between DnB and Gjensidige NOR. Key assumptions for cash flows during the plan period are developments in margins, volumes and impairment of loans.

DNB Finans – car financing

The unit encompasses DNB's car financing operations in Norway and Sweden, and goodwill stems from DNB's acquisition of Skandiabanken's car financing operations with effect from 2008. Critical assumptions for cash flows during the plan period are car sales figures and DNB Finans' ability to retain customer relations with important car dealers, along with long-term margin developments and the level of impairment of loans.

Note 38 Fixed assets

DNB Bank ASA					
	Bank buildings and other properties	Machinery, equipment and vehicles	Fixed assets operating leases	Other fixed assets	Total
<i>Amounts in NOK million</i>					
Accumulated cost as at 31 December 2015	200	3 101	8 648	15	11 965
Reclassified fixed assets	7	(7)			
Additions	9	165	2 333	1	2 508
Disposals	(31)	(242)	(2 667)	(5)	(2 945)
Exchange rate movements	(13)	(10)	(296)	(0)	(319)
Cost as at 31 December 2016	172	3 007	8 018	11	11 209
Total depreciation and impairment as at 31 December 2015	(33)	(1 523)	(2 927)	(2)	(4 485)
Disposals	0	188	1 583	0	1 772
Depreciation ¹⁾	(9)	(308)	(1 252)	(1)	(1 570)
Exchange rate movements	3	3	103	0	108
Total depreciation and impairment as at 31 December 2016	(39)	(1 640)	(2 493)	(2)	(4 175)
Carrying amount as at 31 December 2016	133	1 367	5 525	9	7 034

DNB Bank Group					
	Bank buildings and other properties	Machinery, equipment and vehicles	Fixed assets operating leases	Other fixed assets	Total
<i>Amounts in NOK million</i>					
Accumulated cost as at 31 December 2015	798	3 501	8 648	174	13 122
Reclassified fixed assets	7	(7)			
Additions	19	233	2 333	27	2 613
Fixed assets, reclassified as held for sale	(419)	(280)		(100)	(799)
Disposals	(188)	(286)	(2 667)	(27)	(3 179)
Exchange rate movements	(35)	(24)	(296)	(7)	(363)
Cost as at 31 December 2016	173	3 136	8 018	67	11 394
Total depreciation and impairment as at 31 December 2015	(210)	(1 821)	(2 928)	(104)	(5 063)
Fixed assets, reclassified as held for sale	113	209		62	384
Disposals	78	230	1 584	20	1 912
Depreciation ¹⁾	(20)	(346)	(1 252)	(13)	(1 631)
Impairment	(13)				(13)
Exchange rate movements	12	14	103	5	133
Total depreciation and impairment as at 31 December 2016	(39)	(1 715)	(2 493)	(31)	(4 278)
Carrying amount as at 31 December 2016	133	1 421	5 525	36	7 117

1) Based on cost less any residual value, other assets are subject to straight-line depreciation over their expected useful life within the following limits:

Technical installations	10 years
Machinery	3-10 years
Fixtures and fittings	5-10 years
Computer equipment	3-5 years
Means of transport	5-7 years

The DNB Bank ASA has not placed any collateral for loans/funding of fixed assets, including property.

Note 39 Assets and liabilities held for sale

On 25 August 2016 DNB and Nordea announced an agreement to combine their operations in Estonia, Latvia and Lithuania. The transaction is conditional upon regulatory approvals, and is expected to close in the second quarter of 2017. Nordea and DNB will have equal voting rights in the combined bank, while having different economic ownership levels that reflect the relative equity value of their contribution to the combined bank at the time of closing.

Once the transaction has been completed DNB Bank ASA will no longer have full control of its subsidiaries, but will be involved in the financial and operating policy decisions of the new company established together with Nordea. At end-December 2016 all assets and liabilities related to DNB's Baltic operations were presented as held for sale, while there were no changes in the presentation in the income statement. The capital adequacy reporting was not affected. No impairment loss has been recognised in the income statement following the reclassification. The subsidiaries are part of DNB's Large corporates and international customers segment. Following the completion of the transaction, DNB's ownership will be consolidated on one line in the financial statement according to the equity method.

The table below shows consolidated balance sheet amounts reclassified as assets and liabilities held for sale at end-December 2016.

<i>Amounts in NOK million</i>	DNB Baltics
	2016
Assets	
Cash and deposits with central banks	3 645
Due from credit institutions	229
Loans to customers	45 007
Commercial paper and bonds at fair value	1 713
Shareholdings	47
Financial derivatives	72
Investment properties	607
Intangible assets	78
Deferred tax assets	124
Fixed assets	406
Other assets	375
Total assets	52 303
Liabilities	
Due to credit institutions	3 834
Deposits from customers	36 464
Financial derivatives	402
Payable taxes	21
Other liabilities	439
Provisions	4
Total liabilities	41 165

Note 40 Leasing

DNB Bank ASA		Financial leases (as lessor)	DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016		31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
		Amounts in NOK million		
		Gross investment in the lease		
11 098	12 165	Due within 1 year	13 472	12 292
28 599	31 348	Due in 1-5 years	35 624	32 324
2 988	3 275	Due in more than 5 years	3 335	3 042
42 685	46 788	Total gross investment in the lease	52 431	47 659
		Present value of minimum lease payments		
10 754	11 788	Due within 1 year	12 930	11 789
23 022	25 235	Due in 1-5 years	28 883	26 595
1 981	2 171	Due in more than 5 years	2 226	2 027
35 757	39 195	Total present value of lease payments	44 039	40 410
6 928	7 594	Unearned financial income	8 393	7 249
128	65	Unguaranteed residual values accruing to the lessor	65	128
1 728	802	Accumulated loan-loss provisions	826	1 742
46	51	Variable lease payments recognised as income during the period	117	119
DNB Bank ASA		Operational leases (as lessor)	DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016		31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
		Amounts in NOK million		
		Future minimum lease payments under non-cancellable leases		
354	342	Due within 1 year	342	354
1 769	1 708	Due in 1-5 years	1 723	1 779
35	33	Due in more than 5 years	33	35
2 157	2 083	Total future minimum lease payments under non-cancellable leases	2 098	2 167
DNB Bank ASA		Operational leases (as lessee)	DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016		31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
		Amounts in NOK million		
		Minimum future lease payments under non-cancellable leases		
22	81	Due within 1 year	93	36
583	372	Due in 1-5 years	449	670
6 125	5 837	Due in more than 5 years	5 837	6 142
6 740	6 290	Total minimum future lease payments under non-cancellable leases	6 379	6 848
399	478	Total minimum future sublease payments expected to be received under non-cancellable subleases	297	225
DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
2015	2016		2016	2015
		Amounts in NOK million		
		Leases recognised as an expense during the period		
895	857	Minimum lease payments	822	843
		Variable lease payments		
895	857	Total leases recognised as an expense during the period	822	843
(0)	(0)	Impairment of leases	(0)	(0)

Financial leases (as lessor)

The DNB Bank Group's financial leasing operations apply to DNB Bank ASA and DNB's operations in Baltics and Poland.

Operational leases (as lessor)

Mainly comprises operational leasing operations in DNB Bank ASA.

Operational leases (as lessee)

Mainly comprises premises leased by DNB Bank ASA.

Note 41 Other assets

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
526	736	Accrued expenses and prepaid revenues	841	688
1 404	1 801	Amounts outstanding on documentary credits and other payment services	1 809	1 480
993	1 060	Unsettled contract notes	1 197	1 148
20 812	9 885	Other amounts outstanding ¹⁾	4 408	5 292
23 735	13 462	Total other assets ²⁾	8 255	8 608

1) DNB Bank ASA had outstanding group contributions totaling NOK 6 237 million as at 31 December 2016.

2) Other assets are generally of a short-term nature.

Note 42 Deposits from customers for principal customer groups

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
334 154	344 437	Private individuals	348 263	353 110
64 816	51 347	Transportation by sea and pipelines and vessel construction	51 347	65 040
44 001	47 711	Real estate	43 307	44 782
54 160	67 394	Manufacturing	68 738	57 701
131 811	128 288	Services	128 567	137 262
30 011	27 672	Trade	28 408	32 743
23 749	27 266	Oil and gas	27 267	23 777
46 428	50 265	Transportation and communication	52 650	51 244
19 546	26 074	Building and construction	26 435	21 023
20 049	19 023	Power and water supply	19 469	21 787
5 274	7 582	Seafood	7 582	5 301
2 266	3 071	Hotels and restaurants	3 071	2 395
2 416	2 444	Agriculture and forestry	2 465	4 317
48 908	57 106	Central and local government	57 715	52 253
68 500	60 742	Finance	79 061	84 110
896 087	820 434	Total deposits from customers, nominal amount	945 344	956 846
400	230	Adjustments	349	476
896 488	820 664	Deposits from customers	945 694	957 322

The breakdown into principal customer groups corresponds to the EU's standard industrial classification, NACE Rev.2.

Note 43 Debt securities issued**Changes in debt securities issued**

<i>Amounts in NOK million</i>	DNB Bank ASA					
	Balance sheet 31 Dec. 2016	Issued 2016	Matured/ redeemed 2016	Exchange rate movements 2016	Other adjustments 2016	31 Dec. 2015
Commercial paper issued, nominal amount	153 415	8 917 217	(8 920 456)	(3 333)		159 988
Bond debt, nominal amount ¹⁾	173 368	26 744	(14 588)	(6 766)		167 978
Adjustments	10 158				(1 975)	12 133
Total debt securities issued	336 941	8 943 961	(8 935 044)	(10 099)	(1 975)	340 099

Maturity of debt securities issued recorded at amortised cost as at 31 December 2016 ¹⁾²⁾

<i>Amounts in NOK million</i>	DNB Bank ASA		
	NOK	Foreign currency	Total
2017		31 359	31 359
2018		15 648	15 648
2019		13 074	13 074
2020		33 085	33 085
2021		33 196	33 196
2022		16 408	16 408
2023 and later		18 408	18 408
Total bond debt, recorded at amortised cost, nominal amount		161 178	161 178

Maturity of debt securities issued recorded at fair value as at 31 December 2016 ¹⁾

<i>Amounts in NOK million</i>	DNB Bank ASA		
	NOK	Foreign currency	Total
2017	63	153 352	153 415
Total commercial paper issued, nominal amount	63	153 352	153 415
2017	1 607		1 607
2018	3 151		3 151
2019	2 117		2 117
2020	1 770		1 770
2021	3 453		3 453
2022			
2023 and later	91		91
Total bond debt, nominal amount	12 190		12 190
Total debt securities issued recorded at fair value, nominal amount	12 253	153 352	165 605
Adjustments	774	9 385	10 158
Debt securities issued	13 026	323 915	336 941

1) Minus own bonds.

2) Includes hedged items.

Note 43 Debt securities issued (continued)

Changes in debt securities issued

	Balance sheet 31 Dec. 2016	Issued 2016	Matured/ redeemed 2016	Exchange rate movements 2016	Other adjustments 2016	31 Dec. 2015
<i>Amounts in NOK million</i>						
Commercial paper issued, nominal amount	153 415	8 917 217	(8 920 458)	(3 333)		159 988
Bond debt, nominal amount ¹⁾	581 447	78 691	(80 330)	(24 918)		608 004
Adjustments	32 888				(5 931)	38 819
Total debt securities issued	767 750	8 995 908	(9 000 786)	(28 251)	(5 931)	806 810

Maturity of debt securities issued recorded at amortised cost as at 31 December 2016 ¹⁾²⁾

	NOK	Foreign currency	Total
<i>Amounts in NOK million</i>			
2017		79 640	79 640
2018		72 785	72 785
2019		52 609	52 609
2020		67 197	67 197
2021		80 126	80 126
2022		47 260	47 260
2023 and later		97 073	97 073
Total bond debt, recorded at amortised cost, nominal amount		496 691	496 691

Maturity of debt securities issued recorded at fair value as at 31 December 2016 ¹⁾

	NOK	Foreign currency	Total
<i>Amounts in NOK million</i>			
2017	63	153 352	153 415
Total commercial paper issued, nominal amount	63	153 352	153 415
2017	6 808		6 808
2018	16 318		16 318
2019	18 157		18 157
2020	20 452		20 452
2021	16 861		16 861
2022	3 947		3 947
2023 and later	2 212		2 212
Total bond debt, nominal amount	84 757		84 757
Total debt securities issued recorded at fair value, nominal amount	84 820	153 352	238 172
Adjustments	2 638	30 249	32 888
Debt securities issued	87 458	183 601	271 059

1) Minus own bonds. Nominal amount of outstanding covered bonds in DNB Bolighkreditl totalled NOK 415.8 billion as at 31 December 2016. The cover pool market value represented NOK 599.6 billion.

2) Includes hedged items.

Note 44 Subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities

Changes in subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities						DNB Bank Group
	Balance sheet 31 Dec. 2016	Issued 2016	Matured/ redeemed 2016	Exchange rate movements 2016	Other adjustments 2016	Balance sheet 31 Dec. 2015
<i>Amounts in NOK million</i>						
Term subordinated loan capital, nominal amount	19 415	738	(3)	(1 158)		19 838
Perpetual subordinated loan capital, nominal amount	5 602			(100)		5 702
Perpetual subordinated loan capital securities, nominal amount	3 732			(829)		4 561
Adjustments	599				(254)	853
Total subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities	29 347	738	(3)	(2 087)	(254)	30 953

						DNB Bank Group
Year raised		Carrying amount in foreign currency	Interest rate	Maturity	Call date	Carrying amount in NOK
Term subordinated loan capital						
2012	EUR	750	4.75 % p.a.	2022	2017	6 812
2013	NOK	1 250	3-month NIBOR + 1.70 %	2023	2018	1 250
2013	EUR	750	3.00 % p.a.	2023	2018	6 812
2015	SEK	1 000	1.97 % p.a.	2025	2020	961
2015	SEK	3 000	3-month STIBOR + 1.40 %	2025	2020	2 852
2016	JPY	10 000	1.00 % p.a.	2026	2021	738
Total, nominal amount						19 415
Perpetual subordinated loan capital						
1985	USD	215	3-month LIBOR + 0.25 %			1 851
1986	USD	200	6-month LIBOR + 0.13 %			1 722
1986	USD	150	6-month LIBOR + 0.15 %			1 291
1999	JPY	10 000	4.51 % p.a.		2029	738
Total, nominal amount						5 602
Perpetual subordinated loan capital securities						
2007	GBP	350	6.01 % p.a.		2017	3 732
Total, nominal amount						3 732

The subordinated loan capital and perpetual subordinated loan capital securities are issued by DNB Bank ASA.

Note 45 Other liabilities

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
805	1 574	Short-term funding	1 574	805
5 359	516	Short positions trading	516	5 359
3 471	3 602	Accrued expenses and prepaid revenues	3 890	3 955
1 599	2 810	Documentary credits, cheques and other payment services	2 831	1 666
3 264	2 906	Unsettled contract notes	2 943	3 288
22 864	9 858	Group contribution/dividends		(0)
735	632	Accounts payable	1 015	932
246	246	General employee bonus	246	246
1 095	1 749	Other liabilities	2 765	2 156
39 438	23 893	Total other liabilities ¹⁾	15 781	18 409

1) Other liabilities are generally of a short-term nature.

Note 46 Equity**Share capital**

DNB Bank ASA is wholly owned subsidiary of DNB ASA, which is a Norwegian public limited company listed on the Oslo Stock Exchange (Oslo Børs). The share capital of DNB Bank ASA at 31 December 2016 and 31 December 2015 was NOK 18 314 311 000 divided into 183 143 110 shares, each with a nominal value of NOK 100.

Fund for unrealised gains

The restricted share of retained earnings (fund for unrealised gains) in DNB Bank ASA totalled NOK 1 588 million at 31 December 2016 and NOK 1 036 million at 31 December 2015.

Additional Tier 1 capital

The additional Tier 1 capital is issued by DNB Bank ASA.

Changes in additional Tier 1 capital

					DNB Bank Group	
Amounts in NOK million	Balance sheet 31 Dec. 2016	Issued 2016	Interest paid 2016	Interest accrued 2016	Exchange rate movements 2016	Balance sheet 31 Dec. 2015
Additional Tier 1 capital, nominal amount	15 574	7 520				8 053
Adjustments	379		(505)	595	(11)	299
Additional Tier 1 capital	15 952	7 520	(505)	595	(11)	8 353

				DNB Bank Group	
Year raised	Carrying amount in foreign currency	Interest rate		Carrying amount in NOK	
2015	NOK 2 150	3-month NIBOR + 3.25 %		2 150	
2015	USD 750	5.75 % p.a.		5 903	
2016	NOK 1 400	3-month NIBOR + 5.25 %		1 400	
2016	USD 750	6.50 % p.a.		6 120	
Total, nominal amount				15 574	

Note 47 Remunerations etc.

Pursuant to Section 6-16a of the Norwegian Public Limited Companies Act, the Board of Directors will present the following statement on remunerations to the Annual General Meeting for voting:

"Information about DNB's remuneration scheme

Pursuant to the regulations on remuneration schemes in financial institutions etc., issued by the Norwegian Ministry of Finance on 1 December 2010 and subsequent amendments, companies are required to publish information about the main principles for determining remunerations, criteria for the stipulation of any variable remunerations and quantitative information on remuneration to senior executives. The information in this note, including the Board of Directors' statement on the stipulation of salaries and other remunerations to senior executives below, represents such information, as stipulated in the remuneration regulations.

The group guidelines for remuneration in the DNB Group apply to the total remuneration to all permanent employees in the DNB Group and have been approved by the Board of Directors. The guidelines comprise monetary remuneration (fixed salary, short and long-term incentives), employee benefits (pensions, employer's liability insurance and other employee benefits) and employee development and career measures (courses and development programmes, career programmes and other non-monetary remuneration).

According to the guidelines, total remuneration is to be based on a total evaluation of the performance of the Group, as well as the unit's and each individual's contributions to value creation. Total remuneration should be structured to ensure that it does not expose the Group to unwanted risk. The remuneration should be competitive, but also cost-effective for the Group.

Furthermore, monetary remuneration should consist of a fixed and a variable part where this is appropriate. Fixed salary should be a compensation for the responsibilities and requirements assigned to each position, as well as its complexity, while variable remuneration should encourage strong performance and desired conduct.

Variable remuneration

The group guidelines shall ensure that variable remuneration is granted in accordance with the provisions in the remuneration regulations and the circular from Finanstilsynet on remuneration schemes in financial institutions, investment firms and management companies for mutual funds. DNB has had separate group guidelines for variable remuneration since 2011, including special rules for variable remuneration to senior executives, employees with responsibilities which are of great importance to the company's risk exposure ("risk takers") and employees who are responsible for independent control functions.

The purpose of variable remuneration is to reward conduct and develop a corporate culture which ensures long-term value generation.

Variable remuneration is based on an overall assessment of the results achieved within defined target areas for the Group, the unit and the individual, as well as compliance with the Group's vision, values, code of ethics and leadership principles. The variable remuneration should be performance-based without exposing the Group to unwanted risk. Furthermore, it should counteract excessive risk taking and promote sound and effective risk management in DNB. Variable remuneration (bonus) for senior executives cannot exceed 50 per cent of fixed salary.

DNB's variable remuneration scheme applies globally, though non-Norwegian branches and subsidiaries will also be required to comply with local legislation, regulations and guidelines. There may be challenges of a legal nature in cases where the Norwegian regulations do not correspond to local legislation and local rules concerning remunerations in financial institutions. In such cases, the Group will seek advice from the relevant authorities and international experts to ensure that the Group's practices are in compliance with both Norwegian and local regulations.

The Board of Directors' statement on the stipulation of salaries and other remunerations to senior executives

DNB's guidelines for determining remunerations to the group chief executive and other members of the group management team should, at all times, support prevailing strategy and values, while contributing to the attainment of the Group's targets. The remuneration should inspire conduct to build the desired corporate culture with respect to performance and profit orientation. No changes have been made in the principles for the stipulation of variable remunerations compared with the statement for the previous year.

Decision-making process

The Board of Directors in DNB ASA has established a compensation committee consisting of four members: the chairman of the Board, the vice-chairman, one board member and one board member elected by the employees.

The Compensation Committee prepares matters for the Board of Directors and has the following main responsibilities:

- Annually evaluate and present its recommendations regarding the total remuneration awarded to the group chief executive
- Annually prepare recommended targets for the group chief executive
- Based on suggestions from the group chief executive, decide the remuneration and other key benefits awarded to the group executive vice president, Group Audit and the group executive vice president, Group Risk Management
- Act in an advisory capacity to the group chief executive regarding remunerations and other key benefits for members of the group management team and, when applicable, for others who report to the group chief executive
- Consider other matters as decided by the Board of Directors and/or the Compensation Committee
- Evaluate other personnel-related issues which can be assumed to entail great risk to the Group's reputation

Note 47 Remunerations etc. (continued)

A Guidelines for the coming accounting year

Remuneration to the group chief executive

The total remuneration to the group chief executive consists of fixed salary (main element), benefits in kind, variable remuneration, and pension and insurance schemes. The total remuneration is determined based on a total evaluation, and the variable part of the remuneration is primarily based on the Group's financial targets for return on equity, the common equity Tier 1 capital ratio and cost/income ratio.

In addition to the financial targets, the Group's customer satisfaction, corporate reputation scores and developments in key performance indicators relating to the Group's corporate culture will be taken into consideration. In addition, the total evaluation will reflect compliance with the Group's vision, values, code of ethics and leadership principles.

The fixed salary is subject to an annual evaluation and is determined based on salary levels in the labour market in general and in the financial industry in particular, and on remuneration levels for comparable positions.

Variable salary to the group chief executive is determined based on an overall assessment of the results achieved within defined target areas. Variable salary cannot exceed 50 per cent of fixed salary. The group chief executive is not awarded performance-based payments other than the stated variable remuneration.

In addition to variable remuneration, the group chief executive can be granted benefits in kind such as company car, newspapers/periodicals and telephone/other communication. Benefits in kind should be relevant to the group chief executive's function or in line with market practice, and should not be significant relative to the group chief executive's fixed salary.

The group chief executive is a member of the defined-contribution pension scheme pursuant to the Norwegian Defined-contribution Pension Act in line with all other employees in Norway.

Up until 31 December 2016, the group chief executive had an agreement whereby his retirement age was 60 years with a pension representing 70 per cent of fixed salary. According to the agreement, if employment was terminated prior to the age of 60, he would still be entitled to a pension from the age of 60 with the deduction of 1/14 of the pension amount for each full year remaining to his 60th birthday. As of 1 January 2017, this agreement has been replaced by a defined-contribution direct pension agreement based on the same conditions and principles as those used in connection with the conversion of the Group's defined-benefit occupational pension scheme in 2016 pursuant to the Norwegian Occupational Pension Act. According to the new agreement, the entitlements of the group chief executive, calculated on the conversion date, are estimated to correspond to the technical insurance value of the former defined-benefit agreement. Based on the calculation assumptions, the new agreement will have the same value as the former defined-benefit agreement would have had at retirement age. Future pension entitlements will comprise annual contributions and the return on the rights earned. After the age of 60, no further contributions will be earned under this agreement. The group chief executive's pension scheme is thus based entirely on defined-contribution principles, and the company carries no risk for the return achieved on the contributions.

According to the agreement, the group chief executive is entitled to a termination payment for two years if employment is terminated prior to the age of 60. If, during this period, the group chief executive receives income from other employment, the termination payment will be reduced by an amount corresponding to the salary received from this employment. Benefits in kind will be maintained for a period of three months.

Remuneration to other senior executives

The group chief executive determines the remunerations to senior executives in agreement with the chairman of the Board of Directors. The Board of Directors will honour existing binding agreements.

The total remuneration to senior executives consists of fixed salary (main element), benefits in kind, variable salary, and pension and insurance schemes. The total remuneration is determined based on the need to offer competitive terms in the various business areas. The remunerations should promote the Group's competitiveness in the relevant labour market, as well as the Group's profitability, including the desired trend in income and costs. The total remuneration should take DNB's reputation into consideration and ensure that DNB attracts and retains senior executives with the desired skills and experience.

The fixed salary is subject to an annual evaluation and is determined based on salary levels in the labour market in general and in the financial industry in particular.

Benefits in kind may be offered to senior executives to the extent the benefits have a relevant connection to the employee's function in the Group or are in line with market practice. The benefits should not be significant relative to the employee's fixed salary.

Target structure 2017

The Compensation Committee approves principal criteria, principles and limits for variable remuneration. The Compensation Committee has decided that the Group's return on equity, the common equity Tier 1 capital ratio and cost/income ratio should constitute the financial target figures for 2017. In addition to the financial targets, the Group's customer satisfaction and corporate reputation scores are taken into consideration, as well as developments in key performance indicators relating to the Group's corporate culture and innovation.

The Group's financial target figures have been broken down into relevant targets for the various business areas and staff and support units in order to offer optimal support for the implementation of new capital adequacy and liquidity regulations.

The above targets will be key elements when calculating and paying out the variable remuneration for 2017. All financial targets have been defined and communicated to the relevant business areas and staff and support units as part of the work with and follow-up of the targets for 2017.

Note 47 Remunerations etc. (continued)

Determination of variable remuneration for 2017

The variable remuneration for 2017 will be determined by means of an overall assessment of performance, based on a combination of quantitative attainment of pre-set performance targets and qualitative assessments of how the targets were achieved.

The Board of Directors will determine a maximum limit for total bonuses for the Group, excluding DNB Markets and DNB Eiendom, based on the attainment of group targets over the last two years, combined with a general assessment of other important parameters and the Group's financial capacity. The total limit will be allocated to the organisation based on the individual units' target attainment and contributions to the Group's performance. With respect to DNB Markets, a special limit will be determined for variable remuneration based on the risk-adjusted profits achieved by the unit and an overall assessment, which is in line with market practice for this type of operations. Correspondingly, the remuneration model in DNB Eiendom is consistent with market practice, with a high share of variable remuneration based on individual performance.

Special rules for senior executives, identified risk takers and employees responsible for independent control functions

DNB has prepared and implemented special rules for identified risk takers, employees responsible for independent control functions and senior executives, hereinafter called risk takers. The special rules supplement the general group guidelines for remuneration and have been formulated in compliance with the remuneration regulations and the related circular from Finanstilsynet.

In accordance with prevailing requirements, DNB has surveyed the entire organisation to identify risk takers based on the criteria resulting from the circular and the EU regulation.

For risk takers, the following main principles apply to variable remuneration:

- The remuneration is earned over a period of two years.
- Variable remuneration cannot exceed the agreed fixed remuneration.

Deferred and conditional payment of minimum 50 per cent of the earned variable remuneration in the form of DNB shares. The remuneration paid in the form of shares will be divided into three, subject to minimum holding periods (deferred and conditional), with one-third each year over a period of three years. The deferred and conditional payments will be in compliance with the stipulations in the remuneration regulations.

Pensions etc.

Pension schemes and any agreements on termination payments etc. should be considered relative to other remuneration and should ensure competitive terms. The various components in pension schemes and severance pay, either alone or together, must not be such that they could pose a threat to DNB's reputation.

Senior executives are members of the defined-contribution pension scheme pursuant to the Norwegian Defined-contribution Pension Act, in line with all other employees in Norway. Up to 31 December 2016, most senior executives in the Group had agreements entitling them to a defined-benefit pension at the age of 65, subject to certain adaptations, which at all times have been in accordance with government guidelines for remunerations to senior executives. Pension entitlements were not to exceed 70 per cent of fixed salary and should constitute maximum 12 times the National Insurance basic amount. However, the DNB Group has honoured existing agreements. As of 1 January 2017, these agreements have been replaced by defined-contribution direct pension agreements based on the same calculation assumptions and principles as those used in connection with the conversion of the Group's defined-benefit occupational pension scheme in 2016 pursuant to the Norwegian Occupational Pension Act.

The pension entitlements of the senior executives, calculated on the conversion date, are estimated to correspond to the technical value of the former defined-benefit scheme. Future pension entitlements will from now on comprise annual contributions and the return on the rights earned. The annual contributions are calculated individually to ensure that, based on the calculation assumptions, the new scheme will have the same value as the former defined-benefit agreement would have had at retirement age.

As a main rule, no termination payment agreements will be signed. However, the Group will honour existing agreements.

When entering into new agreements, the guidelines generally apply and comprise all senior executives.

See table of remunerations for senior executives below.

B. Binding guidelines for shares, subscription rights, options etc. for the coming accounting year

An amount corresponding to 50 per cent of the earned variable remuneration of the group chief executive, senior executives and risk takers is invested in shares in DNB ASA. The minimum holding periods are one year for one-third of the shares, two years for one-third of the shares and three years for the final one-third of the shares.

No additional shares, subscription rights, options or other forms of remuneration only linked to shares or only to developments in the share price of the company or other companies within the Group, will be awarded to the group chief executive or senior executives. The group chief executive and senior executives are, however, given the opportunity to participate in a share subscription scheme on the same terms as other employees in the DNB Group.

C. Statement on the senior executive salary policy in the previous account year

The group guidelines determined in 2011, including changes effective as from 2015, have been followed.

Note 47 Remunerations etc. (continued)

D. Statement on the effects for the company and the shareholders of remuneration agreements awarding shares, subscription rights, options etc.

An amount corresponding to 50 per cent of the gross variable remuneration earned by the group chief executive and senior executives in 2016 is invested in shares in DNB ASA. The Board of Directors believes that the awarding of shares to senior-executives, in view of the total number of shares in the company, will have no negative consequences for the company or the shareholders."

Terms for the chairman of the Board of Directors

Anne Carine Tanum received a remuneration of NOK 437 000 in 2016 as chairman of the Board of Directors of DNB Bank ASA, compared with NOK 420 000 in 2015. In addition, she received NOK 548 000 as chairman of the Board of Directors of DNB ASA, compared with NOK 526 000 in 2015.

Terms for the group chief executive

Rune Bjerke received an ordinary salary of NOK 5 794 000 in 2016, compared with NOK 5 628 000 in 2015. The Board of Directors of DNB ASA stipulated the group chief executive's bonus payment for 2016 at NOK 2 010 000, compared with NOK 2 332 000 in 2015. The bonus for 2016 will be paid in 2017. Benefits in kind were estimated at NOK 322 000, compared with NOK 349 000 in 2015. Costs in connection with the group chief executive's pension scheme of NOK 3 871 000 were recorded for the 2016 accounting year, compared with NOK 4 586 000 in 2015. Costs are divided between DNB ASA and DNB Bank ASA. The costs recorded in the 2016 accounts consist of two elements: pension entitlements earned during the year (NOK 4 989 000) and a deduction for the effect of the conversion of the pension scheme for salaries in excess of 12G (NOK 1 118 000).

Note 47 Remunerations etc. (continued)

The table has been constructed to show rights earned during the period.

Remunerations etc. in 2016

	Fixed annual salary as at 31 Dec. 2016 ¹⁾	Remunera- tion earned in 2016 ²⁾	Paid salaries in 2016 ³⁾	Bonus earned in 2016 ⁴⁾	Benefits in kind and other benefits in 2016	Total remunera- tion earned in 2016	Loans as at 31 Dec. 2016 ⁵⁾	Accrued pension expenses in 2016 ⁶⁾
<i>Amounts in NOK 1 000</i>								
Board of Directors of DNB Bank ASA								
Anne Carine Tanum (chairman)		985			2	987		
Jarle Berge (vice-chairman)		710			6	717		
Lillian Hattrem (from 1 January 2016)	594	321	597	20	39	977	3 257	73
Kim Wahl		319				319	51	
Group management								
Rune Bjerke, CEO	5 556		5 794	2 010	322	8 126	8 845	4 988
Bjorn Erik Naess, CFO (until 1 March 2017)	3 880		4 071	1 520	234	5 825	956	5 224
Kjerstin Braathen, CFO (from 1 March 2017)	3 010		3 150	1 150	234	4 534	40	619
Trond Bente Stuen, group EVP	3 560		3 204	1 290	268	4 763	6 301	706
Ottar Ertzeid, group EVP	8 820		9 205	3 800	235	13 240	23	623
Benedicte S. Fasmer, group EVP (from 26 September 2016)	2 950		2 383	870	205	3 459	7 476	113
Liv Fiksdahl, group EVP	3 050		3 196	1 110	243	4 549	1 236	1 014
Rune Garborg, group EVP (from 26 September 2016)	2 950		2 423	1 420	229	4 072	6 634	321
Solveig Hellebust, group EVP	2 450		2 571	930	232	3 733	3	379
Thomas Midteide, group EVP	2 500		2 098	930	258	3 287	4 482	256
Kari Olrud Moen, group EVP	2 810		2 845	1 020	232	4 197	18	1 320
Tom Rathke, group EVP	3 400		3 733	1 020	276	5 030	6 221	2 613
Bengt Olav Lund, EVP ⁷⁾	2 610		1 992	1 260	204	3 445	7 115	113
Harald Serck-Hanssen, group EVP	4 090		4 279	1 400	252	5 931	5 372	1 004
Terje Tumes, group EVP	3 930		4 119	580	235	4 935		575
Loans to other employees							18 112 694	

1) Fixed annual salary at year-end for employees who were members of the Board of Directors or the group management team during the year.

2) Includes remuneration received from all companies within the DNB Group for service on Boards of Directors and committees. For those who have received remuneration for more than one position in 2016, the following amounts are related to their board positions in DNB Bank ASA:

Anne Carine Tanum: NOK 437 000

Jarle Berge: NOK 319 000

Some persons are members of more than one body.

3) Includes salary payments for the entire year and holiday pay on bonuses. Some employees were members of the Board of Directors or the group management team for only parts of the year.

4) Bonus earned excluding holiday pay.

5) Loans to shareholder-elected representatives are extended on ordinary customer terms. Loans to DNB employees are extended on special terms, which are close to ordinary customer terms.

6) Pension rights earned during the year (SCC). The calculation of pension entitlements is based on the same economic and actuarial assumptions as those used in note 24 Pensions. Pension rights earned during the year exclude the effect of the pension scheme conversion, see table below.

7) Acting head of Wealth Management since May 2016. Fixed salary includes acting pay.

Note 47 Remunerations etc. (continued)

The table has been constructed to show rights earned during the period.

Remunerations etc. in 2015

	DNB Bank Group							
Amounts in NOK 1 000	Fixed annual salary as at 31 Dec. 2015 ¹⁾	Remuneration earned in 2015 ²⁾	Paid salaries in 2015 ³⁾	Bonus earned in 2015 ⁴⁾	Benefits in kind and other benefits in 2015	Total remuneration earned in 2015	Loans as at 31 Dec. 2015 ⁵⁾	Accrued pension expenses ⁶⁾
Board of Directors of DNB Bank ASA								
Anne Carine Tanum (chairman)		946			12	958		
Jarle Berge (vice-chairman)		614			5	619		
Sverre Finstad	659	614	669	22	60	1 365	549	57
Vigdís Mathisen	719	614	721	22	27	1 384	3 763	82
Kai Nyland ⁷⁾		307			187	494	1	
Torill Rambjør		307			895	1 002	20	
Kim Wahl		307				307	53	
Group management								
Rune Bjerke, CEO	5 420		5 628	2 332	349	8 309	9 549	4 596
Bjørn Erik Næss, CFO	3 795		3 956	1 642	208	5 806	376	4 927
Trond Bentzen, group EVP	2 970		3 076	1 322	224	4 622	6 532	675
Kjerstin Braathen, group EVP	2 895		3 010	1 272	205	4 486	35	553
Ottar Ertzeid, group EVP	8 620		8 972	4 012	205	13 189	37	489
Liv Fiksdahl, group EVP	2 970		3 082	1 322	207	4 611	1 450	846
Solveig Hellebust, group EVP	2 385		2 478	1 052	200	3 731	11	290
Kari Olrud Moen, group EVP	2 750		2 861	1 172	201	4 235	18	1 309
Tom Rethke, group EVP	3 325		3 610	1 502	251	5 364	6 349	2 162
Harald Serck-Hanssen, group EVP	4 020		4 188	1 712	245	6 144	5 478	959
Thomas Midtved, group EVP	1 900		1 973	832	210	3 015	5 776	188
Terje Tumes, group EVP (from 7 February 2015)	3 850		3 725	742	201	4 667	63	474
Trygve Young, group EVP (until 7 February 2015) ⁷⁾			902		1 996	2 898	1	
Control Committee								
Frøde Hassel (chairman)		438				438		
Karl Olav Hovden (vice-chairman) ⁷⁾		364			307	671		
Ida Hellesten		292				292		
Ida Espolin Johnson		292				292	161	
Ole Trastli		292				292	3 631	
Supervisory Board	5 471	703	5 663	373	223	6 962	38 349	277
Loans to other employees							17 273 913	

1) Fixed annual salary at year-end for employees who were members of the Board of Directors or the group management team during the year.

2) Includes remuneration received from all companies within the DNB Group for service on Boards of Directors and committees. For those who have received remuneration for more than one position in 2015, the following amounts are related to their board positions in DNB Bank ASA:

Anne Carine Tanum: NOK 420 000

Jarle Berge: NOK 307 000

Sverre Finstad: NOK 307 000

Vigdís Mathisen: NOK 307 000

Some persons are members of more than one body.

3) Includes salary payments for the entire year and holiday pay on bonuses. Some employees were members of the Board of Directors or the group management team for only parts of the year.

4) Bonus earned excluding holiday pay.

5) Loans to shareholder-elected representatives are extended on ordinary customer terms. Loans to DNB employees are extended on special terms, which are close to ordinary customer terms.

6) Accrued pension expenses include pension rights earned during the year (SCC). The calculation of pension entitlements is based on the same economic and actuarial assumptions as those used in note 24 Pensions.

7) Benefits in kind and other benefits include pension payments.

Note 47 Remunerations etc. (continued)

Other information on pension agreements

With effect from 1 January 2017, all group executive vice presidents are members of the defined-contribution pension scheme in line with all other employees in Norway.

With effect from 1 January 2017, the following pension terms and conditions apply:

The pension schemes of all senior executives were changed as of 1 January 2017, as described below. From this date, the agreements were replaced by contribution-based direct pension agreements based on the same calculation assumptions and principles as those used in connection with the conversion of the Group's defined-benefit occupational pension scheme in 2016 pursuant to the Norwegian Occupational Pension Act. Changes in the pension agreements do not entail any changes in previously agreed age limits.

The following pension terms applied up until 31 December 2016:

Rune Bjerke has a pension agreement entitling him to a pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 60. Bjørn Erik Næss, Liv Fiksdahl, Kari Olrud Moen and Tom Rathke are entitled to a pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 62. Terje Tunes is entitled to a pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 67. Trond Bentestuen, Kjerstin Braathen and Harald Serck-Hanssen are entitled to a pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 65. Ottar Ertzeid has a pension agreement entitling him to pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 62, or 65 at the latest. Thomas Midteide and Solveig Hellebust are entitled to a pension representing 70 per cent of fixed salary from the age of 65, with no curtailment from the age of 65 through 67. Their pensionable income is limited to 12 times the National Insurance basic amount. Benedicte Fasmer and Rune Garborg became members of the group management team as of 26 September 2016. Their pensionable income is limited to 12 times the National Insurance basic amount. They have no agreement on a deviating retirement age.

Bjørn Erik Næss' pension agreement entitled him to a pension representing 70 per cent of pensionable income from the age of 62. When he reached the agreed age, it was decided to extend his period of employment up until 1 March 2017. Consequently, no payments were made under this agreement in 2016. In the same way as for other senior executives, his pension agreement was also converted with effect from 31 December 2016, with a capital value corresponding to the technical insurance reserves on the original retirement date. No additional rights will be earned during the period up to his final retirement.

Specification of the accrued pension expenses

<i>Amounts in NOK 1 000.</i>	Accrued pension expenses	Effect of conversion of pension scheme	Recorded pension expenses
Rune Bjerke, CEO	4 999	(1 118)	3 871
Other members of the group management team	14 880	(21 778)	(6 898)
Total group management team	19 889	(22 896)	(3 007)

Subscription rights programme for employees

There was no subscription rights programme for employees in the DNB Bank Group at year-end 2016.

DNB Bank ASA		Remuneration to the statutory auditor <i>Amounts in NOK 1 000, excluding VAT</i>	DNB Bank Group	
2015	2016		2016	2015
(7 967)	(10 465)	Statutory audit ¹⁾	(23 628)	(20 885)
(569)	(1 016)	Other certification services	(1 731)	(1 414)
(4 959)	(12 860)	Tax-related advice ²⁾	(12 974)	(6 159)
(9 690)	(3 476)	Other services	(3 570)	(9 875)
(23 185)	(27 817)	Total remuneration to the statutory auditor	(41 803)	(38 313)

1) Includes fees for interim audit and auditing funds managed by DNB.

2) Mainly refers to services provided in connection with transfer pricing.

Note 48 Information on related parties

DNB Bank ASA is 100 per cent owned by DNB ASA. The largest owner of the DNB Group is the Norwegian government, represented by the Ministry of Trade and Industry, which owns and controls 34 per cent of the shares in the parent company DNB ASA.

A large number of bank transactions are entered into with related parties as part of ordinary business transactions, comprising loans, deposits and foreign exchange transactions. These transactions are based on market terms. The table below shows transactions with related parties, including balance sheets at year-end and related expenses and income for the year. Related companies in the table are associated companies plus DNB Savings Bank Foundation. See note 35 for a specification of associated companies. Loans to board members and their spouses/ partners and under-age children are extended on ordinary customer terms. Loans to group management, like loans to other group employees, are extended on special terms, which are close to ordinary customer terms. Transactions with other DNB Bank Group companies are shown in a separate table.

Transactions with related parties	Group management and Board of Directors		DNB Bank Group	
	2016	2015	2016	2015
<i>Amounts in NOK million</i>				
Loans as at 1 January	44	41	913	1 294
New loans/repayments during the year	(9)	(3)	(37)	(381)
Changes in related parties	24	6	249	
Loans as at 31 December	60	44	1 125	913
Interest income	1	1	24	24
Deposits as at 1 January	235	105	702	3 106
Deposits/withdrawals during the year	14	131	78	(2 383)
Changes in related parties	5	(2)	1	(42)
Deposits as at 31 December	253	235	781	702
Interest expenses	(0)	(1)	(8)	(16)
Guarantees ¹⁾	-	-	5 951	11 323

1) DNB Bank ASA carried loans in its balance sheets which according to a legal agreement have been transferred to Eksportfinans and are guaranteed by DNB Bank ASA. According to the agreement, DNB still carries interest rate risk and credit risk associated with the transferred portfolio. These portfolios totalled NOK 2 212 million at year-end 2015, at year-end 2016 the balance was zero. The loans are set off by deposits/payments from Eksportfinans. DNB Bank ASA has also issued guarantees for other loans in Eksportfinans.

No impairments were made on loans to related parties in 2015 and 2016. Reference is made to note 47 for information on loans to group management members and directors. Transactions with deputy members of the Board of Directors are not included in the table above. In general, DNB employee loans should be paid by automatic debit in monthly instalments in arrear. Employee loans are within the term limits applying to general customer relationships. Security is furnished for employee loans in accordance with legal requirements.

DNB Bank ASA		Transactions with other DNB Group companies ¹⁾	DNB Bank Group	
2016	2015		2016	2015
		<i>Amounts in NOK million</i>		
349 169	383 832	Loans as at 31 December	22 059	17 608
29 784	20 250	Other receivables as at 31 December ²⁾	726	2 450
122 593	143 450	Deposits as at 31 December	10 796	12 903
109 470	62 288	Other liabilities as at 31 December ²⁾	919	411
4 360	5 387	Interest income	506	350
(1 970)	(2 897)	Interest expenses	(56)	(90)
10 088	6 490	Net other operating income ³⁾	1 866	1 920
(288)	(114)	Operating expenses	(88)	(257)

1) For DNB Bank ASA, the table includes transactions with subsidiaries, sister companies and DNB ASA. For the banking group, the table includes transactions with sister companies and DNB ASA. Investments in bonds issued by related parties are described below and are not included in the table.

2) Other receivables and other liabilities in DNB Bank ASA as at 31 December 2015 and 2016 were mainly financial derivative contracts with DNB Boligkreditt as counterparty and group contributions.

3) DNB Bank ASA recorded NOK 1 591 million and NOK 4 571 million in group contributions from subsidiaries in 2016 and 2015, respectively.

Note 48 Information on related parties (continued)

Major transactions and agreements with related parties

DNB Boligkreditt AS

DNB Boligkreditt (Boligkreditt) is 100 per cent owned by DNB Bank ASA. As part of ordinary business transactions, a large number of banking transactions are entered into between Boligkreditt and the bank, including loans, deposits and financial derivatives used in currency and interest rate risk management. Transactions are carried out on market terms and are regulated in the "Agreement relating to transfer of loan portfolio between DNB Bank ASA and DNB Boligkreditt AS" (the transfer agreement) and the "Contract between DNB Bank ASA and DNB Boligkreditt AS concerning purchase of management services" (the servicing agreement).

The transfer agreement regulates the transfer of loan portfolios qualifying as collateral for the issue of covered bonds. During 2016, portfolios of NOK 19.8 billion were transferred from the bank to Boligkreditt.

Pursuant to the management agreement, Boligkreditt purchases services from the bank, including administration, bank production, distribution, customer contact, IT operations and financial and liquidity management. Boligkreditt pays an annual management fee for these services based on the lending volume under management and the achieved lending spreads. The management fee paid in 2016 totalled NOK 2.3 billion.

At end-December 2016 the bank had invested NOK 9.0 billion in covered bonds issued by Boligkreditt.

In the fourth quarter of 2013, Boligkreditt entered into a "Revolving Credit Facility Agreement (RCF)" with DNB Bank ASA. Subject to the terms of this RCF, DNB Bank makes available to Boligkreditt a revolving credit facility at all times equal to Boligkreditt's payment obligations in NOK for the next 12 months in respect of issued Covered Bonds and related derivative hedge agreements. Boligkreditt shall apply all amounts borrowed by it under the RCF towards payments under Covered Bonds and related derivative contracts entered into for hedging purposes for those Covered Bonds.

Boligkreditt may not make use of the RCF for the fulfilment of payment obligations related to the ordinary (re-)purchase of Covered Bonds (if any), or to derivative agreements related to such Covered Bonds. The obligations of DNB Bank towards Boligkreditt under the RCF do not constitute a guarantee in respect of amounts due and payable under the Covered Bonds. The agreement was cancelled on Boligkreditt's initiative in the second quarter of 2016.

In 2016 Boligkreditt entered into reverse repurchasing agreements (reverse repos) with the bank as counterparty. The value of the repos amounted to NOK 26.2 billion at end-December 2016.

Boligkreditt has a long-term overdraft facility in DNB Bank ASA. In the fourth quarter of 2016 the limit of the overdraft facility was increased from NOK 160 billion to NOK 190 billion.

DNB Næringskreditt AS

DNB Næringskreditt (Næringskreditt) is 100 per cent owned by DNB Bank ASA. The mortgage institution was established to issue covered bonds secured by a cover pool comprising commercial property.

In 2016, portfolios of NOK 7.2 billion were transferred from the bank to Næringskreditt. The transfers are made in agreement with the customers and are based on market terms. Like Boligkreditt, Næringskreditt purchases management and administrative services from the bank. In addition, administrative services relating to the company's operations are purchased from Boligkreditt. The fee paid to the bank and Boligkreditt for 2016 amounting to NOK 74.1 million and NOK 3.1 million respectively.

In the balance sheet of Næringskreditt "Loans to and deposits with credit institutions" and "Due to credit institutions" are solely outstandings with DNB Bank. At end-December 2016, the bank had invested NOK 0.9 billion in covered bonds issued by Næringskreditt.

In 2016 Næringskreditt entered into reverse repurchasing agreements (reverse repos) with the bank as counterparty. The value of the repos amounted to NOK 112 million and end-December 2016. The company has a long-term overdraft facility in DNB Bank ASA. In the fourth quarter of 2016 the limit of the overdraft facility was increased from NOK 25 billion to NOK 30 billion.

DNB Livsforsikring AS

As part of the company's ordinary investment activity, DNB Livsforsikring has subscribed for covered bonds issued by Boligkreditt. DNB Livsforsikring's holding of Boligkreditt bonds was valued at NOK 1.9 billion at end-December 2016.

In November 2016, a portfolio of home mortgages amounting to approximately NOK 5 billion was sold from DNB Boligkreditt AS to DNB Livsforsikring AS.

In the fourth quarter of 2016, portfolios of commercial mortgages amounting to NOK 2.6 billion and NOK 4.5 billion respectively, were sold from DNB Næringskreditt and DNB Bank to DNB Livsforsikring.

DNB Sweden Branch and DNB Sweden AB

During the third quarter of 2015, an agreement was entered into between DNB Sweden Branch and DNB Sweden AB, which implies that DNB Sweden AB will take over the right to extend loans to the branch's new and existing customers. Existing loans will be transferred to DNB Sweden AB to the extent deemed feasible and rational. At end-December 2016 loans with a total value of SEK 31.9 billion has been transferred to DNB Sweden AB. Remaining loans in DNB Sweden Branch totalled SEK 5.6 billion.

Note 49 Off-balance sheet transactions and contingencies**Off-balance sheet transactions and additional information**

DNB Bank ASA			DNB Bank Group	
31 Dec. 2015	31 Dec. 2016	Amounts in NOK million	31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
32 568	29 930	Performance guarantees	30 900	33 712
36 375	32 547	Payment guarantees	34 472	37 544
16 715	17 979	Loan guarantees	17 698	16 629
7 253	6 535	Guarantees for taxes etc.	6 557	7 271
2 780	2 213	Other guarantee commitments	2 714	3 258
95 692	89 205	Total guarantee commitments	92 541	98 414
		Support agreements	6 106	11 827
95 692	89 205	Total guarantee commitments etc. ¹⁾	98 647	110 241
963 486	479 792	Unutilised credit lines and loan offers ¹⁾	606 122	600 523
4 576	3 961	Documentary credit commitments	3 948	4 790
		Other commitments	37	51
968 062	483 653	Total commitments	610 107	605 364
1 063 754	572 858	Total guarantee and off-balance commitments	708 754	715 605
17 828	9 322	Pledged securities		
		¹⁾ Of which counter-guaranteed by financial institutions	326	311

1) Reduction in unutilised credit lines and loan offers for DNB Bank ASA, is mainly due to a cancellation of a unutilised credit facility towards DNB Boligkreditt in the second quarter of 2016.

DNB Bank ASA is a member and shareholder of the settlement system Continuous Linked Settlement (CLS). As a shareholder, DNB Bank ASA has an obligation to contribute to cover any deficit in CLS Bank's central settlement account for member banks, even if the default is caused by another member bank. Initially, such deficit will be sought covered by other member banks based on transactions the respective banks have had with the member bank which has caused the deficit in CLS Bank. Should there remain an uncovered deficit in CLS Bank, this will be covered pro rata by the member banks in CLS, according to Article 9 "Loss Allocations" of CLS Bank's International Rules. According to the agreements between CLS and the member banks, the pro rata payment obligations related to such coverage of any remaining deficit are limited to USD 30 million per member bank. At the end of 2016, DNB had not recorded any obligations in relation to CLS.

DNB Boligkreditt AS (Boligkreditt)

At end-December 2016, Boligkreditt had issued covered bonds with a nominal value of NOK 416 billion. In the event of bankruptcy, the bondholders have preferential rights to the company's cover pool.

Covered bonds		DNB Boligkreditt	
Amounts in NOK million		31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Total listed covered bonds		355 932	386 944
Total private placements under the bond programme		59 859	59 419
Adjustment			
Accrued interest		3 581	4 602
Unrealised gains/losses		19 701	22 780
Total debt securities issued		439 072	473 745
Cover pool		DNB Boligkreditt	
Amounts in NOK million		31 Dec. 2016	31 Dec. 2015
Pool of eligible loans		589 579	561 517
Market value of derivatives		38 627	74 932
Supplementary assets			
Total collateralised assets		638 106	636 449
Over-collateralisation (per cent)		145.4	134.2

Contingencies

Due to its extensive operations in Norway and abroad, the DNB banking group will regularly be party to a number of legal actions. None of the current disputes are expected to have any material impact on the banking group's financial position.

The DNB banking group is subject to a number of complaints and disputes relating to structured products and other investment products.

2【主な資産・負債及び収支の内容】

連結財務書類の注記を参照のこと。

3【その他】

(1)訴訟及び規制手続

ノルウェー国内外での広範囲な業務により、当行グループは、恒常的に数多くの法的措置の当事者になると考えられる。現在係争中の紛争は、いずれも当行グループの財政状態に重大な影響を及ぼすことはないと思われる。

当行グループは、仕組み商品及びその他の投資商品に関する数々の申立て及び訴訟の当事者となっている。

2016年6月21日、ノルウェー消費者審議会は、DNBエイ・エス・エイの100%子会社であり資産運用サービスを提供するDNBアセット・マネジメント・エイ・エスに対する訴訟手続をオスロ地方裁判所に提起した。ノルウェー消費者審議会は、DNBアセット・マネジメント・エイ・エスが運用する1つのファンド及び当該ファンドに統合された2つのファンドの現在及び過去の投資家を代理して、最大690百万ノルウェー・クローネの補償を求める集団訴訟を提起している。かかる訴訟では、ファンドが実際は単に指数を追跡しているだけにもかかわらず、積極的な運用のための高額な手数料を課していると主張されている。2017年1月6日、オスロ地方裁判所は、ノルウェー消費者審議会にDNBアセット・マネジメント・エイ・エスに対する集団訴訟の提起を許可する決定を下した。DNBアセット・マネジメント・エイ・エスは、かかる主張を否定しており、会計上での引当ては行われていない。当行はまた、集団訴訟の条件を満たしているということに異議を唱え、集団訴訟の提起を認めたオスロ地方裁判所の決定を不服として控訴した。

(2)後発事象

該当事項なし。

4【ノルウェーと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違】

a. 日本とIFRSとの会計原則の相違

添付の財務諸表は、EUにより採用されたIFRSに準拠して作成されている。これらは日本において一般に公正妥当と認められた会計原則（以下「日本の会計原則」という。）とは、いくつかの点で異なる。直近期の財務諸表に関する主な相違点は以下のとおりである。

(1) 連結の範囲

IFRSでは、連結財務諸表には、報告会社及びグループによって支配されている会社（一定の特別目的事業体を含む。）（すなわち子会社）の財務諸表が含まれている。

IFRS第10号に基づき、以下の要件をすべて満たす場合に支配を有するものと判断される。

- ・投資先に対してパワーを有している。
- ・投資先への関与から生じる変動リターンにさらされている、若しくは変動リターンに対する権利を有している。
- ・投資先のリターンの金額に影響を与えるようなパワーを、投資先に対して行使することができる。

企業が他の企業体に対して支配できる力を有しているか否かを判断するにあたり、他者により保有されているものを含め、実質的な潜在的議決権の存在を考慮している。

日本では、実質支配力基準により連結範囲が決定され、支配を有する会社の財務諸表は連結される。

財務上又は営業上若しくは事業上の関係からみて他の企業の意思決定機関を支配している場合には、親会社は当該他の企業に対して支配を有しているといえる。

特別目的会社については、「連結財務諸表に関する会計基準」において、特別目的会社が、適正な価額で譲り受けた資産から生ずる収益を当該特別目的会社が発行する証券の所有者に享受させることを目的として設立され、当該特別目的会社の事業がその目的に従って適切に遂行されているときは、当該特別目的会社に資産を譲渡した会社から独立しているものと認め、当該特別目的会社に資産を譲渡した会社の子会社に該当しないものと推定され連結の対象となっていない。

(2) 会計方針の統一

IFRSでは、連結財務諸表は、同様の状況における類似の取引及びその他の事象について、統一的な会計方針を用いて作成される。グループのメンバーが、同様の状況における類似の取引及びその他の事象に関して連結財務諸表で採用している会計方針とは異なるものを使用している場合、連結財務諸表作成時に適切な修正が行われる。

日本の会計原則では、連結財務諸表を作成する場合、同一環境下で行われた同一の性質の取引等について、親会社及び子会社が採用する会計処理の原則及び手続は、原則として統一しなければならない。ただし、改正実務対応報告第18号「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」により、在外子会社の財務諸表がIFRS又は米国会計基準（US GAAP）に準拠して作成されている場合は、一定の項目の修正（のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の費用処理、研究開発費の支出時費用処理など）を条件に、これを連結決算手続上利用することができる。

関連会社については、企業会計基準第16号「持分法に関する会計基準」により、同一環境下で行われた同一の性質の取引等について、投資会社（その子会社を含む。）及び持分法を適用する被投資会社が採用する会計処理の原則及び手続を原則として統一することと規定されている。ただし、実務対応報告第24号「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」により、在外関連会社については、実務対応報告第18号で規定される在外子会社に対する当面の取扱いに準じて行うことができる。

(3) のれんの当初認識と非支配持分の測定方法

IFRSでは、取得企業は、次の(a)が(b)を超過する額として測定される取得日時点ののれんを認識する。

(a) 次の総計

(i) 譲渡対価 (IFRS第3号「企業結合」に従い、通常は取得日における公正価値にて測定される。)

(ii) 被取得企業のすべての非支配持分の金額

(iii) 段階的に達成される企業結合の場合には、取得企業が以前に保有していた被取得企業の資本持分の取得日における公正価値

(b)取得した識別可能な資産及び引き受けた負債の取得日における公正価値の純額

IFRSでは、IFRS第3号に基づき、非支配持分の認識について次の2つの方法のうちいずれかの方法の選択適用が認められている。

- ・ 非支配持分を取得日に公正価値により測定する。その結果、のれんは非支配持分に帰属する部分も含めて認識する。(いわゆる、全部のれんアプローチ)
- ・ 非支配持分を被取得企業の識別可能純資産の公正価値に対する非支配持分割合相当額により測定する。その結果、のれんは取得企業の持ち分相当額についてのみ認識する。(いわゆる、購入のれんアプローチ)

日本では、子会社の資産及び負債は取得日において公正価値により測定され(いわゆる、全部時価評価法)、非支配株主持分は取得日における純資産の公正価値の非支配株主持分割合相当額により認識される。のれんは取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額に対する持分相当額を超過する額として算定される(いわゆる、購入のれんアプローチ)。

(4) のれんの償却

IFRSでは、のれんは償却されず、年1回若しくは事象や状況の変化が減損の可能性を示唆する場合はより頻繁に、減損テストが実施される。

日本では、のれんは20年以内のその効果が及ぶ期間にわたり定額法その他の合理的な方法により規則的に償却され、必要に応じて減損処理の対象となる。ただし、のれんの金額に重要性が乏しい場合には、当該のれんが生じた事業年度の費用として処理することができる。

(5) 金融商品の評価

IFRSでは、IAS第39号「金融商品：認識と測定」に基づき金融資産及び金融負債は以下のように測定される。

- ・ トレーディング目的として分類される金融資産及び金融負債は公正価値で測定し、公正価値の変動は純損益に認識される。
- ・ IFRS第3号「企業結合」の適用を受ける企業結合における、取得者の条件付対価たる金融資産及び金融負債については、純損益を通じて公正価値で測定される。
- ・ 純損益を通じて公正価値で測定すると指定された金融資産及び金融負債は公正価値で測定し、利得及び損失は純損益に認識される（いわゆる、公正価値オプション）。純損益を通じて公正価値で測定する金融商品として指定できるのは、その指定が(a)測定又は認識の不一致を解消又は著しく減少させる場合、(b)公正価値に基づいて管理し評価する金融資産グループ又は金融負債グループ若しくはその両方に適用される場合に限定されている。
- ・ 売却可能（以下「AFS」という。）金融資産は、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される。減損損失及び外貨建貨幣性AFS金融資産の償却原価の換算から生じる外国為替差額は、実効金利法を適用して計算した利息とともに純損益に認識される。AFS金融資産の公正価値のその他の変動は、その他の包括利益に認識され、売却により累積利得又は損失が純損益に再分類されて認識されるまでは、資本の区分項目として計上されている。
- ・ 貸出金及び債権は、実効金利法を用いて、償却原価で測定される。
- ・ 満期保有投資は、実効金利法を用いて、償却原価で測定される。
- ・ トレーディング目的又は純損益を通じて公正価値で測定すると指定された金融負債以外の金融負債は、実効金利法を用いて、償却原価で測定される。
- ・ ヘッジ手段として指定されたデリバティブ以外のデリバティブは、純損益を通じて公正価値で測定される。

日本では、企業会計基準第10号「金融商品会計に関する会計基準」に従い、金融資産及び金融負債は以下のように測定される。

- ・ 売買目的有価証券は、公正価値で測定し、公正価値の変動は損益認識される。
- ・ 満期保有目的の債券は取得原価又は償却原価で測定される。
- ・ 売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券（「その他有価証券」）は、公正価値で測定し、公正価値の変動額は、a) 純資産に計上され、売却、減損あるいは回収時に損益計算書へ計上される、若しくはb) 個々の証券について、公正価値が原価を上回る場合には純資産に計上し、下回る場合には損益計算書に計上する。
- ・ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券については、それぞれ次の方法による。(1) 社債その他の債券の貸借対照表価額は、債権の貸借対照表価額に準ずる。(2) 社債その他の債券以外の有価証券は取得原価をもって貸借対照表価額とする。
- ・ 貸出金及び債権は取得原価又は償却原価で測定される。
- ・ 金融負債は債務額で測定される。ただし社債については償却原価法に基づいて算定された価額で評価される。
- ・ IFRSで認められる公正価値オプションに関する規定はない。

(6) 金融資産の減損

IFRSでは、報告企業が、満期保有目的、売却可能又は貸出金及び債権に分類される金融資産又は金融資産グループが減損しているという客観的証拠の有無について各報告日に評価する。

貸出金及び債権並びに満期保有目的投資：貸出金及び債権並びに満期保有目的に分類される金融資産又は金融資産グループに減損損失が生じているという客観的証拠がある場合、損失の額は、資産又は資産グループの帳簿価額

と資産又は資産グループから生じる将来キャッシュ・フローの見積額を当初認識時に商品に適用される実効金利で割り引いた現在価値との差額として測定される。

売却可能金融資産：売却可能に分類される金融資産の公正価値の減少がその他の包括利益に認識されていて、当該資産が減損している客観的証拠がある場合、損失の累計額は資本から再分類され、純損益に認識されることになる。損失は、金融資産の償却原価額とその直近の公正価値との差額として測定される。売却可能な資本性金融商品に係る減損損失の戻入は行えないが、売却可能な負債性金融商品に係る減損損失は、その後の事象に客観的に関連して公正価値が増加した場合に戻入が行われる。資本性金融商品に対する投資の取得価額を下回る公正価値の著しい下落又は長期的にわたる下落は減損の客観的証拠と認められる。

個別には減損が発生していない顧客向貸出金は、典型的には特性が似通った貸出金群をまとめて、集合的に減損を査定している。この評価では、内外の格付けシステム、見積デフォルト確率、見積損失率、及び貸出残高を用いる。集合的減損は当該資産の帳簿価額から控除され、減損の変動は損益計算書の「貸倒引当金繰入／戻入（純額）」に算入される。

日本では、公正価値が入手可能な金融資産（売買目的有価証券を除く。）について、取得原価又は償却原価で計上される金融資産（貸出金及び債権を除く。）の公正価値が帳簿価額（償却原価）を下回って著しく下落した場合、当該資産の帳簿価額は公正価値まで減額される。また、減損損失の戻入は認められない。

貸出金及び債権については、債務者の財政状態及び経営成績等に応じて債権を3つ（一般債権、貸倒懸念債権及び破産更生債権等）（金融機関では5つ）に区分し、区分ごとに定められた方法に従い貸倒見積高を算定する。

(7) 金融資産の認識の中止

IFRSでは、金融資産から生じるキャッシュ・フローを受取る契約上の権利が消滅し、又は、金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。譲渡においては、報告企業は、(a)資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は(b)資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けること（一定の要件を満たす場合）、のいずれかが要求される。譲渡が行われた後、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスク及び経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスク及び経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き財政状態計算書に計上される。実質的にすべてのリスク及び経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。実質的にすべてのリスク及び経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が当該資産の支配を留保している場合、継続的関与の程度に応じて、引続きその資産を認識している。

日本では、譲渡金融資産の財務構成要素ごとに、支配が第三者に移転しているかどうかの判断に基づいて、当該金融資産の認識の中止がなされる。

(8) 金融商品の分類変更

IFRSでは、貸出金及び債権の定義（支払額が固定的又は決定可能で、活発な市場において相場がない非デリバティブ金融資産）を満たすトレーディング目的保有金融資産及び売却可能金融資産は、企業が当該金融商品を予見可能な将来又は満期まで保有する意思及び能力がある場合、貸出金及び債権に分類変更することができる。さらに、貸出金及び債権の定義を満たさないトレーディング目的保有金融資産は、ごく稀な状況で、売却可能金融資産又は満期保有目的投資に変更される可能性がある。分類変更は、分類変更日現在の公正価値で行われる。当該公正価値は、適宜、当該資産の新たな取得原価又は償却原価となる。

日本では、売買目的有価証券又はその他有価証券から満期保有目的の債券への分類変更は認められていない。

(9) ヘッジ会計

IFRSでは、IAS第39号に基づき、下記のタイプのヘッジ関係が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ - 公正価値ヘッジにおいては、公正価値によるヘッジ手段の再測定から生じる利得又は損失は純損益に認識されている。ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象に関する利得又は損失は純損益に認識され、ヘッジ対象の帳簿価額が調整されている。
- ・ キャッシュ・フロー・ヘッジ - デリバティブ金融商品が、認識された資産若しくは負債又は発生の可能性の高い予定取引からのキャッシュ・フローの変動のヘッジとして指定される場合、ヘッジ手段の利得又は損失の有効部分は、その他の包括利益に認識され、また非有効部分は、純損益に認識されている。
- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ - 在外営業活動体に対する純投資をヘッジしている場合、有効なヘッジと判断されるヘッジ手段から生じる為替換算差額は、その他の包括利益に認識されている。非有効部分については、純損益に認識されている。

日本では、デリバティブ取引について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」（時価評価されているヘッジ手段に係る損益又は評価差額を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで純資産の部において繰り延べる方法）を適用し、ヘッジ対象である資産又は負債に係る相場変動等を会計基準に基づき損益に反映させることができる場合には、「時価ヘッジ会計」（ヘッジ対象である資産又は負債に係る相場変動等の損益とヘッジ手段に係る損益とを同一の会計期間に認識する。）を適用できる。

(10) 退職後給付

IFRSでは、IAS第19号に基づき、数理計算上の差異はその他の包括利益で即時認識し、その後の期間において純損益に組み替えることは認められない。また、過去勤務費用は、その全額を純損益で認識する。さらに、確定給付負債（資産）の純額に割引率を乗じて利息純額を算定する。

日本では、企業会計基準第26号「退職給付に関する会計基準」に従い、以下のように会計処理される。

- ・ 数理計算上の差異は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理する。また、当期に発生した未認識数理計算上の差異は税効果を調整の上、その他の包括利益を通じて純資産の部に計上する。また、当期に費用処理された未認識数理計算上の差異については、組替調整を行う。
- ・ 過去勤務費用は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理する。また、当期に発生した未認識過去勤務費用は税効果を調整の上、その他の包括利益を通じて純資産の部に計上する。また、当期に費用処理された未認識過去勤務費用については、組替調整を行う。
- ・ 期待運用収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算する。

(11) 有給休暇引当金

IFRSでは、IAS第19号に基づき、有給休暇引当金を計上することが要求されている。

日本においては、該当する規定はない。

(12) リース

IFRSでは、IAS第17号「リース」に基づき、リース契約は、所有権移転の有無に関わらず資産の所有に伴う実質的にすべてのリスク及び経済価値が借手に移転する場合、ファイナンス・リースとして分類されている。

リースがファイナンス・リースであるか、オペレーティング・リースであるかは、契約の形式よりも取引の実質を見て判断される。

ファイナンス・リースについては、リース期間の開始時点において、リース資産の公正価値と最低リース料総額の現在価値のいずれか低い方の金額で、資産及び負債として認識する。

なお、日本基準のような簡便的な取扱いは定められていない。

日本では、ファイナンス・リース取引とは、解約不能かつフルペイアウトの要件を満たすものをいい、ファイナンス・リース取引に該当するかどうかについてはその経済的実質に基づいて判断すべきものであるが、解約不能リース期間が、リース物件の経済的耐用年数の概ね75%以上又は解約不能のリース期間中のリース料総額の現在価値が、リース物件を借手が現金で購入するものと仮定した場合の合理的見積金額の概ね90%以上のいずれかに該当する場合は、ファイナンス・リースと判定され、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件及びこれに係る債務をリース資産及びリース債務として借手の財務諸表に計上する。ただし、少額（リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース）又は短期（1年以内）のファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行うことができる。

(13) 無形資産及び有形固定資産の減損

IFRSでは、各報告日において有形固定資産又は無形資産の減損の兆候の有無について評価している。そのような兆候が存在する場合、会社は当該資産又は資金生成単位の回収可能価額を見積り、必要な場合には減損損失を認識している。のれんについては、年1回若しくは事象や状況の変化が減損の兆候を示す場合はより頻繁に、減損テストが実施される。無形資産（のれんを除く。）又は有形固定資産に係る減損損失の戻入は、過年度において認識された減損損失が存在しないか、又は減少している可能性を示す兆候がある場合に認識されている。ただし、増加した帳簿価額は、減損損失計上前の帳簿価額を超えてはならない。なお、のれんに係る減損損失の戻入は行われない。

日本では、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、資産の減損の兆候が認められ、かつ割引前将来キャッシュ・フローの総額（20年以内の合理的な期間に基づく）が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額（正味売却価額と使用価値（継続的使用と使用後の処分によって生ずると見込まれる将来キャッシュ・フローの現在価値）のいずれか高い方の金額）と帳簿価額の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

(14) 引当金の計上基準

IFRSでは、以下の要件すべてを満たす場合に認識しなければならない。

- ・ 企業が過去の事象の結果として現在の債務（法的又は推定的）を有している。
- ・ 当該債務を決済するために経済的便益を有する資源の流出が必要となる可能性が高い。
- ・ 当該債務の金額について信頼できる見積りができる。

引当金として認識される金額は、報告期間の末日における現在の債務を決済するために必要な支出の、最善の見積りでなければならない。

貨幣の時間価値による影響が重要な場合には、引当金額は債務の決済に必要と見込まれる支出の現在価値としなければならない。

日本では、以下のすべてを満たす場合に認識しなければならない。

- ・ 将来の特定の費用又は損失である。
- ・ その発生が当期以前の事象に起因する。
- ・ 発生の可能性が高い。
- ・ その金額を合理的に見積もることができる。

引当金の割引計算について該当する基準はない。資産除去債務は割引現在価値で算定する。割引率は、貨幣の時間的価値を反映した無リスクの税引前の利率である。

(15) 実行手数料及びコミットメントフィー

実行手数料及びコミットメントフィーは、融資枠残高に対する割合により決定されている。

IFRSでは、前者については関連する取引コストとともに繰り延べられ、実効利回りの修正として認識される。後者については、特定の融資契約が実行される可能性が高い場合には、前者と同様に処理される。一方、特定の融資契約が実行される見込みが低い場合には、そのコミットメントの期間にわたり按分して収益として認識する。

日本では、コミットメントフィー及び実行手数料は、発生主義に基づき、当期に対応する部分を収益として認識する。

(16) 投資不動産の事後測定

IFRSでは、IAS第40号「投資不動産」に従い、投資不動産の当初認識後の評価方法として原価モデル又は公正価値モデルの選択が可能である。公正価値モデルを選択する企業は一定の場合を除き、すべての投資不動産を公正価値で測定しなければならない。投資不動産の公正価値の変動は発生した期の損益として処理される。

日本では、取得原価に基づく会計処理を行う（原価モデルを適用）。投資不動産の時価は開示のみ行われる。

ｂ．ノルウェーと日本における単体の会計原則の主要な相違（ノルウェーの単体の会計原則に係るもの）

添付の個別財務諸表は、IFRSの適用に関するノルウェー財務省規則セクション1-6に準拠して作成されている（「ノルウェーIFRS規則」）。ノルウェーIFRS規則とEUにより採用されたIFRSはいくつかの点で異なっており、これらは上記a.に加え日本の会計原則との相違点となる。直近期の財務諸表に関する主な相違点は以下のとおりである。

(1) 未払配当金の認識

ノルウェーIFRS規則では、報告期間後に決議された子会社からの予定配当金額及び予定グループ配当金額を、受け取る親会社の収益として認識するという会計方針を選択することが認められている。同様に子会社においても、取締役会の親会社への予定配当金額及び予定グループ配当金額を、財政状態計算書日において負債として認識するという会計方針を選択することが認められている。

日本では、株主総会又は取締役会で決議されるまでは、配当金やグループへの配当を負債に分類することはできない。

第 7 【外国為替相場の推移】

1 【最近 5 年間の事業年度別為替相場の推移】

(1ノルウェー・クローネ当たり、単位：円)

事業年度	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	15.56	17.75	17.46	16.31	14.02
最低	12.67	15.54	15.66	13.80	11.81
平均	13.73	16.62	16.80	15.03	12.94
期末	15.56	17.18	16.17	13.84	13.54

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

2 【最近 6 月間の月別最高・最低為替相場】

(1ノルウェー・クローネ当たり、単位：円)

月別	2016年12月	2017年1月	2017年2月	2017年3月	2017年4月	2017年5月
最高	13.67	13.79	13.76	13.55	13.01	13.40
最低	13.43	13.32	13.40	13.04	12.61	13.00
平均	13.55	13.56	13.59	13.30	12.83	13.21

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

3 【最近日の為替相場】

1ノルウェー・クローネ = 13.10円 (2017年6月23日)

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の為替相場」(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

第8【本邦における提出会社の株式事務等の概要】

該当事項なし。

第9【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

該当事項なし。

2【その他の参考情報】

当該事業年度の開始からこの有価証券報告書の提出までの期間において提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

- (1) 有価証券報告書及びその添付書類
平成28年6月30日 関東財務局長に提出
- (2) 訂正発行登録書及びその添付書類
平成28年6月30日 平成27年9月29日提出の発行登録書(募集)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (3) 訂正発行登録書及びその添付書類
平成28年6月30日 平成27年9月29日提出の発行登録書(売出し)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (4) 半期報告書及びその添付書類
平成28年9月30日 関東財務局長に提出
- (5) 訂正発行登録書及びその添付書類
平成28年9月30日 平成27年9月29日提出の発行登録書(募集)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (6) 訂正発行登録書及びその添付書類
平成28年9月30日 平成27年9月29日提出の発行登録書(売出し)の訂正発行登録書を関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の監査報告書

DNB バンク エイ・エス・エイの年次株主総会の皆様へ

財務諸表監査に関する報告

意見

我々は、親会社及びグループの財務諸表から構成される、DNB バンク エイ・エス・エイの財務諸表を監査した。親会社の財務諸表は、2016年12月31日現在の貸借対照表、同日に終了した年度の損益計算書、包括利益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び持分変動計算書並びに重要な会計方針の概要を含む、財務諸表の注記から構成される。グループの連結財務諸表は、2016年12月31日現在の貸借対照表、同日に終了した年度の損益計算書、包括利益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び持分変動計算書、並びに重要な会計方針の概要を含む、財務諸表の注記から構成される。

我々の意見では、

財務諸表は法令及び規制に従い作成されている。

すべての重要な点において、財務諸表は、ノルウェー会計法及びノルウェーで一般に認められている会計基準及び会計実務に従い、2016年12月31日現在の親会社の財政状態及び同日に終了した年度における経営成績及びキャッシュ・フローを公正に表示している。

すべての重要な点において、連結財務諸表は、EUが採用している国際財務報告基準に従い、2016年12月31日現在のグループの財政状態及び同日に終了した年度における経営成績及びキャッシュ・フローを公正に表示している。

意見の基礎

我々は、ノルウェーの法律及び規制、並びに国際監査基準（以下「ISAs」という。）を含むノルウェーで一般に認められている監査基準及び監査実務に従い監査を実施した。これらの基準に基づく我々の責任は、本報告書の「財務諸表監査に対する監査人の責任」のセクションに詳述されている。我々は、ノルウェーにおける財務諸表監査に関連した倫理上の要件に準拠して会社から独立しており、法律及び規制で定められる我々の倫理上の責任を果たした。我々は意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査上の主要な事項

監査上の主要な事項とは、我々の職業的専門家としての判断において、当事業年度の財務諸表監査で最も重要であると判断された事項のことをいう。監査上の主要な事項は、財務諸表全体に対する監査の実施過程及び監査意見の形成において検討した事項であり、我々は監査意見と別にこれらの個別の事項に対して意見を表明しない。以下では各事項について我々がどのように対応したかについて記載している。

我々はこれらの事項に関連する責任を含め、本報告書の「財務諸表監査に対する監査人の責任」のセクションに詳述されている責任を果たした。したがって、我々の監査には、財務諸表における重要な虚偽表示リスクを評価に対応して策定された監査手続の実施が含まれている。下記の事項に対応するために実施された手続を含め、我々の監査手続の結果は、財務諸表に関する我々の監査意見の基礎を提供している。

貸出金の減損

顧客向貸出金はグループの資産合計の64%を占めている。貸出金の減損は、減損の客観的な証拠がある場合、個別に重要な貸出金については個別に算定され、個別に評価されずかつ減損の客観的な証拠がポートフォリオ単位で特定される貸出金グループについては、集合的に評価される。減損の特定及び算定は、さまざまな仮定に加え、取引相手方の財政状態、期待将来キャッシュ・フロー、観察可能な市場価格、予想正味売却価格などを含む要素について、判断が関わるプロセスである。異なるモデル技法や仮定が用いられた場合には、貸出金の減損の見積りの結果は大きく異なる可能性がある。油田関連事業、オフショア及び石油・ガス分野の事業については、原油価格の低下や関連市場の一般的な景気下降の結果として、増加した不確実性の影響を受ける傾向にある。貸出金の減損が多額であることと、見積りに関する不確実性があることから、我々は、貸出金の減損を監査上の主要な事項と考えている。

我々は、貸出金の個別減損と集合的減損に係る内部統制の整備状況を評価し、運用状況の有効性に関するテストを行った。個別に重要な貸出金に対する我々の手続には、損失事象の識別の評価、予想将来キャッシュ・フローや原担保の評価見積りなど、モデルで使用された仮定のテストが含まれる。我々は、モデルの数学的正確性もテストした。集合的に算定される貸出金の減損については、モデルに入力する主要変数や仮定を評価したうえで、必要に応じ、データと仮定を外部のベンチマークと比較した。我々はモデルの数学的正確性もテストした。

詳細については、連結財務諸表の注記 5、6、7、8、9、10、11を参照されたい。

金融商品の評価

公正価値で測定されている非上場または流動性がない金融商品は、市場で観察可能ではない仮定を用いたモデルで評価されている。したがって、これらの金融商品の評価は誤謬のリスクが高くなっている。かかる金融商品は、連結貸借対照表において公正価値で測定され、公正価値ヒエラルキーのレベル3に分類されている、72,082百万ノルウェー・クローネの資産及び1,062百万ノルウェー・クローネの負債から構成されている。非上場または流動性がない金融商品の重要性に加え、誤謬のリスクが高いことから、我々は、これらの金融商品の評価を監査上の主要な事項と考えている。

我々は、モデルベースの算定に用いられた仮定と技法に関する経営者の決定と承認、内部の専門家による評価に対する経営者の検証を含め、評価プロセスに係る内部統制の整備状況を評価し、運用状況の有効性に関するテストを行った。また我々は、プライシングモデルの技法を業界慣行や評価ガイドラインに照らし評価した。我々は一部の金融商品に関して独立検証を行い、可能な場合には外部のデータを利用した。また我々の評価結果をグループの評価と比較した。

貸借対照表において公正価値で計上されているレベル3の金融商品については、連結財務諸表の注記28で開示されている。

ヘッジ会計 発行済長期負債証券に係る金利リスク

デリバティブ商品は、外貨建てで発行された長期負債証券に関連した金利リスクに対するエクスポージャーを管理するために用いられている。当初認識時にヘッジ関係に指定されたデリバティブと借入金、公正価値ヘッジとして会計処理されている。ヘッジ関係の有効性は関連期間の期首と期末に評価されている。ヘッジ会計の適用とヘッジの有効性の確認は、判断に基づく可能性があり、経営者による緊密なモニタリングが求められている。ヘッジ関係の重要性を踏まえ、発行済長期負債証券に係る金利リスクのヘッジ会計を監査上の主要な事項と考えている。

我々は、ヘッジの有効性のテストを含め、ヘッジ関係の指定と継続的な管理に係る内部統制の整備状況を評価し、運用状況の有効性に関するテストを行った。我々はヘッジ文書を査閲し、文書が会計基準に基づく要求事項に準拠しているかどうかを検証した。我々は、ヘッジの有効性に関する数学的正確性と計算のテストを含め、元となるソースシステムと、ヘッジ関係を管理し文書化するために使用されている文書との整合性をテストした。

詳細については、連結財務諸表の注記 20を参照されたい。

その他の情報

その他の情報は会社の年次報告書に記載されている情報から構成されているが、財務諸表及び我々の監査報告書を含まない。取締役会及びグループ最高責任者（経営者）には、その他の情報に関する責任がある。財務諸表に対する我々の意見はその他の情報を対象としておらず、それに関していかなる形でも保証の結論は表明しない。

財務諸表に関する我々の監査に関連して、我々の責任は、その他の情報を通読し、それによりその他の情報が財務諸表又は我々が監査を通じて入手した知見等と著しく不整合である、又は著しく誤って表示されているように見えるかどうかを検討することである。我々が実施した作業に基づいて、当該その他の情報に重要な虚偽表示があると結論づけた場合には、我々にはその事実を報告することが求められている。これに関し、我々は報告すべき事項はなかった。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者には、親会社の財務諸表に関してはノルウェー会計法及びノルウェーで一般に認められている会計基準及び会計実務、グループの財務諸表に関してはEUが採用した国際財務報告基準に準拠して、真実かつ公正な概観を示す財務諸表を作成し、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成するために経営者が必要と判断する内部統制を整備する責任がある。

財務諸表を作成するにあたって、経営者には、会社が継続企業として存続する能力を評価し、継続企業の前提に関する事項を必要に応じて開示し、経営者が会社を清算若しくは営業を停止する意図がある場合、又はそれ以外に現実的な選択肢がない場合を除いて、継続企業を前提とした会計処理を行う責任がある。

財務諸表監査に対する監査人の責任

我々の目的は、財務諸表に全体として不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得たうえで、我々の意見を含めた監査報告書を発行することである。合理的な保証とは、相当に高い程度の心証であるが、ISAsに準拠して実施された監査により、重要な虚偽表示が存在する場合に常に発見されることを保証するものではない。虚偽表示は不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計して、財務諸表を基礎としてなされる利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

ノルウェーの法律及び規制、並びにISAsを含むノルウェーで一般に認められている監査原則に準拠した監査の一環として、我々は監査を通じて職業的専門家としての判断を行使し、職業的専門家としての懐疑心を保持する。また我々は以下の事項を実施する。

不正又は誤謬のいずれによるかを問わず、財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し評価すること、それらのリスクに対応するための監査手続を策定し実施すること、及び意見表明の基礎を提供するための十分かつ適切な監査証拠を入手すること。不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、偽造、意図的な脱漏、虚偽の言明又は内部統制の無効化を伴う可能性があることによる。

状況に応じて適切な監査手続を策定するために、監査に関連する内部統制を理解すること。ただし、これは会社の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。

使用された会計方針の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積り及び関連する開示の妥当性を評価すること。

経営者が継続企業を前提とした会計処理を行っていることの適切性について結論を下すこと。また、入手した監査証拠に基づいて会社の継続企業として存続する能力に重大な疑義を生じさせる可能性がある事象や状況に関連して、重大な不確実性が存在するか否かについて結論を下すこと。我々は、重大な不確実性が存在するという結論を下した場合、我々の監査報告書において、財務諸表の関連開示に注意を向けさせること、又は当該開示が不十分である場合は、無限定適正意見ではない意見を表明することが求められている。我々の結論は、我々の監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいている。しかしながら、将来の事象又は状況が原因で会社が継続企業としての存続を中止することもあり得る。

開示を含め、財務諸表の全体的な表示、構成及び内容を評価し、財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表しているかどうかを評価すること。

連結財務諸表に関する意見を表明するために、グループ内の事業体又は事業活動に関する財務情報について、十分かつ適切な監査証拠を入手すること。我々には、グループ監査の指示、監督及び実施について責任がある。我々は、我々の監査意見に単独で責任を負っている。

我々はガバナンスに関する責任者に対し、特に監査の過程で識別した内部統制の重要な不備を含め、計画した監査の範囲とその実施時期、及び監査上の重要な発見事項を伝達する。

また、我々はガバナンスに関する責任者に、独立性についての職業倫理に関する規定を遵守している旨を書面で伝達するほか、独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、また、該当する場合には関連するセーフガードについても報告する。

我々は、ガバナンスに関する責任者と協議した事項の中から、監査人の職業専門家としての判断において、当事業年度の財務諸表監査で最も重要な事項を監査上の主要な事項と決定する。我々はこれらの事項を我々の監査報告書に記載する。ただし、法令によって当該事項を開示することが禁止されている場合や、極めて稀な状況において、監査報告書においてコミュニケーションを行うことによる負の影響が当該コミュニケーションにより得られる公共の利益を上回ると合理的に予想されるため、監査人が当該事項についてのコミュニケーションを行うべきでないと判断した場合には記載しない。

その他の法的及び規制上の要件に関する報告

取締役会報告書並びにコーポレートガバナンス及び企業の社会的責任に関するステートメントに関する意見

我々の意見では、上記の財務諸表の監査に基づき、財務諸表、継続企業の前提及び利益分配案に関する取締役会報告書並びにコーポレートガバナンス及び企業の社会的責任に関するステートメントに記載された情報は、財務諸表と整合しており、かつ法律及び規制を遵守している。

記録及び文書化に関する意見

我々の意見では、上記の財務諸表の監査及び国際保証業務基準 (ISAE) 3000「過去の財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」に従って我々が必要とみなした手続に基づき、会社の会計情報が、ノルウェーの法律及びノルウェーで一般に認められている簿記実務で求められる通り、適切に記録、文書化されることを保証するという義務を経営者は遂行している。

オスロ、2017年3月8日

アーンスト・アンド・ヤング エイ・エス

Anders Gøbel
公認会計士 (ノルウェー)

[次へ](#)

Statsautoriserte revisorer
Ernst & Young AS

Dronning Eufemias gate 6, NO-0191 Oslo
Postboks 1156 Sentrum, NO-0107 Oslo

Foretaksregisteret: NO 976 389 387 MVA
Tlf: +47 24 00 24 00
Fax: +47 24 00 24 01
www.ey.no
Medlemmer av den norske revisorforening

INDEPENDENT AUDITOR'S REPORT

To the Annual Shareholders' Meeting of DNB Bank ASA

Report on the audit of the financial statements

Opinion

We have audited the financial statements of DNB Bank ASA comprising the financial statements of the Parent Company and the Group. The financial statements of the Parent Company comprise the balance sheet as at 31 December 2016, the income statement, comprehensive income statement, cash flow statement and statement of changes in equity for the year then ended and notes to the financial statements, including a summary of significant accounting policies. The consolidated financial statements of the Group comprise the balance sheet as at 31 December 2016, the income statement, comprehensive income statement, cash flow statement and statement of changes in equity for the year then ended and notes to the financial statements, including a summary of significant accounting policies.

In our opinion,

the financial statements are prepared in accordance with the law and regulations;

the financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of the Parent Company as at 31 December 2016, and of its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with the Norwegian Accounting Act and accounting standards and practices generally accepted in Norway;

the consolidated financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of the Group as at 31 December 2016 and of its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with International Financial Reporting Standards as adopted by the EU.

Basis for opinion

We conducted our audit in accordance with laws, regulations, and auditing standards and practices generally accepted in Norway, including International Standards on Auditing (ISAs). Our responsibilities under those standards are further described in the *Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements* section of our report. We are independent of the Company in accordance with the ethical requirements that are relevant to our audit of the financial statements in Norway, and we have fulfilled our ethical responsibilities as required by law and regulations. We have also complied with our other ethical obligations in accordance with these requirements. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Key audit matters

Key audit matters are those matters that, in our professional judgment, were of most significance in our audit of the financial statements of the current period. These matters were addressed in the context of our audit of the financial statements as a whole, and in forming our opinion thereon, and we do not provide a separate opinion on these matters. For each matter below, our description of how our audit addressed the matter is provided in that context.

We have fulfilled the responsibilities described in the *Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements* section of our report, including in relation to these matters. Accordingly, our audit included the performance of procedures designed to respond to our assessment of the risks of material misstatement of the financial statements. The results of our audit procedures, including the procedures performed to address the matters below, provide the basis for our audit opinion on the financial statements.

Impairment of loans

Loans to customers represents 64 per cent of total assets for the Group. Impairment of loans are calculated individually, for individually significant loans where objective evidence of impairment is identified, or collectively for groups of loans which are not assessed individually, and for which objective evidence of impairment is identified on a portfolio basis. The identification and calculation of impairment are processes involving judgement about various assumptions and factors including the financial condition of the counter party, expected future cash flows, observable market prices and expected net selling prices. The use of different modelling techniques and assumptions could produce significantly different estimates of impairment of loans. The oilfield services, offshore and oil & gas sectors have been subject to increased uncertainty as a consequence of a low oil price and a general downturn in related markets. Since the related impairments of loans are material, and subject to estimation uncertainty, we have assessed impairments of loans as a key audit matter.

We have assessed the design and tested the operating effectiveness of internal controls over individual and collective impairment of loans. For individually significant loans our procedures included assessing the identification of loss events and testing of assumptions used in the models, including the forecasted future cash flows and the estimated value of underlying collaterals. We also tested the mathematical accuracy of the models. For impairment of loans calculated on a collective basis, we evaluated the key input variables or assumptions to the models, and where relevant, compared data and assumptions to external benchmarks. We also tested the mathematical accuracy of the models.

See note 5, 6, 7, 8, 9, 10 and 11 in the consolidated financial statements for further information.

Valuation of Financial Instruments

Unlisted or illiquid financial instruments measured at fair value are valued based on models that use assumptions that are not observable in the market place. The valuation of these instruments therefore have a higher risk of errors. Such instruments comprise assets of NOK 72,082 million and liabilities of NOK 1,062 million measured at fair value in the consolidated balance sheet and classified as level 3 instruments within the fair value hierarchy. Due to the materiality of the unlisted or illiquid instruments, and the increased risk of errors, we considered the valuation of these instruments a key audit matter

We assessed the design and tested the operating effectiveness of internal controls over the valuation process including management's determination and approval of assumptions and methodologies used in model-based calculations as well as management's review of valuations provided by internal experts. We also assessed pricing model methodologies against industry practice and valuation guidelines. We performed independent valuations for selected instruments and used external source data where available. We compared results of our valuations to the Group's valuations.

Level 3 instruments which are presented at fair value on the balance sheet are disclosed in note 28 in the consolidated financial statements.

Hedge accounting - Interest rate risk on long-term debt securities issued

Derivative instruments are used to manage exposure to interest rate risk related to long-term debt securities issued in foreign currencies. Derivatives and borrowings designated at initial recognition as hedging relationships, are accounted for as fair value hedges. The effectiveness of the hedging relationships are assessed at the beginning and end of the relevant period. The application of hedge accounting and ensuring hedge effectiveness can be judgmental and requires close monitoring from management. Due to the materiality of the hedging relationships, we considered hedge accounting of interest rate risk on long-term debt securities issued as a key audit matter.

We assessed the design and tested the operating effectiveness of internal controls over the designation and ongoing management of hedge accounting relationships, including testing of hedge effectiveness. We examined hedge documentation to assess whether the documentation complied with the requirements of the accounting standards. We tested reconciliations between underlying source systems and documents used to manage and document hedging relationships, including testing the mathematical accuracy and calculation of hedge effectiveness.

See note 20 in the consolidated financial statements for further information.

Independent auditor's report – DNB Bank ASA

Other information

Other information consists of the information included in the Company's annual report other than the financial statements and our auditor's report thereon. The Board of Directors and Group Chief Executive (management) is responsible for the other information. Our opinion on the financial statements does not cover the other information, and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information, and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit, or otherwise appears to be materially misstated. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Responsibilities of management for the financial statements

Management is responsible for the preparation and fair presentation of these financial statements in accordance with the Norwegian Accounting Act and accounting standards and practices generally accepted in Norway for the financial statements of the Parent Company and International Financial Reporting Standards as adopted by the EU for the financial statements of the Group, and for such internal control as management determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, management is responsible for assessing the Company's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting, unless management either intends to liquidate the Company or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with law, regulations and generally accepted auditing principles in Norway, including ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional scepticism throughout the audit. We also:

- identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.

- obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Company's internal control.

- evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by management.

- conclude on the appropriateness of management's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Company's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Company to cease to continue as a going concern.

Independent auditor's report – DNB Bank ASA

evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

obtain sufficient appropriate audit evidence regarding the financial information of the entities or business activities within the Group to express an opinion on the consolidated financial statements. We are responsible for the direction, supervision and performance of the group audit. We remain solely responsible for our audit opinion.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

We also provide those charged with governance with a statement that we have complied with relevant ethical requirements regarding independence, and communicate with them all relationships and other matters that may reasonably be thought to bear on our independence, and where applicable, related safeguards.

From the matters communicated with those charged with governance, we determine those matters that were of most significance in the audit of the financial statements of the current period and are therefore the key audit matters. We describe these matters in our auditor's report unless law or regulation precludes public disclosure about the matter or when, in extremely rare circumstances, we determine that a matter should not be communicated in our report because the adverse consequences of doing so would reasonably be expected to outweigh the public interest benefits of such communication.

Report on other legal and regulatory requirements

Opinion on the Board of Directors' report and on the statements on corporate governance and corporate social responsibility

Based on our audit of the financial statements as described above, it is our opinion that the information presented in the Board of Directors' report and in the statements on corporate governance and corporate social responsibility concerning the financial statements, the going concern assumption and the proposal for the allocation of the result is consistent with the financial statements and complies with the law and regulations.

Opinion on registration and documentation

Based on our audit of the financial statements as described above, and control procedures we have considered necessary in accordance with the International Standard on Assurance Engagements (ISAE) 3000, «Assurance Engagements Other than Audits or Reviews of Historical Financial Information», it is our opinion that management has fulfilled its duty to ensure that the Company's accounting information is properly recorded and documented as required by law and bookkeeping standards and practices accepted in Norway.

Oslo, 8 March 2017
Ernst & Young AS

Anders Gøbel
State Authorised Public Accountant (Norway)

Independent auditor's report – DNB Bank ASA